

2002(平成14)年度

# 講義内容

文学部

 駒澤大學

# 講 義 内 容

## 目 次

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	9
2	教養教育科目	25
	(1) 人文分野	25
	(2) 社会分野	46
	(3) 自然分野	60
	(4) 総合分野	87
3	外国語科目	108
4	保健体育科目	260
II	専門教育科目	
1	国文学科	297
2	英米文学科	347
3	地理学科	395
4	歴史学科	452
5	社会学科(社会学専攻)	515
6	社会学科(社会福祉学専攻)	553
7	心理学科	605
III	他学部履修科目	651
IV	「日本語」・「日本事情」科目	725
V	随意科目	739

全学共通科目	宗教教育
	人文分野
	社会分野
	自然分野
科目	総合分野
	外国語
	保健体育
	国文
専門教育科目	英米文地
	歴史
	社会(社会学)
	社会(社会福祉学)
履修科目	他学部
	「日本語」
「日本事情」	「日本語」
	随意科目

(注意)

講義内容に掲載している配当学科（学年）の欄は、それぞれの学科名で表記していますが、地理学科・社会学科については次のとおりになっています。誤りのないように履修してください。

地理学科	地域文化研究専攻（13年度以降入学生）	.....	地文
	地域環境研究専攻（13年度以降入学生）	.....	環境
	12年度以前入学生	.....	地理
社会学科	社会学専攻	.....	社会
	社会福祉学専攻	.....	福祉

# I 全 学 共 通 科 目





# 1 宗教教育科目



# 1. 宗教教育科目

仏教と人間（国）	〈小川順敬〉	9
仏教と人間（国・英）	〈佐々木章格〉	9
仏教と人間（英）	〈洗建〉	10
仏教と人間（地文・環境）	〈池上良正〉	10
仏教と人間（歴）	〈山端昭道〉	11
仏教と人間（歴・心）	〈佐藤憲昭〉	11
仏教と人間（社・福）	〈竹内弘道〉	12
仏教と人間〔再クラス〕	〈熊本英人〉	12
仏教と人間〔再クラス〕	〈木村誠司〉	13
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴山俊英〉	13
文化と宗教	〈長谷部八朗〉	14
社会と宗教	〈池上良正〉	14
自然と宗教	〈小川順敬〉	15
坐禅	〈木村誠治・熊本英人〉	16



科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	おがわ としゆき 小 川 順 敬	国 1 必	4

講義のねらい

日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたといっても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているでしょうか。多くの場合、これらの法要や行事は仏教本来の教えとは異なっています。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるのです。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容していると考えられているのです。

この講義では、私たちをとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。後期は仏教思想について紹介していきたいと考えています。

成績評価の方法

評価は主に年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	ささき しょうかく 佐々木 章 格	国・英 1 必	4

講義のねらい

「父母未生以前、本来の面目」という公案がある。かの夏目漱石も若いころに宿題とされ、それは晩年にいたる小説の中まで鮮やかに反映されていた。本来の人間とは何か、本当の自分自身とは――。釈尊はその最後に、弟子たちに向かって「法灯明、自灯明」すなわち真理を抛り処とし、自分自身を抛り処とせよ、と説示した。それは理想としての宗教ではなく、現実至今ある自分の姿としての、苦悩と戦いながらの実践修道（生きざま）なのではないだろうか。

世界の中心には偉大な教祖がおり、自分はその周辺にいて必ず救済されるなどと安易に信じることは、自己喪失した「透明なる存在」が、実在としての権威に服従してしまうことになる。

本講義においては、宗教教育科目として、本学の建学の精神に関わる仏教思想・禅思想に焦点を合わせ、仏教の開祖釈尊以来の説示を概説する。さらに学生手帳に載せる『般若心経』『修証義』にも言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマを用意し、世界宗教・仏教・禅について順次理解を深めたいと考えている。

- 1) 文化と宗教、宗教現象の諸相、宗教の分類、世界宗教・民族宗教についての概要。
- 2) インドの古代思想、釈尊の成道、仏教の基本的教理、大乘仏教（菩薩道）の成立。
- 3) 中国における仏教の受容とその梗概、禅宗の成立と展開。
- 4) 日本における仏教の受容とその梗概、および道元禅師と瑠山禅師の思想。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意し、講義内容を自分の手で、ノートすることを要望する。またレポートの提出をお願いするが、内容については一般常識などの借り物ではなく、課題に対しての本人の主体的意見が存在したものを希望する。

成績評価の方法

定期試験を基本とし、加えて別に指示する課題についてのレポート、受講の度合（欠欠）を考慮した総合評価とする。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参考書等

必要に応じて適宜紹介、またプリント等も配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	あらい 洗 けん 建	英 1 必	4

講義のねらい

多くの日本人は、自分は無宗教であり、宗教とは無関係であると思っている。しかし、それは事実であろうか。あなたは合格祈願のお守りを貰わなかったであろうか。初詣やお墓参りの経験はないだろうか。それは宗教ではないのだろうか。日本は仏教国であるといわれ、かつての日本人は自分を仏教徒であると自覚していた。現在、日本人と仏教とのかかわりの実態はどのようなものであるのか、なぜ無宗教と思うようになったのか、日本人の仏教とのかかわり方がどのような意味を持つのか、まずそのあたりを理解することから始めよう。

その上で、世界の諸宗教と仏教の特質、開祖釈尊が示した人間の生き方、日本における仏教の展開、現代の我々にとっての仏教などの問題を正しく理解することを目指したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は諸宗教と仏教を関連づけながら、広く宗教が人間生活にとって持つ意味と役割を探り、後半は特に仏教の正しい理解を目指す。

履修上の留意点

事実を覚えることよりも、問題や考え方を理解することを心がけて受講して欲しい。

成績評価の方法

原則的には試験で評価するが、ときどき出席をとり、また場合によってはレポートを提出して貰い、評価の参考にする。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	い け が み よ し ま さ 池 上 良 正	地文・環境   必	4

講義のねらい

「仏教」には高度な思想から、生活に根づいた習俗まで多様な幅があるが、本講義では、仏教に関する基礎的知識の解説に主眼をおきつつも、とくに地理学科の学生諸君が興味をもてそうなトピックを中心に講義を進めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、とくに風土論的な視点に注目しながら、世界宗教としての仏教の成立過程を考察する。後期は、「山と日本仏教」というテーマを中心に、日本における仏教の土着化の問題を考える。

成績評価の方法

出席状況と学年末試験などを総合的に評価する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	山 端 昭 道 <small>やまはた しやうどう</small>	歴史 1 必	4

講義のねらい

我が国には、さまざまな宗教とその諸相がある。中でも仏教は、遠来の宗教ではあるが、永い歴史を通して、日本の文化的宗教的土壌に根を下ろし、人びとの考え方や行動、また社会生活等に大きな影響を与えてきた。

そして近年、「定年出家」という言葉が使われている。人生の半ばで、あるいは脱サラをしてまで、あらためて仏教を学び、厳しい仏道修行の生活に身を投じようとする人びとのことである。そこに、現代人の「こころ」の揺れを見てしまうと、かつ人生経験豊富な人びとに対しても新たに「生きる力」を与え得る仏教の「力」を認めることができよう。

君たちは若い。しかし、長い人生を歩む上に、宗教への正しい理解と共に、仏教が君たちにとっても、どのように機能し、「生きる力」となり得るか、ともに考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、身近な具体的な事例を通して、宗教が果たしている役割を知り、また仏教の基本的な考え方・基礎的な教理を理解する。そして、釈尊（仏教の開祖・釈迦）をはじめ宗教的に生きた先人達の言行や教えを学び、また苦悩しつつも確かに歩み続ける人びとの詩文・告白等に触れ、現代人が仏教をいかに受け止めるべきかの指針・導き、としたい。

履修上の留意点

自分自身にとって、現代社会にとって宗教・仏教がどうなのか、と常に問題意識をもって履修してほしい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価。ただし、提出レポートの内容および出席状況を考慮する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

他に、先人達の遺した比較的平易な言葉や今に生きる人びとの詩文等を、資料として随時使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	佐 藤 憲 昭 <small>さとう のりあき</small>	歴史・心理 1 必	4

講義のねらい

仏教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の諸宗教との関連のもとに考察する。日本人の多くは、宗教を信じていないとみずから認識している人たちが、その一方で、お盆や春秋のお彼岸には墓参りに行き、あるいは仏僧に読経を依頼するなど、仏教徒としての行動をとっていることが少なくない。こうした生活の中で展開している仏教は「民俗仏教」と呼ばれるが、これは教義で説く仏教とは大きく異なっている。この講座では、仏教徒には、教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあることを認識した上で、教義仏教の思想と行動を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

つぎのテーマのもとに具体的に考察する。

1. 宗教学の視点と方法。2. 人類と文化。3. 風土と宗教。4. 民俗宗教の特質。5. 教義仏教と民俗仏教。6. 原始仏教。7. 大乘仏教と上座部仏教。8. 禪仏教の特質。9. 曹洞宗の特質。10. 総括。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価するが、59点以下の場合には、出席状況を考慮して総合的に評価する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	たけうち ひろみち 竹 内 弘 道	社会・福祉1必	4

講義のねらい

学生であるならば、世界のさまざまな事柄に関心を寄せ、現代社会が抱える今日的な問題に対して何らかの自分なりの考えを持ちたいと思うであろう。しかし、いざ自分の意見を表明する段になると、依って立ち、判断基準とする自分の「思想」がなければ、何の見解も導き出せないことに気づく。しかも、極めて現代的な問題は、背景に深く自らの宗教観が問われる場合が多い。自己の宗教的視点が確立していないと、はっきりと問題の本質が見えず、判断を下すことが困難になる。戦後の、病的なまでに宗教を排除した教育体制によって形成された我々の意識に、大きく欠落している部分は宗教観である。授業は、現代社会の具体的問題を考える中で、この欠けたる部分に気づき補っていくことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

年度の前半は、仏教の基本的思想や禅の目指す人間観について講義するが、後半は、具体的問題をとりあげたい。次のようなテーマについて、随時講義する予定であるが、時間が許せば予定外のテーマもとりあげたい。

1. 破壊的カルト教団の諸相とマインドコントロールの恐怖
2. 生命倫理と脳死・臓器移植—日本人の生命観
3. 環境問題と現代社会—仏教の可能性
4. 仏教と人権—フェミニズムからの挑戦
5. 日本仏教の社会的機能と使命—葬祭と仏教

成績評価の方法

試験はレポート提出で、講義したテーマの中から課題を選び、自分の見解を交えて論述する形式をとる予定である。

参 考 書 等

問題の領域が広範囲にわたるため特定の教科書は存在しないが、参考書は宗教学ハンドブックほか。その都度授業で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	くまもと えいじん 熊 本 英 人	全 学 科	4

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。  
仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。特に、明治維新以後の日本の近代化における仏教の功罪や、第二次世界大戦後の地域社会や家の変容に対して、仏教は何をしてきたかなどについてもみてみたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。随時レポートを課す。

教 科 書

適宜プリントで配布する。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	きむら せいじ 木 村 誠 治	全 学 科	4

講義のねらい	仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。
履修上の留意点	静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。
成績評価の方法	定期試験と出席率による。
教 科 書	なし。
参 考 書 等	授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれやま しゆんえい 晴 山 俊 英	全 学 科	4

講義のねらい	仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依るうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。
講義の内容・ 授業スケジュール	釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。
履修上の留意点	仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。
成績評価の方法	期末試験に出席の状況を加味して評価する。
参 考 書 等	授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化と宗教	は せ べ は ち ろ う 長 谷 部 八 朗	文学部全学科選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会と宗教	い け が み よ し ま さ 池 上 良 正	文学部全学科選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然と宗教	おがわ としゆき 小 川 順 敬	文学部全学科選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりの諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

原則として教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐禅 (前期)(後期)	<small>くまもと えいじん きむら せいじ</small> 熊本 英人・木村 誠治	文学部全学科選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考えたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしよう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・  
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～13 「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『普勧坐禅儀』・『正法眼蔵一坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。また、禅の世界をより深い理解のため、各祖師方の語録も参考してみたいと思っています。)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

レポート、出席態度、出席数を総合して成績評価とします。

教 科 書

適宜、プリントにて配布します。

参 考 書 等

『坐禅－講本－』(更生社) 2,266円

## 2. 教養教育科目



## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野

文学〔日本文学「古典」〕	〈島田伸一郎〉	25
文学〔日本文学「古典」〕	〈増尾聡哉〉	25
歴史学〔日本中世史〕	〈栗原修〉	25
歴史学〔中国古典考古学〕	〈小川誠〉	26
芸術学(1)〔日本美術〕	〈松田誠一郎〉	26
芸術学(2)〔西洋美術〕	〈矢野陽子〉	27
芸術学(3)〔音楽〕	〈赤羽由規子〉	27
哲学〔西洋思想の源流〕	〈及川和剛〉	28
哲学〔西洋思想の源流〕	〈中村友太郎〉	28
哲学〔西洋思想の源流〕	〈河谷淳〉	29
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈河谷淳〉	29
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈久保陽一〉	30
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈鈴木聡〉	30
論理学〔知の技法〕	〈箭野浩司〉	31
論理学〔知の技法〕	〈伊古田理〉	31
科学史〔近代科学の成立と展開〕	〈小宮山隆〉	32
倫理学(1)〔人間観〕	〈古田知章〉	32
倫理学(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎剛〉	33
倫理学(3)〔価値観〕	〈及川和剛〉	33
倫理学(4)〔応用倫理学〕	〈箭野浩司〉	34
倫理学(5)〔制度とモラル〕	〈久保陽一〉	34
倫理学(6)〔東洋倫理〕	〈末木恭彦〉	35
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	〈池上良正〉	35
宗教学(2)〔聖と俗〕	〈田中かの子〉	36
宗教学(3)〔思想と儀礼〕	〈小川順敬〉	36
宗教学(4)〔組織と運動〕	〈洗建〉	37
人文地理学(1)(2)〔風土と文化〕	〈竹林和彦〉	38
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	〈伊藤勝久〉	38

※	教	育	の	思	想	〈豊	田	千代子〉	.....	39						
※	教	育	の	思	想	〈北	村	三子〉	.....	39						
※	教	育	の	思	想	〈伊	藤	茂樹〉	.....	40						
※	教	育	の	思	想	〈萩	原	建次郎〉	.....	40						
※	教	育	と	社	会	〈豊	田	千代子〉	.....	41						
※	教	育	と	社	会	〈北	村	三子〉	.....	41						
※	教	育	と	社	会	〈伊	藤	茂樹〉	.....	42						
※	教	育	と	社	会	〈萩	原	建次郎〉	.....	42						
※	発	達	と	学	習	の	心	理	学	〈大	浜	幾	久	子	.....	43
※	発	達	と	学	習	の	心	理	学	〈山	本	政	人	.....	43	
※	発	達	と	学	習	の	心	理	学	〈角	野	善	司	.....	44	
※	カ	リ	キ	ュ	ラ	ム	と	学	習	〈大	浜	幾	久	子	.....	44
※	カ	リ	キ	ュ	ラ	ム	と	学	習	〈山	本	政	人	.....	45	
※	カ	リ	キ	ュ	ラ	ム	と	学	習	〈角	野	善	司	.....	45	

## (2) 社会分野

社会学〔現代社会を考える〕	〈呉 炳 三〉	46
社会学〔社会生活を考える〕	〈小 畑 和〉	47
統計学〔社会現象の統計的分析〕	〈稲 葉 敏 夫〉	47
文化人類学〔文化と人間〕	〈佐 藤 憲 昭〉	48
文化人類学〔文化と人間〕	〈藤 崎 康 彦〉	49
文化人類学〔文化と人間〕	〈藤 崎 康 彦〉	50
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈和 知 恵 一〉	51
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈鶏 徳 啓 登〉	52
法学・憲法〔法と権利〕	〈茂 野 隆 晴〉	52
法学・憲法〔法と権利〕	—夏季集中— 〈西 修〉	53
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈富 崎 隆〉	54
政治学〔国際社会と日本〕	〈田 丸 大〉	55
経済学〔現代社会と市場経済〕	〈畠 中 貴〉	55
経済学〔現代経済と人間〕	〈瀬戸岡 紘〉	56
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大 石 雄 爾〉	57
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳 堀 素雅子〉	58
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野 中 弘 敏〉	59



### (3) 自然分野

生物学〔生態と進化〕	〈清水善和〉	60
生物学〔生物と環境〕	〈中村敏枝〉	62
地球科学〔変動帯としての日本列島〕	〈藤井享〉	63
地球科学〔古環境の復元〕	〈猪郷久義〉	64
自然環境論〔環境と保全〕	〈山縣毅〉	65
自然環境論〔生命と環境〕	〈持丸真里〉	65
自然環境論〔自然史と環境〕	〈藤井享〉	66
自然環境論〔環境と保全〕	—夏季集中— 〈山縣毅〉	67
自然誌(2)〔現代の自然像〕	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	68
数学(1)〔微積分学入門〕	〈小沢誠〉	69
数学(2)〔線型代数学入門〕	〈小沢誠〉	69
数学(3)〔現代数学入門〕	〈福田賢一〉	70
情報数学〔情報と論理〕	〈高橋一嘉〉	70
物理学〔光と物質〕	〈篠原正雄〉	71
化学(2)〔衣食住の化学〕	〈持丸真里〉	72
宇宙科学〔星と銀河〕	〈篠原正雄〉	72
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)	〔コンピュータの実際〕 〈小沢誠〉	73
コンピュータ基礎(2)(7)(23)(24)	〔コンピュータの実際〕 〈山本博信〉	74
コンピュータ基礎(3)(8)	〔コンピュータの実際〕 〈小川健次郎〉	75
コンピュータ基礎(5)(10)	〔コンピュータの実際〕 〈竹田洋一〉	75
コンピュータ基礎(11)(15)—夏季集中—	〔コンピュータの実際〕 〈竹田洋一〉	76
コンピュータ基礎(12)—夏季集中—	〔コンピュータの実際〕 〈小沢誠〉	77
コンピュータ基礎(16)—夏季集中—	〔コンピュータの実際〕 〈高橋一嘉〉	78
コンピュータ基礎(13)(17)—夏季集中—	〔コンピュータの実際〕 〈山本博信〉	79
コンピュータ基礎(14)(18)(19)(21)—夏季集中—	〔コンピュータの実際〕 〈長坂浩史〉	81
コンピュータ基礎(20)(22)—夏季集中—	〔コンピュータの実際〕 〈小川健次郎〉	82
コンピュータ応用(1)(2)	〔コンピュータの原理〕 〈今泉淳〉	83

人類学〔人類の進化〕〈遠藤萬里〉 .....	83
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕〈横山剛〉 .....	84
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕〈山岸直基〉 .....	84
心理学〔人間関係を考える〕〈高橋良博〉 .....	85
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—〈堀内正彦〉 .....	86

## (4) 総合分野

総合	Ⅰ	〈 休 講 〉	
総合	Ⅱ	〈 休 講 〉	
総合Ⅲ(1)		〈 休 講 〉	
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕		〈岡崎 寿一郎〉	87
総合Ⅲ(3)〔フランス現代思想〕		〈桑田 禮彰〉	87
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕		〈林 明人〉	88
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕		〈丸小 哲雄〉	88
総合Ⅴ(1)〔イギリス文化探訪〕		〈川股 陽太郎〉	89
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕		〈大野 祐二〉	90
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕		〈前期：青柳かおる、後期：吉田京子〉	90
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕		〈早川 紀代〉	91
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕		〈北野かほる・小木曾綾・王志安・金子昇平・佐藤多美夫・西修〉	92
総合Ⅶ(2)〔都市論〕		〈早川純貴・品田知美・中野裕二・保坂尚郎〉	93
総合	Ⅷ	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学(2) 〔日本文学「古典」〕	しまだ しんいちろう 島田伸一郎	国文・英米文選	4

## 講義のねらい

「人はなぜ歌うのか」「どのような時に歌いたくなるのか」をテーマとし、和歌を読みながらその歌に込められた思いについて考えていく。そして現代の我々にも通じる、人の心の諸相を見ていきたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

『万葉集』の歌を読む。毎時、一首から数首を取り上げ、語句の意味や歌の理解に必要な背景などを説明しながら解釈を行い、歌われている心情を考察していく。

## 履修上の留意点

取り上げる歌は出来る限る分かりやすいものとする。特に予習の必要はないが、あらかじめ声に出して読んで来ること。

## 成績評価の方法

前期終了後のレポート提出と年度末の定期試験に出席状況を加味して評価する。

## 教科書

小野寛 『新選万葉集抄』 (笠間書院) 1,600円

## その他

講義形式による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学(3) 〔日本文学「古典」〕	ますお としや 増尾聡哉	地理・人文・環境・歴史・社会・福祉・心理選	4

## 講義のねらい

『伊勢物語』を読む。

 講義の内容・  
授業スケジュール

『伊勢物語』の中には二条后や伊勢斎宮に関わるものなど、類同の章段が散見する。本講義では、そのテーマごとにまとめながら物語の世界を読み進め、『伊勢物語』さらには歌物語の文学史上における位置についても併せて考える予定である。

## 成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。

## 教科書

大津有一校注 『伊勢物語』 (岩波文庫) 400円

## その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本中世史〕	くりはら おさむ 栗原 修	国文・英米文選	4

## 講義のねらい

中世の歴史を講義する。とくに中世後期の社会について、地域史の視点を通して見ていきたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

歴史学の基礎的な方法論を、史料批判、古文書読解などを通じて身につけていく。そのうえで、戦国大名の領国支配についての検討を行いながら、中世後期の社会を理解していきたい。

## 成績評価の方法

学年末試験と平常点などにより総合的に評価する。

## 参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 〔中国古典考古学〕	おがわ まこと 小 川 誠	国文・英米文選	4

講義のねらい

考古資料を通じて中国古代（殷～秦漢）の歴史の流れを大観する。講義では、各時代の出土文物を紹介すると同時に、当時の社会においてそれらがもっていた歴史的な意味を考えてみたい。したがって、「ものからみた中国古代の歴史」といった内容になるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 中国入門（中国の地理と歴史）／中国考古学入門（中国考古の旅）
2. 殷王朝の歴史と考古
3. 春秋戦国時代の歴史と考古
4. 秦漢時代の歴史と考古
5. 長江流域の考古学
6. 中国東北地方の考古学

以上のような内容で講義を行なう。映像資料等を適宜用いて、わかりやすく解説していきたい。

履修上の留意点

中国古代史に興味のある者の参加を望む。

成績評価の方法

学年末試験を中心に評価する。

教科書

教科書は使用せずに、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

参考書等は使用せずに、必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学（1）〔日本美術〕	まつだ せいいちろう 松 田 誠 一 郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

飛鳥時代〔538～710〕から天平時代前期〔710～753〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史の変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本の美意識の問題についても論究する。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 第 1 回 ガイダンス  
 第 2－4 回 1. 法隆寺金堂と釈迦三尊像  
 第 5－7 回 2. 救世観音像と百済観音像  
 第 8－9 回 3. 法隆寺再建期の童顔童形像  
 第 10－12 回 4. 広隆寺と中宮寺の半跏思惟像  
 第 13－15 回 進度調整のための予備日

【後期】

- 第 1－3 回 5. 興福寺仏頭と薬師寺金堂本尊  
 第 4－5 回 6. 法隆寺五重塔の塑像  
 第 6－8 回 7. 興福寺の十羅漢・八部衆像  
 第 9－10 回 8. 東大寺法華堂の乾漆像  
 第 11－12 回 9. 東大寺・新薬師寺の塑像  
 第 13－15 回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

後期末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

教科書

水野敬三郎著 『奈良・京都の古寺めぐり－仏像の見かた－』 1985年（岩波書店） 650円

参考書等

水野敬三郎監修 『カラー版 日本仏像史』 2001年（美術出版社） 2,500円

その他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学(2)〔西洋美術〕	矢野陽子	全学科選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教科書

高階秀爾監修 『カラー版 西洋美術史』 (美術出版社) 1,900円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学(3)〔音楽〕	赤羽由規子	全学科選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学—日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子ども遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽—20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著 『現代からの音楽史』 (公論社) 2,700円



科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学〔西洋思想の源流〕	おいかわ かずよし 及 川 和 剛	国 文 選	4

講義のねらい

哲学の議論は分かりにくい。ではなぜ分かりにくいのか。それは、哲学の言葉づかいが難しいため、また、哲学の問いの意図が分かりにくいためであるとまずは考えられる。そこでこの授業では、哲学の母体である古代・中世の哲学史を通覧することを通じて二つの作業をしていくことを目標とする。一つは、哲学の用語に慣れ親しみそれを使いこなせるようにすること。もう一つは、それぞれの哲学者がなぜそのような問いを立てたのかを明らかにしていくことである。

講義の内容・授業スケジュール

主に次のような題材を取扱う予定である。  
 ①古代前期 (1) ソクラテス以前の人々 (2) ソクラテス (3) プラトン  
 ②古代後期 (4) アリストテレス (5) ヘレニズム期の哲学  
 ③中世 (6) 教父哲学 (7) スコラ哲学

履修上の留意点

哲学書を一冊は読んだ経験があることが望ましい。(例えば、岩波文庫から出ているプラトンの対話篇など。)

成績評価の方法

年2回(夏期と年度末)の試験、およびレポートで評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

その都度授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学〔西洋思想の源流〕	なかむら ともたろう 中 村 友 太 郎	英米文・歴史選	4

講義のねらい

主として、西洋思想の源流であるヘレニズムとヘブライズムをその哲学的原理に関して学ぶ。紀元前6世紀頃に登場した古代ギリシア哲学では人間と神々が「自然」に包摂され共存調和するものとして、また「自然」は永遠に回帰するものとして捉えられていたのに対し、ユダヤ教を母体にして1世紀頃に成立したキリスト教では人間と自然は主なる「神」の意志に服すべきものであり、創造と終末によって限られた歴史意識のうちで捉えられる等、両思潮には互いに異なる考え方が含まれる。中世以降、近現代にいたる西洋思想の歴史は、両者の総合や対立あるいは復興によって展開されてきたと見られ、両者は文字どおり西洋思想の源流をなしている。しかも近現代の西洋思想が現在の文明世界を規定していることは否めない事実であるから、両思想を学ぶことによって、同時に我々が現代に生きていく上で何らかの大きな示唆を得ることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、以下の内容を順次取り上げる。④古代ギリシア哲学(ソクラテス以前の哲学、ソクラテス・プラトン・アリストテレス、古代末期の人生論) ⑤キリスト教思想(ユダヤ教とキリスト教、教父哲学とスコラ哲学) ⑥近現代の哲学への影響史

履修上の留意点

哲学・宗教に限らず、広く古典文学にも親しむよう心がけたい。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学〔西洋思想の源流〕	かわたに 河 谷 あつし 淳	地理・地文・環境・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。

- ①ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
- ②キリスト教哲学（教父哲学・スコラ哲学）
- ③近代哲学（デカルト、ロック、カント）

成績評価の方法

中間・期末（それぞれ40点満点）、レポート、出欠による総合評価。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	かわたに 河 谷 あつし 淳	国文・英米文選	4

講義のねらい

日常において私たちがまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、そこでは思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、何気なく発せられた単発の文（命題）にしてみても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした「流れ」の妥当な形式とは何かを考える学だと言うことができよう。本講義の目的は、論理的であるとは一体どういうことなのかを考え、さらにそれを身につける訓練をつむことにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

- (a) 論理学の基本概念、(b) 演繹推理（三段論法）、(c) 帰納推理、(d) 命題論理、(e) 述語論理

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義においてその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	く ぼ よう い ち 久 保 陽 一	地理・地文・環境・歴史・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

論理学は正しく推論するための規則に関する学問であり、すべての科学や日常的な行動の方法として役立つものである。修得して活用できるようにしてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 伝統的論理学
  - 1 演繹法（概念論・判断論・推理論）
  - 2 帰納法
  - 3 虚偽論、弁証法
- (2) 記号論理学
  - 1 命題論理学
  - 2 述語論理学

履修上の留意点

よく出席すること。私語、途中退室はつつしむこと。

成績評価の方法

中間試験、小テスト、期末試験。

教科書

『新しい認識への論理』（公論社）

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	す ず き さとる 鈴 木 聡	国文・英米文選	4

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義内容は次のものを予定している。
- 1. 文論理
    - (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
  - 2. 第一階量化論理
    - (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
  - 3. 伝統的論理学と記号論理学との比較
  - 4. メタ論理
    - (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が望ましい。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

その他

本講義は講義→小テスト（質問）→前回の講義の復習→小テストの解説・・・という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔知の技法〕	や 箭 の ひ ろ し 野 浩 司	全 学 科 選	4

講義のねらい	日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。同様に、レポートや小論文の書き方についても、それを教える学校は少ない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。 この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、話すことと書くことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。
講義の内容・授業スケジュール	以下のような思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。
履修上の留意点	単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。
成績評価の方法	中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。
教科書	開講時に指定する。
参考書等	その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔知の技法〕	い こ た まさる 伊 古 田 理	全 学 科 選	4

講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほか、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。 教科書：大庭他著 『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版） 副読本：野矢茂樹 『論理トレーニング』（産業図書）
参考書等	そのつど指示する。
その他	上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	文学部全学科選	4

講義のねらい	科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。 そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。
履修上の留意点	講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。
成績評価の方法	前・後期の試験と夏のレポートで評価する。
教科書	八杉龍一『図解・科学の歴史』（東京教学社）
参考書等	講義の際に、その都度紹介する。
その他	通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等をもちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫理学（1）〔人間観〕	ふるた ともあき 古 田 知 章	全 学 科 選	4

講義のねらい	われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。
講義の内容・授業スケジュール	西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。
成績評価の方法	中間試験と期末試験、レポート等で評価する。
教科書	『原典による哲学の歴史』（公論社）
参考書等	講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学（２）〔応用倫理学〕	<small>くろさき つよし</small> 黒 崎 剛	全 学 科 選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」--「価値」や「義務」、「習慣」といった--の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学（３）〔価値観〕	<small>おいかわ かずよし</small> 及 川 和 剛	全 学 科 選	4

講義のねらい

「私はどうしたらいいのか」「まんならぬこの自分とはなんであるのか」といった問いは思春期にいる少年少女だけに特有のものではない。それはおそらく一生続きうる問いである。この授業では、それぞれの人生で繰り返し立ち現われ問い返される”私”や”自分”とはなんであるのかということ論じる。そうして行く中で、”私”は”私”はどうしようもなく”感情”に支配されてしまっている、ということがクローズアップされてくるであろう。そこで次に、その”感情”とはなんであるのかということ論じる。（この問題は＜自由＞の問題につながるはずである。）他方、”私”は自分一人生きていけるわけではなく、他の”私”達とともに生きているという事実にも着目しなければならぬ。そこでまた、その”他者”とはなんであるのかということも論じたい。（この問題は＜規範＞の問題につながるはずである。）

講義の内容・授業スケジュール

- おおかた次のような内容を取り扱う。
- I 現代の日本で“私”について論じている人々
  - II 「心の受動」としての“感情”
  - III ウィトゲンシュタインと“他者”の問題

成績評価の方法

年2回（夏期と年度末）の試験、およびレポートで評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

北明子『メヌ・ド・ピランの世界 経験する＜私＞の哲学』（劉草書房）  
野矢茂樹『心と他者』（劉草書房）  
その他についてはその都度授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(4)〔応用倫理学〕	やのひろし 箭野浩司	全学科選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。

われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の「応用」という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシミュレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合っ、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(5) 〔制度とモラル〕	くぼよういち 久保陽一	全学科選	4

講義のねらい

最近、簡単に人を殺害したり、職業倫理を無視したりする事件があとを断たない。あらためて何が正しいかが問われている。そこで本講義では「正義」について、倫理思想の歴史をたどり、今日の問題を考える参考にしてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 近代以前の正義
  - (1)古代ギリシア（ギリシア悲劇・プラトン・アリストテレス・ストア派）
  - (2)キリスト教
- II 近代の正義
  - (1)人権と社会契約の思想（ホッブス・ロック・ルソー・カント）
  - (2)ヘーゲルの法哲学
  - (3)功利主義
- III 現代の正義
  - (4)社会主義と社会権
  - (5)ロールズとテイラー
  - (6)生命倫理と環境倫理

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。私語や途中退室はつつむこと。

成績評価の方法

中間試験、レポート、期末試験と出席状況。

教科書

河谷・久保編 『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

高木・末延・宮沢編 『人権宣言集』（岩波文庫）  
シンガー 『私たちはどう生きるべきか』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学（6）〔東洋倫理〕	<small>す え き や す ひ こ</small> 末 木 恭 彦	全 学 科 選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ることは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。このような重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む。ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理 環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り挙げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、このような問題意識に基いて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無―質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学（1） 〔比較宗教文化〕	<small>い け が み よ し ま さ</small> 池 上 良 正	全 学 科 選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学（2）〔聖と俗〕	た な か かのこ 田 中 かの子	全 学 科 選	4

講義のねらい

「聖」と「俗」という対立概念は、ある宗教的世界観のなかで生きる人間が「日常から非日常」「不浄から清浄」「苦悩から救い」「罪からの改悛」「離叛から和解」「死から再生」などのプロセスを体験するために仮設する自己一新の装置である。人格的「神」や非人格的「法」などに由来する「聖」なるものの完全さ・神秘性・絶対的力は、至らぬ無力な自己をおのずと「俗」なる領域に押しやるかにみえる。しかし実際には、「聖」なる人間性を志向してやまない日々の宗教生活そのものが既に、「聖」なる領域のなかに取り込まれて一体化しているのである。つまり、ここでの「聖と俗」は、世間一般にいう「宗教」と「非宗教」の対比としての「聖」と「俗」ではない。本講は、この点をおさえたいうで、1) 宗教学の基本的立場をふまえ、2) 世界の諸宗教の歴史・思想・文化における「聖と俗」の諸相を観察することにより、3) 「宗教」とは何か、「人間」とは何かという問いを深めていくことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

I. 宗教学とは何か、II. 宗教生活の原初形態（「いのち」の発見）、III. 宗教の類型論（ひとつの宗教の諸相・さまざまな宗教の比較）、IV. 「聖なるもの」をめぐる諸宗教の構成要素一覧、V. 芸術と聖なるもの、VI. 宗教的人間観、VII. 宗教的世界観、VIII. 本講の後半では、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教の歴史・思想・文化を解説し、それぞれの現代的意義を考える。

履修上の留意点

板書を写すだけでは、本当にノートを取ったことにはならない。工夫してみよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

脇本平也著 『宗教学入門』（講談社学術文庫）

その他

講義担当者の現地調査に拠るスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学（3）〔思想と儀礼〕	お が わ としゆき 小 川 順 敬	全 学 科 選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言えるのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずですよ。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意思とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教学（４）〔組織と運動〕	あらい 洗 けん 建	全 学 科 選	4

## 講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生ずる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生ずるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実に基づいて考察し、宗教現象の理解を目指したい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

## 履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

## 成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

## 教 科 書

特に指定しない。

## 参 考 書 等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (1) (2) 〔風土と文化〕	たけばやし かずひこ 竹 林 和 彦	全 学 科 選	4

## 講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

## 履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでよい）を持参すること。

## 成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

## 教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

## 参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (3) (4) 〔空間と行動〕	いとう かつひさ 伊 藤 勝 久	全 学 科 選	4

## 講義のねらい

社会科学全般の動向を眺みつつ、その中での人文地理学における空間論／行動論の展開と変化を概観する。

講義の内容・  
授業スケジュール

全般的な流れとしては、伝統的地理学から機能主義的地理学、歴史主義的地理学、批判主義的地理学、人間主義的地理学等の多様な空間観を把握しつつ、ポストモダニズムの空間論まで網羅する予定。具体的な授業スケジュールは講義初日に配布するシラバスに詳述する。

## 履修上の留意点

受講者には「データを収集し批判的に分析しつつ持論を展開する」というアカデミアの基本的態度を要望する。従って本講義では、受講者が各講義で得た知識を如何に使い、あるいは論理的に批判する事ができるかを重視したい。その具体的方法に関しては、授業の中で逐次教授する。

## 成績評価の方法

出席30%、中間試験（小論文）35%、期末試験（小論文）35%の総合点で評価する。

## 教科書

教科書は講義初日に配布するシラバスにて指示する。

## 参考書等

参考書等は講義初日に配布するシラバスにて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想（前期）	とよた ちよこ 豊 田 千代子	国 文 Ⅱ 選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読んでみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉 『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想（前期）	きたむら みつこ 北 村 三 子	国文・英米文・地理・地文・環境・歴史・選	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものをいくつか取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周知的だった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（あるいはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想（前期）	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	地理・文化・環境・歴史・社会・福祉・心理選	2

**講義のねらい** 私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

**講義の内容・授業スケジュール** とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
・近代社会と教育  
・学校という場

**履修上の留意点** 自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

**成績評価の方法** 学期末試験により評価する。

**教科書** 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

**その他** この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想（前期）	萩原 建次郎 <small>はぎわら けんじろう</small>	英米文・福祉・心理選	2

**講義のねらい** この授業を通し、「私」とのかかわりにおいて「学ぶこと」「生きること」をとらえ直す機会をもちたい。そのために自らの学校教育体験を、人間形成の大きな流れ、ライフサイクルという視座から問い直すこと。そこから、自らの学校教育体験に依拠しながら暗黙のうちに意味付けてしまっている「教育」や「学習」について相対化する視点と感性を養いたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

- ①学習体験をふりかえるー「学び」のマップづくり
- ②人間形成のプロセスをふりかえる1ー私のライフライン
- ③人間形成のプロセスをふりかえる2ー「学び」の自分史
- ④人間形成のプロセスを考える1ーライフサイクル論の検討
- ⑤人間形成のプロセスを考える2ー教養小説にみる人生のプロセス
- ⑥人間形成に関わる「重要な他者」を考えるー子育てエージェントの歴史と現状
- ⑦あらためて私・学校・教育・学習を考える

**履修上の留意点** この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業への積極的な参加姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

**成績評価の方法** 小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

**教科書** とくに使用しない。

**参考書等** そのつど紹介する。

**その他** この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会（後期）	とよた ちよこ 豊田千代子	国文 2 選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。また、障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会（後期）	きたむら みつこ 北村三子	国文・英米文・地理・教文・環境・歴史・選	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……不登校その他の具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（またはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会（後期）	伊藤 茂樹	地理・経済・歴史・社会・福祉・心理選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会において学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
 ・現代の教育問題  
 ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がけること。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会（後期）	萩原 建次郎	英米文・福祉・心理?選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場
- ②「居場所」の意味を読み解く
- ③子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤「居場所」に関わる指導者論
- ⑥「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著 『子ども・若者の「居場所」の構想—「教育」から「関わり」の場へ—』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著 『子ども・若者の居場所』（萌文社）  
 ロジャー・ハート著 『子どもの参画』（萌文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学（前期）	おおはま きくこ 大 浜 幾久子	国文・英米文Ⅰ選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

リポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学（前期）	やまもと まさと 山 本 政 人	国文・英米文Ⅰ選	2

講義のねらい

児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達とは何か ②発達の要因 ③発達理論 ④人格発達 ⑤認知発達 ⑥学習理論 ⑦学習の要因 ⑧発達と学習 ⑨発達と教育 ⑩発達・学習と臨床

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。  
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学（前期）	すみのぜんじ 角野善司	文学部全学科選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育場面に對して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたっての1つのヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下を中心テーマとして進めます。
- ①人間の生涯にわたる発達
  - ②生徒の学習、および学習に対する教授過程
  - ③学習への動機づけ
  - ④教育場面における評価の目的やあり方

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意思で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席するのはもちろんのこと、受け身で授業を聴くのではなく、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。ただ毎回教室にいるというだけでは単位が取れません。また、教養教育科目としても履修可能ですが、それらの学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で、受講したい人は受講してください。

成績評価の方法

出席・授業内課題・学期末テスト・学期末レポートの4つから、評価する予定です。免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準は甘くするわけにはいきません。したがって、4つのうちどれか1つでも合格水準に達していなければ、単位を与えません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習（後期）	おおはまきくこ 大 浜 幾 久 子	国文・英米文1選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』 文部科学省  
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。  
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習（後期）	やまもと まさと 山 本 政 人	地理・歴史・環境・福祉・社会・福祉・心理選	2

講義のねらい

児童・生徒の学習のメカニズムを踏まえ、学習指導とカリキュラムのあり方、学習の評価、学習の障害とその指導、教育相談等について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①学習のメカニズム ②学習と動機づけ ③学習方法 ④学習の評価 ⑤学習の障害と指導  
⑥不適応の心理と教育 ⑦教育相談 ⑧学級集団 ⑨カリキュラムと学習 ⑩教師の役割

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

そ の 他

講義形式を中心とするが、可能ならば討論を行いたい。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。

前期、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習（後期）	すみの ぜんじ 角 野 善 司	文学部全学科選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラム編成を中心テーマとして取上げ、それが生徒の学習をどう導いていくかを検討していきます。自分が受けてきた教育がどのようなカリキュラムに則って行われていたのかを省みつつ、これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意思で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席するのはもちろんのこと、受け身で授業を聴くのではなく、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。ただ毎回教室にいるというだけでは単位は取れません。また、教養教育科目としても履修可能ですが、それらの学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で、受講したい人は受講してください。

成績評価の方法

出席・授業内課題・学期末テスト・学期末レポートの4つから、評価する予定です。免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準は甘くするわけにはいきません。したがって、4つのうちどれか一つでも、合格水準に達していなければ、単位を与えません。

教 科 書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参 考 書 等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよんさん 炳 三	地理・人文・経済・歴史・社会・福祉・心理学	4

講義のねらい

社会学が対象とする領域は「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「思想」「文化」など様々である。このような領域において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ② 経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③ 社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④ 若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔社会生活を考える〕	おぼた かず 小 畑 和	国文・英米文選	4

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育・・・等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いつながら次の7つの要因について講義する。

- ①マクロ的要因（現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会（少子社会）を総合的に講義する。）
  - ②誕生に関する要因（出生・墮胎・殺見・・・）
  - ③幼児・子供の成長に関する要因（育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学・・・）
  - ④家庭生活に関する要因（核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大・・・）。
  - ⑤消費生活に関する要因（広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題・・・）
  - ⑥会社生活に関する要因（入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊・・・）
  - ⑦老後の生活に関する要因（年金、介護、生きがい、死の問題・・・）などを講義する。
- この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

その他

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。またビデオの使用あり。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	いなほ としお 稲 葉 敏 夫	文学部全学科選	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』（共立出版）2,100円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらい。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 〔文化と人間〕	さ と う の り あ き 佐 藤 憲 昭	地理・地文・環境・社会・福祉・心理理	4

講義のねらい

文化人類学は、日本を含む世界のさまざまな民族の文化や社会について比較研究をする学問である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするのである。国際化時代が到来している現在、異文化を理解することは必須の事柄といえよう。異文化の理解はまた自文化の理解を深めることでもある。こうした問題意識から、この講座では、内外の事例をできるだけ多く取り上げて、分析・比較・考察を行い、文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

かつて、狼に育てられた二人の少女がインドで発見されたことがあった。狼に育てられた子供たちと、人間に育てられた子供たちを比較してみると、文化を所有している人間の特質が浮き彫りにされてくる。わかりやすい事例を取り上げて、文化と人間との関係をさまざまな角度から考える。

つぎに、文化人類学の学問の特徴、対象、方法、歴史などについて具体的に解説し、さらに、家族、婚姻、親族、呪術-宗教的な観念や行動などの問題を取り上げて、「人間とは何か」という問題に接近してみたい。

履修上の留意点

夏期休暇中に文化人類学に関する本の感想文を作成してもらうが、その提出は4年生のみとする。また、抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には筆記試験で評価するが、試験の結果が59点以下の場合には、感想文の点数または出席状況を考慮して総合的に評価する。

教 科 書

村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』有斐閣Sシリーズ（有斐閣）

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔文化と人間〕	ふじさき やすひこ 藤 崎 康 彦	英米文・歴史選	4

講義のねらい

文化人類学は「人」の概念に注目しつつ文化の多様性と普遍性を理解しようとする。本講義では (A) 性と年齢による人のカテゴリーに関心を払うこと (B) 日本の民俗に注意して我々自分の姿を理解しようとする (C) 親族や婚姻など社会構造の知識をえること、を重点としてプログラムを組む。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容としては次のような項目を予定している。但し順序は不同であり、量も同等ではない。

文化とは何か  
文化と分類  
親子の絆とは何か  
キンドレッドの構造  
婚姻  
子をもつことと新しい生殖工学  
母であること、父であること  
男性と女性  
性と年齢に基づく集団  
日本の民俗社会の事例における性と年齢  
ジェンダーからみた伝統社会  
ジェンダーからみた近代社会  
人のカテゴリーと人格の概念  
「つながり」の呪術  
文化とコミュニケーション

履修上の留意点

質問は歓迎するが私語その他授業の妨げになる行為は厳しく対処する。

成績評価の方法

基本的に学年末の試験で評価するが、授業時のミニ・テスト、小論文提出、出席点なども加味して評価する。

教科書

一冊のまとまったものはないので用いない。講義の基本となるプリントを用意し、それに依拠して進める。

参考書等

トピックごとにできるだけ多くの参考文献をプリントで紹介する。

その他

基本的には講義形式であるが、できるだけ「双方向的」な運営にする。受講生の数によっては講義と対論を組み合わせ、学生が主体的に学習できるよう心懸ける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 〔文化と人間〕	かじさき やすひこ 藤 崎 康 彦	国 文 選	4

社会分野

講義のねらい

文化人類学全般に渡り概説的な講義を行う。ヒトは生物学的な共通性を持ちながらも文化を身につけることで多様な生活を組み立てて来た。「文化と人間」についてその「普遍と特殊」の観点から考えたい。私の研究上の背景は心理人類学的なものであるので、文化を様々なコミュニケーションとしてみる立場から説きたい。同時に社会人類学的な考え方もバランス良く取り込みたい。又、日本の民俗文化を人類学的な広がりで見ながら考える時間も適度に組み込むことを考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 次の項目の中から講義をする。
1. 文化の概念
  2. 言語とコミュニケーション
  3. 家族・親族・婚姻
  4. 妖術・呪術・シャーマニズム
  5. 心理人類学
  6. 経済の技術・生活の技術
  7. 法と政治の人類学
  8. 日本の民俗文化再考
  9. 性と年齢による社会構造
  10. ジェンダーと文化
  11. その他のテーマ

履修上の留意点

質問や意見は歓迎する。積極的に参加していただきたい。しかし私語等の身勝手な行動には極めて厳しい態度で臨む積もりである。

成績評価の方法

基本的に学年末のテストに基づいて評価を行うが、随時行うミニテストの成績や出席状況も一定の範囲で反映させる。学習状況が思わしくない学生にはレポートを特別に課することもある。

教 科 書

特になし。講義にはプリントを用意する。

参 考 書 等

テーマごとの参考文献は各回の講義時に紹介する。

そ の 他

- ・ビデオ等の映像資料は随時用いる。
- ・講義の項目は予定であり、総てを同じ比重で講義するわけではない。今年度は上記の中から3、4、9、10などに力点をおいて講義するつもりである。
- ・成績評価は「加点法」で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	わ ち け い い ち 和 知 恵 一	国文・英文・地理 地文・環境 歴史	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業中では、「三茶の駄頭で『うまい儲け話がある』とさそわれ、出資金の手付として1万円を払ってしまった。後で冷静に考えると失敗したと思う。この契約の効力はどうか、どうしたら『手付け金』を返してもらえるか」など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。さらに、たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、よりup to dateな話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいつさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

法学・憲法（新版） 小林弘人・松村格編著（八千代出版）  
ポケット六法（平成14年版） 塩野宏等編（有斐閣）  
※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

トピックスくらしの法 大久保治男監修（芦書房）  
その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日に受講票を提出してもらう。特別の事情のない限り、初回から出席のこと。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	けい とく ひろ とつ 鶏 徳 啓 登	社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国内的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。

本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。

(1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異  
(4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論 (7) 法と裁判  
憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

(1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質 (4) 現憲法の原則  
基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類 (6) 各種基本的人権の内容 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用 (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 〔法と権利〕	しげ の たか はる 茂 野 隆 晴	国文・英米文選	4

講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成べく平易な説明をなすことよって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。

後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日々に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。

さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 4・5月 ○法とは何か ○法の種類 ○法源 ○法の生成（日本法の歴史） ○法と裁判の基礎知識 ○国家の基礎知識

6・7月 ○民法と商法の考え方 ○裁判法、刑法、社会法の考え方

後期 9・10月 ○憲法とその原理について ○基本的人権の保障

11・12月・1月 ○統治機構について ○年間のまとめ

履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

教科書

大久保治男監修『トピックスくらしの法』（声書房刊）2,500円

参考書等

○小型の六法、そのほかは、ばあいにより、指示しよう。

その他

授業の方法は講義です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法〔法と権利〕 (夏季集中)	にし 西 おさむ 修	全 学 科 選	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要がありますと思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切に授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。  
前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%  
要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

教 科 書

開講時に指示。

そ の 他

授業日程  
法学・憲法〔法と権利〕

前半							後半								
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○		8月20日	火	△	△	△	△	△	
8月2日	金	○	○	○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木	○	○	○	○	○		8月27日	火						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	とみざき 富 崎 たかし 隆	国文・英米文・地理・地文・環境選	4

講義のねらい

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがある。米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったとする論者は多い。しかし、世界政治の方向性がはっきりとしている訳ではない。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通している。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起る事件の本当の意味は理解できない。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となる。政治学を学ぶ基本的な意義もここにある。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したい。講義は、大きく「マクロ政治学」、「ミクロ政治学」、「国際政治学」3部に分かれる。講義全体として、特に現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとしていきたい。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化が現代政治と政治学にどのように影響を与えるかについても検討していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I マクロ政治学－国家と自由民主主義体制の枠組み－
  - 1. 政治・権力・国家の意味
  - 2. 望ましい「国家」のあり方（1）；国家の仕事の範囲
  - 3. 望ましい「国家」のあり方（2）；国家の運営方法
  - 4. 自由民主主義体制の意味
  - 5. 民主化と体制変動
  - 6. 自由民主主義体制の比較枠組み
- II ミクロ政治学－自由民主主義体制の作動メカニズム－
  - 1. 政党と政党制
  - 2. 有権者の投票行動と選挙
  - 3. 官僚制と議会
  - 4. 利益集団とマスメディア
  - 5. 中央地方関係
- III 国際政治学
  - 1. 国際政治の意味
  - 2. 国際政治の主要理論潮流
  - 3. 日本の外交政策
  - 4. 冷戦後の世界政治展開をみる新視点

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

青木・大谷・中邨編『国家のゆくえ－21世紀世界の座標軸－』（芦書房）2001年

参考書等

適時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	た ま る だい 田 丸 大	歴史・社会・福祉・心理選	2

講義のねらい

小泉純一郎内閣の出現以降、日本の政治は様々な面で国民の注目を浴びている。また制度改革の時代にあつて、西欧諸国への追い付き型近代化を推し進めることに大きく貢献したこれまでの政治や行政の仕組みが大きく変わろうとしている。このような時代状況にあつては、国民一人一人が現状を的確に捉え、これからの日本が進むべき方向についてしっかりとした意見を持つことがとりわけ重要である。

本講義においては、改革の時代にあつて、日本の政治や行政を的確に観察するための思考道具を提供することを主な目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（内容の詳細・スケジュール等は講義後に知らせる）。

- 1 現代日本の政治と行政、2 議院内閣制の制度適用、3 ガバメントからガバナンスへ、4 近年の日本における制度改革（地方分権、規制緩和、省庁再編等）等

成績評価の方法

基本的に、2度の期末試験で評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

講義の中で、適宜指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学 〔現代社会と市場経済〕	は た な か たかし 島 中 貴	物理・地文・地誌・歴史・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（マクロ経済学・ミクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

授業は基本的に教科書に沿って行う。1年かけて1冊を終える予定である。前期はマクロ経済学、後期はミクロ経済学を扱う。マクロ経済学では、失業、インフレーション、経済成長についての議論を行う。ミクロ経済学では、個々の家計や企業が行っている経済活動に着目しながら、それらが市場を通してどのように関わりあっているかということについて議論する。

数学の使用は最小限に抑える方針である。数学の知識は前提としない。

履修上の留意点

抽象的な理論の内容は、一度説明を聞いただけではなかなか頭に入らない。経済理論を理解し、現実経済を見る目を養うためには、根気よく予習・復習をを行い、演習問題に頭を悩ませることが肝要である。

成績評価の方法

基本的に2度の期末試験の総合評価

教科書

伊藤元重著『入門経済学』第2版（日本評論社）3,000円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学 〔現代経済と人間〕	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	国文・英米文選	4

社会分野

講義のねらい

現代経済のしくみの概観し、あわせて現代経済の諸現象を人間の目とおしてながめること。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容として以下を予定していますが、受講者の希望により随時追加・割愛します。

《前期》現代経済の基本的なしくみ：◇資本主義経済のしくみ、◇資本主義の前史、◇等価交換のもとで利潤はなぜ生まれるか、◇価格のメカニズム、◇なぜ違う先進国と後進国の価格格差、◇景気循環のメカニズム、◇技術革新と構造的転換、など

《後期》人間の目とおして現代経済をながめる：◇制度と人間 人間にとって大切なものは人間そのもの、◇要らないものまで欲しがらる——働きすぎの構図、◇クルマ社会の問題点、◇戦争と経済◇大量生産・大量販売・大量消費・大量廃棄の経済、◇食料と資源、◇適度な規制かそれとも自由と規制緩和か、◇いつおこってもおかしくない国際金融恐慌、など

履修上の留意点

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげます。毎回の講義では、まず、テーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。

成績評価の方法

年間をおして随時、受講者のみなさんに小論を書いてもらい、それをもって成績評価をします。この平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しない方向です。また、この成績評価のためまえから、再試験も実施いたしません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。日々のニュースとみなさんの周囲にあるさまざまな文献の全体が、いわばテキストです。よい文献などの紹介は随時いたします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいし ゆうじ 大石 雄 爾	全 学 科 選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出していません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることをとおして、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。複雑きわまりない現代社会の諸問題の原因をさぐり、問題解決への展望をさし示すことが求められている、とあってよいでしょう。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械成大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきました。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げて、現代的な意味について考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展と社会思想
3. 社会科学の生誕：ホッブスとロック
4. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても、随時とり上げてみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことではじめて社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。追再試を実施します。

参 考 書 等

- 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）  
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）  
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）  
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎほり すがこ 柳 堀 素雅子	全 学 科 選	4

講義のねらい

20世紀は医療が急速に進歩した時代であった。医学、医療が進めば、病気の治療も進み、これまで治療不可能と考えられてきた病気が、どんどん治療可能になってきた。現代医療のメリットだけを見ていれば夢と希望にあふれているが、デメリット、現代医療の影の部分、悪い部分にも目を向けることを忘れてはならないだろう。

たとえばヒトゲノム（人間の全遺伝子）が解読されたことは、オーダーメイド医療の普及や新薬の開発につながる可能性は大きい。しかし遺伝子情報は個人のプライバシーに触れるため、情報の管理がきちんとしていなければ重大な人権侵害となる。あるいは「脳死は死である」という社会的な合意が成立していない現時点で、脳死になった人からの臓器を勝手に摘出して他人に移植することは許されない。また植物状態になった人の人工呼吸器ははずしてもいいのか否かといった問題などもある。

現代医療の進歩にともなって、人間の生と死をめぐる新たな問題が噴出してきた。いずれも根本的解決には至っていない。以上のような人間の生と死をめぐるさまざまな問題について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

現代の医療をめぐる状況  
バイオエシックスとは何か  
生命をめぐる新しい視点  
人権の保護と生命の尊厳との相剋など

履修上の留意点

新聞等の医療問題記事には、なるべく目を通して欲しい

成績評価の方法

出席、レポート提出等を総合的に評価する

教 科 書

なし

参 考 書 等

必要なものをその都度紹介します

そ の 他

授業の方法－講義、ビデオ、OHP、討論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育心理 〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	の な か ひ ろ と し 野 中 弘 敏	全 学 科 選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理—社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参 考 書 等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生態と進化〕	しみず よしかず 清 水 善 和	地理・地文・環境 歴史・社会 福祉・心理	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20 mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化-我ら生物みな兄弟
  - (1) 生命の歴史性
  - (2) 遺伝子と生命現象
  - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化-偶然と必然が織りなす奇跡
  - (1) 地質年代図
  - (2) マーグリスの共生説
  - (3) カンブリアの爆発
  - (4) 大量絶滅
  - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類-名もなき雑草はない
  - (1) リンネ式分類体系
  - (2) 生物五界説
  - (3) 種の定義と属性
  - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化-生物は誰がために生きるか
  - (1) 動物行動学の歩み
  - (2) 適応度とゲーム理論
  - (3) 利他的行動と血縁淘汰
  - (4) 性選択と性比
  - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学-産めよ殖えよ地に満てよ
  - (1) 潜在的な増殖率
  - (2) 密度効果
  - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争-出し抜きながら深い仲
  - (1) 種間関係と共生
  - (2) 花と昆虫の共進化
  - (3) 菌根
  - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化-ヒトは唯一の生き残り
  - (1) 霊長類の系統
  - (2) ヒトの発展段階
  - (3) ホミニゼーション (ヒト化)
  - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論-進化論も進化する
  - (1) ダーウィン以前
  - (2) ダーウィン進化論
  - (3) ネオ・ダーウィニズム
  - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系-命は無数のつながりの中で
  - (1) 生態系 (エコ・システム)
  - (2) 食物連鎖と生物濃縮
  - (3) 光合成と呼吸

自然分野

- (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環-元素はめぐるよどこまでも
  - (1) 物質循環の大原則
  - (2) 水の循環
  - (3) 炭素の循環
  - (4) 窒素の循環
  - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移-裸地もいずれは森林に
  - (1) 遷移のモデル
  - (2) さまざまな遷移
  - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性-多様な世界に未来あり
  - (1) 3つの多様性
  - (2) 多様性の尺度
  - (3) 生物地理区と植生帯
  - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物-生物界のグローバリゼーション
  - (1) 里山の生物
  - (2) 都市と生物
  - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート、試験、出席を勘案して評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生物と環境〕	なかむら としえ 中 村 敏 枝	国文・英米文選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは羅病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたために生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに 地球の歴史・生命の誕生
2. 生物の生活
  - a. 生命の維持
  - b. 植物の物質生産
  - c. 植物の生産過程
  - d. 植物の相互作用
  - e. 植物群落の遷移
  - f. 動物の個体群
  - g. 個体群の内部構造生殖行動
  - h. 生殖行動
  - i. 動物の種間関係
3. 生態系
  - a. 物質循環とエネルギーの流れ
  - b. 生態系の安定性
4. 人間の活動と地球環境
  - ・化学物質の功罪
    - a. 化学物質と生物
    - b. ダイオキシン
    - c. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
  - ・生物工学
    - d. 遺伝子組み換え生物
    - e. クローンと動物工場
    - f. 生殖医療
  - ・地球環境問題
    - g. 開発による自然の改変
    - h. オゾン層の破壊
    - i. 地球温暖化
    - j. 原子力利用の諸問題
    - k. 食料と人口・人類の未来

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科はじめ各教科の知識を本講義の前提とする。  
意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔変動としての日本列島〕	ふ じ い 藤 井 享	国 文 選	4

#### 講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

自然分野

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

#### 履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

#### 成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977  
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

#### その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔古環境の復元〕	いごうひさよし 猪郷久義	英文・地理・地学・社会・福祉・心理	4

自然分野

講義のねらい

現在の地球上の自然環境は46億年に及ぶ悠久の地球史がたどった古環境の一断面である。まず現代の地球観を通してグローバル規模の自然環境全般と、災害・資源・環境の科学としての地学を考察する。次いで地球史の古環境を具体的に復元し、特に生物が関与してきた地球環境変遷史を探究し、今日の環境問題への関与について理解を深めると共に将来を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

現代の地球観（地球の姿地球上に働く力、大陸移動説とプレートテクトニクス）  
 災害と防災の地学（ハザードマップ、地殻変動、地震とその予知、火山災害と恩恵、海水面変動、気候災害と気候変動）  
 資源の地学（観光の地学、アウトドアライフの地学、水資源の地学、鉱物資源、金属・非金属資源、化石燃料、資源の偏在性と将来性）  
 古環境の復元法（地質・地形と古環境、地層と古環境、化石と古環境）  
 古環境変遷史（地球史の編年、地球の誕生と生命の起源、原始地球の自然環境、二酸化炭素と酸素の起源、先カンブリア時代の生物進化、性の起源と多細胞生物の出現、無脊椎動物の発生と爆発的進化進化の実験場、脊椎動物の発生と上陸、植物の上陸戦略、緑の大地の出現と石炭、古生代末の危機到来と生物大量絶滅、ジュラシックパークの自然環境、中生代末の危機と生物大量絶滅、哺乳類の繁栄、人類と氷河時代、縄文海進と縄文文化）  
 地学と人間生活（環境・資源・防災の地学と21世紀の展望）

履修上の留意点

質疑応答や討論の時間を設け、活発な意見交換をする一方通行でない講義としたい。個々の学生が授業に積極的に直接参加するという意識をもって欲しい。

成績評価の方法

論述試験の予定。

教科書

特に定めない。

参考書等

その都度指示し推薦する予定。

その他

講義形式であるが、必要に応じてスライド、OHPを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた 山 縣 たけし 毅	国 文 選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化  
(地球温暖化、大気の酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害  
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔生命と環境〕	もちまる 持 丸 ま り 真 里	英米文地理・地文・環境・歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説する。  
後期は、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。

- ①生態系の化学物質汚染：有機塩素系化合物の生物濃縮  
内分泌攪乱物質  
オゾン層破壊
- ②生物の多様性の危機：熱帯林の破壊  
近代農業・林業の問題点（自然科学の観点から）  
これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教 科 書

なし

参 考 書 等

大石正道 『入門ビジュアルエコロジー 生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）  
1,500円  
その他、講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔自然史と環境〕	ふ じ い すずむ 藤 井 享	国 文 選	4

講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約170万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この170万年間には少なくとも6回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約12,000年前にはじまり約1万年前までの62,000年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の、最後の氷期が終わったのはごく最近のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、東の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約2万年前から約18,000年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約3倍にあたるおよそ4,9000万km<sup>3</sup>もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯40°以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは下記のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷高緯度地域の気候
- ③ 日本列島周辺の気候と植生分布
- ④ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑤ 日本海の高緯度環境
- ⑥ 海面変動と地形の変化
- ⑦ 後氷期の自然と環境

履修上の留意点

この講義は、大気汚染、水質汚濁、地球温暖化等の「地球環境問題」を論ずるものではなく、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。

講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

そ の 他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (夏季集中) 〔環境と保全〕	やまがた 山 縣 毅	全 学 科 選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化  
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害  
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程  
自然環境論

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

△は予備日



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然誌 (2) 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真理・山縣 毅	文学部全学科選	4

### 講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてはしい。

### 講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄  
 (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）  
 (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）  
 (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）  
 (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）  
 (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和  
 (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）  
 (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）  
 (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）  
 (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅  
 (1) 地球環境の変遷（プレュームテクトニクスからプレートテクトニクス）  
 (2) 地震のメカニズムとその災害  
 (3) 火山活動のメカニズムとその災害  
 (4) 大陸移動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真理  
 (1) 化石燃料の消費と大気の変化（地球温暖化、大気汚染）  
 (2) 環境問題の歴史（公害から環境基本法制定まで）  
 (3) 石油化学工業の発達と生態系への影響  
 (4) 未来へ向けて-石油代替エネルギーの開発とその評価

### 履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

### 成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

### 教科書

特になし。

### 参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学(1) 〔微積分学入門〕	おざわ まこと 小 沢 誠	全学科選	4

## 講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

## 履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

## 成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

## 教科書

石村園子『やさしく学べる微分積分』(共立出版) 2,000円

## 参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微分積分』(共立出版) 2,000円

## その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学(2) 〔線形代数学入門〕	おざわ まこと 小 沢 誠	全学科選	4

## 講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

## 履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

## 成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

## 教科書

石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,000円

## 参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微分積分』(共立出版) 2,000円

## その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数学(3) 〔現代数学入門〕	ふく だ けん い ち 福 田 賢 一	全 学 科 選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会現象に应用例を求め具体的事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実際的な応用力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. 論理の基礎
2. 論理の応用
3. 線型代数
4. 線型計画法
5. 幾何学
6. 微分法
7. 積分法
8. 微積分法とその応用
9. 確率現象とその捉え方
10. 種々の応用

履修上の留意点

高校2年程度の平均的な学力があれば十分理解できるが、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な事項を確実に理解する必要がある。

成績評価の方法

期末試験、レポート、小テスト等の結果を総合的に判定する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報数学 〔情報と論理〕	た か は し か ず よ し 高 橋 一 嘉	全 学 科 選	4

講義のねらい

コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際に必要な基礎数学を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は初歩的な初等整数論から始めて、公開鍵暗号のひとつであるRSA暗号について解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は原則として前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教科書

楯 元著『情報数理解シリーズA-5 工科系のための初等整数論入門—公開鍵暗号をめざして—』(培風館)2,400円を使用する。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物理学 〔光と物質〕	しのはら まさお 篠原正雄	文学部全学科選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定されず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことにある。数式は物理学に不可欠な言葉ではあるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光

光線 影 鏡 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

色とは何か

色即是波長？ 虹は七色か 三原色 茶色い光の波長？

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気 電波望遠鏡 X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。

履修上の留意点

成績評価の方法

数回のテストを含む平常点を主に評価する。ただし、単位取得を希望する者は簡単な期末試験も受けていただく。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円。その他、講義の中で適宜紹介する。

その他

講義を中心とするが、理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
化学(2) 〔衣食住の化学〕	もちまる まり 持丸真里	全学科選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維  
合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む）  
食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題  
内分泌攪乱物質  
フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのはら まさお 篠原正雄	文学部全学科選	4

講義のねらい

観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。本講では現代の天文学が描く宇宙の研究の手法と併せて紹介する。

宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星について講義する。初めに最もよく知られた恒星である太陽について、構造やエネルギー源を調べる。次に恒星一般について、研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化についてのべる。最後に、太陽系の起源について最近の説を紹介する。

後期は銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた恒星の進化を銀河系の進化の側面から捉えなおす。

星と銀河についての知識はほとんどすべて20世紀になって明らかにされたものである。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験による。平常点を加味する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) [コンピュータの実際] (前期)(後期)	お ざ わ 小 沢 誠	文学部全学科選	2

## 講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及びCSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学ぶ。HTMLでは基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

## 履修上の留意点

毎回出席すること。

## 成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

## 教 科 書

HTML 4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

## 参 考 書 等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

## そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (2)(7)(23)(24) [コンピュータの実際] (前期)(後期)	やまもと ひろのぶ 山 本 博 信	文学部全学科選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた”コンピュータリテラシ”および”情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理加工して利用することができる。(1)表現手段としてのコンピュータ、(2)情報処理手段としてのコンピュータ、(3)コミュニケーション手段としてのコンピュータ、それぞれについて実習を通じて理解を深める。電子メールやWWWなどのインターネットのサービスを、できる限り具体的に技術的・倫理的側面などを加味した上で活用する。

- ・コンピュータによる情報処理
- ・コンピュータ・リテラシの理解
- ・Windowsの環境(個人情報の自己管理)
- ・電子メールの利用
- ・文章の作成技法(自己の主張と他社の発言の区別、引用などのスタイル)、文章の編集
- ・文章の構成(構造的文書作成とドキュメント管理)
- ・インターネットの基本
- ・Webページの作成
- ・インターネットの諸サービス
- ・インターネットの利用(情報収集と文書作成)
- ・情報発信の法的・倫理的責任(知的財産権、個人情報保護法、モラル)

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

未定

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	文学部全学科選	2

## 講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

## 履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。利用申請は、授業の中で適宜行う。

## 成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

## 参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

## そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (5)(10) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	たけだ よういち 竹 田 洋 一	文学部全学科選	2

## 講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)で主としてワープロソフト(WORD)と表計算ソフト(EXCEL)を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

## 履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習(自宅または情報センターの自習室などのパソコンで)を並行して行うことが強く望まれる。

## 成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

## 教 科 書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

## 参 考 書 等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	たけだ よういち 竹 田 洋 一	文学部全学科選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OSはWindows) で主としてワープロソフト (WORD) と表計算ソフト (EXCEL) を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習 (自宅または情報センターの自習室などのパソコンで) を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

その他

授業日程  
コンピュータ基礎 (15)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木			○	○	○		8月20日	火						
8月2日	金			○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月			○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火			○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水			○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木			△	△	△		8月27日	火						

△は予備日

コンピュータ基礎 (11)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○				8月20日	火						
8月2日	金	○	○	○				8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○				8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○				8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○				8月26日	月						
8月8日	木	△	△	△				8月27日	火						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	おざわ 小 沢 まこと 誠	文学部全学科選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及びCSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学ぶ。HTMLでは基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教 科 書

HTML 4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (12)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○					8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○					8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○					8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○					8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○					8月26日 月							
8月8日 木	△	△	△					8月27日 火							

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (16) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	た か は し か ず よ し 高 橋 一 嘉	文学部全学科選	2

自然分野

講義のねらい	コンピュータに対する基礎知識を習得し、基本的なソフトウェアやHTML言語の実習などを通じて、コンピュータでの情報処理能力を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	コンピュータに対する基礎知識（構成要素・動作原理等）の解説から始めて、ハードウェアとソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング等の簡単な解説をし、それぞれについてコンピュータを操作する実習を行う。具体的には、基本的なソフトウェア（ワープロ、表計算、インターネットアクセス等）とHTML言語の実習及び簡単なプログラミングの演習を行いたい。
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、集中講義なので講義には毎日必ず出席すること。 講義開始日までに駒澤大学総合情報センターのコンピュータ利用申請を済ませておくこと。 なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。
成績評価の方法	評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。
教科書	必要に応じて適宜指定する予定である。
参考書等	必要に応じて紹介する予定である。
その他	実習のため計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (16)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山 本 博 信	文学部全学科	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“コンピュータリテラシ”および“情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理加工して利用することができる。電子メールやWWWなどのインターネットのサービスを、できる限り具体的に技術的・倫理的側面などを加味した上で活用する。あらかじめ収集、蓄積した情報を分析することによって問題を解決する（グループ演習によって行う）。

- ・コンピュータによる情報処理
- ・コンピュータ・リテラシの理解
- ・表計算処理の概念
  - (1) 行・列の計算 (2) ファイル形式 (3) 並べ替え、平均、集計、分散 (4) データの視覚化 (5) 統合的利用（ワープロ文書への表・グラフの埋め込み） (6) マクロ機能
- ・Windowsの環境（個人情報の自己管理）
- ・電子メールの利用
- ・インターネットの利用（情報収集と文書作成）
- ・Webページの作成（内容の構造化、表現および技術）
- ・情報発信の法的・倫理的責任（知的財産権、個人情報保護法、モラル）
- ・情報生産のプロセスの演習
  - (1) 演習の方法 (2) メディアを利用したグループ演習 (3) 情報システムの活用について

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (13)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○					8月20日 火							
△8月2日 金	△							8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○					8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○					8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○					8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○					8月27日 火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (17)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火	○	○	○				
8月2日	金								8月21日	水	○	○	○				
8月5日	月								8月22日	木	○	○	○				
8月6日	火								△8月23日	金							
8月7日	水								8月26日	月	○	○	○				
8月8日	木								8月27日	火	○	○	○				

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (14) (18)(19)(21) [コンピュータの実際] (夏季集中)	ながさか ひろふみ 長 坂 浩 史	文学部全学科選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握、一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、社会に出たとき必ず要求されると思われる「入手した情報を自分なりに整理し、体裁を整えて他者に伝える」ということの基礎を学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OSはWindows) を使用し、実習を行う。ワープロソフト、表計算、データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらうつもり。この資料はウェブページの体裁で作成してもらうので、ウェブページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。  
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。  
課題は基本的にファイルの形で提出してもらう予定だが、各自バックアップ用に、初日からフロッピーディスクを持参すること。

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。  
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評価はつかないと思ってよい。

教 科 書

前半は主に情報教育センターから配布されるガイドに沿って実習を行うが、その場で簡単な資料を配布する予定。

そ の 他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (14)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○					8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	△	△	△					8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (18)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (19)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火	△	△	△				
8月2日	金								8月21日	水	○	○	○				
8月5日	月								8月22日	木	○	○	○				
8月6日	火								8月23日	金	○	○	○				
8月7日	水								8月26日	月	○	○	○				
8月8日	木								8月27日	火	○	○	○				

△は予備日

コンピュータ基礎 (21)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火				△	△	△	
8月2日	金								8月21日	水				○	○	○	
8月5日	月								8月22日	木				○	○	○	
8月6日	火								8月23日	金				○	○	○	
8月7日	水								8月26日	月				○	○	○	
8月8日	木								8月27日	火				○	○	○	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (20)(22) [コンピュータの実際] (夏季集中)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	文学部全学科選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をして、電子メールのアドレスを取得しておくこと。

成績評価の方法

授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (20)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○					8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	△	△	△					8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (22)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ応用 (1)(2) 〔コンピュータの原理〕	いまいずみ 今 泉 じかん 淳	文学部全学科選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を目的に応じて組み合わせること（これを「プログラミング」とよぶ）が必要になる。そこでプログラミングの基礎を学ぶ。また、特定の問題を解決するためには「解決の手順」が必要になるが、同じ問題であっても異なる「解決の手順」があり、それらの比較を通じて「効率の良い解決手段」について学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しないが、必要最低限のコンピュータの操作（ウインドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。なお、駒澤大学の総合情報センターの利用申請と電子メールのアカウント取得は必須である。また、プログラミングで使用するコンピュータ言語はPascalである。本授業は一回でも欠席すると以後の授業についてこれなくなる可能性が非常に高く、欠席は厳禁である。

成績評価の方法

毎回の出席と適宜出題されるレポート課題の点数の総合評価によって行う。

教 科 書

山崎秀記『Delphiによるプログラミング入門』（培風館）2,100円

参 考 書 等

随時紹介する。

そ の 他

授業は全て実習形式で、計算機室で行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人類学 (人類の進化)	えんどう ばんり 遠 藤 萬 里	文学部全学科選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教 科 書

遠藤萬里編 『人類生物学入門』（てらべいあ）

参 考 書 等

進化については  
遠藤萬里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円 アンドリュース・ストリンガーイラス  
ト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円  
他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

そ の 他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	よこやま つよし 横 山 剛	国文・英米文選	4

講義のねらい	心理学の主要な領域・対象・方法について、基礎的な知識を解説し、人間の行動・心の動きの理解を深めるよう考えていく。
講義の内容・授業スケジュール	前半は、感覚知覚、学習、記憶、行動などを取り上げていく。そして後半は、感情とイメージ、パーソナリティ、成長と発達、心の健康などを取り上げていきたい（詳細な講義スケジュール・成績評価の方法については、最初の授業時に提示する）。
履修上の留意点	授業中、感じたこと・体験したことを書いてもらうことも予定しています。“素人考え”でよいですから、積極的に参加してください。コミットしていくことで、自分の心の動きを察知できるということもありますから。履修しようとする方は第一回より必ず出席し、教科書を持参してください。
成績評価の方法	平常点＋筆記試験
教科書	山内宏太郎ほか『はじめての心理学』（北樹出版）
参考書等	霜山徳爾編『臨床心理学』（学術図書出版）
その他	他、プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	やまぎし なおき 山 岸 直 基	地理・地文・環境・歴史・社会・福祉・心理	4

講義の内容・授業スケジュール	心理学は人間のするあらゆることについて科学的・実証的に研究する学問です。なぜ多くの大学生は試験の直前にしか勉強しないのでしょうか。なぜ徹夜でプレステをするのでしょうか。この講義では人間のするさまざまなことについての一般的な原理を講義するとともに、日常生活の中のさまざまな行動がその原理とどのように関係しているのか、また日常の問題を解決しようとするときその原理をどのように応用することができるのかについて講義します。授業スケジュールについては第1回目の授業時にお知らせする予定です。
履修上の留意点	出席はとりませんが、単位を取得するためには毎回の授業に積極的に参加する必要があります。そうすれば講義内容を理解することができます。しかし、単に出席するだけで講義の内容を理解していない場合には単位を落とす可能性があります。履修する学生はその点に注意してください。
成績評価の方法	授業内容の理解度を把握するための数回的小テストと年度末のテストによって評価します。全体の評価に対する小テストの割合は高くなると思います。詳しくは第1回目の授業時にお知らせします。
参考書等	授業時にいくつか紹介します。
その他	基本的には講義形式の授業を行います。第1回目の授業時に配るレスポンスカードを使って随時質問に答えてもらいます。これは授業内容をよりよく理解するためのものです。積極的に参加してください。また、適宜OHPやビデオを使用する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学 〔人間関係を考える〕	た か は し よ し ひ ろ 高 橋 良 博	国文・英米文選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教 科 書

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔心を科学する〕 (夏季集中)	ほりうち まさひこ 堀内正彦	全学科選	4

自然分野

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程  
心理学 (12)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火		△	△				
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅲ（２） 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざき としちろう 岡 崎 寿 一 郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって変更されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

総合分野

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅲ（３） 〔フランス現代思想〕	くわた のりあき 桑 田 禮 彰	全 学 科 選	4

講義のねらい

今日に至るまでフランスは、世界の思想界をリードしてきました。この講義では、特に二十世紀に照準を絞って、その豊かな成果を皆さんにご紹介します。重要な思想家を、おおむね時間順序に従って取り上げていきながら、時代背景も説明するつもりです。でも思想の最大の魅力は、スリリングと言ってもいいような鋭い洞察に触れる点にありますから、ときには、そうした著作の一節と一緒に読んでみましょう。また、「フランス現代思想」とは言っても、孤立しているわけではないので、ドイツ・イギリス・アメリカなど諸外国の思想について触れることもあります。わくわくするような「知の冒険」のガイドになればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義概要
  2. 生の哲学とベルクソン
  3. 実存主義とサルトル
  4. 現象学とメルロ＝ポンティ
  5. 構造主義(1)レヴィ＝ストロース
  6. 構造主義(2)ロラン・バルト
  7. 構造主義(3)ラカン
  8. 構造主義(4)アルチュセール
  9. フーコー
  10. ブルデュー
  11. デリダ
  12. まとめ
- (2～11は、各2～3回ずつを予定)

履修上の留意点

フランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の試験で行います。

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義の中で、その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ(1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明 人	全 学 科 選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Law等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

## 成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

## 教 科 書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこ 丸 小 哲 雄	全 学 科 選	4

## 講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味をこめて解釈されています。ポスト学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座(特権化された場所)を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化(帝国主義と植民地化にたいする批判)することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者(=文化)をどう捉え、どう身体的に受け止めて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における事故言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について；ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス；とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判として『道徳の系譜』を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について；合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判；外部の力と内部の力について
10. トランスモダン(横断的近代；アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナンヨナル意識とリージョナル意識との対抗性)について
11. レヴュー；冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

## 成績評価の方法

出席、ターム・ペーパー(レポート作成)などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

## 教 科 書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅴ(1) 〔イギリス文化探訪〕	かわまた ようたろう 川 股 陽 太 郎	全 学 科 選	4

#### 講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということをごく限られた時間で、しかしできる限り様々な視点から見ていこうと思う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、シェットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種的側面から理解してみるのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」(ミックスチャー)であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化(言語、風俗、習慣)と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロサクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性をその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識するということである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあつて、もっとも大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

#### 履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

#### 成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙10枚程度のもので、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には(注)を付し、書名とページ数を記入すること。

#### 教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

#### 参考書等

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラを用い、映像、写真、絵図、史料を提示しつつ講義を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅵ(1) 〔民族とは何か〕	お お の ゆ う し 大 野 祐 二	全 学 科 選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなごし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著 『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）  
吉野耕作者 『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）  
李孝徳著 『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	前 期：青 <sup>あお</sup> 柳 <sup>やなぎ</sup> かおる 後 期：吉 <sup>よ</sup> 田 <sup>ただ</sup> きょうこ	全 学 科 選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関して、日本人の知識は非常に低く、その結果誤った解釈や理解による偏見が生まれる可能性が大きい。国際社会への一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。イスラームを語る場合、あらゆる側面では、もっとも基本的な「イスラーム」という語を持つすべての領域における共通理念とも言える、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本に焦点をあてた授業を行う予定である。従って国際関係論的、政治学的、社会学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期において異なる教官による授業となるが、内容、問題意識等は一貫したものとする。前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である。クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的派分、スーフィズム等々の点から概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、基礎的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的、アプローチの前提となるような内容であるため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率と、前期の提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅵ(3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	全 学 科 選	4

#### 講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？世間の男と女の座標軸はいったいどのようにつくられているのだろうか？こうした疑問を私たちがくらししている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1年間の講義を4期にわけます。

- a ジェンダーってなんだ？  
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
- b 自分らしく働いて自分を高く売ってどういうこと？  
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？ 改正雇用機会均等法  
男も女も自分らしく働く
- c 家族ってなんだ？  
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題  
どんな家族を創りたい？ シングルの選択。
- d セクシュアリティってなに？  
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の  
考えで性をうるからいいの？人間らしい性関係ってなに？

#### 成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

#### 教 科 書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映もする。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・金子昇平 西修・王志安 小木曾綾・佐藤多美夫	全 学 科 選	4

#### 講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一様でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」金子昇平
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

#### 履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

#### 成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

#### 教 科 書

特に指定しない。

#### 参 考 書 等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅶ（２）〔都市論〕	早川 純貴・品田 知美 中野 裕二・保坂 尚郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。しかしそれは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返す都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は4名の講師により、各々6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

**早川純貴**『都市論』のガイダンス（1回/4月）

**品田知美** 「都市の変容と生活様式」（6回/4・5月）——都市には、多くの人々が集う 場として独特の社会的現実が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を主に2つの視点からたどっていく。①環境：都市の構造は、エネルギーや資源の消費と関係が深い。②家族：都市は次々と新しい家族生活のかたちを生み出してきた。変貌しつづける都市家族にみられる光と影。これら2つの視点を生活様式というキーワードで結びつけながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

**保坂尚郎** 「都市と労働」（6回/6・7月）——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の設備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

**早川純貴** 「『まちづくり』と住民参加」（6回/9月・10月）——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

**中野祐二** 「移民問題とフランスの苦悩」（6回/11・12月）——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較を試みたい。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。



### 3. 外 国 語 科 目



### 3. 外国語科目

〔英 語〕

英語	I A	( 国 )	〈井出功一〉	108
英語	I A	( 国 )	〈山口晃〉	108
英語	I A	( 国 )	〈牧野正秀〉	109
英語	I A	( 国 )	〈渡部孝治〉	109
英語	I A	( 英 )	〈市川仁〉	109
英語	I A	( 英 )	〈児林英子〉	109
英語	I A	( 英 )	〈杉村初枝〉	110
英語	I A	( 英 )	〈植村恵子〉	110
英語	I A	( 地文 )	〈井出功一〉	110
英語	I A	( 地文 )	〈吉川直澄〉	111
英語	I A	( 環境 )	〈牧野正秀〉	111
英語	I A	( 環境 )	〈児林英子〉	111
英語	I A	( 歴 )	〈岩永祥恵〉	111
英語	I A	( 歴 )	〈岩屋玉江〉	112
英語	I A	( 歴 )	〈浜田一字〉	112
英語	I A	( 歴 )	〈古富猛〉	113
英語	I A	( 歴 )	〈水崎野里子〉	113
英語	I A	( 社 )	〈木村正俊〉	114
英語	I A	( 社 )	〈平林卓郎〉	114
英語	I A	( 福 )	〈中林正身〉	115
英語	I A	( 福 )	〈植村恵子〉	115
英語	I A	( 心 )	〈梁瀬浩三〉	116
英語	I A	( 心 )	〈池上賀英子〉	116
英語	I A	( 心 )	〈風間則比古〉	116
英語	I B	( 国 )	〈藤島喬樹〉	117
英語	I B	( 国 )	〈高橋佳江〉	118
英語	I B	( 国 )	〈高橋明子〉	118
英語	I B	( 英 )	〈岡崎寿一郎〉	118
英語	I B	( 英 )	〈高橋佳江〉	119
英語	I B	( 英 )	〈亀田三重子〉	119
英語	I B	( 英 )	〈国見晃子〉	119
英語	I B	( 地文 )	〈前田脩〉	120
英語	I B	( 地文 )	〈高橋明子〉	120
英語	I B	( 環境 )	〈太田直也〉	120
英語	I B	( 環境 )	〈本間章郎〉	121
英語	I B	( 歴 )	〈高橋佳江〉	121
英語	I B	( 歴 )	〈高橋明子〉	121
英語	I B	( 歴 )	〈国見晃子〉	122
英語	I B	( 歴 )	〈太田直也〉	122
英語	I B	( 歴 )	〈三芳康義〉	122
英語	I B	( 社 )	〈本間章郎〉	123
英語	I B	( 社 )	〈三芳康義〉	123
英語	I B	( 福 )	〈高見陽子〉	123
英語	I B	( 福 )	〈沼田綾子〉	124
英語	I B	( 心 )	〈亀田三重子〉	124

英語	I	B	(心)	〈長谷川 公一〉	124
英語	I	B	(心)	〈藤島 喬樹〉	125
英語	II	A	(国)	〈田中 保〉	126
英語	II	A	(国)	〈前期：佐藤アヤ子、後期：中尾俊光〉	126
英語	II	A	(国)	〈川股 陽太郎〉	127
英語	II	A	(国)	〈杉本 誠〉	127
英語	II	A	(英)	〈古富 猛〉	128
英語	II	A	(英)	〈松堂 啓子〉	128
英語	II	A	(英)	〈北村 弘文〉	128
英語	II	A	(英)	〈ピアス, D.M.〉	129
英語	II	A	(英)	〈池上 賀英子〉	129
英語	II	A	(地文)	〈甲斐 捷子〉	130
英語	II	A	(地文)	〈太田 美智子〉	130
英語	II	A	(環境)	〈川手 浩一〉	130
英語	II	A	(環境)	〈田中 保〉	131
英語	II	A	(歴)	〈河内 賢隆〉	131
英語	II	A	(歴)	〈木村 克彦〉	131
英語	II	A	(歴)	〈山縣 裕裕〉	131
英語	II	A	(社)	〈古富 猛〉	132
英語	II	A	(社)	〈堀 千和子〉	132
英語	II	A	(福)	〈北村 弘文〉	133
英語	II	A	(福)	〈町田 成男〉	133
英語	II	A	(心)	〈尾上 典子〉	133
英語	II	A	(心)	〈外池 一子〉	134
英語	II	A	(心)	〈松堂 啓子〉	134
英語	II	B	(国)	〈佐藤 勝〉	135
英語	II	B	(国)	〈江田 幸子〉	135
英語	II	B	(国)	〈山口 晃〉	136
英語	II	B	(国)	〈小布施 圭佐三〉	136
英語	II	B	(英)	〈武藤 久緒〉	137
英語	II	B	(英)	〈佐藤 明子〉	137
英語	II	B	(英)	〈伊藤 美代子〉	137
英語	II	B	(英)	〈手島 敬子〉	138
英語	II	B	(英)	〈宇都宮 秀和〉	138
英語	II	B	(歴)	〈外池 一子〉	138
英語	II	B	(歴)	〈太田 由紀子〉	139
英語	II	B	(歴)	〈大庭 直樹〉	139
英語	会	話	I	〈コブレーマッキー, D.S.〉	140
英語	会	話	I	〈ウェルズ, J.K.〉	141
英語	会	話	I	〈ソルタ, P.N.F.〉	141
英語	会	話	I	〈デンドウ, G.〉	142
英語	会	話	I	〈ハバード, W.D.〉	142
英語	会	話	I	〈ジトウィッツ, P.D.〉	143
英語	会	話	I	〈プラスキー, J.C.〉	143
英語	L	L	I	〈甲斐 捷子〉	144
英語	L	L	I	〈塙 美智子〉	144
英語	L	L	I	〈西村 祐子〉	145
英語	L	L	I	〈加藤 佐和子〉	145
英語	L	L	I	〈中林 正身〉	146

英語 L L I 〈久保 ひさ子〉	146
-------------------	-----

〔ドイツ語〕

ドイツ語 I A (国・地文・環境・社・福・心) 〈栗原 万修〉	147
ドイツ語 I A (文学部全学科) 〈松岡 晋〉	147
ドイツ語 I A (国・地文・環境・社・福・心) 〈杉本 正俊〉	147
ドイツ語 I A (英・歴) 〈野島 利彰〉	148
ドイツ語 I B (文学部全学科) 〈栗原 万修〉	148
ドイツ語 I B (文学部全学科) 〈岡本 時子〉	148
ドイツ語 I B (国・地文・環境・社・福・心) 〈五十嵐 信子〉	149
ドイツ語 II A (国・地文・環境・歴) 〈藪下 紘一〉	149
ドイツ語 II A (国・地文・環境・歴) 〈河上 和史〉	149
ドイツ語 II A (英) 〈野島 利彰〉	149
ドイツ語 II A (英) 〈藪下 紘一〉	150
ドイツ語 II B (国・歴) 〈松岡 晋〉	150

〔フランス語〕

フランス語 I A (国・地文・環境・社・福・心) 〈井田 清子〉	151
フランス語 I A (国・地文・環境・社・福・心) 〈小玉 齊夫〉	151
フランス語 I A (文学部全学科) 〈遠山 博雄〉	152
フランス語 I A (英・歴) 〈佐藤 久美子〉	152
フランス語 I A (英・歴) 〈荻原 眷〉	152
フランス語 I B (国・地文・環境・社・福・心) 〈前田 祝一〉	153
フランス語 I B (国・地文・環境・社・福・心) 〈谷川 かおる〉	153
フランス語 I B (国・地文・環境・社・福・心) 〈浜崎 設夫〉	153
フランス語 I B (英・歴) 〈前田 祝一〉	154
フランス語 I B (英・歴) 〈桑田 禮彰〉	154
フランス語 I B (英・歴) 〈浜崎 設夫〉	154
フランス語 II A (国・地文・環境・歴) 〈前田 祝一〉	155
フランス語 II A (国・地文・環境・歴) 〈遠山 博雄〉	155
フランス語 II A (英) 〈畑中 千晶〉	155
フランス語 II A (英) 〈遠山 博雄〉	156
フランス語 II A (英) 〈谷川 かおる〉	156
フランス語 II B (国・歴) 〈畑中 千晶〉	156



〔 中 国 語 〕

中国語ⅠA・ⅠB (国・地文・環境・社・福・心)	
〈工藤早恵・曹泰和〉	158
中国語ⅠA・ⅠB (国・地文・環境・社・福・心)	
〈関口加津子・胡玉華〉	159
中国語ⅠA・ⅠB (国・地文・環境・社・福・心)	
〈天野節・布施直子〉	159
中国語ⅠA・ⅠB (国・地文・環境・社・福・心)	
〈前川亨・下出宣子〉	159
中国語ⅠA・ⅠB (国・地文・環境・社・福・心)	
〈塩旗伸一郎〉	160
中国語ⅠA・ⅠB (国・地文・環境・社・福・心)	
〈釜屋修・前川亨〉	160
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)〈小川 隆〉	160
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)〈関口加津子・胡玉華〉	161
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)〈工藤早恵・布施直子〉	161
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)〈前川 亨〉	161
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)〈天野節・下出宣子〉	162
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)〈戸張嘉勝・釜屋修〉	162
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)〈佐藤 普美子〉	162
中国語ⅡA (国・地文・環境・歴)〈松本 丁俊〉	163
中国語ⅡA (国・地文・環境・歴)〈福地 桂子〉	163
中国語ⅡA (国・地文・環境・歴)〈陳 洲 拳〉	163
中国語ⅡA (国・地文・環境・歴)〈弘兼 加奈子〉	164
中国語ⅡA (国・地文・環境・歴)〈胡 玉 華〉	164
中国語ⅡA (英)〈釜屋 修〉	164
中国語ⅡA (英)〈櫻庭和典〉	165
中国語ⅡA (英)〈李 雲〉	165
中国語ⅡB (国・歴)〈根岸 政子〉	165
中国語ⅡB (国・歴)〈櫻庭和典〉	166
中国語ⅡB (国・歴)〈李 雲〉	166

〔 ス ペ イ ン 語 〕

スペイン語ⅠA (文学部全学科)〈ナバローポロ, L.S.〉	167
スペイン語ⅠA (国・地文・環境・社・福・心)〈中川 清〉	167
スペイン語ⅠA (国・地文・環境・社・福・心)〈亀山 晃一〉	167
スペイン語ⅠA (国・地文・環境・社・福・心)〈宮地 達郎〉	168
スペイン語ⅠA (英・歴)〈ルイズティノコ, C.〉	168
スペイン語ⅠA (英・歴)〈上野 勝広〉	168
スペイン語ⅠB (文学部全学科)〈佐藤 麻里乃〉	169
スペイン語ⅠB (文学部全学科)〈米田 博美〉	169
スペイン語ⅠB (国・地文・環境・社・福・心)〈栗林 ゆき絵〉	170
スペイン語ⅠB (文学部全学科)〈荻野 雅司〉	170
スペイン語ⅡA (国・地文・環境・歴)〈宮地 達郎〉	170
スペイン語ⅡA (国・地文・環境・歴)〈ナバローポロ, L.S.〉	171
スペイン語ⅡA (英)〈大岩 功〉	171
スペイン語ⅡA (英)〈福本 久美子〉	172
スペイン語ⅡB (国・歴)〈福本 久美子〉	172

[ ロ シ ア 語 ]

ロシア語ⅠA (国・地文・環境・社・福・心)	〈杉 山 秀 子〉	.....	174
ロシア語ⅠA (英・歴)	〈佐 野 朝 子〉	.....	174
ロシア語ⅠB (文学部全学科)	〈廣 田 英 靖〉	.....	175
ロシア語ⅡA (国・地文・環境・歴)	〈木 村 英 明〉	.....	175
ロシア語ⅡA (英)	〈佐 野 朝 子〉	.....	175
ロシア語ⅡB (国・歴)	〈佐 野 朝 子〉	.....	176

# 《再履修クラス》

〔英 語〕

英語 I A〔再クラス〕	〈西村 祐子〉	177
英語 I A〔再クラス〕	〈川股 陽太郎〉	177
英語 I A〔再クラス〕	〈広川 治〉	177
英語 I A〔再クラス〕	〈太田 美智子〉	178
英語 I A〔再クラス〕	〈伊藤 美代子〉	178
英語 I A〔再クラス〕	〈高橋 寛〉	178
英語 I A〔再クラス〕	〈吉江 正雄〉	179
英語 I A〔再クラス〕	〈前期：八十木裕幸、後期：中尾俊光〉	179
英語 I A〔再クラス〕	〈塚本 利男〉	179
英語 I A〔再クラス〕	〈川島 弘之〉	180
英語 I A〔再クラス〕	〈尾上 典子〉	180
英語 I A〔再クラス〕	〈太田 由紀子〉	181
英語 I A〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	181
英語 I A〔再クラス〕	〈山縣 裕裕〉	181
英語 I A〔再クラス〕	〈森田 隆光〉	182
英語 I A〔再クラス〕	〈岩原 康夫〉	182
英語 I A〔再クラス〕	〈西原 克政〉	182
英語 I B〔再クラス〕	〈牧野 輝良〉	183
英語 I B〔再クラス〕	〈木村 克彦〉	183
英語 I B〔再クラス〕	〈武藤 久緒〉	183
英語 I B〔再クラス〕	〈手島 敬子〉	184
英語 I B〔再クラス〕	〈甲斐 捷子〉	184
英語 I B〔再クラス〕	〈田中 保保〉	184
英語 I B〔再クラス〕	〈前田 脩脩〉	185
英語 I B〔再クラス〕	〈太田 由紀子〉	185
英語 I B〔再クラス〕	〈井出 功一〉	185
英語 I B〔再クラス〕	〈神戸 春樹〉	186
英語 I B〔再クラス〕	〈松堂 啓子〉	186
英語 I B〔再クラス〕	〈三浦 眞理〉	186
英語 I B〔再クラス〕	〈飯沼 好永〉	187
英語 II A〔再クラス〕	〈牧野 輝良〉	187
英語 II A〔再クラス〕	〈佐藤 明子〉	187
英語 II A〔再クラス〕	〈宇都宮 秀和〉	188
英語 II A〔再クラス〕	〈今井 夏彦〉	188
英語 II A〔再クラス〕	〈江田 幸子〉	188
英語 II A〔再クラス〕	〈笹倉 貞夫〉	189
英語 II A〔再クラス〕	〈井伊 順彦〉	189
英語 II A〔再クラス〕	〈小笠原 隆元〉	189
英語 II A〔再クラス〕	〈八十木 裕幸〉	190
英語 II A〔再クラス〕	〈外池 一子〉	190
英語 II A〔再クラス〕	〈岩田 洋子〉	190
英語 II A〔再クラス〕	〈山岸 二郎〉	191
英語 II B〔再クラス〕	〈山縣 裕裕〉	191
英語 II B〔再クラス〕	〈小布施 圭佐三〉	191
英語 II B〔再クラス〕	〈岩井 洋美〉	192
英語 II B〔再クラス〕	〈川手 浩一〉	192

英語ⅡB〔再クラス〕	〈太田美智子〉	192
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落合和昭〉	193
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川股陽太郎〉	193
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	193
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	194
英語ⅡB〔再クラス〕	〈朝川真紀〉	194
英語ⅡB〔再クラス〕	〈西田義和〉	194

### 〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	195
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈野島利彰〉	195
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	195
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈栗原万修〉	196
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈五十嵐信子〉	196
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈藪下紘一〉	196
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈松岡晋〉	197
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈藪下紘一〉	197
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	197
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	198
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	198
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	198
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈藪下紘一〉	199
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	199
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	199

### 〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	200
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原眷〉	200
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈竹田正純〉	200
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	201
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	201
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈前田祝一〉	201
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関アーン〉	202
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈森本信子〉	202
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	202
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	203
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	203
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	203
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	204
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈遠山博雄〉	204
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	204
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	205

### 〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈胡玉華〉	206
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈平石淑子〉	206
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈松本丁俊〉	206
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈釜屋修〉	207
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤普美子〉	207

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈天野 節〉	207
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈根岸 政子〉	208
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈櫻庭 和典〉	208
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	208
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈李 雲 雲〉	209
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈工藤 早 恵〉	209
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈小川 隆 隆〉	209
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈塩 旗 伸一郎〉	210
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈秋 元 翼〉	210
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈蘭 明 明〉	210
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈江 林 英 基〉	211
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈宮 本 厚 子〉	211
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈天 野 節〉	211
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈三田村 圭 子〉	212
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲 雲〉	212
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈宮 本 厚 子〉	212
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈蘭 明 明〉	213

### 〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈宮 地 達 郎〉	214
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大 岩 功 功〉	214
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈上 野 勝 広〉	214
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 紘 子〉	215
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 麻里乃〉	215
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈福 本 久美子〉	215
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大 岩 功 功〉	216
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈佐 藤 紘 子〉	216

### 〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈廣 田 英 靖〉	217
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 野 朝 子〉	217
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈木 村 英 明〉	217
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	218
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.〉	218
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	218

# 《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	219
英 文 講 読	〈前 田 脩〉	219
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	219
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	220
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	220
時 事 英 語 研 究	〈川 手 浩 一〉	220
マ ル チ ・ メ デ イ ア	〈落 合 和 昭〉	221
マ ル チ ・ メ デ イ ア	〈大 庭 直 樹〉	222
マ ル チ ・ メ デ イ ア	〈町 田 尚 子〉	222
英 会 話 II	〈ブラスキー, J.C.〉	223
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P.D.〉	223
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D.M.〉	224
英 会 話 III	〈ウェルズ, J.K.〉	225
英 会 話 III	〈ハバード, W.D.〉	225
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C. M.〉	226
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	227
英 語 L L II	〈町 田 尚 子〉	228
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	228
英 語 L L III	〈井 伊 順 彦〉	229
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	229
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	230
ド イ ツ 語 外 国 書 講 読	〈柴 野 博 子〉	230
時 事 ド イ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	230
上 級 ド イ ツ 語	〈栗 原 万 修〉	230
ド イ ツ 語 L L I	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	231
ド イ ツ 語 L L II	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	231
ド イ ツ 語 I A (選)	〈栗 原 万 修〉	231
ド イ ツ 語 I B (選)	〈織 田 繁 美〉	232
ド イ ツ 語 II (選)	〈百 濟 勇〉	232
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈竹 田 正 純〉	232
時 事 フ ラ ン ス 語	〈桑 田 禮 彰〉	233
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	233
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラリア・三倉, M.〉	233
フ ラ ン ス 語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	234
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈井 田 清 子〉	234
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈桑 田 禮 彰〉	234
フ ラ ン ス 語 II (選)	〈小 玉 齊 夫〉	235
中 国 語 外 国 書 講 読	〈岩 崎 皇〉	235
時 事 中 国 語	〈塩 旗 伸 一 郎〉	235
上 級 中 国 語	〈釜 屋 修〉	236
中 国 語 L L I	〈佐 藤 普 美 子〉	236
中 国 語 L L II	〈小 川 隆〉	236
中 国 語 I A (選)	〈釜 屋 修〉	237
中 国 語 I B (選)	〈佐 藤 普 美 子〉	237
中 国 語 II (選)	〈岩 崎 皇〉	237
ス ペ イ ン 語 外 国 書 講 読	〈上 野 勝 広〉	238
時 事 ス ペ イ ン 語	〈瓜 谷 アウロラ〉	238

上級スペイン語〈宮地達郎〉	238
スペイン語LLI〈ナバロ, ホワンJ.〉	239
スペイン語LLII〈ナバロ, ホワンJ.〉	239
スペイン語IA(選)〈ナバロ-ポロ, L.S.〉	239
スペイン語IB(選)〈瓜谷アウロラ〉	240
スペイン語II(選)〈荻野雅司〉	240
ロシア語外国書講読〈廣田英靖〉	240
時事ロシア語〈木村英明〉	241
上級ロシア語〈クロチコフ, Y.〉	241
ロシア語LLI〈安德ニーナ〉	241
ロシア語LLII〈安德ニーナ〉	242
ロシア語IA(選)〈クロチコフ, Y.〉	242
ロシア語IB(選)〈木村英明〉	243
ロシア語II(選)〈安德ニーナ〉	243
朝鮮語IA(選)〈宋美玲〉	243
朝鮮語IB(選)〈宋美玲〉	243





# 英 語 I A

## <英語 I A の授業内容と履修上の留意点>

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	井 出 功 一	国 文 1 必	2

### 外 科 国 語 目

#### 講義のねらい

テキストはフロリダ大学のビゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。

英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。

なお、英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。

#### 履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

#### 成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

#### 教 科 書

『*The Building of the Nation* アメリカの形成』(成美堂)  
『新しい学習英文法』(研究社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	山 口 晃	国 文 1 必	2

#### 講義のねらい

日常的に使う英文の作成と、それを実際にコミュニケーションで使う力を身につけることを目標とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

大学生が出くわす様々な場面を想定して、その場に合った英文を読み聴き、また自分でも作って話す演習をする。

#### 履修上の留意点

各章の例文をCDで聴き、英作文の試作をしてから授業に出ることを前提とする。

#### 成績評価の方法

期末テストが主な評価基準となるが、出席状況と授業参加の態度も加味する。

#### 教 科 書

開講時に指示する。

#### 参 考 書 等

特になし。

#### そ の 他

英会話のクラスではないが、自分で英文を作ってコミュニケーションしようという積極的な姿勢が要求される。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	まきのまさひで 牧野正秀	国文Ⅰ必	2

教科書

テキストは最初の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	わたべこうじ 渡部孝治	国文Ⅰ必	2

講義のねらい

英語の運用能力の向上をめざす。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行ないます。

教科書

テキストについては、開講時に指示する。

参考書等

参考書等についても開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	いちかわひとし 市川仁	英米文Ⅰ必	2

講義のねらい

これまで学んで身につけた英語の力を基礎に、和文英訳を数多くこなすことによって英語の表現力を向上させることを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的な文法事項等について説明・確認した上で、学生のみなさんの発表を中心に授業をすすめてゆきます。

履修上の留意点

演習科目ですので、当然予習を前提として授業を行ないます。わからないところもあるかもしれませんが、できる範囲で必ず予習をしてください。

成績評価の方法

成績評価は、年間授業回数数の3分の2を条件とした上で、授業中の発表、前期と後期の試験および小テスト等を総合して行ないます。

教科書

岸野英治『大学生のための表現英文法・英作文』（英宝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	こばやしひでこ 児林英子	英米文Ⅰ必	2

講義のねらい

現代のアメリカを知る上で、その歴史を学ぶことは必須ですので、アメリカ史を学びます。勿論、語学の学習ですので、発音、用法等細かいところまで学びます。テキストは未定。

履修上の留意点

学習にあたっては、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

前・後期共、少くとも二度のテストを行い、平常の学習態度と合わせて評価します。受験の資格は、全出席日数の三分の二以上出席した者とします。遅刻三回で欠席一回とみなします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	すぎむら はつえ 杉 村 初 枝	英米文Ⅰ必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、会話表現と文章表現の練習を中心に授業を進めます。会話表現は、日常的な基本表現の練習を中心に、文章表現は、短いパラグラフライティングから始め、最終的には少し長い文章構成ができるよう練習を進めて行く予定です。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業のはじめに毎回、予習復習の確認のための小テストを行います。授業はテキストに沿って進めますが、毎回全員に発表のチャンスが回ります。年間10回程度のレポートの提出もあります。

履修上の留意点

出席数が全授業数の3分の2に満たない場合は成績評価の対象となりません。出欠の確認は、毎回初めに行う小テストの提出により行うので遅刻をしないよう気をつけて下さい。

成績評価の方法

成績評価は、小テスト・授業時の発表・レポート・前後期にそれぞれ行う発表にもとづいて行います。

教 科 書

テキストは開講時に指示します。

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	うえむら けいこ 植 村 恵 子	英米文Ⅰ必	2

講義のねらい

リスニング・発音・英作文など読解以外の要素を盛り込んだテキストを一冊使用し、それぞれの能力をのばしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自に発表してもらい、それに対して説明を補足しながら進めていきたい。

履修上の留意点

よく予習をして授業に臨み、授業中は大学生としてのマナーをもって受講し、授業は休まず、積極的に発表することが大切である。もちろん授業中の私語、遅刻は厳禁、ガム・飲み物等は遠慮していただきたい。

成績評価の方法

出席状況（実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則）、平常点（授業態度、予習や発表の内容、小テスト）及び前期・後期試験による。

教 科 書

授業開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	い で こういち 井 出 功 一	地文Ⅰ必	2

講義のねらい

テキストはフロリダ大学のピゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。

英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。

なお、英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教 科 書

『The Building of the Nationアメリカの形成』（成美堂）  
『新しい学習英文法』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	<small>きつかわ なおずみ</small> 吉川直澄	地文Ⅰ必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、スピーキングとリスニングの演習を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

炎は、いったん点火されれば、燃料の追加さえ怠らなければ、燃え続けるだろう。とはいえ、英語学習における”点火作業”には根気が必要だ。読めば何のこともない会話の断片すらも、音そのものから理解し、対処するには練習がいる。前期後期とも、音声を通じて、日常的な基本表現の定着を目指す。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは、ただ聞くだけではなく、声を出して練習してほしい。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力”模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期末試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教科書

『Let's Talk2』 Cambridge University Press

科外  
国  
目  
録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	<small>まきの まさひで</small> 牧野正秀	環境Ⅰ必	2

教科書

テキストは最初の授業時に教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	<small>こばやし ひでこ</small> 児林英子	環境Ⅰ必	2

講義のねらい

英語の学習、特にアメリカについての知識を学ぶ場合、アメリカ史は不可欠ですので、これを学びます。テキストは四月に発表します。

履修上の留意点

予習をして教場にくること。  
出席三分の二以上ある者が受験資格があります。遅刻三回で欠席一回と見なします。

成績評価の方法

通年四回位テストを行います。受験していないと点数が不足します。常に授業の進捗について注意して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	<small>いわなが よしえ</small> 岩永祥恵	歴史Ⅰ必	2

講義のねらい

本講義では作文力の育成を目指す。基礎的な表現練習を踏まえ、文章レベルの英訳にとどまらずパラグラフ・ライティングの基礎を身に付けていくことを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

ライティングのテキストを使用し、基礎を固める。前期は特定のトピックに従って手順を学び、後期はグループもしくは個人で話題を選び、資料を集めて文章を作成する方向に移行する。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加を望む。授業時に辞書を持参のこと。

成績評価の方法

出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。具体的な説明を開講時に行う。

教科書

Alan Jackson著『Pen Plus Paper』（北星堂書店）1,600円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	い わ や た ま え 岩 屋 玉 江	歴史Ⅰ必	2

講義のねらい

これまでに培ってきた英語力の充実とより英語らしい表現力を養うことを目標とします。テキストは、英米人の思想や文化的背景を端的に表らわしているイディオムに焦点を絞ったものを使用します。

履修上の留意点

テキストの例文は、作文や会話に役立つ表現ばかりなので、覚えるよう心かけて下さい。予習をして授業に臨むこと。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

評価は、出席および演習への参加状況、小テスト、定期試験の結果を総合しておこないます。

教科書

『Writing with Idioms』(南雲堂) 1,600円

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	は ま だ か ず い え 浜 田 一 宇	歴史Ⅰ必	2

講義のねらい

<日常生活を表現> 国際化時代の到来とともに、国際交流や相互理解は個人レベルの問題となり、いかなる分野で社会生活を営むとも、国際人としての教養を高め、交流をはかることは不可欠となりつつあります。私達の日常生活の衣食住から気候風土、普段の何気ない動作でもあらためて英語で表現しようとするとなかなかやっかいなものです。この時間は、日常生活を表現することを目標に、実用的な単語と表現力の習得をはかろうと思います。具体的には、日本の一年の四季と生活作文と会話演習で学習するテキストを使用し、他に実用会話のVTRの書き取りと会話演習、四コマ漫画のナレーションなどで実用的な単語の習得と会話に親しみながらの英語表現力を養うつもりです。

履修上の留意点

語学の修得ですから、欠席が多いとわからなくなりますから、3分の2以上必ず出席のこと。

成績評価の方法

前期試験、後期試験の成績と授業内での評価と出席状況を考慮して評価します。

教科書

『発信型作文演習一季節の中の日本』(マクミラン・ランゲージハウス) 1,450円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	こ と み たけし 古 富 猛	歴 史 1 必	2

講義のねらい

講座の主旨としての応用力を身につけることを第一としたい。様々な風説に惑わされ、バブル経済の破たんも相まって、不安におびえながら2000年を迎えることとなった。

我々の生活を支えてきた社会構造は、あらゆる分野にわたって変革を迫られている。終身雇用制の崩壊、つまり能力主義へと、旧来の日本の雇用制度が根底から改革されてゆきつつあることで、誰しも無関心では居られなくなってきた。経済の仕組みはグローバル化へと一段と拍車をかけつつあることも周知の事実であろう。そこで求められるのはアジアに位置する我々ではあるが、意志を思い合わせるという第一義的な次元で考える時、言語をないがしろにすることはできない。

歴史学科の諸君も現在の状況ではその言語はさしあたり英語にならざるを得ないと認識して勉強してもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の主旨に沿って前後期の授業を進め、なるべく学科に沿った教材を選択したい。

履修上の留意点

学生としての本分を守り、予習と発表を心がけてもらいたい。

成績評価の方法

発表ならびに前後期のペーパーテストによって評価。(出席点も加味する)

教 科 書

未定

科外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	み ず さ き の り こ 水 崎 野 里 子	歴 史 1 必	2

講義のねらい

簡単な英会話、ヒアリングが出来るようになることを目的とする。

Identifying, Reporting, Agreeing/disagreeing, Offerring assistance, Expressing wants/desires, など、どう英語で表現したら良いかを学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは、学生の方々の能力に応じて進むが、予定としては、一授業2課学習する。後期は別のテキストを使用する予定である。それは、教場で改めて学生の方々に通知する。

履修上の留意点

授業は毎度テープを使用し、ヒアリングの練習をしつつスピーキングを学んでゆく。学生の方々は積極的に授業に参加して欲しい。

成績評価の方法

成績評価は、前期後期二度の試験に平常点を加味し、総合評価する。平常点は出席を考慮する。学生の方々は、無理のない程度に出席に留意して欲しい。

教 科 書

J. ラウアー他著 『実践英語コミュニケーションの技法』(英宝社) 1,890円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA	木 村 正 俊 <small>きむら まさとし</small>	社会 1 必	2

講義のねらい

現代的なトピックを扱った教材を用い、多様な英語の用法を理解すると共に、コミュニケーション能力を高めるための実際的な訓練を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

使用テキストの第1課から第20課まで順次学習するが、録音テープを聞いたあと、英文の内容把握、重要構文・語法の分析、キーセンテンスの暗誦、口頭練習を行なう。各課の終了ごとにテストを行い、定着力を高めることにする。

履修上の留意点

実践的訓練を中心にするので授業への遅刻、欠席はきびしくチェックする。

成績評価の方法

平常点で評価する。すなわち、授業への出席状況、参加度、試験及びレポート等の成績などを総合して評価する。

教 科 書

『Reading Communicator (英文読解パワーアップ講座)』(三修社) 1,800円

参 考 書 等

教室で随時指示する。

外科  
国  
語  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA	平 林 卓 郎 <small>ひらばやし たくろう</small>	社会 1 必	2

講義のねらい

あくまでも語学教育を通して学生の主体性養成に力点を置くことを最大目標とする。したがって予習復習を学生がすることを期待する。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的文法事項の解説を中心にして、文法、作文の能力をさまざまな問題形式を使って学生の能力開発を目的とする。また時にプリントを使用することもある。

成績評価の方法

あくまでも最後には前期後期の試験を重視するが出席点も大幅に重視する。

教 科 書

石黒昭博 『English Composition Mode Easy』(金星堂)

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA	<small>なかばやし まさみ</small> 中 林 正 身	福 社 Ⅰ 必	2

講義のねらい

英語による意思伝達を可能にするための力を養うための準備をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

一年間の授業のなかでも、とくに前期では、順不同に並べられた英文を正しい英文に並べ替える問題や、比較的短い日本語を英文に直す問題、そしてダイアログ全体を英文に直すことなどをやってもらう。その結果、基礎的な表現を集めた基本例文集が出来上がると思う。英語でコミュニケーションを図るためには覚えておくに役に立つだろうと思われる例文ばかりである。そして後期では、他人が書いた英文の文法的な誤りを訂正する作業から始め、そして次には文法的には間違っていない英文を、より自然な英語表現に仕上げていく作業をしてもらう。後期の授業のポイントは、与えられた日本語をそのまま英語に直そうとすることではなく、自分の英語力で英語に直せる日本語にまず置き換えることである。一年をとおしての授業のポイントは、自分で英文を考えるというよりも模範的な正しい英文の暗記になる。

履修上の留意点

文章表現と口頭表現での意思伝達の能力を高めていくために、様々な英語に触れてもらうことになる。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度、そして各期末試験を総合的に評価する。

教 科 書

最初の授業時に指示する。

参 考 書 等

『Collins Cobuild English Dictionary』 英語の類義語辞典等

そ の 他

授業は演習形式で行なう。従って学生諸君の毎回の授業への参加態度は重視される。

科外  
国  
目  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA	<small>うえむら けいこ</small> 植 村 恵 子	福 社 Ⅰ 必	2

講義のねらい

リスニング・発音・英作文など読解以外の要素を盛り込んだテキストを一冊使用し、それぞれの能力をのばしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自に発表してもらい、それに対して説明を補足しながら進めていきたい。

履修上の留意点

よく予習をして授業に臨み、授業中は大学生としてのマナーをもって受講し、授業は休まず、積極的に発表することが大切である。もちろん授業中の私語、遅刻は厳禁、ガム・飲み物等は遠慮していただきたい。

成績評価の方法

出席状況（実授業回数少なくとも2/3以上の出席が原則）、平常点（授業態度、予習や発表の内容、小テスト）及び前期・後期試験による。

教 科 書

授業開講時に指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	や な せ 浩 三 梁 瀬 浩 三	心 理 1 必	2

講義のねらい

まず第1に、基礎をしっかりと固めることを目指す。基礎がぐらついたまゝでは、全てが分からないということになる。基礎は最も大切である。個人差があるが、基礎のどの点が弱い、はっきり分かるように持って行きたい。

第2に、日英の表現の違いに目を向け、発想の違いから生じる表現方法に慣れるようにする。即ち、英語らしい表現ができるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

目標と関連するが、よく理解した上で進んで行くという形をとりたい。演習であるので、黒板に出て英作文を書くというのを、最も重視する。黒板に書くためには、当然家で予習してこななければならない。予習する習慣を何とかつけるようにしたい。少しでも積極性を引き出すようにしたい。

履修上の留意点

演習中心である以上、出席を重視する。総授業時間数の1/3以上休んだ場合は、失格とする。具体的には8回以上休んだ場合は、単位は認められない。予習が特に大事である。

成績評価の方法

年二回のテストを中身の濃いものにして、よく準備しなければできないものにする。普段の授業態度、黒板に書いた回数を評価の重要な要素とする。

教 科 書

メドレー・村井他『ザ ニューアート オブ イングリッシュ コンポジション』（泰文堂）第1巻

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	い け が み か え こ 池 上 賀 英 子	心 理 1 必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として英語の運用能力を養うことを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

「書くこと」「聞くこと」「話すこと」という、英語の運用能力の練習をします。適宜、視聴覚の機器を使用します。

履修上の留意点

可能な限り出席し、授業に積極的に参加することを、第一義と考え強く求めます。

成績評価の方法

授業内での演習と発表、周期的課題提出、小テスト、定期試験の成績を総合して評価します。

教 科 書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	か ざ ま の り ひ こ 風 間 則 比 古	心 理 1 必	2

講義のねらい

英語の勉強をより実のあるものにするためには最低限の文法の習得が必要である。その観点から、この授業では基本的な文法事項と、その応用として簡単な英作文を学ぶことにする。

成績評価の方法

評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。

教 科 書

『Unique English Composition I (ユニーク英作文正体)』（成美堂）

# 英 語 I B

## 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	ふじしま たかき 藤 島 喬 樹	国 文 1 必	2

### 講義のねらい

入学時の英語力を基盤とし、使用TEXTにより一層高度の読解力と聴解力の習得を志向する。尚、読解力向上に当っては、より高度な構文理解も含め、精読力充実に加え、速読力〔TEXT各章、各段落等の大意把握〕の向上をも志向する。一方、聴解力向上に当っては、出来るだけ日本語を介させずに、英語を英語で理解する実力向上を志向する。

### 講義の内容・授業スケジュール

語学学習の読む、書く、聞く、話す四技能は知ってのとおり切っても切れない関係。中でも「読む力」は四技能中最も必要不可欠。その点を十分踏まえ、本講義では基本的には下記TEXTを中心に授業を進める。又、指定TEXT以外にも所謂使える英語志向のプリント類もその都度配布し、補充教材として併用する。各回90分授業前半45分間では四技能向上志向のMINI TEST (原則的に英検2級程度)を実施する。(所要時間は基本的には前半45分間を目安とするが、内容量如何によっては45分を越える場合もあり得る。)

### 履修上の留意点

1. MINI TESTは各回授業開始と同時に即実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対に出来ない。もし欠席不受験なら勿論その日の得点は0点。遅刻もその都度減点の対象となるので十分に留意の事。又出席者に関してもMINI TESTとは言え、ただ単に受ければ済むものではない。各回とも平均して全体の7割以上のPoint取得を心掛けて欲しい。
2. 年間全授業回数の最低2/3以上の出席がなくてはならない。即ち欠席率が授業全回数の1/3を越えれば否応なくその時点でDROP OUT。
3. 必ず然るべく予習をして受講する事。
4. 受講の際は各自必ず英和辞典を用意する事。

### 成績評価の方法

1. 平常点 (具体的には以下の①~③)
  - ① 年間各回授業参加の度合い、(これは出席回数のみを意味するのでは決してない。大学生としての本来あるべき実質的受講態度を意味すると心得よ。)
  - ② MINI TEST各回のPoint (授業各回前半実施。)  
各回それぞれ百点満点で換算すれば各回共70Point以上は取得するように。
  - ③ 授業内での質疑応答並びに発表時のPoint。
2. 前・後期両定期試験。(7月と学年末にそれぞれ実施。)前後期いずれの定期試験も①~③のうち最も比重は大きい。両試験共各100点満点で最低60Point以上獲得し、初めてCLEAR出来たとする。
3. 提出課題 (然るべく解答の上、指定期日厳守で提出の事)  
以上1, 2, 3三者を総合し、年間単位で評価を出す。

### 教 科 書

四月開講第一回目の授業時に教場で指示する。

### 参 考 書 等

必要に応じてその都度紹介する。

科外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	たかほし よしえ 高 橋 佳 江	国 文 1 必	2

講義の内容・  
授業スケジュール

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読みが要求される。

講読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわせて調べることをないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にとると良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教 科 書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	たかほし あきこ 高 橋 明 子	国 文 1 必	2

講義のねらい

ポップスのヒット曲を解説した英文を読み、役に立つ重要表現を習得し、かつ正確に読める能力を養います。またリスニング演習をしながら英語独特の音声変化やリズムに慣れることを目指します。

成績評価の方法

成績評価は、平常点として出席・発表（40%）、前期・後期試験（各30%）による総合評価をします。

積極的に楽しみながら授業に参加してください。

教 科 書

『Hot Beat Listening 2』（マクミランランゲージハウス）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	おかざき としいちろう 岡 崎 寿 一 郎	英 米 文 1 必	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育課程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教 科 書

岡崎寿一郎編註 『禅と日本文化』（太陽社） 1,450円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	たか はし よ し え 高 橋 佳 江	英米文Ⅰ必	2

講義の内容・  
授業スケジュール

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読みが要求される。

講読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわせて調べることはないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	か め だ み え こ 亀 田 三 重 子	英米文Ⅰ必	2

講義のねらい

現代、友人や親しい人との間で、電子メールのやり取りが増えて来た。又、当然、外国人との付き合いも電子メールで、という事になり、パソコンを用いて英語のE-mailを読んでみよう、又、自分も書いてみたい、という学生も増えてきたように思う。その為の基本的な英文の読み方、書き方を行う。時間があればlisteningも加え、生きた英語を身につける事を主眼とした。

成績評価の方法

- ・前期と後期と中間テスト2回の試験結果50%
- ・出席日数と授業での発表50%

教科書

『Writing College English E-mail』（南雲堂） 1,600円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	く に み あ き こ 国 見 晃 子	英米文Ⅰ必	2

講義のねらい

- ①TOEFLやTOEICの問題形式のプリントを用いて、文法の知識を確実にする。
- ②まとまった情報内容のある比較的短く簡易な英語を、目的をもって読む訓練を行う。

履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要。（つまり欠席は前期・後期あわせて8回までしか認められない。遅刻は3回で1回の欠席とみなす）。辞書は毎回必ず持参すること。

成績評価の方法

授業内での参加度、課題提出状況、前期・後期の試験、出席。

教科書

- ①プリント
- ②テキストは開講時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	まえだ おさむ 前 田 脩	地 文 Ⅰ 必	2

講義の内容・  
授業スケジュール

授業のはじめに10～15分程度のリスニングを行います。テキストは戯曲を用い会話のやりとりの面白さをわかってもらいます。そこから自然と英語の表現をまなび同時に文化を知ります。授業は毎回あてますので予習は必須となります。前期はリスニングに力を入れ、後期はテキストの読みのスピードをはやめます。時々英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期、後期テストを総合評価します。

教 科 書

- 1) 『夫が多すぎて』 (鶴見書店) 1,100円
- 2) 『プラクティカル・リスニング フォー TOEIC』 (金星堂) 980円

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	たかはし あきこ 高 橋 明 子	地 文 Ⅰ 必	2

講義のねらい

英語のコミュニケーション能力を測るTOEIC (Test of English for International Communication) 試験のためのテキストを使って、TOEICの概要を把握し、英語運用能力をブラッシュ・アップすることを旨とします。また、ポップソングのプリント教材で、リスニングのコツも身につけます。

成績評価の方法

成績評価は、平常点として出席・発表 (40%)、前期・後期試験 (各30%) による総合評価をします。

教 科 書

『TOEICテストのストラテジー』(朝日出版社)、プリント

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	おおたな おや 太 田 直 也	環 境 Ⅰ 必	2

講義のねらい

これまでに学んできた事柄(文法等)を確認しながら、より高度な英文をより速く読めるようにすることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的にはテキストの速読を行うが、必要に応じて英作文を取り入れたい。

履修上の留意点

予習をして授業に臨むこと。自宅での学習がないと授業についてこれない。

成績評価の方法

前・後期の試験、レポート、平素の学習態度等により総合的に評価する。なお、「出席点」は認めない。

教 科 書

『Make It Or Break It』 (三修社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	ほんま あきお 本 間 章 郎	環 境 1 必	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら、英語の読解力を高めていきたいと思ひます。特に、一定の長さの英文をできるだけ短い時間で読み、内容を的確にまとめることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回、テキストを進めていきます。リスニングの能力の確認と向上のために、小テストなどもおこなひます。

履修上の留意点

授業では、できるだけたくさんの授業出席者に質問をしていきます。内容を把握しているかどうかということが、成績評価に大きく影響します。

成績評価の方法

上述したように、授業における小テストと質問に対する返答、前期と後期におこなう試験によって成績を評価します。

教 科 書

ジョアン・パロケティ他著『Bountiful Economics (繁栄する経済社会)』(南雲堂) 1,900円

科外国  
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	たかほし よしえ 高 橋 佳 江	歴 史 1 必	2

講義の内容・  
授業スケジュール

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読みが要求される。

講読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさなひこと。授業時間内にあわてて調べることをなひように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にするると良い。辞書(大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイズなどの薄いものは不可)は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者(前・後期合わせて欠席8回以上)、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教 科 書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	たかほし あきこ 高 橋 明 子	歴 史 1 必	2

講義のねらい

英語のコミュニケーション能力を測るTOEIC (Test of English for International Communication) 試験のためのテキストを使って、TOEICの概要を把握し、英語運用能力をブラッシュアップすることを目指します。また、ポップソングのプリント教材で、リスニングのコツも身につけます。

成績評価の方法

平常点として出席・発表(40%)、前期・後期試験(各30%)による総合評価をします。

教 科 書

『TOEICテストのストラテジー』(朝日出版社)、プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB	く に み あ き こ 国 見 晃 子	歴 史 Ⅰ 必	2

講義のねらい

日常における英語でのコミュニケーション能力を養う。発話練習を含めた能動的な練習を通して、聴き取り能力の向上をめざす。

履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要。(つまり欠席は前期・後期あわせて8回までしか認められない。遅刻は3回で1回の欠席とみなす)。

成績評価の方法

授業内での参加度、課題提出状況、前期・後期の試験、出席。

教 科 書

テキストは開講時に指定する。

外科  
国  
語  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB	お お た な お や 太 田 直 也	歴 史 Ⅰ 必	2

講義のねらい

これまでに学んできた事柄(文法等)を確認しながら、より高度な英文をより速く読めるようにすることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的にはテキストの速読を行うが、必要に応じて英作文も取り入れたい。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。自宅での学習がないと授業についてこれない。

成績評価の方法

前・後期試験、レポート、平素の学習態度等により総合的に評価する。なお、「出席点」は認めない。

教 科 書

開講時に教場にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB	み よ し や す よ し 三 芳 康 義	歴 史 Ⅰ 必	2

講義のねらい

この科目の目的は、現代アメリカ口語の読解と聞き取りにあります。教材は、歌、インタビュー、大統領の演説など、さまざまな文体で表現された、いわゆる「生きた英語」を集めたものです。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとり、読解力をつけるために段落ごとの単位で精読し、徐々に全体の要旨をつかむことを重視します。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、レポート、前・後期試験の結果などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教 科 書

高橋潔編 『アメリカン・ドリーム-過去と現在』 (郁文堂) 1,648円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	ほんま あきお 本 間 章 郎	社会Ⅰ必	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら、英語の読解力を高めていきたいと思ひます。特に、一定の長さの英文をできるだけ短い時間で読み、内容を的確にまとめることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回、テキストを進めていきます。リスニングの能力の確認と向上のために、小テストなどもおこなひます。

履修上の留意点

授業では、できるだけたくさんの授業出席者に質問をしていきます。内容を把握しているかどうかということが、成績評価に大きく影響します。

成績評価の方法

上述したように、授業における小テストと質問に対する返答、前期と後期とにおこなう試験によって成績を評価します。

教科書

ジョセフ・ショールズ他著 『*Different Realities—Adventures in Intercultural Communication* (異文化間コミュニケーション)』(南雲堂) 1,700円

科外国  
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	みよし やすよし 三 芳 康 義	社会Ⅰ必	2

講義のねらい

この科目の目的は、簡潔に書かれたアメリカ英語を正確に読みこなすことによって、単なる情報としての知識を得ることだけではなく、その背景にある言外の意味を探り、理解できるようにすることです。テキストは、国際社会における諸問題を民族的な視点からアプローチしたエッセイです。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとり、読解力をつけるために段落ごとの単位で精読し、徐々に全体の要旨をつかむことを重視します。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、レポート、前・後期試験の結果などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

大橋久利・Gary Dendo 著 『*民族で読む21世紀の世界*』(成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	たかみ ようこ 高 見 陽 子	福祉Ⅰ必	2

講義のねらい

英語の文章を速く的確に読むための基礎を身につけることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

音読やリスニングを通して英語のもつリズムに慣れること、そして、一文ずつきちんと訳出する精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を授業の主眼とします。

成績評価の方法

前・後期試験をベースに、授業での積極性や小テスト等の課題を平常点として加え、総合的に評価します。なお、全授業回数3分の2以上の出席が必要です。

教科書

土屋武久、花光理香、Bill Benfield著 『*Read Up—22 Steps to Strategic Reading* (英文読解スキルビルダー)』(成美堂) 1,700円



科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	沼 田 綾 子 <small>ぬ ま た あ や こ</small>	福 祉 1 必	2

講義のねらい

映画、ウッディ・アレン監督の『カイロの紫のバラ』- "The Purple Rose of Cairo" をテキストとして使います。アレンの映画の面白さは一にも二にも台詞です。これはロマンチック・コメディまたはファンタジー的な作品でアレン自身は出演していないため、英語は比較的分かりやすいです。口語表現を学ぶには興味のわく作品です。前期後期の最後の授業には他のアレンの映画を観ましょう。

履修上の留意点

ビデオとサウンドトラックのテープを使用しながら表現読解などの説明をします。毎回なるべく全員当てるようにします。かならず予習してください。練習問題は宿題です。

成績評価の方法

出席率と前期後期の筆記試験（オープン・ブック・テスト）と平常時の態度。6回以上欠席のひとはレポート提出のこと。

教 科 書

『カイロの紫のバラ- "The Purple Rose of Cairo"』 (松柏社)

外科  
国  
語  
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	亀 田 三 重 子 <small>か め だ み え こ</small>	心 理 1 必	2

講義のねらい

世界がめまぐるしく動いて行く中で、どういう風に世界情勢をとらえていったらよいか。人種問題、貧困、地球環境、又、日本の過去の問題等について書かれた記事を読んでいく。異なった意見をlisteningしたり、英語の質問に答えるなど、深く、かつ多角的に英語を学ぶ事を目的とする。

成績評価の方法

- ・前期と後期、中間テスト2回の試験結果50%
- ・出席日数と授業での発表50%

教 科 書

『Listen to the Voice of the World』 (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	長 谷 川 公 一 <small>は せ が わ こう い ち</small>	心 理 1 必	2

講義のねらい

今年度の授業では徹頭徹尾、実用的な英作文の練習に重点を置きます。実用的な英文が（最小限度）書けるようになるためには、基本的な短文を暗記することが大切ですし、結局、一番の近道です。テキストには、平易で模範的な短文が盛り沢山ありますので、「この短文は特に覚えてほしい」と授業の中で、皆さんに指示するつもりです。

履修上の留意点

授業中にジュースを飲んだり、私語を交わすことは慎んで下さい。

成績評価の方法

授業への出席回数、前後期の試験（2回）の結果から、総合的に評価します。

教 科 書

『ホームステイ・イングリッシュ』(英潮社) 861円 (税込み)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	ふじしま たかき 藤 島 喬 樹	心 理 1 必	2

講義のねらい

入学時の英語力を基盤とし、使用TEXTにより一層高度の読解力と聴解力の習得を志向する。尚、読解力向上に当っては、より高度な構文理解も含め、精読力充実に加え、速読力〔TEXT各章、各段落等の大意把握〕の向上をも志向する。一方、聴解力向上に当っては、出来るだけ日本語を介入させずに、英語を英語で理解する実力向上を志向する。

講義の内容・  
授業スケジュール

語学学習の読む、書く、聞く、話す四技能は知ってのとおり切っても切れない関係。中でも「読む力」は四技能中最も必要不可欠。その点を十分踏まえ、本講義では基本的には下記TEXTを中心に授業を進める。又、指定TEXT以外にも所謂使える英語志向のプリント類もその都度配布し、補充教材として併用する。各回90分授業前半45分間では四技能向上志向のMINI TEST（原則的に英検2級程度）を実施する。（所要時間は基本的には前半45分間を目安とするが、内容量如何によっては45分を越える場合もあり得る。）

履修上の留意点

1. MINI TESTは各回授業開始と同時に即実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対に出来ない。もし欠席不受験なら勿論その日の得点は0点。遅刻もその都度減点の対象となるので十分に留意の事。又出席者に関してもMINI TESTとは言え、ただ単に受ければ済むものではない。各回とも平均して全体の7割以上のPoint取得を心掛けて欲しい。
2. 年間全授業回数の最低2/3以上の出席がなくてはならない。即ち欠席率が授業全回数の1/3を越えれば否応なくその時点でDROP OUT。
3. 必ず然るべく予習をして受講する事。
4. 受講の際は各自必ず英和辞典を用意する事。

成績評価の方法

1. 平常点（具体的には以下の①～③）
  - ① 年間各回授業参加の度合い、（これは出席回数のみを意味するのでは決してない。大学生としての本来あるべき実質的受講態度を意味すると心得よ。）
  - ② MINI TEST各回のPoint（授業各回前半実施。）  
各回それぞれ百点満点で換算すれば各回共70Point以上は取得するように。
1. 平常点（具体的には以下の①～③）
  - ① 年間各回授業参加の度合い、（これは出席回数のみを意味するのでは決してない。大学生としての本来あるべき実質的受講態度を意味すると心得よ。）
  - ② MINI TEST各回のPoint（授業各回前半実施。）  
各回それぞれ百点満点で換算すれば各回共70Point以上は取得するように。
  - ③ 授業内での質疑応答並びに発表時のPoint。
2. 前・後期両定期試験。（7月と学年末にそれぞれ実施。）前後期いずれの定期試験も①～③のうち最も比重は大きい。両試験共各100点満点で最低60Point以上獲得し、初めてCLEAR出来たとする。
3. 提出課題（然るべく解答の上、指定期日厳守で提出の事）  
以上1, 2, 3三者を総合し、年間単位で評価を出す。

教 科 書

四月開講第一回目の授業時に教場で指示する。

参 考 書 等

必要に応じてその都度紹介する。

科外  
国  
語

# 英 語 Ⅱ A

## 〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	た な か 田 中      た も つ 保	国 文 2 年	2

外科  
国  
語  
目

講義のねらい

センテンスからパラグラフへと、より高度な英語の運用能力を培うようにする。

履修上の留意点

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

以下の項目を総合的に検討して成績を評価する。

1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教 科 書

『日本文化を英語で表現』(Let's Write About Japan) (成美堂) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	前 期 : さ と う 藤      あ や こ 子 後 期 : な か 尾      し ゅ ん こ う 俊 光	国 文 2 年	2

講義のねらい

言葉は暗記していなければ活用できません。「英語が話せるようになりたい」ということをよく耳にしますが、英語が話せるということは、それを暗記しているからです。

本授業では、すぐに役立つ英会話表現を学び、暗記することからはじめて、それらを使って自ら英語が話せる、書けるという能力を身につけることをねらいます。そのためには、学んだものを次の授業までに暗記し、書けるようにしていただきます。毎授業暗写のテストをします。

成績評価の方法

毎回行なう小テスト(欠席の場合は0点になります)60%、定期試験40%とします。

教 科 書

『i TRAVEL - A Ticket to Communication』 (Macmillan Languagehouse) 他プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	<small>かわまた ようたろう</small> 川 股 陽 太 郎	国 文 2 年	2

講義のねらい

I Aを基礎として英語の運用能力をやしなう。

講義の内容・  
授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングのより高度な運用能力練習をする。ビデオ（VHS、DVD）等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教 科 書

プリント教材を適宜配布、使用する、教科書は未定。

科外  
国  
目  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	<small>すぎもと まこと</small> 杉 本 誠	国 文 2 年	2

講義のねらい

日常生活の会話を題材としたテキストを使用して、各場面に合う表現練習をし、使える英語が身につく、英語をコミュニケーションの手段として積極的に活用できるようにするのが目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

旅行、アルバイト、Eメール、ファーストフードなど、若者の生活に密着したテーマをダイアログで紹介し、その後に短い和文英訳から長めの会話の和文英訳へと段階的に表現力を養っていきます。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教 科 書

久能木・千葉他著『コミュニケーション ナウ』（南雲堂） 1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	こ と み たけし 古 富 猛	英米文Ⅱ必	2

講義のねらい

「近代文明の発達により冒険とロマンは喪失した」という言葉はいまや言い古されているが、高度成長への道を狂奔し、バブル経済の破たん<sup>①</sup>の苦汁をなめている現在、従来通りにはゆかなくとも、何らかのロマン性を求める必要はあるのではないか。文学の世界にも当然言えることであって「ハリー・ポッター」の物語がとてつもないブームになっていることから伺えるし、高度技術によって成功したいいわゆる「勝ち組」の人達の価値観だけがすぐれているわけではなからう。

近年いかに世界には多種多様の民族が住んでいるかを、思い知らされる事柄に遭遇するが、アメリカ文学に関しては、アメリカ・インディアンが有する生き方、ならびに世界観をみつめ直してみる必要があると考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

多種多様の民族の存在とは、当然なんらかの言語を媒介としなければならない。あらゆる分野で英語も武器であり、日本人にあった手法を説明するつもりである。

履修上の留意点

学生諸君には予習してくることを原則とし、さらに発表するべく心得て欲しい。

成績評価の方法

出席状況、前後期のペーパー、テストの結果ならびに、予習発表の評価により判断する。

教 科 書

『長文読解演習』(成美堂) 500円  
ならびにプリントを併用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	まつどう ひろこ 松 堂 啓 子	英米文Ⅱ必	2

講義のねらい

ⅠAでの学習を基礎に文章と会話の二本立てで、英語での自己表現能力を身につけていく。

履修上の留意点

辞書を持参することが望ましい。

成績評価の方法

試験、レポート、出席状況等で評価する。

教 科 書

『Thoughts into writing』(成美堂)  
『Cubic Listening - Strange but True』(マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	きたむら ひろふみ 北 村 弘 文	英米文Ⅱ必	2

講義のねらい

普段日本において話す機会が少ない我々は、外国人の話す英語を聞いてある程度理解はできても、英語で自分の意見を言うとなると、そう簡単ではない。ただこれも習慣の問題で、それほど深刻に考える必要はない。今、我々が英語で自分の意見を言う時、我々はまず頭に日本語が浮かび、次いでその日本語を英語に翻訳して発表する。ところが、もしこの日本語を英語に翻訳するというプロセスを省いて、一挙に頭に英語が浮かぶようにはできないだろうか？ 勿論それができるのです。そういう習慣を身に付ければよいわけです。

成績評価の方法

定期試験(前・後期)の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教 科 書

『Try America』(三修社) 1, 700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	ピアス, D. M.	英米文2必	2

講義のねらい

CONVERSATION: CULTURAL ANTHROPOLOGY

Elementary and Intermediate students will master ordinary conversational ability. Students will sit together with companions who have a similar degree of English ability, since English conversation is learned most quickly by practicing with people who have equal ability.

The grammar and listening comprehension required for the TOEFL and TOEIC tests will be systematically studied every week in a smaller part of the class time. Students will practice English composition by writing opinions about the material delivered in the lectures; the composition practice is designed to give students an intuitive sense of good English.

Advanced practice in listening comprehension will be conducted through short lectures on American and Japanese culture. The different ways in which American and Japanese think about work, money, marriage, politics, friendship, etc. will make up the content of the lectures, compositions, and conversation practice. A textbook entitled Comparative Culture is planned for the course; consult the teacher on the first day of classes. 70% of the student's grade will depend on class participation, especially his efforts to conduct conversations in English; 30% of the final grade will depend on examinations. A maximum of six absences in the year is permitted.

科外  
国  
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	<small>いけがみ かえご</small> 池 上 賀 英 子	英米文2必	2

講義のねらい

英語のスピーキング能力をニュース・映画音楽を通じて向上させる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1回の授業で3～4頁進みます。

履修上の留意点

授業前の下調べを怠らないようにして下さい。

成績評価の方法

出席、レポート、テスト。

教 科 書

教室で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	か い か っ こ 甲 斐 捷 子	地 文 2 年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

講義の内容・授業スケジュール

1単元終るごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達してなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

『*American Dream*』（朝日出版社） 1,800円

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	お お た み ち こ 太 田 美 智 子	地 文 2 年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

英国滞在を想定した会話訓練を行います。実践的なものから、文化に到るまで幅広く、楽しみながら必須フレーズをマスターしましょう。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業にのぞむこと。単位の取得ではなく、各々の実力を向上させることが目的であるということを銘記しておきましょう。

成績評価の方法

平常点、授業中の態度、予習の有無、レポートの内容、等々からの総合評価。

教 科 書

『*English Conversation for staying in Britain*』（南雲堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	か わ て ひ ろ か ず 川 手 浩 一	環 境 2 年	2

講義のねらい

外国語を学習する目的は、その国の文化を知ることである。今や英語は国際語の役割をはたしている。英語の技能は、聞く、話す、読む、書くの4つに分かれるが、ここでは主として読解力に主眼を置いている。また、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中に散りばめて、多様性に富んだ英文が学びとれるように授業をすすめたい。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題はT-F、QuestionsをはじめとしてVocabulary Quiz や Idioms and usage など Completion Exerciseもあります。

成績評価の方法

成績評価は、出席、レポート、テストなど総合評価です。

教 科 書

Atsuko Asami『*Gifts of Nature 2* (自然の恵み)』（Nan-undo） 1, 748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	田中保 <small>たなか たもつ</small>	環境 2 年	2

講義のねらい

センテンスからパラグラフへと、より高度な英語の運用能力を培うようにする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

以下の項目を総合的に検討して成績を評価する。

1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教科書

『日本文化を英語で表現 (Let's write about Japan)』 (成美堂) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	河内賢隆 <small>かわうち けんりゅう</small>	歴史 2 年	2

講義のねらい

人口160万に満たない国、アイルランドが抱える主要な問題を概説。EUとして急速に大きく変貌しようとしているヨーロッパの中の歴史の国だけに、日本人として学ぶことが多いと思う。文章はリズムカルで口調が良いだけに、英文の原型として頭の中にとどめて欲しい。

成績評価の方法

出席点と発表点(年間3回位)を重視し、前・後期の二回の試験の結果をそれに加える。

教科書

『アイルランド文化入門』(開文社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	木村克彦 <small>きむら かつひこ</small>	歴史 2 年	2

講義のねらい

文学作品ではあるが、まず、戯曲の台詞を精読することにより、英語特有の表現になれるようにしたい。また作者の会話(談話)で、記録されているものもあるので、適宜コピーを使用しそれらを訳読しながら、暗記までできれば最も良いであろう。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『オスカリアーナ』(北星堂) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	山縣裕 <small>やまがた ゆたか</small>	歴史 2 年	2

講義のねらい

英語の話し手が書いた英文の中で頻繁に活用される文法・構文を集中的に習得する。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教科書

根間弘海・Richard Logan著『表現上達の英作文』(桐原書店) 1,107円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	こ と み たけし 古 富 猛	社 会 2 必	2

講義のねらい

バブル以後、日本は政治・経済的にかなり変ぼうを遂げてきた。マスコミから流れてくるニュースは、それに関するものが多く、いかにバブル景気の裏に秘んでいた闇の部分がすざまじいものであるかうんざりさせられる。

この情報化社会で様々なニュースにさらされてきたが、インターネット普及によりさらにその度合いが増している今日、我々は不安におののき対処せざるを得なくなった。昨今、語学の持つ重要性が浮上し、特にIT関係、証券、自動車メーカー等々それぞれの事情で社員に語学力を要求し、TOEFL等能力テストの点数まで設定する様になってきた。

かけ声だけではない国際化に向かって、日本人はどのように英語を学べば良いのか、私なりのアプローチを説明し、少しでも自信をつけて、とかく語学能力に乏しい我々の状況を根本的に考え直さなければならない。

講義の内容・授業スケジュール

主に発表形式で、実用能力に自信をつけてもらいたい。あくまでもネイティブ相手である。

履修上の留意点

教場では充分でないので、日頃から映画・音楽等でできる限りヒヤリング能力を磨いてもらいたい。

成績評価の方法

前・後期ペーパーテストと発表によりさらに出席状況も含めて評価する。

教科書

講義中に指示します。

外科  
国  
語  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	ほり ち わ こ 堀 千和子	社 会 2 必	2

講義のねらい

環境、人権、平和、富の配分などに関して、現代の私たちが直面している地球環境の問題を英語を通して考えていきます。読む、聞く、話す、書くの英語の4つの技能から、それらの問題にアプローチします。

講義の内容・授業スケジュール

reading やlisteningを通してまず情報を得て、私たちがそれらの問題に対して何ができるのかを考え、他のクラスメートと話し合ったり、英作文をしたりする予定です。テープ、ビデオなどを使用し、ペア・ワーク、グループ・ワーク、ゲームを取り入れていきますので、皆さんの積極的な授業への参加を希望します。

成績評価の方法

前・後期の期末テスト、小テスト、課題（作文、レポートなど）、授業中の貢献度（発言等）から総合的に評価します。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とします。

教科書

David Peaty 『You, Me and the World (もっと人と地球を知ろう)』(金星堂) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	北 村 弘 文 <small>きたむらひろふみ</small>	福 社 2 必	2

講義のねらい

普段日本にいて英語を話す機会が少ない我々は、外国人の話す英語を聞いてある程度理解はできても、英語で自分の意見を言うとなると、そう簡単ではない。ただこれも習慣の問題で、それほど深刻に考える必要はない。今、我々が英語で自分の意見を言う時、我々はまず頭に日本語が浮かび、次いでその日本語を英語に翻訳して発表する。ところが、もしこの日本語を英語に翻訳するというプロセスを省いて、一挙に頭に英語が浮かぶようにはできないだろうか？勿論それができますのです。そういう習慣を身に付ければよいわけです。

成績評価の方法

定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘考して評価します。

教 科 書

『Try America』（三修社）1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	町 田 成 男 <small>まちだしげお</small>	福 社 2 必	2

科外  
国  
目  
語

講義のねらい

英語ⅠAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につけることに重点をおく。文章表現では、パラグラフから自由英作文を前期2回、後期2回提出できるようにする。また、会話表現では、ダイアログからディスカッションへすすむ。

成績評価の方法

評価は出席点、発表、課題提出、それに前期、後期の試験の総合で出すこととする。

教 科 書

テキストは第一回目の授業のガイダンスで発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	尾 上 典 子 <small>おのえのりこ</small>	心 理 2 必	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr., Elvis Presleyなどアメリカン・ドリームを形造るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語のビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聴解能力の増強をはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の非常に悪い者は落第させる。

毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教 科 書

Roy E. Charron、宮野智靖著 『Profiles of the American Dream (アメリカン・ドリームを読む)』（金星堂）1,800円（税別）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	<small>とのいけかずこ</small> 外 池 一 子	心 理 2 必	2

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

基本的にはテキストに従って進みますが、必要に応じて英字新聞や英語のニュース、討論番組のビデオなども使います。ディスカッションやダイアロクの意見の組み立て方についても訓練します。

履修上の留意点

テーマは皆さんの身近な問題です。授業の前にある程度自分の意見をまとめておいて積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点 30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2-3回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	<small>まつどうひろこ</small> 松 堂 啓 子	心 理 2 必	2

講義のねらい

ⅠAでの学習を基礎に文章と会話の二本立てで、英語での自己表現能力を身につけていく。

履修上の留意点

辞書を持参することが望ましい。

成績評価の方法

試験、レポート、出席状況等で評価する。

教 科 書

『Thoughts into writing』(成美堂)

『Cubic Listening-Strange but True』(マクミランランゲージハウス)

# 英 語 Ⅱ B

## 〈英語ⅡBの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：ⅡBを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	さ と う まさる 佐 藤 勝	国 文 2 年	2

### 講義のねらい

基本英文法を踏まえた正確な英文読解力、そして英文多読・速読力の充実を図ります。

### 講義の内容・授業スケジュール

2回で1章ずつ進む予定です。その他プリントを使用した演習を行います。

### 履修上の留意点

予習をして下さい。辞書を持参ください。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。

### 成績評価の方法

平常点（出席状況・授業態度・小テスト）＋レポート＋定期試験

### 教 科 書

石黒 他 編著『英語速読演習：現代社会を考える12章』（英宝社） 1,600円

### 参 考 書 等

推薦辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）、『プログレッシブ英和中辞典』（小学館）

科外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	え だ まさちこ 江 田 幸 子	国 文 2 年	2

### 講義のねらい

英語長文の精読と速読がこの授業の目標です。テキストの情報内容を正確かつ的確に把握、読解出来るようになりたいと思います。そのためには、文中の解らない語句は、あらかじめ丁寧に辞書を調べることを徹底しておいて下さい。難しい構文のある個処は、何度も読み返してみても構いません。目読していても頭の中で音読し、英語の持つリズム・イントネーションによく馴染むことが正確な速読には欠かせない要素です。最終的には、日本語に頼らずに、英文を英文のまま理解出来るようになる長文の即時的読解を目指します。テキストは小説、エッセイ、新聞、雑誌記事等、年毎に異なったり、各々を取り混ぜながら様々な英語文のスタイルを紹介していきたいと思いますが、基本的な授業方針は以上の通りです。

積極的・自主的な姿勢で臨んで頂きたいと思いますので、授業中は自ら手をあげて発表（プレゼンテーション）していくかたちで進めて行きます。間違いを恐れず、堂々と発表する態度も英語圏の文化には欠かせない精神的態度なので、合わせて授業方針の一環とします。

### 成績評価の方法

最低、年2回以上の発表をすること。出席は授業回数の2/3以上。前期・後期の筆記試験平均点数60点以上を合格点とします。加えて適宜、小テストを行い、60点以上の平均点を合格点としますが、毎クラスの発表も平常点として大変大切です。

### 教 科 書

Jack Canfield Mark Victor Hansen ed. 『Chicken Soup for the Soul』（KINSEIDO） 1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	やまぐち あきら 山 口 晃	国 文 2 年	2

講義のねらい

英語の学習を通して、環境や生態系の問題を今年度は考え、表現する方法を身につけることを目標とする。IIBの授業である事を考え、とりわけ英語の深い理解を重視したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回、英文のプリントを配布する。それを一つの素材として、具体的な英文に即して、学生諸君と共に、英語の理解・表現を、磨いて行く。

履修上の留意点

辞書は毎回必ず持ってくる事。  
遅刻は他の生徒の学習の妨げにもなるので、遅れない様に注意する事。

成績評価の方法

前期・後期それぞれ、レポート提出とテストを行う。それと平常点を加味して評価する。

教 科 書

配布するプリント。

参 考 書 等

ソルト著『ヘンリー・ソローの暮らし』（風行社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	おがせ けいさぞう 小 布 施 圭 佐 三	国 文 2 年	2

講義のねらい

この授業科目の目的は、英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握力などを養うことで、英語による内容理解力を高めることにあります。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の題材は、異文化コミュニケーションが中心テーマになっています。  
 《1週》(Introduction)  
 《2週》～《5週》  
 Chapter 1 (p. 7) ～Chapter 4 (p. 22)  
 《6週》～《9週》  
 Chapter 5 (p. 23) ～Chapter 8 (p. 38)  
 《10週》～《13週》  
 Chapter 9 (p. 39) ～Chapter 12 (p. 54)  
 《14週》～《17週》  
 Chapter 13 (p. 55) ～Chapter 16 (p. 70)  
 《18週》～《21週》  
 Chapter 17 (p. 71) ～Chapter 19 (p. 82)  
 《22週》～《25週》  
 Chapter 20 (p. 83) /プリント使用

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。出席を重要視します。出席日数が授業実数の2/3に満たない場合は、不合格になります。

成績評価の方法

(1) 出席点 (2) 平常点 (3) 定期試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

教 科 書

本名信行/A.Kirkpatrick/S.Gilbert著『English across Cultures』(三修社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	むとう ひさお 武藤久緒	英米文?必	2

講義のねらい

高度な英文の解釈と読解力を強化すること目標とします。テキストとしてThe Best of Words to Live By を用い、世界的に有名な芸術家、政治家、文学者、科学者、軍人たちが選ぶ古今東西の名言とそれに対する各人の感想を綴った文章を読みます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：1 ページから61ページ  
Liking YourselfからTwo Kinds of Peopleまでの29の随想  
後期：62ページから120ページIdeasからThe Archにいたる28の随想

履修上の留意点

受講者全員に順次テキスト読み訳してもらい、随時文法を含む必要事項の説明をします。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行う。

教 科 書

William I Nichols『The Best of Words To Live By (わが座右の名言)』(朝日出版社)

科外国  
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	さとう あきこ 佐藤明子	英米文?必	2

講義のねらい

言語行動に見られる性差の問題を学びながら、英語の理解を深めることがこの授業の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業では、1回に2～3ページ程度進む予定です。英文を正確に読むことを学ぶ一方で、私たちが日常使っている言語の性差の問題も考えていきたいと思っています。

履修上の留意点

積極的な授業態度を十分に評価するつもりですから、予習を必ずしてきて下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教 科 書

『You Just Don't Understand (すれ違う女と男)』(英宝社) 1,620円

参 考 書 等

辞書を持ってきて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	いとう みよこ 伊藤美代子	英米文?必	2

講義のねらい

IBを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。  
また、リーディングだけでなく、スピーキング、ヒヤリング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・  
授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教 科 書

1. Mari Kikuchi, Alan E. Jackson 『News and Views from The Japan Times Weekly』(マクラミン ランゲージ ハウス) 1,900円
2. 伊藤美代子(編著)『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	てしま けいこ 手 島 敬 子	英米文Ⅱ必	2

講義のねらい

本科目は「英文読解力向上」をテーマに、できる限り多くの英文を読むことで英文になれ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

なるべく辞書に頼らず短時間に効率良くテキストを読む練習、さらに一定の時間内でテキストの趣旨・要点を正確にとらえる練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

開講時指示。

外科  
国  
語  
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	うつのみや ひでかず 宇都宮 秀 和	英米文Ⅱ必	2

講義のねらい

これからの時代は、翻訳や通訳者に頼らないで、自分で英語を読み、話し、書くことが増々要求されてくると思う。その最もよい例がインターネットによる発信である。インターネットでは、翻訳では間に合わない。素早く読むことがまず要求される。応答はそこから始まる。このクラスでは、リスニングをも取り入れながら、速読できるようにしたい。

成績評価の方法

期末試験は行わない。平常点を重んじる。出席は2/3以上。

教科書

テキストはプリント使用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	とのいけ かずこ 外 池 一 子	歴史Ⅱ年	2

講義のねらい

身近なテーマについて書かれた文章を、なるべく辞書を使わずにある程度の速さで読んで大意をつかめるようになる訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール

基本的にはテキストに従って進みますが、必要に応じて英字新聞や雑誌の記事など、生の素材も教材として取り上げます。

履修上の留意点

英語の理解にはテーマに関する知識も非常に重要です。授業の予習では、日本語で良いので、テーマについて調べ、前もってある程度の知識をもって出席すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2-3回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	お お た ゆ き こ 太 田 由 紀 子	歴 史 2 年	2

講義のねらい

豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。

講義の内容・  
授業スケジュール

言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

E.D.Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註『英語で築く知の礎』（鶴見書房） 1,600円

参 考 書 等

江川泰一郎著『英文法解説』（金子書房） 1,750円

科外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	お お ば な お き 大 庭 直 樹	歴 史 2 年	2

講義のねらい

多くの英文を読んで内容を要約する力を養うこと。

講義の内容・  
授業スケジュール

このクラスでは、インターネットで流れている英語の最新のニュースを読んでいく。できるだけ多くの英文を読んで、それらを要約する力を養うことがこのクラスの重点である。課題として、いろいろな出来事をインターネットで調べて要約し、それらを報告、あるいは提出してもらう。提出課題は、前期と後期それぞれ10項目、ファイルにしてサーバー上の自分のホルダーに提出してもらう。

履修上の留意点

教室では、マルチメディア語学教材、インターネットの語学学習のホームページ（英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEICの問題など）、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用することである。

成績評価の方法

出席はもちろんのこと、クラスでの発表に重点をおく。提出課題は内容を評価する。前期・後期に定期試験をおこなう。

教 科 書

インターネット



# 英 会 話 I

## <英会話 I の授業内容と履修上の留意点>

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFLのスコア450点、TOEICのスコア500点程度。I Aの振り替え選択科目です。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	コブレ-マッキーD. S.	文学部(英米文除く)1年	2

外科  
国  
語目

講義のねらい

To develop the students' ability to understand and use spoken English in everyday contexts.

講義の内容・  
授業スケジュール

April: Introductions, greetings, asking for information  
Talking and asking about families  
May: Asking about and describing people  
Asking and answering questions about personal history  
Review  
Test  
June: Welcoming, making offers, accepting & refusing  
Asking about and telling prices, paying for goods  
Asking about & identifying locations (inside), giving directions  
Describing procedures, narrating a sequence  
July: Review  
Test  
September: Routines & schedules, telling time  
Ordering food & drink, asking for information  
October: Inviting, making excuses  
Making suggestions, talking about the weather  
Review  
Test  
November: Likes & Dislikes, gift giving  
Suggestions, objections  
Describing people & jobs  
Asking & talking about past events  
December: Review  
Test  
January: Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners, using English individually, in pairs, and in groups. Weekly use of Internet resources will also be required.

成績評価の方法

Students will be assessed by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教 科 書

The main text used will be ["Expressions: Book 1"] by David Nunan, published by Heinle & Heinle Cam (price apx. ¥2,400). Students will also need acquire the accompanying cassette tapes or CD.

参 考 書 等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	ウェルズ, J. K.	文学部 英米文除く1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork,

No one will be able to miss more than 3 classes

Let's have fun !

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	ソルタ, P. N. F	文学部 英米文除く1年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates, who have studied English for six years in secondary school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communication in natural spoken English. The course builds up students' speaking and listening skills, and improves their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・  
授業スケジュール

A textbook and a workbook, each with 15 units, and the instructors worksheets, will be used as sources of classroom material. The course is based on the belief that language acquisition requires a lot of practical experience in using the language, and cannot be achieved by studying about it. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening practice. Students will usually do exercises with another student (this is called pairwork) to give all students the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at secondary school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absence per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be a prerequisite for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam(30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year(40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

David Paul 『Communicate : Book 1a』 (Macmillan LanguageHouse) 『Student's Book 1a』 (1,230円) & 『Workbook 1a』 (880円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	デンドウ, G.	文学部 英米文除く1年	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・  
授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教 科 書

No text will be used.

参 考 書 等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	ハバード, W. D.	文学部 英米文除く1年	2

講義のねらい

Goal: students are expected to acquire a basic ability to express themselves in day to day conversations.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course includes oral/listening practice, role playing, pair practice, question and answer work, opportunities to exchange opinions and share information as well as other activities to improve student conversations skills in expressing topics of various interests.

履修上の留意点

Requirements: This is an introductory course for students who are not used to conversing in English.

成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教 科 書

[I talk] by Dale Fuller and Timothy Kiggell, (Macmillan LanguageHouse, Tokyo) (I also request a copy teacher's manual and textbook cassette for myself)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅰ	ジトウィッツ, P. D.	文学部(英米文除く)1年	2

講義のねらい

English 1 is designed to give students confidence in speaking English. This will be done by giving students practice in every day English speaking situations and with intensive listening practice. Basic structures in conversation, vocabulary acquisition, and listening skills will be stressed. These exercises should make students better English communicators.

履修上の留意点

Students are expected to come to class weekly and four absences in one semester will result in failure.

教 科 書

Students will be given a variety of handouts to give them practice in listening, speaking, reading and writing. They will also have the opportunity to gain access to the instructor's English language practice web site.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅰ	プラスキー, J.C.	文学部(英米文除く)1年	2

科外国  
目語

講義のねらい

The goal of this course is for students to reach a basic level of oral proficiency about topics with which they are familiar.

講義の内容・  
授業スケジュール

Basic grammar will be reviewed in a communicative context. Vocabulary development will be introduced through speaking activities primarily with other students. Pronunciation, intonation and listening practice will be incorporated through dictation exercises and tapes/CDs.

履修上の留意点

Conversations will be practiced with other students through pair discussions and dialogues.

成績評価の方法

Assessment will be a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%).

教 科 書

None.

# 英 語 L L I

## 〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階LL教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFLのスコアー450点、TOEICのスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。IAの振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL I	甲 斐 捷 子 <small>か い か つ こ</small>	文学部全学科	2

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通してアメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意思伝達の現場をビデオで見ながらコミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」「話す」授業の中で、基本的な発音の矯正も適宜行います。

履修上の留意点

授業としては週1回ですが、練習科目の成否は学習量で決まりますから、最低週2回は、LL自習室で復習して下さい。また1単元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

『Viva!San Francisco』（マクミランランゲージハウス）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL I	埴 美 智 子 <small>はなわ み ち こ</small>	文学部全学科	2

講義のねらい

英語の実力の養成に関して口頭によるコミュニケーションの重要性が指摘されている。聞き、話す能力が要求されているのである。本LLI教室ではリスニングの力をつけると共に英語の発音等を徹底的に練習し明確な英語を話すことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

単語の発音、アクセント、イントネーション等を重点的に取り入れ練習問題等をこなしていく。ヒアリング能力を高めるため日常的な会話を取り入れ簡単な文章の暗記、口頭練習を通して英語に慣れていく。

履修上の留意点

テキストは忘れないこと。必ず復習を行う。テープに入れた音等を家でも聞き声に出して練習する。

成績評価の方法

出席率、普段の授業態度、小テスト、前・後期試験等の総合評価で行う。

教 科 書

『Perfect Listening（パーフェクト・リスニング）－TOEICテスト対応問題付－』（朝日出版）2,000円

参 考 書 等

日常的な情景を集めた会話のビデオを見てヒアリング・オーラル・プラクティスを数多くこなすためにプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 L L I	<small>にしむら ゆうこ</small> 西 村 祐 子	文学部全学科	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみることからはじめる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。英語と日本語を半分程度づつ用いるが、後期にはほとんどの授業を英語ですすめるようになる。英検2級程度の実力獲得をめざす。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。  
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピューター教場の使用の際にも必要なので、事前におこなっておく。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

参 考 書 等

サバイバルイングリッシュ（朝日出版）1、2をおもに使用するが、特に購入しなくともよい。  
使用ビデオ：Grapevine1, 2, 3, Survival English1, 2. など

科外  
国  
目  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 L L I	<small>かとう さわこ</small> 加 藤 佐 和 子	文学部全学科	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回テキストを1Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度等で評価する。

教 科 書

『アメリカ英語の発音教本』（研究社）  
『10分間TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLI	なかばやし まさみ 中 林 正 身	文学部全学科	2

講義のねらい

英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ほくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験とおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。

履修上の留意点

上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行うつもりである。授業時間外での復習は必須である。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

最初の授業時に指示する。

その他

家庭やLL自習室を利用したの予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLI	く ば ひ さ こ 久 保 ひ さ 子	文学部全学科	2

講義のねらい

レクチャアが、聞き取れ、ディスカッションできる程度をめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。スピーチやビデオやディスカッションも含む。

履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点

教科書

『Michigan Action English Step 6』(World Times of Japan)

## [ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA	<small>くりはら かずのぶ</small> 栗原 万修	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

### 講義のねらい

ドイツ語履修では、IAは文法、IBは講読です。このクラスではドイツ語文法を学びますが、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、とくに初習の外国語は継続的に勉強しないと習得できませんので、出席を重視します。欠席がつづくとな簿から名前を抹消します。

### 成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の出欠、学習意欲をも含め、すべてを総合して判断します。

### 教科書

在間進『現代ドイツ語（初級文法篇）』（郁文堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA	<small>まつおか すずむ</small> 松岡 晋	文学部全学科1年	2

### 講義のねらい

下の「教科書」に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を学習します。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に各課ごとに例文を列挙したコピーを配布し、実際のドイツ文に慣れていただきます。また、発音も重視して、随時、反復練習をおこないます。

### 履修上の留意点

文法学習は積み重ねですから、定期的出席することを切に望みます。また、教科書以外に、最初の時間に何種類か示す中型の「独和辞典」のうちの一冊を必ず購入してもらい、それを毎回持参していただきます。

### 成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

### 教科書

在間進ほか著『明るく楽しくドイツ語を [改訂版]』（三修社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA	<small>すぎもと まさとし</small> 杉本 正俊	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

### 講義のねらい

初めてドイツ語を習う学生に、ドイツ語文法の概要を説明する。文法という観点からひとつの外国語へ学生諸君を案内出来たら、と考えています。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

ドイツ語で使用する文字、発音の概要から始め、初級文法のひとつとおりを省略なしに全て教えるつもりです。理解しにくい点は何度も反復説明し、学生が十分理解したかどうかを常に念頭に置いて授業を進めます。

### 履修上の留意点

学生諸君は、予習は必ずしも必要ではないが、授業中は勉強に注意を集中し、授業内容をよく理解して下さい。復習など、必要事項は授業中に指示します。

### 成績評価の方法

前後期2回の大きいテストの他、随時小テストを行い、平常点も重視する。

### 教科書

長谷川つとむ 他著『らくらくドイツ文法』（三修社）2,000円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠA	のじま としあき 野 島 利 彰	英米文・歴史Ⅰ年	2

講義のねらい

日本語にも文法があり、私たちはそれに沿って日本語を話しています。ドイツ語を理解するためにもやはり文法が必要です。この文法を基礎から学びます。英語の文法との共通点もありますが、むしろそうでない未知の部分の方が面白いかもしれません。

講義の内容・  
授業スケジュール

1回の授業で1課進みます。練習問題に多くの時間を使い、残りの時間を説明に当てます。

成績評価の方法

授業は毎回練習問題から始まります。各問題を指名して答えてもらうので、予習しておくことが大事です。成績評価は予習をしているか否かと、二回の定期試験、および随時行う小テストの結果を見て総合的に判断します。

教 科 書

大岩信太郎『快速ドイツ文法』（朝口出版） 2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB	くりはら かずのぶ 栗 原 万 修	文学部全学科Ⅰ年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、IA文法、IBは講読となっていますが、このクラスは初歩の実用的な会話を中心に授業をすすめます。ただし、初習の外国語は継続してやらないと力になりませんので、授業への出席を条件とします。欠席をしないように。欠席がつづくとな簿から名前を抹消し、再履修となります。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠などをも考慮しながら総合的に判断します。

教 科 書

入谷他『ドイツ語コミュニケーション』（三修社）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB	おかもと とぎこ 岡 本 時 子	文学部全学科Ⅰ年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的の学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教 科 書

教科書は開講時までに指定する。

参 考 書 等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	<small>い が ら し の ぶ こ</small> 五十嵐 信子	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

やさしいドイツ文に親しむことにより、ドイツ語の基礎をよりふかく理解し、しっかり身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語を聞き取る力と正しい発音を身につけます。
- 2) やさしいドイツ文を聞き、読み、理解することで、ドイツ文法を理解し、これをしっかりおぼえます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

身につけた文法を武器にドイツ文を理解することはそれ自体喜びです。しかしそのためにはドイツ語の知識を一つ一つ自分のものにしてゆくことが必要です。つまり予習復習とともに休まず出席することが大切です。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

小塩節著『希望のドイツ語』（朝口出版社）2,136円

科外  
国  
目  
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	<small>やぶした こういち</small> 藪下 紘一	国文・地文・環境・歴史1年	2

講義のねらい

中級文法を学びましょう。

成績評価の方法

成績は普段教室で、皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

M. Ferenbach u. B. Noonan『中級文法読本ドイツ語を読む』（朝日出版）960円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	<small>か わ か み か ず ひ と</small> 河上 和史	国文・地文・環境・歴史1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。  
いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	<small>の じ ま と し あ き</small> 野 鳥 利 彰	英米文2年	2

講義のねらい

前期は簡単な読み物を、後期は少し内容の高度な論文的なものを読みます。毎回テキストの文法解説をし、辞書が引きやすいようにした上で、訳を宿題として提出させます。授業はその訳を講評しつつ進めます。

成績評価の方法

提出した訳の総合成績と定期試験の成績により成績評価をします。

教科書

大岩信太郎『初級後期ドイツ語（5）』（三修社）1,262円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA	やぶした こういち 敷 下 紘 一	英 米 文 2 年	2

講義のねらい

中級文法を学びましょう。

成績評価の方法

成績は普段教室で、皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教 科 書

大谷弘道『ドイツ人に答えてみよう!』(三修社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡB	まつおか すずむ 松 岡 晋	国 文 ・ 歴 史 2 年	2

外科  
国  
語 目

講義のねらい

教科書欄に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する約1ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはずです。教科書終了後は、また別の文章をコピーで配布して読むつもりです。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点(出席率、授業に取り込む姿勢、分担箇所和訳をきちんと準備したかどうかなど)によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教 科 書

橋本政義ほか著『グレードアップドイツ語-初級から中級へ』(郁文堂) 2,000円

## [フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	井 田 清 子	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

### 講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための文法中心の授業です。文章を理解するための基本的な文法事項の(動詞、名詞、冠詞、形容詞の用法など)を、一年間で習得し、生きたフランス語を、無理なく学び、使えるようにするのが目標です。

### 講義の内容・授業スケジュール

文法と共に、実際に使われている基本的な表現に慣れるように、平易な例文を選び、フランス語が身につくようにわかりやすく構成されたテキストです。こうして獲得した文法知識を、例文の中で実際に応用しながら、各種の文章も理解できるようにしましょう。

### 履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

### 成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

### 教科書

『初級フランス文法案内』(第三書房)

科外国  
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	小 玉 齊 夫	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

### 講義のねらい

初歩のフランス語文法の授業として、基本的な文のしくみを、なるべく多くの例文を読みとおすことによって理解していきたいと思います。一年次の目標は、自分で辞書をひいて、音読を試みながら読解していくことですが、そのためには、覚えている単語、表現の数が多いほど、聞き取りの場面でも有利になるはずで、つとめて、記憶機能と、記憶を呼び起こす機能を鍛えるようにしたいと思います。

### 講義の内容・授業スケジュール

必ずしも教科書の構成にこだわらずに、日常的な表現を重視して、各課の課題をこなしていきたいと思っています。

### 履修上の留意点

上のようなことも考慮すれば、特別な場合を除いて、授業には毎回出席して、そのつど、覚えるべきことを確認していくようにしてください。

### 成績評価の方法

随時行う小テスト、それに、前・後期の試験によって、成績評価をします。

### 教科書

小石・ガポリオ『グラメール・オ・コティディアン』(第三書房) 2,000円

### 参考書等

辞書等については、最初の授業時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠA	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	文学部全学科Ⅰ年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識をきちんと身につけること。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で、練習問題をやります。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。動詞活用書き取りもあります。

教 科 書

天羽均他著『初級フランス語文法（改訂2002年度版）』（朝日出版社） 2,000円

参 考 書 等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠA	さ と う く み こ 佐 藤 久 美 子	英米文・歴史Ⅰ年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ（アルファベット）から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音練習に続いて文法解説を行う。習ったばかりの事項の確認のため、すぐ練習問題に取り組んでもらう。フランス語になるべく多く接してもらうために宿題を頻繁に課す。

履修上の留意点

出席を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からははずす。ただし、出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのために予習（最低限新しい単語を調べておく）が不可欠。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度、宿題の提出状況などから総合的に判断する。

教 科 書

佐藤著『フロレゾン』（白水社） 2,100円

参 考 書 等

仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠA	あ し は ら けん 芦 原 眷	英米文・歴史Ⅰ年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教 科 書

安田悦子 『ヴィット・メ・ビヤン』（白水社） 1,631円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB	まえだのりかず 前 田 祝 一	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

音としてのフランス語の学習を主眼にして、この新しい外国語に慣れ親しんでもらいます。

講義の内容・  
授業スケジュール

もちろん、すでに学んだ文法事項を基礎にして、応用能力も養います。

履修上の留意点

毎日が新しいことの連続で、すでに学んだことが理解できていることを前提に、次の授業を行いますので、絶対に欠席しないこと。

成績評価の方法

前・後期末のペーパー・テストで成績評価をしますが、授業中の課題・出席状況も考慮します。

教 科 書

大阪日仏センター編『ドゥ・コンセル、Ⅰ』（朝日出版社）1,553円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB	たにかわ 谷 川 かおる	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語を通じて、フランス語の基礎を学びます。実用的なフランス語に親しみながら、フランス（フランス語圏）を一人で旅しても困らない語学力をつけることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、旅行のさまざまな場面で必要とされるフランス語表現を暗記し、関連する文法を習得します。基本が理解できたら練習問題に取り組み、応用表現を学びます。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行います。

履修上の留意点

教科書に付属するカセットテープをなるべく繰り返し聴き、耳からフランス語に親しむようにして下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および毎週の小テスト。

教 科 書

瀬戸秀一・瀬戸和子、『街かどのフランス語（新訂版）』（朝日出版社）2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB	はまさきせつお 浜 崎 設 夫	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音の練習から始めて、約20回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやった回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教 科 書

山下『カイエ・ド・フランス』（駿河台出版）

参 考 書 等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB	まえだ のりかず 前 田 祝 一	英米文・歴史Ⅰ年	2

講義のねらい

音としてのフランス語の学習を主眼にして、この新しい外国語に慣れ親しんでもらいます。

講義の内容・  
授業スケジュール

もちろん、すでに学んだ文法事項を基礎にして、応用能力も養います。

履修上の留意点

毎日が新しいことの連続で、すでに学んだことが理解できていることを前提に、次の授業を行いますので、絶対に欠席しないこと。

成績評価の方法

前・後期末のペーパー・テストで成績評価をしますが、授業中の課題・出席状況も考慮します。

教 科 書

野村二郎編『ミニ・フランセ』<改訂版> (白水社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB	くわた のりあき 桑 田 禮 彰	英米文・歴史Ⅰ年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・  
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

滑川明彦、前川泰子『ポケットにフランス語』(第三書房)

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB	はまさき せつお 浜 崎 設 夫	英米文・歴史Ⅰ年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音の練習から始めて、約20回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること(予習は必要なし)。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教 科 書

滑川『ポケットにフランス語』(第三書房)

参 考 書 等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	まえだのりかず 前 田 祝 一	国文・地文・環境・歴史1年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、1年生で勉強したフランス語の後半部分から始めて、かなり詳しくじっくりと学習して行きます。仏検3級が取れる程度まで。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに沿って進め、こまかいニュアンスの違いも感じ取ってもらいます。

履修上の留意点

初級フランスの単位が取れていない人、またあまり自信のない人は、自分で参考書を入手して、勉強をやり直す覚悟でいること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題・出席状況にも配慮します。

教 科 書

久松健一他編『ボン・ヌーフ中級レベル50の鍵ー』（駿河台出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	とおやまひろお 遠 山 博 雄	国文・地文・環境・歴史1年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教 科 書

藤田友尚著『ネット時代のフランス語』（白水社）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	はたなかちあき 畑 中 千 晶	英米文2年	2

講義のねらい

子ども向けに書かれたフランス語新聞を読むことを通じて、辞書を片手にまとまったフランス語の文章を読み解く力をつける。話題は、科学・医療・環境・教育など多岐にわたっており、さらにヨーロッパあるいはアジアなどの最近の話題も盛り込まれているため、今後、自分の力でフランス語の新聞・雑誌記事を読む際に必要な語彙を増やすことができる。

成績評価の方法

宿題などの提出物、小テスト、前期末・学年末テストなどを総合して評価する。

教 科 書

瀧川好庸・ガブリエル・メランベルジェ・東多鶴恵編著『やさしいフランス語新聞(3)』（第三書房）1,700円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	英 米 文 2 年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教 科 書

野村訓子他著『アニエスの日々』（駿河台出版社）1,800円

外科  
国  
語  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	た に か わ 谷 川 かおる	英 米 文 2 年	2

講義のねらい

フランス語中級

講義の内容・  
授業スケジュール

1年次で学んだフランス語の基礎を復習・確認しながら、日常的なフランス語の文章を読み、フランス語の理解を深めます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

牛場由紀子『小説の旅立ち』（朝日出版社）2,100円

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB	は た な が ち ゃ き 畑 中 千 晶	国 文 ・ 歴 史 2 年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

履修上の留意点

ペアワークなど、クラス内の活動に積極的に参加してください。平常点を重視します。

教 科 書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』（白水社）1,800円

# 中 国 語

## 中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかりと覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

科外  
国  
目  
録

## 中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中区勇程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

## 中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

### 【辞書について】

○1年次必修科目の学習しか想定しない場合

- ・相原茂『はじめての中国語学習辞典』（朝日出版社） 2,600円
- ・上野恵司『標準中国語辞典〔第2版〕』（白帝社） 2,300円

これらは初学者向けの語法解説を充実させているほか、例文にもピンインが付いており、単語の意味を調べるだけでなく文中での使われ方を会得するのに役立つ。ぜひ例文を音読したり書き写したりしてほしい。

○2年次まで学習する場合

- ・松岡榮志ほか『クラウン中日辞典』（三省堂） 4,000円
- ・上野恵司『基礎中国語辞典』（NHK 出版） 3,500円
- ・武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（小学館） 3,500円
- ・相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円

ここに挙げた以外にも、同規模あるいはさらに小型の、また中日・日中を1冊で間に合わせるような辞書が幾つか出版されているが、内容が粗雑であったり、古かったり、学習に必要な配慮を欠いていたりで、薦められない。なお、日中辞典は必携ではないが、以下のものが手元があれば重宝するであろう。

- ・北京・对外経済貿易大学『日中辞典〔第2版〕』（小学館） 7,000円 2002年
- ・倉石武四郎、折敷瀬興『岩波 日中辞典〔第2版〕』（岩波書店） 5,000円 2001年

○2年次以降も継続して学習する場合は、以下のうち、実際に手に取ってみて気に入ったものを選ぶとよい。かなり値が張るものが多いが、じっくりと親しみ使い込むほどに、大枚を叩いた以上の恩恵が身にしみるのもこれらの書である。

- ・相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円
- ・伊地智善継『白水社中国語辞典』（白水社） 7,800円
- ・商務印書館・小学館『中日辞典』（小学館） 6,800円
- ・愛知大学『中日辞典〔増訂第2版〕』（大修館書店） 8,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA	工藤早恵	国文・地文・環境・社会・福祉・心理・年	2
中国語ⅠB	曹泰和		2

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法を身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語は、特に授業での反復練習に参加することが非常に大切である。欠席せずに毎回出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教 科 書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	関口 加津子	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2
中国語ⅠB	胡 玉華		2

講義のねらい

中国語で「読む」「書く」「聞く」「話す」能力、つまりコミュニケーション能力を育てるための基礎固めをする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語の音節構造を理解し、音声として中国語を捉えられるようにする。音声を表記するため、中国語式ローマ字表記法（ピンイン表記）をマスターする。中国語の正しい発音を身につける。中国語の基礎的な文法構造を学ぶ。年間学習単語数約600語。

履修上の留意点

常に予習、復習を心がけ、音声教材などを活用して、聞き取り力を高める努力をすること。授業中は積極的に発話し、自ら発音の矯正に努めること。遅刻をしないこと。

成績評価の方法

年間3、4回行う試験の成績、通常の授業中に行う小テストの成績、授業態度、出席状況などをとに総合的に評価する。

教科書

渡辺晴夫・楊幸雄・高村麻美著『フレッシュ中国語（改訂版）』（白水社）2,000円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	天野 節	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2
中国語ⅠB	布施 直子		2

講義のねらい

文法を踏まえ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」という四技能を関連付けながら学習して行けるよう援助する。最終的には、その後独学でも継続して学習して行ける基本的な能力を修得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで情熱を持ち続け学習する決意をして、授業にのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、課題、小テストによる平常点と期末テストの結果を合わせ総合的に評価する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

授業の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	前川 亨	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2
中国語ⅠB	下出 宣子		2

講義のねらい

二人の教員が同一の教科書で週二回の授業を行う。一ヶ月を目途に発音の習得を目指し、その後IAで文法事項の説明を、IBで練習（本文）と会話訓練を行う。正確な発音で比較的容易な文章が読め、簡単な会話と聞き取りができるようになることを目標とする。

履修上の留意点

復習を欠かさないこと。音読の訓練では大きな声を出すこと。遅刻や欠席は極力避け、授業には集中してとりくむこと。私語する者、授業に非協力的な者に対しては、以後の受講を断るので、そのつもりで。

成績評価の方法

前期後期の期末考査と小テストによる。評価はA・Bそれぞれに行なう。遅刻・欠席は減点の対象となる。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	塩旗 伸一郎	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2
中国語ⅠB	塩旗 伸一郎		2

講義の内容・  
授業スケジュール

中国語の音声的魅力を最重視し、懇切丁寧に発音を指導する。漢字だけ読んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、年間を通じて聞き取り小テストを盛大に執り行う。

履修上の留意点

鏡を持参のこと。学習歴のある英語と異なり、中国語は毎回出席当然。

成績評価の方法

定期試験＋小テスト－欠席点。前・後期とも欠席3回目から10点ずつ減点する。

教科書

沈国威・内田慶市『新・チャイニーズステーション』（好文出版）2,400円（テープ付）

外科  
国  
語  
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	釜屋 修	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2
中国語ⅠB	前川 亨		2

講義のねらい

釜屋（A）、前川（B）が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為（私語、携帯電話の受信等）は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社） 2,300円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	小川 隆	英米文・歴史1年	2
中国語ⅠB	小川 隆		2

講義の内容・  
授業スケジュール

ⅠAとⅠBとで特に内容を分けず、週2回の授業で、とにかくどんどん頭から学んでゆく。本文は比較的易しい会話体で、その後に文法解説用の例文と練習問題が続く。授業時間中は音読練習の機会をなるべく多く設け、漢字に頼らず、音声そのものを通して中国語を理解し表現できるようにしてゆきたい。

成績評価の方法

教科書は全15課で、3～4課に1度くらいの割合でテストを行い、解答はすべてピンイン（ローマ字・声調記号）で書いてもらう。出席最重視。毎回、復習と練習問題をやって来ることが必要。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

教科書

荒川・周・塩山『キャンパスライフ中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	関 口 加津子	英米文・歴史Ⅰ年	2
中国語ⅠB	胡 玉 華		2

講義のねらい

中国語で「読む」「書く」「聞く」「話す」能力、つまりコミュニケーション能力を育てるための基礎固めをする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語の音節構造を理解し、音声として中国語を捉えられるようにする。音声を表記するため、中国語式ローマ字表記法（ピンイン表記）をマスターする。中国語の正しい発音を身につける。中国語の基礎的な文法構造を学ぶ。年間学習単語数約600語。

履修上の留意点

常に予習、復習を心がけ、音声教材などを活用して、聞き取り力を高める努力をすること。授業中は積極的に発話し、自ら発音の矯正に努めること。遅刻をしないこと。

成績評価の方法

年間3、4回行う試験の成績、通常の授業中に行う小テストの成績、授業態度、出席状況などをもとに総合的に評価する。

教科書

渡辺晴夫・楊幸雄・高村麻美著『フレッシュ中国語（改訂版）』（白水社）2,000円

科外  
国  
語  
目  
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	工 藤 早 恵	英米文・歴史Ⅰ年	2
中国語ⅠB	布 施 直 子		2

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

学年初めの一ヶ月間は発音入門にあて、そのうち基本的な文の構造を学びつつ、会話を通して、語彙を広げる。同一の教科書を二人の教員が担当し、連携して授業をすすめる。

履修上の留意点

授業への出席を第一にしてもらいたい。反復練習をまじめにすることを通して必ず進歩がある。

成績評価の方法

年数回のテストと出席状況によって評価する。担当教員のそれぞれが評価を出す。

教科書

相原茂著『語学三十六景』（東方書店）

参考書等

授業時に紹介する。

その他

学習した例文を暗記できるまで、くり返し学習することに努めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	前 川 亨	英米文・歴史Ⅰ年	2
中国語ⅠB	前 川 亨		2

講義のねらい

まず発音を学び、その後初級文法の習得を目指す。比較的易しい文章が読め、簡単な聞きとりと会話ができるようになるのが目標である。

履修上の留意点

自主的な復習・訓練が不可欠である。欠席・遅刻は極力避けること。授業は学生と教員が協力して作るものである。授業に非協力的な者、私語する者、携帯電話を鳴らす者の受講は認めない。

成績評価の方法

前期後期の期末考査と二回程度の小テストによる。欠席、遅刻はその数に応じて減点する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	天野 節	英米文・歴史Ⅰ年	2
中国語ⅠB	下出 宣子		2

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめの1ヶ月を目途に発音の基礎を学び、その後ⅠAで文法事項の説明を、ⅠBで聞きとり・作文・会話の練習を行なう。正確な発音を身につけ、比較的容易な文章が読め、簡単な会話と聞きとりができるようになることを目指す。

履修上の留意点

授業に積極的にとり組むこと。復習をしっかりとすること。

成績評価の方法

評価はⅠA・ⅠBそれぞれに行なう。出席、授業態度、課題提出、小テストによる平常点と期末試験の結果を合わせ総合的に評価する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	戸張 嘉勝	英米文・歴史Ⅰ年	2
中国語ⅠB	釜屋 修		2

講義のねらい

戸張（A）、釜屋（B）が同一の教科書で行う授業です。正確な発音、ピンイン表記、基本文法を習得する。大声で発声し、中国語の基本構造をみつけ、「漢字だからわかるだろう」の誤解から自分を解放し、異文化へのアプローチを積極的に試みて欲しい。

履修上の留意点

予・復習につとめ、教室では集中して学習にとりくむこと。授業中は大学生として守るべきルールに徹すること。初級外国語はつき重ねがたいせつ、出席を重視する。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期の期末テスト、出席点等で総合的に判断する。

教科書

沈国威・内田慶一『新・チャイニーズステーション』（好文社）テープ付2,400円

参考書等

辞書は開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	佐藤 普美子	英米文・歴史Ⅰ年	2
中国語ⅠB	佐藤 普美子		2

講義のねらい

中国語の基礎になる文法と発音のしかたを学ぶ。

履修上の留意点

4・5月は発音のためのローマ字表記（ピンイン）を重点的に学ぶ。この最初の関門をぜひ突破してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び小テスト）と学期末テストを合わせて評価。

教科書

楊凱栄・張麗群『身につく中国語』（白帝社）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松本 丁俊	国文・地文・環境・歴史1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に配列したテキストを使用。長文学習では、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることができる。それによって、中国をより多く知ることができるだろう。

教科書

陳栄生 賴石傳 蔡柱国編著『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ふくち けいこ 福地 桂子	国文・地文・環境・歴史1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

中国語Ⅰで学んだ文法の基礎を確認しつつ、少し長い文章を読む。又中国の歴史、文化についての理解を深める。

履修上の留意点

新出単語については必ず辞書を引いてくること。読みの練習をしておくこと。

成績評価の方法

期末テスト＋平常点。（テストでは読解、文法のほか発音テストも行う）。出席が5分の4に満たない者は失格。

教科書

小川郁夫『中国を知るための中国語中級テスト』（白帝社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ちん しゅうきよ 陳 洲 挙	国文・地文・環境・歴史1年	2

講義のねらい

発音と基礎文法の復習、定着、中級程度の語い、文法、文型の学習、そして長文の文章構成の把握等を目標として、中級程度の読解力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

作者がいろいろな違った角度から中国の有名な都市の一つの側面を紹介した文章で綴ったテキストを使用。全22編なので、1回毎に1課のペースで授業を行う。文法項目と単語の解説がついているので、自習しても内容を把握することがある程度できるはず。授業中一人ずつ、少しずつ読んで、訳してもらって、そして発音の訂正とこまかい説明を行う。

履修上の留意点

辞書を引いて予習することが必要。本文の漢字にピンインがついているし、本文のカセットテープもあるので、予習は簡単。

成績評価の方法

テキストよりやや簡単な中国語の文章を日本語に訳す。辞書持ち込み可。後期のテストの成績を重視する。

教科書

陳洲挙他『中国名都物語』（中国文化出版センター）1,800円

参考書等

『簡明中日、日中学習詞典』（中国文化出版センター）3,800円



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ひろかね かなこ 弘 兼 加奈子	国文・地文・環境・歴史1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。  
課文には現在の中国事情に関するものが多く取り上げられている。翻訳が中心となるが発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

年数回のテスト、提出物、教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

山下輝彦『今日の中国トピック12』（金星堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	こ ぎよくか 胡 玉 華	国文・地文・環境・歴史1年	2

外科  
国  
語目

講義のねらい

ピンインの付いた読み物の講読を通して、初級の授業で身につけた中国語の発音、読解力の基礎を実用的なレベルに高めることを目指す。また教材を通して、今日の中国社会がもつ様々な姿及び中国人の考え方や生活スタイルなどを理解する機会ともしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本文の朗読・翻訳及び関連語彙・語句を用いた作文練習。

履修上の留意点

『中日辞典』を用意すること。  
受講者は毎回十分な予習をした上で、出席すること。

成績評価の方法

「A+α」制で評価する。「A」は定期試験による評価；「α」は、出席状況、宿題の出来具合、授業中の積極性などによる評価。

教科書

孟广学・本間史『中国は今』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	かまや おさむ 釜 屋 修	英米文2年	2

講義のねらい

中国語Ⅰで学んだ発音をより正確にするための復習、文法事項のより体系的な把握をめざす。  
簡単な文の中国語訳へも積極的にとりくんでもらう。

履修上の留意点

漢字表記だから易しいという誤った常識から、日本語とは異なった系列の外国語としての中国語の特質を楽しむ積極性を発揮してほしい。自主的学習を求める。

成績評価の方法

平常点、出席状況、宿題、小テスト、期末テスト（前後期各一回）により総合判定する。

教科書

荒川清秀『中国語文法システム』（同学社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA	きくらは かずのり 櫻 庭 和 典	英 米 文 2 年	2

講義のねらい

やさしい長文の文章の読解と、日常生活に使われるより多くの語彙を習得し、実践会話の習得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

文章を正しく読めるよう、音読のトレーニングと文章の理解力を高める。受講者には一人一人読みと訳をしてもらい、さらに、日常生活に使われる語彙を実際につかって会話のトレーニングを行う。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。授業には辞書を携帯すること。授業中の私語は厳禁とする。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。

教 科 書

八木章好編著『漢語趣話』（白帝社）1,800円

参 考 書 等

必要になったら授業のなかで紹介する。

科外  
国  
目  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA	り 李                      うん 雲	英 米 文 2 年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教 科 書

戸沼市子・那玉芝・渋谷瑞江『動詞をながめて中国語』（朝日出版社） 2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB	ね ぎ し                      ま さ こ 根 岸 政 子	国 文 ・ 歴 史 2 年	2

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習、確認しながら、身近な会話をもとに、「読む」「聞く」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、やさしい言葉ですぐ使える会話表現を身に付ける。

履修上の留意点

毎日の反復練習が中国語上達への鍵であるから、まずは大きな声を出して読むこと。付属のCDを活用して予習復習を忘れないこと。

成績評価の方法

前期後期の試験および小テスト、出席状況や授業への参加度などで評価する。

教 科 書

相原茂・喜多山幸子・魯曉琨『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』（朝日出版社）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB	さくらば かずのり 櫻 庭 和 典	国文・歴史2年	2

講義のねらい

中国語は、特に発音（四声）が明瞭でないと、意味が通じないため、一年次で学んだことを復習しながらより正しい発音（四声）の習得と、実生活で使える会話の習得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得、中国語文の反復・応用練習・暗誦を中心に授業をおこない、さらに、各課ごとに内容について、中国語で質問し中国語で答える練習をする。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。授業には辞書を携帯すること。授業中の私語は厳禁とする。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価を重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教 科 書

櫻庭和典・服部元彦・堀誠共著『音で学ぶ中国語』（晃洋書房）1,600円

参 考 書 等

必要になったら授業のなかで紹介する。

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB	り 李                      うん 雲	国文・歴史2年	2

講義のねらい

基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教 科 書

相原茂・玄宜青『中国語スピーキング倶楽部』（朝日出版社）2,300円

そ の 他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

## [スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	ナバローボロ, L. S.	文学部全学科1年	2

### 講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的にではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞1・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞2・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞
12. 再帰動詞・再帰代名詞の位置・過去を表す時制

### 履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

### 教科書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

### 参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）『西和中辞典』（小学館）  
『新スペイン語辞典』（研究社）

科外  
国  
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	なか がわ きよし 中 川 清	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

### 成績評価の方法

前期・後期の各期末にテストを行うが、平常の授業の参加意欲を重視する。なお、希望者に対して課題レポートを提出させ、その成績を加点する。

### 教科書

中川・見玉『スペイン語への誘い』（芸林書房） 2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	かめ やま こういち 亀 山 晃 一	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

### 講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

### 履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

### 成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

### 教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA	みやち たつろう 宮地達郎	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

英語につぐ世界語のスペイン語にたいする興味を持たせる。大学入学まで学習してきた英語との対比で授業を行い、日本語対英語・スペイン語の比較も学習する。

履修上の留意点

各課の練習問題の提出は生徒の自主性に任せる。提出された問題は教員が添削した後、次週生徒に返還する。

成績評価の方法

前期、後期のテスト、練習問題提出、出席で総合判断する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA	ルイズティノコ, C.	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の構造や表現に徐々に慣れ、基本的な会話能力を身につけることが目標である。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

Sánchez, Rios 著『ESPAÑOL EN DIRECTO IA』 Domínguez (SGEL)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA	うえの かつひろ 上野勝広	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は導入部から5課まで、後期は6～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習を行います。

履修上の留意点

新しい外国語を少しでも身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音テープのスペイン語を聴き、疲れるくらいに手や手を動かしてレッスンに励みましょう。

成績評価の方法

年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。

教科書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）2,200円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	佐藤麻里乃	文学部全学科1年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を必ず守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、小テスト、学期末試験等を総合して評価する。詳しくは初回の授業で述べる。

教科書

寺崎英樹著 『スペイン語文法のシステム』(同学社)

参考書等

『西和中辞典』(小学館)、『現代スペイン語辞典』(白水社)  
『新スペイン語辞典』研究社、『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)など。

科外国  
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	米田博美	文学部全学科1年	2

講義のねらい

現代が直面する不確実性の時代において、確かな知恵、確かなビジョン、確かな手段をもつことは、人々に生きる勇気や自信、そして希望をもたらすものです。大学という恵まれた環境の中で、自ら知性を高め、新たな知的付加価値をつけることができることは幸せなことです。約4億の人口を有し、20カ国以上の国々で話されるスペイン語は、「神が話す言葉」と言われるほど美しい言葉であり、国連公用語の一つでもあります。スペイン語圏諸国の自然は魅力に富み、音楽、文学、芸術などの文化は多様で豊かです。こうした国々で話されるスペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、言葉をマスターする上で、何よりも意欲、心構えが最も大切であります。強い目的意識をもって、授業にのぞんで下さい。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。仮に欠席をしたとしても、自らの努力で補うことも充分可能であり、折角定めた初心を安易に放棄しないことを望みます。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』(芸林書房)

参考書等

辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『和西中辞典』(小学館)、『現代スペイン語辞典』(白水社)、『新スペイン語辞典』(研究社)などを推薦しておきます。

その他

スペイン語圏の文化を紹介したビデオや短編映画を鑑賞できる機会もつくる考えです。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	<small>くりばやし ゆきえ</small> 栗 林 ゆき絵	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的な文法の体系を学び、簡単な新聞や小説が読めるようになることを目標にする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、文法事項の説明とそれを応用した練習問題、という構成で進める。また随時小テストを行い、そこまでの内容を整理する。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。

履修上の留意点

練習問題に出てくる単語の意味は調べてくること。辞書は授業中に使用するので必ず持ってくること。(辞書を持参しない者は欠席扱い。)

成績評価の方法

前後期の試験と平常点(出席・発言)、小テストを合わせて評価。試験、平常点ともに60%以上とることが単位取得の最低条件である。

教 科 書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』(第三書房) 2,200円

参 考 書 等

『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	<small>おぎの まさし</small> 荻 野 雅 司	文学部全学科1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようになります。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回の正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

参 考 書 等

使用する教科書等は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	<small>みやち たつろう</small> 宮 地 達 郎	国文・地文・環境・歴史1年	2

講義のねらい

英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。

履修上の留意点

最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教 科 書

『新日本語の基礎Ⅰ 分冊スペイン語訳』(スリーエーネットワーク)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	ナバローポロ、L. S.	国文・地文・環境・歴史1年	2

講義のねらい

日常会話の表現の習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 比較級・比較級の不規則形・最上級
2. 直説法過去：規則動詞と不規則動詞Ⅰ・過去の時を特定する表現
3. 直説法過去：不規則動詞Ⅱ・過去における期間の言い方
4. 直説法不完了過去・過去の不定期間の表現
5. 未来形・IR+Aについて・未来を表わす語句
6. 天候と無人称表現・その他の無人称表現
7. 現在進行形・不規則現在分詞
8. 現在完了

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

科外  
国  
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	<small>おおいわ</small> 大 岩 <small>いさお</small> 功	英米文2年	2

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書  
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円  
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	福 <sup>ふ</sup> 本 <sup>く</sup> 久美子 <sup>も</sup>	英米文2年	2

講義のねらい

基礎文法の終了と平易な日常会話の表現の習得を目標とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し欠席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。

授業を妨げるような振る舞い（私語・無断退出等）は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点（宿題・小テスト）の合計に拠る。

教科書

佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』（大学書林）

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡB	福 <sup>ふ</sup> 本 <sup>く</sup> 久美子 <sup>も</sup>	国文・歴史2年	2

講義のねらい

基礎文法の終了と平易な日常会話の表現の習得を目標とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し欠席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。

授業を妨げるような振る舞い（私語・無断退出等）は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点（宿題・小テスト）の合計に拠る。

教科書

佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』（大学書林）

# ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤大学での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

なお、ここで参考までに辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤勇著

## 〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA	杉山 秀子 <small>すぎやま ひでこ</small>	国文・英文・環境・社会・福祉・心理1年	2
ロシア語ⅠA	佐野 朝子 <small>さの あさこ</small>	英米文・歴史1年	

### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

### 講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

### 成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

### 教科書

戸辺又方 編『1年生のロシア語』(白水社)  
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林)

### 参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠB	ひろた ひでやす 廣 田 英 靖	文学部全学科1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をさきとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。  
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸辺又方 編『1年生のロシア語』(白水社)  
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA	きむら ひであき 木 村 英 明	国文・地文・環境・歴史1年	2
ロシア語ⅡA	さの の 朝 子 佐 野 朝 子	英米文2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。  
ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡB	さ の あ さ こ 佐 野 朝 子	国文・歴史2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。  
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

教 科 書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

そ の 他

プリント配布。

外科  
国  
語目

[英 語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールをといあわせたりしてみる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。  
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。  
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なもので、事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教 科 書

『Subject : E-mail : writing effective message. 』（南雲堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	かわまた ようたろう 川 股 陽 太 郎	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として英語の運用能力をやしなう。

講義の内容・  
授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングの運用能力練習をする。ビデオ（VHS、DVD）等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教 科 書

プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	ひろかわ おさむ 広 川 治	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

映画のシナリオをテキストに使用する。

履修上の留意点

遅刻、居眠等は欠席扱いとなる厳しい授業。

成績評価の方法

平常点と前後期試験で評価。

教 科 書

授業内に購入を指示する。

科外国  
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	お 太 田 美 智 子 お 太 田 美 智 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

会話の基本フレーズを身につけ、応用する力を養いましょう。但し、大学の英語ということを加味し、表層的な会話だけでなく、もっと有意義且つ知的な英語の楽しみ方を学ぶ場にしたいと考えています。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業にのぞむこと。単位の取得ではなく、各々の実力を向上させることが目的であるということを銘記してください。

成績評価の方法

平常点、授業中の態度、予習の有無、レポートの内容、等々からの総合評価。

教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	い と う 藤 美 代 子 い と う 藤 美 代 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語による意思伝達を可能にすることがまず第一の目的。当然、ライティングだけでなく、スピーキングの訓練も行う。ライティングは、センテンスからパラグラフまで、スピーキングは日常会話からスピーチまでをめざす。その過程で当然、ヒヤリングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・  
授業スケジュール

原則として、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用し、日本語の説明は必要最小限に抑える。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教 科 書

1. Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa 『コミュニケーションのための基礎英作文』(金星堂) 1,850円
2. 伊藤美代子(編著)『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	た か は し ひろし 高 橋 寛	全 学 科 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

英会話を学ぶには語彙力や文法的知識を身につけることはもとより、口語体特有の言い回しも覚える必要があります。本講義では特に後者に力点を置き、なるべく多く会話に役立つ表現を覚え、それを実際に使う練習を行っていきます。

履修上の留意点

講義に臨む際、こちらがあらかじめ指定した部分については必ず予習をしておいてください。予習を怠ったもの、テキストを持ってこないものは欠席とみなします。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を合わせて出します。

教 科 書

『Terrific Talk』(金星堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	よ し え ま さ お 吉 江 正 雄	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これからのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・  
授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分の一を越える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教 科 書

『A Short History of the World』（こびあん書房）

科外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	や そ ぎ ひろゆき な か お 幸 後期：中 尾 俊 光	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

ことばの習得には誤りがつきものである。特に日本人がおかしやすい誤りを選び、これまで気付かずしていた誤りを訂正し、活用して総合的な技能の向上を計る。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法項目の点から分類。特に述語動詞、準動詞、助動詞、時制、名詞、代名詞、形容詞、限定詞等を取り扱う。

履修上の留意点

参考書、辞書等を用いてよく調べてくること。

成績評価の方法

前期テスト、小テスト、レポート、出席状況、発表成果等を総合して評価します。

教 科 書

J. B. HEATON 『誤りから学ぶ英語演習』（英潮社） 1,400円（税別）

参 考 書 等

ND Turton 『Longman Dictionary of Common Errors-New Edition-』 Longman Corpus Network

そ の 他

授業は演習形式で行ないます。かならず一回は発表してもらいますので予習を忘れることなく行ってきて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	つ か も と と し お 塚 本 利 男	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語の語順・文章構造を確実に理解し、日常生活の様々な事柄について英語で表現する事を目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

各章で①基本文法事項②練習問題③発展問題さらに学習した事柄についての確認をする④復習問題をやりながら、運用の能力の練習をします。授業の最後に、毎回総仕上げとして、日常の身近な事柄、例えば、日本の四季、大学生生活、コンパなどについて意見・考えを英語で記述してもらう小テスト（15～20分）を行います。

成績評価の方法

授業における発表・小テスト・前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが、50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教 科 書

『語順が身につく英作文』（朝日出版） 1,800円+税



科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	かわしま ひろゆき 川 鳥 弘 之	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

受験英語を生かして、英語を楽しんでもらうことを目指す。そのためには、学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生1人1人のロック音楽等のリクエスト曲を中心にして授業を行う。

現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代っているばかりか、現代詩の一翼になっている。ロックの中には「生きがい（生きる真の目的、生きる意味、価値）」や「LOVE」について深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

英単語とPleaseだけで通じる超ミニ英会話を楽しんでもらう。

成績評価の方法

授業中、他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを重視する。

発表、レポート、前後期の定期試験に基づく。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』（大修館書店）  
『超ミニ英会話』（明日香出版社）

参考書等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）  
『ロックの意味』（草思社）  
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）  
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

そ の 他

ビデオ、レーザーディスク、DVDで英語を楽しむ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	おの え の り こ 尾 上 典 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr., Elvis Presleyなどアメリカン・ドリームを形作るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語ビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聞解能力の増強もはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が3分の2に満たないものおよび授業態度の非常に悪い者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教科書

Roy E. Charron、宮野智靖著 『Profiles of the American Dream（アメリカン・ドリームを読む）』（金星堂） 1,800円（税別）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	お お た ゆ き こ 太 田 由 紀 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語の基本構造の確認と応用により「書ける」楽しさを実感して貰う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは全十二章からなる。よって一章に二回分の授業を充てる予定。ある授業で該当章の文法事項を確認した上で応用英作文問題を課す。次週その解答を皆で検討する作業を終えたら、次章の解説に入る。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

石黒照博・山内信幸著 『「橋渡し」英作文』（金星堂） 1,600円

参 考 書 等

安井稔・角谷裕子著 『英作文要覧』（開拓社）

科外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	た か や な ぎ ふ か え 高 柳 文 江	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基にwriting、speaking両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2 / 3 以上の出席が要求されます。前期後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、演習テスト等）40%

教 科 書

『World Today—文化の諸相』（鳳書房）

参 考 書 等

テープレコーダー使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	や ま が た ゆ た か 山 縣 裕	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

アメリカ文化のさまざまな側面を学びながら、スピーキングの力の向上をはかる。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

森田彰・飯尾牧子・狩野紀子・土屋武久・Jeff Martin共編『ビデオで学ぶアメリカ文化・CD付』（成美堂） 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	もりた たかみつ 森 田 隆 光	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語の基礎から学生諸君にわかりやすく講義を行って行きます。聞く、書く、話すを全部行ってゆきます。クラスは非常に興味のある授業になると思います。授業は日本語と英語を併用し時にはフランス語でも行います。まずクラスに出席してみてください。

成績評価の方法

前期、後期の試験  
レポート年1回（英文にて）

教 科 書

開講時指示

そ の 他

欠席は3回まで（年間）

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	いわはら やすお 岩 原 康 夫	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおけるparticipationによって判断する。

教 科 書

Cultivating Writing Skills (『基本語彙を使った発展英作文』) (朝日出版) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	にしはら かつまさ 西 原 克 政	全 学 科 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられているBasic English (850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているので、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただきたいと思います。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教 科 書

『英語表現トレーニング』 (北星堂書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	まきのてるよし 牧野輝良	全学科2年	2

講義のねらい

英語の構文を再度学習し、英語の構造をしっかりと身につけること。

講義の内容・  
授業スケジュール

重要な英語の構造が一單元となっているテキストを使用するので、各単元の英文を覚える努力をする。

履修上の留意点

学生は辞書を持参し、自分にわからない語句が出て来たらすぐ辞書を引き、身につけることに心掛けること。

成績評価の方法

毎時間提出のレポートと期末テストによって成績評価する。

教科書

石黒他編 『大学英文法A to Z』 (金星堂) 1,300円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	きむらかつひこ 木村克彦	全学科2年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『Developing Reading Skills』(朝日出版社) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	むとうひさお 武藤久緒	全学科2年	2

講義のねらい

これまでに習得した英語知識を確実なものにしながら、語い、語法の面で難のない理解しやすい文章を読み英文に親しみ読解力を養うことを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

日常ひんぱんに使われている語、例えば、Smog, Kangaroo, Nicknameなど114の単語の由来、それぞれの持つ特有の歴史を読み、言語と文化に対する関心を高めたいと思う。

前期：1ページから44ページ

Piano から Tennis までの57の単語の由来について

後期：45ページから87ページ

Utopia から Postman に至る57の単語の由来について

履修上の留意点

授業は訳読形式で行い、受講者全員に本文を読み訳してもらいます。随時文法を含む必要事項の説明をします。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテストの成績；授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

Arkady Leckum and others 『Where Words Were Born』 (朝日出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	てじま けいこ 手 島 敬 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的にを行います。

教 科 書

『日常生活の中のアメリカ文化』（マクミランランゲージハウス）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら英語の運用能力を統合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」総合演習ですが、このクラスでは特にリスニングに重点を置きます。

履修上の留意点

1 単元終了時に小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強してください。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意してください。

教 科 書

『Century—Life in New Age』（朝日出版社） 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	た な か たもつ 田 中 保	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

より高度な構文の理解と文章の大意の把握に重点を置きながら読解力をつける。また、サブ・テキストを使用して、リスニング力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

成績評価の方法は、以下の項目を総合的に検討して評価する。

1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教 科 書

1. 『10 Minute Basic Listening』（桐原書店） 950円
2. 『大学生のための初級英語』（STEP-UP ENGLISH）（南雲堂） 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	まえだ おさむ 前 田 脩	全 学 科 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに戯曲をもちいて、会話の面白さと、英語の文化を学びつつ語学力をつけていきます。毎回あてますので予習は必須です。時々、英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期、後期のテストを総合評価します。

教 科 書

『フル・フォア・ラヴ』（鶴見書店） 1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	おおた ゆきこ 太 田 由 紀 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。

講義の内容・  
授業スケジュール

言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

E.D.Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』（鶴見書店） 1,600円

参 考 書 等

江戸川泰一郎著 『英文法解説』（金子書房） 1,750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	い で こう い ち 井 出 功 一	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

テキストは、私たちの身のまわりの経済生活の知恵を、平易な英語で綴った『くらしの経済学』である。「お金の役割」、「収入と支出」、「国の経済は誰が動かすか」など私たちのくらしがテーマになっている。

講義の内容・  
授業スケジュール

経済学は私たちの日常生活そのものなので、そこに出てくる英文を十分聞いたり、読んだりして、英語を正しく捉える力を養う。内容は、「国の経済は家の経済と同じ」、「お金とは何か」など。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教 科 書

George Soule Economics for Living 『くらしの経済学』（南雲堂） 1,400円

参 考 書 等

英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。  
『新しい学習英文法』（研究社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	こうべ はるき 神 戸 春 樹	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語は、その基礎力の鍛錬がとくに重要なものである。テキストを用いながら、さまざまな角度から、英語の実力英語の実力の養成を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的な英文に触れることにより、英語の実践的な運用を身につけられるように、具体的に説明を加えながら進めていく。

履修上の留意点

積極的に授業に参加してもらうので、必ず予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席率、授業中の発表、そして前・後期の定期試験によって評価する。出席率と授業中の平常点が50%、前・後期の定期試験が50%で、総合的に決める。

教 科 書

最初の授業で指示します。

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	まつどう ひろこ 松 堂 啓 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

最新科学に関するトピックを読み、構文の理解力を高め、大意把握の速度を上げていく。

履修上の留意点

予習が必要。

成績評価の方法

試験と出席状況で評価する。

教 科 書

『To the Future-VOA Special English Program』(マクミランランゲージハウス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	みうら まり 三 浦 眞 理	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速読し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

英文のstoryを読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、ごく簡単な表現で書かれている文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。

また、hearingの練習、さらに、時間が許す限りTOEIC等の練習をできるだけ行いたいと思います。ごく基礎的な英語を(最初から再学習するつもりで)しっかりとおぼえてもらいます。

テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。

後期最後に総まとめ試験実施(授業時間中の小テスト重視)

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席(厳守)、授業中の発表、小テスト(70~80%)及び後期試験の結果によりおこないます。

教 科 書

『Twenty Tales』(成美堂) 1,600円

参 考 書 等

プリントを使用することもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	いぬま よしなが 飯 沼 好 永	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて、修得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教 科 書

千葉元信・松尾秀樹・岡崎久美子 『Reading Landmarks of the World（英文読解のトレーニング）』（三修社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	まきの てるよし 牧 野 輝 良	全 学 科 3 年	2

科外  
国  
語

講義のねらい

英語の構文を再度しっかりと学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストの英文を読み、文中に現われた重要な構文、慣用句、単語を正確に習得する。そのため小テストを多く行う。

履修上の留意点

学生はよく自習しておき、指名されたら答えられるように心掛けておくこと。毎時間の練習問題は解答して全員提出すること。

成績評価の方法

成績評価は授業中の成績、小テスト、レポート、期末テスト等を総合して行う。

教 科 書

田本、サイモン・サナグ 『基本英語表現法』（成美堂）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	さとう あきこ 佐 藤 明 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。（ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします）

教 科 書

『Real Life in Britain（イギリスを感じてみよう）』（三修社）1,850円（税別）

参 考 書 等

辞書を持ってきて下さい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	うつのみや ひでかず 宇都宮 秀 和	全学科3年	2

講義のねらい

長年英語を教えてきて感じることは、多くの学生諸君が、基本的なことを理解していないという  
ことである。土台をきちんと築かないことには、何の役にも立たない。

基本的なこととは、英文の文型、時制、名詞の複数にはSをつける、などのことである。英文を  
書くことは、論理的な思考の訓練にもなるのである。基本的なことをしっかりとやりたい。

成績評価の方法

成績は平常点とし、期末試験行わない。出席は2/3以上。

教科書

プリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	いまい なつひこ 今 井 夏 彦	全学科3年	2

講義のねらい

日常的な場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーション能力を養成することを目標  
とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに従って1章を2回でこなすことを心がけます。

履修上の留意点

日常のことが「書けて話せる」ようになることを望みます。

成績評価の方法

成績は、出席点、平常点、レポート、期末テストの点などを総合して評価します。

教科書

『日常会話英作文』(成美堂)1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	えだ さちこ 江 田 幸 子	全学科3年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

読む、書く、聞く、話すの英語運用能力を総合的にバランスよく育成していくのがこの教科の  
目的です。これらの四大要素を生活の上で実践的に、臨機応変に運用出来るようになることがこ  
の授業の最終的な目標です。従って、使用するテキスト中心に、まず、reading―読解、  
listening―耳で読む、を徹底し、次にテキスト中の英語表現を応用したwriting―運用、  
口頭で簡単に発表する―oral presentation in English、の学習プロセスで授業を進めて行きます。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験、提出物、適宜行う小テスト等を総合した平均点60点以上、全授業回数  
の2/3以上の出席をもって合格点としますが、平常授業内での努力点も合わせて評価しますの  
で、授業毎の学習―予習、発表―に対して熱心な姿勢で臨むことが望まれます。語学の習得には  
学習の地道な積み重ねが必要不可欠なので、このことは特に強調しておきたいと思います。

教科書

David E. Bramley 河合忠仁『Basic English for Communication (英会話のためのコミュニ  
ケーション英作文)』(松柏社)1,500円

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	さ さ く ら さ だ お 笹 倉 貞 夫	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

近年ますます国際化・ボーダーレス化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに、実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

平易な現代アメリカ口語英語で書かれた速度用テキストを用いて、英語による文章表現を学びながら、英語による実践的な英語表現能力の育成に努めたい。従って、随時、英文による物語の内容要約を課すことがある。(リスニング教材併用)

履修上の留意点

予習・出席重視、常時英和辞典持参。

成績評価の方法

前・後期末テストの他、内容要約の英文レポート随時提出していただき、出席状況等々も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教 科 書

Pearl S. Buck 『The Story Bible』(太陽社) 1,442円

科外  
国  
目  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	い い の ぶ ひ こ 井 伊 順 彦	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、言葉の4技能をのばすとともに、現代アメリカの若者文化に触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回テープをいやになるほど聞いてもらう。また、速読力や文法力の養成にも力を注ぐ。ときには授業の最後にビデオを観てアメリカ文化への理解を深め、同時に聞き取りの力をつける練習もおこなう。

履修上の留意点

毎回かなりの人数の諸君に何らかの形で答えてもらい、それを平常活動とする。発音のチェックもおこないたい。

成績評価の方法

数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教 科 書

『Real-life Scenes of Young Americans (アメリカの若者とライフスタイル)』(成美堂)  
1,700円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	お が さ わ ら り ゆ う げ ん 小 笠 原 隆 元	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

これまで7～8年間学んだ英語力を生かして、英語による意志伝達、運用能力の向上を目標としたいが受講生の実力は各人各様と思われるので、日英両語によるレポート提出で各自の自己主張、表現力向上をめざしたい。

履修上の留意点

初回時の授業で諸資料配布と実力考査を実施したいので必ず出席してください。

成績評価の方法

再クラスは出席率が一定しないが成績は総合評価、受講者は各自、最大限の努力をして下さい。

教 科 書

テキストは『コミュニケーション ナウ』(南雲堂) 1,300円  
他にプリントコピーを適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	やそぎ ひろゆき 八十木 裕 幸	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

よく使われる語彙を効果的に増やし、より豊かな英語表現ができるようになることを目的とします。プリントでは間違いや不自然な使い方の例題を取り上げライティングの向上を目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

類義語、改まった表現とくだけた表現、コミュニケーションと基本動詞の表現、比喩的・j表現とイディオム表現、日英表現の比較、複合語などを取り扱います。並行してプリントで補いながら授業を進めます。

履修上の留意点

毎回指名して授業展開をしますので確実に予習をしてきてください。

成績評価の方法

前期・後期のテスト、小テスト、レポート、出席状況（1回欠席－5点減点）などを総合的に判断し評価します。

教 科 書

石黒昭博他『語彙・表現力のアップの総合演習』（英宝社）1,680円  
プリント

参 考 書 等

最初の授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	とのいけ かずこ 外 池 一 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的にはテキストに従って進みますが、必要に応じて英字新聞や英語のニュース、討論番組のビデオなども使います。ディスカッションやディベートの意見の組み立て方についても訓練します。

履修上の留意点

テーマは皆さんの身近な問題です。授業の前にある程度自分の意見をまとめておいて積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2－3回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	いわた ようこ 岩 田 洋 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

「文は人なり」時間・空間をこえて、書物の＝言葉＝人との出会いには、無上の喜びがある。先人達人たちの簡潔鮮明な表現から、①単なる知識だけでなく知恵を学びとること。②選り抜かれた絶対的一語一語から修辞法を学ぶ。③言葉は言霊（ことだま）。頭だけで覚えるものではない。感得するもの、体得するものである。言葉にも音色や香りや匂いがあることを学びたい。「Who Said That?」が真実なるもの、美しいもの、素晴らしいものとの出会いになれば…「The truth makes you free!」かもしれない。授業は徹底的な演習形式で行う。

成績評価の方法

毎回の出席状況、平常点、提出物、前期・後期の試験の結果等を総合して行う。

教 科 書

Jim Knudsen著 九頭見一士注 『"Who said That?" A Book of Famous Quotations (名句で英語を学ぶ)』（南雲堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	やまぎし しろう 山 岸 二 郎	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

大学生の日常生活を英文で表現しよう。  
 言語学習は通常Listening, Speaking, Reading, Writingの順に展開する。ここで四領域に分けたのも便宜上のことで、実施の学習は相互に影響し合って、すすめられる。あるレベル以上になると四技能は一体となる。そうなると言語は大きな力を発揮し、思考力の発達を促す。このときReadingは、知識の吸収と、それに基づく思索の世界を形成する上で、中心的役割を課す。Writingは、書く事柄について反省・整理し、それを説得力ある言葉で、明快にあるいは情緒的に表現する訳である。  
 教室ではそのための準備として、目標に掲げたような身近かな英語表現能力の向上を目指す。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、小テスト、テストその他総合的に評価する。

教 科 書

未定

科外  
国  
目  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語IIB 〔再クラス〕	やまがた ゆたか 山 縣 裕	国文・英米文・歴史3年	2

講義のねらい

ビデオの助けを借りて、CNNのニュースを読む。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

関西大学英語教育研究会編著『CNN：ビデオで見る世界のニュース』（朝日出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語IIB 〔再クラス〕	おぶせ けまぞう 小 布 施 圭 佐 三	国文・英米文・歴史3年	2

講義のねらい

読むためのスキル (skill) として、英文構成の理解・語彙力・内容予測・大意把握・趣旨判別などの力を養成します。

講義の内容・  
授業スケジュール

教材内容は比較文化が中心となっており、文化の裾野を広げることができます。

前期：Lesson 1 (p.1) ~Lesson 10 (p.42)

後期：Lesson 11 (p.43) ~Lesson 20 (p.86)

履修上の留意点

予習の励行・レポーター制の採用・英語の辞書持参など。

成績評価の方法

出席点／レポーター点／試験（前・後期）などを加味して総合評価します。

教 科 書

Alan Turney／川辺康男 『Seeing More of the World』(SEIBIDO) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	い わ い ひ ろ み 岩 井 洋 美	国文・英米文・歴史3年	2

講義のねらい

様々な英文を通して、実用的な英語の力をつけていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

英文を日本語に訳しながら読み進めていくリーディングだけではなく、旅行などで外国へ行った時に見るインフォメーションや案内といったものの大意を把握し、必要な情報を得るといったリーディングも行う。また、異文化についての知識も深めたい。

履修上の留意点

第一回目の授業からの出席。

成績評価の方法

出席とクラス内のテスト50%、前期、後期試験50%で評価する。

教 科 書

北尾・S・キャスリーン、北尾謙治『アメリカ実際生活—会話と読解—』（朝日出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	か わ て ひ ろ か ず 川 手 浩 一	国文・英米文・歴史3年	2

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることにある。  
今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとらわれていては日常生活すらできなくなっている。  
特に英語は世界各地で使いやすい言葉として国際語の役割をはたしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

ここでは主として読解力に重点をおいているが、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中にちりばめて、多様性に富んだ学習ができるようにしてある。

成績評価の方法

出席、レポート、テストなど総合評価である。

教 科 書

Tuyoshi Tiba 『Prosperous Life〔豊かな生活〕』（南雲堂）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	お お た み ち こ 太 田 美 智 子	国文・英米文・歴史3年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることを目的とします。  
具体的には伝達内容を正しく速く把握するための訓練を行う予定です。

講義の内容・  
授業スケジュール

我々人間にとっても興味深い動物の生態について読みます。さらに、毎回リスニングの練習も積みます。歌、映画、ニュースなどの様々な素材から幅広く学ぶつもりです。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業にのぞむこと。単位の取得ではなく、各々の実力を向上させることが目的であるということを銘記して下さい。

成績評価の方法

平常点、授業中の態度、予習の有無、レポートの内容、等々からの総合評価。

教 科 書

『Animal Watching!』（南雲堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	<small>おちあいかずあき</small> 落 合 和 昭	国文・英米文・歴史1年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL 等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階はそのなかで、使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第三段階は、学生に会話文の発音練習をせらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てるつもりである。）出席率が三分の二を超えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 『決まり文句書取り練習帳』（鶴見書店） 800円
- 『ネイティブ英語の慣用表現（2）』（マクミラン） 1,800円

科外  
国  
目  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	<small>かわまた ようたろう</small> 川 股 陽 太 郎	国文・英米文・歴史1年	2

講義のねらい

IBを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・  
授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。ビデオ等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教 科 書

プリント教材を適宜配布、使用する、教科書は未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	<small>かわうち けんりゅう</small> 河 内 賢 隆	国文・英米文・歴史1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

本テキストは身近な話題を易しい英語で取り上げている。英字新聞の記事としては、全く初歩的なものである。再クラスだけに、文法事項や語法などを詳しく解説しながら、スローペースですすめる。

成績評価の方法

出席点と発表点（年間3回以上）を重視する。前者30、後者30に定期試験の二回の点数を加える。良い結果が出なくとも、努力している姿を見せて欲しい。

教 科 書

『やさしい英語ニュース』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	ほんま としかず 本 間 俊 一	国文・英米文・歴史1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教 科 書

『Checknote For Business Trends』(金星堂) 1,100円

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	あさかわ まき 朝 川 真 紀	国文・英米文・歴史1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

国際的な視野を養いながら実用的な英語力を身につけること、英文を速く正確に読める能力を養うことを目的とする。授業ではニュース記事を抜いたテキストと、英字新聞を読んで行く。

成績評価の方法

評価は出席・平常点40%、前期後期試験60%とする。出席が3分の2に満たない者は不合格とする。

教 科 書

『やさしいニュース英語 2002/2003』(成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	にしだ よしかず 西 田 義 和	国文・英米文・歴史1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業では質的な深さの精読だけではなく、読解力の量的幅の拡大も含めて、総合的に学習しながら、読解力を養成する。

英語に限らず、外国語を読むとき文法をはじめ語いなど重要な要素があるが、それ以外にも文化的な背景なども重要な役割を果たしている。表現や文法に注意するだけでなく、敏速に大意・要点をつかみながら授業を進める。学生諸君の知識で容易に読みこなせるテキストを採用する。時として未習の語句等があると思うが、文脈からそれらの意味は容易に理解できよう。

成績評価の方法

出席率を重要視し、中間試験・期末試験、普段の授業態度等を総合して評価する。原則として授業回数の3分の1以上欠席した場合は不合格とする。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

上記にあげたことを最初の授業でさらに詳しく説明するので必ず出席するように。

## 〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	柴 <sup>しば</sup> 野 <sup>の</sup> 博 <sup>ひろ</sup> 子 <sup>こ</sup>	全学科2年	2

### 講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

### 履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

### 成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

### 教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	野 <sup>の</sup> 島 <sup>じま</sup> 利 <sup>とし</sup> 彰 <sup>あき</sup>	全学科2年	2

### 講義のねらい

ドイツ語の文法を理解するにはドイツ語で簡単な作文練習をすることが非常に役に立ちます。この授業では作文問題を中心に文法の授業を行います。

### 成績評価の方法

教科書の作文問題を毎回宿題とします。宿題を提出して初めて出席とします。成績評価は定期試験と宿題の総合評価によります。

### 教科書

横山靖『ドイツ語の作文と文法』（郁堂文堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	織 <sup>お</sup> 田 <sup>だ</sup> 繁 <sup>しげ</sup> 美 <sup>み</sup>	全学科2年	2

### 講義のねらい

文法と聞くと、どうも面白くないという気持ちが先だち、勉強意欲が湧かないと思う学生が多いと思われるが、ドイツ語の会話では恐らく英語以上に正しい文法が要求されると思われる。美しいドイツ語の言葉が電話を通じて快く感じるのも、高度な文法をこなして話しかけてくるからである。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

この授業では教科書を用いるが、副教材としてドイツの日常生活を題材としたプリントを用いて文法事項の理解に役立てたい。前期は単純な文の構成を主に扱うが、後期になると、文体として少し複雑になるが、あくまで前期に学んだことが土台になるので、真面目に出席している学生には、演習が苦になるどころか、むしろ興味さえ感じ、楽しく思えるようになると思う。

### 成績評価の方法

前期、後期の試験も勿論考慮されるが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

### 教科書

高橋 『わかりやすいドイツ文法』（芸林書房）1,300円



科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	くりはら かずのぶ 栗原 万 修	全学科2年	2

講義のねらい

このクラスの受講者は、すでに初級ドイツ語は終了しているはずですが、〔再クラス〕ですので、最初からのつもりで、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、外国語は継続的に勉強しないと習得できませんので、出席を重視します。欠席を続けると名簿から名前を抹消し、再び<再履修>となります。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の教場での学習意欲、さらに出欠等も含め、すべてを総合して判断します。

教科書

大岩信太郎 『快速ドイツ文法』(朝日出版社) 2,100円

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	いがらし のぶこ 五十嵐 信 子	全学科2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと  
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできない一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教科書

在間進・納谷昌宏・清野智明『明るく楽しくドイツ語を!』(改訂版)(三修社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	やぶした こういち 藪下 紘 一	全学科2年	2

講義のねらい

初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対ⅠBの単位をとるぞ、と肝に銘じて、善段辞書をひいて教室に来てください。

成績評価の方法

成績は教室で、皆さんに発表してもらう平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

佐藤洋子他 『シュリット・フエア・シュリット』(白水社) 1,500円

そ の 他

月曜日5時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	まつおか 松 岡 晋	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

あまり難しくないドイツ文を読み通すことによって、同時に、初等文法の復習も行おう、というのがこの授業の目指すところです。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は下記の教科書に即して行われます。各課は読章（1ページからなるドイツ語の文章）、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限にとどめ、ドイツ文の読解と簡単な文章での表現練習に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点（出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々）によって行います。

教 科 書

入谷幸江ほか著『ドイツ語コミュニケーション 独検4級対応』（三修社）2,000円

科外国  
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	やぶした こういち 藪 下 紘 一	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対ⅠBの単位をとるぞ、と肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来て下さい。

成績評価の方法

成績は、教室で皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教 科 書

浦野・酒井『ドイツ語・ライヴ』（有久堂）500円

そ の 他

水曜日2時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	すぎもと まさとし 杉 本 正 俊	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

「再」クラスではあるが、学生がドイツ語を「全く知らない」事を前提に、発音と文法を初めからやり直し、その知識を基礎にドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

一年でいちおう初級文法のすべてを終え、それに対応したドイツ語の文を読むつもりです。

履修上の留意点

学生諸君は、必ずしも予習は要求されない。しかし授業中は勉強に集中する。また、負担にならない程度の課題が時々出るが、きちんとこなして行けば力が付くと思う。学生の理解力に応じた授業を行うので修得すべき事項は何度でも反復説明します。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行う。平常点もかなり重視する。

教 科 書

桐川修 岸川良蔵『ドイツ語のアウトライン』（東洋出版）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	し ば の ひ ろ こ 柴 野 博 子	国文・英米文・地理・歴史年	2

講義のねらい

この時期は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教 科 書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』（朝日出版社）1,748円

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	も と は し う き よ う 本 橋 右 京	国文・英米文・地理・歴史年	2

講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を高めてゆきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

ドイツ語のやさしい文章にできるだけ多く触れ、基本的な語彙や枠組みを習得していきます。その過程で、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。

毎時間CD-ROMを利用します。まずは、発音・数字・日常的な表現等から始め、徐々に基本的な語彙や表現、文法事項を確実なものにします。

履修上の留意点

みなさんの積極的な学習を希望します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

Schlecht&三室 CD-ROMブック 『パソコンで学ぶドイツ語 ハロー、ヴィーゲーツ?』（三修社）4,800円（三修社）

そ の 他

スライド、テープなど。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	す ぎ も と ま さ と し 杉 本 正 俊	国文・英米文・地理・歴史年	2

講義のねらい

発音と、初級文法をはじめからやり直し、その知識を土台にして、やさしいドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

一年間でいちおう初級文法の必要知識をすべて与え、それに応じたドイツ語の文を読むつもりです。学生の理解力に応じた授業を行うので、難解な事項は何度でも反復説明します。

履修上の留意点

学生の皆さんには必ずしも予習は要求しません。しかし授業中は勉強に集中して下さい。また時々負担にならない程度のやさしい課題を出しますが、きちんとこなして行けば力がつくと思います。

成績評価の方法

前後2回の大テストの他随時小テストを行い、平常点もかなり重視する。

教 科 書

志田裕朗・羽根田知子『コンタクトドイツ語』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	やぶした こういち 藪 下 紘 一	国文・歴史3年	2

講義のねらい

ドイツ語中級の復習をしましょう。今年こそⅡBの単位をとるぞと、肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来て下さい。

教科書

内藤『中級・小文法読本』（同学社）650円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	ももずみ いさむ 百 済 勇	国文・歴史3年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

成績評価の方法

平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もとほし うきょう 本 橋 右 京	国文・歴史3年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法面からドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた簡単な文法表現を覚え、練習問題でもって理解を確かなものとしします。

履修上の留意点

みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

未定

科外  
国  
語

## [フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	菅 谷 暁 <small>すが や さとる</small>	全学科2年	2

### 講義のねらい

フランス語文法の基本を勉強します。

### 成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

### 教科書

瀬倉他著 『新世紀グラス』 (駿河台出版社) 2,500円  
『基本問題集』 (駿河台出版社) 300円

### その他

教室でのさまざまな練習を軸に授業を進めるので、休まずに出席することが非常に重要です。

## 外科 国 語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	芦 原 眷 <small>あしはら けん</small>	全学科2年	2

### 講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章(おもに会話の多い文章)が読めて(発音)、その内容が理解(読解力)できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

### 履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

### 成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

### 教科書

『キャロット』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	竹 田 正 純 <small>たけだ まさずみ</small>	全学科2年	2

### 講義のねらい

クラスの性質上、文法の復習が中心となるが、反復練習によって基礎的事項の徹底理解を目指す。可能なかぎり、個別指導を心懸けていくつもりである。

### 成績評価の方法

前・後期の最終日のテストを中心に評価するが、平常授業での課題も真面目に取り組んでほしい。

### 教科書

内藤他『フランス語へのパスポート』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	こだま なり お 小 玉 齊 夫	全学科2年	2

## 講義のねらい

フランス語文法の復習です。文の仕組みの基礎を知る授業ですから、単純に繰り返して記憶する項目が多くなりますが、可能なかぎり、多様な観点から、フランス語の表現を覚えていくようにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

一回の授業で一課あるいは二課ほど、進んでいくことになります。全課を終えると、同時に、フランスの各地域の概観を知ることにも出来るようになっていきます。文化的な面での知識も獲得できるようにしたいと思います。

## 履修上の留意点

予習・復習をきちんと行うこと。特別な場合を除いて、授業には必ず出席すること。

## 成績評価の方法

随時行われる小テストと、前期・後期の試験によって成績評価をします。

## 教科書

青木『エグザゴス』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	はせがわ みつ あき 長谷川 光 昭	全学科2年	2

## 講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・  
授業スケジュール

もう一度ゼロから、しっかり確認していきましょう。あまり無理をしないで、基礎力を確実に身につけることをめざします。

## 履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

## 成績評価の方法

ふだんの授業における評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

## 教科書

山村嘉己他『ジュタンプラス』（朝日出版社）2,000円

## 参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	まえだ のりかず 前 田 祝 一	全学科2年	2

## 講義のねらい

2年生が対象とはいえ、初めてフランス語を勉強するものとして、発音・綴字の読み方など、一番の基礎から開始します。

講義の内容・  
授業スケジュール

練習問題などをていねいにクリアし、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

## 履修上の留意点

毎週の授業が、それまでの学習の成果の上に成り立っているのですから、つまり毎週新しいことの勉強が始まるのですから、欠席しないように努力してください。欠席すれば取り残されるものと覚悟すること。

## 成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストを基本に成績を評価します。しかし教室での課題、出席状況にも配慮します。

## 教科書

滑川他編『ポケットにフランス語 改訂版』（第三書房）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	いませき 今 関 ア ン	全 学 科 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

練習問題（口頭、聞き取り、作文）を中心に進めてゆく。

履修上の留意点

学習者主体の授業なので、積極的な参加を切望する。もちろん欠席など論外である。授業終了時にその日の成果を提出してもらい、これをもって出席とみなすつもりである。

成績評価の方法

平常点により評価するので、毎回出席すること。  
辞書、教科書を必ず持ってくること。

教 科 書

藤田裕二著『新・えすかるご1』（朝日出版社）

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	もりもと のぶこ 森 本 信 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語に対する苦手意識を取り除くことが主眼。あまり複雑な文法の解説をせずに会話的な表現をどんどん使っていく、活気ある授業にしたい。学生同志のペアワーク、グループワークを活用しながら、参加型の授業にするつもりである。1年学習した後は、フランス語に対して自分なりの達成感を持てる様努力したい。

履修上の留意点

とにかく授業に欠かさず出て、毎回何かをつかんで教室を出ていけるように、積極的な参加を強く望んでいる。

成績評価の方法

授業での取り組み方、小テスト点、期末テスト点、出席点等を統合して評価する。最も重視するのは出席である。

教 科 書

『C'est facile!』（三修社）

参 考 書 等

参考書等は授業内で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長 谷 川 光 明	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

旅行の場面と実際に活用できる表現を用いて文法事項を再確認していきます。各項目を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとりません。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発音することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教 科 書

林田遼右『テキスト版 パリ散歩』（朝日出版社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	たにかわ 谷 川 かおる	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語を通じて、フランス語の基礎からゆっくりやり直します。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、旅行のさまざまな場面で必要とされるフランス語表現を暗記し、関連する文法を習得します。基本が理解できたら練習問題に取り組み、応用表現を学びます。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行います。

履修上の留意点

教科書に付属するカセットテープをなるべく繰り返し聴き、耳からフランス語に親しむようにして下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および毎週の小テスト。

教 科 書

瀬戸秀一・瀬戸和子『街かどのフランス語』新訂版（朝日出版社）2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	はたなか ちあき 畑 中 千 晶	国文・英米文・地理・歴史1年	2

講義のねらい

フランス文化についての短い読み物を読み進めながら、同時に、話す力、書く力につながるように、文法を復習する。

履修上の留意点

出席重視。長時間にわたって、連絡もせず、また、理由なく休んだ場合は、単位を放棄したものと見なすので、注意すること。成績はクラス内の小テスト、前期末、学年末テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

澤田直之・リリアヌ・ラタンジオ・黒川学著『アミカルマン－フランス語・フランス文化への誘い』（駿河台出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	ぬまくら ひろこ 沼 倉 広 子	国文・英米文・地理・歴史3年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・  
授業スケジュール

文化、地理、スポーツなどを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教 科 書

クリスチャン・ボームルー著『時事フランス語』（2002年度版）（朝日出版社）1,800円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	たにかわ 谷 川 かおる	国文・英米文・地理・歴史3年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法を復習し、中級程度のフランス語が読めるようになることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

ごく基本的な文法の復習から始め、簡単な読み物を読みます。後期には、出席者と相談の上、簡単な新聞記事など、少し本格的なフランス語に取り組む予定です。

履修上の留意点

指定の予習箇所は必ず予習してきて下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および小テスト。

教 科 書

牛場由紀子『小説への旅立ち』（朝日出版社）2,100円

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	とおやま ひろお 遠 山 博 雄	国文・歴史3年	2

講義のねらい

ごくやさしい文章やスケッチを読み、会話的表現を覚えること。

講義の内容・  
授業スケジュール

最小限の文法知識を復習して身につけ、辞書を片手に調べて読み、かつ繰り返し発声練習をしていきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、声を出すこと。

成績評価の方法

2回の筆記もしくは口述試験を行います。

教 科 書

中井珠子他著『発見！フランス語教室』（第三書房）2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB	ぬまくら ひろこ 沼 倉 広 子	国文・歴史3年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして読解力をつける。

講義の内容・  
授業スケジュール

フランス語圏の学生たちのために書かれた歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教 科 書

特に決めず、その都度プリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光 昭	国文・歴史3年	2

講義のねらい

フランス語中級

講義の内容・  
授業スケジュール

フランス語の基礎を復習・確認しながら、平易な文章を読んでいます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

野村訓子他『アニエスの日々』（駿河台出版社）1,800円

参 考 書 等

そのつと授業で指示します。

科外  
国  
目語

## [中国語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	こ ぎよくか 胡 玉 華	全学科2年	2

### 講義のねらい

中国語の発音の仕組み、発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、繰り返し聞き発音し、中国語の発音の仕方を修得する。音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表現を学び、簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。  
コトバだけではなく、コトバの勉強を通じて中国或いは中国文化への理解を高めることを期待する。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の基礎の習得が中心となり、ピンイン表記の通りに正確な発音ができるようにする。前期の後半は、発音を復習しながら、本文を通じて簡単な日常あいさつができるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルの基本的な文の構造、語彙、文法を習得し、聞き、話し、読み、書く能力をバランスよく身につけるようにする。

### 履修上の留意点

発音の習得には授業への出席と復習がカギとなる。故に出席と復習を心掛けてほしい。

### 成績評価の方法

「A+α」制で評価する。「A」は、平常の小テスト（発音チェック、単語テストなど）及び定期試験による評価、「α」は、出席状況、宿題の出来具合、授業中の積極性などによる評価。学ぶ側と教える側が共に楽しい授業になるように、授業中の積極性を高く評価したい。

### 教科書

渡辺晴夫・楊幸雄・高村麻実著『フレッシュ中国語（改訂版）』（白水社）2,000円

外科  
国  
語  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひらいし よしこ 平 石 淑 子	全学科2年	2

### 講義のねらい

中国語の基礎的な発音、文法の習得を目指す。

### 講義の内容・授業スケジュール

比較的やさしいテキストを用い、練習問題や小テストなどによって内容の習得をはかる。

### 履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

### 成績評価の方法

小テストなどを含む平常点、及び期末試験による。

### 教科書

方如偉他著『中国語10課』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	まつもと あつとし 松 本 丁 俊	全学科2年	2

### 講義の内容・授業スケジュール

最初は発音篇1～11課まで基本発音を覚える。つづいて本篇に入るが、日本人が中国家庭を訪問するという設定で、会話を通じて文法・文型の基礎を学んでゆく。

### 教科書

植田渥雄著『八木さんの中国家庭訪問—会話で学ぶ文法の基礎』（金星堂）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	かまや おさむ 釜 屋 修	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

中国語の発音、ピンイン表記、文法の基礎をあらためて再学習するが、目標はⅠA、ⅠBに同じ。

履修上の留意点

前年度ⅠA、ⅠBの挫折の原因をしっかりと総括し、前向きな学習姿勢であらたな一年に挑戦すること。散漫な出席は許されない。とりわけ高学年次生は注意されたい。

成績評価の方法

平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末考査により総合的に判定する。

教 科 書

荒川清秀・許秋寒・上野由紀子『中国語スケッチ15』（朝日出版社）2,200円

参 考 書 等

辞書は開講後に解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	まとう ふみこ 佐 藤 普美子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教 科 書

野澤俊敬監修『中国語レッスンA・B・C』（白帝社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あまの せつ 天 野 節	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

文法を踏まえ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」という四技能を関連付けながら学習して行けるように援助していく。最終的には、独学でも学習を継続していけるような基本的能力を修得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで学習を継続する決意をして授業にのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、小テスト等の平常点と期末テストの結果を合せ、総合して評価する。

教 科 書

榎本英雄『できる中国語』（同学社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ね ぎ し ま さ こ 根 岸 政 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	中国語の正しい発音と基本文法を習得する。
履修上の留意点	最初の1ヶ月は中国語の発音を確認しながら進むので、必ず出席すること。学習したことがちゃんと身につけているかを確認するために随時小テストを行う。
成績評価の方法	前期後期のテストおよび小テスト、出席状況などで評価する。
教科書	是永駿・陳薇『中国語入門晶晶さんのホームステイ』（郁文堂）1,700円

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さ く ら ば か ず の り 櫻 庭 和 典	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。
講義の内容・ 授業スケジュール	始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。
履修上の留意点	授業の開始までに、教科書・辞書を必ず購入すること。
成績評価の方法	平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）。出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。
教科書	小川郁夫著 『中国語初級対話64』（白帝社）1,550円
参考書等	辞書は当分必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。
その他	授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	そ う た い わ 曹 泰 和	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	中国語の基礎的な発音、基本文法をしっかり身につける。
履修上の留意点	4分の3以上の出席と、元気よく、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
教科書	楊凱榮・張麗群著『身につく中国語』（白帝社）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	李 <sup>り</sup> 雲 <sup>うん</sup>	全学科2年	2

講義のねらい

基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語はじめの一步』（白水社）2,200円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科外  
国  
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	工 <sup>く</sup> 藤 <sup>どう</sup> 早 <sup>さ</sup> 恵 <sup>え</sup>	全学科2年	2

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法を身につける。

履修上の留意点

語学は積み重ねである。欠席せずに最後まできちんと授業に出ることが大切である。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

相原茂等著『学ビテ時ニ之ヲ習フ』（好文出版）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	小 <sup>お</sup> 川 <sup>がわ</sup> 隆 <sup>たかし</sup>	全学科2年	2

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は初回に指示を受けること。

教科書

八木・鄭 『初めての中国語ぶうとんほあ』（朝日出版社）2,200円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	しおはた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	全学科2年	2

講義のねらい

中国語は漢字を使うから簡単だと思った人ほど実は挫折しやすい。字には音が書いてないので、いつまで経っても中国語が読めないのだ。もう一度スタートラインに立ち、耳と口づくりから始めよう。でもどうしても、あの魅力あふれる音と相性が悪いという人は、せめて毎回出席し、課毎に提出してもらおうドリルで張り切ろう。

履修上の留意点

毎回出席が当然。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+欠席点。欠席が3回超えた場合は理由を問わず10点ずつ減点。

教科書

尹景春・竹島毅『新版 中国語ははじめの一步』(白水社) 2,200円

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あきもと たすく 秋 元 翼	全学科2年	2

講義のねらい

再履修者がこれまでの学習方法の欠点を自覚し、自分でその欠点を克服して当初の学習目標を達成できるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音入門からやり直し、初級の文法と表現を一年間でマスターする。

履修上の留意点

発音訓練が重要なので、教室では口を大きく動かし、積極的に声を出すようにしてほしい。また、基本単語を覚えることも大事なので、CD等を活用し、復習することを望む。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。

教科書

山田真一『500語マスター基本中国語』(同友社) 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	全学科2年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は最初の二ヶ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』(北京篇1)(朝日出版社) 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	こうりん ひでもと 江 林 英 基	国文・英米文・地理・歴史!年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全25課、各課の本文のあとに会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教 科 書

張乃方、長谷川寛『中国語読本（初級編）』（白水社）1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	みやもと あつこ 宮 本 厚 子	国文・英米文・地理・歴史!年	2

科外  
国  
目  
語

講義のねらい

前半は指定した教科書を用い基礎を固め、後半はプリントを配りより難しい文章を読んでいく。

履修上の留意点

授業の前に、必ず辞書をひき予習を行なうこと。

成績評価の方法

年に2～3回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点で評価する。

教 科 書

董燕・遠藤光暁『読む中国語』（朝日出版社）2,200円（税抜き）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	あまの せつ 天 野 節	国文・英米文・地理・歴史!年	2

講義のねらい

中国語Ⅰの基本を復習しながら、会話文を通し中国語Ⅰ以上の表現を学習する。最終的には、独学でも学習を継続して行けるような基本的能力を修得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで学習を継続する決意をして授業に臨んで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、小テスト等の平常点と期末テストの結果を合せ、総合して評価する。

教 科 書

荒川清秀『美香 in China』（同学社）1,900円税別



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	<small>みたむら けいこ</small> 三田村 圭 子	国文・英米文・地理・歴史1年	2

講義のねらい

基礎の復習をしながら、中級への橋渡しになるような文章を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、中国語Ⅰの復習を行い、後半は比較的長い文章を読解する。

履修上の留意点

まとめてやろうとせず、毎時間課題を確実に仕上げるように。

成績評価の方法

出席重視。試験は年4回実施する。遅刻は3回で1回の欠席とする。

教 科 書

竹島金吾『中国語さらなる一步』（白水社）2,000円

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	<small>り 李 うん 雲</small> 李 雲	国文・歴史3年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教 科 書

水野容・渡辺安代・滝澤恭子『元気です中国』（朝日出版社）2,000円

そ の 他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	<small>みやもと あつこ</small> 宮 本 厚 子	国文・歴史3年	2

講義のねらい

一年次に学んだ文法事項を復習しつつ、実際に役立つような会話体の文を学ぶ。

履修上の留意点

学んだ文が実際に言えるようになるよう繰り返し練習を行なうので、積極的に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

前後期末試験、中間試験（2回）、出席点。

教 科 書

王占華・劉慶『就職に役立つ中国語』（駿河台出版）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	らん 蘭                      めい 明	国文・歴史3年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教 科 書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇2）（朝日出版社）2,500円

科外  
国  
目語

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	みやち たつろう 宮 地 達 郎	全学科2年	2

講義のねらい

文法解説をできるだけ容易に説明する。簡単な日常会話も織込み、興味を持続させる。

履修上の留意点

最低限の復習、それに対する質問が望ましい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教 科 書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おおいわ いさお 大 岩 功	全学科2年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教 科 書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

辞書  
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円  
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	うえの かつひろ 上 野 勝 広	全学科2年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～9課まで、後期は10課～18課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

新しい外国語を少しでも身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音テープのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

成績評価の方法

年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。

教 科 書

淵上英二・アルフレッド・ロベス 『確認して進むスペイン語』（朝日出版社）2,500円

参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さ と う ひ る こ 佐 藤 紘 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教 科 書

佐々木克美著『スペイン語との出会い』（芸林書房）

参 考 書 等

最初の授業で指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さ と う ま り の 佐 藤 麻 里 乃	全 学 科 2 年	2

科外  
国  
目  
語

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を必ず守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題の出来具合などにより評価する。

教 科 書

寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参 考 書 等

『西和中辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社）  
『新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふ く も と く み こ 福 本 久 美 子	国 文 ・ 英 米 文 ・ 地 理 ・ 歴 史 1 年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国 文 ・ 歴 史 3 年	2

講義のねらい

基礎文法の充実とスペイン語圏の文化に触れることを目的とする。前期は文法を、後期は講読を中心とした授業とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し出席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。  
授業を妨げるような振る舞い（私語・無断退出等）は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点（宿題・小テスト）の合計に拠る。

教 科 書

西川 喬著『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おおいわ 大 岩 功	国文・英米文・地理・歴史1年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3年	2

講義のねらい	スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
教科書	寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社） 長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。
参考書等	辞書 有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円 カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円 桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円 これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おとうひろこ 佐 藤 紘 子	国文・英米文・地理・歴史1年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3年	2

講義のねらい	1年次で学習した基礎文法を復習し、更にそれを広げていく。同時にスペイン・中南米の現代事情について基礎的な理解をめざす。
履修上の留意点	欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。
成績評価の方法	毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。
教科書	堀田英夫著『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）
参考書等	最初の授業で指示する

## [ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>ひろ た ひでやす</small> 廣 田 英 靖	全学科2年	2

### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切です。

### 講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

### 成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。  
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

### 教科書

戸部又方編 『1年生のロシア語』 (白水社)  
杉山秀子他 『やさしいロシア語読本』 (大学書林) 1,600円

### 参考書等

『露和辞典』

## 科外 国 語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>きむら ひであき さの あさこ</small> 木村 英明・佐野 朝子	全学科2年	2

### 講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。  
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

### 履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

### 成績評価の方法

平常点を重視します。

### 教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>あん とく</small> 安 徳 ニーナ	全 学 科 2 年	2

講義のねらい 基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書 桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等 必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	国文・英米文・地理・歴史1年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3年	2

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教 科 書 プリント配布。

参 考 書 等 ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA 〔再クラス〕	<small>あん とく</small> 安 徳 ニーナ	国文・英米文・地理・歴史1年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3年	2

講義のねらい 一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書 桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等 必要に応じてその都度資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英文講読	はやし 林 明 人	文学部(英米文除く)11中選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、レポート、小テスト、出席の総合評価。

教 科 書

教員が作成したものを用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英文講読	まえだ 前 田 おさむ 脩	文学部(英米文除く)11中選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

イギリス風景庭園を主題としますが、まずはじめに、イギリス及びヨーロッパの庭園の概略を知ってもらうため、簡単な庭園史のテキストを使います。その後、イギリス庭園と対比されるフランス庭園の概念を知るためのテキストのコピーを使用します。最後にイギリス風景庭園の成立の原因をさぐるために適すると思われる本を読みみます。庭園の概念についての説明はしますが、授業はあくまでも購読です。

成績評価の方法

授業中の発表等日常評価を重視します。後期テストも評価に入れます。

教 科 書

- 1) 『イギリス庭園物語』(南雲堂) 1,200円
- 2) コピーを使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英文講読	まきの 牧 野 てるよし 輝 良	文学部(英米文除く)11中選	4

講義のねらい

内容のある英文を読み、正しく内容を理解すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

高い教養の持主である筆者の歴史や文化の見方を学ぶ。特に結果から原因をたどる手法を学ぶ。

履修上の留意点

受講する学生はよく自習しておき、指名されたら解答出来るように心掛けること。

成績評価の方法

時間中の成績と期末テストの成績を総合して評価する。

教 科 書

ピーター・ミルワード『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円

科外国  
目語



科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村 恵都子	文学部 英米文除く留小選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を主台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

テキストは最初の授業時に発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	はやし あきと 林 明人	文学部 英米文除く留小選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

CNN, Herald Tribune紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

『Sanseido's Dictionary of News English』（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	かわて ひろかず 川手 浩一	文学部 英米文除く留小選	4

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることである。しかしながら今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとられていては日常生活すらできなくなっている。

講義の内容・  
授業スケジュール

ここでは主として読解力に主眼をおいて、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中にちりばめて、多様性に富んだ英文が学習でき生活英語としても活用できる。

成績評価の方法

成績評価は出席とテスト、レポートなど総合評価です。

教科書

『Health and Business [健康とビジネス]』 Nan'Undo 1,900円 Shino Sano

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おちあいかずあき 落 合 和 昭	全学科1・2・3・4選	2

#### 講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一の目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

#### 履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないL1教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

#### 成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てるようにする）。出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

#### 教 科 書

- 1) 『5分間口語英語表現(1)』(南雲堂) 900円
- 2) 『ルル・オン・ザ・ブリッジ』(松柏社) 1,900円
- 3) 『Phrasal Verbs』(洋書) (オックスフォード大学出版局) 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おおば なおき 大 庭 直 樹	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office 2000 を使いこなすことである。office 2000 は Word (ワープロ)、Excel(表計算)、PowerPoint (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理) を中心としたアプリケーションである。Word と電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excel での表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット (マルチメディア) の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探索し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	まちだ なおこ 町 田 尚 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネットのマルチメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・  
授業スケジュール

4-204教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

クラス人数は30名以下に限定し、メールアドレスを取得していることが前提となります。授業時間内に終了しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

# 英 会 話 Ⅱ

## 〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ	プラスキー, J.C.	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

The goal of this course is for students to express themselves in a range of situations beyond the most basic level.

### 講義の内容・授業スケジュール

Grammar will be presented in a communicative context. Getting the main idea, guessing vocabulary from context and drawing inferences will be practiced through speaking activities primarily with other students. Pronunciation, intonation and listening practice will be incorporated through dictation exercises and tapes/CDs.

### 履修上の留意点

Conversations will be practiced with other students through pair discussions and dialogues.

### 成績評価の方法

Assessment will be a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%).

### 教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

English 2 is designed to give students additional practice in basic conversational forms and to extend their range to more advanced conversational and social situations. Students will be expected to positively participate in class and prepare group presentations along with role-playing, debating, and an oral interpretation. Students will also see short passages from films and be responsible for practicing short dialogues that have been taken from these films.

### 履修上の留意点

Students are expected to come to class weekly and four absences in one semester will result in failure.

### 教 科 書

Textbook.- 『"Hit Parade Listening"』-Macmillan Language House, 1998, Nobuhiro Kumai, Stephen Timson and a wide variety of instructor's handouts instructors.

They will also have the opportunity to gain access to the instructor's English language practice website.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話II (夏季集中)	ピアス, D. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

Elementary and Intermediate students would do well to master an ordinary conversational ability in this class. Students will spend most of the class time talking to each other in pairs or groups; it would be good to take this class together with a friend. Students will sit together with companions who have a similar degree of English ability, since English conversation is learned most quickly by practicing with people who have equal ability.

Part of the class time will be devoted to TOEFL grammar and listening comprehension problems so that students may get high scores in TOEFL and TOEIC tests. English composition will also be taught with a view to giving students an intuitive sense of how a good English sentence should sound. Learning composition will not consist of studying grammar or translating sentences. Advanced practice in listening comprehension will be conducted through short lectures on the different ways that Americans and Japanese think about work, money, marriage, politics, friendship, etc. The entire course is carefully organized and programmed in our textbook, which will be explained at the commencement of classes.

そ の 他

授業日程  
英会話II

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○	○	○			8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○	○	○			8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○	○	○			8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○	○	○			8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○	○	○			8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○	○	○			8月27日 火							

△は予備日

外科  
国  
語目

# 英 会 話 Ⅲ

## ＜英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点＞

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ウェルズ, J. K.	全学科2・3・4選	1

### 講義のねらい

WELCOME TO MY CLASS! MY CLASS IS FOR STUDENTS WHO CAN SPEAK ENGLISH SOMEWHAT FLUENTLY. YOU WILL ONLY BE ACCEPTED IF YOU CAN UNDERSTAND. YOU WILL LEARN TO SPEAK OPENLY AND QUIZZEZ, REPORTS, AND HOMEWORK WILL BE GIVEN.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ハバード, W. D.	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

The goal of this course is to develop the skills of Research, Analysis, and Reasoning that build fluency in communication.

### 講義の内容・ 授業スケジュール

For successful communication Japanese students need a high English ability and the ability to convey their opinions logically and clearly. Debating issues help Japanese students develop these skills. This course develops the skills of Research, Analysis, and Reasoning through current and sensitive topics related to youth culture and ethics and morals that are discussed and debated in countries around the world. Students will also have the opportunity to practice public speaking and discuss issues related to their own fields.

### 履修上の留意点

Requirements: Students who take this course are strongly advised to have taken level 2.

### 成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

### 教科書

Textbook: Debating the Issues by Stephen Hesse, Macmillan Language House, Tokyo

科外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・  
授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

外科  
国  
語目

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation  
25% attendance  
25% presentations  
50% participation and contribution to discussions.

参 考 書 等

Reference Books Dictionary

そ の 他

Method of Teaching.

Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程  
英会話Ⅲ

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

△は予備日

# 英 語 L L II

## <英語 LL II の授業内容と履修上の留意点>

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL のスコア480点、TOEIC のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL II	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベル I を終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベル II ではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

### 履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。  
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90分程度) をもってくる

### 成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

### 教科書

Headway (pre-intermediate) (Oxford Univ. Press.)

### 参考書等

使用ビデオ：Headway (elementary), および (pre-intermediate), その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語LLII	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC、TOEFLのテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・  
授業スケジュール

4, 5月: ビデオテープを用い、TOEICの基本的な練習問題による復習。  
6月と7月第1週: TOEIC スコア700程度を目指した聞き取り練習 (添削指導)。  
7月第2・3週: TOEICリスニング模擬テスト。  
9, 10月: TOEFLのテスト用練習問題の添削指導。  
11, 12月: パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。  
1月9日 (最終授業日): テスト

履修上の留意点

Emailで連絡・添削等をするので、自習室(KOMAnet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出します。

教 科 書

LL事務室備付けの教材『Basic Skills and Strategies』『English Master Box (1)(2)』『Cambridge Preparations for the TOEFL Test』等を使用します。

参 考 書 等

教場で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語LLII	お お た ま さ こ 太 田 雅 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

プリント教材  
テキストは未定

# 英 語 L L Ⅲ

## <英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点>

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL Ⅲ	井 伊 順 彦	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

リスニング、ボキャブラリー、発音のいずれの面でも一定水準以上にある学生を対象とし、会話などを浴びるように聞いて耳をさらにきたえるとともに、スピーキング力を開発するべくパラエティに富んだ練習をおこなう。

### 講義の内容・授業スケジュール

プロの通訳も取り入れているシャドーイングを重視する。また、ビデオや別のテープを用いての発展的なリスニング練習も、授業の後半におこなうことになる。

### 履修上の留意点

毎回一度はほぼ確実に指名したい。その答えの出来を平常点として採点する。録音用テープを各自が用意してほしい。

### 成績評価の方法

数回的小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

### 教科書

『*Listening, Shadowing, and Speaking* (リスニング・シャドーイング・スピーキング)』(英潮社) 1,700円+税。

科外  
国  
目  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL Ⅲ	西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめたLL Ⅰのレベルに対して、レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルⅢは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語のみ受けられる。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルⅡを終了し、英検一級程度(TOEIC900程度)をめざす学生用なので、このレベルにみたくない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

### 履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものを持ちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ(90分程度)をもってこること。

### 成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

### 教科書

特に指定しない。

### 参考書等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ (LL事務室備え付け)。  
使用ビデオ：Mapping the Landscape (ジェムコ出版、LL事務室備え付け) その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLⅢ	久保ひさ子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

海外旅行の場面別に、一回で通じる短い会話文を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

旅行会話の短文を、ラボを使用して、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように暗記する。小テストあり。

履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習授業のため欠席しないようにお願い致します。

成績評価の方法

小テスト合計点と授業実習点

教科書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』（南雲堂）

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語外国書講読	柴野博子	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

異文化を理解し、またそれを介して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことです。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んで行きます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、日独の文化の相違についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年2回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡しします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ドイツ語	野島利彰	文学部全学科3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

世界的にも評価の高い高級紙であるフランクフルターアルゲマイネ紙から環境、動物保護、麻薬、外国人受け入れなどの問題を扱った記事を選び、読む。日本語での知識がないと理解が難しいので、日本の新聞や雑誌で関連記事を十分に読んでおくこと。予習しやすいよう毎回、次回の分の文法および用語の解説を行う。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度による。

教科書

教材には記事のコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ドイツ語	栗原万修	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

上級ドイツ語は、1、2年で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづければ、かなり力がつくはずですので、欠席をしないでつづけてください。テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、教場で配布します。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく日常の勉強過程を中心に総合的に判断します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語LLI	<sup>こばやし</sup> 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

教 科 書

テキストは教室で配布する。

そ の 他

ビデオ、カセットを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語LLII	<sup>こばやし</sup> 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

科外  
国  
目  
語

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

教 科 書

『Themen I neu』

そ の 他

ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語IA(選)	<sup>くりはら かずのぶ</sup> 栗原万修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を最初からやります。できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的につづけないと習得できませんから、出席を重視します。欠席しないように。欠席をつづけると名簿から名前を抹消します。

成績評価の方法

成績評価はテストのほか、日常の出欠、学習意欲等も含め、すべてを総合して判断します。

教 科 書

大岩信太郎『快速ドイツ文法』(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB (選)	お 織 だ し げ み 織 田 繁 美	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ヨーロッパには実に沢山の言語があり、その一つ一つが歴史、文学、芸術など独自の文化を持つ。十六世紀のスペインの宮廷社会の人物を用い、十八世紀ほぼ同じ頃、一つはイタリアで、一つはドイツで別々の詩人が戯曲を書き、この二作品を土台にしてイタリアの作曲家がオペラという音楽戯曲を作曲した。事の成り行きでオリジナルはフランス語の歌詞が付き、その歌詞がイタリア語、ドイツ語等に翻訳され、しかもこれらの翻訳が同一の内容ではなく、元の内容からはみ出し、翻訳に工夫が凝らされている。このようにヨーロッパでは異なる言語でありながら、文化的には早くから一つの統一体であったかに見える。先ずその一つの砦としてのドイツ語を切り崩す一歩を踏み出す切掛けをこの授業で始めてみたいと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書を用いるが、プリントも用い、日常生活で大切な言い回しを学び、テープレコーダーを用いて耳で聞き取る練習もする。

成績評価の方法

前期末、後期末の試験も勿論勘案するが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

教 科 書

荻野『ドイツってすてき!』(前編)(朝日出版社)1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語Ⅱ (選)	も も ず み い さ む 百 濟 勇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教 科 書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語外国書講読	た け だ ま さ ず み 竹 田 正 純	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

フランスの文学者・思想家の文章を取り上げて読むのもフランス理解のひとつの方法であるが、現在起こりつつある事柄を新聞・雑誌で読んでいくのもまたフランス理解のひとつの仕方である。『ル・モンド』紙の記事を中心に、適宜、他の雑誌記事もまじえながら、世界に起こりつつある事柄を読んでいきたい。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテストを中心に評価するが、平常授業にも真剣に取り組んでほしい。

教 科 書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事フランス語	くわ た のりあき 桑 田 禮 彰	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

時事フランス語に親しむこと。

講義の内容・  
授業スケジュール

フランス語の基礎を復習・確認しながら、新聞・雑誌記事を読んでいます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

プリント（フランス語の新聞・雑誌）配布。

参 考 書 等

そのつと授業で指示します。

科外国  
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上級フランス語	こ だ ま な り お 小 玉 齊 夫	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期に、下記の教科書を終え、後期は、主としてプリントを用いて行います。詳しくは、最初の授業で。

履修上の留意点

上記の「意気込み」とは矛盾しないはずですが、出席するのが楽しい授業にしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。

成績評価の方法

数回の小試験・学年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも、目標であり、従って評価に含まれることにもなります。

教 科 書

澤田・原田『ビデオで学ぶ中級フランス語－聴解から実践へ－』（第三書房）2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語L L I	ラリア・三倉, M. ら り あ みくろ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教 科 書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P. P. P (パーパーパー) Presenter Pratiqner Produire』（第三書房）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 L L II	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。  
尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

井上美穂他『C'EST A TOI !』(仲興通商) 1,900円

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A (選)	井 田 清 子 <small>い だ きよこ</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

山崎庸一郎他『パリのどこかで』(第三書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B (選)	桑 田 禮 彰 <small>く わ た のりあき</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・  
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかり確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

滑川明彦、前川泰子『ポケットにフランス語』(第三書房)

参考書等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ（選）	こ だ ま な り お 小 玉 齊 夫	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級フランス語の応用・展開として、一年次での文的知識を復習しながら、文化的な要素の込められた文章を、さまざまに考えながら、読み進んでいくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

必ずしも、教科書の構成にこだわらずに、時には調査してもらうことがらも含めて、フランス・日本間の文化的な「つながり・へだたり」を理解していきたいと思います。

履修上の留意点

特別な場合を除き、かならず出席すること。

成績評価の方法

随時行われる小テスト、前期・後期の試験によって成績評価をします。

教 科 書

コルノリエ・野村『私の日仏異文化体験』（第三書房）1,500円

科外  
国  
目  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語外国書講読	い わ さ き ひろし 岩 崎 皇	文学部全学科1・4選	4

講義のねらい

外国語の文章は、声に出して読めなければ、たとえ意味が分かってもおもしろくありません。まず発音できるようになることが第一目標です。

中国語の文は漢字が隙間なく並んでいるので、ある程度の単語量がないと、どこが単語の切れ目なのか分かりません。一目でそれと分かるよう単語をどんどん覚えましょう、これが第二の目標です。

最後に文法の知識を使う練習をしましょう。これが三番目です。

履修上の留意点

配布したプリントにあらかじめ目を通して、発音を調べ読む練習をしてください。何もしないで出席されては困ります。

成績評価の方法

随時ミニテストを行って単語量のチェックをします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事中国語	し お は た しんいちろう 塩 旗 伸 一 郎	文学部全学科1・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読（初見）と精読の2種のアプローチにより様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、初見とはいえ画面上で自動的にピンインのルビがつくので、その場で声に出して読むことができる。精読は、文の構造を捕える練習が眼目となる。

履修上の留意点

精読部分は予習が必要である。留学を考えている人は積極的に履修されたい。

成績評価の方法

平常点。

教 科 書

ネット上で採取。

参 考 書 等

辞書は中日大辞典（大修館書店）、中日辞典（講談社or小学館）、中国語辞典（白水社）を推奨する。これらより遙かに薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安直な辞書は役に立たない。

そ の 他

教場は総合情報センター。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級中国語	釜屋修 <small>かまや おさむ</small>	文学部全学科1・4選	2

講義のねらい

中国語4科目8単位の修得を前提とする。これまでの学習成果をさらにブラッシュ・アップし、スムーズな発音、正しい構文の把握をめざす。今年度は、具体的な場面設定に基づく実践的会話力の練習に重点をおく。

履修上の留意点

中国社会、中国語に強い関心を持ち、持続的、集中的学習意欲をもった諸君と創造的で楽しい授業を展開したい。

成績評価の方法

平常点を中心として評価する。

教科書

竹島毅・徐迎新『中国語会話ルート66』（東方書店）2,400円

参考書等

辞書を必要とするが、適わしい辞書を開講後に紹介する。

外科  
国  
語目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語LLI	佐藤普美子 <small>さとう ふみこ</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-I Bの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の音声による徹底的な習得をめざす。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。短期留学をめざす人におすすめ。

成績評価の方法

平常点（授業への参加意欲）を重視。

教科書

楊達他『新・聞こえる中国語』（南雲堂）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語LLII	小川隆 <small>おがわ たかし</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

テープを使って、中級ていどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

また、短期・長期の留学をめざす人は、この科目やその他の中国語選択科目をなるべく多く履修しておいてほしい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊顥榮『表現する中国語』（自帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA(選)	か ま や おきむ 釜 屋 修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

週一回一年で中国語初歩の一通りの修得をめざす。正確な発音、ピンイン表記のマスター、基本文法の理解を中心に進めるが音読を重視し、「目」にたよらない「耳」で学ぶ姿勢をたいせつにする。

履修上の留意点

初級外国で週一回の授業ゆえ、欠席は許されない。IB(選)その他とあわせて受講する人も同じ。自主的な学習を求める。

成績評価の方法

平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

守屋宏則・柴森『フォーアップ初級中国語』(同学社) 2,500円

参考書等

辞書については開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠB(選)	さ と う ふ み こ 佐 藤 普美子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

中国語入門段階で最低限の基礎知識を系統的にまとめたテキストを用い、豊富なドリルをも活用して発音の基礎をしっかりと学ぶ。

履修上の留意点

休まないでテキストをじっくり読みこむこと。異文化、外国語としての中国語の魅力を発見すること。

成績評価の方法

声の大きさ+小テスト+期末テスト+出席状況により総合的に評価。

教科書

野澤俊敬監修『中国語レッスンA・B・C』(白帝社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語Ⅱ(選)	い わ さ き ひろし 岩 崎 皇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

新たな知識を獲得するというよりも、中国語の音声になれるということを目指します。具体的には、テキストのスクリットを全て憶えて言えるように練習します。

履修上の留意点

授業での練習が大切なので、出席を重視します。欠席が既定の回数を超えた場合は成績評価をしません。また、音声の習得は人により早い遅いの差がありますから、自分の状況を見て各自で補う必要があります。

成績評価の方法

教室での学習状況および試験結果で判断します。

教科書

董燕、遠藤光暁『話す中国語-北京編1』(朝日出版社) 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語外国書講読	うえの かつひろ 上 野 勝 広	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

スペイン・イスパノアメリカ地域への理解と関心を深めながら、スペイン語の読解力の向上を図ります。

講義の内容・  
授業スケジュール

スペイン・イスパノアメリカの社会・文化事情を論じた文章を中心に講読します。

履修上の留意点

受講者は訳読や簡単なコメントの発表が求められます。一定量の予習が必須条件です。

成績評価の方法

平常点を重視します。これに前期・後期末のテストの結果を合わせ、総合的な評価をします。

教 科 書

プリント使用。授業時に配布します。

外科  
国  
語目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事スペイン語	うりたに 瓜 谷 ア ウ ロ ラ	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

今までは初級文法を中心にスペイン語の基本を学んできた。これに対して時事スペイン語では、スペイン社会や文化に関する知識の学習を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回異なったテーマのプリントで学習する。よりよく理解するために、プリントは予習が前提となる。必要に応じて関連するビデオも見る。

授業内容：次のテーマに関する記事を読んで訳す。

1) 言語 2) 地理 3) マドリードとバルセロナ 4) 歴史 5) 今日のスペイン 6) マスコミ 7) 社会 8) 教育 9) 家族 10) 余暇 11) バル 12) 習慣 13) 食生活 14) ワイン 15) スポーツ 16) 闘牛 17) 祭り 18) 美術 19) フラメンコ 20) クリスマス

成績評価の方法

平常点及び期末筆記試験その他から総合的に判断する。この授業では出席も非常に重視する。欠席と遅刻は減点の対象となり、欠席が7回に達すると自動的に期末試験の受験資格が失われるので、注意すること。

教 科 書

毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

特になし。

そ の 他

受講生の積極的な参加が期待されている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上級スペイン語	みやち たつろう 宮 地 達 郎	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

日本で日本語を学んでいるスペイン語圏内の学習者が使用している、スペイン語で書かれた文法書を使い、外国語からみた日本語を観察する。

履修上の留意点

予習、復習が望ましい。漠然と教室内でのみテキストを開くだけでは学習のねらいが達成出来ない。

成績評価の方法

授業態度、出席点、前期／後期のテストで総合判断する。

教 科 書

『新日本語の基礎Ⅰ文法解説書』  
(スリーエーネットワーク：海外技術者研究協会編集)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLI	ナバロ, ホワンJ.	全学科2・3・4選	2

#### 講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者  
 ※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。  
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。

#### 教科書

『Viaje al español』  
 テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLII	ナバロ, ホワンJ.	全学科2・3・4選	2

#### 講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者  
 ※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難、御遠慮頂きたい。  
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

#### 教科書

『Viaje al español 上級編』  
 テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語IA (選)	ナバローポロ, L. S.	全学科1・2・3・4選	2

#### 講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞1・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞2・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞  
・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

#### 履修上の留意点

定期試験－7月と1月－

#### 教科書

石崎優子／フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

#### 参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）  
 『新スペイン語辞典』（研究社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠB（選）	<sup>う り た に</sup> 瓜 谷 ア ウ ロ ラ	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の初級文法をベースに会話表現を覚える。必要に応じてプリントによる練習も行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

挨拶、自己紹介、家族紹介、職業、交通手段、食料、色、店の名前、体の調子、スポーツ、時刻、日常生活、天候。

成績評価の方法

平常点及び期末筆記試験その他から総合的に判断する。この授業では出席も非常に重視する。欠席と遅刻は減点の対象となり、欠席が7回に達すると自動的に期末試験の受験資格が失われるので、注意すること。

教 科 書

Vivir@Espana.es（生活@スペイン、スペイン語）（芸林書房）

そ の 他

読解だけではなく、口頭表現練習も重視するので、受講生の積極的な参加が期待されている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語Ⅱ（選）	<sup>お ぎ の ま さ し</sup> 菫 野 雅 司	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々が行うcommunicationの術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教 科 書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』（芸林書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語外国書講読	<sup>ひ ろ た ひ で や す</sup> 廣 田 英 靖	文学部全学科1・4選	4

講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノ・ヴォエ・プレ・ミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なのは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点で評価します。

教 科 書

プリント配布

そ の 他

状況に応じて、総合情報センターの教場新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事ロシア語	木 村 英 明 <small>きむら ひであき</small>	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

ソヴィエト連邦の誕生と崩壊は20世紀の世界を揺るがした一大事件でした。その影響は政治や経済のみならず、学術・文化の領域においても多大なものがありました。ロシア連邦と名称の変わった現在は、困難な経済状況の下で、新しい社会システムの模索が続けられています。混沌の中にあるとはいえ、ロシアは依然としてヨーロッパからアジアにまたがる巨大な国家として国際的に重要な地位を占めています。隣国日本にとっても、今後ロシアとのいっそうの経済的、文化的交流が進むことが予想され、じかにロシア語を通じて彼の国のアクチュアルな動向に接する練習を積むことは極めて意義深いと思われる。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治や経済、文化についての比較的平明な記事や論文を講読します。ビデオ教材も使用する予定です。テキストは適宜プリントの形で配布します。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、積極的な態度で参加して欲しいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

科外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

会話練習。  
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読する。  
講読した内容について自由会話を行う。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教 科 書

教場にて指示します。プリント配布。  
学生の要望も考慮してテキストを選びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語LLI	安 徳 ニーナ <small>あん とく</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。  
日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

S, KHAVRONINA著『RUSSIAN AS SPEAK IT』(ナウカ社)

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語LLII	あんとく 安 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

資料にもとずいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。  
(学生の希望も考慮します。)

そ の 他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

外科  
国  
語  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語IA (選)	クロチコフ, Y.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。

講義の内容・  
授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。  
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

プリントを配布、教場にて指示します。  
『セメスターのロシア語』(白水社) 1,300円  
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円

参 考 書 等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠB(選)	木 村 英 明	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ロシアは現在、政治的、経済的に混迷の淵をさまよいつづけている観がありますが、依然として国際社会において様々な分野で多大な影響力を有しています。隣国日本との関係も、文化交流や地域間協力など確実に広がりつつあり、ロシアの人々と直接にコミュニケーションできる機会、必要性は徐々に高まっています。この授業では、言葉を通してロシアの文化や人々の暮らしなども紹介していきたいと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業では、簡単な日常表現に即しながら初歩のロシア語文法を学習することになります。音声面にも留意して、コミュニケーションに役立つロシア語の修得を計ります。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教 科 書

桑野隆著『エクスプレス・ロシア語』（白水社）をもとに、必要に応じ適宜プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語Ⅱ(選)	安 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

S. KHAVRONINA 著『RUSSIAN AS WE SPEAK IT』（ナウカ社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
朝鮮語ⅠA(選)	宋 美 玲	全学科1・2・3・4選	2
朝鮮語ⅠB(選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書で授業を行う。選択科目なのでⅠA(選)またはⅠB(選)のどちらか1科目か、必要に応じてA、B2科目選択してもよい。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・  
授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するたいせつな時期なので、熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教 科 書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円

参 考 書 等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円





# 4 保 健 体 育 科 目

# 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (フリーダンス)	〈磯崎優子〉	251
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈江口淳一〉	252
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義・村松誠〉	253
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈佐藤政之・村松誠〉	254
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈佐藤政之・森本葵〉	255
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈鈴木淳平〉	256
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋俊介〉	257
健康・スポーツ実習 (体操)	〈竹田幸夫〉	258
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈館岡儀秋・森本葵〉	259
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光永吉輝〉	260
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈竹田幸夫・田中佳孝・長濱友雄・宮沢栄作〉	261
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(簡化太極拳)	〈大石武士〉	262
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(サッカー)	〈秋田浩一〉	263
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(卓球)	〈川村正義・鈴木淳平〉	264
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(トレーニング)	〈鈴木淳平〉	265
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(空手道)	〈高橋俊介〉	266
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(バドミントン)	〈竹田幸夫・牧野茂〉	267
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(ソフトボール)	〈村松誠〉	268
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・基礎)(簡化太極拳)	〈大石武士〉	269
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・基礎)(バドミントン)	〈長濱友雄〉	270
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・基礎)(室内球技)	〈牧野茂〉	271
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・基礎)(室内球技)	〈宮沢栄作〉	272
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・基礎)(卓球)	〈宮沢栄作〉	272
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・応用)(簡化太極拳)	〈大石武士〉	273
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・応用)(ニュースポーツ)	〈大石武士〉	274
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・応用)(バドミントン)	〈長濱友雄〉	275
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・応用)(卓球)	〈牧野茂〉	276
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・応用)(バドミントン)	〈牧野茂〉	277
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ(前期・応用)(室内球技)	〈牧野茂〉	278

生涯スポーツ実習 I～IV (後期・応用)		
生涯スポーツ実習 I～IV (前期・応用) (室内球技)	〈宮 沢 栄 作〉	279
生涯スポーツ実習 I～IV (後期・応用)		
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎) (テニス集中)	〈江 口 淳 一〉	280
生涯スポーツ実習 (集中前期・応用)		
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎) (テニス集中)	〈江 口 淳 一〉	281
生涯スポーツ実習 (集中後期・応用)		
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎) (ゴルフ集中)	〈三 幣 晴 三〉	282
生涯スポーツ実習 (集中後期・応用)		
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎) (ゴルフ)	〈三幣 晴三 他〉	283
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・応用)		
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎) (スキー)	〈竹田 幸夫 他〉	284
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・応用)		
健康・スポーツ論 1 〈佐 藤 政 之〉		285
健康・スポーツ論 1 〈森 本 葵〉		286
健康・スポーツ論 2 〈大 石 武 士〉		287
健康・スポーツ論 2 〈牧 野 茂〉		288
健康・スポーツ論 2 〈宮 沢 栄 作〉		289
健康・スポーツ論 2 〈村 松 誠〉		290

# 「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		1 時限 (国文)		2 時限 (英米文・地理)		3 時限 (歴史・社会・心理)	
月 曜 日	※竹田	体操	※江口	テニス	※館岡	ゴルフ	
	高橋	空手道	竹田	体操	高橋	空手道	
	館岡	ゴルフ	光永	トレーニング	竹田	体操	
	光永	トレーニング	森本	ゴルフ	光永	トレーニング	
	村松	卓球	川村	室内球技	村松	室内球技	
	川村	室内球技	佐藤	卓球	森本	ジョギング	
	佐藤	ジョギング	高橋	空手	江口	テニス	
	鈴木	ソフトボール	鈴木	ソフトボール	鈴木	ソフトボール	
	磯崎	フリーダンス	磯崎	フリーダンス	磯崎	フリーダンス	

※は、科目の担当者

科  
保  
健  
体  
育  
目

# 「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日	
1 時限											
2 時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	宮	前期・応用	野	前期・応用	野	前期・応用	牧
		バドミントン		ニュースポーツ※				卓球		室内球技	
	後期・基礎	石	後期・応用	後期・応用		後期・基礎	後期・応用	卓球	室内球技		
	バドミントン		ニュースポーツ※	室内球技		室内球技					
3 時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	宮	前期・応用	野	前期・基礎	野	前期・基礎	牧
		バドミントン		簡化太極拳※		室内球技		卓球		室内球技	
	後期・応用	石	後期・基礎	沢	後期・応用	後期・基礎	後期・応用	後期・基礎			
	バドミントン		簡化太極拳※	室内球技	野	卓球	室内球技				
4 時限	大	前期・応用	石	宮	沢	前期・基礎	野	前期・応用	野	前期・基礎	野
		簡化太極拳※				室内球技		バドミントン			
	後期・応用	後期・基礎			後期・応用	後期・基礎					
	簡化太極拳※	室内球技			バドミントン						

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (フリーダンス)	いそごき ゆうこ 磯 崎 優 子	文学部全学科 必	2

#### 講義のねらい

ダンスは古代の宗教舞踊に始まり、近世におけるバレエの発展を経て、現代では自由な身体表現を目指し、踊り楽しむものとして発展している。「ジャズダンス」・「HIPHOP」・「HOUSE」など、現代の舞踊のジャンルは多く、高度に発達すると、人々の鑑賞の対象となり芸術になった。この講義を通じて、簡単な基本運動や筋力トレーニングから少し難しいテクニックまでを身につけ、芸術スポーツとして踊り楽しんでほしい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション、授業内容の説明
  - 2 時間目
  - 3 時間目
  - 4 時間目
  - 5 時間目
  - 6 時間目
  - 7 時間目
  - 8 時間目
  - 9 時間目
  - 10 時間目
  - 11 時間目
  - 12 時間目
  - 13 時間目：発表会用の振り付け
  - 14 時間目：ク
  - 15 時間目：発表会と評価
- ・ストレッチ 1 (準備運動)
- ・基本動作 1 (クラシックバレエ含む)
- ・筋力トレーニング (腹筋や腕立て伏せ)
- ・ストレッチ 2 (柔軟)
- ・基本動作 2 (肩・胸・腰など自在に動かす訓練)
- ・いろいろなステップ
- ・コンビネーション (毎回異なったショートダンス)
- 上記の順番で毎回すすめていく。

#### 履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウエアとジャズシューズ又は室内用スニーカーを用意すること。(裸足やソックスでは滑るので危険。)

#### 成績評価の方法

毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は最後の発表会で個人点とグループ点の両方で評価する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	えぐち じゅんいち 江 口 淳 一	文学部全学科(国文除く)必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンド
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：（戦術と応用）
- 10 時限目：
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスのゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむら <small>まさよし</small> むらまつ <small>まこと</small> 川村 正義・村松 誠	文学部全学科Ⅰ必	2

#### 講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケット・ボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2 次リーグ)  
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)  
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

#### 成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	さとう まさゆき むらまつ 佐藤 政之・村松	まこと 誠 国文・英米文・地文・環境 必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方、バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法、カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：ジングルゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方、ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	まとう 佐藤 まさゆき 政之・森本 もりもと 葵 まもる	国文・歴史・社会・福祉・心理・必	2

#### 講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング(速歩)によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング(速歩)
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング(時間走、距離走、初歩のインターバルランニング)
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング(前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、  
野外走、クロスカントリー)
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

科保健  
目体育

#### 履修上の留意点

事前にメディカルチェック(心電図、負荷心電図、その他)を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。(食事をとること、睡眠時間の充分なこと)ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

#### 成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

#### そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	鈴 木 淳 平 <small>すずき じゆんぺい</small>	文学部全学科I必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
- 2時限目：　　〃　　〃
- 3時限目：試合（勝ち点制）
- 4時限目：　　〃
- 5時限目：　　〃
- 6時限目：　　〃
- 7時限目：　　〃
- 8時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
- 9時限目：　　〃
- 10時限目：試合（勝ち点制）
- 11時限目：　　〃
- 12時限目：　　〃
- 13時限目：　　〃
- 14時限目：　　〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- 用具：貸与
- 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
- シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

保  
健  
体  
育  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	た か ほ し し ゅ ん す け 高 橋 俊 介	文学部全学科 必	2

#### 講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

#### 履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

#### 成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科保健  
体育  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	文学部全学科I必	2

#### 講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

#### 履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ることを要する。

#### 成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれの課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

#### そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	たておか ともあき もりもと まちる 舘岡 儀秋・森本 葵	文学部全学科 必	2

#### 講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

#### 履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

#### 成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

#### そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科保健  
目体育



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	文学部全学科1必	2

#### 講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

#### 授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は、2 kg up女子は1 kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は、2 kg up女子は1 kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

#### 履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）、を用意すること。

#### 成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

#### そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	竹田 幸夫・田中 佳孝 長濱 友雄・宮沢 栄作	全 学 科	2

#### 講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

##### 【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

##### 【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
- 4 時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： 〃 (ゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

#### 履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

#### 成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

#### そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(簡化太極拳)	お お い し た け し 大 石 武 士	全 学 科	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

1時限目:オリエンテーション	16時限目:太極拳動作について説明
2時限目:重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目:総合
3時限目:第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目:総合
4時限目:第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目:総合
5時限目:第三組 左攬雀尾・右攬雀尾	20時限目:総合
6時限目:第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目:総合
7時限目:第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目:総合
8時限目:第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目:総合
9時限目:第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目:総合
10時限目:第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢	25時限目:総合
11時限目:総合	26時限目:総合
12時限目:総合	27時限目:総合
13時限目:総合	28時限目:総合
14時限目:総合	29時限目:総合
15時限目:テスト	30時限目:テスト

履修上の留意点

- 1) 定員:50名
- 2) 服装:一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場:修道館2階

そ の 他

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース（サッカー）	あ き た こ う い ち 秋 田 浩 一	全 学 科	2

#### 講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習（キック、トラップ、ヘディング、ドリブル）チーム分け  
1日目午後： ♪  
2日目午前：パス練習、ゲーム  
2日目午後：ロングキック、ゲーム  
3日目午前：ドリブル、ゲーム  
3日目午後：シュート、ゲーム  
4日目午前：ルールの解説、ゲーム  
4日目午後：ゲーム（リーグ戦）  
5日目午前： ♪  
5日目午後： ♪

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手ものがよい。

#### 成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

#### そ の 他

- 再クラス 集中授業コースについて
- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）  
（後期）12月21日（土）～25日（水）  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
  - (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
土曜日・8時限目
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース（卓球）	川村 正義・鈴木 淳平	全 学 科	2

#### 講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は、授業を受けることはできない。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

#### そ の 他

再クラス 集中授業コースについて

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）  
（後期）12月21日（土）～25日（水）  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
土曜日・8時限日
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (トレーニング)	鈴木 淳平	全 学 科	2

#### 講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

#### そ の 他

- 再クラス 集中授業コースについて
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)  
(後期) 12月21日(土)～25日(水)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
  - (2) 実施時間：10:00～12:00  
13:00～15:30
  - (3) 実施場所：玉川体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
土曜日・8時限目
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科保健  
目体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース(空手道)	たか 橋 しゅんすけ 高 橋 俊 介	全 学 科	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明  
自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受  
閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り  
前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受  
自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習  
総合的に反復して練習  
2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。  
総合的に反復して練習  
総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習  
総合的に反復して練習  
実技試験

保 科  
健 体  
育 目

履修上の留意点

服装は、一般的運動服装で身軽に動きやすいもの。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コースについて

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)  
(後期) 12月21日(土)～25日(水)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
土曜日・8時限日
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (バドミントン)	たけだ ゆきお まきの しげる 竹田 幸夫・牧野 茂	全 学 科	2

#### 講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的な能力を身につけることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
  - ①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
  - ②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
  - ①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
  - ②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
  - ③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

#### 履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

#### 成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

#### その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）  
（後期）12月21日（土）～25日（水）  
7月18日及び12月21日は更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (ソフトボール)	むら まつ 村 松 まこと 誠	全 学 科	2

#### 講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

第1日目午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）

午後：同上

第2日目午前：ゲーム

午後：〃

第3日目午前：〃

午後：審判法・ゲーム

第4日目午前：〃

午後：〃

第5日目午前：〃

午後：〃

#### 履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

#### そ の 他

再クラス 集中授業コースについて

(1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)  
(後期) 12月21日(土)～25日(水)

7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合

(2) 実施時間：10：00～12：00

13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川グラウンド

(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

土曜日・8時限目

(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

#### 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿杖・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

#### 履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。  
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：ク
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目：
  - } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目：
  - } 総合練習・ダブルスゲーム
- 12時間目：
  - } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目：
  - } 総合練習・ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	まきの 牧野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

#### 講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2メン・ダッシュ
- 3時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート2対1、ミニゲーム
- 4時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5時限目：レイアップ・シュート・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：初歩的なマンツーマン・オフense①、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7時限目：初歩的なマンツーマン・オフense②、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 8時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9時限目：（バドミントン）ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー）
- 11時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ヘアピン）
- 12時限目：サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- 13時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 14時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

#### 履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 保  
健 体  
目 育

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	みやざわ えい まく作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につながることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11 時限目：バドミントン技術について
- 12 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14 時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

保健体育

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓球)	みやざわ えい まく作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： }  
                  } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： }
- 9 時限目： } 総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： }  
                  } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： }
- 14 時限目： } 総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目： } 総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

## 履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

## 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		全学科4選	

## 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

## 履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

## 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (ニュースポーツ)		全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8時限目：スポーツチャンバラ：                   〃                   〃
- 9時限目：スポーツチャンバラ：                   〃                   〃
- 10時限目：スポーツチャンバラ：                   〃                   〃
- 11時限目：スポーツチャンバラ：                   〃                   〃
- 12時限目：スポーツチャンバラ：                   〃                   〃
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健  
体育  
目

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

#### 講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから、これからの活動意欲を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。  
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことができる。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4時限目：総合練習
- 5時限目：総合練習
- 6時限目：
  - } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時間目：
  - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 11時間目：
  - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時間目：
  - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）

#### 履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 保  
健 体  
目 育



科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓 球)	まきの 野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3時限目：サーブ、ラリー
- 4時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8時限目： }
- 9時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13時限目： }
- 14時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

保 科  
健 体  
育 目

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	まきの 牧野 しのぶ 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

#### 講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから、これからの活動意欲を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。  
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことができる。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4時限目：総合練習
- 5時限目：総合練習
- 6時限目：
  - } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時間目：
  - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 11時間目：
  - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時間目：
  - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）

科保健  
目体育

#### 履修上の留意点

- (1) 定員は40名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	まきの野 しげる茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を旨とする。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート・ドリル、ハーフ・コート2対1
- 3 時限目：シューティング・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 4 時限目：著名なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5 時限目：著名なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：モーション・オフense・ドリル①ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：モーション・オフense・ドリル②ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9 時限目：（バドミントン）ストロークの基本技術（国内、国外）
- 10 時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー、ドライブ、カット）
- 11 時限目：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、シングルのゲーム
- 12 時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ネット・ショット）、シングルのゲーム
- 13 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 14 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につながることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11 時限目：バドミントン技術について
- 12 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14 時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	えぐちじゆんいち 江口 淳一	全学科選	1

#### 講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる態度を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前：平面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)
- 3日目午後：クク (戦術と応用)
- 4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

#### 履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

#### 成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

#### そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日(木)～22日(月)  
7月18日更衣の上、午前10時に玉川校舎テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
土曜日・8時限 (前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	えぐち じゅんいち 江 口 淳 一	全 学 科 選	1

#### 講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることが目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる態度を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指して
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

#### 履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

#### 成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

#### そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（土）～25日（水）、  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	みめさ はるみ 三幣晴三・他	全 学 科 選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）  
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9 I、7 I・アプローチ練習）  
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7 I、5 I、1 W・パッティング練習）  
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7 I・アプローチ練習・パッティング練習）  
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
- ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
  - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（土）～25日（水）  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合  
ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定 員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への【履修届（事前登録）】は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習（シーズン前期・基礎／応用） ゴルフ	みぬさ はるみ 三 幣 晴 三	全 学 科 選	2

#### 講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフの基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 事前授業 1回目 5月18日（土）講義：12：10～12：50 2研-101教場  
「ゴルフの基本知識1、オリエンテーション」  
2回目 7月20日（土）講義：13：00～15：30 2研-101教場  
「ゴルフの基礎知識2」

※上記の事前授業は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。

#### (2) 実習内容

- 1日目 9月9日（月）実技：14：00～17：00 《オリエンテーション・打撃練習》  
講義：19：00～21：00 《ゴルフスイングの基本》  
2日目 9月10日（火）実技：9：00～12：00・13：30～16：30 《打撃練習・その他》  
講義：19：00～21：00 《ゴルフのエチケット・マナー》  
3日目 9月11日（水）実技：9：00～12：00・13：30～16：30 《打撃練習・その他》  
講義：19：00～21：00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》  
4日目 9月12日（木）実技：9：00～12：00・13：30～16：30 《ラウンド・その他》  
講義：19：00～21：00 《ラウンドの反省と総括》  
5日目 9月13日（金）実技：9：00～11：00・12：30～14：30 《ラウンド・その他》

科保健  
体育

#### 履修上の留意点

- (1) 服装・用具  
① 一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）  
② ゴルフシューズ（ソフトスパイクに限る）は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。  
③ グローブは、必ず各自で用意すること。  
※ゴルフクラブ・キャディーバック等は大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- (2) 場所・宿泊  
① 宿泊先：軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話0267-46-1111  
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉  
② 練習場：軽井沢ゴルフ練習場 電話0267-48-1211  
③ コース：晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- (3) 実施期間 平成14年9月9日（月）～13日（金） 4泊5日  
(4) 募集人員 定員25名（事前登録科目である。）  
(5) 集合・解散 現地（軽井沢千ヶ滝温泉ホテル）。  
詳細については（時間：道順など）事前授業で説明するので必ず出席すること。  
(6) 費用 49,500円 ※交通費は含まれない。  
(7) 納入方法 経理部窓口で、平成14年5月24日（金）～6月6日（木）までに納入すること。

#### 成績評価の方法

出席点70%、技術の上達および小テスト30%（ルール、マナー等）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習（シーズン後期・基礎／応用） スキー	た け だ ゆ き お 竹 田 幸 夫	全 学 科 選	2

#### 講義のねらい

現在我が国においてスキーは、国民スポーツと言われるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできるスポーツとして定着している。スキーを楽しむ為、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについて理解を深めていきたい。

実習は、スキーの技術レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けして実施する。コースの内容は、以下の通りである。

基礎コース：雪面に慣れることから始まり、ブルーク更にシュテムターンの習得

応用コース：パラレル、ウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成をめざす。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 事前授業： 5月18日（土）12：10～12：50 2研-102教場「オリエンテーション・スキーの基礎知識1」  
12月21日（土）13：00～15：30 2研-101教場「スキーの基礎知識2」
- 実習内容および現地講義
  - 1日目 <2月17日（月）> 午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スキー基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2日目 <2月18日（火）>  
午前・午後：班別実習および全体講義「スキー応用技術解説」
  - 3日目 <2月19日（水）>  
午前・午後：班別実習および全体講義「スキーと自然・ウィンタースポーツ」
  - 4日目 <2月20日（木）>  
午前・午後：班別実習および班別講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5日目 <2月21日（金）>  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

#### 履修上の留意点

- シーズンコーススキーの授業は、下記の要領で実施する。
- 1) 日 程：平成15年2月17日（月）～2月21日（金）の4泊5日
  - 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話（0195）73-5019
  - 3) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
受講者は、費用を納入期間平成14年5月24日（金）～6月6日（木）までに経理部窓口で納入すること。
  - 4) 定 員：90名
  - 5) 『履修届（事前登録）』に関する注意：教務部窓口へ提出する『事前登録申請書』には、シーズンコース用に設定された『土曜日8時限（後期）』で記入すること。
  - 6) オリエンテーション：上記の事前講義（5月18日（土）・12月21日（土））で実習の説明を行うので必ず出席すること。
  - 7) スキー用具：スキー用具は現地でレンタル可能（有料）。
  - 8) 特記事項：スキー実習日程は、卒業年次生の追再試・1～3年次生の追試験と重なっているので特に注意すること。

#### 成績評価の方法

事前授業および実習（5日間）に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキー基本技術や、理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

#### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（03-3709-0717）に連絡すること。尚、実習に参加しない場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	きとう まさゆき 佐藤 政之	国文・英米文・地文・環境1選	2

#### 講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 ♪：現代生活と健康 (食生活と健康)
- 3 ♪：♪ (食生活と栄養)
- 4 ♪：♪ (運動不足と成人病)
- 5 ♪：♪ (平均余命と寿命の伸び)
- 6 ♪：♪ (健康のための生活習慣)
- 7 ♪：♪ (喫煙・飲酒)
- 8 ♪：♪ (ストレス社会と健康障害)
- 9 ♪：♪ (ストレスと健康測定)
- 10 ♪：現代生活と運動 (健康づくり運動)
- 11 ♪：♪ (スポーツマンのトレーニング)
- 12 ♪：♪ (スポーツマンの運動処方)
- 13 ♪：♪ (スポーツ医学の一般知識)
- 14 ♪：♪ (スポーツと環境・条件)
- 15 ♪：まとめ

#### 成績評価の方法

- ① 「レポート」の提出2回
  - ② 「筆記試験」
- ①・②で成績評価とする。

#### 教科書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	もりもと 森 本 葵	歴史・社会・福祉・心理I選	2

講義のねらい

人生に於て『体力』は生涯ついてまわる財産である。その『体力』は20才前からのトレーニングに負う所が大きい。その方法を『体力づくり』として講座を進めてゆきたい。  
また、タイムリーな話題として『近代オリンピック』を取り上げてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- <体力づくり>
- 1 時限目：体力のメカニズム
  - 2 時限目：若年時に於ける体力づくりの必要性
  - 3 時限目：
 

}	筋力
	持久力

 体力づくりの方法
  - 7 時限目：
 

}	調整力
---	-----
  - 8 時限目：体力と疲労
  - 9 時限目：　　〃
  - 10 時限目：疲労の判定法
  - 11 時限目：　　〃
- <近代オリンピック>
- 12 時限目：近代オリンピックの歴史
  - 13 時限目：　　〃　　の問題点
  - 14 時限目：　　〃　　の将来展望
  - 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

- 『保健体育理論』 (科学書院)
- 『スポーツトレーナー教本』 (日本体育協会)
- 『スポーツとからだ』 (岩波書店)
- 『オリンピックの回想』 (B・Bマガジン社)

そ の 他

レポート提出・ビデオによる講義

保科  
健  
体  
育  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	お お い し た け し 大 石 武 士	全 学 科 選	2

#### 講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病氣や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病氣・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14時限目：体力について
- 15時限目：テスト

#### 成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

#### 参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編 『保健体育概論』（カヅサ出版） 1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館） 700円

#### そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科保健体育  
目育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	まきの 野 茂 <small>しげる</small>	全 学 科 選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11 時限目：日常生活と健康② ク ク ク ②
- 12 時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』（カヅサ出版部） 1,700円  
他は、講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	みやざわ えいさく 宮 沢 栄 作	全 学 科 選	2

#### 講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時間目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併わせて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時間目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時間目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時間目：スポーツと体力の関係について
- 5 時間目：運動能力発達の原理
- 6 時間目：運動能力の領域
- 7 時間目：運動能力の構造
- 8 時間目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時間目：総合体力の定義と要素
- 10 時間目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時間目：〃
- 12 時間目：トレーニング理論全般
- 13 時間目：〃
- 14 時間目：〃
- 15 時間目：まとめ

#### 成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

#### 教科書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	むらまつ まこと 村 松 誠	全 学 科 選	2

#### 講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：健康観の変遷
- 3 時 限 目：現代の健康観
- 4 時 限 目：健康の成立要因
- 5 時 限 目：健康の成立条件
- 6 時 限 目：病気の原因
- 7 時 限 目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時 限 目：現代の感染症
- 9 時 限 目：喫煙と健康
- 10 時 限 目：飲酒と健康
- 11 時 限 目：ストレスと健康
- 12 時 限 目：食べ物と健康
- 13 時 限 目：運動と健康
- 14 時 限 目：環境と健康
- 15 時 限 目：まとめ

#### 履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

#### 成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

#### 教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

## Ⅱ 專 門 教 育 科 目

### 1 国 文 学 科

国  
文





## II. 專門教育科目

### (1) 国文学科

基礎国語学	〈三澤成博〉	297
基礎国文学 I	〈近衛典子〉	297
基礎国文学 I	〈松井健児〉	298
基礎国文学 I	〈田中徳定〉	298
基礎国文学 II	〈岡田豊〉	299
基礎国文学 II	〈高田知波〉	299
基礎国文学 II	〈勝原晴希〉	300
漢文学	〈今浜通隆〉	300
国語学概論	〈木村晟〉	301
国文学概論	〈小野寛〉	301
国文学史 I (古典)	〈櫻井陽子〉	302
国文学史 I (古典)	〈林達也〉	302
国文学史 II (近現代)	〈岡田豊〉	303
国文学史 II	〈勝原晴希〉	303
国語史	〈土井光祐〉	303
国語学史	〈休講〉	
国語学研究 I	〈木村晟〉	304
国語学研究 II	〈休講〉	
上代文学研究 I	〈小野寛〉	304
上代文学研究 II	〈神野志隆光〉	305
中古文学研究 I	〈松岡智之〉	305
中古文学研究 II	〈松井健児〉	306
中世文学研究 I	〈櫻井陽子〉	306
中世文学研究 II	〈田中徳定〉	307
近世文学研究 I	〈近衛典子〉	307
近世文学研究 II	〈休講〉	
近代文学研究 I	〈山崎眞紀子〉	308
近代文学研究 II	〈高田知波〉	308
国語学特講 I	〈土井光祐〉	309
国語学特講 II	〈豊澤弘伸〉	319
国文学特講 I	〈三浦廣子〉	310
国文学特講 II	〈中村文〉	310
国文学特講 III	〈都倉俊一〉	311
国文学特講 IV	〈田口和夫〉	311
国文学特講 V	〈渡辺千明〉	312
国文学特講 VI	〈立石和弘〉	312
国文学特講 VII	〈植田恭代〉	313
国文学特講 VIII	〈篠原進〉	313
国文学特講 IX	〈中村三代司〉	314
国文学特講 X	〈井上理恵〉	314
国文学特講 XI	〈榎本正樹〉	315
国語学演習 I	〈木村晟〉	315
国文学演習 I	〈小野寛〉	316

国	文	学	演	習	I	〈高	橋	文	二	.....	316	
国	文	学	演	習	I	〈松	井	健	児	.....	316	
国	文	学	演	習	I	〈立	石	和	弘	.....	317	
国	文	学	演	習	I	〈櫻	井	和	陽	.....	317	
国	文	学	演	習	I	〈田	中	德	定	.....	317	
国	文	学	演	習	I	〈林		達	也	.....	318	
国	文	学	演	習	I	〈近	衛	典	子	.....	318	
国	文	学	演	習	I	〈岡	田	豊		.....	319	
国	文	学	演	習	I	〈勝	原	晴	希	.....	319	
国	文	学	演	習	I	〈高	田	知	波	.....	320	
国	文	学	演	習	I	〈中	村	三代	司	.....	320	
国	語	学	演	習	II	〈木	村	晟		.....	321	
国	文	学	演	習	II	〈小	野	寛		.....	321	
国	文	学	演	習	II	〈高	橋	文	二	.....	321	
国	文	学	演	習	II	〈松	井	健	児	.....	322	
国	文	学	演	習	II	〈植	田	恭	代	.....	322	
国	文	学	演	習	II	〈櫻	井	陽	子	.....	323	
国	文	学	演	習	II	〈田	中	德	定	.....	323	
国	文	学	演	習	II	〈林		達	也	.....	324	
国	文	学	演	習	II	〈近	衛	典	子	.....	324	
国	文	学	演	習	II	〈岡	田	豊		.....	325	
国	文	学	演	習	II	〈勝	原	晴	希	.....	325	
国	文	学	演	習	II	〈高	田	知	波	.....	326	
国	文	学	演	習	II	〈山	崎	真	紀	.....	326	
国	語	学	演	習	III	〈木	村	晟		.....	327	
国	文	学	演	習	III	〈小	野	寛		.....	327	
国	文	学	演	習	III	〈高	橋	文	二	.....	327	
国	文	学	演	習	III	〈松	井	健	児	.....	328	
国	文	学	演	習	III	〈櫻	井	陽	子	.....	328	
国	文	学	演	習	III	〈田	中	德	定	.....	328	
国	文	学	演	習	III	〈近	衛	典	子	.....	329	
国	文	学	演	習	III	〈林		達	也	.....	329	
国	文	学	演	習	III	〈岡	田	豊		.....	329	
国	文	学	演	習	III	〈高	田	知	波	.....	330	
国	文	学	演	習	III	〈勝	原	晴	希	.....	330	
国	語	学	演	習	IV	〈木	村	晟		.....	330	
国	文	学	演	習	IV	〈小	野	寛		.....	331	
国	文	学	演	習	IV	〈高	橋	文	二	.....	331	
国	文	学	演	習	IV	〈松	井	健	児	.....	331	
国	文	学	演	習	IV	〈櫻	井	陽	子	.....	331	
国	文	学	演	習	IV	〈田	中	德	定	.....	332	
国	文	学	演	習	IV	〈林		達	也	.....	332	
国	文	学	演	習	IV	〈近	衛	典	子	.....	332	
国	文	学	演	習	IV	〈岡	田	豊		.....	332	
国	文	学	演	習	IV	〈高	田	知	波	.....	333	
中	国	文	学	演	習	IV	〈南	雲	智	.....	333	
比	較	文	学	演	習	IV	〈滿	谷	マー	ガレット	.....	334

見	童	文	学	〈国	松	俊	英	.....	334
有	職	故	実	〈大	塚	英	子	.....	335
日	本	民	学	〈谷	口		貢	.....	336
民	問	信	論	〈谷	口		貢	.....	336
日	本	史	説	I 〈松	本	信	道	.....	337
日	本	史	説	II 〈佐	藤	元	英	.....	337
日	本	文	化	I 〈休			講	.....	
日	本	文	化	II 〈吉	田	政	博	.....	338
仏	教	概	論	池	田	練	太郎	.....	338
東	洋	思	史	末	木	恭	彦	.....	339
西	洋	思	史	柴	野	博	子	.....	339
美	術	史	説	海	老	聰	郎	.....	340
演	劇	概	論	井	上	理	惠	.....	340
書	道	概	論	金	子	卓	義	.....	341
書	道	道	史	那	須	隆	吉	.....	341
書	道	道	I	金	子	卓	義	.....	341
書	道	道	II	野	村	宙	弘	.....	342
編	集	実	III	那	須	隆	吉	.....	342
		実	務	長	谷	川	孝	.....	342



科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎国語学	み さ わ し げ ひ ろ 三 澤 成 博	国 文 1 必	4

講義のねらい

文法を中心に音韻、文字など国語に関する基礎的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 動詞の分類・形容詞、形容動詞
- 2 仮名遣い・音韻・アクセント
- 3 文の構造
- 4 言語生活

履修上の留意点

ノートを作成し、各時間の講義内容をまとめておく。

成績評価の方法

定期試験を基本とし、レポート・出席等を参考資料とする。

教 科 書

必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

- 『国語学研究法』（武蔵野書院）
- 築島裕『国語学』（東京大学出版会）
- 『国語学研究事典』（明治書院）
- 『日本語文法大辞典』（明治書院）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎国文学Ⅰ	こ の え の り こ 近 衛 典 子	国 文 1 必	4

講義のねらい

大きく眺め渡せば古典文学の爛熟期でもあり、近代文学の萌芽期でもある江戸時代の文学作品に親しみ、併せて古典文学を学ぶ上での基本的な方法を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

近世小説を中心に、幅広く近世文芸の展開の様を概観する。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合的に見て評価する。

参 考 書 等

櫻井武次郎編『近世小説選』（双文社出版）

国  
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎国文学Ⅰ	まついけんじ 松井健児	国文Ⅰ必	4

講義のねらい

古典文学読解のための基礎的な知識と方法を学ぶ。古語による言語表現の持つ広がりや深さを実感する。成立や時代背景の違いによる表現の多様性を受容し、積極的な理解へといたる教養を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

韻文・散文における、代表的な古典文学作品の具体的な読解を示す。歴史的・表現史的な背景に触れ、あわせて研究への指針となるような術語についても解説する。

履修上の留意点

自主性と積極性。欠席の多い場合は評価の対象としない。

成績評価の方法

①筆記試験 ②レポート ③出席状況 ④その他を総合しておこなう。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎国文学Ⅰ	たなかのりさだ 田中徳定	国文Ⅰ必	4

講義のねらい

古典文学作品を、本文に即しながら読解し、併せて古典文学研究の方法を学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

上代～近世の代表的な古典文学作品について、文学史の流れを考えながら読解する。その中で、文学作品と歴史・社会との関わりを考える。

履修上の留意点

専門科目の必修科目であるので、出席を基本とし、1/3以上欠席した場合には評価の対象としないことがあり得る。

成績評価の方法

授業時間内に行なう小テストと前期末に課すレポート、および年度末試験。

教科書

岡田啓介他編『日本文化を知る』（おうふう）2,500円

参考書等

授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎国文学Ⅱ	お か だ ゆたか 岡 田 豊	国 文 Ⅰ 必	4

講義のねらい

具体的に作品を読み進めながら、日本の近代小説の研究方法について学ぶ。古典文学に比して、言語上の障害が少ない近代小説を、研究の対象として取り上げることの意義および研究の方法について学ぶ一年である。参考文献はどうやって調べるのか、どのようなアプローチがあるのか、どのように論じるのか、等々の問題に向かって進み、近代文学研究の基礎を固め、次年度以降の演習科目（自主的な研究発表の授業）へのスムーズな接続ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

明治から昭和初期の間に発表された代表作や問題作をいくつか取り上げて読んでみる。作家としては、泉鏡花・芥川龍之介・川端康成・永井荷風である。作品評価の見直しや作家のあまり注目されなかった側面への論及といった近年の研究動向を紹介し、これまで何が問われてきたのかを確認しながら、新たな研究の課題や読みの可能性について探っていく。

履修上の留意点

作品を各自で準備し、読んで授業に参加すること。「この人物はどうしてこんなことを口にするのか?」「なぜこんな行動に出るのか?」「作品はなぜこんな終わり方をするのか?」等、素朴な疑問を持って授業に参加することを勧めます。こんな考え方があるのか、ではこんな読みは出来ないだろうかと問題を掘り下げ、考えを深めていくとよいでしょう。

成績評価の方法

授業中に提出を求める感想文等も考慮に入れる。また欠席回数が多い者は定期試験の受験資格を失う場合がある。筆記試験のみで成績を出すのではなく、トータルにみたくうえで評価を下す。

教科書

泉鏡花作『外科室・海城発電機五篇』（岩波文庫）、芥川龍之介『杜子春・南京の基督』（角川文庫）、川端康成『雪国』、永井荷風『溼東綺譚』（いずれも新潮文庫）

参考書等

その都度教場で紹介する。

国  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎国文学Ⅱ	た か だ ち な み 高 田 知 波	国 文 Ⅰ 必	4

講義のねらい

近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を3期に分け、第1期は夏目漱石の『坊っちゃん』、第2期は川端康成の『伊豆の踊子』、第3期は森鷗外『舞姫』をそれぞれ精読することによって、制度的な読みの定式を問い直す作業を臨床的に試みる。

履修上の留意点

小説の読みに、唯一絶対の《正解》というものは存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだというところを、この授業を通して理解してほしいと思う。

成績評価の方法

原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。

教科書

夏目漱石『坊っちゃん』（新潮文庫）  
森 鷗外『阿部一族・舞姫』（新潮文庫）  
川端康成『伊豆の踊子』（新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎国文学II	かつはらはるき 勝原晴希	国 文 1 必	4

講義のねらい

近現代の文学研究へのオリエンテーションと、具体的な作品を使つてのアプローチの方法を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小説・評論・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。また基本的な研究の手づきについて講義する。

履修上の留意点

文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的独創的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけて行って欲しい。

成績評価の方法

レポート・平常点およびテストによる。

教 科 書

プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
漢文学	いまはまみちたか 今浜通隆	国 文 1 必	4

講義のねらい

現存する中国最古の小説集と言われる『世説新語』について講義し、その文学性について言及し、漢文訓読の能力を養成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

中国六朝時代の宋朝の劉義慶(403-444)の手になったとされる『世説新語』という文学作品について、その書誌・注釈書・日本文学への影響などについて、まずは概観する。また、その前段階で、同書が「小説」のジャンルに分類されていることから、中国および日本の古代の人々にとって、「小説」とはどのようなものと認識され、どのような価値観を持つものと意識されていたのかを論ずることとする。さらに、同上書はわが平安朝に早くから将来され、日本文学に大きな影響を与えたとされているが、その軌跡を具体的に見ていくことも本授業の重要な眼目としたい。以上の概説を終えてから、テキストを漢文訓読法によって実際に読み進めることになる。

履修上の留意点

教材は中国で出版された『世説新語校箋』をプリントして各自に配付する。各自はその原文に返り点や送りかな等を入れる作業を進めることになる。授業には漢和辞典を必ず持参のこと。予習も必要となる。

成績評価の方法

前・後期の定期試験の成績のほか、レポートの提出、出席率を重視する。

教 科 書

随時プリントを配付。

参 考 書 等

授業中に必要に応じて指定。

そ の 他

授業への積極的な参加を要望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語学概論	木 <sup>き</sup> 村 <sup>むら</sup> 晟 <sup>あきら</sup>	国 文 1・2 必	4

講義のねらい

国語学が特殊言語学の一つであって、一般言語学の学問研究の方法が国語学にも応用される面も多くあるが、日本語独自の特徴があるゆえに、国語学特有の研究法もあることを理解する必要がある。そのために音韻・文字・語法・語彙・文体の各分野に関して概説をするとともに、それらの研究方法についても講ずることとする。問題意識を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期（4月～9月）には国語学の総論と音韻論・文字論・語法論について、実際の研究論文なども紹介しながら、その研究方法を講義する。特に音韻研究には重点をおく。

後期（10月～1月）には語彙論・文体論と方言研究について、やはり実際の研究論文を紹介しながら、研究法を講ずる。特に文体研究に重点をおく。

履修上の留意点

授業中に必要な参考文献（書籍・雑誌論文など）を紹介するので、各自図書館でよく調べ学習しておくことが肝要である。授業にはよく出席をして、欠席しないように努めること。

成績評価の方法

期末試験によって評価する。

教 科 書

福島邦道著『国語学要論』（笠間書院）1,200円

参 考 書 等

橋本進吉著『国語学概論』（岩波書店）  
時枝誠記著『国語学原論』（岩波書店）  
山田忠雄著『国語学概論』（日大通信教育部）

そ の 他

その他各項目毎に授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学概論	小 <sup>お</sup> 野 <sup>の</sup> 寛 <sup>ひろし</sup>	国 文 1・2 必	4

講義のねらい

日本文学とは何か。日本文学についてどんなことがわかっているか。その研究方法はどんなものがあるか。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文学の発生から、その成長・変遷・展開・発展を解説する。その中で、それをどのように調べ、考察研究してゆくか、実際の作品に触れつつ講義する。

履修上の留意点

講義は毎時間、新しくまとめた独自のもので、必ず前回の講義を踏まえて今日の講義があり、今日の講義を踏まえて次回の講義はあるのだから、必ず出席し、ひたすらノートをとること。毎時出欠をとる。

成績評価の方法

時々のレポートと、学年末の総まとめのレポートまたは試験によって評価する。

教 科 書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学史Ⅰ（古典）	さくらい ようこ 櫻 井 陽 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本古典文学の流れを、中世を基軸としながら概観する。  
時代や社会の変化と文学の足跡とは切り離すことはできない。中世文学が社会の変遷の中で、平安文学をどのように継承し、新たな文学世界を創造してゆくのか、また、中世文学の享受と創造の場の実態はどのようなものか、等を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の項目の中から従って適宜講ずる。具体的に代表的な作品を掲げて作品の特徴を示し、内容に触れながら進める。

- 1) 中世はいつから始まるのか。中世という時代の特徴と文学との関係
- 2) 平安文学の継承と完成、そして、新たな展開（和歌・日記・随筆）
- 3) 花開くジャンル（説話・軍記）
- 4) 時代と文学（戦乱と文学・京と東国・宗教と文学）
- 5) 新たなジャンル創造（能と狂言・おとぎ草子）
- 6) 中世の終焉

成績評価の方法

出席、授業態度、提出物、定期試験（前期・後期）によって総合的に評価する。

教 科 書

岩佐美代子他編『新選 中世の文学』（和泉書院）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学史Ⅰ（古典）	はやし たつや 林 達 也	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

万葉から近世に至る、韻文を中心とした文学史。

講義の内容・  
授業スケジュール

古代前期（奈良時代まで）  
記紀歌謡・万葉集・漢詩文集  
古代後期（平安時代）  
勅撰集（三代集・三代集以後）の歴史／歌合せ／物語と和歌／歌論・歌学  
中世（鎌倉・南北朝・室町時代）  
新古今集と新勅撰集／新古今時代の歌人／その後の勅撰集（玉葉集・風雅集）  
頼阿・正徹／歌道師範家（二条・冷泉）／宗祇・三条西実隆／連歌・俳諧  
近世（江戸時代）  
堂上歌人とその周辺／徳川光圀の周辺／江戸派の人々／香川景樹と桂園派  
良寛を中心に／貞門・談林／芭蕉・蕪村・一茶

成績評価の方法

原則として、前期末と学年末の試験により評価する。

教 科 書

講義資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学史Ⅱ（近現代）	お  か だ  ゆたが 岡 田 豊	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

- ①資料の読解トレーニングと読解力の向上
- ②「～派・主義」の分類に止まらず、文化や風俗、出版状況及び読者の問題等を視野に入れ、時代と表現を相関的にとらえて文学史を描く。以上の2点を講義のねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は「文芸時代」創刊以降昭和の文学の展開について講義する。階級の問題、メディアの急速な発達、〈私小説〉をめぐる問題等の大正期からかかえてきた諸問題と、昭和に新たに発生あるいは拡大化した問題を取り上げて考察する。

履修上の留意点

読みにくい資料が多数出てくるので、復習に重点をおき、辞書や事典類で調べる習慣をつけるとうれやきます。何年、いつ頃の話なのかを見失わないようにすると混乱が避けられます。ある時点、その前後にどんなことが起こっているのかを頭の中で整理していくのもよいでしょう。配布プリントを試験に出題するので、ファイルなどに綴じて保管しておく必要があります。

成績評価の方法

学年末の試験で評価する。

教 科 書

山田有策編『近代文学Ⅱ』（学術図書出版社）およびプリント

参 考 書 等

その都度教場で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学史Ⅱ（近現代）	か  つ  は ら  は る き 勝 原 晴 希	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『新体詩抄』に始まる日本の近現代詩の流れを通観し、把握する。

講義の内容・授業スケジュール

明治期については簡略化し、大正・昭和を中心に、高村光太郎・萩原朔太郎・宮澤賢治・三好達治・中原中也など、代表的な詩人の詩作品を読んでいく。

成績評価の方法

前後二回の試験および出席状況による。

教 科 書

適宜プリントを配布。

参 考 書 等

和田博文編『近現代詩を学ぶ人のために』（世界思想社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語学史	ど  い  こう ゆう 土 井 光 祐	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

古代から近代に至る日本人の言語観の歴史について体系的に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主に中世までを扱い、後期は主に近世以降を扱う。  
国語学史は、国語史と相補う関係にあり、古典文学のための知識としても不可欠となる。資料を中心とした基礎知識の修得を目指したい。

成績評価の方法

試験

教 科 書

馬淵和夫・出雲朝子『国語学史』（笠間書院）1,800円（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語学研究Ⅰ	木村 晟	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『禅籍抄物・火堯和尚再吟』の国語学的研究を行なう。室町時代語の音韻・語彙・語法・表記等を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

『禅籍抄物』を国語史的な立場に重点を置き、読解を進める。特に語彙・語法・表記については、『今昔物語集』（岩波古典文学大系本）を常に参照する。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書は常に参照する。

成績評価の方法

期末テスト、平常点、出席状況などにより評価する。

教科書

プリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学研究Ⅰ	小野 寛	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

万葉集全20巻から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学研究Ⅱ	こうのし たかみつ 神野志 隆 光	国文2・3・4選必	4

#### 講義のねらい

この授業では、八世紀初の『古事記』『日本書紀』から平安時代初期の『先代旧事本紀』までを、古代天皇神話という一つの問題領域において考察する。『古事記』『日本書紀』がはじめて天皇の神話を成り立たせたが、伝承をもととして成り立つという理解から離れて、これをテキストにおいて成り立つ神話としてとらえよう。そこで一元的でない天皇の神話という把握がひらかれる。そこから祭祀との関係もとらえなおされねばならなくなる。神話とは別に体系化される祭祀として見ることもとめられる。平安時代には、その全体を再構築して一元化することに向かう。『先代旧事本紀』はその帰着であった。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は以下の展開ですすめる。

- 1 「伝承」という虚構／方法の問題を考える。従来の神話論への批判から、テキストにおいて成り立つ天皇の神話という立場を明確にする。
- 2 多元的な天皇神話／『古事記』『日本書紀』の神話を、それぞれ別個な全体であり、天皇の神話を多元的に成り立つものとして見るべきことをあきらかにする。
- 3 古代国家における祭祀／律令祭祀の体系を、神話とは別な体系の論理をもつものとして見るべきことを確認する。
- 4 一元化への運動／神話・祭祀を一元的に再構築しようとする運動として、新たなテキスト生成、

日本紀講書をとらえ、『先代旧事本紀』をその帰着として位置づける。

#### 成績評価の方法

評価は出席点と授業中の小テストによっておこなう。出席を重視する。

#### 教科書

『古事記』、『日本書紀(一)』——いずれも岩波文庫。神野志隆光『古事記と日本書紀』(講談社現代新書)

#### 参考書等

参考書等は授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中古文学研究Ⅰ	まつおか ともゆき 松 岡 智 之	国文2・3・4選必	4

#### 講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩(和歌)が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語のないし歌日記的なものに関する問題提起をする。
- ②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。
- ③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。
- ④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。
- ⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

#### 成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

#### 教科書

プリント配布。

#### 参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究Ⅱ	まついけんじ 松 井 健 児	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

王朝初期物語のなかから『竹取物語』を読む。『源氏物語』に「物語の出で来はじめの祖」と語られているように、『竹取物語』は「物語」という形態の原形的な要素を多分にもっている。神話や伝説、口承文芸などの遺産を受け継ぎながら、物語が黎明期の仮名文字との出会いを通じて展開していった、想像力の原初的なありようを探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

本文講読の形式をとる。近年の研究成果をふまえ、物語の時間、発想、話型など、物語を主体的に読むためのいくつかの術語を紹介しつつ、その概念や具体的な読みへの応用方法についても逐次説明する。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

(1) 論述を中心とした筆記試験 (2) 出席状況 (3) その他を総合しておこなう。

教科書

野口元大・校注 新潮日本古典集成『竹取物語』(新潮社)

参考書等

小嶋菜温子『かぐや姫幻想 皇権と禁忌』(森話社) 他

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究Ⅰ	さくらいようこ 櫻 井 陽 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

源義経(牛若丸)像が日本の文学や芸能の中で、どのように形成され、また、変貌を遂げていったのかを追い、日本人がこの悲劇的、英雄的生涯を終えた人物に何を託したかったのかを、作品に触れながら明らかにしていく。また、知識階級の占有物ではない文学、或いは文化を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

義経についての記載を追って、下記の各文献を読む。

平家物語  
平治物語  
吾妻鏡、及び歴史史料  
義経記  
謡曲  
おとぎ草子

成績評価の方法

出席、授業態度、レポートによって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中世文学研究Ⅱ	た な か の り さ だ 田 中 徳 定	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

保元・平治の乱、源平の合戦に始まり、中世は戦乱の世であった。その中において、平安朝文学とは全く異質の、軍記文学・説話文学等が開いていった。中世文学の諸分野の中から、随筆、評論、軍記、説話、室町時代物語における代表的作品を読みながら中世という時代を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

既成の価値観が大きく変動していく中世という時代の中で、人々がどのようにその時代に対処して、新しい生き方を切り開いていったのかを、『方丈記』・『徒然草』・中世説話集・『とはずがたり』・『御伽草子』（『ものくさ太郎』・『一寸法師』）等々にみえる人間像から、その様相を探求していく。

成績評価の方法

レポートによる（課題は授業中に指示する）。

教 科 書

その都度、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近世文学研究Ⅰ	こ の え の り こ 近 衛 典 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教 科 書

鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

そ の 他

講義



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学研究Ⅰ	やまざき まきこ 山 崎 眞 紀 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

1979年『風の歌を聴け』でデビューした村上春樹は、現在も第一線で活躍している作家である。この間、日本は経済効率優先の社会システムのもとに進んできた。結果、バブル経済、サブカルチャー、家族制度の崩壊などを生みだしてきた。共闘から個人へと変換してきたことも大きいだろう。村上春樹は人々が共闘している際にも個人で、徹底的に自分の足元を見続け、たとえていえば自分の中の井戸を汲み上げるようにして書いてきた作家である。もはや、現代は経済効率優先の社会システムのままでは、各所にはころびが生じてきている。こういう時代に、村上春樹作品を読むことによって、社会システム内に無自覚に呑み込まれるのではなく、個人一人一人が自分の井戸を汲み上げ、これから先の時間をどのように構築していくのかを考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

村上春樹作品の代表作を基本的には発表時間順に読んでいく。主に文庫本をテキストとする。

履修上の留意点

事前にテキストの指定部分を必ず読んでくること。授業時間の前半は講義式で進め、後半は各自考察を深めるために課題に従って文章化したり、意見を発表して貰ったりする。従って、授業に積極的に参加する姿勢が必要となってくる。テキストを読んでこなかったり、私語をしたり、テキストを持参せず眠っている、などという態度は困るので、履修をする場合は、これらのことをしないことが条件となる。なお、携帯電話は講義中に触れることも認めません。

成績評価の方法

平常点（授業への参加度や授業時の意見や文章等）を何よりも重要視する。学年末にレポート提出を課すか、ペーパーテストを行うかは、受講者の反応に従って決定したい。全講義数のうち、3分の1以上の欠席の場合は単位を認定しないので注意すること。

教 科 書

新潮文庫『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』（上・下）、新潮文庫『ねじまき鳥クロニクル』（第1部～第3部 全三巻）、『図書館奇譚』（講談社文庫『カンガルー日和』所収）、『眠り』（文春文庫『TVピープル』所収）、『ねじまき鳥と火曜日の女たち』（文春文庫『パン屋再襲撃』）、『街と、その不確かな壁』（文庫本未収録なのでプリント作成）

参 考 書 等

総合的には『村上春樹作品研究事典』（鼎書房）3,800円があるが、購入を強制するものではない。他の参考書及びサブテキストについては授業中適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学研究Ⅱ	たかだ ちなみ 高 田 知 波	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

年間テーマは「一葉を読む」である。一葉は24歳で病死した夭折の作家であるが、明治、というより日本の近代文学全体を代表する小説家の一人としての評価は高い。年間講義を通じて、その一葉の文学世界に迫りたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

『たけくらべ』『十三夜』『にぎりえ』等、一葉の代表作を順番に読んでいく。女優・幸田弘子氏の朗読テープも活用する。

履修上の留意点

講義を聴きながら、自分の意見を確立できるようにつとめてほしい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験によって評価を出す。欠席多数者は受験資格を失うことがある。

教 科 書

樋口一葉『にぎりえ・たけくらべ』（新潮文庫）

参 考 書 等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語学特講Ⅰ	と 井 光 祐 土 井 光 祐	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

文献に基づいた国語史研究の実際を、鎌倉時代語を中心に体系的に解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

鎌倉時代は、従来の国語史の中心的課題である口語史の観点からすれば、まさに空白期にあたる。当期は、近代語の芽生えの時期と言われるが、一方で古代語という「古典」を持って久しく、口語と文語とが複層的に絡み合った時代と言える。

前後の平安時代語、室町時代語の資料、研究史を紹介、解説しつつ、鎌倉時代の言語資料、研究方法を具体的に検証して、問題点を明らかにしていく。

成績評価の方法

試験又はレポート

教 科 書

プリントを配布

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語学特講Ⅱ	とよざわ ひろのぶ 豊 澤 弘 伸	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

国語学研究における、コンピュータを利用した言語情報処理能力の育成をはかる。

- ・これまでのコンピュータ利用による国語学の研究成果を概観する。
- ・国語学において利用の可能な言語情報処理の方法を理解する。
- ・コンピュータを利用した日本語研究の方法を獲得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 先行研究についての方法論的検討
2. 国語学研究におけるコンピュータ利用の状況
3. テキストデータの作成の方法
4. データベース・索引の作成と利用
5. 漢字処理の問題

履修上の留意点

授業では総合情報センターのパソコンを使用するが、モバイルで個人的に準備できる人には別途対応する。

成績評価の方法

受講の状況（出席等）や提出物、期末試験などによって総合的に判断する。

教 科 書

テキストは使用しないが、必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

青葉ことばの会『日本語研究法』（おうふう）2,800円  
中野洋『パソコンによる日本語研究入門』（笠間書院）2,700円  
『パソコンを使う日本語研究』（『日本語学』14巻7月臨時増刊号、明治書院）

そ の 他

授業は、講義のほか、パソコンを利用した実習を予定（総合情報センターを使用）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学特講Ⅰ	<small>み う ら ひ ろ こ</small> 三 浦 廣 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

江戸の世話狂言を取り上げる。寛政期に上方から江戸へ下った並木五瓶の合理的でリアルな作風は、江戸歌舞伎の新しい世話狂言を生む基盤となったといわれる。これをうけて文化文政期に、江戸歌舞伎独特の構成法を生かした「生世話」と呼ばれる世話狂言の世界を作り出したのが鶴屋南北である。この寛政期から文化文政期に至る江戸世話狂言の展開の様相をとらえ、その劇構造や趣向の特色を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

並木五瓶の「五大力恋絨」「隅田春妓女容性」や、鶴屋南北の「杜若艶色紫」「盟三五大切」などの中から、いくつかを取り上げて読みながら、世話物の展開の諸相を考える。

成績評価の方法

レポートの提出(二回程度)をもって行う。  
出席状況を考え合わせて評価する。

教 科 書

プリントを使用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学特講Ⅱ	<small>な か む ら あ や</small> 中 村 文	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

鎌倉時代前期に成立した日記的家集『建礼門院右京大夫集』を講読する。作者は平清盛の娘徳子(高倉天皇中宮)に女房として仕えた人物で、作品の前半には平家の公達を初めとする貴公子達との交流が描かれる。宮廷を背景として交わされる贈答歌の読解方法に親しみ、そのネガティブなコミュニケーションの形に理解を深めるとともに、平安時代末期に展開された王朝の残映とも言うべき優雅な文化の性格について考察したい。また、右京大夫は恋人であった平資盛を源平の争乱で失い、後半部分が悲嘆の言葉で埋め尽くされているため、この作品は「愛と追憶の文学」と呼ばれもするが、和歌の配列や用語等には明らかな虚構が見て取れる。作品全体の構成に留意しながら、右京大夫の執筆意図を探っていききたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義形式で行う。必要な参考資料をプリントで配布して、時代背景や登場人物についての理解を深めながら読み進めていく。和歌読解に必要な知識や、古典文学研究のための基礎的な調査方法を身につけることを目指したい。

履修上の留意点

古典のことばを恐れず、まずは授業に＜参加＞してほしい。＜想像する＞ことこそが和歌に近づくもっとも強力な武器なのである。

成績評価の方法

前・後期末に記述形式の試験を行い、その評価と授業時の態度を勘案して判定する。

教 科 書

糸賀きみ江校注『建礼門院右京大夫集』(新潮社、新潮日本古典集成) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学特講Ⅲ	とくらはしゅんいち 都 倉 俊 一	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本のあらゆる大衆文化は様々な欧米文化の影響をうけながら今日に至っている。特に戦後に於ての日本の音楽、演劇、映画、ファッション、食生活などあらゆるジャンルにおいて日本人が受けてきた欧米文化の影響とそれによって作られてきたユニークな今日の日本の大衆文化、またそれがどのようにして作られてきたかを時代ごとに、またジャンルごとに考察して行きたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容は主に世界の音楽、演劇の現代史的な視点からそれぞれの時代を考え、それらが日本にどのような影響を与えてきたかを振り返る。私は主に70-80年代前半までは日本で、それ以降今日まで欧米で音楽、演劇の現場で活動をして来たので、その時代その時代をより具体的な例を持って検証してみたい。

前期は欧米の音楽、演劇（ミュージカルその他）がどのように成立してきたか、また日本にどのような影響を与えたか。後期は主に今日の日本の大衆文化を考察する。

履修上の留意点

授業は積極的な学生の意見を求める。時には発言を、またレポート等でテーマごとにそれぞれの考えを書いてもらい意見交換をする。授業には時にゲストを招いたりCD、ビデオ鑑賞も取り入れる。

成績評価の方法

後期に一年間取り上げた中からいくつかのテーマを指定し、その中から選択しレポートを提出してもらい採点する。

教 科 書

教科書、参考書は原則的に使わないが、興味のある学生には参考文献を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学特講Ⅳ	たぐちかずお 田 口 和 夫	国文2・3・4選必	4

国  
文

講義のねらい

説話と能・狂言

日本の古典芸能の一つである能楽(能・狂言)は平成13年に世界無形遺産に指定された。そのためばかりではないが、能と狂言は最近なにかと話題になることが多く、紹介・入門の書も面白いものが出ている。能役者・狂言役者による新しい試みも数多くあり、現在の舞台も賑わいを見せている。また、能楽学会も発足の運びとなり、研究面でも新しい局面が開かれようとしている。このような現況を理解するとともに、能・狂言の形成の問題をその背景・素材となる説話との関わりの中で考究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①散楽・猿楽・能楽と展開する道筋を資料の読解によって確認する。
- ②能・狂言の作品研究の形式で、説話に関わりのあるものを取り上げ、その形成・展開の諸相を解明する。

履修上の留意点

設備があれば、できるだけビデオを使用して、現在の舞台を分析するが、それにとどまらず、できるだけ実際の舞台を鑑賞することが望ましい。

成績評価の方法

随時課するレポートと出席による。

教 科 書

プリントの予定。

参 考 書 等

図書館で見るとべきもの一岩波講座「能・狂言」・能勢朝次著『能楽源流考』（岩波書店）・田口和夫著『能・狂言研究—中世文芸論考』（三弥井書店）

そ の 他

受講人数によるが、基本は講義。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特講Ⅴ	わたなべ ちあき 渡 辺 千 明	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

いまや我々の生活や「表現」と切っても切り離せないものとなった「映像」についての幅広い知識の吸収をめざす。

一口に映像といっても様々なジャンルがあるが、本年度は“映像の王様”としての劇映画を取り上げ、とりわけ“戦後日本映画屈指の傑作(川本三郎)”と言われる成瀬巳喜男監督作品『浮雲』('55東宝)をテキストに、映像表現の方法論、技術、また原作とシナリオの関係等について多角的に考える。

講義の内容・授業スケジュール

当初1～2回は、映像一般についてのイントロダクションの講義となるが、それ以降はビデオを使った検討と分析、ディスカッション。また「現場」の映画人である講師は、ついに教室にいたたまれず、幸い本学から程近い東宝撮影所や『浮雲』のロケ場所に飛び出すことがあるかもしれない。「被写体」と言うものを絶対的に必要とする「映像」は、何よりも「足」のものであるから。

履修上の留意点

『浮雲』は授業内でビデオ上映する予定だが、それに限らず、日常的に多くの作品に接して「映像感覚」を身につけること。

成績評価の方法

出欠を含む授業態度と期末のレポート。

参考書等

中古智/蓮見重彦『成瀬巳喜男の設計——美術監督は回想する』(筑摩書房) 2,700円  
村川英『成瀬巳喜男・演出術——役者が語る演技の現場』(ワイズ出版) 2,600円  
他に林美美子『浮雲』、『水木洋子シナリオ集』等

国  
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特講Ⅵ	なていし かずひろ 立 石 和 弘	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安朝期の物語文学『源氏物語』の、現代における「流通・加工・消費」の様態について考察する。現代語訳、梗概書、演劇、映画、漫画へと加工されることで、『源氏物語』はどのような表象、言説として再構成されていくのか。「源氏物語」という文化が消費されていくなかに形成される権力の問題も見すえながら、具体的な表現を通して考える。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに『源氏物語』の概説をおこなう。その後、受容態分析の研究史、および加工媒体のメディア特性に留意しつつ具体的な表現の分析に移る。与謝野・谷崎・円地・田辺・橋本訥の個性、造本・装画・宣伝などにより形成される美的王朝幻想、戦時下と戦後の源氏物語、不敬とジェンダーをめぐる表象、映画・アニメ・宝塚への再生など、複数の視点から源氏文化を対象化する。

成績評価の方法

出席とレポートによる。

教科書

毎回、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特講Ⅶ	植 <sup>うえ</sup> 田 <sup>た</sup> 恭 <sup>や</sup> 代 <sup>す</sup>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『源氏物語』と王朝文化について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

『源氏物語』についての諸知識を確認し、世界の流れを視野におさめたうえで、物語世界が王朝の文化をどのように掬いあげているのかをさぐっていく。第二部を中心に取り上げ、そこから第一部の物語についても見直してみることにしたい。

履修上の留意点

現代語訳等で作品のあらすじを把握するよう、心がけてほしい。

成績評価の方法

出席・記述式テスト・授業への参加態度等による総合評価とする。

教科書

新潮日本古典集成『源氏物語 五』（新潮社）、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特講Ⅷ	篠 <sup>し</sup> 原 <sup>の</sup> 進 <sup>は</sup> 原 <sup>ら</sup> 進 <sup>すすむ</sup>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

「一九七〇年十一月二十五日のあの奇妙な午後を、僕は今でもはっきりと覚えている。～我々は林を抜けてICUのキャンパスまで歩き、いつものようにラウンジに座ってホットドッグをかじった。午後の二時で、ラウンジのテレビには三島由紀夫の姿が何度も何度も繰り返し映し出されていた。ヴォリュームが故障していたせいで、音声は殆んど聞き取れなかったが、どちらにしてもそれは我々にはどうでも良いことだった。」(村上春樹『羊をめぐる冒険』)

三浦雅士が衝撃的な口調で語った、「青春」の終焉、教養の時代の終わり(『青春の終焉』)。その後を訪れた、江戸ブームとミステリーの時代。

文学不振の中、唯一健闘しているのがミステリーです。ミステリーはなぜ、私たちの心をときめかせるのでしょうか。そうした問題を意識から、現代の文学との往復運動を繰り返しながら、西鶴を中心とする江戸文学の魅力をもミステリーという視点で考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

西鶴や江戸文学についての予備知識は、必要ありません。講義はできるだけ分かりやすく、一回で完結するよう心がけ、資料はコピーで提供する予定。条件が許せば、教材提示装置や、ビデオも活用するつもりです。

履修上の留意点

就職試験などで止むを得ず欠席する受講生は、事前に連絡してください。

成績評価の方法

出席状況や、試験などで総合的に評価します。

教科書

テキストは、その都度コピーを配布する予定です。

参考書等

参考文献などは、講義の中で紹介します。

その他

基本的には講義形式ですが、一方通行にならないよう、受講者の意見や感想を聞き、討論する時間も持ちたいと考えています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学特講Ⅸ	<small>なかむら みよし</small> 中 村 三 代 司	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

戦後文学の旗手として太宰治等とともにジャーナリズムに迎えられた坂口安吾の昭和20年代の小説やエッセイを精読しながら、敗戦直後という困難な時代にあつて、彼の文学が我々読者にどのようなメッセージを送り続けたのかを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は「白痴」「外套と青空」「墮落論」等を、後期は「風と光と二十の私と」「道鏡」「花妖」等を、それぞれ取り上げる予定である。

履修上の留意点

前・後期の開講時に取り上げる作品を指示するので、必ず読んだ上で受講のこと。

成績評価の方法

年2回(前期・後期)のレポート、及び出席状況を勘案して評価する。

教 科 書

『坂口安吾全集』第4巻(ちくま文庫、定価1,030円)

参 考 書 等

取り上げる作品毎に異なるので、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学特講Ⅹ	<small>いのうえ よしえ</small> 井 上 理 恵	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本近代戯曲を取り上げ、そのドラマトウルギーを検討しながら戯曲研究の方法を考える。これまで戯曲は文学作品として研究されることが少なく上演と関連づけて検討されることが多かった。本講義では文学としての戯曲という視点で近代戯曲にアプローチする。

講義の内容・  
授業スケジュール

明治期では、森鷗外、有島武郎、岡本綺堂、木下杢太郎、久保田万太郎、長谷川時雨、岡田八千代ら的一幕物を読み、時代との関係、斬新さ、歴史的価値等々を検討する。大正期は「大正の戯曲時代」といわれている。その多くが一幕物であるが、何故戯曲時代であったのか、小説と比較して戯曲はいかなる位置付けで作家たちは考えていたのか…等々に言及しながら武者小路實篤、中村吉蔵、平沢計七、菊池寛、鈴木泉三郎、金子洋文、泉鏡花、秋田雨雀、岸田国士、小山内薫らの戯曲を読む。昭和期ではプロレタリア戯曲からリアリズム戯曲への転換を見ながら三好十郎、久保菜らを、そして木下順二まで読む。後期に時間があれば現代戯曲、野田秀樹、つかこうへい、平田オリザなど読みたい。

履修上の留意点

戯曲の舞台化はビデオ視聴するつもりだが、本講座を選択する者には実際の舞台を見に行ってもらふことを義務付ける。5,000円位を予定してほしい。尚、演劇、映画、テレビ、ラジオ等の創造部門に就職を希望する者は受講するといいだらう。

成績評価の方法

発表、レポート(2回観劇批評含む)、テストで評価する。

教 科 書

『日本の近代戯曲』(翰林書房)2,500円

参 考 書 等

井上理恵著『近代演劇の扉をあける』(社会評論社刊)4,500円  
日本近代演劇史研究会編『20世紀の戯曲』(社会評論社刊)4,700円

そ の 他

講義形式だが、ビデオ視聴や学生の発表も取り入れる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講 XI	えのもと まさき 榎 本 正 樹	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

現代文学をめぐる状況は大きく変わりつつあります。作家の書く現場から読者のレベルまで、文学をめぐるあらゆる環境にコンピュータ化の波が押し寄せていることはその一例です。デジタルブックやマルチメディア、インターネットといったコンピューティングとネットワークがもたらす情報環境の中で、小説というメディア表現そのものが大きく変容しようとしているのです。このような高度情報化社会における新しい文学像をどのようにイメージすればいいのでしょうか。それを本講義の目的としたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的にはメディア・テクノロジーとの融合の結果生まれた文芸ジャンル(オンライン小説やインタラクティブ・フィクションなど)を個別に検証するとともに、サブカルチャーや周辺ジャンル(映画、演劇、マンガ、テレビ、コンピュータゲーム、マルチメディア作品、ネット上の作品など)との比較・対照を通して、次世代の文学のあり方を展望します。CD-ROMやインターネットでのテキストの流通(電子テキストやハイパーテキスト)の意味についても考えていきます。

講義では随時、話題作や注目作、ネットと文学をめぐる最新トレンドを紹介する機会をつくります。ソフトウェアやネットを文系的立場から使いこなす方法などについても指南します。最新のメディア論、情報文化論の成果を取り入れながら同時代のメディア環境を概観し、それらを文学(言語)の問題に還元していくことで、「現代小説の方法とは何か」「小説に内在するテクノロジーとはどのようなものなのか」といった根源的な問題系にアプローチしていきたいと思えます。

履修上の留意点

授業は講義形式をとります。現代文学だけでなく、周辺ジャンルやインターネットなど同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

学年末提出のレポートをメインに、出席点を加味して総合的に評価します。

参考書等

参考文献等はその都度教場で紹介します。参考資料も必要な際に配布します。

その他

履修に際しては、榎本のサイト([www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/](http://www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/))も参考にしてください。

国  
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学演習 I	きむら あきら 木 村 晟	国文 2 必	4

講義のねらい

中世語の語彙・語法・音韻・仮名遣い等について国語史的に学び、近代語の成立について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

『仮名書き論語』を「抄物」、「キリシタン資料」などと対照させ、それぞれの語彙・語法・音韻・仮名遣いなどの特徴を考察する。特に国語史の基礎を十分学ぼうにする。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書の類は常に参照する。

成績評価の方法

レポートを課し、平常点で評価する。研究発表(分担)とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教科書

プリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅰ	おののひろし 小野寛	国文Ⅱ必	4

講義のねらい	万葉集をよむ。
講義の内容・授業スケジュール	万葉集巻二の歌から選んで各自担当し、その歌の本文はどうなっているか、訓みはどうか、語句の意味・用法、作歌の背景など、くわしく調べて、一人ずつ報告・発表し、全員で検討する。
履修上の留意点	遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。
成績評価の方法	発表・質疑に対する応答と、討論への参加、学年末に提出するレポートによって評価する。
教科書	鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう刊） 小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅰ	たかはしぶんじ 高橋文二	国文Ⅱ必	4

講義のねらい	『伊勢物語』を読み、そこに表れている人間観、自然観の意味するところを探り、平安時代の歌物語の特質を考える。
講義の内容・授業スケジュール	はじめの3～4回は問題点につき、概論風の講義をするが、あとは各自担当箇所を決めて、研究発表をする。
履修上の留意点	研究発表にあたっては担当箇所の語彙の用例調査、諸注釈の検討、時代状況の確認などをあらかじめして授業に臨むこと。
成績評価の方法	年二回のレポートの提出、研究発表の内容、出席の状況によって評価する。
教科書	『異本対照 伊勢物語』（和泉書院）1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅰ	まついけんじ 松井健児	国文Ⅱ必	4

講義のねらい	平安時代物語の研究を自律的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。
講義の内容・授業スケジュール	受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』『夕顔』の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を展開できる技術を養う。
履修上の留意点	演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。
成績評価の方法	受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合して行なう。
教科書	石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 一』（新潮社）
参考書等	参考書は授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅰ	たていし かずひろ 立 石 和 弘	国 文 2 必	4

講義のねらい

平安朝物語文学の演習。『源氏物語』を対象として、発表者の問題意識を展開し論として構成する方法を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

「若紫」巻を読む。諸注釈を対照させながら、表現を丹念に読み込むことで、古代的な想像力の枠組みや、近代的な視点から浮き彫りにされるジェンダー構成、語りの方、話型など、多様な補助線を引きながら、「源氏物語」にアプローチしてもらいたい。はじめに概略的な説明を行い、以降は報告者の発表と質疑応答によって進めていく。

成績評価の方法

発表、出席、授業への参加、レポートによって総合的に評価する。

教 科 書

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅰ	さくらい ようこ 櫻 井 陽 子	国 文 2 必	4

講義のねらい

古典文学の調査・研究の方法の基礎を学びつつ、日本古典文学の基盤とも位置づけられる和歌に親しむ。

講義の内容・  
授業スケジュール

『百人一首』を読む。  
個人、もしくはグループで一首ずつ担当する。担当和歌の変体仮名に平仮名を宛て、漢字仮名まじりに直し、担当和歌の出詠事情、収載勅撰集における位置等を報告することを基礎作業とする。次に、和歌を理解するための自分なりの問題点を設定して調査・考察した結果を発表し、質疑を経て、後日、レポートにまとめて提出する。

履修上の留意点

学生自身が、些細であっても自分なりの問題点や関心を持つこと。また、自身の発表時以外には積極的に質疑・討論に参加すること。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教 科 書

『百人一首 宮内庁書陵部蔵 孝筆』（笠間書院）824円

参 考 書 等

『増補改訂 仮名変体集』（新典社）361円 他は授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅰ	た な か の り さ だ 田 中 徳 定	国 文 2 必	4

講義のねらい

古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

『徒然草』をとりあげ、語彙調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、関連する物語・説話にも広く目を向けて、中世の人々の思想や信仰、及び平安時代以来の貴族文化の美意識について探求する。

成績評価の方法

授業時間内に行う口頭発表とその内容をまとめたレポートによる。

教 科 書

鈴木知太郎・西一祥編『新注 徒然草』（おうふう）1,800円

参 考 書 等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅰ	はやし 林 達 也	国 文 Ⅱ 必	4

講義のねらい

・『おくのほそ道』研究

・本講義は基礎演習的な要素をもつ。テキストを理解するとはどういうことか、理解のためにはどういう手続きが必要か、などのことがらについて、身をもって修得することを目的とする。本年は『おくの細道』の後半を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- ・適切な辞書の使い方を覚える。
- ・参考文献の探し方・利用方法を身につける。
- ・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・レポーター（発表者）は、参考資料(レジュメ)を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方
  - ・学年末提出のレポート
- の二点によって評価する。

教 科 書

『おくのほそ道』（岩波文庫）

参 考 書 等

開講時に示す。

そ の 他

- ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
- ・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（例えば、図録・絵画活用等）をとること。

国  
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅰ	こ の え の り こ 近 衛 典 子	国 文 Ⅱ 必	4

講義のねらい

古典文学読解のための基本的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

上田秋成の『藤蓑冊子』を読む。短文の中に織り込まれた和歌、物語、漢詩などを的確に把握し、秋成の和文の妙味をじっくりと味わいたい。授業は受講者による発表形式をとり質疑応答によって読みを深めていく。

履修上の留意点

発表者は担当部分の語彙の用例調査、典拠の検討、登場人物の伝記的調査等の結果を踏まえて、正確な読みを提示すべく試みる。受講者は積極的に質疑応答に参加すること。

成績評価の方法

演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅰ	<small>おかだ ゆたか</small> 岡 田 豊	国 文 2 必	4

講義のねらい

演習という授業の初学者に対し、作品を丹念に読み、みずからの言葉で論じるということの基礎的トレーニングを行う。特に発表技術の習得、レジュメの作成方法、ディスカッションの方法についての指導に重点をおく。

講義の内容・  
授業スケジュール

谷崎潤一郎の小説を読む

対象作品は、『痴人の愛』『細雪』『鍵』『瘋癲老人日記』等を予定している。司会も学生が行い、演習生が一丸となって討論する。淫靡で妖しく、それでいて美しい情趣をかもした谷崎文学の魅力を味わいつつ、多義的な表現を読み込んでいく。

履修上の留意点

発表を体験するだけでも大きな発見があるものです。周到に準備したのにディスカッションが活発でなかったとか、発表者が用意してきたテーマと外れたちょっとした発言が、逆にみんなの興味を誘い、自熱したなど、演習は予想外の展開に満ちています。ディスカッションの流れをつかみ、勇気を出して発言することが肝要でしょう。

成績評価の方法

演習は教員の説明を聞いてノートをとる形式とは異なり、学生自身が実際に調査・報告・討論を行う。よって欠席回数が多いと多く続く履修不可能となる場合がある。報告内容、討論参加の態度、レポートを総合的にながめたいうでで成績評価する。

教 科 書

文庫テキストを各自で用意する。

参 考 書 等

その都度教場で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅰ	<small>かつはら はるき</small> 勝 原 晴 希	国 文 2 必	4

講義のねらい

近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は各参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

近現代の詩歌についての基礎知識を学んでいることが望ましい。また各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教 科 書

プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅰ	高 田 知 波 <small>たかだちなみ</small>	国 文 2 必	4

講義のねらい

年間テーマは「太宰治を読む」。太宰治は青年層の間で人気の高い作家であるが、「太宰治」という神話が作品の読みを著しく束縛してきたことも確かである。作中人物の言葉をただちに「太宰」の肉声だと決め込んでしまうようなバイアス(先入観、偏見)からいかにして作品を解き放ち、自由に豊かな《読み》を生産していくか。学生相互による壮大な共同作業を追求する演習を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

『魚服記』『駆け込み訴え』『お伽草紙』『斜陽』『ヴィヨンの妻』『人間失格』の6作品を学生グループが分担し、年間スケジュールを立てる。グループによる発表と学生全員によるディスカッションを軸にして、原則として1作品4週間のペースで読んでいく。

履修上の留意点

毎時間テキストを読んで出席することは最低限のルール。そして「演習の主役は学生である」という原則に則って、活発な発言を行うという姿勢で演習に臨んでほしい。

成績評価の方法

平常点と、期末のリポートの採点結果とを総合的に評価する。

教 科 書

『晩年』、『走れメロス』、『お伽草紙』、『斜陽』、『ヴィヨンの妻』、『人間失格』(いずれも新潮文庫)

参 考 書 等

教場で指示する。

国  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅰ	中 村 三 代 司 <small>なかむらみよし</small>	国 文 2 必	4

講義のねらい

前期は、明治40年代の森鷗外・夏目漱石等、大正期の芥川龍之介・谷崎潤一郎・志賀直哉・佐藤春夫等、昭和10年代までの江戸川乱歩・夢野久作・太宰治等の主要作品を、後期は、受講者の希望作品(作家、時代は問わない)をそれぞれ読み、作品研究の方法を考える。また、作品を研究する参考文献の調べ方、レジュメの作成法、分かりやすい発表の技術等も併せて習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回1作品につき、2名程度がレジュメを準備してレポートし、その発表内容に基づいて討議を行なう。また、レポーター以外の受講者には、予習の意味を含めて当該作品の簡単なレポートを毎回提出してもらう。なお、取り上げる作品については開講時に指示する。

履修上の留意点

毎回取り上げる作品を読了した上で演習に参加するのはいうまでもないが、作品をいかに読んでくることが大切である。問題意識をもって演習に臨んでほしい。

成績評価の方法

前・後期各1回の発表、出席状況を重視して評価する。また、授業中の発言も勘案する。

教 科 書

各社文庫本。作品毎に指定する。

参 考 書 等

取り上げる作品毎に異なるので、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語学演習Ⅱ	木 村 晟 <small>きむら あきら</small>	国 文 3 必	4

講義のねらい

国語語彙史の研究を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

『聯句連歌』(10件)を採り挙げ、中近世の語彙史研究を行なう。実証的ならしめるため、多くの文献を参照する。また、関連する論文もいくつか採り挙げ読むこととする。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』や『倭玉篇』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書類は常に参照する。

成績評価の方法

レポートを課し、平常点で評価する。ただし研究発表(分担)とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教 科 書

プリントを用意する。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅱ	小 野 寛 <small>おの ひろし</small>	国 文 3 必	4

講義のねらい

万葉集を読む。

講義の内容・授業スケジュール

万葉集巻三の歌から選んで各自分担し、その歌の本文はどうなっているか、訓みはどうか、語句の意味・用法、作家の背景など、詳しく調べて、一人ずつ報告・発表し、全員で検討する。

履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。

成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、学年末に提出するレポートによって評価する。

教 科 書

鶴久・森山隆編『万葉集』(おうふう刊)  
小野寛著『新選万葉集抄』(笠間書院刊)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅱ	高 橋 文 二 <small>たかはしぶんじ</small>	国 文 3 必	4

講義のねらい

『源氏物語』の「鈴虫」巻を読み、光源氏の晩年の人間関係と文学世界の意味合いを考える。

講義の内容・授業スケジュール

はじめの3~4回は概論風の講義をし、「鈴虫」巻の問題点について触れる。あとは出席者各自の研究発表の形をとる。

履修上の留意点

語彙索引の類を十分に活用して、担当箇所に出てくる言葉の用例などを綿密に調べ、古注釈なども検討する。細い方法等については授業時間内に指示する。

成績評価の方法

研究発表の内容、年二回のレポート、出席の状況などを勘案して評価する。

教 科 書

影印本『すずむし』(新典社)  
『字典かな』(笠間書院)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	まつい けんじ 松 井 健 児	国 文 3 必	4

講義のねらい

『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の「明石」「滯標」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を行ない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合して行なう。

教 科 書

石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』（新潮社）

参 考 書 等

授業時に紹介する。

国  
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	うえた やすよ 植 田 恭 代	国 文 3 必	4

講義のねらい

『源氏物語』「滯標」巻を読む。諸註釈をたどりつつ、本文を丹念に読み進めることによって見出される問題を追究し、時代に生きる人々の心性や思想を探る。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回担当範囲と報告者を決め、資料作成のうえ報告をしてもらう。その後、出席者全員による討論を行う。

履修上の留意点

各自で予習をし、積極的に討論に参加してほしい。

成績評価の方法

発表・討論への参加態度・出席、レポートによる総合評価とする。

教 科 書

新潮日本古典集成『源氏物語 三』（新潮社）

参 考 書 等

授業時に指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅱ	さくらい ようこ 櫻 井 陽 子	国 文 3 必	4

講義のねらい

平家物語は鎌倉時代に成立したと考えられているが、作者・成立年代のみならず原態もすべて不明であり、その解明に向けて研究が進んできたと言っても過言ではない。

平家物語の作品世界を知り、内容を味わうことと、研究上の問題がどのように関わるのか、具体的な問題に触れつつ考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

巻六を扱う。延慶本を少しずつ読み解く。影印本を基にし、活字本の誤りを訂正。次に、現代語訳をし、問題点を探る。

履修上の留意点

問題点は書誌学・国文学・芸能・和歌・説話・音楽他、多方面にわたる。学生自身が自分なりの関心と問題意識を掘り下げる機会となることを願う。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書

授業中に適宜指示する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅱ	た な か の り さ だ 田 中 徳 定	国 文 3 必	4

講義のねらい

院政期に成立した代表的説話集である『今昔物語集』を読みながら、説話の伝承や改変の様相について考える。同時に、説話が描き出す時代や社会のありよう、さらには人間の姿について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

『今昔物語集』の説話について、鬼・天狗・陰陽道・変化・狐、また笑話等、興味をもったテーマを設定して、当時の人々の生活や信仰のありようを調査、研究し、その様相を探っていく。

履修上の留意点

専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。また、授業において、必ず口頭発表を行なってもらう。

成績評価の方法

授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。

教科書

今野 達編『新注今昔物語集選』（大修館書店）876円

その他

受講生に担当する説話を割り当てる。受講生は、担当する説話について調査・考察を行ない、その結果をレジュメに作成し、授業中に口頭発表を行なってもらう。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅱ	はやし 林 達也	国 文 3 必	4

講義のねらい

- ・『恨の介』研究
- ・『恨の介』は近世初期の仮名草子であり、中世的な要素を含みつつ、近世初期独特の世相・風俗等がふんだんに盛り込まれている。主線は「恨の介」と呼ばれる関東武士の京都における恋物語であるが、そこにさまざまな副線がからむ。丁寧に読みながら、近世初期の京都の様相をはじめとして特有の文学の有様を確かめてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- ・適切な参考書・文献を使いこなし、読解へ結び付けてゆく方法を身につける。
- ・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・レポーター(発表者)は参考書(レジュメ)を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方
- ・学年末提出のレポート  
の二点によって評価する。

教 科 書

『恨の介・薄雪物語』(和泉書院) 1,500円

参 考 書 等

開講時に示す。

そ の 他

- ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
- ・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法(たとえば、図録・絵画活用等)をとること。

国  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅱ	このえのりこ 近 衛 典 子	国 文 3 必	4

講義のねらい

近世文学読解のための基本的な方法を身につけ、本文の正確な読解の力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

井原西鶴の『西鶴名残の友』を読む。授業は受講者による発表形式で進める。

履修上の留意点

出席を重視する。受講者は常に問題意識を持って臨み、積極的に質疑応答に参加すること。

成績評価の方法

演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習II	お  か だ  柳たか 岡  田  豊	国 文 3 必	4

講義のねらい

昭和30年代以降、平成までに発表されたいくつかの小説をとりあげて読む。演習Iに比して、教員が関与する度合いが低くなる。学生の自主性を高めることに重点をおく。学生ひとりひとりが積極的にディスカッションに参加し意見をぶつけ合い、教員は調整する程度に止まる。

講義の内容・  
授業スケジュール

2人ないしは3人でチームを組んで報告する。演習生全員で報告者が提起する問題をめぐって討論する。司会進行係も学生からその都度選出する。扱う作家は、石原慎太郎・古井由吉・中上健次・村上春樹・村上龍・田中康夫・原田宗典・山田詠美・吉本ばなな・辻仁成・長野まゆみ・柳美里等を予定している。

履修上の留意点

現代小説の研究は、まずテーマを設定するのが困難であり、また参考文献が少ない。読みやすさのなかに何らかの問題を探り出し、読みを展開できるようにしなければなりません。

成績評価の方法

出席状況、報告内容はもちろんのこと、発言回数やその内容等の演習参加の態度も考慮に入れる。

教 科 書

文庫本をテキストにする。

参 考 書 等

その都度教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習II	か  つ  ほ  ら  ほ  る  き 勝  原  晴  希	国 文 3 必	4

講義のねらい

夏目漱石『ころ』の読解を通じて、作品を読むということについて考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

夏目漱石『ころ』を読む。また『ころ』研究史について学ぶ。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教 科 書

夏目漱石『ころ』（新潮文庫）

参 考 書 等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	たかだちなみ 高 田 知 波	国 文 3 必	4

講義のねらい

年間テーマは、「近代100年の小説を読む」。今年度は近代の時間的下限を広げ、明治前期から「明治100年」、つまり1968年頃までを対象範囲とする。森鷗外、樋口一葉、泉鏡花、島崎藤村、夏目漱石、志賀直哉、芥川龍之介、谷崎潤一郎、川端康成、太宰治、宮本百合子、三島由紀夫、遠藤周作、大江健三郎等々、近代100年間の代表的作家たちの代表的作品（小説に限定）を読んでいく。各作品を表現と構造に即して精読することと、100年の文学の流れを体感することを目指す演習である。

講義の内容・  
授業スケジュール

年度始めに教員側が提示する作品リストの中から、学生の希望にもとづいて11作品を選んで発表分担当チームを編成し、年間スケジュールを決定する。1作品2週を標準ベースとし、1週目を発表と質疑、2週目を演習生全員によるディスカッションにあてる。

履修上の留意点

毎時間、必ずテキストを読んで出席することが最低限のルールである。自分が発表を分担しない作品についても、積極的に発言する姿勢を全員に強く求めたい。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

教 科 書

取り上げる作品ごとに発表チームがテキストを指定するが、入手の容易な文庫本を原則とする。

参 考 書 等

教場で指示する。

国  
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	やまさき まきこ 山 崎 眞 紀 子	国 文 3 必	4

講義のねらい

1970年代から2001年の現代にわたる現代文学、およびその周辺のメディアについて研究します。演習では現代小説など文字メディアのテキスト研究を中心にしますが、同時に、文学性・物語性を大量に含む周辺メディアもとりあげて、それらのメディアの特性や、文字メディアとの差異や共通点や影響関係を明らかにしつつ、そもそも文学性・物語性とは何かということについても考えてゆきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

対象作品は基本的に現代文学作品ですが、演習参加者の希望を聞いて決定したいと思います。受講者は年2回のグループ・レポーターを担当し、考察と分析結果を発表する義務を負います。演習はその発表を中心とした受講者全員によるフリー・ディスカッションです。

履修上の留意点

積極的な発現なくしてはゼミは成立しません。自分自身の思考を練り上げて外に向けて発言し、また、他者の思考を伺い知ることによって、自身の世界が広がっていくことを願います。

成績評価の方法

演習ですから出席と発表重視です。前期一回、後期一回の発表が必要です。この発表をしないと点数になりません。平常点（出席と発言等）、発表点、学年末レポートなどの総合判断をしますが、6回以上欠席した学生には単位認定はしません。4回以上欠席の場合は単位認定されても評価が悪くなるので注意。自分が発表しない場合でも作品を綿密に読んで問題点、注目点を見つけてくることを演習を受ける上での課題とします。

教 科 書

テキスト選択は開講時に話し合いで決定します。

参 考 書 等

授業のなかで、随時アドバイスします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語学演習Ⅲ	木 村 晟 <small>きむら あきら</small>	国 文 4 必	4

講義のねらい

国語学を専攻する学生の卒業論文を指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

国語学の各領域のうち、方言研究・文字論・語彙論・文体論などの専門的な論文を読み、検討をし、解説を加える。これを重ねることによって、学生が論文の書き方が学べるようにする。

履修上の留意点

卒業論文は力いっぱい努力をして、骨惜しみをしないこと。質問は遠慮せずたびたびすること。

成績評価の方法

平常点により評価する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは用意する。

参 考 書 等

授業はグループ毎に読んだ論文を報告し、質疑応答をする。また後期には各自の論文の中間報告もさせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅲ	小 野 寛 <small>おの ひろし</small>	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文に上代文学を選ぶ者に対する指導を行う。本文、注釈、作品論、作家論などについての正確な結論を得るためには、大量の情報をしっかりと整理する必要がある。その情報処理の能力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

古事記から万葉集までを対象として、各自が選んだ作品の本文研究と解釈について発表し、出席者全員で討論することによって進行する。

履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。

成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、学年末に提出するレポートによる。

教 科 書

鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅲ	高 橋 文 二 <small>たかはし ぶんじ</small>	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための授業であるが、演習Ⅳとは違って、卒論対象の作品や人物について、より具体的に検討、調査を試み、卒論の内実をしっかりしたものにする時間としたい。

成績評価の方法

研究発表とレポート提出と出席等の状況によって評価する。

参 考 書 等

それぞれの問題に即して授業内で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅲ	まついけんじ 松 井 健 児	国 文 4 必	4

講義のねらい

平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－問題への効果的な取り組み方－参考文献の検索の方法－論文目録の作成－現時点における研究史および研究状況の把握－具体的な論述にいたるための資料作成－口頭による中間的な研究報告－具体的な論述の方法－など、いくつかの段階を設定して、文学研究としての要件を備えた論文の作成を自律的におこなえるよう指導、助言する。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合して行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅲ	さくらいようこ 櫻 井 陽 子	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行う。

履修上の留意点

学生自身の自主的な活動に負う。

成績評価の方法

卒業論文の内容と完成に至る過程。

国  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅲ	たなかのりさだ 田 中 徳 定	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための指導を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

全体的には、卒業論文作成に必要な調査方法や諸手続きについて指導を行なう。また、個々の卒業論文のテーマにあわせ、個人ごとの指導を行なっていく。卒業論文の論題提出時までに、研究計画書を提出してもらい、卒業論文作成過程においては、卒論中間発表会においてその内容を口頭発表してもらう。

成績評価の方法

卒論中間発表会における口頭発表とそれをまとめたレポートの内容によって評価を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	このえのりこ 近衛典子	国文4必	4

講義のねらい

近世文学で卒業論文を作成する学生を対象に、実践的な指導を行なう。卒業論文は各自がそれぞれの問題意識を持って主体的に取り組むべきものであり、本演習はそれを援助するものである。

講義の内容・授業スケジュール

各自の研究テーマに応じて個別指導・助言を行なう。また、夏休み終了後に、中間報告としてレポートを提出してもらう。

履修上の留意点

積極的な取り組みを望む。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、及び卒業論文の内容により評価する。

その他

ゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	はやし たつや 林達也	国文4必	4

講義のねらい

近世文学（十八世紀中頃まで）・中世文学の和歌で卒業論文を書く学生を対象とする。授業は、個別指導を中心とする。

成績評価の方法

卒業論文執筆へ向けての調査・思考等の姿勢によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	おかだ 豊 岡田豊	国文4必	4

講義のねらい

学生各自が興味を持っているテーマに沿って、自主的に研究を進め、発表し、論文として記述していく力を養っていくことをねらいとする。また、日本の近現代文学を対象とした卒業論文の作成指導も行う。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の論題提出までに研究対象とする作品や作家を絞り込む。研究対象を考慮して、一年間をともにするチームを組んでもらう（例えば〈吉本ばなな〉チーム〈芥川〉チーム など）。さらにチームをいくつか合体させたグループを三つ作り、ここでできたグループ単位で演習を行う。扱う作品は、卒業論文に関連するものを学生が選定して発表を行うという方式をとる予定である。その他に、面談（論題提出前に必ず1回、合計3回）とレポートの提出を義務付ける。

履修上の留意点

卒業論文関連の重要な情報を発信したり、助言指導をする授業でもあります。トラブルや事故を未然に回避するためにも、積極的、自主的な授業への参加が望まれます。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、研究計画の立て方やレポートの出来具合等を見、さらに卒業論文の完成度をも参考にする。

教科書

その都度教場で指示する。

参考書等

その都度教場で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅲ	た か だ ち な み 高 田 知 波	国 文 4 必	4

講義のねらい

各自の小説の読みを深めることと、卒業論文制作のために生きる相互学習を行うことを2本柱にした演習である。両者が有機的に結びつくことによって成果のあがることを目指したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間を前半と後半に分ける。前半は学説の違いの大きな近代小説を共同で読み、後半は学生を選んだ作品を読む。発表は1人、年1回。くわしくは教場で指示する。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅲ	か つ は ら は る き 勝 原 晴 希	国 文 4 必	4

講義のねらい

近現代の小説・詩歌を読むことを通じて、作品を読み味わう力を養い、また研究の方法を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

近現代の小説・詩歌を読む。対象とする作家・作品は学生の希望を尊重するが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教 科 書

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語学演習Ⅳ	き む ら あ き ら 木 村 景	国 文 4 必	4

講義のねらい

専ら卒業論文指導を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

各個人別の質疑応答による指導。

履修上の留意点

積極的に質問・相談に来ること。

成績評価の方法

平常点。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅳ	おののひろし 小野 寛	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文に上代文学を選ぶ者に対する指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は演習形式で、各自が卒業論文に選んだテーマに沿って作品を選び、詳細な本文研究と確かな解釈の上に立つ作品研究を報告し、みんなで討議する。

履修上の留意点

卒業論文のテーマを一日も早く決定する。4月の開講時には各自の卒業論文の計画書を提出してもらおう。

成績評価の方法

卒業論文提出のあと、学年末にレポートを提出する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅳ	たかはしぶんじ 高橋 文二	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための個別指導、助言を中心とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題点確認のために5月以降、月ごとにレポートを提出する。資料（用語例など）調査の中間発表を夏休みの課題レポートとして提出する。9月中に卒論の構想を示せるようにすること。

成績評価の方法

レポートと出席の状況によって評価する。

国  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅳ	まついけんじ 松井 健児	国 文 4 必	4

講義のねらい

平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の個別指導、助言。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の研究対象に応じた実践的、具体的な個別指導と助言を行なう。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

受講者による①報告内容②出席状況③その他を総合して行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学演習Ⅳ	さくらいようこ 櫻井 陽子	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行う。

履修上の留意点

学生自身の自主的な活動に負う。

成績評価の方法

卒業論文の内容と完成に至る過程。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	た な か の り さ だ 田 中 徳 定	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための演習である。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自の卒業論文のテーマに応じて、個別に指導・助言を行なう。

履修上の留意点

卒業論文への積極的な取り組みと、主体的に問題を考えていく姿勢を望む。

成績評価の方法

平常における卒業論文に取り組む姿勢と卒業論文によって評価を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	は や し た つ や 林 達 也	国 文 4 必	4

講義のねらい

近世文学（十八世紀中頃まで）・中世文学の和歌で卒業論文を書く学生を対象とする。授業は、個別指導を中心とする。

成績評価の方法

卒業論文執筆へ向けての調査・思考等の姿勢によって評価する。

国  
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	こ の え の り こ 近 衛 典 子	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための個別指導。

講義の内容・  
授業スケジュール

面談を中心に、卒業論文のテーマの絞り方、調査方法、論の展開等について指導する。

履修上の留意点

予め相談内容をメモにまとめておくこと。時間厳守。

成績評価の方法

出席状況及び卒業論文により評価する。

そ の 他

個別指導。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	お か だ ゆたか 岡 田 豊	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための研究指導。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	高 <sup>た</sup> 田 <sup>か</sup> 知 <sup>ち</sup> 波 <sup>なみ</sup>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための演習である。

履修上の留意点

卒業論文の成否にかかわる演習だということを十分に理解してほしい。

成績評価の方法

平常点と卒業論文によって評価を出す。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	勝 <sup>かつ</sup> 原 <sup>はら</sup> 晴 <sup>は</sup> 希 <sup>き</sup>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための研究指導を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文作成のスケジュール作りから始まり、テーマの絞り方、文献調査の方法、論文の構成・執筆の方法など、具体的な指導を行なう。

履修上の留意点

自主的・積極的な取り組みを要望する。

成績評価の方法

平常点と卒業論文によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国文学	南 <sup>な</sup> 雲 <sup>ぐも</sup> 智 <sup>さとる</sup>	国文2・3・4選	4

講義のねらい

中国文学の流れをつかむと同時に、中国文学の特質とは何かを考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

長い歴史を有する中国文学の全体像をすべて把握するのは困難であろう。断片的にならざるを得ないが、大きな流れだけは見失わないように授業を進めたい。

成績評価の方法

成績評価はレポートにする予定であるが、変更する場合もあり得る。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

授業中に適宜、プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較文学	<small>みつたに</small> 満谷マーガレット	国文2・3・4選	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教 科 書

プリント

参 考 書 等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年  
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年  
西田直敏『「新体詩抄」 研究と資料』（翰林書房）1994年など

国  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児童文学	<small>くにまつとしひで</small> 国松俊英	国文2・3・4選	4

講義のねらい

童話や児童文学といえは、かつては「子どもに役立つ文学」、「子どものためになる文学」という考えが中心だった、大人が子どもに与えるものであった。けれどその考えは、時代とともに変わってきた。現代では「大人と子ども共有できる文学」と考える人がふえてきた。大人が楽しみ、感動できる児童文学が多く生まれるようになった。この時間は、児童文学の特質、そのジャンル、作家と作品について学ぶ。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、レポート

教 科 書

適宜プリントを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有職故実	おおつか ひでこ 大塚英子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解読の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論ずることにより、国文学や国史の研究に一視点を提供したい。具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。

B、平安朝の年中行事

1. 「年中行事絵巻」を映像資料として、平安朝における年中行事の意義を考える。
2. 正月の年中行事を詳説し、政治と年中行事（特に朝賀）との関係を考察する。
3. 『源氏物語』花宴の巻が書かれるまでの「花の宴」の伝統を考察し、文化的年中行事成立の条件について示唆する。
4. 平安朝において二月～十二月に行われていた年中行事の一つを題にレポート作成。

後期A、『源氏物語絵巻』と服飾

1. 平安貴族社会の服飾を制度と流行の二側面から概説、『かさね色目』の展示。
2. 撰閲時代の男性装束と女性装束を、故実書や文学から例文を引用して解説する。
3. 絵巻の内容について、服飾の観点から解説を試みる。

B、平安朝における官職位階の制度

常時出席しないと修得はむづかしい。

履修上の留意点

成績評価の方法

後期で学習した事項について学年末にテストを行い、前期のレポートとあわせて評価する。

教科書

河籾実英『有職故実』（塙書房）1,900円、源氏物語絵巻のコピー、及びプリントを使用。

その他

OHP・ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本民俗学	た に ぐ ち 谷 口 貢	国 文 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変わり、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼——出産と子育て——
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

国  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民間信仰論	た に ぐ ち 谷 口 貢	国 文 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講義団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の3冊を紹介しておきたい。

そ の 他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史概説Ⅰ	まつもと のぶみち 松 本 信 道	国文2・3・4選	4

講義のねらい	日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。
履修上の留意点	受動的でなく、主体的に学習してほしい。
成績評価の方法	前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。
教 科 書	佐々木潤之介編『概論 日本歴史』（吉川弘文館）1,900円
参 考 書 等	『史料による日本の歩み 古代編』（吉川弘文館）2,900円 青木和夫『日本古代史』（日本放送出版会）1,650円 笹山晴生『日本古代史講義』（東京大学出版会）
そ の 他	授業の方法は講義形式で進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史概説Ⅱ	さと う もと え い 佐 藤 元 英	国文2・3・4選	4

講義のねらい	幕末・近代における対外交渉史を概説する。時期区分によって歴史的発展段階の特徴を明確にすること、個々の対外交渉史上の事実に関し、歴史的な性格ならびに位置付けを確定する枠組みをつくりあげてをねらいとする。
講義の内容・ 授業スケジュール	徳川末期の対外関係・幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応・明治初年の領土問題・条約改正運動・日清日露戦争・日露戦後の日米対立・第一次大戦とシベリア出兵・ワシントン体制と幣原外交及び日中外交・満州事変と国際的孤立化・日中戦争・日米交渉・太平洋戦争などについて講義し、幕末維新期より近代の対外交渉の時期区分を試みる。
成績評価の方法	定期試験及び出席状況による。
教 科 書	佐藤元英『近代日本の外交と軍事—権益擁護と侵略の構造—』 池井優『日本外交史概説』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本文化史Ⅱ	よ し だ ま さ ひ ろ 吉 田 政 博	国 文 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本文化の歴史が社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ①日本文化史概観
- ②平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③中世文化史研究の動向
- ④中世文化の展開
- ⑤室町文化（北山・東山文化）
- ⑥禪宗と文化
- ⑦京都と大名領国の文化
- ⑧下剋上の世と文化
- ⑨桃山文化
- ⑩宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪近世文化史研究の動向
- ⑫寛永文化
- ⑬元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

国  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教概論	い け だ れ ん た ろ う 池 田 練 太 郎	国 文 2・3・4 選	4

講義のねらい

本講義は、仏教の基本的な要素である三宝（仏・法・僧）の体系にしたがって、開祖であるブツダ、その教義、それを維持し展開させた教団の順に仏教の基本的立場を概説していく。内容はインド仏教が中心になるが、中国・日本などの諸地域に広まった仏教にもふれていく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第にしたがい、最初に「仏教とは何か」について考え、その後、①ブツダの生涯、②仏の本質、③法 仏教の真理観、④一切法 法の分類、⑤輪廻と業・煩惱、⑥悟りへの道、⑦心 実践の主体、⑧修行者の理想像、⑨戒律と教団の組織、⑩仏教の歴史（インドとその周辺・中国・朝鮮・日本）の順に進めていく。

成績評価の方法

授業中に数回行う予定の小テスト、及び年度末の定期試験によって評価する。

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会刊）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋思想史	す え き や す ひ こ 末 木 恭 彦	国文2・3・4選	4

講義のねらい

初めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

書き下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教 科 書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋思想史	し ば の ひ ろ こ 柴 野 博 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

生の哲学と解釈学を中心に、19世紀から20世紀の西洋思想をみてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期はショーペンハウアーとニーチェの思想をとりあげ、後期はデイルタイとガダマーの解釈学をとりあげます。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教 科 書

久保陽一『原典による哲学の歴史』（公論社）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美術史概説	えびね としお 海老根 聡 郎	国文2・3・4選	4

講義のねらい	日本絵画史概説
講義の内容・ 授業スケジュール	法隆寺の壁画から、高橋由一まで、古代から近代までの日本絵画史の代表的な作品をとりあげ、日本絵画の流れを展望する。毎回、一点の作品をとりあげ、その背景、作家、思想などを述べる。毎回、多数のスライドを使用する。 主な作品は以下のとおり、 法隆寺壁画、応徳涅槃図、源氏物語絵巻、信貴山縁起、山水屏風、山越阿弥陀図、黙庵筆布袋図、雪舟筆天橋立図、永徳筆聚光院襖絵、等伯筆松林図屏風、宗達筆菟の細道図、光琳筆紅白梅図屏風、江漢筆富上山図、若冲筆動植絵巻、探幽筆山水図屏風、歌麿筆美人図、写楽筆大首絵など
成績評価の方法	筆記試験、出題範囲は授業中に述べたことより。
教 科 書	各種の概説書、美術全集

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演劇概論	いのうえ よしえ 井 上 理 恵	国文2・3・4選	4

講義のねらい	演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかに収斂すればいいのかについて考察する。
講義の内容・ 授業スケジュール	演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオや舞台で展開される演劇を観て、西洋と日本の文化の違いを理解し考えるつもりである。
履修上の留意点	個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Xを同時に受講されることが望ましい。 また、実際の舞台を見にいった批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。
成績評価の方法	成績評価はレポート（二回の観劇批評およびその他二回）およびテスト。
教 科 書	授業時に販売（約500～800円）「井上理恵講義ノート」（私家版）
参 考 書 等	毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）
そ の 他	講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道概論	かねこ たかよし 金子卓義	国文2・3・4選	4

講義のねらい

古今の書の作品を鑑賞し、書芸術に対する理解を深め、書に親しむ心を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

ビデオ、スライド、コピーなどを用い、なるべく視覚的な授業を行う。歴史的に重要な作品から、現代の書まで幅広く鑑賞することにより、書の流れや本質を理解してゆく。

成績評価の方法

年間10回程度の復習試問の小テストを行い、また展覧会などの鑑賞レポートを提出して採点の基とする。

教科書

高校用教科書『書道Ⅱ』（光村図書出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道史	な す たかよし 那須隆吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎しむように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社）  
日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道実習Ⅰ	かねこ たかよし 金子卓義	国文2・3・4選	4

講義のねらい

書の歴史を探りながら、古典の臨書を中心に学び、表現技術の習得と、書に対する理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

楷書、行書、漢字仮名交じりの書を学習する。主に半紙で学び、毎回提出する。用具のことは、はじめの授業で説明する。

教科書

高校用教科書『書道Ⅰ』（光村図書出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書道実習Ⅱ	<small>のむらちゆうこう</small> 野村宙弘	国文2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨・硯・筆・文鎮・下敷・半紙等の文房四宝の用意が必要。(正しい用筆法・正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教 科 書

王 羲之『蘭亭序』(清雅堂) 360円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書道実習Ⅲ	<small>なすたかよし</small> 那須隆吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隷書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

隷書、篆書の学習は、古典の臨書を中心に行ない、基礎的知識と技法を習得し、鑑賞力を養いたい。篆刻は基礎的技法を習得することと、併せてその歴史も概観し、東洋文化の粋ともいわれる、この「方寸の世界」の奥深い楽しみをさぐりたい。

履修上の留意点

文房具を愛することは、古來文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法

出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教 科 書

コピーによる。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編集実務	<small>はせがわ たかし</small> 長谷川 孝	国文2・3・4選	4

講義のねらい

編集とは、〈だれかに—何かを—伝える〉過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」(視点・視野・視角)をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の常識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えで参加してください。また授業で「取材」した(自分なりに感じ気づき考えた)ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品(B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作)と授業で書く短文(感想文)など平常の提出物によります。

教 科 書

プリントを使用します。

## Ⅱ 專 門 教 育 科 目

### 2 英 米 文 学 科



## Ⅱ. 専門教育科目

### (2) 英米文学科

作品講読 I	〈東雄一郎〉	347
作品講読 I	〈高野正夫〉	347
作品講読 I	〈佐藤真二〉	347
作品講読 I	〈河崎征俊〉	348
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	〈ピアス, D. M.〉	348
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	〈レイン, R. V.〉	349
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	〈マーティン, S. F.〉	349
作品講読 II	〈河崎征俊〉	350
作品講読 II	〈佐藤千春〉	350
作品講読 II	〈中岡洋〉	351
作品講読 II	〈東雄一郎〉	351
スピーチ・アンド・コミュニケーション II	〈ブランケン, D. L.〉	352
スピーチ・アンド・コミュニケーション II	〈リアーディ, N.〉	353
スピーチ・アンド・コミュニケーション II	〈ハバード, W. D.〉	354
英語学概論	〈佐藤真二〉	354
英語表現法	〈高野正夫〉	355
英語表現法	〈河崎征俊〉	355
英語表現法	〈佐藤千春〉	356
英語表現法	〈佐藤真二〉	356
アメリカ文学史	〈佐藤千春〉	357
イギリス文学史 I	〈河崎征俊〉	358
イギリス文学史 II	〈中岡洋〉	359
英語史	〈荒井良雄〉	360
イギリス文学特講 I	〈荒井良雄〉	361
イギリス文学特講 II	〈高野正夫〉	361
イギリス文学特講 III	〈岡崎寿一郎〉	362
イギリス文学特講 IV	〈中岡洋〉	362
イギリス文学特講 V	〈富士川義之〉	363
イギリス文学特講 VI	〈丸小哲雄〉	364
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	365
演劇演習 (イギリス・アメリカ)	〈逢見明久〉	365
アメリカ文学特講 I	〈東雄一郎〉	366
アメリカ文学特講 II	〈杉浦銀策〉	366
アメリカ文学特講 III	〈足田和人〉	367
アメリカ文学特講 IV	〈杉浦銀策〉	367
アメリカ文学特講 V	〈杉浦銀策〉	368
イギリス文学演習 I	〈富士川義之〉	368
イギリス文学演習 II	〈高野正夫〉	368
イギリス文学演習 III	〈芦澤久江〉	369
イギリス文学演習 IV	〈増田恵子〉	369
イギリス文学演習 V	〈富士川義之〉	369
アメリカ文学演習 I	〈川崎浩太郎〉	370

アメリカ文学演習Ⅱ	〈佐藤千春〉	370
アメリカ文学演習Ⅲ	〈川崎笑佳〉	371
アメリカ文学演習Ⅳ	〈古富猛〉	371
アメリカ文学演習Ⅴ	〈杉浦銀策〉	372
時事英語	〈荒井良雄〉	372
商業英語	〈町井靖〉	373
ラテン語	〈上野勝広〉	373
ギリシヤ語	〈長谷川岳男〉	374
英米文化	〈広川治〉	374
外国文学	〈杉山秀子〉	375
英米思想史	〈麻生享志〉	375
現代美術	〈矢野陽子〉	376
日本文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本文化史Ⅱ	〈吉田政博〉	376
放送英語	〈大庭直樹〉	377
英作文演習	〈東雄一郎〉	377
英作文演習	〈中岡洋〉	378
英語学演習Ⅰ	〈菅原勉〉	378
英語学演習Ⅰ	〈ピアス, D. M.〉	379
英語学演習Ⅱ	〈荒井良雄〉	379
英語学演習Ⅲ	〈町田尚子〉	380
英語学演習Ⅳ	〈休講〉	
英語学演習Ⅴ	〈ブランケン, D. L.〉	381
オーラル・イングリッシュ	〈ナトウシュ, B. A.〉	382
オーラル・イングリッシュ	〈ハバード, W. D.〉	382
オーラル・イングリッシュ	〈リアーディ, N.〉	383
オーラル・イングリッシュ	〈レイン, R. V.〉	384
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈東雄一郎〉	384
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈荒井良雄〉	385
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈河崎征俊〉	385
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈佐藤千春〉	386
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈杉浦銀策〉	386
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈高野正夫〉	387
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈中岡洋〉	387
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈佐藤真二〉	387
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈富士川義之〉	388

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品講読Ⅰ	<small>あずま</small> 東 <small>ゆういちろう</small> 雄一郎	英米文Ⅰ必	2

講義のねらい

英文の速読力を含め、読解力の養成、向上をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回、3～4人の発表者に発表してもらう。取り扱う作品はアメリカ文学の短篇小説、例えば Nathaniel Hawthorne, Edgar Allan Poe, O. Henry, F. Scott Fitzgerald, W. Faulkner, Ernest Hemingway, Bernard Malamud等の作品。前期、後期、数篇ずつ、通年で約100頁程の英文を読む。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に参加すること。

成績評価の方法

前期、後期、各1回の試験結果、小レポート数回、発表内容をもって評価する。

教 科 書

The Penguin Book of American Short Stories (英宝社ペンギン・ブックス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品講読Ⅰ	<small>たかの</small> 高 <small>まさお</small> 野 正 夫	英米文Ⅰ必	2

講義のねらい

イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教 科 書

教場にて指示します。

そ の 他

授業は演習形式で行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品講読Ⅰ	<small>さと</small> 佐 <small>しんじ</small> 藤 真 二	英米文Ⅰ必	2

講義のねらい

英米文学の様々な作品を読む事によって、作品を味わい、解釈する力を養うとともに、作品を一人で読んでいくことのできる英語力の向上を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は英米の短編小説を読む。後期では、劇を一本通読する予定。また、夏休みに、原書を一冊以上読む課題を出す。

履修上の留意点

英語力の向上には予習・復習が不可欠である。必ず予習をして授業に臨むこと。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

前期末・後期末の試験のほか、授業内の発表およびレポートで評価する。

教 科 書

テキストは開講時に指示する。

そ の 他

授業は演習形式で行う。実際の進め方については教場において指示をする。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品講読 I	かわさき まさとし 河 崎 征 俊	英米文 1 必	2

講義のねらい	Arnold Bennettの文学論を読みながら、文学一般のみならず英文学の本質を考察する。
講義の内容・ 授業スケジュール	文学の目的、古典の本質とその読み方、内容と文体の問題、及び読書法等を年間を通してできるかぎり読み進める予定。
履修上の留意点	演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。
成績評価の方法	年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。
教 科 書	英文ベネット『文学案内』（英宝社）1,500円位
参 考 書 等	授業時に指示する。
そ の 他	参考資料のプリントを時々配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・ コミュニケーション I	ピアス, D. M.	英米文 1 必	2

講義のねらい	<p>INTENSIVE ENGLISH CONVERSATION FOR PROFESSIONALS</p> <p>The members in this class are very special students; there is an important opportunity to learn to speak English fluently. This course is career-oriented. The class is to prepare you for a lifetime career as an English specialist: possibilities range over careers as English teachers, interpreters, translators, travel agents, television announcers, and international businessmen. It is presumed that, since the students of this class major in English-American literature, they plan to use English their whole lives in their work. Without the ability to speak English, no such English-related career is a real possibility. It is expected that the students who enter this class will make great efforts to improve their ability; students will have to speak English for the full ninety minutes of every period. Very intensive practice will be focused on listening comprehension, composition, conversation, grammar, and reading, so that students who complete the course can make a very good impression with their English ability in employment interviews. It is also hoped that students will use this course in preparation for foreign travel, one-month intensive English programs overseas, and one-year overseas study programs.</p>
--------	---

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	レイン, R. V.	英米文 1 必	2

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation-giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss  
title: Side by Side, Core Conversation Course -- intermediate Level  
publisher: Prentice Hall Regents

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	マーティン, S. F.	英米文 1 必	2

講義のねらい

This class is designed to allow students to access and build upon existing knowledge of the English language and culture through task-based listening and speaking activities.

講義の内容・授業スケジュール

Students are expected to engage in activities using pair work, group work, and individual speaking. The class approach is heavily biased toward psychological analysis and humanistic, values clarification-type exercises drawing on the personal lives of the students.

履修上の留意点

This is a low-pressure, no-pressure class, so I want you to enjoy playing with ideas and English.

成績評価の方法

Student Evaluation will be based on attendance, class performance, occasional homework, and occasional quizzes.

教科書

Getting By - Basic Conversations for Communication by Diane Nagatomo, Kinseido Ltd., ISBN: 4-7647-3634-9

The textbook will be used for the first half of the year, but is primarily chosen as reference material for those students who plan on travelling to an English speaking country.

参考書等

A variety of games, music, literature, and newspaper, video, and radio derived materials will be used in addition to the text.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品講読Ⅱ	かわさき まさとし 河 崎 征 俊	英 米 文 Ⅱ 必	2

講義のねらい	Virginia WoolfのTo the Lighthouseを読みながら、現代英語文学の本質を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	現代英語の小説の手法（特に女性文学者）はどのような特質をもっているのか、また、それは所謂「偉大な伝統」の流れの中でどのような位置を占めているのか、この授業ではこのような問題を中心に考えながら現代英文学の読み方を習得していく予定。
履修上の留意点	演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。
成績評価の方法	年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。
教 科 書	英文『灯台へ』（南雲堂）1,500円位
参 考 書 等	授業時に時々指示する。
そ の 他	参考資料をプリントを数回配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品講読Ⅱ	さとう ちはる 佐 藤 千 春	英 米 文 Ⅱ 必	2

講義のねらい	アメリカ文学史で扱われている作家の作品を講読するが、作家および作品は、その年度により異なるし、また扱う作家も複数の時もある。
講義の内容・授業スケジュール	作品の精読、内容の分析・解釈・他の作家の作品との比較などを織りまぜる。
履修上の留意点	あらかじめ発表部分をあておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。授業時内における発表内容、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価として扱うので注意すること。
成績評価の方法	「履修上の留意点」での留意点を考慮し、前期・後期のテストの結果で決定する。尚、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので留意しておくこと。
教 科 書	テキスト、参考書、その他注意すべきことは、授業開講時および授業内において連絡、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品講読Ⅱ	なかおか ひろし 中 岡 洋	英 米 文 ？ 必	2

講義のねらい	19世紀イギリス文学は世界に誇るべき偉大な作品を生み出した。なかでも「嵐が丘」は最高傑作の一つである。本講義ではそれを取り上げて講読する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書を一人一人の担当部分に分け、研究した成果を発表する。一年間で全部読みきる。
履修上の留意点	出席に励むこと。真面目に受講すること。
成績評価の方法	筆記試験の成果と出席率と平生の受講態度などを総合的に判断して評価する。
教 科 書	『Wuthering Heights』（金星堂刊）
参 考 書 等	その都度教場で指示する。
そ の 他	作品を読みきることに努める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品講読Ⅱ	あずま ゆういちろう 東 雄 一 郎	英 米 文 ？ 必	2

講義のねらい	アメリカ、ジャズエイジ（1920年代）に活躍したスコット・フィッツジェラルドの『偉大なギャツビー』を読みます。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、数人に発表してもらいます。
履修上の留意点	必ず、予習をして授業にのぞむこと。
成績評価の方法	授業内の発表、通年2回（前期・後期）のテスト、数回の小レポート、小テスト、出席回数（年間5回以上の欠席者は対象外）等によって、成績評価を下します。
教 科 書	テキスト、『The Great Gatsby』（英潮社ペンギン・ブックス）

英  
米  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションII	ブランケン, D. L.	英米文 2 必	2

講義のねらい

To (a) increase student aural-oral proficiency, (b) abet vocabulary mastery, and (c) promote willingness to speak English. Students will produce spoken English through memorized passages, dialogs and readings—they will record themselves in various speaking situations—and conversation with the instructor.

講義の内容・授業スケジュール

The schedule will be as follows.:

Spring Semester	Fall Semester
Week1:Vetting of student oral proficiency	Fall Semester overview
Wks 2&3:English on the Move(EOM), Unit 1	EOM, Unit 5
Wks 4&5:EOM, Unit 2	EOM, Unit 6
Wks 6&7:Outside material & activities (1)	EOM, Unit 7
Wks 8&9:EOM, Unit 3	Outside material & activities (3)
Wks10&11:EOM, Unit 4	EOM, Unit 8
Wks11&12: Outside material & activities (2)	EOM, Unit 9
Week13:Book check:makeup work	Book Check:makeup work
Week14:Final Examination	Final Examination

履修上の留意点

Two class periods will be allocated for each of the nine units in the textbook, English on the Move. Four such units will be covered in the first semester, and the remaining five in the second. The goal is to cover some five pages of the text per class period. Four weeks are reserved for both supplementary material and taping activities. This material will augment the contents of the text: it will take the form of puzzles, games, music and simple reading- and -speaking activities.

The presentation of English on the Move will proceed sequentially from unit to unit, with pauses for supplemental material as indicated above in the Schedule for the Semester. Within any given unit, however, the teaching may be entirely non-sequential.

The text provides for weekly listening and speaking activities (role playing) as a matter of course: students are obliged to prepare and perform the latter.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded according to these criteria: (1) classwork, using English on the Move:30%:(2) classwork, using supplemental materials:20%:(3) attendance and weekly speaking performance:30%;and final Examination:20%

教 科 書

Name:English on the Move  
 Authors:Baxter and Pustulka  
 Publisher:Metropolitan English Publications, 1999  
 Price:2,200円

参 考 書 等

A suitable English-English dictionary is strongly recommended, but not required:the instructor will address this issue during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	リアーディ, N.	英 米 文 ？ 必	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 2 by the end of the academic year or early in the following year:

講義の内容・  
授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people.

As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year: one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester. At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two.

This will constitute the final grade.

教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade 2. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials: tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションII	ハバード, W. D.	英 米 文 2 必	2

講義のねらい

This course is designed to help university students improve their speech and communication abilities. Various dialogues, topics, sentence patterns, and rhythm practices are used to introduce the student to new ideas and vocabulary and to improve the student's speech and communication abilities. This course can be used for vocabulary enhancement, preparation for STEP (EIKEN) level 2 or 3 tests, as well as an introduction to basic speech and communications skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

In the first semester (class periods 1-12), dialogues with new sentence patterns and vocabulary will be introduced and practiced. Then, general questions will be provided to help the students judge their comprehension of the material and familiarity with any new vocabulary and situations introduced through the dialogues. After this, general exercises will be introduced. These exercises are designed to help the students improve their intonation, stress, rhythm, and pronunciation, ability to express themselves, and comprehension in general. During the next class period, students will be asked to show their competence in using this material.

In the second semester (class periods 13-24), a more concentrated effort will be placed on improving stress, intonation, rhythm, pronunciation, and speaking ability in general. Students will give a short presentation on the material provided. Useful hints will then be given to help the students improve their ability to express themselves in an understandable way. This material is S. T. E. P (EIKEN) oriented and will help the student prepare for such tests as the EIKEN level 2 or 3.

履修上の留意点

Students will be evaluated (graded) according to their attendance, homework, class work, other assigned work, and tests (2)

教 科 書

No textbook. New text material will be handed out during each class session.

英  
米  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語学概論	さ と う し ん じ 佐 藤 真 二	英 米 文 2 必	4

講義のねらい

英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

主な講義内容は以下の通り。

- 1) What is linguistics? (言語とは何か)
- 2) Phonetics (音声学)
- 3) Phonology (音韻論)
- 4) Morphology (形態論)
- 5) Lexicology (語彙論)
- 6) Syntax (統語論)
- 7) Semantics (意味論)
- 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派)
- 9) Branches of linguistics (言語学の諸分野)

成績評価の方法

試験によって評価する。

参 考 書 等

参考文献は教場にて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語表現法	たかのまさお 高野正夫	英米文?必	4

#### 講義のねらい

いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。

#### 履修上の留意点

授業は、毎回演習形式で行うので、あつた時には十分準備をすること。

#### 成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あつた時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

#### 教科書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語表現法	かわさきまさとし 河崎征俊	英米文?必	4

#### 講義のねらい

平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。英語表現の熟達を望む人は、一般に、ややもすると日本語から英語へといった機械的かつ単純な方式を踏む傾向があるが、一方において、より優れた模範的英文に触れることも必要である。また、使用する辞書も英和辞典や和英辞典を用いるだけではなく、英英辞典を多用することも大切である。日本語から英語へと文章を変換すること自体、困難な作業であるので、できるかぎりわれわれの頭の中でイメージの拡散を起こさないようにすべきであろう。英語で英文のイメージをまとめ、英語で直接思考し、発音し、そしてライティングへと向かうべきである。そのような問題意識をもって着実な努力を重ね、多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英文の表現法を習得してほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、日常的レベルの内容の英文作成から、一歩すすんだ内容の英文作成を目標とし、テキストとプリント類を使用しながら大体1年間で終了できるような形をとっていく。

#### 履修上の留意点

すべて演習形式をとるので、予習・復習を必須とする。従って、出席を重視し、積極的で意欲的な授業への参加が求められる。

#### 成績評価の方法

年2回の筆記試験および平常時の授業態度・出席状況などをもとにして、総合的な角度から評価する。

#### 教科書

中内正夫『新実用英作文』（南雲堂）1,300円位

#### 参考書等

授業の進行に合わせて紹介する予定。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語表現法	佐 藤 千 春	英 米 文 ? 必	4

講義のねらい

この授業で扱う英文はすべて日常会話のものばかりである。いわゆる書き言葉なるものは一つとしてない。口語英作文と考えてもらえばよい。初めに基本となる表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程の短い文を与え、基本が身についているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し英語訳を行う。この授業で扱う表現はすべて実際の会話に役立つものばかりである。できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現ができるようになること、これが授業のねらいと目的である。

講義の内容・授業スケジュール

下記にあげるテキストのPart2より始める。それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expressionsの説明、及びテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明して行く。この後はすべて学生諸君に一つずつ質問に答えてもらう。Writing Practice はあらかじめあておくので準備をし、板書をしてもらう。

履修上の留意点

授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。

成績評価の方法

毎回あてるQuiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。

教科書

『The Road from Writing to Speaking』  
『コミュニケーションのための口語英作文』(成美堂)

参考書等

授業内にて紹介して行く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語表現法	佐 藤 真 二	英 米 文 ? 必	4

講義のねらい

一年次で養った英語力を基礎として、英語による表現力の一層の向上を目的とする。具体的には、手紙や日記ほどの長さの、自分の考えや感じ方を表現するエッセイが容易に書くことのできる力をつけることを目指す。文字による表現のみならず、声による表現力も取り入れる。

講義の内容・授業スケジュール

様々なテーマで、自由英作文を多く行う。主な項目は以下の通り。  
1) Writing about Yourself  
2) Friendly letters, Formal Letters  
3) Telling a story  
4) Movie Review  
5) Tourist Pamphlet  
6) Speech

履修上の留意点

英語の表現力を養うためには、実際に表現する作業を数多く行うことが大切である。毎回与えられる課題を確実にこなし、予習したうえで授業に望むこと。欠席を慎むことは言うまでもない。

成績評価の方法

毎回の課題が大きな比重を占める。

教科書

『Words In Motion』(Oxford)

英  
米  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学史	さとうちはる 佐藤千春	英米文2・3選必	4

#### 講義のねらい

一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点をしぼり、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。

#### 履修上の留意点

講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。

#### 成績評価の方法

毎回ではないが出席をとる。場合によってはレポートの課題も与え、期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。

#### 教 科 書

西田実『アメリカ文学史』（成美堂）

#### 参 考 書 等

講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学史Ⅰ	かわさき まさとし 河 崎 征 俊	英米文2・3選必	4

講義のねらい

18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮および主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は次のような順序で行う。

- (1) アングロ・サクソン文学以前のイギリス
- (2) アングロ・サクソン文学の内容と特質
- (3) 中世後期の文学の内容と特質
- (4) チョーサー文学
- (5) ルネッサンス前期の文学の内容と特質
- (6) ルネッサンス後期の文学の内容と特質
- (7) シェイクスピア文学
- (8) 17世紀前半の文学の内容と特質
- (9) ジョン・ダン文学
- (10) 清教徒革命期の文学の内容と特質
- (11) ジョン・ミルトン文学
- (12) 17世紀後半の文学の内容と特質
- (13) 新古典主義文学
- (14) 18世紀前半の文学の内容と特質
- (15) アレキサンダー・ポープ文学
- (16) 市民社会と小説の隆盛
- (17) 18世紀後半の文学の内容と特質
- (18) ロマン主義文学への曙光

履修上の留意点

最近遅刻が増えているので、遅刻しないよう努めること。出席を取る予定であるが、ただ授業に出席するだけでなく、授業内容をしっかりとノートにとり、テキストや他の参考書を正確に読んでいただきたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）、1月の定期試験、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

教 科 書

教科書：『英米文学史概要』（成美堂）2,500円

参考書については、授業の進行に合わせてながら随時教場にて指示する予定。

そ の 他

参考資料を時々配布する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学史Ⅱ	なか おか 中 岡 洋	英米文2・3選必	4

#### 講義のねらい

ロマン主義文学以降のイギリス文学の歴史をたどり、時代や社会の価値観を知って、歴史的感覚を養うとともに、教養を深め、資質を向上させることをねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ロマン主義の台頭から現代まで、約250年間イギリスの文学がたどってきた歴史を跡づけ、歴史のうねりを広範囲に取り扱う。それは社会そのものの動きであり、変化である。文学は時代・社会の反映であり、人間は時代の子であらざるを得ず、文学がその如実な表現であることを知ることになる。

具体的にはロマン主義の黎明期から取り扱う。まずRomantic Revivalといわれる所以を説明し、それがさらに大きな歴史のうねりの一部であることを理解し、William Wordsworth (1770-1850)をはじめとする湖畔派詩人から、George Gordon Byron (1788-1824)らのきらびやかなイギリス詩人たちについて語る。またいかにしてRealism小説が生まれてきたかを、小説の発生からJane Austen (1775-1817)へ、さらにロマンティックな趣をたたえる小説の歴史をSir Walter Scott (1771-1832)からCharlotte Bronte (1816-55)らの姉妹へと語っていく。ヴィクトリア朝作家・詩人としてCharles Dickens (1812-70)、William Makepeace Thackeray (1811-63)、Alfred Lord Tennyson (1809-92)、Robert Browning (1812-89)らの巨匠たちを調べた後は、George Eliot (1819-80)の近代小説の始まりについて語り、ラファエロ前派から象徴主義へ移り、世紀末のOscar Wilde (1854-1900)の唯美主義について語り継ぐ。Wildeは小説、童話、戯曲、エッセイを書き、世紀末の文学を代表する。William Butler Yeats (1865-1939)、Lady Isabella Augusta Gregory (1852-1932)、John Millington Synge (1871-1909)、Sean O'Casey (1880-1964)らのIrish Renaissanceが起り、イギリスの美意識はよりゆたかになった。またThomas Hardy (1840-1928)、Henry James (1843-1916)らの小説は世紀末を越えて、20世紀文学に引き継がれ、Joseph Conrad (1857-1924)、Herbert George Wells (1866-1946)、John Galsworthy (1867-1933)、Arnold Bennett (1867-1931)、Edward Morgan Forster (1879-1970)の小説の展開を述べ、やがてJames Joyce (1882-1941)、Virginia Woolf (1882-1941)、David Herbert Lawrence (1885-1930)らの「意識の流れ」小説に繋ぐ。詩歌の面ではGeorgian Poets、Imagistsらの登場、Thomas Stearns Eliot (1888-1965)の詩的革命について語る。二度の大戦と絡みながらAuden Groupの活躍、演劇の面では一大金字塔George Bernard Shaw (1856-1950)の出現と、それに続く傑出した多くの劇作家について語り、社会問題意識を明らかにする。時代の先端を走り、戦争の苦しい時代を生きのびたイギリス文学は着々とその富を蓄え、Aldus Huxley (1894-1963)、George Orwell (1903-1950)、Graham Greene (1904-91)、Edith Sitwell (1887-1964)、Dylan Thomas (1914-1953)、John Boynton Priestley (1894-1984)らの文人について語る。第2次世界大戦後の「怒れる若者たち」(Angry Young Men)は時代の歪みに対して激しく抵抗し、Kingsley Amis (1922-95)のLucky Jim (1954)、John Osborne (1929-94)のLook Back in Anger (1956)は戦後の価値観の変化を実感的に写し取り、当時の社会を代表した。その後こうした伝統と変化はPhilip Larkin (1922-85)、John Wain (1925-94)、Ted Hughes (1930- ), Seamus Heaney (1939- )らを生み出した。次にMuriel Spark (1918- ), Doris Lessing (1919- ), Iris Murdoch (1919- ), Edna O'Brien (1932- ), Margaret Drabble (1939- ), Susan Hill (1942- )らの女性作家、William Golding (1911-93)、Lawrence Durrell (1912- ), Anthony Burgess (1917-93)らの新風と、Samuel Beckett (1906-89)、Harold Pinter (1930- ), Arnold Wesker (1932- )の新しい劇について講ずる。

#### 英米文

#### 履修上の留意点

受講学生は出席に励み、まじめに受講し、知識が知恵となるよう真剣に勉強してほしい。

#### 成績評価の方法

出席回数、受講態度、授業への積極的参加、および各種レポートや学年末における試験によって習熟度を測り、評価する。決して試験の結果のみにて判定することはない。

#### 教科書

『イギリス文学史』(大阪教育図書)2,500円

#### 参考書等

イギリス文学史については各種の参考書があり、枚挙にいとまがない。従って教場で適宜指摘するので、聞きもらさないよう注意すること。それぞれの作品についても同様であるのでその都度必要な書物は読むように心がけること。

#### その他

授業は発表形式でおこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語史	あらいよしお 荒井良雄	英米文3必	4

#### 講義のねらい

世界の人々をつなぐコミュニケーションの手段としての英語は、万国共通の国際語として、その地位を実質的に確立している。したがって、国際社会で活躍するためには、英語の運用能力に堪能になる必要があって、その基礎として、英語史の正確な知識は不可欠である。この講義では、今や世界語になりつつある英語の生成発展過程や、語彙と構造と発音の歴史的变化を、文化史、文学史、社会史などを背景にすえて明らかにし、国際交流に役立てる英語の実力養成の一助としたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

英語の語形、音韻、語彙、辞書などの歴史を、Old English, Middle English, Early Modern English, English Around the World に大別し、戯曲、詩歌、演説、小説、随筆、日記、手紙などを材料にして考察する。主な講義内容は下記の通り。

1. From Runes to Printing
2. Old English (Beowulf)
3. Middle English (Geoffrey Chaucer)
4. Shakespeare's English
5. The Authorized Version
6. Dr. Johnson's Dictionary
7. The Older Scottish Tongue
8. The Language of Old Ireland
9. Noah Webster's Dictionary
10. Cockney
11. British and American English
12. English around the World

#### 履修上の留意点

The Oxford English Dictionary (O. E. D. )をはじめ、Webster's Third International Dictionaryほか、多くの英語辞書や参考書を駆使して、英語史や英語学や音声学の世界へ、少しでも深く踏み込むための興味を喚起し、基礎を養いたい。

#### 成績評価の方法

前期の最終講義と学年末の2回の試験の結果で評価する。

#### 教 科 書

Gary Buck著、The History of the English Language in Simplified English. (英潮社) 1,300円

#### 参 考 書 等

Heiner Gillmeister著、小野茂訳『英語史の基礎知識』[SERVICE] (開文社出版) 1,200円  
 Gerry Knowles著、小野茂・小野恭子訳『文化史的にみた英語史』(A Cultural History of English Language) (開文社) 2,000円  
 David Crystal著、久保内端郎・山縣宏光・馬場彰・編注『クリスタル：英語史入門 (The History of English)』(金星堂) 2,700円  
 R. W. バーチフィールド著、加藤知己訳『オックスフォード英語史概論』(オックスフォード大学出版局) 2,800円  
 ロバート・マクラム他著／岩崎春雄他訳『英語物語 (The Story of English)』(文芸春秋)  
 R. McCrum他著、『The Story of English』[Special Complete Edition] (マクミラン・ランゲージハウス) 1,650円

#### そ の 他

例文の朗読に英米の専門家や俳優の録音テープを、必要に応じて使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	あ ら い よ し お 荒 井 良 雄	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

シェイクスピアの全作品を中心に、エリザベス朝演劇をとりあげて、イギリス演劇の特色と思想的文化的背景を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

ギリシャ・ローマ演劇やシェイクスピア以前の聖書劇や道徳劇にふれたのち、シェイクスピアの史劇、喜劇、悲劇、悲喜劇と、クリストファー・マーロウやベン・ジョンソンなどの劇をとりあげる。

履修上の留意点

イギリス演劇史の中で最も活気に満ちたルネッサンス時代の演劇を考察するので、イギリス史や演劇史の参考書を読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

夏休みのレポートと冬休み前の試験で評価する。

教科書

野町仁・荒井良雄著『イギリス文学案内』（朝日出版社）

参考書等

小田島雄志訳『シェイクスピア全集』（白水社）（全37巻各冊600円から800円）  
高橋康也・他編『シェイクスピア事典』（研究社）14,000円（図書館で利用できる。）

その他

演劇の講義なので、作品理解の補助手段として、イギリス演劇の映画化作品やテレビ→映画化作品、そして日本での翻訳上演などを見ることをすすめる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	た か の ま さ お 高 野 正 夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	お か ぎ き と し い ち ろ う 岡 崎 寿 一 郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教 科 書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参 考 書 等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	な か お か ひ ろ し 中 岡 洋	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっているプロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的にはCharlotte Bronte (1816 - 55) のJane Eyre (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教 科 書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参 考 書 等

教場で適宜指示する。

そ の 他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ よしゆき 富士川 義之	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

適宜指定する。

そ の 他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講VI	丸 小 哲 雄	英米文2・3・4選	4

#### 講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存し対峙していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自立していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしていきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の折り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題となってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

#### 成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

#### 教科書

- ・Elements of fiction by R.Scholes（英宝社）
- ・プリント使用；プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

#### 参考書等

- ・『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
- ・『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちあい かずあき 落 合 和 昭	英米文2・3・4選	4

#### 講義のねらい

主として、20世紀アメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼らの劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカ劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀アイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般的には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義の中で、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主な劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Engene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915- ), Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928- ), Sam Shepard (1943- ), David Mamet (1947- ), アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930- )等である。

#### 履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

#### 成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2000字から4000字）とする。出席率が3分の2以上を超えなければ、成績は不可とする。

#### 教科書

- 1) 『The New Penguin Dictionary of Theatre』 (洋書) ペンギン
- 2) プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演劇演習 (イギリス・アメリカ)	お う み あ き ひ さ 逢 見 明 久	英米文2・3・4選	4

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期はウィリアム・インジ (William Inge) の『階段の上の暗闇』(The Dark at the Top of the Stairs) と Harold Pinter の『月明り』(Moonlight) を、後期はユージーン・オニール (Eugene O'Neill) の『夜への長い旅路』(Long Day's Journey into Night) を扱う予定。『夜への長い旅路』に関しては、原作を踏まえた上で映画版の演出の解釈も視野に入れる。

#### 履修上の留意点

戯曲は読むだけでは十分ではありません。戯曲は上演を前提にしています。演出家が役者と共に、如何にして作品を観客の前で芝居として成立させ得るか、その具体的な演出プランを模索し創り上げて行かなければなりません。登場人物の数だけ違った視点で作品を見つめる必要があります。そうしたすべての視点を踏まえて、ようやく劇作家の視点に近づくことが出来るのです。受講者は毎回それぞれ具体的演出プランを用意し、それを発表し、それを巡って全員で討論することになります。これは作品に対する誤解や読み違いを解消するために大切な手続きです。その結果として導き出された解釈を、作品毎にレポートとして提出しなければなりません。毎回出席する覚悟がない場合は履修をご遠慮ください。

#### 成績評価の方法

毎回の発言内容と姿勢、およびレポートで総合的に判断します。

#### 教科書

購入方法は、洋書売り場のある書店（紀伊屋書店など）で直接買い求めることもできますが、最近ではインターネット上の書店 (amazon.co.jp) に注文することも可能です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	<small>あづま</small> 東 雄一郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を採り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教 科 書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参 考 書 等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅱ	<small>すぎうら</small> 杉 浦 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカの歴史と文学に大きな影を落としているものは、人種問題である。したがってこの講義では「アメリカ文学における黒人像」と題して、主として小説の分野で黒人がどのように描かれてきたかについて検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- a) アメリカの歴史における黒人奴隷制の成立。
- b) ヴァージニア州に起こったNat Turnerの反乱（1831）を頂点とする一連の黒人奴隷の暴動。
- c) 黒人奴隷の反乱をもたらしした波紋を中心にEdgar Allan Poe, The Narrative of Arthur Gordon Pym (1838), Herman Melville, "Benito Cereno," (1855), Arna Bontemps, Black Thunder (1936), William Styron, The Confessions of Nat Turner (1967) 等について。
- c) 黒人奴隷解放の文学的原動力となったMrs. Stowe, Uncle Tom's Cabin (1852) について。
- d) Mark Twain, Adventures of Huckleberry Finn (1884; 1885) およびThe Tragedy of Pudd'nhead Wilson (1894) における黒人像
- e) William Faulknerにおけるアメリカ深南部の黒人問題。
- f) 黒人文学をはじめて文学史の主流近くまで高めたRichard Wright, Native Son (1940)
- h) Toni Morrisonを中心とした現代黒人女流作家。

成績評価の方法

出席および試験。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

教場にて紹介する。

そ の 他

授業方法は講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	<sup>あしだ かずひと</sup> 足 田 和 人	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の文学に共通した特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを、読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席点とし、前期・後期2回のレポートを課す。

教 科 書

プリントを配布。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅳ	<sup>すぎうら ぎんさく</sup> 杉 浦 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ文学における批評。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ文学史におけるピューリタニズム、ロマン主義、リアリズム、自然主義、モダニズム、ポストモダニズム等の概念について西欧文学との対比において講義を行い、同時にニュー・クリティシズムおよびデコンストラクションについても解説する。

成績評価の方法

成績評価の方法は出席と試験。

教 科 書

教科書はなし。必要に応じてプリント配布。

参 考 書 等

教場にて指定する。

そ の 他

授業の方法は講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅴ	すぎうら ぎんさく 杉 浦 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ文学における古典的名作を歴史的に順を追って解説することによって受講者諸君に文学史的潮流を把握してもらうのが狙い。

講義の内容・  
授業スケジュール

取り上げる作家はNathaniel Hawthorne, Herman Melville, Henry James, Stephen Crane, Theodore Dreiser, Ernest Hemingway, Bernard Malamad, Thomas Pynchon等々。

履修上の留意点

受講者は翻訳で作品を読んでおくことが望まれる。

成績評価の方法

出席および試験。

教 科 書

原文引用のコピーを配布。

参 考 書 等

教場で紹介する。

そ の 他

授業方法は講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅰ	ふじかわ よしゆき 富 士 川 義 之	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの現代作家の短篇小説を読みながら文章を正確に読みとる訓練をしたい。いずれも粒よりの短篇ばかりで、内容面でも読みごたえがあり、おそらく語学的にも相当骨の折れることがあるかもしれない。だが、たとえ少々歯ごたえがあっても投げ出さないで、辞書と知性と想像力を十分に活用して積極的に読解に挑んでほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

精読が中心になるが、作家と作品などについて折りにふれて説明する。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験と出席回数を総合的に判断して評価する。

教 科 書

富士川義之・松村伸一編 The Prophet's Hair and Other Stories (英宝社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅱ	たかの まさお 高 野 正 夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

18世紀の英詩においては主に二つの流れがあった。ひとつは、ポープやジョンソンなどの古典主義の伝統を受け継いだAugustan Ageの詩人たちであり、もうひとつは、このような古典主義から脱して、人間的感情を回復しようとした、いわばRomanticismへの移行期の詩人とも言える、グレイ、クーパー、コリンズなどの非伝統的詩人たちである。このまったく対照的な詩を生み出した18世紀の詩人の作品を中心に読む予定です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のレポートや後期の試験だけでなく、授業中の発表や出席状況により評価する。

教 科 書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅲ	あしざわ ひさえ 芦 澤 久 江	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリス・ロマン派の詩歌を鑑賞し、その特徴をとらえるとともに高い教養を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

ロマン派の代表的な詩人を年代順に取り上げ、それぞれの詩を鑑賞する。

履修上の留意点

予習をしてくること。

成績評価の方法

出席状況、前期の朗読のテスト、後期のレポートによって判断する。

教 科 書

『イギリス文学詩選』（聞文社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅳ	ますだ けいこ 増 田 恵 子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

19世紀イギリスの散文作品を読みながら、当時の文体や表現方法に親しみ、時代の精神性や風潮を体感する。さらに精読を通して、学生が自主的に作品の分析的研究をおこない、その特徴などを議論し合い、独自の「読み」に到達することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

単語をきちんと調べたうえで、音読と独自の訳をせよ。また作家や作品、時代背景についても予習し、自分の意見を発表できるようにしておくことが望ましい。

履修上の留意点

授業は徹底した「演習形式」をとるので、発表者以外の者も綿密なテキストの予習と積極的な参加姿勢が必要である。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期レポートを総合的に判断して評価する。

教 科 書

Elizabeth Gaskell, The Life of Charlotte Bronte (Penguin Classics)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅴ	ふじかわ よしゆき 富 士 川 義 之	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

20世紀英米詩の中から、その最も代表的なものを厳選して読む予定。比較的やさしい詩を中心にできるだけイギリス現代詩に親しんでもらうことを目標とする。伝記的な事実や文化的背景についてもふれる20世紀イギリス詩入門風な授業になるだろう。

講義の内容・  
授業スケジュール

精読が中心になるが、きちんと予習し、自分の意見や感想を発表できるようにしてほしい。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験と出席回数を総合的に判断して評価する。

教 科 書

Ted Hughes: Poetry in the Making (南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学演習Ⅰ	かわさき こうたろう 川 崎 浩 太 郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

詩作品の精読を通して、アメリカ詩の全体的な流れを把握すること、および、特定の作家、作品について論じる能力の向上を目標とする。また、詩とは何かについてクラス全体で考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ詩を毎時間ごとに二編ほど選んで、2～3人のグループで発表してもらう。発表者にはまず、作家についての説明、その作品が書かれた時代背景等を説明してもらった上で、作品の音読と自分なりの訳をし、いくつかの問題点をあげてもらう。その問題についてクラスで話し合っていく。作品は、ピューリタンの詩から、ポストモダンの詩まで、時代順に扱って行くつもりである。授業中に読んだ作品から一編を選び400字詰め原稿用紙5枚ほどのレポートを前期と後期の最後に提出してもらう。

履修上の留意点

アメリカ文学のおおよその流れを把握していることが望ましい。

成績評価の方法

年2回のレポートと、授業中の発表をもとに評価する。

教科書

こちらでプリントを用意する。

参考書等

新倉俊一著『アメリカ詩入門』（研究社出版）2,200円  
『アメリカ名詩選』（岩波文庫）670円

その他

授業は基本的に、議論を中心に進めて行くつもりなので、活発な発言を期待している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学演習Ⅱ	さと う ち は る 佐 藤 千 春	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

すぐれた文学作品にふれ、作家、登場人物の心の動きを知りながら読解力を高めたい。

講義の内容・授業スケジュール

作品の精読、内容の分析に重点をおく。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

授業内での発表、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価となるので注意すること。前期・後期のテストの結果など、全体を考慮して評価をつける。

教科書

『イーサン・フロウム』研究社小英文叢書（研究社）1,700円

参考書等

授業内において指示します。

その他

主人公イーサン・フロウムはニュー・イングランドの不毛な土地の農場で赤貧にあえぎながら働いている。彼は、母の病気の世話をしに来てくれた従妹のジーナと結婚するが、彼女も病気がちで暗い性格をしている。数年後、さらにジーナの従妹のマティーが手伝いに来てくれる。彼女とイーサンは、互いに愛し合うようになる。だが2人の恋は許されるはずもなく、運命の糸にあやつられるがごとく「死」という安らぎを求めようとするが……。ニュー・イングランドの寒村を舞台にくりひろげられるすさまじいばかりの愛憎の世界—味わって読んでいただきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学演習Ⅲ	かわさき えみか 川 崎 笑 佳	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

J. D. Salingerの作品をいくつか講読し、それぞれの作品を通して作家の思想や作風、時代精神等を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回数名の学生に作品を音読、和訳してもらおう。その際、重要と思われる箇所や疑問点等について発表してもらい、それらについて全員で考えていく。又、毎回数名の学生に発表してもらおう。

履修上の留意点

単語の意味等を辞書で確認するのは勿論、内容を吟味して授業に臨むこと。

成績評価の方法

積極的な授業態度が必須である。出席と授業中の発言、小レポートをもとに評価する。

教 科 書

『The Laughing Man and Other Short Stories』(南雲堂) 1,400円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学演習Ⅳ	ことみ たけし 古 富 猛	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ここ2・3年、主にフォークナーについて授業を行ってきたが、私はかねがねアメリカが背負っている歴史的事実、それが持っている重大性を考え直してみたいと思っていた。つまり、時代的必然性を強調して、その正当化を計ってきたアメリカ・インディアンの問題である。ネイティブという表現に固執するとエスキモーも入れなければならないので、ここではインディアンと呼ぶせてもらいたい。

その悲劇性はあまりにも深く、良心的アングロ・サクソンも告発するのをたじろがざるを得ない。そのために事実がねじまげられ、インディアンは野蛮で、文明的ヨーロッパ人が成敗してやったのだという説が、60年代くらいまでまんえんしていた。70年代から主にハリウッドにより野蛮なのは白人側もそうであったという考えが登場し、それまで封印されていた事実がメスを入れる動きが出てきた。そのことは映画のみでなく、当然文学の世界でも必要ではないかと思われる。

日本では資料が少なく大変であるが、その問題を念頭にフォークナーばかりでなく、他の作家がいかに関わったか考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の問題に触れている作家の作品を発表形式で進めてゆきたい。

履修上の留意点

日頃より、我々の生活の中にいかにマイノリティ文化への回帰、あこがれ、またそれに癒しを求めているか注意してもらいたい。

成績評価の方法

主に発表により評価したいが、適宜ペーパーテスト・レポート等も加味する。

教 科 書

『Three Famous Short Stories』 by William Faulkner VINTAGE BOOKS (1,300円)  
(プリントを併用します。)



科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習Ⅴ	すぎうら ぎんさく 杉 浦 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アルメニア系移民を両親として生まれた現代アメリカ作家William Saroyan の代表作 My Name Is Aram (1940) を読む。この自伝的短編集に描かれる無垢な少年の世界と心理における抒情とユーモアを味読したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

辞書の引き方の訓練を兼ねた英語読みが中心となる。

履修上の留意点

出席を重んじる。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点と試験。

教科書

教科書はWilliam Saroyan 『My Name Is Aram』(南雲堂) 1,900円

参考書等

翻訳としては三浦朱門訳『我が名はアラム』(福武文庫)がある。

その他

授業は演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	あらい よしお 荒 井 良 雄	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスでは、Newspaper EnglishとRadio Englishを中心に、Current Englishを学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

英字新聞、ラジオの英語、映画やテレビの英語、雑誌の英語を使って、Current Englishと英米文化の背景を研究をし、刻々と変る世界情勢を理解し、国際的視野を広げる事を目標とする。

履修上の留意点

その日のラジオの英語や英字新聞の英語を主として扱うので、各自が自習するとともに、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎時間の小テストと、夏休み前と冬休み前の2回のテストで評価する。

教科書

International Herald Tribune 新聞や駅の売店で発売 (150円)

参考書等

各種の時事英語辞典。

その他

テープを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業英語	ま ち い やすし 町 井 靖	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門的用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教 科 書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参 考 書 等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ラテン語	う え の か つ ひ ろ 上 野 勝 広	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、基礎文法の重点を順次概説します。その後、理解確認の練習問題に取り組みます。

履修上の留意点

練習問題については、常に指名されての解答が求められます。受身でなく、自ら学ぶ姿勢をもって授業に臨んでください。

成績評価の方法

年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。

教 科 書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書がある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をとまなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいのので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教 科 書

田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994

参 考 書 等

参考となる資料は随時、配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英米文化	ひろかわ おさむ 広 川 治	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

主に映画、演劇を通して英米の文化の諸相を学ぶ。可能な限り多くの映画や演劇をレポートを通じて見て視野を広げてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目を講義内容の予定とするが、受講者の知識や興味、あるいは上映になる映画や上演される舞台など、東京で見ることのできる様々な英米関連のイベントや作品に応じて、講義内容は追加、変更していく。

- ・イギリス王室の歴史と映画
- ・アメリカ大統領の映画
- ・映画に見る英米の主要都市、地域文化
- ・Shakespeare劇の上演と映画化
- ・ロンドン、ブロードウェイの現代演劇、ミュージカル
- ・英米のロック、ポップスのアーティスト
- ・英米文化の背景として重要な聖書とギリシア神話、およびそれらの映画化
- ・'99年度アカデミー賞受賞式
- ・20世紀の名作・名監督・名優を振り返る

履修上の留意点

初回の授業でレポートの課題や提出の方法、成績等について説明するので必ず出席すること。4月の授業内で必ず履修の許可を得た上、登録すること。

成績評価の方法

レポートを中心に評価する。詳細は授業内にて説明する。

教 科 書

プリント配布の予定

参 考 書 等

授業内に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外国文学	すぎやま ひでこ 杉 山 秀 子	英米文2・3・4選	4

#### 講義のねらい

19世紀ロシア文学のハイライトであるドストエーフスキイ、トルストイや、20世紀初頭のチェホフ等の短編、長編をとりあげてロシア文学のもつ特異性について考案する。またソヴェート時代のスターリンの『無葛藤性理論』に対するブルガーコフ等の人間の葛藤を赤裸々に描いた作品にも光をあて、ポスト、ソヴェート文学の新しい傾向を探って行きたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は単なる文学講義で終わらせずに、具体的作品やビデオをとりあげ、テーマによっては討論形式をとり入れてやりたい。

#### 成績評価の方法

記述式テスト、レポート提出で総合点を出す。

#### 教科書

なし。場合によってはプリント無料配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英米思想史	あさお たかし 麻 生 享 志	英米文2・3・4選	4

#### 講義のねらい

英米の思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、より深い専門的な読書に向かうために、きっかけや興味を持ち、基本的な能力を得ることを目標とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、哲学だけに偏らないようにする方針です。例えばエマーソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。また時代的には、中世から1950年頃までを予定します。

#### 履修上の留意点

聴講者全員に、2週目の講義（初回）において、英米（広く英語圏で可）の思想関係の著述家の内から、関心のある人を一名（ないしそれ以上）あげ、その思想内容について論じてもらいますので、そのための準備（出来るだけ早期から）しておいて下さい。後半に演習形式を採った場合に、積極的に取り組む意欲のある学生を希望します。

#### 成績評価の方法

単位取得の必須条件は、夏休み前最終授業への出席と、レポートの提出です。そして、平常点（出席・授業時間内に書いた文章）と、年度末のレポートにて評価します。また、講義途中に発表を行った場合などにレポートの免除をすることがあります。

#### 教科書

教科書はありません。

#### 参考書等

参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。

#### その他

前半は、哲学史に思想史の方法論を加味した講義を行います。後半では、希望者による発表を中心とした演習形式を採りますが、希望人数が少なければその分は講義とします。（発表者予定は、夏休み前の最終授業において決定します。）

初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代美術	矢野陽子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げる。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきた。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているかも考察して行く。

講義の内容・授業スケジュール

現代美術を理解するにあたって、まず19世紀後半の美術を簡潔に概観する。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィズムとキュビズムを中心に話をする。色彩の使い方を大きく変えたフォーヴィズムと形態を問題にしたキュビズムとがその後の美術運動に与えた多大な影響を追っていく。後期はシュルレアリスムから抽象美術、ポップアート、近年の動向を紹介する。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験を合わせて評価する予定。

教科書

講義時にプリントを配布する。

参考書等

美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円 そのほか授業中適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本文化史Ⅱ	吉田政博	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていたことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ①日本文化史概観
- ②平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③中世文化史研究の動向
- ④中世文化の展開
- ⑤室町文化（北山・東山文化）
- ⑥禅宗と文化
- ⑦京都と大名領国の文化
- ⑧下廻上の世と文化
- ⑨桃山文化
- ⑩宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪近世文化史研究の動向
- ⑫寛永文化
- ⑬元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの”しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれるものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放送英語	おおば な おき 大 庭 直 樹	英米文3・4選	4

講義のねらい

このクラスでは、前半でコンピューターの基本的な使い方を習得する。後半は、マルチメディアによる英語を学ぶ。それに加えて、英語の映画を一本観ることにする。

講義の内容・授業スケジュール

前半における第一の課題は、インターネットから流れてくる最新の報道から、「放送英語」を学ぶことである。世界中の最新の報道 (CNN, New York Times) をコンピューターでアクセスする。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく (例えば、ニュース・サイト Patherfinder (<http://pathfinder.com/>) にある Time誌, アメリカの日刊紙 USA Today, New York Times, あるいは エンターテイメント・サイト (<http://www.imdb.com/>) にある映画のデータベース, そして CNN ニュースなど)。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。受講生は、欲しい情報をリアルタイムで直接手に入れ、それをサーバーの自分のフォルダに入れて、情報内容を要約する訓練をする。

後半の課題は、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。そして、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。また、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピューターを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが第一条件である。

履修上の留意点

受講生は、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEIC の問題に挑むことができる。教室では、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用する。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のドキュメントを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

英米文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英作文演習	あずま ゆういちろう 東 雄 一 郎	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語の基礎力と強化し、自己の感情、思考、意見を自由に表現、伝達できる力を養成します。

講義の内容・授業スケジュール

日本語を英語に単に移し換えるのではなく、伝達したい内容を英語で表現できるような訓練を積み重ねて行きます。英字新聞のコラム、ニュース、批評、エッセイ等のプリントを参考に、有益なイデオム、フレーズ、表現を覚え、それらを実用的に活用できるようにします。

履修上の留意点

必ず予習をして授業にのぞむこと。英和辞典を毎回、持参すること。年間、5回以上の欠席者は評価対象外とします。

成績評価の方法

通年2回のテスト、数回の小レポート、毎回の授業で行う小テスト、出席回数をもって総合的に下します。

教 科 書

テキストはプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英作文演習	なかおか ひろし 中 岡 洋	英米文3・4選	4

講義のねらい	何をどう表現すればよいか、英語表現の形を習得するのがねらい。自分のなかの思想感情を自然な形の英語で表してみよう。
講義の内容・授業スケジュール	具体的にはテキストに従って問題をこなしていく。
履修上の留意点	出席に励むこと。必ず予習すること。自分の割り当てだけやって、他のことは知らないという態度は許さない。
成績評価の方法	出席回数と試験の成果と受講態度によって評価する。
教科書	未定
参考書等	その都度教場で指示する。
その他	特に試験だけを重視して成績評価をするわけではない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語学演習Ⅰ	すがわら つとむ 菅 原 勉	英米文3・4選	4

講義のねらい	全ての言語は音声、意味、文法から成り立つ。当授業では音声学と音韻論の立場から英語の音声について分析解明し、言語研究の基礎知識の習得とその活用に努める。前期は音声学と音韻論の基礎について、後期は英語音声の多様性についてテキストを使用して考察して行く
講義の内容・授業スケジュール	<p>①前期授業内容及び使用テキスト紹介と各履修者担当部分決定</p> <p>②1回の授業につき1章の割合で進める</p> <p>③前期の主たる内容は以下の通り</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. English Phonetics: Consonants and Vowels</li> <li>2. Phonemic Principle and English Phonemes</li> <li>3. Syllable Structure, Word Stress, Rhythm, and Intonation of English</li> <li>4. Variation in English Accents</li> </ol> <p>④後期の授業形態、進め方等は前記に準ずる</p> <p>⑤後期の主たる内容は以下の通り</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Language Variety in England</li> <li>2. The Pronunciation of Traditional Dialects and Modern Dialects</li> <li>3. The Grammar of English Dialects</li> </ol>
履修上の留意点	授業に積極的に参加し、自分の責任を確実に果たす
成績評価の方法	<p>次の①～③を目安とする</p> <p>①学期末試験 (60点)</p> <p>②平常時における発表状況 (発表要旨作成を含む) (20点)</p> <p>③レポートの提出とその内容評価 (20点)</p>
教科書	(前期) Philip Carr, English Phonetics and Phonology, An Introduction, Blackwell, 1999 (後期) Peter Trudgill, THE DIALECT OF ENGLAND, 2nd edition, Blackwell, 1999
参考書等	授業中の中で紹介する
その他	<p>①ゼミ方式を採用</p> <p>②発表者は責任を持って割り当てられた部分の発表要旨 (レジュメ summary) を作成し、他の出席者全員に配布し、それに基づいて担当部分の解説を行う</p>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語学演習Ⅰ	ピアス, D. M.	英米文3・4選	4

講義のねらい

ADVANCED ENGLISH CONVERSATION

Students who have some ability in speaking English will enjoy this opportunity to achieve greater conversational fluency. The course will continue with learning advanced conversation patterns as had been initiated in the previous course, Elementary English Conversation. Careful attention will be given to mastering the conversation patterns for all everyday situations. The course will proceed to give instruction in how to carry on "intelligent" conversations, in which people communicate their thoughts and feelings about things that go beyond immediate situations. For this purpose a series of elementary dialogues will be studied. Further time will be dedicated to the grammar and listening comprehension of TOEFL and EIKEN. Practice will involve more sophisticated aspects of English composition, and there will be weekly practice of advanced composition and conversation. Short lectures on intercultural topics of Japan and America will be delivered so that students may practice expressing their opinions about those ideas at the end of the lecture.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語学演習Ⅱ	あら い よ し お 荒 井 良 雄	英米文3・4選	4

講義のねらい

英会話も英作文も英文解釈も、英文法の正確な知識と運用能力がなければ、砂上の楼閣にすぎない。この演習ではWritten EnglishとOral Englishの違いに留意しつつ、正確で平易な英語が書けるとともに、的確な訳文を作ったり、正しい英語が話せるようになるための実用文法を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

英語の例文や練習問題を中心に、演習形式で授業を進めるので、テキストと辞書を毎時間持参すること。

履修上の留意点

実用的な例文は暗記すること。練習問題は何度も解いてみること。

成績評価の方法

毎時間の練習と夏休み前と冬休み前のテストで評価する。

教 科 書

江川泰一郎・著『英文法解説』（金子書房）1,700円。

参 考 書 等

授業方法は演習方式。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語学演習Ⅲ	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語はどのような言語でしょうか。「英語の歴史は侵略 (invasion) の歴史である」といわれるのはなぜでしょうか。ヨーロッパの諸言語と比べ、語形変化でことばの約束事=文法を示すことがとても少なくなり、語順や助動詞、前置詞などの比重が高くなっています。語彙数は世界の言語の中で最も多い約50万語。その3割強が語属を異にするロマンス語のフランス語とラテン語からの借入です。借入による同義語の多さは、英語の表現力を豊かにすると同時に、微妙な使い分けを直感的に求めることにもなります。英語を母語としない外国人英語学習者にとって、これは厄介な問題です。また、英語を母語とする人たちも煩雑だと認める綴り字と発音の不一致はなぜ生じたのでしょうか。「ことばは変わる」という観点から英語の諸特徴を歴史的に考察します。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の項目を中心に進めていきます。

- (1) 英語学、言語学の基礎知識の復習
  - (2) 英語の歴史的概観
  - (3) 語彙 (言語接触と借入)、文法、発音と綴字、標準語と変異・方言などの問題考察。
- 資料に基づく課題提出を前期・後期あわせて4回求める予定です。

成績評価の方法

授業中の担当発表、課題レポートの評価と定期試験の論述筆記試験成績で評価点を出します。

教 科 書

Herbert Schendl, 『*Historical Linguistics*』 (Oxford University Press) ISBN 0-19-437238-3

ハンドアウト・プリントコピー等

参 考 書 等

Charles Barber, *The English language: a historical introduction*, Cambridge U. P.  
 A. C. Baugh & T. Cable, *A History of the English Language* (4th edition) Routledge.  
 N. F. Blake, *A History of the English Language*, Macmillan.  
 David Crystal, 『クリスタル：英語史入門』 (金星堂)  
 Stanley Hussey, *The English Language: Structure & Development*, Longman.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語学演習Ⅴ	ブランケン, D. L.	英米文3・4選	4

講義のねらい

To develop listening and reading skills for English proficiency tests like TOEFL, TOEIC and the STEP (EIKEN) series. The specific goals are to (1) develop student aural - oral ability: (2) abet vocabulary mastery necessary for reading ability:and (3) underpin these skills with relevant grammatical knowledge.

講義の内容・  
授業スケジュール

Spring Semester	Fall Semester
Week1:TOEIC materials & methods	TOEIC materials & methods
Week2-6:Presentation of topics:drills	Presentation of topics:drills
Week7:Sample TOEIC Test 1	Sample TOEIC Test 1
Week8-12:Presentation of topics:drills	Presentation of topics:drills
Week13:Sample TOEIC Test 2	Sample TOEIC Test 2
Week14:Analysis of test performance	Analysis of test performance

Homework is a major part of this course. This means doing sample exercises and reading passages from the textbook and prints for 30-45 minutes a day. Homework will be checked:the more you do, the better your progress. Also, the instructor will suggest further materials for each student. It is optional, but highly recommended.

履修上の留意点

Half of each class will cover listening, the other half reading. Several points & concepts will be introduced each week. Aural testing will proceed each week:reading and grammar testing will occur every second week.

Two full sample TOEIC tests will be given in class in the first semester, and two full TOEIC tests in the second. Students will also be encouraged to register for actual TOEIC tests in the second semester or afterwards.

To the students:You will be expected to attend class on time and do your best to understand the material. Be positive in class and study regularly at home. About 30-45 minutes each day is enough-you will lose concentration if you work longer.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows: (1) classwork, the use of the textbook & prints, 25%: (2) classwork, attendance and performance, 25%: (3) homework, amount of exercises and readings done, 25%:and (4)、 test performance in terms of progress

教 科 書

To be announced in class and supplied by the instructor. Also, there will be printed exercises and readings given each week.

参 考 書 等

Materials:Each student must bring an English-English dictionary to class. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first meeting. Students are urged to have Internet access or E-mail addresses. The instructor will post information and news, and students may access TOEIC and TOEFL, as well as EIKEN and even SAT sites for materials.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	ナトウシュ, B. A.	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve students' productive proficiency in speaking.

講義の内容・  
授業スケジュール

Warm Up Activities  
Students converse using simple telephone dialogues to practise listening, note taking, pronunciation and speaking skills. (Pair work)  
Vocabulary Expansion  
Quizzes on word definitions and synonyms based on a weekly theme to extend active vocabulary usage. (Pair and team work)  
Fluency Development  
Exercises using fixed expressions to develop fluency. (Pair and group work)  
Listening for Main Points  
Retelling a news item after 2-3 repetitions of a short talk. (Individual)

成績評価の方法

Class attendance, quiz performance, participation in asking questions, communicative performance, two oral presentation projects, two written tests at end of Semesters 1 and 2.

教 科 書

Real Life Spoken English Series 2 (3 small workbooks)  
A Dictionary of Communicative Expressions(Nanundo)  
Photocopied materials will also be used.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	ハバード, W. D.	英米文3・4選	2

講義のねらい

To provide the basic concepts and strategies for successful speech and communication in English.  
Students will learn basic delivery, structural, and organizational skills in six clear steps:1.What, 2.Why, 3.How, 4.Practice, 5.Performance, 6.Evaluation. This approach allows students to make quick, visible improvements and gain confidence in speaking and giving presentations.

講義の内容・  
授業スケジュール

April:Introduction to the Physical Message/Posture and Eye Contact  
May:Informative Speaking Skills/Gestures  
June:Layout Skills/Voice Inflection  
July:Demonstrating Speaking Abilities  
September:The Story Message  
October:Being Persuasive 1./The Body  
November:Transitions and Sequencers/Being Persuasive 2  
December:Making Visual Aids/Explaining Visual Aids  
January:Demonstrating Speaking Abilities with Visual Aids

成績評価の方法

Final grade will be based on attendance, class participation, and presentations.

教 科 書

DESIRE by Robert M. Homan and Christopher Jon Poel, Macmillan LanguageHouse, Tokyo

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	リアーディ, N.	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 1 by the end of the academic year or early in the following year:

講義の内容・  
授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people.

As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year: one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two. This will constitute the final grade.

教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials: tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
オーラル・イングリッシュ	レイン, R. V.	英米文3・4選	2

講義のねらい

This discussion-oriented class will provide students with the opportunity to improve their ability to think logically, make opinions and express those opinions effectively in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will be shown American television commercials and taught as to how to determine their effectiveness. After several weeks of instruction, students will bring to class a video tape of two-three commercials as taped from Japanese television. The students will then show the commercials to the class and explain the merits of each, carefully explaining the reasons for the evaluation.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be graded regularly on the quality of class presentations. Depending on class size, students can expect to give a presentation [and be graded] no fewer than twice a month.

教科書

none

科目名	担当者名	配当学科	単 位
3年次ゼミ	<small>あずま</small> 東	英米文3必	4
4年次ゼミ	<small>ゆういちろう</small> 雄一郎	英米文4選	

講義のねらい

エミリー・ディキンソンの詩を読み、イマジスト (H. D., エズラ・パウンド、W. C. ウィリアムズ等) の詩人たちの作品へと進んでゆきます。第1次世界大戦 (1914-18) の前後から1920年代にかけて、新しい詩の変革運動が世界的規模でおこりました。パリのダダとシュールレアリスム、イタリアの未来派、そしてイギリスとアメリカではイマジズム運動がおこり、人々の注目を集めました。これらは、古い有機的な世界観の崩壊による必然的な再生運動で、この時代の芸術上のスローガンは、「更新」 ("Make it new") でした。19世紀の主観的なスタイルに対する反動としての即物的な表現の強調、精神的荒廃 (現代人の幻滅の意識・危機的な不安感) からの詩的出発とそこから脱出、定型の韻律によらない自由詩、没個性 (impersonality) の強調、これらはイマジズムの詩人たちに共通した詩的変革でしたが、その根は実はアメリカ上着のイマジスト、19世紀のディキンソンの中にありました。ホイットマンが歌ったあの有機的な世界観 (開拓者精神と民主主義の理念) が、ディキンソンには消滅していました。ディキンソンは、即物的で卑近なものの中に不滅を見ることから始めなければなりません。彼女は欠乏の美学を实践していました。エミリー・ディキンソンからイマジストたちのモダニズムへの流れを考え、論じてゆきます。有機的な世界観の崩壊は、here and now、現在にもおこっています。現在にとっての「更新」とは何でしょうか？

教科書

テキストは、研究社小英文学叢書の『エミリー・ディキンソン詩抄』(新倉俊一解説注釈)を使用します。

参考書等

参考文献、新倉俊一・鶴野ひろ子訳『エミリー・ディキンソン評伝』(国文社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年次ゼミ	あ ら い よ し お 荒 井 良 雄	英 米 文 3 必	4
4 年次ゼミ		英 米 文 4 選	

#### 講義のねらい

英語文化ゼミナールの研究主題は、「シェイクスピアと聖書の英語」(Early Modern English)である。Shakespeare's King Lear をテキストにして、朗読法を含めた英語学的研究、文学的研究、演劇的研究、映画化作品研究などをおこなう。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期はテキストの語学的研究、夏休みにはレポート(400字10枚前後)の作成、後期はレポートの発表を中心にした共同研究をおこなう。

#### 成績評価の方法

毎時間の発表とレポートの成績を総合して評価する。

#### 教 科 書

対訳・評註『リア王』、斉藤勇・編著、開文社、3,600円

#### 参 考 書 等

『The Complete Works of Shakespeare』(Alexander Text), Collins.  
小田島雄志訳『シェイクスピア全集』(白水社)ほか

#### そ の 他

毎時間、発表形式で授業を進めるので、出席を重視する。ゼミ論集出版のため前期と後期に小論文を提出することになる。以上の点を覚悟の上で、ゼミに参加するかどうかを判断すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年次ゼミ	か わ さ き ま さ と し 河 崎 征 俊	英 米 文 3 必	4
4 年次ゼミ		英 米 文 4 選	

#### 講義のねらい

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかになりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特徴をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

チョーサーの作品を中心に、14世紀の英語の発音の仕方や文法を学習し、当時の英語が基本的に読めるように授業を進めたい。ある段階において、各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

#### 履修上の留意点

ノート整理を怠らず、着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

#### 成績評価の方法

年1回の筆記試験およびレポート課題が中心であるが、平常時の学習態度をもとにして総合的に判断する。

#### 教 科 書

教科書は、A. C. Baugh版をコピーにして使用する予定。

#### 参 考 書 等

参考書は、授業の進行に合わせて紹介する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年次ゼミ	さ と う ち は る 佐 藤 千 春	英 米 文 3 必	4
4 年次ゼミ		英 米 文 4 選	

講義のねらい

19C. アメリカ・ルネッサンスには二つの流れがある。一方はエマソンを代表とするオプティミスティックな思想、もう一方はホーソンを中心としたペシミスティックな思想である。これが特にホーソンの場合、その人間観、世界観などにどのような形で表われているか、他の作家たちとも比較しながら調べ、さらにアメリカ・ルネッサンスという時代の特徴を探ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

ホーソンの作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、ならびに難解な部分の説明を求める形式で進めて行く。

成績評価の方法

授業の最終時に、作品の解釈上の説明を求める形式のテストを予定、あるいは原稿用紙（400字詰）5～10枚程度の課題を出し、これにもとづいて評価する。

教 科 書

『エゴティズム』他二編（英宝社）

参 考 書 等

授業内において、その都度紹介して行く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年次ゼミ	す ぎ う ら ぎ ん さ く 杉 浦 銀 策	英 米 文 3 必	4
4 年次ゼミ		英 米 文 4 選	

講義のねらい

「キリマンジャロの雪」を中心にヘミングウェイの短編を読む。

講義の内容・授業スケジュール

ヘミングウェイにおける生と死の問題について考える。

履修上の留意点

出席を重んじる。

成績評価の方法

成績表の方法は平常点とレポート提出。

教 科 書

Ernest Hemingway -- Short Stories（英潮社、883円）

参 考 書 等

参考書は教場で紹介する。

そ の 他

授業はゼミ方式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年次ゼミ	た か の ま さ お 高 野 正 夫	英 米 文 3 必	4
4 年次ゼミ		英 米 文 4 選	

講義のねらい

1930年代に最も活躍し、そして最も典型的な詩人であったW. H. Audenは、1939年1月にアメリカに渡った後アメリカに住み続け、代表的な長編詩を次から次へと発表していった。激動の時代を常に放浪者として生きながら、故国イギリスを離れて自由の地アメリカで新たな詩作の生活を歩み出した、1939年以降のオーデンの詩を読んでいく予定。

成績評価の方法

積極的に提起された問題をそれぞれの視点から捉えること。

教 科 書

W. H. Auden, Collected Shorter Poems 1927~1957 (Faber)を使用する。

そ の 他

毎時間、1、2名に発表してもらいながら授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年次ゼミ	な か お か	英 米 文 3 必	4
4 年次ゼミ	中 岡	英 米 文 4 選	

#### 講義のねらい

イギリス小説を扱いながら、それを分析研究する知識と方法を身につけていくことをねらいとする。ただしただ単に小説を読み、物語を知るだけにとどまらず、文学全体、さらには学問全体に眼を開き、柔軟な発想ができるようになることが望ましく、そのためにはたくさんの本を読むことを心がけてほしい。方法論は各種さまざまなものがあるけれども、自分がもっとも有効に使いこなすことができるのはどのような方法であるかを発見してもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

具体的にはEmily Bronte (1818-48) のWuthering Heights (1847) を材料にして、学生が順番を決めて順次各章から感銘ぶかい箇所を選び、テキストを読み、解釈をほどこし、感想を述べ、みんなで討論する。英語のテキストを正確に読みこなすのは当然、そこから何を読み取るかという主体的問題にまで勉強を深めていく。腰を落ち着けてじっくりと勉強するのも学生時代には特に重要なことである。なお学年末に『中間ゼミ論集』を発行し、これが勉強の成果として形に残る。すでに先輩たちの残したものが多数あるので、参考にしてもらいたい。またそれらがそれなりの伝統を形成しており、その伝統に進んで参加されるよう希望する。

#### 履修上の留意点

出席に励むこと。毎年の経験であるが、3年次から4年次への急激な成長ぶりは驚嘆すべきものがあり、単なる知識の詰め込みに終わらないよう各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

#### 成績評価の方法

出席回数と発表成果によって評価する。

#### 教科書

Jane Eyre(Penguin Classics)

#### 参考書等

非常に豊富な資料があるので、教場で適宜指示する。

#### その他

ゼミは学生の所属クラスであるから、そのまま卒業論文に繋げるように努力しよう。4月には新入ゼミ生歓迎会、夏休みには夏合宿、秋には秋合宿、2月には謝恩会、3月には卒業祝賀会を行う予定で、そのための費用がかかる。

英  
米  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年次ゼミ	さ と う し ん じ	英 米 文 3 必	4
4 年次ゼミ	佐 藤 真 二	英 米 文 4 選	

#### 講義のねらい

Charles DickensのA Christmas Carolを中心としたChristmas Storiesを材料として、作品の中に含まれる、様々なタイプの英語に関して、主に英語学的観点から考察を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

主として考察する事項は以下の通りである。

##### 1) 登場人物が用いる英語

19世紀のイギリスが舞台であるこれらの作品には、様々な階級に属する様々な人物が登場する。そこで、こうした人物たちの地位や身分の相違を表現する要素のひとつである、人物たちが使う英語に関して、語彙、文法、音声などの面から考察する。考察に際しては、テキストは勿論映画や朗読テープ等を利用して、比較研究する。映画や朗読のテープにおいて、非標準的な英語がどの様に発音され、どの様な特徴が強調されているのかなどを分析するなどの作業を行いたい。

##### 2) その他、Dickens の英語の諸特徴にもふれ、その全体像を展望したい。

##### 3) 文学的にも深い読み込みをめざしたい。

#### 履修上の留意点

毎回全員に意見を発表してもらうことになるので、毎回予習のうえ、欠席せず出席することが要求される。

#### 成績評価の方法

毎回の授業内の発表と、夏休み中にまとめたレポート（後期に発表）で評価する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3年次ゼミ	ふじかわ よしゆき 富士川 義之	英 米 文 3 必	4
4年次ゼミ		英 米 文 4 選	

講義のねらい

オスカー・ワイルドの童話と短篇研究。ワイルドの代表的な童話と短篇を精読しながら、ワイルドの文学についてさまざまな角度から考察してみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

精読が中心になるが、適宜課題を与えて発表してもらうつもり。レポートなど論文の書き方についても最低限必要な知識についてもふれる。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

試験

教 科 書

『オスカー・ワイルド短篇集』（英潮社）

参 考 書 等

適宜指定する。

## II 專 門 教 育 科 目

### 3 地 理 学 科



## Ⅱ. 専門教育科目

### (3) 地理学 科

自然地理学概論〈中村和郎〉	395
自然地理学概論〈小池一之〉	395
人文地理学概論〈桜井明久〉	396
自然地理学実習(地図学実習含む)〈市川清士〉	396
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)B]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈中村和郎〉	397
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地理学実習含む)E]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈早船元峰〉	397
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)A]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈高木正博〉	398
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)D]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈長沼信夫〉	398
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)C]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈橋詰直道〉	399
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)F]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈桜井明久〉	399
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)B]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈小田匡保〉	400
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)D]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈須山聡〉	400
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)E]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈佐藤哲夫〉	401
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)G]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈土谷敏治〉	402
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)C]	
地域文化研究概説〈土谷敏治・小田匡保・佐藤哲夫・須山聡・橋詰直道〉	403
[平成9年度以前入学生:地誌学概論]	
地域環境研究概説〈高木正博・佐藤哲夫・長沼信夫・早船元峰〉	404
[平成9年度以前入学生:地誌学概論]	
地域概論〈須山聡〉	404
地理思想史〈竹内啓一〉	405
地図学〈柳瀬訓〉	406
村落地理学〈佐藤哲夫〉	406
都市地理学〈橋詰直道〉	407
交通地理学〈谷敏治〉	408
文化地理学〈小田匡保〉	408
文化生態学〈中俣均〉	409
歴史地理学〈小田匡保〉	409
リモートセンシング〈田中靖〉	410
環境地理学〈早船元峰〉	410
計量地理学〈土谷敏治〉	411
応用地理学〈高木正博〉	412

地 域 計 画 論〈今 野 修 平〉	412
地 理 情 報 論〈村 山 祐 司〉	413
地理学調査法（現地調査含む）A〈休 講〉	
地理学調査法（現地調査含む）B〈田 中 靖〉	414
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法（現地調査含む）〕	
地理学調査法（現地調査含む）C〈休 講〉	
地理学調査法（現地調査含む）D〈中 村 和 郎〉	414
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法（現地調査含む）〕	
地理学調査法（現地調査含む）E〈休 講〉	
地理学調査法（現地調査含む）F〈須 山 聡〉	415
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法（現地調査含む）〕	
地理学調査法（現地調査含む）G〈休 講〉	
地理学調査法（現地調査含む）H〈小 田 匡 保〉	415
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法（現地調査含む）〕	
地理学調査法（現地調査含む）I〈休 講〉	
地理学調査法（現地調査含む）J〈早 船 元 峰〉	416
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法（現地調査含む）〕	
地理学調査法（現地調査含む）K〈休 講〉	
地 理 学 演 習 I A〈休 講〉	
地 理 学 演 習 I B〈小 池 一 之〉	416
〔平成9年度以前入学生：地理学演習I〕	
地 理 学 演 習 I C〈休 講〉	
地 理 学 演 習 I D〈高 木 正 博〉	417
〔平成9年度以前入学生：地理学演習I〕	
地 理 学 演 習 I E〈長 沼 信 夫〉	417
〔平成9年度以前入学生：地理学演習I〕	
地 理 学 演 習 I F〈休 講〉	
〔平成9年度以前入学生：地理学演習I〕	
地 理 学 演 習 I G〈休 講〉	
地 理 学 演 習 I H〈休 講〉	
地 理 学 演 習 I I〈休 講〉	
地 理 学 演 習 I J〈土 谷 敏 治〉	418
〔平成9年度以前入学生：地理学演習I〕	
地 理 学 演 習 I K〈橋 詰 直 道〉	418
〔平成9年度以前入学生：地理学演習I〕	
地 理 学 演 習 II〈小 田 匡 保〉	419
地 理 学 演 習 II〈小 池 一 之〉	419
地 理 学 演 習 II〈桜 井 明 久〉	419
地 理 学 演 習 II〈佐 藤 哲 夫〉	420
地 理 学 演 習 II〈須 山 聡〉	420
地 理 学 演 習 II〈高 木 正 博〉	421
地 理 学 演 習 II〈田 中 靖〉	421
地 理 学 演 習 II〈土 谷 敏 治〉	422
地 理 学 演 習 II〈長 沼 信 夫〉	422
地 理 学 演 習 II〈中 村 和 郎〉	423
地 理 学 演 習 II〈橋 詰 直 道〉	423

地理学演習	Ⅱ	〈早船元峰〉	424
地巡	A	〈竹内啓一〉	424
巡	B	〈佐藤哲夫〉	424
巡	C	〈小池一之〉	425
巡	D	〈長沼信夫〉	425
図	習	〈清水長正〉	426
日	誌	〈橋詰直道〉	426
外	講	〈梅原弘光〉	427
ア	誌	〈佐藤哲夫〉	428
ア	誌	〈仁平尊明〉	429
ヨ	誌	〈桜井明久〉	429
経	学	〈生井沢進〉	430
産	論	〈須山聡〉	430
地	学	〈小池一之〉	431
地	習	〈清水長正〉	431
社	学	〈宮口侗廸〉	432
外	読	〈小池一之〉	432
気	学	〈中村和郎〉	433
気	習	〈中村和郎〉	433
水	学	〈長沼信夫〉	434
水	習	〈休講〉	
人	学	〈大友篤〉	434
歴	習	〈小田匡保〉	435
地	学	〈柳田和誠〉	435
土	学	〈漆原和子〉	436
生	学	〈清水善和〉	437
計	習	〈土谷敏治〉	438
測	学	〈田中靖靖〉	439
第	学	〈鈴木毅彦〉	439
現	論	〈長谷川均〉	440
地	I	〈橋詰直道〉	440
地	Ⅱ	〈生井沢進〉	441
地	Ⅲ	〈沖野行男〉	441
地	Ⅳ	〈竹内啓一〉	442
地	Ⅴ	〈長沼信夫〉	443



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概論	なかむら かずお 中 村 和 郎	地文・地理1必	4

講義のねらい

自然地理学は地形学・気候学・水文学・生物地理学・土壌学などとわかれていて、それぞれ専門科目として開講されているので、この講義では、自然現象の中に形・種類・場所・時間などによる違いがあることに気づいて、それを図表や地図に表現するスキルと、図表や地図を読むスキルを身につけることを目標にする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. キャンパスの中の自然地理学
2. 陸圏・水圏・大気圏・生物圏の地理学
3. 位置と関係のある自然現象
4. 空間のスケールと関係のある自然現象
5. 寒冷地域・温暖地域・熱帯・乾燥地域
6. 自然現象の時間的変化

履修上の留意点

課題などに対して、受け身でなく、積極的に取り組んでほしい。

成績評価の方法

不定期に10回程度出席をとるほか、レポートと学年度末の試験で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概論	こいけ かずゆき 小 池 一 之	環境・地理1必	4

講義のねらい

周囲を海に囲まれ山がちな日本列島の自然は変化に富んでいる。この講義は地理学科に入学したばかりの学生に対して、日本列島の成立と多様な自然環境について解説するものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、自然地理学の基礎的概念を説明し、次いで、日本列島を特徴付ける代表的な自然についてふれていく。同時に、関連する世界各地の自然も紹介する。時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：  
 自然地理学の基礎的概念 地球の歴史と第四紀  
 第四紀の気候変化と海面変化 地震と関連する諸問題  
 火山の恵みと災害 人間活動と自然環境の変化  
 地球温暖化にまつわる諸問題

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していない学生にも理解できるよう出来るだけ基礎的概念から説明する予定である。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価するが、出席点や時に応じて与える課題の提出状況などを3割ほど加味する。

教 科 書

前期：斎藤靖二著(1992)『日本列島の生い立ちを読む』（岩波書店）1,200円＋税  
 後期：町田 洋ほか著(1999)『地層の知識－第四紀をさぐる』（東京美術）1,500円＋税

参 考 書 等

日本第四紀学会（編）(1987)『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,200円＋税  
 小池一之ほか訳(1983-1984)『一般地質学 1, 2, 3』（東京大学出版会）各巻 3,400円＋税

そ の 他

授業は講義形式でプリント類を配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概論	さくらい あきひさ 桜井 明久	地文・環境・地理I必	4

講義のねらい

専門としての人文地理学のオリエンテーションである。講義全体を通じて、人文地理学とは何か、その方法上の特色はどこにあるかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、人文地理学の特色を考える。つまり、事象と場所（位置、方位）、事象間の距離、縮尺、事象群の分布と密度、領域・地域と地球、地域的複合、地域系（地域構造）といった問題を考え、「地図」で考えるという意味について検討したい。後期には、本学の先生方の研究などを具体的に取り上げながら、人文地理学の各研究分野のおおよそを紹介し、本学で人文地理学を深く学ぶための助けとなるよう、情報を提供したい。

履修上の留意点

出来る限り、毎授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートという形で書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

おおよそ、出席とミニレポート30点、読書レポート20点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

『地理学講座1 地理学への招待』（古今書院）2,500円

参考書等

『地理学講座3 環境と生態』（古今書院）2,800円

『地理学講座4 地域と景観』（古今書院）2,800円

『地理学講座5 立地と空間的行動』（古今書院）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む) (前期)(後期)	いちがわ きよし 市川 清士	地文・環境1必	1
自然地理学実習(地図学実習含む)B(前期)(後期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学（特に地形学）を学ぶために必要な地形図の読図や製図、空中写真判読、調査器材の取り扱いなどの基礎的な作業技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

実習は次のような作業を予定している。

- 1) 1/2.5万地形図の読図。
- 2) 1/2.5万地形図を用いた主題図の作成。
- 3) 地質図の読図、地質断面の作成。
- 4) 簡易測量による図面の作成。
- 5) 空中写真による地形の判読。

履修上の留意点

授業には出席し、課題は期限内に必ず提出すること。

成績評価の方法

成績の評価は出席状況・提出物の内容などをもとに総合的に評価する。

その他

地形図・製図用筆記具は個人で購入してもらう。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習(地図学実習含む) (前期)	なかむら かずお 中村和郎	地文1必	1
		10~12入学生/地理1必	
自然地理学実習(地図学実習含む)E(前期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要ないくつかの基礎的な技術の習得を目標とする。とくに地理学では地図を描くスキルの習得がもっとも重要であるので、これに力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地形図の作業  
地形図の線種、文字、色の種類。位置・距離・方位の計測など。
2. 製図  
製図用ペンを用いて、地図やグラフを描くための基礎的技術を習得する。

履修上の留意点

地理学は教科書の勉強だけでは本当の理解が得られない。実習の時間は、教科書の知識を暗記するのではなく、自分から進んで手足を動かして、地理学的なものの方考え方を習得するように心がけること。机の上の作業ばかりでなく、屋外に出て行うこともあるので遅刻したり、欠席したりすると、実習を受けられないことがあるので注意。  
製図用のペンを購入する必要がある。講義中に指示されたペンを用意すること。

成績評価の方法

出席状況と、平常の取り組み方、および提出物によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習(地図学実習含む) (後期)	はやぶね げんぼう 早船元峰	地文1必	1
		10~12入学生/地理1必	
自然地理学実習(地図学実習含む)A(後期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成(切峰面図・起伏量図・帯状平行投影地形断面図など)
- 試料の収集・分析・整理の方法(粒度分析など)
- 調査器材・器具の使用法
- 空中写真判読
- 地形断面図(実測)の作成

履修上の留意点

地形図や製図用具は各自用意してもらう。  
出席をこころがけ、成果の提出期限を守ること。

成績評価の方法

出席状況・提出物の内容などにより評価する。

参考書等

谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』(大明堂)2,520円

その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む) (後期)	たか ぎ まさ ひろ 高 木 正 博	環 境 1 必	1
自然地理学実習(地図学実習含む)D(後期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学を学ぶためには、地形図読図や空中写真判読などの基本的な作業が必要である。本講義は、これらの作業をとおして基礎的な技術の修得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 次の内容を予定しているが、進捗状況に応じて変更することがある。
- 1) 地形図の読図(等高線から地形断面や地形特性などを読む)
  - 2) 起伏量図、水系図など主題図の作成(地形図の利用)
  - 3) 空中写真の実体視・判読ならびに主題図の作成(空中写真と地形図を対照して地域の変容を調べる。現地調査を求める)
  - 4) 資料や調査結果の整理と製図

履修上の留意点

課題に取り組む積極的な姿勢を求める。成果は期日に提出できるように努力すること。

成績評価の方法

提出物の内容、毎回の作業進捗状況、出席回数などを点数化し総合的に評価する。

教科書

各課題毎にプリントを配布して説明する。特定の教科書はない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

地形図、製図用筆記具は個人で購入してもらう。30cm程度の定規、図面保護筒は必需品である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む) (前期)	なが めま のが お 長 沼 信 夫	環 境 1 必	1
自然地理学実習(地図学実習含む)C(前期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 実習内容としては、次のような作業を予定している。
- 1) 地形図の読図、地形図を用いて地形計測(水系分布図、起伏量図などの作成)
  - 2) 海図の読図、海図を用いて海底地形や底質の分布図作成
  - 3) 地質図の読図、描き方、地層の厚さの求め方
  - 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法
  - 5) 簡易測量(高さ・距離などの測定、平板測量)

履修上の留意点

地形図や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。

成績評価の方法

出席を重視し、定期的提出する図版やレポートなどを基に総合的に評価する。

参考書等

谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』(大明堂)2,520円

その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む) (前期)	はし 橋 つめ 詰 なお 直 みち 道	地文1必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)F(前期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理的諸現象を調査・分析し、レポートにまとめるための基礎的手法を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には(1)地理学文献の検索方法(2)地図・空中写真・地理データの入手方法(3)地理情報の判読(地形図判読、空中写真判読)(4)調査課題の設定と現地調査の方法(フィールドノートのとり方、アンケート用紙の作成)(5)入手した地理データの処理・分析手法(地図化、グラフ化、パソコンを用いた基礎統計分析方法、相関回帰分析)(6)調査レポート(プレゼンテーション)の作成などについて学ぶ。統計分析は総合情報センターのパソコンを使用予定。

履修上の留意点

必修科目であり、課題中心の授業となるので、課題への取り組みはもちろんのこと、出席(遅刻をしないこと)状況や授業中への参加態度も重視する。課題レポートはワープロ使用。課題の提出期限を厳守すること。

成績評価の方法

期間中に出される課題・レポートなどの成果品、授業への出席状況(一定基準以上)や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教科書

とくに定めない。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。

その他

総合情報センター利用登録を4月中に済ませ、各自メールアドレスを取得しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む) (後期)	さくら 桜 い 井 あき 明 ひさ 久	地文1必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)B(後期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理学の研究・調査のための基礎的な方法を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

図書館の利用、ワープロの利用、土地利用図の作成、統計資料の収集、統計図表の作成、統計地図の作成、統計手法の利用、データベースの意味と利用などについて実習する。

履修上の留意点

実習であるので、とりわけ授業に出席することが重要となる。なお、事前に準備すべきものは前もって伝える予定であるが、欠席した場合は、次の授業で準備すべきものを、出席した同級生にあらためて確認しておくこと。

成績評価の方法

授業で制作、作成する作品・レポートとその提出状況で評価される。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となろう。  
 浮田典良編『ジオグラフィックパル 地理学便利帖』(海青社)  
 中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』(古今書院)  
 菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』(古今書院)  
 高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

その他

様々な地域の地形図、色鉛筆、定規、ロットリング、計算機などを準備する必要がある。詳細は授業開始時に指示する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む) (前期)	小 田 匡 保	地 文 1 必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)D(前期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 文献利用の方法
2. 参考図書
3. 地形図
4. 統計
5. 主題図の作成
6. グラフの作成

履修上の留意点

毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。  
ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。  
パソコンが必要な課題もあるので、インターネット環境にあるパソコンが自宅にない場合は、総合情報センターの利用登録をしておくこと。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、課題の提出状況(遅れずに提出したかどうか)によって行なう。  
提出された課題のできればとも勘案する。  
ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。

教 科 書

担当教員作成のプリントを配布する。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

そ の 他

製図ペンや定規・地形図などを購入する必要がある。  
詳細は、授業時に随時指示する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む) (後期)	須 山 聡	環 境 1 必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)E(後期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理学における分析の基礎となる統計地図の作成を実習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 統計データの種類と利用法
- (2) 統計地図の種類
- (3) 土地利用調査
- (4) コロプレスマップの作成1(手描き地図)
- (5) フローマップの作成(手描き地図)
- (6) ドットマップの作成(パソコンによる地図)
- (7) 多変量解析とコロプレスマップの作成(パソコンによる地図)

履修上の留意点

授業の後半は情報センターのMacintosh教場で行う。受け身の講義ではなく室内作業が中心となるので、受講者諸君の主体的な参加を望む。

成績評価の方法

毎回の授業で課せられるレポートと出席をもとに判断する。

教 科 書

毎回資料を配布する。

そ の 他

ロットリング・電卓を使用するので、事前に購入する必要がある。コンピュータの知識は不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む) (前期)	佐 藤 哲 夫	環 境 1 必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)G(前期)	9以前入学生/地理1必		

#### 講義のねらい

この実習では、パソコンを用いて人文地理学的分析のレポートが作成できるようになることを目標としている。図表やレポートの体裁、統計分析や地図作製などの基礎的技術について学ぶ。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下の予定を基本にするが、受講者の理解度を見て内容を調整しながら進めたい。

1. 情報の検索 : 地理の資料、文献の検索、インターネットの利用
2. 論文要旨の作成 : ワードプロ(ワード)の使用、論文要旨の体裁
3. 地図の編集 : 地図データ、作図ソフト(ペイント)の使用
4. 地図の作成 : 分布図、濃淡図、地図の体裁
5. Geographic Matrix : 表ソフト(エクセル)の使用、統計情報の地理的整理
6. 基本統計量の利用 : 特化係数、平均と標準偏差
7. 地域区分 : 階級区分、等質地域区分、統計地図
8. 時系列変化 : シフトシェア・アナリシス、増加率
9. モデルと予測 : 回帰分析

#### 履修上の留意点

パソコンによる学習なので、自宅でウィンドウズを利用できない場合は、自習室などを利用すること。毎回課題が出る。授業時間内に終わらなかった作業課題は持ち帰って仕上げてもらう。パソコンやソフトの操作方法についてはあまり時間をかけず、作業の意味や原理について説明する。従ってすでにパソコンやソフトの操作に習熟している人は、進んで初心者の方の手助けをして欲しい。わからなくなったら、いつでも誰にでも遠慮なく質問して欲しい。

#### 成績評価の方法

各回の課題の提出状況で評価する。出席も取るが、これは主に各人の進度を把握するためのものである。課題提出の最終的な締め切りは7月17日であり、遅れた場合は不可となる。

#### 教 科 書

教材と作業課題は授業時間に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む) (後期)	つち 土 谷 とし 敏 はる 治	環境 1 必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)C(後期)		9以前入学生/地理1必	

#### 講義のねらい

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

9~11月：コンピュータによって、レポート作成の実習や資料の基礎的な統計分析を行う。  
12・1月：用意した資料を用いてデータの整理・図表作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。主な実習項目は、次のとおりである。

- 1) コンピュータの基本操作：コンピュータの基本的操作法を修得する。
- 2) ワードプロソフトによる文書作成：レポート、論文作成に備えて、ワードプロソフトの操作を習得する。
- 3) 作表実習：表計算ソフトを用いて、作表操作を習得する。
- 4) 統計分析：表計算ソフトを用いて、基礎統計分析やグラフ作成の操作を習得する。
- 5) 文献検索と読解：各自文献の検索を行い、抄録・書評を書く。
- 6) 地図の作製：統計データをもとに、地図を作製する。

#### 履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。コンピュータを使用するので、総合情報センターの利用者登録をしておく必要がある。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

#### 成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1：1の比重とする。休み中の課題は、それまでの学習成果のまとめであり、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

#### 教科書

とくに指定しない。

#### 参考書等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となろう。  
浮田典良編『ジオグラフィックバル 地理学便利帖』(海青社)  
中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』(古今書院)  
菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』(古今書院)  
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化研究概説	土谷 敏治・小田 匡保	地文2必	4
地誌学概論	佐藤 哲夫・須山 聡 橋詰 直道	9以前入学生/地理2必	

#### 講義のねらい

地理学の視点から地域の文化と社会をとらえる方法を学ぶことを主なねらいとする。地域に暮らす人々の生活や行動に隠されているパターンすなわち地域文化が、地域の風土や歴史、社会のしくみによってどのように生み出されてきたのか考えてみる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地域文化を研究するための地理学的方法について、5人の教員がそれぞれの視点から講義を行う。統一的なテーマとして「地域文化へのアプローチ」を意図している。講義の中で扱われる主な題材として次のものを予定している。

1. 地域文化を研究するとはどういうことか
2. 文化の地域差を明らかにする
3. 風景のなかに地域文化を読む
4. 自然を風土としてとらえる
5. 生活の場のしくみを調べる
6. 海外の地域文化を研究する

#### 履修上の留意点

次のスケジュールで、1人の教員が5回ずつ担当する予定である。各教員の担当部分はそれぞれが完結しており、それぞれについて成績評価を行なう。毎回テーマが変わるので、必ず出席すること。

4月16日～5月21日 佐藤哲夫  
5月28日～6月25日 須山 聡  
7月2日～9月24日 橋詰直道  
10月1日～11月5日 土谷敏治  
11月12日～12月10日 小田匡保

#### 成績評価の方法

出席は評価の参考にする。定期試験は行わず、評価はレポートおよび小テストで行う。各担当者が採点し、総合的に評価する。

#### 教科書

特に指定しない

#### 参考書等

浮田典良 編 『地域文化を生きる』(大明堂)  
 AERA MOOK 48 『地理学がわかる』(朝日新聞社)  
 藤巻正巳ほか編 『異文化を知る』ための方法』(古今書院)  
 渡部忠世 編 『稲のアジア史 1～3』(小学館)  
 藤森照信 『日本の近代建築 上・下』(岩波新書)  
 比嘉政夫 『沖縄からアジアが見える』(岩波ジュニア新書)  
 高橋伸夫ほか編 『地理学講座1～6』(古今書院)  
 C. サウアー 『農業の起源』(古今書院)  
 梅棹忠夫 『文明の生態史観』(中央公論社)  
 柳田国男 『蝸牛考』(岩波書店)  
 和辻哲郎 『風土—人間学的考察—』(岩波文庫)  
 祖父江孝男 『県民性—文化人類学的考察—』(中公新書)  
 市川健夫 『ブナ帯と日本人』(講談社現代新書)  
 佐々木高明 『照葉樹林文化の道』(NHKブックス)  
 石川徹也 『日本の自然保護』(平凡社新書)  
 渋谷昌三 『人と人との快適距離』(NHKブックス)  
 三谷康之 『イギリス観察学入門』(丸善ライブラリー)  
 浮田典良 『スイスの風景 スイスに関する80章』(ナカニシヤ出版)  
 早川東三・工藤幹巳 『ドイツを知るための60章』(明石書店)  
 鈴木秀夫・久保幸夫 『日本の食生活』(朝倉書店)  
 杉浦秀夫 『文学・人・地域—越境する地理学』(古今書院)  
 徳川宗賢 『日本の方言地図』(中公新書)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域環境研究概説	高木 正博・佐藤 哲夫	環 境 2 必	4
地誌学概論	長沼 信夫・早船 元峰	9以前入学生/地理2必	

講義のねらい

地理学の視点から環境をとらえることを主なねらいとするが、個々の地域に特有な人間活動と環境との関わりにも注目し、その背景をなす要因を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

4人の教員により視点を交えて地域環境の諸問題について学ぶ。統一テーマとして「地域環境を読む」を意図している。

年間の授業スケジュールは次のとおり予定している。

1. 地域環境の諸問題
2. 都市域の環境  
都市域の土地環境/都市域の環境を水循環の視点から考える
3. 人間活動に伴う環境変化  
扇状地における自然と人間のかかわりあい
4. まちづくりと都市の環境  
都市計画と環境
5. 地域の環境変化—夕張、高山、川崎、箱根
6. 地域環境を南西諸島で考える  
島しょのすがた/土地利用/水環境

成績評価の方法

出席は評価の参考にする。定期試験は行わない。評価はレポートおよび小テストで行う。各担当者が出題・採点し、合計点を成績評価とする。

参 考 書 等

シリーズ『自然景観の読み方』全12冊 (岩波書店)  
 シリーズ『自然環境とのつきあい方』全7冊 (岩波書店)  
 都市環境学シリーズ2『都市の水文環境』(共立出版)  
 まちづくり読本4『環境とまちづくり』(風土社)  
 高見沢 実『初学者のための都市工学入門』(鹿島出版会)  
 山田安彦編著『総合 地域の科学—水と地域のかかわり合い—』(古今書院)

地 理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域概論	須 山 聡	地文・環境2・3・4選必 地理2・3・4選	4

講義のねらい

地誌学は地域をひとまとまりとして捉え、そこに展開するさまざまな自然・人文現象を総合的に理解できるきわめて魅力的な学問である。本講義ではその視点・概念・方法論を紹介し、地域の理解のしかたや分析の視点を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は(1)地理学の目的・理念、(2)基本的概念、(3)方法論の3つによって構成される。予定は以下の通りである。

1. 地誌学の目的 (地域性・地域差・空間認識)
2. 地誌学の対象 (「地域」の概念)
3. さまざまな「地域」(等質地域・結節地域)
4. 土地利用と景観
5. 立地・分布・拡散
6. 地域構造
7. 認知と行動

履修上の留意点

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。また、随時簡単なエッセイを課する。  
 試験は(考えようによっては)大変に難しいので、受講者は講義内容のみで満足することなく、さらなる学習のきっかけと捉えて欲しい。

成績評価の方法

学年末試験(50%)、出席状況(50%)で判定。

教 科 書

適宜資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理思想史	たけうち けいいち 竹内 啓一	地文・環境2・3・4選必 地理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のもの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシアンとして禄をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の連接と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的实践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これらの間には多様な拮抗関係があって、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk, official academic geographies が、local, national, global, concerns をめぐって、どのような関係にあったかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがって、地理思想史の構造について話をし、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。

#### 履修上の留意点

在外研究のため6月から10月にかけて休講するので、12月の補講期間に集中的補講をするので、あらかじめ心得ておいていただきたい。

#### 成績評価の方法

学年末の持ち込み一切自由の筆記試験による。

#### 教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』 (大明堂) 2,500円  
日本の地理思想史については、私が作成した資料を配布。

#### 参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中に提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。  
手塚章 (訳編) 『地理学の古典』 『続・地理学の古典』 (古今書院)  
西川治 (編) 『地理学総論』 (総観地理学講座1) (朝倉書店)  
水津一朗 『近代地理学の開拓者たち』 (地人書房)  
野沢秀樹 『フランス地理学の群像』 (地人書房)  
飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』 (日本評論社) (『飯塚浩二著作集』 6 平凡社に収録)  
野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』 (地人書房)  
竹内啓一 『とぼろうぐ』 (古今書院)  
織田武雄 『古地図の世界』 (講談社)  
織田武雄 『地図の歴史』 (講談社)  
長澤和俊 『世界探検史』 (白水社)  
竹内啓一・杉浦芳夫 (編著) 『20世紀の地理学者』 (古今書院)  
R.J. ジョンストン (竹内監訳) 『場所をめぐる問題：人文地理学の再構築のために』 (古今書院)  
日本における近代地理学の発達については以下の私の英文著書と『地理学評論』 2000年4月号の日本地理学会75周年記念年号が参考になる。  
『Modern Japanese Geography: An Intellectual History』 Kokon-Shoin

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地図学	柳瀬 訓 <small>やなせ さとす</small>	地文・環境2・3・4選必 地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の基礎となる地域の把握のため、地形図の読図法、および主要な主題図の内容などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

地図の種類、各種図式、地形図読図法、地形計測法、および日本の主要な主題図の内容とその時代による変遷など。前期は主に地形図について、後期は主題図について行う。

成績評価の方法

期末試験（前期末の授業時間内に行う試験を含む）の結果から主に行うが、授業中に行う小テスト・図上作業（これで出席状況も見る）の結果などをこれに加味する。

参考書等

授業中に関連する参考書などを紹介する。

その他

授業時間中に基礎的な図上作業を行うこともあるので2色鉛筆等を用意してもらうこともある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
村落地理学	佐藤 哲夫 <small>さととう てつお</small>	地文2・3・4選必 地理・環境2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、文化と環境に焦点をあてて、農村の形態・構造・機能について学ぶ。農村景観を成り立たせている文化的背景や生態的基盤、現代日本の農村の社会構造と経済機能、特色のある地域に立地する村落などを話題として取り上げる。また異なった文化・自然環境に置かれた農村の例として、南アジアの農村を紹介する。さらに補章として、農村調査の方法を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような内容で講義を行う。

1. 景観の成立基盤
  - 1) 農村景観
  - 2) 屋敷
  - 3) 水田
  - 4) 用水
  - 5) 畑
  - 6) 林野
2. 地域社会の構成
  - 1) 農村社会
  - 2) イエ
  - 3) ムラ
  - 4) 組合
  - 5) 広域組織
3. 特色のある村落
  - 1) 漁村
  - 2) 山村
  - 3) 開拓村
  - 4) 近郊村
  - 5) 沖縄の村落
4. 外国（南アジア）の農村
  - 1) 村落の立地
  - 2) 村内の社会階層
  - 3) 農業の変化

まとめ 地理学から見る農村

補論1 農村調査の方法

補論2 地図と写真の利用

成績評価の方法

前期末と学年末の試験またはレポートをそれぞれ40%ずつで評価し、残り20%は平常の出席により評価する（授業時間末に適宜小テストを行う）。

教科書

資料を授業時間に配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
都市地理学	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文2・3・4選必	4
		地理・環境2・3・4選	

#### 講義のねらい

モノ・ヒト・情報の交換や文化の創造空間として変化しつづけている現代都市のシステムやその機能及び都市の抱える諸問題をさぐる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。(1)都市の概念、(2)都市システム(順位規模法則・中心地理論・日本の都市システム)、(3)都市機能の分類(ハリス・ネルソン・石水・山口らによる研究)、(4)都市の内部構造(古典的モデル・因子生態モデル)、(5)都心機能(CBDの形成、垂直的・水平的機能分化)、(6)都市化と大都市圏(地価構造・超郊外化)、(7)居住空間(郊外住宅地・ジェントリフィケーション)、(8)都市住民の行動(生活時間と生活行動)、(9)都市空間の認知(メンタルマップ・居住地選好)、(10)都市環境の整備と保全(都市計画、緑地保全政策)、これらの項目について最近の都市地理学の研究成果を中心に概説する。

#### 履修上の留意点

毎時間の出席状況や授業への参加態度も重視する。

#### 成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)および学年末試験(1月)の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

#### 教 科 書

特に定めない。

#### 参 考 書 等

高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤 悟『新しい都市地理学』(東洋書林)2,500円  
 石水照雄編『都市空間のシステム』(古今書院)3,605円  
 高橋伸夫・谷内 達 編『日本の三大都市圏』(古今書院)4,326円  
 森川 洋『日本の都市化と都市システム』(大明堂)3,800円  
 荒井良雄・川口太郎・岡本耕平・神谷浩夫編訳『生活の空間都市の時間』(古今書院)3,000円  
 荒井良雄・岡本耕平・神谷浩夫・川口太郎『都市の空間と時間』(古今書院)3,090円  
 その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

#### そ の 他

講義は、参考書と配布プリント及びOHPを中心に行い、課題や小テストも実施する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
交通地理学	つちたに としはる 土 谷 敏 治	地文2・3・4選必	4
		環境・地理2・3・4選	

講義のねらい

現代社会において、1地域は人・物資・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っていると見えよう。本講義では、現実の交通現象や交通政策に加えて、これらの相互作用を含めた地域間の結びつきについても解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はこれまでの地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。

1. 交通と都市システム
2. 交通ネットワーク
3. 交通とアクセシビリティ
4. 都市圏内部における公共交通の現状と課題
5. 鉄道交通の現状と問題点
6. 航空交通の特色と都市間結合関係

履修上の留意点

多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

成績評価の方法

前期と後期それぞれの最終回の授業時間に試験を実施、その総合得点（すなわち、2回の試験の合計点）で成績を評価する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

井田仁康『航空旅客流動と空港後背地』（大明堂）  
奥井正俊『自動車交通の地域分析』（大明堂）  
奥野隆史『交通と地域』（大明堂）

そ の 他

後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化地理学	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	地文2・3・4選必	4
		環境・地理2・3・4選	

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼
6. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。  
レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化生態学	なかまた ひとし 中 俣 均	地文2・3・4選必	4
		環境・地理2・3・4選	

講義のねらい

「文化生態学」という学問の分野は、アメリカのC.O. Sauerを始祖とするBerkeley学派の文化地理学の一部門と位置づけられる。そのことを明確にしたWagner, P. & Mikesell, M. (1962) : 『Readings in cultural geography』では、文化生態学を「環境に対する人間（集団）の巧妙な操作を包摂する特定のプロセス」と定義し、また「（ある地域の）出来事の経過の内に暗示されているプロセスに関心を抱き」それを記述するものだとしている。このような点に鑑み、本講義では、わたしのフィールドである「沖縄」（ただし沖縄県とはかならずしも同一ではない）を対象にして、いわば「生態地誌」を展開してみようと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

詳しい講義のスケジュールについては、講義開始時に指示する。

履修上の留意点

時代遅れだとの噂も聞くが、主義として、うるさく出席をとる趣味はもたないので、教室には意欲のある学生だけが存在していると考ええる。よって、教室内においては、私語は厳に慎まれたい。

成績評価の方法

学期末および学年末の「試験」（形式については未定）による。

教 科 書

あえて特定のを指定はしない。毎回、プリント教材を配布して、それをもとに進める。

参 考 書 等

講義の理解に資するために下記のを座右におくことをすすめる。  
外間守善：『沖縄の歴史と文化』（中公新書）1986  
歴史教育協議会編：『知っておきたい沖縄』（青木書店）1998

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史地理学	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	地文2・3・4選必	4
		環境・地理2・3・4選	

講義のねらい

日本の事例を中心に歴史地理学の主な内容を概観する。  
地理学科の学生が歴史地理学的調査をする場合を考えて、近代以降の歴史地理学の資料について詳述する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
2. 歴史地理学の資料
3. 村落
4. 都市

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。  
レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
リモートセンシング	た な か やすし 田 中 靖	環境2・3・4選必 地文・地理2・3・4選	4

講義のねらい

リモートセンシングとは、離れた所から非接触で対象物を同定あるいは計測し、その性質を分析する技術の総称である。このうち、主に空中写真の判読や衛星画像解析から、地理学的に意味のある空間データを抽出する研究は、リモートセンシング研究の最も重要な一分野として位置付けられている。そこで本科目では、デジタル化された空中写真画像や人口衛星画像データを用いて、画像解析の基礎を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. リモートセンシング入門
  2. 画像処理の基礎
  3. 光学の基礎
  4. コンピュータプログラム作成によるデータ処理の基礎
  5. 画像計測
  6. 応用解析
- 最終成果物として、教科書（作業マニュアル）を作成する。

履修上の留意点

地図の読図・作図作業およびコンピュータによるデータ処理が好きな学生に向いている。

成績評価の方法

平常点と最終成果物で評価する。ただし、希望者には試験を行うので申し出ること。

教 科 書

長谷川均著『リモートセンシングデータ解析の基礎』（古今書院）3,500円

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

授業はPC教場での実習を中心に行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環境地理学	は や ふ ね げ ん ぼ う 早 船 元 峰	環境2・3・4選必 地文・地理2・3・4選	4

講義のねらい

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・水利用・災害などを通じ歴史的観点をふまえて論じる。

講義の内容・授業スケジュール

- ・北海道美瑛町・富良野市の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌侵食防止など）について。
- ・多摩川上流域の山腹斜面における日本古来の伝統農法と環境保全について。
- ・群馬県大間々扇状地における土地利用と水利用について。
- ・ビオトープ・環境基本計画について。

成績評価の方法

課題（主題図の作成）・小テスト・出席状況などによる平常点。

参 考 書 等

永見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）3,600円  
脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』（古今書院）3,675円

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計量地理学	つちたに としほる 土 谷 敏 治	環境2・3・4選必 地文・地理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法を理解するとともに、それらの方法を用いて実際にデータを処理・分析し、さらにその結果を解釈する能力を養うことを目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、下記の各項目について解説する。

1. 統計データの種類と特色
2. 統計データの集計
3. 基礎統計量
4. 代表的な度数分布の型
5. データの検定
6. 相関・回帰分析
7. 多変量解析

後期は、前期に学習した分析方法について、実際にデータを処理・分析・考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。また、担当者を決めて分析結果の発表を行い、全員で討論する。なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

#### 履修上の留意点

この授業は実習の側面ももっているため、毎回の出席と、後期においては課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft WindowsとMicrosoft Excelをおもに使用するため、これらを使いこなせることが履修の条件である。ただし、これらの未経験者であっても、前期において「計量地理学実習」を合わせて履修する場合は、本講義を履修することができる。また、総合情報センターを使用するため、その利用者登録を行う必要がある。

#### 成績評価の方法

前期：7月の最終回に試験を実施する。

後期：試験は行わず、提出されたレポート・発表内容・討論への参加状況を得点化する。

成績評価は、前期試験の得点、後期のレポート・発表・討論の評価点に出席率を加味して行う。

#### 教 科 書

とくに指定しない。

#### 参 考 書 等

奥野隆史『計量地理学の基礎』（大明堂）

野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』（古今書院）

#### そ の 他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

地  
理



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用地理学	たかぎ まきひろ 高 木 正 博	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	
		地理3・4選	

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学から講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利用・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域計画論	こんのしゅうへい 今 野 修 平	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	
		地理3・4選	

講義のねらい

地理学の研究対象である地域は、自然、歴史等の基礎条件の下、市場原理に基づく資本の動向と、社会的意志決断による政策選択により大きく影響を受け、日々新たになりつつ未来へ向けて人々の努力が続けられている。

本論は社会的意志決断による政策選択を主として取上げ、これが地域形成にもたらした影響とこの政策の在り方を考えることを講義のねらいとしている。地理学にとってSeinの科学からSollenの科学への道を切り拓こうとするものでもある。

戦後体制の中で体系化している準拠法、行政体系、政策の沿革等を認識した上で、体系上の基本計画となる全国総合開発計画を詳細に取上げ、現在審議中の次なる全国総合開発計画にも触れる。学習の一環として実地に則した学習の一つとして、夏休みには「ふるさとの未来像」と取組むこととしている。

履修上の留意点

本講義の関連科学として最も密接な領域は経済政策、交通計画、都市学、環境生態学等多岐に亘るため、幅広い学習が求められると共に、これを克服していく熱い情熱と意欲が求められる。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに取組む「ふるさとの未来像」の取組みと、年度末試験によるが、途中何回かの小論文テストとレポートがあり、重要事項の復習と思考力および論文作成能力向上のトレーニングを行う。

教科書

とりえず『第4次全国総合開発計画』（国土庁刊）を使用するが、国における政策の進展状況によっては、新しい刊行物を追加利用する。またコピーやOHPでの資料配布等も随時行なう。

参考書等

参考図書等は講義中紹介する。

その他

地域を地域住民の手で自らつくり上げていく上で、取組むべき姿勢、不可欠な視点、基礎認識として必要な学識、計画策定への思考方法の最も基本的領域に取組み、地域づくりの主人公としての市民が持つべき責務を痛感させられる講義にしたいと念じている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理情報論	むら やま ゆ う じ 村 山 祐 司	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	
		地理3・4選	

#### 講義のねらい

地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システムGISについて概説する。

GISは、地図（地域）情報と属性（主題）情報を一元的に取り扱う。多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。

GISは、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 地理情報の収集方法（文献）
2. 地理情報の収集方法（統計データ）
3. 地域分析に有用な統計パッケージ
4. 地理情報と空間分析
5. 多変量解析
6. 地理情報システムGISとは
7. GISのハードウェア
8. GISの発展史
9. GISのデータ構造
10. アナログ地図とデジタル地図
11. ラスターデータとベクターデータ
12. 社会モニタリング
13. GISの空間解析機能（オーバーレイ・バッファリング）
14. GISの空間解析機能（ネットワーク分析・テッサレーション）
15. GISの社会的応用（環境問題・防災）
16. GISの社会的応用（行政・民間）
17. インターネットによるGIS・地理情報の入手
18. インターネットGIS
19. GISの将来
20. 地理学とGIS（まとめ）

#### 成績評価の方法

期末テストの結果に出席回数を加味して行う。

#### 教科書

中村和郎・寄藤 昂・村山祐司編『地理情報システムを学ぶ』（古今書院）3,000円 1998年

#### その他

- 1) 駒澤大学「情報処理センター」において、GISのデモを行う。
- 2) GIS関連の企業・行政機関を訪問し、地理情報システムの使われ方に関して実地見学を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法 (現地調査含む) B	た な か 田 中 やすし 靖	10以降入学生/地理1・3選	4
地理学調査法 (現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

現地調査は、多くの分野で最も重要な基礎である。しかしながら、現地調査から有益な情報を得るためには相応の知識・技術などを習得する必要がある。この科目では、主に地形、地質、植生といった自然地理学の現地調査法を習得することを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地理学調査法入門
2. 調査地に関する文献調査・データ解析
3. 現地調査（本年度は、巡検予定地を「伊豆大島」とし、10月上旬に3泊4日の日程で実施する予定。そのうち、最後の1日はグループ別自主調査とする。）
4. 調査結果の発表（レポートの提出、12月末予定）

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

平常点とレポートで評価する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法 (現地調査含む) D	な か む ら 中 村 和 郎 かずお	10以降入学生/地理1・3選	4
地理学調査法 (現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

小地域の調査法を学ぶ。事前の文献調査、現地における観察と聞き取り調査、事後の報告書作成の3段階がある。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 事前調査：文献調査、調査地の主題図作成
2. 現地調査：観察・観測法 聞き取り アンケート調査
3. 調査報告書の作成

履修上の留意点

全員の協力によって共同調査を行う。協調的であってほしい。

成績評価の方法

事前調査のレポートと現地調査のレポートを、平常の取り組み方と合わせて評価する。

参考書等

市川健夫『フィールドワーク入門—地域調査のすすめ』（古今書院）1985年

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学調査法 (現地調査含む) F	す や ま 須 山 さとし 聡	10以降入学生/地理1(選)	4
地理学調査法 (現地調査含む)		9以前入学生/地理3(必)	

講義のねらい

本授業はフィールドワークを主体とした卒業論文の作成を前提とし、研究課題の設定・事前調査・調査計画の立案、現地でのフィールドワーク、収集資料の分析、報告書の作成といった一連の過程を経験し、そのなかから地理学調査の具体的な方法を学びとることを目的とする。要は卒業論文を書くときにまごつかないようにするための授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は鹿児島県の奄美大島を対象地域とし、6月下旬に5泊程度の現地調査を実施する予定である。現地調査実施前には、研究課題の設定（文献講読を含む）、および調査計画の立案（調査票の作成などの具体的な準備を含む）までを行う。後期は現地で収集した資料の分析、報告書の執筆を行う。報告書原稿は最低でも3回以上チェックするので、教員・学生ともどもかなりの負担となることが予想される。

履修上の留意点

交通費・宿泊費に多額の出費（8万円程度か?）が見込まれるので、本当に関心のある学生のみに参加してもらいたい。現地調査は、数人のグループを単位としてそれぞれテーマを設定する。当該地域には膨大な研究蓄積があるので、先行研究を参照してテーマを決めてもらいたい。興味本位で安易なテーマを選ぶと苦勞するのは本人たちである。

成績評価の方法

参加の積極性と報告書の達成度を規準とする。

参考書等

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル—よりよい地理学論文作成のために—』（古今書院）1994年  
市川健夫『フィールドワーク入門—地域調査のすすめ—』（古今書院）1985年  
上野和彦編『地域研究法』（大明堂）1990年

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学調査法 (現地調査含む) H	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	10以降入学生/地理1(選)	4
地理学調査法 (現地調査含む)		9以前入学生/地理3(必)	

地  
理

講義のねらい

1. 人文地理の諸テーマについて地域調査の経験をすること。
2. 収集した資料を、体裁の整ったレポートにまとめる練習をすること。

講義の内容・  
授業スケジュール

現地調査に出かける前に、文献・統計などの資料を収集し、簡単な事前レポートにまとめる。現地では、観察・資料収集のほか、関係者に聞き取り調査を行なう。その後、集まった資料を分析・整理し、最終的なレポート・報告書をまとめる。

履修上の留意点

レポートはワープロ書きとする。  
体裁・内容の不十分なレポートは、現地の方に送って見ていただいても恥ずかしくないよう、何度でも書き直してもらおう。

成績評価の方法

成績評価は、授業の出席状況、現地での調査態度、提出されたレポートの内容などを総合して判断する。

教科書

使用しない。

参考書等

使用しない。

その他

調査地は福島県、現地調査の期日は9月下旬を考えている。  
詳細は4月のオリエンテーション時に発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法 (現地調査含む) J	はやふね げんぼう 早 船 元 峰	10以降入学生/地理1:1選	4
地理学調査法 (現地調査含む)		9以前入学生/地理1:必	

講義のねらい

文献目録の作成方法・資料データの収集・測定方法・分析方法や現地調査の方法を修得、さらに教室の講義のみでは理解しがたい地理的事象を、学生自らの現地での体験（観察・調査）を通じて理解してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

現地調査 北海道美瑛町・富良野市他  
期日 未定（3泊4日）  
目的 自然と人間とのかかわりあい  
○自然班・土地利用（農業）班・リゾート班に分れ行動する。  
○地形図より主題図作成、当日レポート・個人レポート（実施後）を課し、成果集を作成する。

履修上の留意点

班作業もあり、欠席なきよう努めること。

成績評価の方法

事前調査（関連した論文の発表・主題図作成）・現地調査・レポート・出席状況などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習IB	こいけ かずゆき 小 池 一 之	10以降入学生/地理1:1選	4
地理学演習I		9以前入学生/地理1:必	

講義のねらい

日本列島の自然環境は変化に富み、国土面積に比較して長い海岸線を持っている。今年度の地理学演習Iでは、日本列島を取り巻く海岸の生い立ちとその現状について演習を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期  
演習参加者全員の共通調査海岸として、房総半島南部を取り上げたい。富浦セミナーハウスを拠点として、この地域の海岸の地形発達、開発の歴史、漁業問題などに触れてみたい。

夏季休暇中

演習参加者各人が、それぞれ一つの海岸地域を選び、何らかの現地調査を行う。

後期

演習参加者各人の調査結果を順次発表する。

成績評価の方法

基本的には平常点で評価する。年度の最後に共通調査地域と各人の発表レジュメをまとめて小冊子としたい。

教科書

特に指定しない

参考書等

適宜紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習ID	た か き ま さ ひ ろ 高 木 正 博	10以降入学生/地理I:選	4
地理学演習I		9以前入学生/地理I:必	

#### 講義のねらい

水文学や水の地理学に関する論文を読み、研究の動向や論文の書き方などを修得することが目的である。前・後期の発表では、参加者相互に活発な討論をして意識を高めてゆく。場合によっては現地調査（巡検）も考慮する。多くの研究論文を読み、興味が持てそうな研究テーマを見つけてほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、各自が関心のあるテーマを提起し皆で討論する。あらかじめ発表テーマ・発表日を決めておき、発表当日は要旨をまとめたレジュメをもとに全員でその内容を討論する。

後期も同様に発表形式をとるが、論文紹介に重点を置く。論文は各自の研究テーマと関連したものを選択し、その内容および各自のテーマとの関連性について詳しく説明する。または、夏休みの調査結果などを報告してもよい。

#### 履修上の留意点

受講者は日頃から積極的に発表・討論に加わる意識が求められる。  
発表者は無断欠席しないこと。

#### 成績評価の方法

発表内容、レポート、討論への参加状況などの平常点で決める。

#### 参 考 書 等

肥田 登『秋田の水—資源と環境を考える—』（無明舎出版）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習IE	な が む ま の ぶ お 長 沼 信 夫	10以降入学生/地理I:選	4
地理学演習I		9以前入学生/地理I:必	

#### 講義のねらい

水文地理学とその応用（水環境、水資源、水利用、自然災害など）に関連する文献・資料の研究を中心に行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：水文学関係の文献・資料を用い、水の地理学に関する知識を養うとともに、論文構成のあり方やその読み方などを学ぶ。また、水文調査から得られたデータを用い、望ましい図表類の作成などを検討する。

後期：受講者各自が関心をもつ論文を2編以上読み、これを基に要旨の作成、口頭発表並びに討論を行う。

#### 履修上の留意点

少人数のゼミ形式で行うため、発表や討論への積極的な参加を希望する。

#### 成績評価の方法

出席回数、口頭発表、レポート作成などを基にして総合的に評価する。

#### 教 科 書

前期に使用する文献・資料については、担当者が用意する。

#### 参 考 書 等

必要に応じて適時指示する。

#### そ の 他

年度内に1回（時期未定）、1泊2日程度の小巡検あるいは合宿を実施する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習IJ	つちたに としはる 土 谷 敏 治	10以降入学生/地理1・1選	4
地理学演習I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

都市・商業・交通・人口・などを主要なテーマとして、論文の講読によって、論文の検索方法や読解力を養うとともに、研究テーマの設定、研究の意義づけ、分析方法の検討、資料の検索や収集、調査計画の立案、分析結果の考察のしかたなどについて討論し、卒業論文作成に向けての総合的な能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

4月～10月  
論文の講読を行う。毎回担当者を決め、その担当者が、要旨や資料を用意した上で論文要旨を発表する。その後、取り上げた論文の内容、長所、問題点などについて参加者全員で討論する。  
11月～1月  
それまでの学習成果をふまえ、個人あるいはグループに分かれて、模擬的な研究計画の立案、発表、その内容の適切さ・問題点について全員で討論し、調査・研究能力をさらに高める。

履修上の留意点

必ず4月の第1回目の授業に出席すること。その際に、発表の方法や発表の順序・担当者などを決定する。  
演習科目であるため、毎回必ず出席するとともに、発表の準備やその内容、討論への積極的参加が重要である。また、論文講読に関しては、全員が事前に当該論文を読んでおくことを前提とする。発表者は事前に配布資料を用意しておく必要がある。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、積極性、討論への参加状況を総合して評価する。

教科書

教科書はとくに指定しないが、授業時間に取り上げる論文が、教科書に相当する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習IK	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	10以降入学生/地理1・1選	4
地理学演習I		9以前入学生/地理3必	

地 理

講義のねらい

人文地理学に関する近年の専門分野の論文をレビューすると同時に、各自のテーマに沿った地域調査を実施することで人文地理学研究的今日の課題を探ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

人文地理学に関する論文レビューと夏休みの個人別地域調査を中心に行う。全員が人文地理学の課題論文を複数編レビューし、レポートにまとめ、発表・議論することで、今日の研究動向を把握するとともに、現地調査(個人)によって地理的地域の捉え方、分析方法、まとめ方などについて学ぶ。課題論文は、原則として1995年以降の人文地理、地理学評論、地理科学、季刊地理学に掲載された地域調査法に基づく実証的論文の中からレビューすることになる。

履修上の留意点

課題論文が多く出されるので、出席状況や授業への参加姿勢も重視される。課題論文の発表に関する年間スケジュールを作成するので、特に欠席・遅刻をしないこと。

成績評価の方法

期間中に出される課題論文に関するレポートや発表内容、授業への出席状況(一定基準以上)や授業への参加態度などを総合的に評価する。

参考書等

特に定めないが、課題論文の詳細は個人の希望も聞いて5月に決定する。夏季休業中の地域調査レポートの詳細は5月以降に連絡する。

そ の 他

課題論文のレビュー結果は、レポートにまとめ、ゼミ員全員に配布(各自で印刷)した上で、発表することになる。『地理学文献目録』(図書館)などを利用した十分な文献調査が必要である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	地 理 4 必	4

講義のねらい

1. 卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになること
2. 人前でわかりやすく発表できること
3. 他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになること

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：従来の研究例を参考に、自分の卒論の構想について発表する（2回）。  
後期：現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を行なう（2回）。  
1月：卒論発表会。

履修上の留意点

発表の後は、受講者間で互いにディスカッションをする。  
素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。  
もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。  
就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。  
4月最初の授業は、発表スケジュールを決定するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。  
卒業論文の評価とは別である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	こ い け か ず ゆ き 小 池 一 之	地 理 4 必	4

講義のねらい

地形学を含む自然地理学の基礎から最新の情報までの習得を主目的とする演習である。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず演習参加者全員に共通するテーマを設定し、次いで、各人のテーマ（卒論論題）を決定する。前期は共通テーマに対応する現地調査地域を決め、同調査を行なう。平行して、各人のテーマにそった研究・調査をすすめる。夏休みに各人のテーマにそった現地調査を実施し、後期はゼミ形式で討論を進めていく。

成績評価の方法

平常点をもって評価する。

教 科 書

演習進行時に、適宜紹介する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	さ く ら い あ き ひ さ 桜 井 明 久	地 理 4 必	4

講義のねらい

農村・農業地理学を中心とする人文地理学、地理教育などに関する卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のはじめに、論文作成の方法・スケジュールについて簡単に説明し、その後、各自、研究テーマと研究方法、調査の具体的手順を考えてもらい、ゼミ形式でそれを深め合う。後期には、毎回、簡潔に調査結果の中間報告を行い、研究を深め合う。卒論完成後は、要旨集を作り、発表会を行う。

履修上の留意点

卒業論文は各自の研究ではあるが、互いに研究を助言し、仲間同士で研究を深め合うことが求められる。欠席する場合は、事前に、各自の研究の進捗状況をレポート用紙に簡単にまとめて提出しておくこと。論文、ゼミ資料はワープロで作成する。

成績評価の方法

卒業論文の成果、ゼミへの出席、討論への貢献の程度、他の人の研究への助言の適切さなどから、総合的に行う。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 II	佐藤 哲夫	地理 4 必	4

講義のねらい

この演習では卒業論文作成の方法を指導する。前半には合同での指導も行なうが、後半は各自の研究計画に合わせて対応するので、進行は各自の責任となる。

講義の内容・授業スケジュール

4月の第1回の授業までに研究対象を決定する。国内の地域を研究する場合は、調査地域をカバーする地形図や住宅地図などを直ちに入手し、現地を踏査して概況を把握しておくこと。

その後は、おおむね次のようなステップに従って研究を進める。5月末の段階で2まで、9月末の段階では4までを目標に進める。

- 1 研究対象を決定し、その概況を把握して研究テーマの方向付けを行う。
- 2 文献リストを作成し、重要な文献を読んで研究の目的・方法を限定する。
- 3 仮説（あるいは暫定的な解釈）を設定する。
- 4 現地調査または資料調査により、仮説の検証に必要なデータを収集する。
- 5 収集した情報を整理し、章立てによって論文の構成を組み立てる。
- 6 論文の構成を修正しつつ、執筆を進める。

今年度は前半に研究テーマの近い受講者を2ないし3のグループに分けて、文献の輪読を行なう。

履修上の留意点

緊密なコンタクトをとって相談を重ねることが重要である。Eメールを通じた指導も可能なので、積極的に利用してほしい。報告・相談する場合には、必ずB5またはB4版の報告メモを作成してくること。レポートに書くことで頭の中が整理できる。

成績評価の方法

参加の積極性で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 II	須山 聡	地理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成を指導する。

講義の内容・授業スケジュール

毎回3～4人ずつ進捗状況を発表する。前期はテーマの決定、対象地域・方法・調査計画の立案、予備調査の実施までに到達することを目標とする。テーマは各自の構想を提示してもらい、参加者全員の討論でより緻密な内容に仕上げる。もちろんこれらの作業が早く進行すれば、前期中に現地調査やデータの分析にとりかかることも可能である。フィールドワーク主体のテーマを設定した者は、夏休みが勝負となる。後期は収集したデータの分析・整理を前期に立てた予定にしたがって遂行する。その経過は逐次発表し、参加者全員からの意見やサジェスチョンを盛り込み、内容を高度化させる。執筆段階においては、原稿のチェックを随時行う。

履修上の留意点

多くの参加者にとって卒論は学校教育の締めくくりとなるものであろう。これ以上「勉強」することはないのであるから、これまで得てきた能力のすべてを傾注されることを望む。就職活動などで4年生は多忙であろうが、中途半端な「やっつけ仕事」として卒論を捉えられることをもっとも危惧する。最初の授業までに卒業論文の構想を立案しておくことを希望する。

成績評価の方法

演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。

教科書

とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。

その他

授業時間内で不足な場合、個別指導を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学演習Ⅱ	<small>た か ぎ ま さ ひ ろ</small> 高 木 正 博	地 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、(1)適切な論文のテーマを設定すること、(2)研究成果の要旨をまとめて発表すること、(3)論文作成の具体的な方法を指導することなどである。

授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や製図作業などを課題として指示する。また、前期と後期の発表では、参加者相互に活発な討論をして問題意識を高めてゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は卒論題目の決定を目指す。各自がこれまでに描いてきた構想について発表し、その内容に応じた適切なテーマを考える。現地における調査研究の方法についても検討する。

後期は、現地調査や文献・資料から得た結果を整理・考察して発表する。その際、研究上重要な主題図を示す必要がある。これについて、出席者全員で討論しあい内容の充実をはかる。このほか、執筆要領など論文作成上の諸注意をおこない提出に備える。

履修上の留意点

テーマに沿った研究・調査は、早くから手掛けることが重要である。

受講者は、日頃から積極的に発表・討論に加わってほしい。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいられないはずである。場合によっては調査に協力してもらうこともできるであろう。授業を欠席する場合は事前に連絡すること。

成績評価の方法

課題の提出状況、口頭発表や討論への参加状況など、平常点で評価する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

基本的には教場を使用するが、少人数の時や文献調査が必要な時は教員研究室も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学演習Ⅱ	<small>た な か や す し</small> 田 中 靖	地 理 4 必	4

講義のねらい

自然地理学とその周辺分野の最新の知見を理解する基礎学力を身につけ、卒業論文を完成させることを目標とする。基本は現地調査であるが、必要に応じてGIS、GPS、RSなどの最先端の技術も駆使して、グローバルな視点から地球システムの動態把握や環境問題に取り組みたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

4月：研究テーマの設定  
5月～7月：共通テーマでの勉強会、巡検など  
夏休み前：方針発表  
夏休み：調査、解析作業  
10月：中間発表  
12月：卒業論文提出

成績評価の方法

平常点で評価する。

教 科 書

適宜紹介する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	つちたに としはる 土谷 敏 治	地 理 4 必	4

講義のねらい

3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをつくり、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、資料整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 4月：これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する。  
 5・6月：各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する。  
 7月：夏休み中の研究・調査計画について討論する。  
 8月：夏休み中に各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる。  
 9～10月：研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする。  
 11～12月：最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす。  
 1月：卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が研究成果を自己評価する。

履修上の留意点

授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2～3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講生が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

成績評価の方法

発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となる。

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』（古今書院）

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	ながぬま のぶお 長 沼 信 夫	地 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心に行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、文献・資料の蒐集・整理、調査・研究の方法、論文の書き方、さらに各自のテーマに関連する文献の紹介などについてゼミ形式で行う。

後期は、各自のテーマによる調査・研究の成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間報告および討論を行っていく。

履修上の留意点

最近の卒業年次生諸君は、就職活動のためと称して頻繁に欠席する。最後の年度であるので、極力出席するよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

出席回数、文献紹介（口頭）、レポート、卒論中間発表内容などを基に総合的に評価する。

教 科 書

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

そ の 他

この演習では、卒論作成に関する話題提供や討論が中心となるため、自主的に努力することが期待される。また、後期には卒論発表会のための合宿を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	なかむら かずお 中村和郎	地理4必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。卒業論文は、4年間に学んだ専門的知識と技術とを全部活かして作成するものである。自分が選んだ課題について、必要な情報を収集処理して、誰もが納得する説明を自らの力で見出す。

講義の内容・  
授業スケジュール

論題の決定 研究計画の作成 文献検索 文献研究 現地調査 研究成果の整理 研究成果のプレゼンテーション

履修上の留意点

大学教育の中で学生がもっとも自主的、主体的に学ぶことができる授業である。個人々と接触する機会をできるだけ多くして、お互いに納得のいく最終学年にしたい。わからなくなったり、行き詰まったりしたときこそ、頻りに相談に来てほしい。先輩や同級生にも指導を仰ぐ心構えを期待したい。就職活動などを理由に無断欠席することがないようにしてほしい。

成績評価の方法

平常の研究態度を重視する。

参考書等

浮田典良編『ジオグラフィックパル 地理学便利帖』（海青社）  
浮田典良『大学地理教育とレポート』（古今書院）  
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）  
正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	はしづめ なおみち 橋詰直道	地理4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成のための指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

4～5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う。具体的な授業は、提出された年間スケジュールを基に次のように行う。

6～7月は、それまでの文献調査などの成果をもとに中間発表会を個人別に実施する。

9～11月は、夏休中およびその後の調査成果をもとにした経過報告会を行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方についても具体的に検討する。

論文提出後、内容・構成など卒業論文として不完全なものは12月に書き直しを要求する。

1月には卒論要旨集用の原稿の提出、同要旨集の印刷・製本を行う。1月末には卒論発表会を行う。この発表会には3年の次期演習Ⅱ履修予定者も全員参加してもらう。

履修上の留意点

卒業論文はワープロで作成する。卒業論文の提出後、1月に卒業論文要旨集の作成と卒業論文発表会も行うので、積極的な研究姿勢が重要である。

成績評価の方法

演習Ⅱ（卒論発表会を含む）の授業への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。

参考書等

正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円

その他

事前に『地理学文献目録』（図書館）などを利用した十分な文献（論文）調査が必要である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 II	はやふね げんぼう 早 船 元 峰	地 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成および口頭発表の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前半は論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理・写真撮影などの方法について講じる。後半は各自テーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間発表）や関連した論文の内容の紹介およびコメントをしてもらう。

履修上の留意点

就職活動や教育実習などで多忙であろうが、努めて出席のこと。活発な討論がなされるよう積極的態度をのぞむ。

成績評価の方法

出席状況・口頭発表・レジュメなどで評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
巡検A（前期）	たけうち けいいち 竹 内 啓 一	地文・環境・地理 <small>（選択）</small>	1

講義のねらい

「東京における郊外住宅地の形成と変貌」というテーマでの講義および週末の日帰り巡検を2回おこなう。

講義の内容・授業スケジュール

5月中に2回おこなう日帰り巡検は、それぞれ、第2次世界大戦前の郊外住宅地と第2次世界大戦後のそれを対象にする。

履修上の留意点

巡検参加とレポート、および講義への出席状況による。

成績評価の方法

- ・山口廣（編）『郊外住宅地の系譜』（鹿島出版会）1987年
- ・片木篤・藤谷陽悦・角野幸博（編）『近代日本の郊外住宅地』（鹿島出版会）2000年
- ・佐藤滋『集合住宅団地の変遷』（鹿島出版会）1989年
- ・越沢明『東京都市計画物語』（日本経済評論社）1991年
- ・越沢明『東京の都市計画』（岩波書店）1991年
- ・田村明『江戸東京まちづくり物語』（時事通信社）1992年
- ・藤森照信『明治の東京計画』（岩波書店）1990年
- ・陳内秀信『東京の空間人類学』（筑摩書房）1985年
- ・『東京人』編集室（編）『江戸・東京を造った人々・都市のプランナーたち』（都市出版）1993年
- ・川野秀樹『周縁を呑み込んだ都市』（文芸社）2002年

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
巡検B（後期）	さと とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地文・環境・地理 <small>（選択）</small>	1

講義のねらい

緑道沿いの市街地の景観分析を行なう。とくに景観を構成する要素としての「緑」に注目して、そのヴォリュームと建築物との関連性を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに緑道について学んだ後、休日などを利用して各自が踏査を行なう。沿道の印象などを報告してもらう。その結果をもとに、調査地区や詳細な調査内容を設計する。  
現場での調査は早い時期（遅くとも10月中旬まで）に1～2日で協同して行なう。写真撮影と沿道の建物の状況調査が主な作業になる。室内での地図化と写真計測の結果をつきあわせて、分析を行なう。

履修上の留意点

「緑」の調査なので適期のがすことはできない。短期集中で行なう。汗をかく事をいとわない人に参加してほしい。

成績評価の方法

参加の積極性で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
巡検C (前期)	こ い け か ず ゆ き 小 池 一 之	地文・環境・地理(1)(1)選	1

講義のねらい

野外での地形を中心とする地理的事象や景観などの観察・見学・調査を通して、地域の特色の一端を検討・理解することを目指す。地理学では「百聞は一見にしかず」という諺があるように、現地調査(巡検)に勝る教育方法はまず見あたらない。

講義の内容・  
授業スケジュール

この科目は巡検(現地研究)を中心に実施するが、その準備段階で文献・資料の収集や地図・空中写真の判読、現地研究後には資料整理や試料の分析およびレポート作成作業などを行なう。

現地研究は、次の要領で実施する予定である。  
 主要テーマ：扇状地や河成段丘の形成過程と土地利用の変遷  
 巡検地域：栃木県那須野が原一塩原温泉  
 巡検時期：平成14年6月上旬(2泊3日)

履修上の留意点

前期に行なう。特に出席を重視するので、遅刻・欠席はしないよう望む。

成績評価の方法

出席回数とレポートの提出などによって評価する。

教科書

必要な地形図・文献・資料などは、現地研究前の準備段階で指示する。

その他

ゼミ形式で行なうため、学生諸君の自主性を期待する。また、現地研究の際には車を使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
巡検D (後期)	な が む ま の ぶ お 長 沼 信 夫	地文・環境・地理(1)(1)選	1

講義のねらい

野外での地理的事象や景観などの観察・見学を通して、自然や社会環境の地域的特色の一端を検討・理解することを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

この科目は巡検(現地研究)を中心に実施するが、その準備段階で文献・資料の収集や輪読、現地研究後には資料整理やレポート作成作業などを行なう。

現地研究は、次の要領で実施する予定である。  
 主要テーマ：地理学的視点から見た自然環境と人々の生活環境  
 巡検地域：北伊豆地域  
 巡検時期：平成14年10月29日(火)～31日(木)〈2泊3日〉  
 巡検内容：1)伊豆の火山地形と海岸地形  
 2)柿田川の湧水  
 3)丹那盆地の生活と丹那断層  
 4)西伊豆・戸田村の生活と文化  
 5)その他

履修上の留意点

後期に実施する。特に出席を重視するので、遅刻・欠席はしないよう望む。

成績評価の方法

出席回数とレポートの提出などによって評価する。

参考書等

必要な地形図・文献・資料などは、現地研究前の準備段階で指示する。

その他

ゼミ方式で行なうため、学生諸君の自主性を期待する。また、現地研究の際には車を使用する予定である。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
図学実習（後期）	しみず ちようせい 清水 長 正	地文・環境・地理 <small>1</small> ・1選	1

講義のねらい

本実習では、地形図図式の理解、地図製図に関する種々の技術の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の内容について、ミニ試験、各種の成果品の作製などをベースに実施する。
- (1) 現在、2万5千分1地形図は地理調査等の基図として最も利用されている。この地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』である。地理調査を行うための利用者としても、地形図の性質を知ることが意味のあることと思われるので、ここでは『地形図図式』を読み合わせ、ミニ試験などを実施しながら、その内容の理解を深めてもらう。
  - (2) 製図ペン・ペン定規（ガラス棒）を用いて、1/5000国土基本図程度の地図製図作業を実施する。
  - (3) 作図ソフトを用いた地図製図法や数値地図の利用法について実習を行う。

履修上の留意点

地学・測量学などの講義は、できれば同時に履修していることが望ましい。

成績評価の方法

ミニ試験、製図成果品等により評価する。

教科書

『昭和61年2万5千分1地形図図式』（日本測量協会）

参考書等

使用する地形図等は実習中に指示する。

その他

半期の実習で、時間が少ないので、(2)、(3)は実習中または冬休みの宿題となろう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本地誌	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文・環境・地理 <small>1</small> ・1選	4

地  
理

講義のねらい

日本の農村はいかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、動態地誌的に日本列島の地域的特色とその変容過程を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。(1) 自然環境と生活（気候景観、水の利用、地下資源の利用、植物群落と農耕、自然災害）、(2) 中山間地域の変容（森林の保全と活用、棚田の保全と活用）、(3) 兼業化の進展（兼業化と自立型農業地域、農村工業）、(4) 園芸農業地域の変貌（都市農業、近郊農業地域、輸送園芸農業）、(5) 余暇地域の変容（ふるさと運動・農村観光・スキーリゾート）、これらの項目について各地の事例研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

毎時間の出席状況や授業への参加態度も重視する。

成績評価の方法

中間試験（7月最終授業日）及び学年末試験（1月）の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験（課題や小テストを含む）の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

山村順次編『図説日本地誌』（大明堂）2,750円  
石井素介・浮田典良・伊藤喜栄編『図説日本の地域構造』（古今書院）2,527円  
原 剛『日本の農業』（岩波新書）620円  
佐藤誠『リゾート列島』（岩波新書）520円  
平松守彦『地方からの発想』（岩波新書）550円  
田村明『まちづくりの実践』（岩波新書）660円  
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、配布プリントとOHPを中心に行い、課題や小テストも実施する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外国地誌特講	うめはら ひろみつ 梅 原 弘 光	地文・環境・地理(1)・(2)選	4

講義のねらい

フィリピン共和国が戦後歩んだ社会経済発展の過程を振り返りながら、全体として社会がどう変わり、いかなる地域変化があったか、その実態とメカニズムを考察する。前半では、東南アジア地域全体の歴史的経過と現状に注目、後半でフィリピンに焦点を当てた地誌を講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半：東南アジアの地理的位置、稲作発祥と伝播、植民地支配、農民世界、巨大都市形成、観光と環境、  
後半：フィリピンの農村社会不安、社会経済開発（工業化、農地改革、「緑の革命」）、社会変容（都市化、農業商業化、農村階層分化、労働力移動）、地域変化（森林破壊、アップランドの居住地域化、地域間格差拡大）

履修上の留意点

1回ごとの読み切りではないので、出来るだけ連続して授業を聞いて欲しい。

成績評価の方法

平均点と夏休み中のレポートおよび期末試験

教 科 書

授業中に指示する。

参 考 書 等

授業中に指示する。

そ の 他

講義が中心となる。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
アジア地誌	さとうてつお 佐藤哲夫	地文・環境・地理(1)・(4)選	4

### 講義のねらい

この講義では、タイランドに焦点を合わせて東南アジアの地誌を講じるが、話題をタイランドに限定するわけではない。下に述べるように、各章ともまた東南アジア全体に共通する特徴について論じ、その後タイランドを例として詳しく学ぶ。まず補章として、卒論程度でも実行可能な、東南アジアでの簡単な調査法を紹介する。外国での地域文化・環境研究法の例として学んでほしい。

### 講義の内容・授業スケジュール

序 東南アジアはどういうところか

#### 第1章 自然景観と地域

1. 東南アジアの気候 1) 熱帯の気候 2) モンスーン 3) ドライゾーン
2. 東南アジアの地形 1) プレート運動 2) 川が造る地形 3) 海岸の地形と生物相
3. タイランドの自然地域 1) 季節と暦 2) チャオプラヤ川流域の自然  
3) メコン川流域の自然 4) マレー半島部の自然

#### 第2章 伝統的生活様式

1. 東南アジアの森林 1) 森林の分布 2) 山地の焼畑農業 3) 沿岸低湿地の生業
2. 東南アジアの稲作 1) 稲作の拡大 2) 稲作と水利 3) 稲作技術の改良
3. 東南アジアの民族 1) 諸民族の分布 2) 民族文化の基層 3) 外来文化の影響
4. タイランドの民族 1) タイ族とタイランド 2) 農業と集落 3) 国内の少数民族

#### 第3章 都市の文化景観

1. 東南アジアの伝統都市 1) 宗教と都市 2) 交易と都市 3) 政治と都市
2. 東南アジアの近代都市 1) コロニアルタウン 2) 後背地の開発  
3) チャイナタウン
3. タイランドの王都 1) 古代都市 2) チェンマイとアユタヤ 3) バンコクの建設

#### 第4章 経済と現代文化

1. 東南アジアの社会 1) 独立と経済開発 2) 二重経済と社会 3) 新しい社会階層
2. 東南アジアの工業化 1) 工業化と経済成長 2) 巨大都市の発展 3) ボータレス化
3. 現代のタイランド 1) 近代国家の成立 2) 農村開発と地方都市  
3) 巨大都市バンコク 4) パーツ経済圏の発展

結 再び、東南アジアはどういうところか

補論1 地図に見える東南アジア

補論2 都市での景観観察

補論3 農村での景観観察

前期末と学年末の試験またはレポートをそれぞれ40%ずつで評価し、残り20%は平常の出席により評価する(授業時間末に適宜小テストを行う)。

### 成績評価の方法

### 教科書

資料を授業時間に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ地誌	にへい たかあき 仁 平 尊 明	地文・環境・地理Ⅰ・Ⅳ選	4

講義のねらい

南北アメリカの自然と人間生活について配布資料をもとに講義します。南北アメリカの範囲は広いので、全体を概観したのち、いくつかの特徴的な地域をとりあげます。その際、とくにアメリカ合衆国とブラジルに注目します。

講義の内容・  
授業スケジュール

1) 北アメリカの自然、2) アメリカ合衆国の歴史と社会、3) アメリカ合衆国の工業と都市、4) 各論1、カリフォルニア（ロサンゼルスとサンフランシスコ、セントラルバレーとフルーツ栽培、日系移民など）、5) 各論2、グレートプレーンズ（冬小麦地帯とセンターピボット、ダストボウルと土壌浸食など）、6) 各論3、オクラホマ・テキサspanハンドル地方（トルネードアレイ、X I T 牧場、企業的養豚業など）、7) 南アメリカの自然、8) ブラジルの歴史と社会、9) ブラジルの工業と都市、10) 各論4、ノルデステ（さとうきびと製糖業、砂漠化と貧困の問題、海岸リゾートなど）、11) 各論5、パンタナール（野生動物とエコツーリズム、ファゼンダと牧畜など）

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を持参すれば授業の理解が深まります。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と出席回数によります。出席回数が基準以下の時は取り消しとみなします（概ね、3分の2以上）

教科書

使用しません（授業毎にプリントを配布）

参考書等

授業毎に紹介します。

その他

質問などは授業の前後かメールで受け付けます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ地誌	さくらい あきひさ 桜 井 明 久	地文・環境・地理Ⅰ・Ⅳ選	4

講義のねらい

自然環境と人間活動との関係、文化の地域的多様性と共通性、経済活動の多様性に着目しながらヨーロッパ全体を眺め、その核心部である北西ヨーロッパの地域性を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

文化地域としてのヨーロッパの共通性と多様性を様々な分布図の重ね合わせから考え、その後、中核部としての北西ヨーロッパ、特にドイツについて、特にその農業の発達、地域性、近年の農村・農業の状況を、日本のそれと対比しながらその地域性を考えたい。後半は、資料の見方についてとくに配慮したい。

履修上の留意点

出来る限り、授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートに書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

出席とミニレポート30点、読書レポート30点、試験40点といったバランスで評価したい。

教科書

前期：ジョールダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』（大明堂）5,160円  
後期：桜井明久『西ドイツの農業と農村』（古今書院）4,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済地理学	なまいざわ 生井 沢 すすむ 進	地文・環境・地理(1)・1選	4

講義のねらい

経済地理学の対象とする範囲は、農業、製造業（工業・鉱業）、流通（商業）、サービス、そして都市と多岐にわたっている。本講義ではこのうち、流通活動の変化について、社会経済状況の変化や、都市構造・都市システムとの関連を中心として解説してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては商業活動の特徴、商業活動の変化から都市構造や都市システムの変化にアプローチしてゆく。後期には今度は都市構造、商業立地、消費者行動の側面から流通構造の変化にアプローチするという方法を探って行く。

履修上の留意点

次の成績評価の方法とも関連するが、夏季休暇中にレポートの作成と提出を義務付ける。成績評価の半分を占めることから、レポートを提出しない場合は単位が取れないことを留意しておいて欲しい。

成績評価の方法

夏季休暇中に作成したレポートと期末の定期テストの結果を中心とするが、前期、後期に少なくとも1回は課題レポートが要求される。

教科書

講義の最初に参考図書は指定する。その他には講義毎に随時プリントを配布して講義を進めてゆく。

その他

授業の方法は基本的には講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業地域論	すやま 須 山 さとし 聡	地文・環境・地理(1)・1選	4

講義のねらい

日本の在来工業地域を事例に、地域に展開する諸産業の地域的な分析方法を提示する。講義の最初では、経済地理学的な分析の枠組みを批判的に提示する。工業は従来よりその経済的側面が強調され、立地・集積といった分布現象や工業地域に内包されたメカニズムもまた、経済的ロジックに基づいて説明される傾向が強かった。そのため、工業地理学は経済地理学の枠組みに押し込められ、地域を構成する諸要素との有機的な関係性といった地理学に独自の観点を捨象するに至った。

産業は、その地域の経済のみならず、地域社会や文化の構成要素でもある。本講義では、地域社会や文化の担い手としての産業の側面を強調する。具体的には土地利用、景観、コミュニティ、労働力、社会組織・制度などと工業（産業）の関係を検討し、工業を地域的構成要素のなかに位置づけ直すことを眼目とする。その際、従来の工業地理学ではあまり用いられたこなかった分析手法についても論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

以下の予定で講義を進める

- 1 経済地理学の論理による工業現象の説明様式
- 2 古典的経済地理学のアプリケーション（輪島漆器業、地域構造論）
- 3 分布・集積の新たな説明（輪島漆器業、インキュベータ「仮説」）
- 4 在来工業地域における人口移動パターン（輪島漆器業、ライフパスの援用）
- 5 在来工業とコミュニティ（輪島漆器業、産業地域社会）
- 6 在来工業による新たな景観形成（井波木彫業、オーセンシティシティ）
- 7 在来工業を支える「制度」（結城紬、イエ制度）
- 8 おまけ：文学の中の地理空間（結城紬、有吉佐和子『鬼怒川』）
- 9 「伝統」の誤謬—近代主義と伝統・地域・産業—

履修上の留意点

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。

成績評価の方法

出席状況（50%）と試験（50%）を規準とする。

教科書

とくに定めず、適宜資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地形学	こいけ かずゆき 小池 一之	地文・環境・地理(1)・1選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事象（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：  
地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、  
地表水の働きと地表の変化（マスウエスティング、種々の河成地形、組織地形）海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形（火山地形など）地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著(1998)『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編(1985)『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税  
小池一之ほか訳(1984)『一般地質学 2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地形学実習（前期）	しみず ちようせい 清水 長正	地文・環境・地理(1)・1選	1

講義のねらい

本実習は、地形学・第四紀学などで学習する地形および第四紀地質の調査方法の習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

地形調査の主な技術として、空中写真判読、現地調査に重点を置く。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握をベースとし、各種地形の相互関係から地形発達をある程度推定できるまでの技術の向上を目指す。現地調査については、休日を利用して地形調査の巡検を2回程度行い、現地における地形形態の実測および地形を構成する物質（とくに第四紀地質）の露頭調査など、各種器材の使用法を含めた実習を行う。また、電探による地層の探査も行う予定である。

履修上の留意点

地形学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、できれば同時に履修してもらいたい。また、空中写真実体視はマスターしていることが望ましい。

成績評価の方法

読図・空中写真判読成果および巡検のレポートなどにより評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書は実習中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会地理学	みやぐち としみち 宮 口 侗 迪	地文・環境・地理(1)・1選	4

講義のねらい

人間集団がその基本的な活動の積み重ねにより社会空間を形成していく過程の研究が社会地理学であるという認識のもとに、主として日本の農山村社会の動向を論じる。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本各地にどのような地域社会（空間）がつくられてきたかを、スライド等を用いながら説明した後、外国と対比しながら、その発展の方向も論じたい。

成績評価の方法

ある程度以上の出席を前提に、学年末に試験を行い、評価する。

教 科 書

宮口著『地域を活かす』（大明堂）2,800円を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読	こい け かずゆき 小 池 一 之	地文・環境・地理(1)・1選	4

講義のねらい

この授業では、地理学評論などに掲載された日本とアジア地域の自然地理学関係の英語論文を読む。なるべく多く読み、地理学の専門的な英語に慣れ親しむことを心がける。日本人の書いた英語なので、英語表現としては最適とは言えないかもしれないが、身近な地域をテーマにした題材なので内容的には理解が困難ということはない。

講義の内容・  
授業スケジュール

参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、それに解説を加えながら進める。テキストは参加者の希望を聴取した上で選択したい。英文論文とともにその原典となった日本語論文も出来るだけ紹介する。

履修上の留意点

順不同で毎回少なくとも1度はあてるので、必ず予習してきて欲しい。英和辞典を持ってくること。電子辞書は薦めない。専門的な用語は、普通の英和辞典に載っていないものもあるので、その場合は地理学辞典や地学事典を調べる必要も出てくる。

成績評価の方法

成績は出席と参加の積極性で評価する。

教 科 書

テキストは必要部分をコピーして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
気候学	なかむら かずお 中 村 和 郎	地文・環境・地理(1)・(1)選	4

講義のねらい

日本および世界各地の気候現象と人間生活との関係などの具体的事例を通して、気候現象のメカニズムを学び、気候学の基本的な諸概念を理解する。大気の物理学というよりは、大気現象を中心とした地理学に近づけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 建物の中の気候
2. 都市気候・局地風など
3. 関東地方の気候など
4. 日本の気候
5. 世界の気候
6. 熱収支・エネルギー収支
7. 水収支
8. 大気の循環
9. 気候現象の変化
10. 気候災害

履修上の留意点

提出期限に遅れたレポートは受け取らないので注意。

成績評価の方法

時々実施する出席調査の結果と、前期のレポート、および後期の試験によって評価する。

参 考 書 等

気象衛星センター監修『ひまわりで見る四季の気象』（大蔵省印刷局）  
住 明正『地球の気候はどう決まるか？』（岩波書店）  
中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』（岩波書店）  
中村和郎『雲と風を読む』（岩波書店）  
吉野正敏『気候学』（大明堂）  
吉野正敏ほか編『気候学・気象学辞典』（二宮書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
気候学実習（後期）	なかむら かずお 中 村 和 郎	地文・環境・地理(1)・(1)選	1

講義のねらい

「気候学」の講義で学ぶ知識を確実なものとするとともに、気候現象の解析手法を学ぶことを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

二、三の課題を設けて、気象観測、気候統計の分析、天気図や断熱図などの解析を行う。

成績評価の方法

平常の実習への取り組みの積極性と、提出物などで評価する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
水文学	ながぬま のぶお 長 沼 信 夫	地文・環境・地理(1)・(4)選	4

講義のねらい

地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、水文環境の現状などについて講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。

- 1) 水の科学としての海洋学、陸水学、水文学：地理学的立場から水圏科学の現状について概説する。
- 2) 地球上の水循環と水量：地球上の水の一部は常に循環している。その循環過程と水量、さらに地球上の水の総量などについて概説する。
- 3) 陸地における水の基本的在り方：陸水は、それぞれの場によって河川水、湖沼水、地下水などに区分することができる。そこで河川・湖沼・地下水の存在状況などについて概説する。
- 4) 水文学の中心概念である水収支の見方・考え方：横浜地域などを事例に、降水～流出の過程を水文調査で得られた資料を基に言及する。
- 5) 水と地域と人間活動：横浜・川崎地域や南西諸島などを事例に、水環境の現状とその問題点について水文学的立場から考える。

履修上の留意点

選択科目であるため、水文学に興味ある学生諸君の受講を希望する。

成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度の筆記試験を実施し、評価する。

教科書

地学団体研究会編『地球の水圏－海洋と陸水－』（東海大学出版会）2,625円

参考書等

講義中に適時指示する。

その他

必要に応じて、教材プリントの配布やOHPなどを使用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人口地理学	おおとも あつし 大 友 篤	地文・環境・地理(1)・(4)選	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介することが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・  
授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史地理学実習（後期）	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	地文・環境・地理ⅠⅡⅢⅣ選	1

講義のねらい

歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うが必要になる。  
この科目では、歴史地理学の史料（あるいは研究対象）として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。その他、本学図書館所蔵の古地図を閲覧する時間を設ける。

履修上の留意点

旧漢字の知識があることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。

教 科 書

山下和正『江戸時代古地図をめぐる』（NTT出版）1,650円

参 考 書 等

林英夫監修『増訂近世古文書解読字典』（柏書房）2,524円

そ の 他

教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球物理学	や な ぎ だ ま こと 柳 田 誠	地文・環境・地理ⅠⅡⅢ選	4

講義のねらい

この講義は地理学専攻の学生を対象として地球物理学のなかでも地理学や第四紀学に関連する分野について論じる。地球の構造や性質について触れ、プレートテクトニクス、地震、活断層、アイソスタシーなどを説明する。いろいろな事象について、「なぜ？」を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期
1. 地球の構造／地球の大きさ、内部構造について説明し、それと地表に起こる出来事との関係を見る。地球の化学組成や物性（粘性）について説明する。
  2. プレートテクトニクス／地球表面のいろいろな地殻変動はプレートテクトニクスで合理的に説明できる。基礎的な知識について説明し、プレートテクトニクスが学問のなかで市民権を得てきた歴史を振りかえる。
- 後期
3. 地震と火山／日本列島周辺に起こる地震について説明する。地震予知の現状を取り上げ、社会に対する地球科学の貢献についても考えてゆきたい。また、日本列島における火山とその活動について説明する。
  4. 活断層とは何か？／内陸部の浅い所で地震を発生させる活断層についても説明し、具体的な調査例を示す。
  5. 地球の年代／地球の年齢は？どうやって決まっているのか？月の年齢は？
  6. 山はなぜ高いか？／山はなぜ高いのか、いろいろな形をしているのはなぜか？高くしているのはなにか？なにが山を削るのか？いろいろと考えてみたい。

履修上の留意点

地形学、第四紀学を履修していることが望ましい。また、基本的な数式や元素記号は理解すること。

成績評価の方法

年度末におこなう筆記試験によって、講義内容が理解できているかどうかを検討し、評価を行う。講義内容が理解できていない場合は単位は認定しない。

教 科 書

授業中に紹介する

そ の 他

OHPやスライドを多く使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
土壌地理学	うるしばら かずこ 漆 原 和 子	地文・環境・地理 <small>1</small> ・小選	4

講義のねらい

種々の岩石が土壌生成作用を受けて熟成していく過程を説明し、次に世界と日本の気候と植生の差に対応して分布する土壌型とその分布様式について考える。土壌特性の差がどうして生じるのか、人々はその特性をどのように利用してきたのかについて説明する。さらに人間活動が関与して変化した土壌特性や開発上の問題点についてもふれる。基礎知識として、地形学、気候学を履修していることが望ましい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は基礎を、後期は分布様式と人間活動について講義する。

履修上の留意点

教科書以外の教材も多用するので必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は出席と試験によっておこなう。

教 科 書

ブリッジズ著 『世界の土壌』 (古今書院) 3,800円

そ の 他

スライドを用い、プリントを配布する。土壌のサンプル、岩石のサンプルにふれ、分類する機会をつくる。講義が主体。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物地理学	しみず よしかず 清水 善和	地文・環境・地理(小)選	4

### 講義のねらい

現在、地球上には1000万種を越える生物が存在していると推定されている。これらの種の一つ一つが地球上で特有の分布を有している。これら種の分布は現在の様々な環境条件に規定されているのみならず、過去の環境の変化やその種のたどってきた進化の道筋を反映して定まったものである。一方、個々の種はバラバラに存在するのではなく、地域の歴史や環境条件のまとまりに応じて大小様々な生物地理区を形成している。生物の分布の裏側にはさまざまな情報が隠されているわけである。そこで、本講義では生物の分布をキーワードにして、その背景にある生物進化のプロセスや生物と環境との関わりについて、具体的な地域や生物グループを取り上げながら考えていく。また、生物を取り扱う上で必要な生物進化や分類学の基本的な知識を解説し、実際のフィールド・ワークに役立つように、生物図鑑の検索方法、植物標本の作り方、植生調査の方法などについても説明する。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

#### 第1章 生物地理学の基礎

- (1) 「生物地理学」とは？
- (2) 生物の分布と移動
- (3) 進化のメカニズム
- (4) 生態系とニッチ

#### 第2章 分類体系

- (1) 学名と分類階級
- (2) 生物五界説
- (3) 種の定義と属性
- (4) 分類の方法

#### 第3章 区系生物地理学

- (1) 分布パターンと地理区
- (2) 世界の生物地理区
- (3) 日本の生物地理区
- (4) 分布境界線と移行帯

#### 第4章 生態地理学

- (1) ケッペンの気候図
- (2) 植生と温量指数
- (3) 世界の植生帯
- (4) 日本の植生帯
- (5) 植物群落体系と植生図

#### 第5章 過去をさぐる方法

- (1) 化石と地質年代図
- (2) 花粉分析
- (3) 年輪解析
- (4) 放射能の半減期
- (5) 地磁気の逆転
- (6) 極地の氷柱
- (7) 分子時計
- (8) 全地球史解説

#### 第6章 絶滅

- (1) 絶滅の様式
- (2) 大量絶滅
- (3) 大型哺乳類の絶滅
- (4) 人為による絶滅

#### 第7章 大陸移動と生物分布

- (1) プレートテクトニクス
- (2) ゴンドワナ起源の生物
- (3) 南米生物相の発展
- (4) ヒマラヤ造山
- (5) 魚類の進化と分布

#### 第8章 氷河期と生物分布

- (1) 氷期の気候変動
- (2) 後氷期の生物移動
- (3) 海面変動と生物分布

#### 第9章 大洋島の生物

- (1) 大洋島と大陸島
- (2) 長距離散布と定着
- (3) 動的平衡モデル
- (4) 適応放散の種分化
- (5) 島症候群
- (6) 島大陸と古代湖

#### 第10章 帰化生物

- (1) 人為的な生物の移動
- (2) 代表的な帰化生物
- (3) 在来生物への影響

地  
理

### 履修上の留意点

特になし。

### 成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

### 教科書

特に定めなし。

### 参考書等

章ごとに適宜紹介する。

### その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計量地理学実習（前期）	つちたに としはる 土 谷 敏 治	地文・環境・地理（1）4選	1

#### 講義のねらい

今日、多くのデータを統計的・計量的方法を用いて、客観的に分析するためには、コンピュータを活用できることが前提条件となっている。本実習では、パーソナルコンピュータをベースとして、これらの分析手法を活用できるようになるため、基本的なソフトウェアの使用方法を習得するとともに、計量地理学の学習の準備をすることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

次のようなスケジュールに基づいて、実習を進める。

1. Microsoft Excelの使用方法
2. データの入力方法
3. データの加工方法
4. 統計的分析方法
5. グラフ作成方法
6. Adobe Photoshopの使用方法
7. 統計地図作成方法
8. Microsoft Power Pointの使用方法
9. コンピュータによるプレゼンテーション

#### 履修上の留意点

計量地理学の受講を希望しているが、Microsoft Excel・Power Point・Adobe Photoshopを使用して、統計的分析やグラフ・地図作成・プレゼンテーションができない学生を対象としている。これらのソフトウェアを十分活用できる学生は受講の必要がない。また、コンピュータの基本操作やMicrosoft Windowsの操作を習得していることを前提とする。ただし、これらの未習得学生の受講も可能とするため、未習得者は必ず第1回目の授業に出席すること。実習科目であるため、毎回の出席と課題の提出が不可欠である。

#### 成績評価の方法

各課題を得点化して合計し、さらに出席状況を加味して評価する。

#### 教 科 書

とくに指定しない。

#### 参 考 書 等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

#### そ の 他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
測量学	た な か やすし 田 中 靖	地文・環境・地理情報選	4

講義のねらい

測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を正確に把握する技術を研究する学問である。しかし最近では、旧来の「測る」技術にとどまらず、空間データを効率的にマネジメントすることも含めて「空間情報工学」としてその範囲を広げている。そこで本講義では、測量の基礎から国土数値情報の素養を得ることまでを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地球の姿
  2. 誤差論
  3. 地理座標
  4. 角測量
  5. 距離の測定
  6. 水準測量
  7. 空中写真測量・空中写真判読
  8. GIS (デジタルマッピングと国土数値情報)
  9. GPS測量
- それぞれの項目に2～3時限程度をあてる予定。年5回程度課題を出すので必ず提出すること。

履修上の留意点

この講義は国家資格である測量士補取得（国家試験免除）のための必修科目である。したがって成績評価は厳しい。高校教科書レベルの数学（特に三角関数、対数および確率・統計）を十分に復習しておくこと。

成績評価の方法

学年末試験の点数で評価する。ただし、課題を提出していない場合には、試験の点数から未提出分を差し引く。

教科書

小田部和司著『図解 土木講座「測量学」(第二版)』(技報堂出版) 3,200円+税

参考書等

村井俊治著『空間情報工学』(日本測量協会) 2,286円(税別)

その他

授業は講義中心に行うが、年間数回の課題実習を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
第四紀学	す ず き たけひこ 鈴 木 毅 彦	地文・環境・地理情報選	4

地  
理

講義のねらい

第四紀は最近200万年間のことをさす。この地質時代は人類、動植物、気候、地形など多くの事象が現在みられる姿を成立させた時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは人類の動向も含めた地球の将来を予測することにもつながる。

本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での歴史と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義前半では第四紀の基礎的概念を全般的に解説してゆく。主なテーマは第四紀の定義、氷河作用、地形・地質層序、火山灰編年、人類、動植物、年代測定などである。後半では日本列島の第四紀の主要な課題である、火山灰編年と第四紀地殻変動に焦点をあて、火山の地形と噴火、人類、海成段丘、活断層、山地形成史などのテーマをとりあげる。

履修上の留意点

受講の際に高校の社会科で使用される地図帳を持参されたい。

成績評価の方法

おもには前期末と後期末の筆記試験

参考書等

教科書は特に指定しないが、参考書として、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』(古今書院) 2,233円をあげる。それ以外の参考書は講義中に紹介する。

その他

講義では、ビデオ、OHP、スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代地理学特論	はせがわ 長谷川 ひとし 均	地文・環境・地理1・1・1選	4

講義のねらい

この講義では、「オキナワ」をテーマに、島々の自然や環境、文化について地理学的なアプローチを試みたい。沖縄県では、本土復帰以降の30年間、巨額な資金がつぎ込まれ地域振興がはかられた。そのマイナスの結果として、島々の自然がいたるところで痛めつけられてしまった。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。また、あわせて「オキナワ」の人々の暮らしの背景にある、本土にすむ私たちから見ればかなり異質に見える文化を「創作民謡」の歌詞などから解説してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」、「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。また、今年度から（1）の最後で述べた内容に関しても講義に取り組みたい。ただし、1、2時間の予定である。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講Ⅰ（後期）	はしづめ 橋 詰 なおみち 直 道	地文・環境2・3・4選 地理3・4選	2

講義のねらい

今日わが国の都市が抱える諸問題について「都市計画と社会資本整備」という視点から考える。ここでは特に、都市生活者のための生活環境整備手法とその課題について紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年の講義（半期＝後期）内容は、次の項目を予定している。1）都市計画と地理学、2）東京の都市計画史、3）市街地の整備（区画整理事業）、4）都市計画と都市農業（生産緑地）、6）都市緑地の計画（都市緑地の保全と都市公園の整備）、7）エコ・シティ（環境共生都市・住宅）、7）英国の田園都市運動（ガーデン・シティ）、8）英国の郊外住宅地計画（ガーデン・サバーク）、これらの項目について最近の研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

「都市地理学」の単位を取得した後の受講が望ましい。出席状況や授業への参加態度も重視する。

成績評価の方法

定期試験（1月）の成績及び授業への出席日数が基準以上であるかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

五十嵐敬喜・小川明雄『都市計画』（岩波新書）580円  
越澤明『東京都市計画物語』（ちくま学芸文庫）1,300円  
石田頼房『都市計画と都市生活』（自治体研究社）700円  
山田寿ほか編『現代都市計画事典』（彰国社）4,280円  
長素連訳『明日の田園都市』（鹿島出版会）980円  
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、参考書と配布プリント及びOHPを中心に行い、小テストも実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講Ⅱ（前期）	なまいざわ 生井 沢	地文・環境2・3・4選	2
		地 理 3・4 選	

講義のねらい

地理学には法則性の追求を目的とした純学問的な分野とともに、実際の経済社会問題の解決を目的とした応用分野（応用地理）も存在している。本講義では地域開発・都市開発について、地理学的アプローチと、マーケティングのアプローチとを比較しながら具体的な取り組みについて紹介してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

地域振興についてのマーケティングプロセスを具体的事例で追いながら紹介し、地域開発における思想と手順を理解してゆくようにする。

履修上の留意点

地域開発に関する断片的な知識の授受が目的ではなく、プロセスに重点をおいた授業を行いますので、出席を重視します。このことから、毎回出席をとります。

成績評価の方法

出席点、課題についてのレポート、期末（前期末）に行うテストで成績評価します。最も重視するのは出席点です。

教科書

最初の時間にプリントを配布します。そのプリントをもととして授業を行います。

その他

プリントを解説しながら授業を進めますが、受講生に対しては様々の質問を行うと同時に、討論に参加してもらう授業を考えています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講Ⅲ	おきのゆきお 沖 野 行 男	地文・環境2・3・4選	4
		地 理 3・4 選	

講義のねらい

国土交通省管轄の「旅行業務取扱主任者（一般・国内）試験（国家資格）」の受験・合格を目指す学生のための補助的講座としての位置付け。

講義の内容・授業スケジュール

受験科目は1) 法令2) 約款3) 国内旅行実務4) 海外旅行実務で、一般は4科目、国内は3科目であるが、週1回の講義では全ての科目内容をカバーするには制約があるので、1) 及び2) の共通受験科目である「旅行業法令」と「旅行業関連約款」についてのみ前期に講義の焦点を絞り込む。後期では「旅行業入門」として「四つの視点」から旅行業務内容を「旅程管理業務（添乗業務）」を軸として講義を展開する。

履修上の留意点

地理学科の学生諸氏には履修する専門学科目の実践・応用化と捉え、観光産業関連（運送業・宿泊業・旅行業・関連飲食/娯楽施設業など）を意図する際の「資格」の一つとする。従って「国内・海外旅行実務」関係の受験科目については学生の意欲と自主的勉学に委ねることになるが、適時「傾向と対策」と「参考書」についてのアドバイスを行う。

成績評価の方法

前期・後期の出席率50%、定期試験の成績50%として総合評価を単位付与と共にを行う。尚一般・国内旅行業務取扱主任者試験合格者には4単位付与とする。

教科書

『旅行業法令集』『標準旅行業約款』『旅行業関連約款』

参考書等

『一般旅行（国内旅行）主任者試験合格ハンドブック』2002年版（中央書院）

その他

必要に応じ講義課題についてプリント資料を配布する。『旅行業務取扱主任者（一般・国内）試験』についての通信教育講座の教材・教本や関連参考書などは多数出版されているので、いずれを持参されても差し支えない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学特講Ⅳ	たけうち けいいち 竹 内 啓 一	地文・環境2・3・4選 地 理 3・4 選	4

講義のねらい

現代の経済地理学の体系を、英語圏で最も多く用いられている概説書の日本語訳を教科書にして講義する。教科書の各章ごとの要旨・解説のプリントを配付する。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書は上下に分かれていて、上巻は古典的な経済立地論で、経済地理学を展望した序論の後、以下の10章からなっている。

- 1 経済活動の空間的組織：単純化されたモデル
- 2 異質的地表面
- 3 輸送と経済活動の空間組織：経路、ネットワーク、輸送費
- 4 生産費の空間的差異
- 5 需要、規模、および集積
- 6 時空間の次元：累積的経済発展
- 7 現代のビジネス世界：その経済構造、企業組織、競争過程
- 8 大企業組織の戦略行動：地理学的展望
- 9 マルクスの社会・経済理論による立地研究
- 10 社会関係と生産の地理学

履修上の留意点

6月から10月にかけて在外研究のため休講するので、12月の補講期間に集中的に補講をおこなう。このことをあらかじめ承知しておきたい。

教科書をよく読み、またすでに履修した部分をよく理解していないと講義の内容がまったく理解できなくなるので、丁寧に復習すること。この教科書をマスターすれば、たいいていの経済地理学に関する学術論文は容易に理解できるであろう。

この教科書は若干値がはるので、もとをとるつもりでしっかり勉強して、内容をマスターしてほしい。

成績評価の方法

学年末に持ち込み一切自由の筆記試験を行う。

教 科 書

ピーター・ディッケン、ピーター・E・ロイド著、伊藤喜栄監訳『立地と空間：経済地理学の基礎理論』（改訂版）上・下（古今書院）2001年 各3,200円

参 考 書 等

参考文献はこの教科書にたくさん示されており、そのいくつかは日本語訳がある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講Ⅴ	ながぬまのぶお 長 沼 信 夫	地文・環境2・3・4選 地 理 3・4 選	4

講義のねらい

今年度は水文地理学的な視点から地中に存在する水—地下水、温泉（水）—について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 水資源としての地下水の在り方：一般的な特徴
- 2) 地下水の存在状態：地下水の流動、水理、水質など
- 3) 地下水の存在量と使用量
- 4) 地下水を取り巻く環境問題：地下水利用に伴う障害—地下水位の低下、塩水化、地盤沈下、水質汚染など—
- 5) 地下水開発と保全
- 6) 温泉の定義、温泉法、温泉の成因など
- 7) 温泉の存在状態：温泉の3要素、水質など
- 8) 温泉利用と地熱開発の諸問題

履修上の留意点

地下水や温泉に興味のある学生諸君の受講を希望する。また、選択科目の「水文学」を同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度の筆記試験を実施し、評価する。

参 考 書 等

必要に応じて適時指示する。

そ の 他

受講者が少人数の場合、講義のみでなくゼミ形式で実施することもある。





## II 專 門 教 育 科 目

### 4 歷 史 學 科



## Ⅱ. 専門教育科目

### (4) 歴史学 科

基礎歴史学〈飯島武次〉	451
基礎歴史学〈湯淺隆〉	451
基礎歴史学〈中野達哉〉	452
史学概論〈伏島正義〉	452
日本史概説Ⅰ(古代・中世)〈松本信道〉	453
日本史概説Ⅱ(近世・近代)〈佐藤元英〉	453
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)〈中村淳〉	454
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)〈渡辺惇〉	454
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)〈伏島正義〉	455
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)〈早川理穂〉	455
考古学概説Ⅰ(日本)〈酒井清治〉	456
考古学概説Ⅱ(外国)〈飯島武次〉	456
日本史史料講読Ⅰ〈宇佐美正利〉	457
[平成9年度以前入学生:日本史史料講読]	
日本史史料講読Ⅱ〈久保田昌希〉	457
[平成9年度以前入学生:日本史史料講読]	
日本史史料講読Ⅲ〈中野達哉〉	458
[平成9年度以前入学生:日本史史料講読]	
日本史史料講読Ⅳ〈小林和幸〉	458
[平成9年度以前入学生:日本史史料講読]	
東洋史史料講読Ⅰ〈中村淳〉	459
[平成9年度以前入学生:東洋史史料講読]	
東洋史史料講読Ⅱ〈渡辺惇〉	459
[平成9年度以前入学生:東洋史史料講読]	
西洋史史料講読Ⅰ〈伏島正義〉	460
[平成9年度以前入学生:西洋史史料講読]	
西洋史史料講読Ⅱ〈佐々木真〉	460
[平成9年度以前入学生:西洋史史料講読]	
日本史学史〈湯淺隆〉	461
東洋史学史〈中村淳〉	461
西洋史学史〈佐々木真〉	462
考古学史〈小柳美樹〉	462
考古学実習(写真)〈塚原明生〉	463
考古学実習(測量)〈千葉基次〉	463
考古学実習(石器)〈上敷領久〉	464
考古学実習(土器)〈上敷領久〉	464
考古学実習(情報)〈小柳美樹〉	465
考古発掘実習〈酒井清治・飯島武次〉	465
演習Ⅰ〈久保田昌希〉	466
演習Ⅰ〈小林和幸〉	466
演習Ⅰ〈宇佐美正利〉	467

演	習	I	〈中野達哉〉	467
演	習	I	〈佐藤元英〉	468
演	習	I	〈廣瀬良弘〉	468
演	習	I	〈松本信道〉	469
演	習	I	〈中村淳〉	469
演	習	I	〈渡辺惇〉	470
演	習	I	〈佐々木真〉	470
演	習	I	〈伏島正義〉	471
演	習	I	〈飯島武次〉	471
演	習	I	〈酒井清治〉	472
演	習	II	〈久保田昌希〉	472
演	習	II	〈小林和幸〉	472
演	習	II	〈佐藤元英〉	473
演	習	II	〈中野達哉〉	473
演	習	II	〈廣瀬良弘〉	474
演	習	II	〈松本信道〉	474
演	習	II	〈湯淺隆〉	475
演	習	II	〈中村淳〉	475
演	習	II	〈渡辺惇〉	475
演	習	II	〈佐々木真〉	476
演	習	II	〈伏島正義〉	476
演	習	II	〈飯島武次〉	476
演	習	II	〈酒井清治〉	477
演	習	II	〈千葉基次〉	477
古	文	学	〈松本信道・久保田昌希・小林和幸・中野達哉〉	478
古	文	I	〈吉田政博〉	478
古	文	II	〈廣瀬良弘〉	479
日	本	I	〈松本信道〉	479
日	本	II	〈休講〉	
日	本	III	〈休講〉	
西	洋	I	〈佐々木真〉	480
西	洋	II	〈休講〉	
日	本	I	〈休講〉	
日	本	II	〈吉田政博〉	481
日	本	I	〈宇佐美正利〉	482
日	本	II	〈久保田昌希〉	482
日	本	III	〈中野達哉〉	483
日	本	IV	〈佐藤元英〉	483
日	本	I	〈上杉紋子〉	484
日	本	II	〈龜谷弘明〉	484
日	本	III	〈小松寿治〉	485
日	本	III	〈黒田基樹〉	485
日	本	IV	〈宮本由紀子〉	486
日	本	V	〈桜井邦夫〉	486
日	本	VI	〈小林和幸〉	487
日	本	VII	〈小泉雅弘〉	487
東	洋	I	〈小林惣八〉	488

東洋史各説Ⅱ（古代）	〈休講〉	
東洋史各説Ⅲ（中世）	〈石田肇〉	488
東洋史各説Ⅳ（中世）	〈休講〉	
東洋史各説Ⅴ（近世）	〈休講〉	
東洋史各説Ⅵ（近世）	〈佐藤文俊〉	489
東洋史各説Ⅶ（近・現代）	〈趙軍〉	489
東洋史各説Ⅷ（周辺史）	〈奈良修一〉	490
東洋史各説Ⅸ（周辺史）	〈松本弘〉	490
東洋史各説Ⅹ（周辺史）	〈片岡一忠〉	491
東洋史特講Ⅰ（古代）	〈休講〉	
東洋史特講Ⅱ（古代）	〈小林惣八〉	491
東洋史特講Ⅲ（古代）	〈休講〉	
東洋史特講Ⅳ（中世）	〈休講〉	
東洋史特講Ⅴ（中世）	〈石田肇〉	492
東洋史特講Ⅵ（中世）	〈休講〉	
東洋史特講Ⅶ（近世）	〈休講〉	
東洋史特講Ⅷ（近世）	〈佐藤文俊〉	492
東洋史特講Ⅸ（近世）	〈休講〉	
東洋史特講Ⅹ（近・現代）	〈休講〉	
東洋史特講Ⅺ（近・現代）	〈趙軍〉	493
東洋史特講Ⅻ（近・現代）	〈藤谷浩悦〉	494
東洋史特講XIII（周辺史）	〈休講〉	
東洋史特講XIV（周辺史）	〈奈良修一〉	494
東洋史特講XV（周辺史）	〈片岡一忠〉	495
西洋史各説Ⅰ	〈休講〉	
西洋史各説Ⅱ	〈岩本裕子〉	496
西洋史各説Ⅲ	〈伏島正義〉	497
西洋史各説Ⅳ	〈休講〉	
西洋史特講Ⅰ	〈長谷川岳男〉	497
西洋史特講Ⅱ	〈休講〉	
西洋史特講Ⅲ	〈休講〉	
西洋史特講Ⅳ	〈休講〉	
西洋史特講Ⅴ	〈佐々木真〉	498
西洋各国史Ⅰ	〈渡辺知〉	498
西洋各国史Ⅱ	〈鳥越泰彦〉	499
西洋各国史Ⅲ	〈宮本直美〉	499
西洋各国史Ⅳ	〈長谷川岳男〉	500
考古学各説Ⅰ	〈近藤英夫〉	500
考古学各説Ⅱ	〈休講〉	
考古学各説Ⅲ	〈今村啓爾〉	501
考古学各説Ⅳ	〈休講〉	
考古学特講Ⅰ	〈田村晃一〉	501
考古学特講Ⅱ	〈休講〉	
考古学特講Ⅲ	〈酒井清治〉	501
考古学特講Ⅳ	〈矢野和之〉	502
西域美術史	〈松平美和子〉	502



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎歴史学	<small>い い じ ま た け つ く</small> 飯 島 武 次	歴 史 1 必	4

講義のねらい

大学での歴史学の学びかたを指導する。同時に歴史学に関する関心を高めてもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 歴史学一般に関する講義。
  2. 中国考古学の話題を紹介する。
- 各時間ごとに一つの課題を講義する。従って特に年間を通しての授業計画をたてない。

履修上の留意点

遅刻・欠席はしないこと。教場での飲食・携帯電話を厳禁する。違反者は単位不合格にする。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験で行う。

参 考 書 等

なし

そ の 他

スライドやビデオを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎歴史学	<small>ゆ あ さ たかし</small> 湯 浅 隆	歴 史 1 必	4

講義のねらい

大学で歴史学を専攻し、自己の研究スタイルを模索し、やがて固めていくために、まず理解し、認識してほしい事項について伝えること。

講義の内容・  
授業スケジュール

これまでに修得したような、知識としての歴史事象の多寡そのものに注目するのではなく、歴史にはさまざまな切り口・取り組み方があることを述べます。

履修上の留意点

歴史にたいして、知識の集積としてではなく、理解の積み上げとして取り組むように、心がけてください。

成績評価の方法

幾つかのテーマについては、授業中に各自の見解をたずねます。さらに、前期末・後期末にはレポートを提出してもらいます。評価はすべてを加算します。

教 科 書

ありません。

参 考 書 等

その都度、紹介します。

そ の 他

講義の形式になります。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎歴史学	なかの たつや 中 野 達 哉	歴史 1 必	4

講義のねらい

歴史研究の現状について紹介し、大学で学び研究する「歴史学」がいかなる学問であるか、各自が認識し、考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

高校の教科書の記述の変化、歴史と歴史学・歴史研究、日本人の歴史観、自国史（日本史）と世界史、時代区分の再検討、地域と歴史研究、戦後歴史学など、いくつかのテーマを設け、それについて講義する。なお、夏期休暇にあたってはレポートを課す。

履修上の留意点

授業は必ず出席すること。遅刻をしない。

成績評価の方法

夏期休暇中・年度末などに課すレポートによる。出席状況・授業への態度も重視する。

教科書

必要な資料を授業時に配布する。教科書はなし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
史学概論	ふせじま まさよし 伏 島 正 義	歴史 2・3・4 必	4

講義のねらい

「歴史とは何か。」「歴史学は学問たりうるのか。」等の質問にたいする答えには公式な正解があるわけではない。各人が自身で探求するほかない。本講では、歴史はどのように認識されてきたのかについて、古代以来のその道筋を概略し、辿ってみる。

講義の内容・授業スケジュール

古代から近代までの、歴史認識の展開とその特徴を、日本、中国、西洋においてみる。

履修上の留意点

本講は「歴史とは何か。」を自身で考えるために、その参考となるように古代以来の考え方を概観するものであり、歴史についての狭義の知識を詰め込もうという性格のものではない。したがって本講を受講するに当たって必要なのは自分自身で考えようとする心構えであり、特別な歴史の知識の多寡ではない。

成績評価の方法

この点は毎年あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決めている。これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教科書

教科書は特に定めない。前期の講義開始の最初の授業で参考書を掲げ、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて参考書を指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史概説Ⅰ (古代・中世)	まつもと のぶみち 松 本 信 道	歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(日本史) 歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(選必)日本史以外	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。

教 科 書

佐々木潤之介編『概論 日本歴史』(吉川弘文館)1,900円

参 考 書 等

『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館)2,900円 青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会)1,650円 笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)

そ の 他

授業の方法は講義形式で進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史概説Ⅱ (近世・近代)	さとう もとえい 佐 藤 元 英	歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(日本史) 歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(選必)日本史以外	4

講義のねらい

幕末・近代における対外交渉史を概説する。時期区分によって歴史的発展段階の特徴を明確にすること、個々の対外交渉史上の事実に関し、歴史的な性格ならびに位置付けを確定する枠組みをつくりあげておくことをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

徳川末期の対外関係・幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応・明治初年の領土問題・条約改正運動・日清日露戦争・日露戦後の日米対立・第一次大戦とシベリア出兵・ワシントン体制と幣原外交及び日中外交・満州事変と国際的孤立化・日中戦争・日米交渉・太平洋戦争などについて講義し、幕末維新期より近代の対外交渉の時期区分を試みる。

成績評価の方法

定期試験及び出席状況による。

教 科 書

佐藤元英『近代日本の外交と軍事—権益擁護と侵略の構造—』  
池井優『日本外交史概説』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史概説Ⅰ (古代・中世)	なかむら 中 村 淳	歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ必(東洋史) 歴史Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ選必(東洋史以外)	4

#### 講義のねらい

東洋史概説Ⅰでは、広く近代以前のアジアの歴史を対象とする。従来、前近代の人類は、いくつかの孤立した文明圏もしくは歴史世界の中で、閉鎖的にそれぞれの歴史を歩んだかのように理解されてきた。しかしながらそこでは、それらの歴史世界の真ん中に位置する中央ユーラシアと、そこに展開した遊牧国家については、ほとんど顧みられることはなかった。本講では、彼ら遊牧民が果たした歴史的役割を素直に見つめながら、より客観的・俯瞰的に前近代アジア史をとらえ直してみたい。同時に、既存の歴史観や文献史料の記述に引きずられないための基礎訓練となることをねらっている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地域は、時に西アジアやヨーロッパにまで及ぶが、とくにアジア東方が中心となる。匈奴と漢の対立・共存時代から順に、モンゴルが人類史上最大の版図を実現した13～14世紀（近年、この両世紀を「モンゴル時代」と呼ぶ）までを扱う予定である。

#### 履修上の留意点

出席をとる。  
前年度は前期のみ出欠をとった。

#### 成績評価の方法

出席点に定期試験の結果を加味して、総合的に判断する。定期試験は論述形式で、授業内容を理解しているか、かつ、そのことが答案に示されているかを見る。

#### 教科書

教科書はとくに指定しない。授業中に随時、参考書を紹介する。

#### その他

随時、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史概説Ⅱ (近世・近代)	わたなべ 渡 辺 淳	歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ必(東洋史) 歴史Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ選必(東洋史以外)	4

#### 講義のねらい

東洋史概説Ⅰが主に中国の古代、中世史（唐末まで）および近世の前半（宋・元）を対象とするのに対して、本講義Ⅱは、それ以後の時代、近世の後半（明・清）、および近現代史について取扱う。本来、東洋史の概説であるからには、広く中国以外の諸地域についても言及すべきであるが、時間的にとても無理である。せいぜい中国の周辺地域に言及しうるのみで、他の講義にゆだねざるを得ない。

#### 講義の内容・授業スケジュール

概説Ⅰとらず、Ⅱのみをとる者もいると思うので、はじめに中国を中心とする東アジア史の特色を、(1)北方遊牧民族と中国農耕民族との対立抗争、交流、(2)漢民族の江南への拓殖発展という2点を中心に概観する。

近世史は、(1)征服王朝による長期にわたる漢民族支配、(2)皇帝独裁による専制王朝体制の成熟といった点が特に顕著である。これらを中心に、とくに明・清時代の政治・外交、社会経済、文化等について、相互に関連させて講義する。

近現代史はとかく中国民族の植民地支配からの脱却、つまり「反帝反封建」の革命運動史といった傾向におち入りがちであるが、本講義では最近の傾向である社会史の観点にも留意していきたい。

授業の中に随時、写真や絵画、ビデオなどを折り込んで、視覚を通した理解をも深めていきたい。

#### 履修上の留意点

出席を重視します。

#### 成績評価の方法

評価は定期試験に出席点を加味する。

#### 教科書

参考書は沢山出てるゆえ、特に指定せず、授業の中でその都度言及する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史概説Ⅰ (古代・中世)	ふせじま まさよし 伏 島 正 義	歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(必)西洋史 歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(選必)西洋史以外	4

講義のねらい

私達が日常経験する土地所有をめぐる問題は、さまざまな話題を提供している。しかしこの近代的土地所有形態も一つの歴史的形態である。本講ではそうした近代的土地所有形態の淵源を尋ねたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

西洋古代末期から近世初頭までを範囲として、土地の「所有」形態、経営形態の変遷について概説する。特にゲルマン民族大移動を契機として生まれた新しい社会、つまり西洋中世社会の成立過程、その社会構造、発展と盛衰を基軸に据える。講義で通説を紹介し、特にその力点を史料の根拠に置く。地域としてはイギリス、フランス、ドイツを中心とする。

履修上の留意点

近代的土地所有形態の本質の1つは私的所有であるが、当該所有形態が具体的に、いつ、どのような過程において発生したのかについては必ずしも定説があるわけではない。本講ではこの点について、これまでの研究史をふまえ、各人が自身の答えを探求しようとする姿勢を必要とするものであり、必ずしも西洋史の知識をあらかじめどれだけ多く知っているかが前提となるものではない。

成績評価の方法

この点は毎年あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決めている。これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教 科 書

教科書は特に定めない。前期の講義開始の最初の授業で参考書を掲げ、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて参考書を指摘し、あるいは史料のプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史概説Ⅱ (近世・近代)	はやかわ り 穂 早 川 理 穂	歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(必)西洋史 歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(選必)西洋史以外	4

講義のねらい

歴史学を学ぶ上で、対象にどのようにアプローチするか、ということは重要な問題であるが、それを方法論、史学史の面から見ていく。その具体例としてフランス革命史を採り上げる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はマルク・ブロックの『比較史の方法』とフランスの史学史を採り上げる。  
後期はジョルジュ・ルフェーヴルのフランス革命理論を中心として、フランス革命史について論じていく。

履修上の留意点

教科書を特に指定することはしないが、授業で紹介する基本的な文献については目を通しておくこと。

成績評価の方法

前期はレポートを提出してもらい、後期は試験を行う。

教 科 書

教科書は特に指定しない。

参 考 書 等

授業の中で随時紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説Ⅰ (日本)	さ か い き よ し 酒 井 清 治	歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(必)考古学 歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(選)必(考古学以外)	4

講義のねらい

日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎なくしては成り立たない。

講義の内容・  
授業スケジュール

考古学の研究史、方法論、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

定期試験で採点。

参 考 書 等

鈴木公雄『考古学入門』(東大出版会)  
安藤政雄『考古学キーワード』(有斐閣)  
江上波夫『考古学ゼミナール』(山川出版社)

そ の 他

OHP等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説Ⅱ (外国)	い い じ ま た け つ く 飯 島 武 次	歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(必)考古学 歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(選)必(考古学以外)	4

講義のねらい

東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらおう。

講義の内容・  
授業スケジュール

時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。

履修上の留意点

欠席・遅刻をしないこと。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。

参 考 書 等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』(山川出版社)1985年  
飯島武次『中国新石器文化研究』(山川出版社)1991年  
飯島武次『中国周文化考古学研究』(同成社)1998年

そ の 他

スライドやビデオを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	う さ み ま さ と し 宇佐美 正 利	歴史2選必(日本史)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(日本史以外) 歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

#### 講義のねらい

八世紀の政治・社会・経済・文化・外交の基礎的史料である『続日本紀』を講読する。『続日本紀』は、『日本書紀』に次ぐ勅撰の歴史書で、797(延暦16)年に完成した。体裁は漢文・編年体で、697～791年間を記述している。本講座では、『続日本紀』を史料として八世紀の諸相について考えていくことにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本古代史の史料のほとんどは漢文であるので、まず原文を読み下し、次にそれぞれの語句の意味を調べ、史料全体を解釈していく。一年間の授業を通じて、古代史史料を理解できるだけの力を養成する。

#### 履修上の留意点

受講生に担当分の史料について発表させて授業を進めていくから、積極的にやる気のある学生の受講を望む。漢文を読めない学生でも一年間頑張れば、完璧に読めるようになる。

#### 成績評価の方法

出席・発表などを加味して、総合的な評価を行なう。

#### 教科書

瀧音能之『奈良時代の史料と社会』(岩田書院)2,000円+税

#### 参考書等

参考文献  
新訂増補国史大系『続日本紀』(吉川弘文館)  
新日本古典文学大系『続日本紀』(岩波書店)

#### その他

受講生1～2人が毎週発表し、それについて受講生全員で考察していく。夏休みにはゼミ合宿を実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	く ぼ た ま さ き 久保田 昌 希	歴史2選必(日本史)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(日本史以外) 歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

#### 講義のねらい

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるといつてよい。

史料講読は、3・4年次の演習Ⅰ・Ⅱで行うが、より早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということで、本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

それでは中世に関する史料にはどのようなものがあるのだろうか。前代までの朝廷・寺社関係に加えて新たに鎌倉・室町幕府、守護・戦国大名その他在地領主といった武士階層による文書や記録、さらに農民・惣村や町・都市に伝わった文書・記録が増えてくる。

また、最近の中世史研究が明らかにしているように、例えば絵図や絵画・絵巻物、板碑・鰐口をはじめとする金石文、中世考古遺物・遺跡の有効な活用は、文書・記録の多角的な解釈とともにこれまでの既成の中世社会像への再検討を提起するにいたっている。

これらの史料は今日、多くのものが活字化されてきており、わたくしたちも容易に見られるようになってきている。そのことが中世史研究の発展につながっているといえよう。

本講座としては、上に掲げた中世史料をすべて対象とすべきなのであろうが、もとより中世史料は膨大で、かつ時間的な制約もあり、その一端に止めざるをえない。なお史料の講読・紹介にとめつつ、史料所蔵機関や閲覧についても解説していきたい。

#### 履修上の留意点

本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化(刊行)された史料がある。そういうものに早く、自分なりに問題関心にそって目を通そうとすることが大切だと思う。

#### 成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

#### 教科書

とくに指定しない。適宜必要に応じて資料を配布する。

#### 参考書等

『史料による日本の歩み(中世編)』(吉川弘文館)2,936円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅲ (10年度以降入学生)	なかの たつや 中野達哉	歴史2選必(日本史)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史の研究は、いかに理論を組み立て、それを実証していくかにある。そして、そのためには、先人たちの足跡として残された史料を読み解くことが必要である。本講義では、日本近世の史料を正確に読み込み、判断する力をつけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

織豊期～幕末期にかけてのさまざまな史料を取り上げて読み、分析していく。いうまでもなく、近世については、武家文書・町方文書・村方文書・寺社文書など多様な分野にわたり膨大な量の史料が伝えられている。授業では、いくつかのテーマを設けて行っていくが、読むための基礎的な力をつけるだけでなく、その史料の背景にある社会情勢などについても考えていく。

また、近世史料のなかには、活字になっていないものも多くあり、その所在も個人宅や図書館・博物館・文書館など多様である。史料の所在や調査方法などについても触れていきたい。

履修上の留意点

難解なものとは怖がらず、親しみをもって史料を読んでほしい。

成績評価の方法

授業での平常点および年度末に行う定期試験により評価する。

教科書

教科書はなし、必要な資料は適宜プリントして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅳ (10年度以降入学生)	こばやし かずゆき 小林和幸	歴史2選必(日本史)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史研究の基礎となる文献史料の取扱い方と解読の手法を学ぶことにより、日本近代史研究のための基礎的な史料読解力の養成を目的とする。あわせて、近代史料の特質や史料の伝来等を解説すると共に、各史料保存機関の所蔵史料についても随時紹介していく。

講義の内容・授業スケジュール

近代日本の公文書類や政治家の書翰、日記等の一次史料をテキストにして、受講者と共に解読し史料内容の検討分析を行う。

履修上の留意点

テキストは、教室で配布するので、各自解読の予習をする必要がある。

成績評価の方法

レポート及び定期試験

教科書

随時、テキストとなる史料を配布する。

参考書等

児玉幸多編『くずし字解読辞典』(東京堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	なかむら 中 村	歴史2選必(東洋史)	4
東洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(東洋史以外) 歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

東洋史のみならず歴史を研究する際、史料を読解しあるいは論文を読むために修得しなければならない言語は数多い。本講では、その中でも最も基本的な英語で書かれた論文をとりあげる。同時に引用された論文(日本語・英語・現代中国語など)や史料(漢文中心)についても検証し、論文の読み方や漢文をはじめとする史料の扱い方の基礎を養いたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

何を読むかは、授業時に指示し、分担箇所・分担者を決める。担当者には、分担箇所の和訳を作成、引用された論文や史料などを調べ、レジュメを作成して報告してもらう。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるので、出席点・平常点を総合して評価する。

教 科 書

必要なテキストは、プリントで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	わたなべ 渡 辺	歴史2選必(東洋史)	4
東洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(東洋史以外) 歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

中国史を学ぶ上で漢文および中国現代文を読解することは必須の条件である。本年度は、王成聖著『中国近代史要略』(台湾、天声出版社、1962)をとりあげてみたい。この本は文章が簡潔で読みやすく、入門書として適していると考ええる。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめはしばらく私が読み説明する形式をとるが、時期をみて、分担をきめて各自に読んでもらうようにしたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教 科 書

テキストは購入不可能ゆえ、プリントを配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	ふせじま まさよし 伏 島 正 義	歴史2選必(西洋史)	4
西洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(西洋史以外) 歴史2必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史を学ぼうとする場合、それが人文・社会科学の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問かけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近代をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととしたい。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。したがって初歩的な原典の原語を学びたい。

履修上の留意点

歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教 科 書

特に定めない。必要な史料等はプリントして、配布する。

参 考 書 等

授業に合せて、その都度指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	さ さ き まこと 佐々木 真	歴史2選必(西洋史)	4
西洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(西洋史以外) 歴史2必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	

歴  
史

講義のねらい

西洋史を学んで卒業論文を書くためには、外国語の読解力が必要不可欠である。本講義では、西洋史に関する史料を原文で講読し、西洋史研究に必要な基礎的な語学力を養成するとともに、史料の内容を検討することにより、史料を通じての歴史像把握の力を養成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ近代史に関する史料(英語)をゼミ形式で輪読する。具体的な書名は、受講生が興味もっている分野を勘案し、第1回の授業時に受講生と相談して決定する。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してこること。また、歴史学の授業であるので、単に単語のみならず、テキストの中に登場する固有名詞の内容などについても調べておくこと。また、毎時間必ず出席すること。欠席は原則として認めない。

成績評価の方法

成績は、授業中の各自の発表の内容、出席および学年末に実施する試験によって総合的に評価する。

教 科 書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

そ の 他

授業はゼミ形式で行い、1時間に2人から3人に発表してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史学史	<small>ゆ あ さ</small> 湯 浅 <small>たかし</small> 隆	歴史2・3・4必(日本史) 歴史1・4選(日本史以外)	4

講義のねらい

人びとが日本列島を舞台として展開してきた営為の変遷を、現在の私たちは日本史として理解しています。この認識はあくまでも現時点のものであり、日本列島に人類が登場して以来、一貫して継承してきたものではありません。これまで、どのような歴史認識が去就してきたかについて、理解してもらうこと。

講義の内容・  
授業スケジュール

人びとの歴史認識について、古代から今日までを概観します。明治維新をはさんで、歴史認識の方法が大きく変わったことを、内容上の軸としていきます。

履修上の留意点

紹介する史書などは、図書館などにて必ず目を通すようにしてください。

成績評価の方法

幾つかのテーマについては、授業中に各自の見解をたずねます。さらに、後期末にはレポートを提出してもらいます。評価は、両者を合算しておこないます。

教 科 書

ありません。

参 考 書 等

その都度紹介します。

そ の 他

講義形式になります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史学史	<small>な か む ら</small> 中 村 <small>じゆん</small> 淳	歴史2・3・4必(東洋史) 歴史1・4選(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史学は、日本が世界に誇ることの出来る学問のひとつである。本講では、日本における東洋史学の成り立ちと発展についてできるだけ平易に概論し、現在の我々の位置するところを理解してもらうことを第一の目的とする。同時に、東洋史を学ぶ上で当然知っておかなければならない基本的な事項を修得してもらう。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。できるだけ工夫して講義を進めるが、本講の性格上、やや単調とならざるを得ない。しかし、東洋史学を学ぶ上で必要不可欠なことばかりで、また、学年を経る毎に重要になる内容であることは間違いないので、心して受講してもらいたい。

成績評価の方法

まず出席を重視する。また、随時小テストを行ないレポートを課して、理解度をみる。それらの評価を出席点に加味し判断する。

参 考 書 等

授業時に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋史学史	さ さ き まこと 佐々木 真	歴史2・3・4必(西洋史) 歴史1・1選(西洋史以外)	4

講義のねらい

西洋史の各時代の主要な歴史作品を紹介し、歴史学の方法論に関する基礎知識、とりわけ西洋史を学ぼうとする者が当然知っていなければならない学問上の常識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

以下の順序で講義を進める。

1. 古典古代の歴史作品（ギリシア、ローマ、ヘレニズム）
2. 中世の歴史記述（キリスト教歴史観と世俗の歴史叙述）
3. ルネサンス～近世期の変化（文献学の発達と啓蒙思想）
4. 近代歴史学の成立（ランケ、ヘーゲル、マルクス）
5. 現代歴史学の諸課題（アナル学派を中心に）

履修上の留意点

西洋史学史の全貌を1年の講義で紹介することは不可能なので、受講生は講義中に紹介された書籍をなるべく多く読んでほしい。

成績評価の方法

成績は前期終了時、および学年末に2回提出してもらったレポートにより判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

林健太郎・澤田昭夫『原典による歴史学入門』（講談社学術文庫）、グーチ『19世紀の歴史と歴史家たち』（筑摩叢書）、ピーター・パーク『フランス歴史学革命』（岩波書店）、リン・ハント編『文化の新しい歴史学』（岩波書店）、竹岡敬温『「アナル」学派と社会史』（同文館）、ノワリエル『歴史学の危機』（木鐸社）など。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学史	こやなぎ よしき 小柳 美樹	歴史2・3・4必(考古学) 歴史1・1選(考古学以外)	4

講義のねらい

日本考古学研究の歴史を通して、研究の方法や論理の構築の仕方、議論の展開について学び、また近年の考古学の発見がどういう意義を持っているのかを確認する。そして、自己の研究への姿勢、理念、方法等の確立を望む。

講義の内容・授業スケジュール

日本考古学の歩みを発見、発掘調査、研究者列伝、論争などを軸として、日本通史の時代別に分けて論じる。

履修上の留意点

限られた時間内では全てを言及することができないため、授業の中で取りあげられた文献や調査報告書に自主的に積極的に目を通し、博物館などで実物資料を観察して補充して欲しい。授業の理解度や興味の深さが一層増すはずである。

学生諸君には考古学という枠組みをこえたさまざまな領域に興味を持つことを期待したい。

成績評価の方法

夏季休暇のレポート作成

学年末の試験

出席はあくまで参考

教科書

なし（レジュメを準備し、授業時に配布している）

参考書等

授業時に紹介していく

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習（写真）	塚原 明生	歴史Ⅰ・Ⅱ（選必） 考古学 歴史Ⅰ・Ⅱ（選） 考古学以外	2

講義のねらい

写真撮影のための、基礎をわかりやすく説明して、実践での活用がすぐに出来るような人材を多く育てたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

カメラのしくみとシステム、写真用品の解説をはじめとし、レンズや絞りシャッターの速度の意味を学びながら、初級者もわかる講義からはじめる。

屋外での撮影と室内での撮影、カラーフィルム、モノクロフィルムそれぞれの選び方と取り扱い方現象の方法。撮影目的に合わせた、機材の選び方とその取り扱い方法。

被写体に合わせた光源選びと、各種光源による特性を理解したうえでの撮影の実習。暗室作業によるフィルム現象、プリント焼付け引き伸ばしなどを体験しながら写真技術の向上をはかる。

平面および立体物の形状質感形態等を表現するための照明のあて方扱い方を基本から学びプロの技術に習う。

現役の写真家としての仕事を例にとり、つねに実践にむいた授業内容とする。

Q&A方式も取り入れ、学生の理解度に合わせ、質問を多く受け付け、わからないまま進行する事のないよう、常にコミュニケーションをとり、受講者全員と学んでいきたい。

履修上の留意点

学ぶ事の喜びと、知る事の喜びを持って実践的学習をする中で、写真人としての自覚を大切に、全員プロカメラマンになれるよう目指して努力してほしい。

成績評価の方法

作品提出による内容と授業態度。

教科書

特になし。

参考書等

特になし。

その他

講義、撮影実習、暗室実習、課題作品提出、合同講評会等

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習（測量）	千葉 基次	歴史Ⅰ・Ⅱ（選必） 考古学 歴史Ⅰ・Ⅱ（選） 考古学以外	2

講義のねらい

遺跡の地理的把握という目的のため、地形の測量法について、実習を行なう。測量方法は、平板測量が主である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 測量の基礎内容
- (2) 測量機器の取り扱い
- (3) 多角測量の基礎内容

履修上の留意点

実習は数人一組で行ないます。一年間休みなく続けられること。

成績評価の方法

実習成果、出席状況

その他

男女とも野外作業に適した服装

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学実習（石器）	かみしきりよう 上敷領 ひとし 久	歴史Ⅰ・Ⅱ（選必）考古学 歴史Ⅰ・Ⅱ（選）考古学以外	2

講義のねらい

石器は先史時代社会の生活形態を理解するためには最も基本的な資料であり、そこには様々な情報が盛り込まれている。この情報を抽出するためには、石器の細部を注意深く観察し、理解することが必要である。こうした石器研究の基礎となる石器実測図作成の基本的知識についての講義・実習を行う。石器研究史および実測図の歴史、石器製作の原理、石器研究の理論的な知識をふまえた実技を通して、考古資料の観察法と記録化およびその目的について学ぶ。

履修上の留意点

授業第1週に、具体的な年間なスケジュールと実技の必需品を紹介するので必ず出席すること。また石器実測の技術を体系的に身につけていただきたいのでちよくちよく休むようであれば初めから受講しないように。考古学専攻生以外には不向きである。

成績評価の方法

成績評価は実技・レポート・授業への取組み方などを総合して行う。

教科書

特になし。

参考書等

特になし。作成したプリントを配布し、参考書および参考文献等は講義中に適宜紹介する。

その他

実技にはグラフ用紙、コンパス、ディバイダー等の個人で準備する文房具類が必要となる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学実習（土器）	かみしきりよう 上敷領 ひとし 久	歴史Ⅰ・Ⅱ（選必）考古学 歴史Ⅰ・Ⅱ（選）考古学以外	2

講義のねらい

考古学の基本は発掘調査と出土遺物の実測である。本講義では土器の実測実習を通して考古資料の観察方法について考える。

講義の内容・授業スケジュール

上半期は土器の形式論についての講義と土器実測の基本的なテクニックを学び、下半期は歴史時代の土器を実測する。

履修上の留意点

考古学専攻の学生を対象とした講義であるため、他分野の専攻生にはなじまない。また、年間を通して理論と実践を学ぶスケジュールであるため、できるだけ休まずに受講すること。

成績評価の方法

年間を通して作図する2枚の実測図とレポートによる定期試験によって評価する。実測図のみ、あるいはレポートのみでは評価の対象としない。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習 (情報)	こやなぎ よしき 小柳美樹	歴史Ⅰ(必)選(考古学) 歴史Ⅱ(選) 考古学以外	2

講義のねらい	この授業は、考古学上の調査および整理、研究におけるパソコンの活用について基礎的な方法や目的、考え方などを学ぶものである。
講義の内容・授業スケジュール	基本的なパソコン・ソフトである文章作成機能、数値統計機能、図画作成、写真加工機能、インターネット環境などを使用し、与えられた課題を処理していく。そのため、授業時間の大半は、パソコンを活用しながらの作業になる。
履修上の留意点	履修する学生はパソコン利用が初心者であるものを優先したい。すでにパソコンに慣れている学生には物足りなく感じてしまう恐れがある。ご注意願う。 課題は考古学に関するものである。そのため、基礎的な考古学用語などを把握している学生が望ましい。
成績評価の方法	きちんと出席していること。 課題を全て提出していること。
教科書	指定する教科書・参考書はない。
その他	フロッピー・ディスク2枚を、用意すること。 開講時までに学内パソコン利用の登録を済ませておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古発掘実習	さかい きよし いいじま たけつぐ 酒井清治・飯島武次	歴史Ⅰ(必) (考古学) 歴史Ⅱ(選) 考古学以外	2

講義のねらい	発掘技術の習得を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。
履修上の留意点	夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。 授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。
成績評価の方法	成績評価は出席点と平常点および発掘実習と発掘日誌
教科書	『考古学調査ハンドブック 1 野外編』(雄山閣) 2,800円 1984年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	くぼ た ま さ き 久保田 昌 希	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

本講座は特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者（発表者）自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を高めることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では数年来、織田信長の右筆太田牛一の著した『信長記』（池田本）をテキストとしてきたが、一昨年度でようやく読み終えた。

昨年度から一新して、戦国大名関係の文書と取り組んでいるが、とくに東国戦国大名を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、また内容も多岐にわたっており、しかも研究史としての蓄積も比較的多いと思われるからである。演習では一枚の文書を中心に、発表担当者には、そこから読み取れることを研究史も含めて、できるだけ調べてくることを課したい。それによって来るべき卒論への準備段階として、史料への認識を大いに持っていただきたいと考えている。

履修上の留意点

受講人数によっては補講を実施することがある。

教科書

適宜史料コピーを配布する。

参考書等

適宜紹介する。また大いに図書館を利用してほしい。

その他

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	こば や し かず ゆ き 小 林 和 幸	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

日本近代史上の政治、思想、文化に関する諸問題を検討する。近代日本の形成・確立の過程は、その複雑さと多様性の故に、確定されていない歴史的な事実も多く残されている。また、それだからこそ、興味深い研究のテーマも豊富に存在しているといえるであろう。本演習は、受講者による史料に則した報告と演習参加者全員による討論を通じて、各自が日本近代史に関する史料の読み解き方や研究法を身につけることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、維新时期及び明治期の史料を素材とし、担当報告者が正確に史料内容をつかんだ上に立って、興味深いテーマを見つけ、関係史料や先行研究業績を適宜参照して報告、さらに参加者全員によって討論をすることで日本近代史に関する理解を深めていく。

履修上の留意点

既存の価値判断から離れ、史料に基づいた新しい日本近代史像を構築するという積極的な姿勢を期待する。

成績評価の方法

出席、報告、学習態度を勘案する。

教科書

適宜史料を配布する。

参考書等

報告に則して、関連する先行研究を適宜参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	う さ み ま さ と し 宇佐美 正 利	歴史 3 必 歴史 3 選	4

#### 講義のねらい

古代史の史料は、六国史をはじめ官撰のものがほとんどである。本講座では現存最古の仏教説話集である『日本霊異記』をテキストに、古代の民衆の仏教信仰の実態について考えていくことにする。『日本霊異記』は、後世の歴史書・説話集などにも多大の影響を与えたので、その点についても考察することにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

受講生に『日本霊異記』所収説話を1話選択させて、それについて発表させる。

#### 履修上の留意点

授業に積極的に参加する学生の受講を希望する。

#### 成績評価の方法

前期・後期にレポートを課す。出席とレポートの内容などで総合的に評価する。

#### 教科書

新日本古典文学大系『日本霊異記』（岩波書店）3,500円＋税

#### 参考書等

宇佐美正利『日本霊異記とその時代』（おうふう）  
出雲路修『説話集の世界』（岩波書店）

#### その他

夏休みにはゼミ合宿を実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	な かの た つ や 中 野 達 哉	歴史 3 必 歴史 3 選	4

#### 講義のねらい

史料の解読・分析力、関連資料・文献の調べ方、先行研究の理解・批判力をつけ、日本近世史（織豊期～幕末期）研究のための基礎的な力を養うことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本近世史の史料は各地に所在し、しかも膨大な量があり、その多くは活字になっていない。そのため、研究にとりかかるとき、史料調査やくずし字の解読から始める必要がある。この点を踏まえ、前期は、草書で記された『朝野舊聞彙』（幕府が編纂した徳川氏創業の歴史書）などを取り上げて講読し、古文書に慣れるとともに、近世前期の社会について考える。講読は受講者が分担して解読し、関連資料・文献を調べ、授業で発表・討議する。また、後期には、各自が研究テーマを設け、研究史の整理と研究課題についてまとめ、授業で発表・討議する。なお、後期授業での発表の準備として夏期休暇中にレポートを課す。

#### 履修上の留意点

前期の講読に際しては必ず予習し、前後期とも積極的に討議に参加することが望まれる。

#### 成績評価の方法

授業での発表と討議、出席状況、夏期のレポートにより評価する。定期試験はなし。

#### 教科書

前期に使用するテキストは、コピーを配布する。教科書はなし。

#### その他

史料の見学・調査なども考えたい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	佐藤元英	歴史 3 必 歴史 3 選	4

#### 講義のねらい

明治初年より大正末期に至るまでの政治・外交・軍事に関する、①中央官庁及び地方自治体の文書いわゆる公文書、②各種民間団体・機関（政党・会社等）の文書いわゆる準公文書、③政治家・官僚・軍人・各種団体指導者の関係文書いわゆる私文書等、多種多様な文書の読解力を養う。  
 明治・大正期の外交には二つの大きな側面があり、一つはイギリス・アメリカなど先進国に対する面であり、他は朝鮮・中国等近隣発展途上国に対する面であるが、先進国との折衝には、利益の交換と妥協という交渉上のルールがあったが、発展途上国に対する場合は軍事上の威圧が妥協に先行する場合が多く見られた。そうした特質を史料を通して分析するとともに、時代の展開を広い視野をもって大局的にとらえる基礎知識を修得する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

近代の文書・記録類は量的にきわめて膨大であり、その種類、形態は多種多様であるが、それは単に時代が新しくなるほど文書・記録類の消滅の度合いが減るといった一般的な理由によるだけでなく、歴史的時代としての近代の政治的・経済的・文化的特質に基づくものである。従ってこの多種多様な文書を読み、検討することによって、日本の近代史上における重要な事件・事項について理解を深める。

#### 履修上の留意点

受講者は授業スケジュールに従って分担予習し、レジュメを作成して授業時にそれを配布しながら報告すること。報告内容は事件・事項・人物などの解説及び関係研究文献などの紹介等。他の受講者との質疑応答をおこない、またそれに教員が補足説明を加える方式で授業を進める。

#### 成績評価の方法

定期試験は行わないが、提出レポート、発表の内容、授業内の討論、出席状況などによる。

#### 教科書

大久保利謙他編『史料による日本の歩み 近代編』（吉川弘文館）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	廣瀬良弘	歴史 3 必 歴史 3 選	4

#### 講義のねらい

本講義では歴史史料をその時代背景や周辺の事情、人と人との関わりなどを考察し、分析し、総合的に歴史を考える力を身につけて、4年次の卒論作成に役立てたい。受講生は自からの担当部分について関連史料、中世から近世にかけての史料講義を通じて地域社会・文化・宗教・権力・民衆について考えたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

具体的には戦国時代に京都と今川領国の間を幾度も往来し一休にも参学した旅の連歌師宗長の『宗長日記』により室町戦国期の社会を、また、信長・秀吉の時代を外国人の眼でみたルイス・フロイスの『日本史』あるいは、乱世を生き抜いた女性の「おあむ物語」「おきく物語」などの史料により移行期の社会について考察し、ディスカッションしていきたい。

受講生は自からの担当分の史料について調べたことを発表し、他の発表者に対しても意見を述べることができるよう努力していただきたい。

#### 履修上の留意点

探究心をもって歴史史料に臨んでほしい。

#### 成績評価の方法

担当史料に対する発表状況・他の発表者に対する質問や意見などの発言状況・出席状況など。試験は行わない。

#### 教科書

随時、史料のコピーを配布する。

#### 参考書等

随時紹介してゆくが、『くずし字解説辞典』（東京堂出版）2,200円などがあるとよい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	まつもと のぶみち 松 本 信 道	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は『日本後紀』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期は卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。

履修上の留意点

受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教 科 書

当該部分をコピーして配布します。

参 考 書 等

『新字源』（角川書店）

そ の 他

授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	なかむら じゅん 中 村 淳	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

清の趙翼が著した『二十二史劄記』を講読しながら、漢文読解能力を養成し、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけとなることをねらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的にどの箇所を読むかは、授業時に指示する。毎回、担当者を決め、担当者にはレジュメを作成し、それに基づいて報告してもらう。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点とを総合して評価する。

教 科 書

必要な史料はプリントで配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	わたなべ 渡 辺 あつし 惇	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

趙翼著『二十二史劄記』（王樹民校証の中華書局本）を講読する。趙翼は清朝の乾隆・嘉慶時期の学者で、進士に合格して官僚となったが、報いられず、のち著述に専念した。『二十二史劄記』は中国歴代の正史の中から、特に後世に参考となる重要問題を選んで簡条書きにした解説集。文章もわかり易く、日本では従来より中国史の史料講読を行う際に、テキストとしてもっとも広く用いられている。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年は明代の部分を中心に講読する。各自割当てられた部分について調べてきて資料をつくり、自ら読んで説明を行う。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教 科 書

テキストは入手難のため、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	ささき 佐々木 まこと 真	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

西洋史に関する古典的なフランス語文献をテキストとし、その輪読により授業を進め、外国語文献・史料の読解力を養うと同時に、卒業論文作成の準備を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは、『*Benoit Garnot, Crime et justice aux XVIIe et XVIIIe siecles*』（2000）を予定している。また、夏休みを利用して、各自が興味を持っている分野に関する文献の調査レポートを作成してもらう。卒業論文作成の準備として、後期には、各受講生に、自分が論文のテーマにしようとする分野に関する報告を義務づける。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表の内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件でしかないことに注意すること。

教 科 書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

そ の 他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	ふせじま まさよし 伏 島 正 義	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

まず第1に、当該演習Ⅰは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒論テーマ具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集とその方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず各自の設定した卒論のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努める。次に前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語で書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒論のテーマの研究を1人1時限を使って発表、質疑応答する。

履修上の留意点

卒論のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語たる独語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。

成績評価の方法

演習にいかにか積極的に且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教科書

テキストは受講生と相談し、決める。

参考書等

必要に応じて随時指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	いいじま たけつぐ 飯 島 武 次	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

中国原典『新中国考古五十年』(1999年)の講読。

講義の内容・授業スケジュール

1時間当たり半頁を読む予定。テキストは授業開始後コピーして渡す。中文講読は、発音と内容解釈からなり、講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要がある。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと、発表者の欠席・遅刻は他の学生の大変な迷惑になる。発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『新中国考古五十年』(文物出版社)1999年

そ の 他

授業方法は学生による原典講読と研究発表。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	酒 井 清 治	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集、執筆の方法などを学ぶ。また、研究レポートを作成し、論文作成の基礎知識を養う。

講義の内容・授業スケジュール

いくつかの日本考古学の論文を選び、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、その問題点などについて全員で討議する。

各自で興味あるテーマを日本考古学の中から選び、研究レポートを書く。それを授業で資料の収集の方法などを含め、発表要旨を添えて発表してもらう。それについての問題点等を質疑応答する。

履修上の留意点

受講者はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

研究レポート、発表と報告者へのコメント、出席状況。

教科書

特になし。

参考書等

論文掲載の引用文献

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	久 保 田 昌 希	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

本講座では、3年での演習Ⅰの成果に立って、特定の史料や受講者自身の研究テーマについて、それぞれ発表し、且つ他の受講者とのそれらに関する討議を行う。そしてそのことで、受講者（発表者）自身はもちろん、受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を一層はかることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

なお、本講座ではあわせて卒業論文の指導も行う。

講義の内容・授業スケジュール

まず本講座の最初に、講読する史料を決めるか、卒業論文に関する個人研究にするかを話し合いたい。その結果により年度の方針を決めたいと思う。

履修上の留意点

卒業論文は、本学科に学んだ成果の現れでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。特定の史料が決定次第そのコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	小 林 和 幸	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

維新、明治期を中心とする日本近代史研究の現状を把握した上で、史料状況を検討分析し、近代日本の政治や文化について考察する。受講者各自のテーマについて研究を深化させ、あわせて「卒業論文」作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

担当者が、先行研究や関係史料の分析検討を報告し、さらに演習参加者全員による討議を行い、各自テーマの理解を深める。

履修上の留意点

研究テーマに対する真摯な取り組みが欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを勘案する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	さとう もとえい 佐藤元英	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

近代文書の中でも特に内閣・外務省・陸軍省・海軍省の公文書および個人文書（日記等）について解説を行いつつ、卒業論文作成のための指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期授業は近現代史に関する史料の所蔵機関である、国立公文書館、外務省外交史料館、防衛庁防衛研究所図書館、国立国会図書館憲政資料室及び地方公文書館、史料館などについて解説をする。後期授業は受講生各自の研究報告を中心に討論形式で進める。

履修上の留意点

受講生各自の研究課題にそった文献目録（5月末）、及び史料目録（6月中旬）を提出させる。

成績評価の方法

提出レポート、授業内の討論によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	なかの たつや 中野達哉	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

大学生活の最も大きな成果の一つとなる卒業論文の作成とともに、史料の調査方法と解説・分析力、論理的に考察・論述する力を身につけることを目的とする。そして、それを、歴史研究のみならず、社会生活においても役立てて欲しい。

講義の内容・  
授業スケジュール

各人が卒業論文のテーマに基づき、前期・後期に各1回程度報告し、受講者による討論を行う。また、随時、卒業論文の指導を行う。

履修上の留意点

本講座は日本近世史（織豊期～幕末期）を対象とするものである。第1回目の授業において、各人の卒業論文のテーマの方向性を考え、報告する日程（順番）を決めるので出席すること。

成績評価の方法

授業での報告と討議、出席状況により評価する。定期試験はなし。

教 科 書

なし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	ひろせりょうこう 廣瀬良弘	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒論の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の講読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていく。

授業スケジュールとしては、

- (1) 卒業論文のテーマの提示 (4月～)
- (2) 研究史の整理 (5月～)
- (3) 卒論論題の確定 (6月10日教務部へ論題提出)
- (4) 研究史の整理と参考文献の検討
- (5) 中心的史料等の分析と論点の明確化 (6月～)
- (6) 卒論の章立に関する作業
- (7) 卒論の概要に関する発表 (7月～)
- (8) 卒論作成に関する技術的なアドバイス (7月～)
- (9) 中間報告 (9月中旬～)
- (10) 最終報告 (10月下旬～)
- (11) 下書の提示に基づく指導と添削 (10月末～11月20日)
- (12) 清書・完成・提出 (12月10日提出)

の順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導の形式で進めていく。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価する。

教科書

各自の卒論のテーマに応じて随時示していく。

参考書等

随時、示していく。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	まつもと のぶみち 松本信道	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、『令義解』所収の「職員令」をテキストとして用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について再検討してみたい。

後期は、各自の卒業論文の研究テーマについての発表と討論を行い、それをもとに卒業論文を完成させる。

履修上の留意点

受講生は必ず予習をして出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

『令義解』の当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』(角川書店)

そ の 他

授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	湯 浅 隆 <small>ゆ あ さ たかし</small>	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文作成を有意義なものとしていくこと。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本近世史で卒業論文を作成する希望者のうち、都市・文化・宗教などの分野を対象とした学生に焦点をあわせた演習となります。

履修上の留意点

自己の論文作成だけでなく、演習参加者のテーマ・関心にも興味を広げていく姿勢をもってください。

成績評価の方法

授業中の発表・討論での発言に基づいておこないます。

教 科 書

使用しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	中 村 淳 <small>なかむら じゆん</small>	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して文献講読を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。スケジュールについては、最初の講義の際に発表する。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点を総合して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	渡 辺 惇 <small>わたなべ あつし</small>	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して中国文の講読を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

夏休みあけの9月～10月の間、各自が進行中の論文について中間発表をやってもらいます。これは各自の考えをかため、より確かなものにする上で意義があるので、全員必ず行うこと。

履修上の留意点

卒論指導と並行して、范文瀾著『中国近代史』の講読を行う。これは純粋な現代文で、中国文の雑誌論文等の文献を読む力をつけ、卒論作成を助けようとするのがねらいです。主に私が読みます。

成績評価の方法

平常点と出席点を総合して決める。

教 科 書

テキストは入手が困難ゆえ、プリントを配布します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	佐々木 真	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

フランス語のテキストの輪読を中心として授業を進め、随時必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、Michelle Perrot 編 『Histoire de la vie privée』（『私生活の歴史』）第4巻所収の論文、Lynn Hunt 『Révolution française et vie privée』（『フランス革命と私生活』）を予定している。内容は平易なので、なるべく多くの量を読むことを目標としたい。また、必要に応じて各受講生の卒業論文の準備状況を報告してもらう。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表の内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件ではないことに注意すること。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	伏島 正義	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

演習Ⅰで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰの段階で読むことのできなかつた文献の入手と解説に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。

履修上の留意点

上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職せんとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習Ⅱの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかつた例をこれまで少なからず見てきたからである。なによりもそのための努力、忍耐が期待される。

成績評価の方法

演習にいかにか積極的に且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	飯島 武次	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・授業スケジュール

考古資料の調査研究を行う。毎時間、履修者の研究発表となるが、発表者は配布資料等を十分に準備して発表に臨むこと。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと。発表者の欠席・遅刻は他学生の大変な迷惑になるので、発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

その他

授業方法は、学生による研究発表。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	さ か い き よ じ 酒 井 清 治	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文を書くために、どのようにしたらよいのか、テーマについても話し合いながら進めたい。また、各自テーマを決める前、あるいは決めたあとにも、それについて学生に発表してもらい、討議する講義方法をとる。

履修上の留意点

発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日、発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。

成績評価の方法

卒論の進行状況を把握するためにも出席を重視する。発表内容・発表者への質問も考慮。

教 科 書

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	ち は も と つ く 千 葉 基 次	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文作成への指導。

講義の内容・  
授業スケジュール

一般的な論文の書き方（技術的部分）の概略説明から始めて、以後逐次受講者自身の研究発表。

履修上の留意点

研究発表を含む受講者の遅刻と無届け欠席は御法度。発表の順番を決めるため、年度第1回目の授業には必ず出席のこと。

成績評価の方法

授業出席と研究発表と論文提出が評価の基礎。教師側の判断で、次年度再履修も充分有り得る。

そ の 他

年度第1回目授業欠席者には、研究発表順位第一位を無条件で付与する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古文書学	松本 信道・久保田昌希 小林 和幸・中野 達哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

古代から近現代にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがちな、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していくという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① ガイダンス……4月12日（担当教員全員）。
- ② 古代の文書様式、木簡、漆紙文書・墨書上器などの利用法、金石文の有効性…4月19日～5月31日（松本担当）。
- ③ 中世の記録史料およびその特徴、中世古文書の形態・様式、中世古文書学の発達と保存・伝来とその利用法…9月20日～10月25日（久保田担当）。
- ④ 近世の古文書学、古文書の整理・分類方法、史資料の保存・利用法…6月7日～7月12日（中野担当）。
- ⑤ 近現代の情報文書学、近現代の公文書と私文書の収集・整理・修復・保存・利用法…11月8日～12月13日（小林担当）。
- ⑥ ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。

履修上の留意点

古代から近現代までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。

成績評価の方法

試験・レポートの成績によって評価する。

教科書

教科書は特定のものを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。

参考書等

各担当教員が教場において指示・紹介する。

その他

講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHPなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古文書講読Ⅰ	吉 田 政 博	歴史2・3・4選	4

歴  
史

講義のねらい

中世社会を研究するための素材としての文献史料は、文書・記録・編纂物などに大別されているが、実際の研究を進めていくうえでは、これらの文献史料に加えて、関連史料などを総合的に判断し、検討していく作業が必要となっている。

本講義では、特に史料批判の中心となる中世文書への理解は基礎として、それを実際に解読することで、史料への分析力・解釈力を身につけてもらうことが大きな目的である。

加えて講義のなかでは、古文書の利用方法や保存の問題、あるいは文化財として保護の問題など、現状での課題点を織り込みながら講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、中世に関する文献史料の概要・基礎知識についての講義を行う。その後は武家文書・寺社文書・記録類などの中世文書のコピーを教材として配付し、講読しながら解説を行う。その際には受講生に史料を解読してもらい、個々の史料解読力を養っていただきたい。

履修上の留意点

予習・復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世をテーマとした博物館の展示会を展覧するなど、積極的に古文書などの実資料に接する機会を持ってもらいたい。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教科書

特になし。史料のプリントを随時配付する。

参考書等

授業のなかで随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古文書講読Ⅱ	ひろせりょうこう 廣瀬良弘	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

古文書は、家が新築されるたびに旧家屋とともに失われていくが、まだまだ未整理・未解説のものが多い市町村にも、思った以上に存在する。これらの未解説の古文書を読み解くことにより、新しい事実が判明することは、どんなに小さな事実であっても、歴史を学ぶ者にとっての醍醐味である。しかし、せっかくの史料も解説できないのでは、どうすることもできない。本講座では、ともかく古文書に親しみ、読解できる力を養い、原文書から歴史を読みとる作業を試みたいと思う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず、近世文書の概要や基礎知識について講義するが、そのあとは、武家・町方・村方・寺社文書などについて、実際に講読しながら説明する。講読は、初歩的なことから始め、次第に難解なものへと進むが、後半には古文書の調査・整理・目録作成、保存、写真撮影、マイクロ写真撮影の方法も身につけたい。まず、「○右衛門」「○左衛門」といった人名の読み方からはじめる。

#### 履修上の留意点

文書の解読力は、文書に慣れ親しむことからつく。予習・復習はもちろんのこと、講義だけでなく、日頃から文書に接する時間をつくることが望まれる。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験により評価する。試験では、原文書一点をあげ、その読み下し文と意味を書かせて、文書の解読力を問う。なお、授業の出欠状況も参考とする。

#### 教科書

講読する史料のプリントを随時配布する。

#### 参考書等

『古文書解読辞典』（柏書房）2,500円 『くずし字解読辞典』（東京堂出版）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本仏教史Ⅰ	まつもと のぶみち 松本信道	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講座は、「仏教の日本の受容」というテーマを中心として日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を政治的・社会的・思想的・宗教的環境のなかで有機的にとらえてゆくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的な視点と、古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆的視点からもアプローチしてみたい。

#### 成績評価の方法

前期・後期2回のレポートで評価したい。

#### 教科書

随時、プリントにて配布します。

#### 参考書等

速水侑『日本仏教史』古代編（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋文化史Ⅰ	さ さ き まこと 佐々木 真	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

近代社会の成立において、「管理」や「規律」といった概念が重要な役割を果たしたことは、さまざまな歴史家によって指摘されていることである。そこで、本講義では、近世末から近代にかけて、ヨーロッパ諸国において戦争や軍隊が有していた意味を考えつつ、上記の問題を検討してみたい。軍隊のあり方やその機能、国家による戦争の遂行は、近代国家や近代社会の形成に非常に大きな影響を与えており、最近ではそのような視点に立った研究が見られるようになった。本講義では、そのような研究動向をふまえ、フランスを主な題材として、近世から近代への移行において、戦争や軍隊がどのような役割を果たしたのかを考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. 絶対王政期の軍隊と戦争（戦術の変化、軍隊の実態、軍制改革、王権と戦争）
2. フランス革命と戦争（革命下の軍制改革、兵士と市民的自由）
3. 近代社会と戦争・軍隊（国民化・近代システムと軍隊、国家と軍隊、総力戦体制）

#### 履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

#### 成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

#### 教科書

教科書は特に指定しない。

#### 参考書等

参考文献は、授業中に随時紹介するが、主要なものとしては以下のようなものがある。  
 アルフレート・ファークツ『ミリタリズムの歴史』（福村出版）  
 山内進『掠奪の法觀念史』（東京大学出版会）  
 専修大学人文科学研究科編『フランス革命とナポレオン』（未来社）  
 ジェフリ・パーカー『長篠合戦の世界史』（同文館）  
 A. J. P. テイラー『戦争はなぜ起こるか』（新評論）  
 マイケル・ハワード『ヨーロッパ史と戦争』（学陽書房）

#### その他

授業は講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本文化史Ⅱ	よ し だ ま さ ひ ろ 吉 田 政 博	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ①日本文化史概観
- ②平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③中世文化史研究の動向
- ④中世文化の展開
- ⑤室町文化（北山・東山文化）
- ⑥禅宗と文化
- ⑦京都と大名領国の文化
- ⑧下剋上の世と文化
- ⑨桃山文化
- ⑩宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪近世文化史研究の動向
- ⑫寛永文化
- ⑬元禄文化と化政文化

#### 履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

#### 成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

#### 教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

#### 参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史各説Ⅰ	う さ み ま さ と し 宇佐美 正 利	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本の歴史を考えた場合に、仏教思想の影響が非常に大きい。また我々の一生の通過儀礼をみた場合にも、多くの人の最後は仏式の葬儀によってその一生が終わる。このように現在の我々の日常生活においても、仏教の影響を強く受けているのである。本講座では、古代における国家と仏教、社会と仏教、民衆と仏教の関係を中心とした講義を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下のものである。

1. 仏教伝来
  - a. 仏教伝来（公伝と私伝）
  - b. 聖徳太子の仏教信仰
2. 奈良仏教と貴族
  - a. 律令国家と仏教
  - b. 国分寺の創建
  - c. 盧舎那仏の造立
  - d. 行基の宗教活動
3. 平安仏教の成立
  - a. 平安遷都と仏教界の動向
  - b. 最澄と天台宗
  - c. 空海と真言宗
4. 浄土の世界
  - a. 浄土信仰
  - b. 空也と民間浄土教
  - c. 源信と『往生要集』
  - d. 神仏習合思想

成績評価の方法

前期は課題レポートを提出、後期は筆記試験。レポートの内容、試験の点数、出席点で成績を評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考文献については開講時に説明する。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史各説Ⅱ	く ぼ た ま さ き 久保田 昌 希	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は中世史を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。

日本中世史の研究は、明治期における原勝郎の『日本中世史』によって提起された、いわば武家社会発展史（公家政権の衰退史）が伝統的史観であり、それは戦後日本中世史研究の出発点となった石母田正の『中世的世界の形成』へ継承されていく。

それから約50年後の今日、中世史研究は活況を呈している。それはなぜであろうか。それはおそらく先に述べたように、政治史的には武家領主層が王朝権力との拮抗を軸に展開し、ついにはそれを凌駕していく過程や、一方で歴史の主役に民衆が登場してくるという躍動感あふれる時代というイメージが強いということもあろう。本講座ではこれらの視点に立って、研究史も紹介しながら概観していく。

中世という長い時代を年間約25回の講義で、全体的に細かくまとめることはなかなかむずかしい。したがって、焦点を絞りながら、当該の研究史も紹介しつつ述べていきたい。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史各説Ⅲ	なかの たつや 中野達哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世前期の領主支配と地域社会の形成・変容について、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、おおよそ享保期までの在地支配と地域社会について、具体的に史料をあげながら講義する。徳川氏の関東転封、近世初頭の江戸および江戸城の状況とその建設、徳川氏の家臣団の知行割と初期検地、代官頭および代官の支配と村社会、近世社会の基礎を支えた村の構造、村社会の慣行と秩序、そして、それらによる地域社会の形成と変容などについて触れていく。

履修上の留意点

「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、日本史あるいは近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験は論述方式をとる。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

必要な資料は、授業時に配布する。教科書はなし。

参考書等

とくになし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史各説Ⅳ	さとう もとえい 佐藤元英	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

昭和初期対中国政策の諸問題とアジア太平洋戦争の終結過程を講義する。  
日本外務省外交史料館及びPublic Record Office、National Archives Record Administrationなどに所蔵されている外交文書を検証しながら、昭和初期の中国をめぐる国際関係について考察することと、閣議、大本営政府連絡会議、最高戦争指導会議、最高戦争指導会議構成員会議、御前会議等の分析を行いながら、日本の終戦決定過程について論ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期授業は、幣原外交と田中外交に関する研究の現状、東方会議の歴史的意義とその評価、山東出兵と陸軍、「満蒙問題」と外交交渉、南満州鉄道株式会社と鉄道問題、張作霖爆殺事件と昭和天皇、ロンドン海軍軍縮会議などの諸問題をとりあげる。後期授業は、開戦から東条内閣倒壊まで、小磯・米内内閣の時期、鈴木内閣とポツダム宣言受諾に至るまでの各内閣の特質をとりあげる。

成績評価の方法

成績評価の方法は、数回のレポート提出による。

教科書

教科書は特に指定しないが、佐藤元英『近代日本の外交と軍事』、同『アジア太平洋戦争期政策決定文書』を参考図書とする。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅰ (古代)	うえすぎ あやこ 上 杉 紋 子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

平安時代は日本古代及び中世の間に位置し、古代社会の変質時期であるとともに中世社会へと転換する重要な時期である。

平安社会について理解を深めてもらうのが、本講義の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講座では当時の貴族日記である古記録を基本史料として引用しつつ、平安時代の政治文化について講義する。基本史料である古記録は、これまで六国史をはじめとする歴史史料に親しんできた者にとって扱いにくい存在であると思われる。だが平安時代を研究しようと思えば、古記録を解釈・引用することは重要な課題なのである。

古記録の解釈に留意しながら、平安社会を概観する。

履修上の留意点

随時プリントを配布する予定なので、ノート類に貼付し毎回持参のこと。

成績評価の方法

評価は出席状況と、前期・後期の講義最終日に試験を行なう。またレポートを提出してもらう。

教科書

テキストは使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅱ (中世)	かめたに ひろあき 亀 谷 弘 明	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本列島は周囲を海に囲まれており、現代の我々にとっても食生活のみならず様々な側面で「海民文化」の伝統の影響が大きい。例えば、祝儀の際の「鬘斗(ノシ)」は古代以来の「海民文化」のひとつである。近年、日本史の分野でも中世史を中心に列島内外の海上交通を媒介とした交流、非農業民の活躍などがクローズ・アップされてきている。そして、このことが原始・古代以来の伝統であると論じられることが多い。それ自体は決して誤りではないが、中世史研究者が古代の「海民文化」を論じる際、平安時代の『延喜式』の分析中心で、それ以前の奈良時代の海民の動向については必ずしも詳細な検討がなされていない。そこで、奈良時代の新出史料である木簡も含めた諸史料からはじめて、『延喜式』の貢進物史料、さらに中世の記録等の検討を通じて古代から中世への列島の「海民文化」の展開について明らかにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. ガイダンス 2. 歴史学と民俗学 3. 渋沢敬三と式内魚名 4. 現代生活と海民文化  
5. 古代の海民・山民について 6. 膳氏と安曇氏 7. 地名から海民の生活を探る 8. 贊木簡について 9. 木簡にみえる地名 10. 参河国播豆郡三島の贊 11. 伊豆国の堅魚(鯉)貢進 12. 隠岐国の海産物貢進 13. 若狭国の塩貢進 14. 伊勢神宮領御厨について 15. 古代・中世東国の海上交通について 16. まとめ

履修上の留意点

プリントを随時配布するので、毎回出席されたい。

成績評価の方法

出席、レポート、定期試験等から総合的に判断する。

教科書

特に指定しない。参考書等は適宜授業中に紹介する。

その他

授業は基本的に担当教員の講義形式とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史特講Ⅲ (中世)	こ ま つ と し は る 小 松 寿 治	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

讓状や置文などの相続にかかわる史料を検討しつつ、鎌倉時代の武士の「イエ」の在り方について考えてみる予定です。

講義の内容・  
授業スケジュール

相続にかかわる研究のなかで代表的な論文の解説をする。そのうえで個別の事例にあたりたいと思います。

履修上の留意点

講義では板書が多くなるので、ノートをとることを勧めます。

成績評価の方法

評価は試験によって行いますが、論理的に説明ができているかを重視します。

教 科 書

教科書は特に定めず、参考となる文献については授業中に紹介しますので、購入等は自己の判断でください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史特講Ⅲ (中世)	く ろ だ も と き 黒 田 基 樹	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

15C後半～17C前半は、日本史上における大きな転換期にあたる。これまで中世と近世という形で分断されてきたこの時期を、一つの時代として認識するとともに、「中世の戦争と飢饉」から「近世の平和」へ、という観点から、この時代の歴史的段階としての特質について追求していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

近年の中世史研究における村落論の進展によって、社会を村落・民衆の視点から認識できるようになった。ここではその視点をさらに発展させるべく、人々の生存・生活という側面に迫り、そこから15C後半～17C前半（いわゆる戦国～江戸初期）という時代の特質を考えていきたい。具体的には、村と村の生業分担、生活必需品の流通、といったことを素材として取り上げていきたい。

履修上の留意点

授業は、史料を講読しながらすすめていく。その都度、プリントを配布する。

成績評価の方法

レポート、出席状況などから判断する。

参 考 書 等

適宜、授業のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅳ (近世)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

身分制度という枠のほかにも女性というもう一つの枠のなかで生きぬいた近世の女性たちについて法制学・社会学・民俗学等の成果を取り入れて立体的に講義する。何故不況になると女子学生に対して社会は就職の場を閉ざすのか、日本民族に流れる男尊女卑の思想はいつ、どうして生まれたのかという疑問を女性史に立脚して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

恋愛・結婚・出産・教育・離婚・犯罪などのテーマをたてて、前期・後期を通じて講義する。

履修上の留意点

ノート中心とするため講義にはできるだけ出席し、よく聞いて疑問点は質問や自分で調べる努力をし、補充しつつノート作りに励むこと、批判的精神を養ってほしい。

成績評価の方法

論述試験を実施する。また成績評価の際出席日数を参考にする。

教科書

なし。

参考書等

その都度知らせる。

その他

講義のみ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅴ (近世)	さくらい くにお 桜 井 邦 夫	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

交通史の側面から、近世とはいかなる時代であり、その真の姿はどのようなものであったのか、具体的な史料から探してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は街道・宿場・飯盛女などを、後期は庶民の旅に関する活字史料を読みながら講義をすすめる予定。史料の読解力をつけるねらいで、毎回受講生に配布するプリントを読んでもらう。

成績評価の方法

レポート及び出席日数などを総合して評価する。レポートはフィールドワークにもとづく課題を出す予定。

教科書

使用しない。必要な史料等は随時配布する。

参考書等

随時紹介する。

その他

必要に応じてスライド等を用いる。本年は中山道が制定されて400年目の節目の年にあたるため、各地の博物館などで展覧会が開かれる。これらの情報は講義の中で随時紹介するので、積極的に見学などに訪れてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅵ (近代)	こばやし かずゆき 小林 和幸	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本近代史、特に明治期の政治史に関する諸問題を検討する。本年度は、日本近代史の主要な問題に於ける藩閥政府・宮中・華族・政党・官僚・軍部等の諸政治勢力の思想と動向を随時分析検討しながら、明治国家の政治が如何に展開したかを史料を提示しながら解明していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度の講義は以下のように進める。

- 1、保守派の政治思想  
保守派の形成  
保守派と立憲政治
- 2、天皇と華族  
華族制度の制定過程  
華族の役割
- 3、貴族院と衆議院  
貴族院の会派と政党  
貴族院の制度化の進行

履修上の留意点

参考文献を適宜紹介するので、積極的に参照してほしい。

成績評価の方法

レポート、定期試験。

教科書

なし。

参考書等

随時指示する。

その他

基本的に講義を中心に行なうが、随時ビデオなどの映像資料も利用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅶ (近代)	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史各説Ⅰ (古代)	こばやし そうほち 小林 惣八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義で取扱う範囲は、秦の統一から後漢滅亡までの約400年間である。

今日確認できる最古の王朝は夏王朝を倒した殷王朝からである。文献学上のうえで最古の王朝とされる夏王朝はその実在が確認されておらず、今後の中国考古学の大きな課題となっている。殷王朝の実体は多数の邑制国家の連合体であった。次の西周においても、この構造は基本的には同じであった。東周時代の初めには、このような邑制国家は二百数十を数えたが、春秋・戦国時代の激しい抗争の間に滅国併合された結果、秦が天下を統一して秦そして漢の統一国家の時代を迎えるのである。またこの間は、新石器時代に芽生えた文明が中国固有の文化に発展して1つの結実をもたらした時期でもあった。その高度な文化は周辺の諸民族に多大な影響を与え、やがて中国を中心とする東アジア世界の形成に向かうのである。

中国の歴史の中で、我々はこの一連の時期を古代としてとらえている。したがって本講義の取扱う範囲は中国古代史であり、そのうちでも特に漢代史に焦点を当てるものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

取扱う内容は

- (1) 古代帝国の成立(秦時代) (2) 古代帝国の発展(前漢時代)  
(3) 古代帝国の没落(新・後漢時代) (4) 古代中国をめぐる国際関係

以上を軸に、講義を主に、時にディスカッションを交えて進めたい。

履修上の留意点

中国史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教 科 書

特に定めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史各説Ⅲ (中世)	い し だ はじめ 石 田 肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

<唐宋時代の諸問題>と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

講義の内容・  
授業スケジュール

昨年度は<唐宋変革期の諸問題>と題して唐宋時代を概説し、ことに北宋の首都開封について考えました。本年度は前期では時代区分論について紹介し、ついで征服王朝という視点から時代を概観し、後期では前期の講義をふまえていくつかのテーマについてお話する予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史といった私の関心のある分野から選んで講義することになると思われます。

履修上の留意点

講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出そして試験によります。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

適宜、講義中に示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史各説Ⅵ (近世)	さ と う ふ み と し 佐 藤 文 俊	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

明清時代史  
本講義の扱う時代は、中国の宋・元・明・清四王朝を対象とし、特に明清時代を詳説する。漢民族王朝の宋・明・非漢民族支配王朝の元・清の継起の中で、今日いう中華民族が形成された。中国の近世の軸ともいべき明清時代の政治・経済・社会・文化等の歴史について、最近の研究動向も取り入れた講義を行いたい。  
なお明清時代を扱う場合、世界史の動向と関連しつつ東アジア史の中で位置づけて考える必要がある。つまり東アジアの多くの国でこの時期、近代と関連する各々の伝統社会が形成されたことである。この点にも留意したい。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

試験による成績評価を軸とする。なお受験資格は実授業数の3分の2以上の出席を要する。

参 考 書 等

授業でその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史各説Ⅶ (近・現代)	ちやう ぐん 趙 軍	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、近・現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジアおよび世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概略的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から1949年中華人民共和国の成立までの歴史を解説し、後期は中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

1. アヘン戦争と中国の「開国」
2. 「太平天国」農民運動
3. 洋務運動と日清戦争
4. 士紳らの救国運動 - 戊戌維新 -
5. 農民らの救国運動 - 義和団事件 -
6. ブルジョア階級による救国運動 - 辛亥革命 -
7. 北洋軍閥統治下の中国
8. 国民革命の開始と挫折
9. 日本の満州侵略と紅軍の長征
10. 中国の抗日戦争
11. 解放戦争と新中国の誕生
12. 1950年代前期の中国
13. 「反右派闘争」前後
14. 「文化大革命」の嵐
15. 鄧小平と改革開放政策

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教 科 書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』岩波新書336 (岩波書店)

参 考 書 等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史各説Ⅷ (周辺史)	な ら しゅういち 奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

東西交渉史：VOCを中心に  
 F・ブローデルの『地中海』が翻訳されてから、海をテーマにした歴史が語られるようになってきた。しかも、海上ルートは、広い範囲で、長い期間使われてきており、紀元前後から、モンソーンを利用し、様々な商品だけでなく、文化・技術・思想なども運んでいる。  
 この講義では、この海上ルートをテーマに取りあげる。海上ルートの歴史は古いが、おもに、16-18世紀に活躍した、オランダ東インド会社（VOC）の活動に焦点を当てたい。というのは、この時代は、近世（Early Modern）であり、海上交易が盛んになった時代であるからであり、また、VOCが、歴史上初めて、一つの組織によって、ヨーロッパから東アジアに至る海上交易ルートの管理を行ったからである。このVOCの歴史を通し、海上ルートがどのような歴史を持ち、また、どのような商品が運ばれたか、さらに、この交易により、他の地域にどのような変化を起こしたのか、という、東西相互の関係を考察していきたい。

履修上の留意点

東西交渉史となると、どうしても、扱う範囲が広がる。そのために、基本的な世界史の知識を確認しておくほうが、良いかと思う。

成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

参考書等

永積昭『オランダ東インド会社』（講談社学術文庫）2000年  
 科野孝蔵『オランダ東インド会社の歴史』（同文館）1988年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史各説Ⅸ (周辺史)	まつもと ひろし 松 本 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は中東史であり、一般にイスラム期と呼ばれる中世と、近現代がその内容となる。近年、中東やイスラムに関わる事件が報道で大きく扱われるようになってきているが、それら個々の問題や中東、イスラム全般に関わる理解は、未だ不十分と思われる。それゆえ、講義の対象には初学者を想定し、中東及びイスラムの基礎的な理解のための情報提供を第一の目標とする。  
 しかし同時に、中東に関する一般的な興味、関心が上記した報道内容にあることも考慮して、現在報道されている個々の事件についても解説や論評も行いたく、これが第二の目標とな

講義の内容・授業スケジュール

「中東（Middle East、地理用語では西アジア及び北アフリカ）」という言葉の意味から始めて中東における民族や宗教を概観し、アイデンティティの問題を論じることによって、その社会の特質を明らかにする。加えて、ユダヤ教、キリスト教、イスラムという中東で成立した一神教の流れから、イスラムの占める位置も確認する。  
 次に、預言者ムハンマドから正統カリフ、ウマイヤ朝、アッバース朝のイスラム史を概観し、その政治史や政治体制を解説するとともに、イスラム神学・法学やイスラム神秘主義といった思想史も扱いたい。

成績評価の方法

前後期2回の試験によって、成績を評価する。

教科書

教科書は特に用いない。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史各説Ⅹ (周辺史)	かたおか かずただ 片 岡 一 忠	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本と中国は長い交流の歴史をもっている。今日でも両国の関係はいろいろな分野で活発であるが、時としてはトラブルが起こっている。その背景には近代における日中関係が影を落としていえる。講義では近代における両国の政治・文化的分野での事件を取り上げ、今日の両国の歴史的背景とその問題点を提示したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

(1)中国の近代と日本の近代 (2)近代以前の日中関係 (3)日清修好条規 (4)国境確定と日中関係 (5)琉球問題 (6)1880年代の日本の変化 (7)日清戦争 (8)中国人の日本留学 (9)日本の中国関係団体 (10)辛亥革命と日本 (11)第一次大戦時期の日中関係 (12)日中国交正常化の途 (13)日中間の諸問題

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。日本史・アジア史に関心のある学生の聴講を歓迎する。

成績評価の方法

前後期各1度の小テストと後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教 科 書

とくに指定しない。関係資料を配付する。

参 考 書 等

授業のなかで指示する。

そ の 他

講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史特講Ⅱ (古代)	こばやし そうはち 小 林 惣 八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

内陸アジア史において先進的な役割を演じたのはオアシス地帯である。そこには支配者及びその行政機関が存在し、農産物・工業製品は豊かに、隊商は東西に往来した。東西各地の名のあがる宗教が行われ、寺院においては高僧が求道や布教に努め、芸術も盛んで、高度な文明が現出した。しかし、その孤立的な性格は全体として統一されることなく、東西の交通をみずから一元的に維持するほどの力もたなかった。この地帯を安穏に通行することは遊牧民の力を借りずにはなし得なかった。玄奘が西突厥可汗の紹介でインドまで出られたことや、後のモンゴル帝国の交通繁栄の場合などがそのよい例であろう。遊牧民こそはその政治的統一によってオアシス国家を支配下におき、この大道を保護し、東西交通を円滑にした実力者であった。

また一方中国のような大農耕地帯と相対するときには、遊牧民はその帝国の混乱期には一個の強力な軍事集団として参加し、征服への道を追及する。そしてみずから支配者、帝王となり強固な政治組織を建設する。いわばアジアの専制主義機構は多くの場合、彼らによって再建されたのである。北魏以降清朝に至る大帝国の成立は皆それが事実であることを証明するであろう。内陸アジアはアジア全体に対して政治的エネルギーの発生源となっており、そこに内陸アジア史の大きな歴史的意義を我々は考えることができる。

講義の内容・  
授業スケジュール

取扱う内容は

- (1) 遊牧国家とオアシス国家  
匈奴遊牧国家以前とそれ以降  
オアシス諸国家
- (2) 征服王朝

以上を軸に、講義を主にディスカッションを交え進めたい。

履修上の留意点

アジア史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教 科 書

特に定めない。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史特講V (中世)	い し だ 石 田 肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

<書道史から見た唐宋時代>と題して講義します。いわゆる書道史というと美術史の一部門になりますが、ここでは名品を通覧する一般の書道史とは視点をかえて、書を史料としてとらえたり、あるいは中国文化史という立場からいくつかの問題を講義します。いわば中国古文書学ということにもなります。

講義の内容・  
授業スケジュール

書道などというアレルギーを起こす人がいるかもしれませんが、書の作品自体が歴史学からすれば史料ということになります。そこで中国書道史の時代区分についてお話しして中国書道史の流れを説明したうえで、唐宋時代の書を史料としてとりあげ、一方、書を文化史という視点から様々な形で考えて行くことにします。具体的には顔真卿が書いたといわれる告身つまり辞令を文書学的に検討したり、科挙と書道の関係を分析したり、五代を生き抜いた官僚で書の方面でも著名な楊凝式の生涯をたどったりする予定です。書道に関する素養は一切必要ありません。

履修上の留意点

講義ではなるべく多くの資料を配布しますので、配布資料を必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出そして試験によります。

教 科 書

なし

参 考 書 等

適宜示します。

そ の 他

実物を見るのが大切です。博物館や美術館へゆくことを勧めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史特講VIII (近世)	ま とう ふ み と し 佐 藤 文 俊	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

謎の人物、李岩

明末農民反乱の雄で、明朝を滅し短期間大順国皇帝として即位した李自成の側近に、政策参謀李岩なる人物がいたといわれる。彼は地主知識人出身で、飢饉の際、郷里の農民に同情し発言、行動したため、知県や郷紳と対立して投獄された。恩義を感じていた農民等に、破獄により助け出された李岩は結局、李自成軍に参加することになったという。

所が清中期より、この李岩なる人物は架空の人であるという説が李岩の郷里である河南開封府杞県でいわれるようになった。

はたして李岩なる人物はいたのかそれとも架空の人物であったのか？この論争は現在まで続けられ、決着をみていない。

講義では、史料と主要な論文を提示し、上記の問題を考える。

成績評価の方法

成績と演習による評価。受験資格は実授業数の3分の2以上の出席数を要する。

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

講義と演習方式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史特講ⅩⅠ (近・現代)	ちよう 趙 ぐん 軍	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概要的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概要的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携」と「征亞論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山満と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満州事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦
14. 改革開放と「新アジア主義」
15. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教 科 書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年  
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参 考 書 等

田中明彦著『日中関係 1945 - 1990』（東京大学出版会）1991年  
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.est.hi-ho.ne.jp/~zhaojun/> など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史特講ⅩⅡ (近・現代)	ふ じ や こ う え つ 藤 谷 浩 悦	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、東アジアの近代の歩みについて、清末中国における社会と文化を中心に考察する。テーマは前期が「民衆反乱」、後期が「文化摩擦」である。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は以下の通りである。

[前期]

- |           |             |            |           |
|-----------|-------------|------------|-----------|
| (1) 問題提起  | (2) 18世紀の世界 | (3) 白蓮教徒の乱 | (4) 民間諸宗教 |
| (5) 反乱の世界 | (6) 会党と近代   | (7) 太平天国1  | (8) 太平天国2 |
| (9) 太平天国3 | (10) 義和団1   | (11) 義和団2  | (12) 義和団3 |
| (13) 辛亥革命 | (14) (予備)   | (15) (予備)  |           |

[後期]

- |             |            |             |             |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| (1) 問題提起    | (2) お茶と文化  | (3) 茶の世界史   | (4) 病気の歴史   |
| (5) 茶とアヘン   | (6) アジアの近代 | (7) アヘン戦争1  | (8) アヘン戦争2  |
| (9) 上海と横浜   | (10) 上海の歴史 | (11) 留学生と日本 | (12) 文化と政治1 |
| (13) 文化と政治2 | (14) (予備)  | (15) (予備)   |             |

履修上の留意点

当該時期に関心を抱くことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は試験に出席率を勘案して行う。

教 科 書

教科書や参考書は授業の中で指示する。

そ の 他

適宜、史料を配付する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史特講ⅩⅣ (周辺史)	な ら し ゅ う い ち 奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

東方アジア近世史

現在、「近世」(Early Modern)という概念が、世界史の中で使われるようになってきている。以前の古代、中世、近代という三分法の時代区分では間に合わなくなってきたからである。「近世」とは、中世と近代の間ではなく、独立した時代と捉えられている。この時代区分は、東南アジア史研究において、頻繁に使われるが、東南アジアだけでなく、東アジア史研究でも使われる概念である。

この授業においては、「近世」を、「モンゴル帝国」の時代から、18世紀までの時代と捉える。この時代は、モンゴル人の大遠征により、ユーラシア大陸の東西が緩やかに結合され、経済が発展したあと、各地で様々な王朝が成立した時代であり、各地の政府が海上貿易を統制するようつとめ、しかも、民間人による貿易活動が盛んとなっている。

この近世の東・東南アジアを、「東方アジア」という一つのまとまりと考え、この地域が、歴史的にも、文化的にも、一つの世界と考えられていることを考察したい。この地域だけでなく、他の地域との比較や世界史的な視野から、その相互関係を中心として見ていきたい。

履修上の留意点

受講する際に、基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。

成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

参 考 書 等

フェルナン・ブローデル『地中海』(藤原書店)全5巻 1991年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史特講XV (周辺史)	かたおが かずただ 片 岡 一 忠	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

中国とその西方、すなわち西域との関係は、絹の西方への伝播や仏教の中国への伝来等、平和的な関係もあったが、中国王朝にとって西域は政治軍事上きわめて重要な位置にあった。講義では、西域をめぐる中国と北方の遊牧民との関係からはじめ、主に18世紀以降の問題について検討し、今日の中央アジア情勢の背景をさぐる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 西域とは
- 2 西域の地理的環境
- 3 オアシア世界の政治経済的特徴
- 4 遊牧民と西域
- 5 中国と遊牧民
- 6 中国と西域
- 7 中国王朝の西域政策
- 8 清朝の西域征服とその統治政策
- 9 19世紀の世界情勢と西域
- 10 清朝の政策の変更
- 11 辛亥革命と西域(新疆)
- 12 20世紀中央アジア - ソ連と中国
- 13 今日の中央アジア

#### 履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。中国の辺境や西域(中央アジア)に関心のある学生の聴講を期待する。

#### 成績評価の方法

小テストや後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

#### 教科書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

#### 参考書等

授業の中で指示する。

#### その他

講義形式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史各説II	いわもと ひろこ 岩 本 裕 子	歴史2・3・4選	4

### 講義のねらい

西洋史の中でもアメリカ合衆国の歴史を講義してきている。これまでは、「インディアン」と間違っって呼ばれていた先住民が、最初にアジア大陸から南北アメリカ大陸に渡ったときから現在までを対象とした通史、あるいは「多文化社会アメリカ」を形成する様々な要素、すなわち人種、民族、宗教、ジェンダー（男女性別）、セクション（地域性）など合衆国独特のテーマ別史、また担当者の専門領域「アメリカ黒人の歴史と文化」など、年度ごとに様々なテーマで講義してきた。

昨年度は、合衆国の歴史を「映画の中に読み込む」ことがテーマであった。拙著『スクリーンで旅するアメリカ』を手がかりにした。引き続き今年度も映画を題材にアメリカ史を講義する。映画はフィクションであり、歴史学の対象になり得ないが、映画が歴史に裏付けられることは「時代考証」という言葉からも明らかである。映画を読む上で歴史の知識が必要であることが実証されるような講義にしていく。歴史学科生だから「歴史嫌い」はないだろうが、「映画嫌い」はあるかも知れない。「映画を学ぶことが大切だとわかる歴史好き」になる講義を展開したい。

### 講義の内容・授業スケジュール

通年のテーマは、「アメリカ映画を民族、宗教、人種、ジェンダーでよむ」である。

#### ★前期：「民族と宗教でハリウッド映画をよむ」

ハリウッド映画は、ユダヤ系アメリカ人によって作られたものだ。ユダヤ教徒、カトリック教徒といえ、アメリカ社会ではマイノリティである。この人たちによってハリウッド映画は発展してきた。ユダヤ系では、スピルバーグ監督の『シンドラーのリスト』が有名であろう。ウッディ・アレンという鬼才監督もユダヤ系である。さらに、カトリックの中には、アイルランド系とイタリア系が代表格である。消防士の映画『バックドラフト』、警察官の『コップランド』、さらにIRAがらみで『デビル』などを検討する。イタリア系ならば、マフィアの抗争を描いた『ゴットファーザー』、20年代のイタリア系アメリカ人、サッコとバンゼッティの悲劇を描いた『死囚台のメロディ』などを検討することでアメリカ社会の陰をみていきたい。

さらに前期後半では、民族としては、先住民（インディアン）を対象にした映画『ラスト・オブ・モヒカン』『ダンス・ウィズ・ウルブズ』『ジェロニモ』などを取り上げ、西部劇の悪者とされた先住民の虚像と実像を考えたい。

#### ★後期：「スクリーンにみるアメリカ黒人女性」

担当者の専門領域であるアメリカ黒人女性史を基礎にしなが、歴史に従ってアメリカ映画を読み込んでいく。対象になる映画は『風と共に去りぬ』『カラーパープル』『ベリー・ホリデー物語』『ティナ』『ロング・ウォーク・ホーム』『ボディガード』など多数である。

### 履修上の留意点

講義で引用する映画のシーンについては、可能な限り講義の中で見せていきたいと思うが、時間や教室の限界もあり、言葉での引用に終わるケースの方が多くなることは避けられない。そうなると思えないまま映画で合衆国を語ることになり、不十分な理解になってしまう。ビデオが普及している昨今なので、受講生の個人で映画を見ることで確認をするという作業をしてほしい。

### 成績評価の方法

前期と後期の各期で試験を行う。同配分で評価の対象とするため2回受けることは必須である。自筆のノートのみ持ち込みの試験であるため、講義に出席することは大前提である。

### 教科書

岩本裕子『スクリーンに見る黒人女性』（メタ・ブレン社）99年

### 参考書等

前期にはテキストがないため、個々のテーマに関して講義の折々に参考文献を紹介する。後期には岩本裕子『アメリカ黒人女性の歴史』（明石書店）1997年をここにあげておきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史各説Ⅲ	ふせしま まさよし 伏 島 正 義	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした物語を選んでみたい。そして、そうした物語がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にはどのような物語を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。

講義の内容・授業スケジュール

文献、関係論文（邦文、英文）、史料などを読み、それを演習形式により授業を進める。なお、本講では論文（邦文、英文）をその数において多く読むことよりも、その1つ1つを丁寧、正確に読むことを心がけることにより、当該論文の筆者の主張を深く理解し、合せて歴史研究の方法と学ばんとするものである。

履修上の留意点

本講は西洋史一般の知識を広く、そして多く獲得することを単に目的とするものではなく、むしろ歴史の深部を探求し、考求せんとするものである。したがって授業は演習形式で行うため、受動的な態度ではなく、地道にして、しっかりした心構えを持つ受講生を希望します。

成績評価の方法

あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決める。但し、その場合、毎回授業にどれ程熱心に、積極的に参加しているかが基本的な基準となることは言うまでもない。

教科書

教科書は特に定めはない。必要な論文、史料はプリントとして配布する。

参考書等

参考書は授業の進行に合わせて、その都度指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史特講Ⅰ	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

西洋史を専攻する場合、欧文文献の講読は不可欠な作業となる。なぜならば自分が研究したいテーマに関する日本語文献は史料も研究論文も不十分に違いないと思われるからである。これに対して英語の文献は様々な分野の研究に及んでおり、また英語に翻訳された様々な言語の史料も存在する。それゆえ英語の読解力がまず必要となる。そこで本講義においては、西洋史を学ぶために必要な英語の読解力の向上をめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

研究文献や史料の読解とは受験までの速読による概要把握ではなく、なによりもまず一字一句の精読によって内容を正確に知ることが求められる。そこで本講義において時間を要することは構わず、学生諸君一人一人の訳す作業を通して英文の正確な理解とそれを土台に文献から必要な情報を得る術を習得してもらいたい。

履修上の留意点

上記の目的を達成するためには丹念に辞書を繙き事前に予習することは当然である。しかし本講義は語学の授業ではないので日本語に訳すだけで満足しないで、それに加えてテキストの内容を歴史的に理解しなければならない。そのため叙述にある歴史的な事件、人名、地名等も事前に調べることも必要である。なお、新2年生および昨年度履修できなかった西洋史専攻の希望の3年生は必ず出席すること。

教科書

第一時限目に指示する。欧米文化の特質を古代ギリシア・ローマ文化の影響という観点から考察した論考を予定している。

その他

ゼミ形式で、事前に訳者を割り当てはしない。それゆえ必ず予習して、そして英和辞書（最低でも中辞典以上のもの）を持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史特講Ⅴ	佐々木 真 <small>まこと</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

歴史学の研究においては、自分の研究テーマにかんして、過去の研究動向を調べたり、歴史上の事件・人物などを調査したりと、さまざまなことを調べるのが、常に必要とされる。そこでこの授業では、まず様々なことの調べかたを講義し、その後に受講生各自に、自分が選んだテーマ（歴史上の事件や人物）にかんする報告をしてもらう。また、外国語文献の講読を平行して行う。

講義の内容・授業スケジュール

最初の数回は、講義により事項や研究文献の調べかたを述べる。この場合、必要に応じて図書館の見学なども実施する。その後、各受講生にテーマを決めてもらい、それについて事実関係や現在までの研究状況、各人の意見などを報告してもらい、必要に応じて討論を行う。ただし、受講生の数によって、報告のペースが変化するので、報告が行えない週には外国語の文献の講読を実施する。

履修上の留意点

指定された報告者は、自分が選択したテーマに関して、きちんと調査して報告することが義務づけられる。他の受講生も必ず出席して、他の学生の報告を参考とするとともに、討論に参加してほしい。また、状況によってはグループを作って報告をしてもらうこともあり得る。授業に積極的に取り組むことにより、自分で物事を調べる楽しさを味わってほしい。

成績評価の方法

成績の評価は、出席と報告の内容および、自分の報告にかんして学年末に作成するレポートの内容によって決定する。

教 科 書

教科書は特に指定しない。必要な文献については、授業の中で随時指示をする。

そ の 他

授業は各人の報告による演習形式が主体となるが、具体的な進め方については、受講生の意見を聞いて決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋各国史Ⅰ	渡辺 知 <small>ちか</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

19世紀以降のイギリスの社会がどのような社会であったのかを見ながら、イギリスの歴史がどのような特殊性を有しているのか、また、イギリスの近現代の歩みが世界史的にどのような意味を持つのか、考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期はジェントルマン、労働者、女性、子ども、移民等は19世紀のイギリス社会においてどのような位置を占めていたのか、またこれらの間にはどのような関係が結ばれていたのかを主なテーマとして講義をすすめます。また、近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。さらに、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。後期は、このように明らかにされつつあるイギリス帝国の多様なあり方がイギリスの社会にどのように影響を与えたのかを考えていくこととします。

成績評価の方法

前、後期末にそれぞれ試験を行います。また、夏休みあけにはブックレポートを提出していただきます。成績はこれらの総合評価とします。

教 科 書

使用しません。

参 考 書 等

講義中に随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋各国史Ⅱ	<small>とりごえ やすひこ</small> 鳥 越 泰 彦	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

～多国史のなかのハプスブルク帝国史～

この講義では、一時期ヨーロッパに君臨しつつも、あまり知られていないハプスブルク帝国史を扱います。今年度は特に17世紀から第1次世界大戦による帝国の崩壊の時期までを対象とします。基本的には、17世紀はじめに起こった30年戦争から順に話を始めていきますが、講義のなかでは、歴史記述の問題にも触れていきたいと思ひます。というのも、ハプスブルク帝国の領土は現在のオーストリアをはじめ、ハンガリー、チェコ、スロヴァキア、スロベニア、クロアチア、ユーゴスラヴィア、ポーランド、ルーマニアなどの中東欧・バルカンの国々、さらにはベルギーやイタリアにも及んでいました。よって「国民国家」の時代である現在では、その国によってハプスブルク帝国をどのように描くかも異なっています。そこが歴史記述を検討するゆえんです。このような「一国史」を多数検討していくことで、ハプスブルク帝国の実像に迫りたいと思ひます。

#### 履修上の留意点

受講にあたっては、特にハプスブルク帝国についての予備知識は要りません。ただし、ほぼ毎回みなさんに質問や意見を求めますので、考えながら聴講してもらう学生諸君を歓迎します。また毎回の講義では、こちらの用意したプリントを配布してすすめていく予定です。

#### 成績評価の方法

評価については、夏休みに課題図書レポートを課し、学年末に試験を行い、さらに平常点(出席と意見提出などによる)を加味して行ひます。

#### そ の 他

ハプスブルク帝国領だった中東欧やバルカンの国々については、みなさんは何か暗いイメージしかないと思ひるので、ビデオを見る機会を多く作りたいと思ひます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋各国史Ⅲ	<small>みやもと なおみ</small> 宮 本 直 美	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義は、19～20世紀前半のドイツを対象として、その広義のナショナリズムの歴史を幅広い角度から概説する。ドイツのナショナリズムを考えるとときは、ナチスを避けて通ることはできないが、しかしナチス期だけに注目すればよいというものではない。ナチスに至るドイツのナショナリズム問題の解明のためには、どのような方法があるのか、どのようなアプローチがあるのかを、学生諸君に知ってもらい、かつ考えてもらうことが本講義の目的である。このように考える時に、ナチスの問題は我々の今日的な問題として認識されるのであり、またドイツのナショナリズム問題以外の領域への応用可能性も拓かれるのである。したがって、講義では、一般の「歴史概説」のように年代を追って事件を並べるのではなく、社会史、文化史、精神史、思想史、女性史、歴史社会学といった相互に関連する分野を順次取り上げて、それぞれの分野の問題意識から見た「ドイツ近代」を紹介してゆき、同じ時代が、見方を変えることによって異なる像をを結ぶことを確認する。それによって、学生諸君には、史実を暗記する機会ではなく、歴史について自ら考える契機を提供したいと考えている。

#### 履修上の留意点

「歴史を記述する視角」を重視するため、場合によっては、ドイツ近現代史の範囲を越える内容を講義に盛り込むこともある。また、受講にあたってはドイツ語の知識は特に要求しない。

#### 成績評価の方法

半期ごとにレポートを課す。評価は、レポートの成績と出席率を考慮して行う。

#### 教 科 書

教科書は特に指定しない。参考書は授業ごとに指示する。

#### そ の 他

講義を予定しているが、受講者の人数・要望によっては、演習形態を取ることもある。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋各国史Ⅳ	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

西洋文化の源流に位置し、今日でも西洋世界の共通の基盤として重要な位置を占める古代ギリシア・ローマ世界を取り上げる。本講義においては概説的な通史をするのではなく、「スパルタ教育」で有名なスパルタというポリスに注目して従来と異なったアングルからギリシア人の世界を考察した後、支配下に組み入れられたギリシア人の視点などにも注目して、ローマ人の世界に関する一般的な認識を再検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、最初に西洋文明においてギリシア・ローマ世界がいかなる影響を与えながら後世の人々に認識されてきたのかを考えてみる。そしてこの認識が現実の古代世界の理解をいかに歪めてきたのかを示した上で、ギリシア人、ローマ人の実際の社会を取り上げたい。まずギリシアに関しては従来とは違った視点から、彼らの歴史的特性とは何かを改めて問いかけてみる。次にローマ人の社会に目を向け、その成り立ちから世界帝国への発展を概観した後、彼らと支配領域との関係を見直してみる予定である。そして最後にはギリシア世界とローマ世界の根本的な相違を考察することにより、我々の一般的な西洋古代史理解の問題点を探りたい。

履修上の留意点

ただ情報を得るだけではなく、講義内容を土台に西洋古代世界とは現実的にはいかなる社会であったのかを自分なりにイメージし、自らが所属する現代社会とはいかに違うのかを考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。

成績評価の方法

講義をした上で考えたいが、出席が前提となる。

教科書

使用しない。

参考書等

講義中に随時、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学各説Ⅰ	こんどう ひでお 近 藤 英 夫	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

授業の内容であるが、南アジア最古の都市文明であるインダス文明の解説を中心におき、講義をすすめる。授業各時限に個別のテーマ（「都市と農村」や「交易」など）を設定し、都市を存立させたさまざまな基盤について検討していく。その際、インダス文明と平行する年代のメソポタミアや湾岸地域の動向についても紹介していく。これらの作業を通して、「都市とはなにか」「文明とはなにか」について考えていく。

履修上の留意点

授業では極力、視聴覚資料を多用し理解をはかる。また、授業中に参考文献等を示していくので、事前にそれに目を通して授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

授業の進行に従い、数度のレポートを課し、それを総合して成績評価を行う。

教科書

特に定めない。

参考書等

辛島昇他『インダス文明』（日本放送出版協会）1980年  
近藤英夫編『四大文明〔インダス〕』（日本放送出版協会）2000年  
『ORIENTE』23,（古代オリエント博物館）2001年  
その他の文献については、授業の進行に応じ適宜、示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学各説Ⅲ	いまむら けいじ 今村 啓爾	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

縄文時代について文化と社会の特徴を知り、東アジアにおける位置付け、人類史における位置など広い視野の中でそのありかたを理解することをめざす。また現在の研究の課題とその解明の現状について学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

学史・時代区分論などアウトラインから話をはじめ、次いで時間の流れに沿って文化の変遷を見る。後期は遺物・集落・生業研究など特定の問題を順次とりあげ、最後にアジアの中における縄文文化の位置付けを考える。

成績評価の方法

毎回講義終了後に質問カードを配布するので、その日の講義に関する質問を1つ記入すること。次回にその中からいくつかをとりあげ答えを述べる。採点はこの質問カードによって行なう。ただし聴講者が多くて毎回これを行なうことが困難と思われるときにはペーパーテストに切りかえる。

教科書

今村啓爾『縄文の実像を求めて』（吉川弘文館）1,700円

その他

講義形式

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅰ	たむら こういち 田村 晃一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

朝鮮半島はその地理的位置のゆえに日本と深い関係をもっている。それにもかかわらず朝鮮半島の文化について、多くの日本人は無関心ないし無知であるように思われる。それは明治時代以来、日本政府のってきた政策のせいでもあるが、同時にまたわれわれの取り組み方の問題でもあるようである。

ここでは、日本と朝鮮の関係を視野にいれつつ、主として先史時代から三国時代ころまでを対象に、朝鮮半島での考古学的事象について講義し、朝鮮半島の文化の実態を究明することとした。ただし、通史的ではなく、トピック的になるであろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅲ	さかい きよじ 酒井 清治	歴史2・3・4選	4

歴史

講義のねらい

古墳時代から古代にかけて朝鮮半島から伝わった須恵器が作られるが、この須恵器は古墳時代の畿内政権あるいは各地の首長層と密接な関連があり、古墳時代あるいは古代を考えるに重要な土器である。この須恵器は、現在全国各地で詳細な編年ができ、考古学的な年代決定の重要な資料となっている。また、生産地である窯跡が判明しており、消費地との需給関係がわかる。さらに須恵器生産は古墳時代にあつてはきわめて政治的に生産が開始されており、窯業生産址から生産体制を解明する材料となりうる。当時の手工業史としての須恵器生産史や流通史を解明することにより、須恵器から古墳時代、古代を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

須恵器に関する論文を紹介しながら、須恵器の生産・流通・歴史的背景を概観する。

履修上の留意点

遅刻しないこと。

成績評価の方法

定期試験とレポートおよび平常点

教科書

授業の中で適宜紹介する。

参考書等

中村浩『須恵器』（ニュー・サイエンス社）  
中村浩『和泉陶邑窯の研究』（柏書房）  
山田邦和『須恵器生産の研究』（学生社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅳ	矢野和之	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造体の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

#### 履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

#### 成績評価の方法

試験、演習提出物

#### 教科書

なし

#### 参考書等

適宜指示

#### その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西域美術史	まつだいら みわこ 松平美和子	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

東西文化の接点である西域、すなわちシルクロードにおいては、古代より各種の文化が混交し独特の文化が形成されてきた。特に西アジアから中央アジアにかけて、各遺跡からは興味深い美術工芸品が出土している。本講義はシルクロードの文化の交流を美術工芸史の面から考慮していることとするものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

シルクロードの工芸史と文様史を学ぶ。本年は工芸史としてガラス工芸とタイル装飾を含む陶磁器の歴史をとりあげる。

#### 成績評価の方法

夏期休暇後と学年末の二回のレポートで評価する。

#### 教科書

講義時にプリントを配布する。

#### 参考書等

講義時に適宜紹介する。

#### その他

具体的な作品を対象とするので、毎時間スライドを使用し、必要に応じてビデオも用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲学史	やまぐち まさひろ 山 口 祐 弘	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

#### 参 考 書 等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史哲学	く ぼ よういち 久 保 陽 一	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

歴史哲学は、個々の事件を理念や原理から統一的に説明したり評価する歴史形而上学や、歴史認識の可能性や方法論を問う歴史認識論とに大別される。本講義では、これらの考え方を歴史的に検討し、今日の歴史認識の方向を探りたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 ヘルダーと和辻の風土論
- 2 ヘーゲルの歴史哲学
- 3 マルクスの史的唯物論
- 4 新カント派の文化科学方法論
- 5 デルタイの精神科学基礎論
- 6 ハイデガー、ガダマーの解釈学

#### 履修上の留意点

ノートをよく取ること。私語はつつしむこと。

#### 成績評価の方法

出席状況、レポート、試験。

#### 教 科 書

ヘーゲル『歴史哲学』（上中下三冊）（岩波文庫）

#### 参 考 書 等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』（放送大学教育振興会）、シュネーデルバッハ『ヘーゲル以後の歴史哲学』（法政大学出版局）、久保陽一『初期ヘーゲル哲学研究』（東大出版会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教美術	まつだ せいいちろう 松 田 誠 一 郎	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

天平時代後期〔754～783〕から平安時代後期〔951～1185〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史の変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題にも論及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】

- 第1回 ガイダンス  
 第2-3回 1. 唐招提寺の鑑真和上像  
 第4-5回 2. 唐招提寺金堂の盧舎那仏像  
 第6-8回 3. 唐招提寺の天平後期木彫像  
 第9-10回 4. 神護寺の薬師如来像  
 第11-12回 5. 広隆寺金堂・講堂の仏像  
 第13-15回 進捗調整のための予備日

【後期】

- 第1-3回 1. 東寺講堂の諸像  
 第4-5回 2. 神護寺の五大虚空蔵菩薩像  
 第6-7回 3. 観心寺の如意輪観音像  
 第8-9回 4. 室生寺金堂の諸像  
 第10-12回 5. 平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像  
 第13-15回 進捗調整のための予備日

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

後期末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

教 科 書

水野敬三郎著『奈良・京都の古寺めぐり-仏像の見かた-』（岩波書店）1985年 650円

参 考 書 等

水野敬三郎監修『カラー版 日本仏像史』（美術出版社）2001年 2,500円

そ の 他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国歴史文学	なぐも さとる 南 雲 智	歴史2・3・4選	4

歴  
史

講義のねらい

中国文学の流れをつかむと同時に、中国文学の特質とは何かを考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

長い歴史を有する中国文学の全体像をすべて把握するのは困難であろう。断片的にならざるを得ないが、大きな流れだけは見失わないように授業を進めたい。

成績評価の方法

成績評価はレポートにする予定であるが、変更する場合もあり得る。

教 科 書

教科書は使用しない。

参 考 書 等

授業中に適宜、プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有職故実	おおつか ひでこ 大塚 英子	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解説の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論ずることにより、国文学や国史の研究に一視点を提供したい。具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。

##### B、平安朝の年中行事

1. 「年中行事絵巻」を映像資料として、平安朝における年中行事の意義を考える。
2. 正月の年中行事を詳説し、政治と年中行事（特に朝賀）との関係を考察する。
3. 『源氏物語』花宴の巻が書かれるまでの「花の宴」の伝統を考察し、文化的年中行事成立の条件について示唆する。
4. 平安朝において二月～十二月に行われていた年中行事の一つを題にレポート作成。

##### 後期A、『源氏物語絵巻』と服飾

1. 平安貴族社会の服飾を制度と流行の二側面から概説、『かさね色目』の展示。
2. 撰閲時代の男性装束と女性装束を、故実書や文学から例文を引用して解説する。
3. 絵巻の内容について、服飾の観点から解説を試みる。

##### B、平安朝における官職位階の制度

常時出席しないと修得はむづかしい。

#### 履修上の留意点

#### 成績評価の方法

後期で学習した事項について学年末にテストを行い、前期のレポートとあわせて評価する。

#### 教科書

河籾実英『有職故実』（塙書房）1,900円、源氏物語絵巻のコピー、及びプリントを使用。

#### その他

OHP・ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本民俗学	たにぐち みつぎ 谷 口 貢	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼——出産と子育て——
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美術史概説	えびね としお 海老根 聡 郎	歴史2・3・4選	4

歴  
史

講義のねらい

日本絵画史概説

講義の内容・授業スケジュール

法隆寺の壁画から、高橋由一まで、古代から近代までの日本絵画史の流れを展望する。毎回、一点の作品をとりあげ、その背景、作家、思想などを述べる。毎回、多数のスライドを使用する。

主な作品は以下のとおり、  
法隆寺壁画、応徳涅槃図、源氏物語絵巻、信貴山縁起、山水屏風、山越阿弥陀図、黙庵筆布袋図、雪舟筆天橋立図、永徳筆聚光院襖絵、等伯筆松林図屏風、宗達筆蕨の細道図、光琳筆紅白梅図屏風、江漢筆富士山図、若冲筆動物植絵、探幽筆山水図屏風、歌麿筆美人図、写楽筆大首絵など

成績評価の方法

筆記試験、出題範囲は授業中に述べたことより。

教科書

各種の概説書、美術全集

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ラテン語	うえの かつひろ 上野 勝 広	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、基礎文法の重点を順次概説します。その後、理解確認の練習問題に取り組みます。

履修上の留意点

練習問題については、常に指名されての解答が求められます。受身でなく、自ら学ぶ姿勢をもって授業に臨んでください。

成績評価の方法

年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。

教 科 書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教 科 書

田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994年

参 考 書 等

参考となる資料は随時、配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史地理学	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本の事例を中心に歴史地理学の主な内容を概観する。  
地理学科の学生が歴史地理学的調査をする場合を考えて、近代以降の歴史地理学の資料について詳述する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
2. 歴史地理学の資料
3. 村落
4. 都市

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。  
レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学概説	こ い け と み こ 小 池 と み 子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

現代世界の地域構成を理解することを目指して、前期は主として民族・国家の観点から各地域における民族問題・地域紛争などを取り上げる。後期は経済地理学的視点から、経済発展と地域の変容を世界の諸地域について検討し、現在の課題を追求する。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教 科 書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参 考 書 等

高校用地図帳（『新詳高等地図』帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）

その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

そ の 他

授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地誌学	かわもと とよかず 川 元 豊 和	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

南アジア・東南アジアの地誌について授業を進める。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラディッシュとマレーシアを予定している。前半では、主にバングラディッシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変異、労働力の問題などについて考えてゆきたい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴や工業化・都市化にともなう村落の変貌などについて、最近の地域研究の成果を紹介してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

①地域研究について ②稲作における「緑の革命」 ③バングラディッシュ農村における近年の農業の変化 ④バングラディッシュ農村における土地所有と小作制度 ⑤バングラディッシュ村落の変貌と都市化 ⑥マレーシアにおける多民族社会の形成 ⑦半島マレーシアにおける地方都市の発展 ⑧サラワク州におけるイバンの生活

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教科書

特に定めず、プリントを配布する。

参考書等

授業内において、その都度紹介する。

その他

講義中心の授業であるが、スライドやビデオの使用も予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地誌学	あらい さちほ 新 井 祥 穂	歴史2・3・4選	4

講義の内容・授業スケジュール

わが国の農村・山村・離島部では、かつて基幹産業であった第一次産業が長く停滞しており、そこに居住する人々は、就業先の確保をはじめ生計の組み立て方に様々な困難を抱えてきた。高度成長期以降、これらの地域に多大な公共投資がなされてきたのもこうした理由による。

しかし、国家財政が逼迫するなかで、1990年代以降は政策的な介入が簡単には認められなくなってきている。つまり現在は、いったい何が公共的に解決すべき問題であるか、改めて吟味すべき時期にきているといえよう。この作業には、現場からの精確な情報とそれにもとづいた検討が不可欠であるが、これらの地域についてはどちらかといえば理念やイメージが先行し、その経済・社会の本質を伝える情報は以外に少ない。

本講義では、日本の農村・山村・離島部がどのような経済社会であるのかについて、具体的に精確な理解を目指す。その際に、これまでの公共政策ではこれらの地域の内実がどのようなものと理解され、いかなる方向に誘導されていたのか、という点との比較を強く意識する。また随時、海外の農山村の状況やそこで関係した公共政策との比較も織り込む予定である。

履修上の留意点

参加者には休暇等を利用して農村・山村・離島部のリアリティを体感することを期待する。

成績評価の方法

成績評価は年度末の試験（1回）で行う。これに、随時とる出席も考慮する。

教科書

特に指定しない。オリジナルな配布資料をこちらで用意する。

参考書等

ピンチ著 神谷浩夫監訳『福祉の世界』（古今書院）2001年

その他

講義形式をとる予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地誌学	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

世界と日本の地域システムとその変化について、地図の利用・活用を含めて学習する。特に、教職教科であるので、講義だけでなく地誌の教育と学習という観点からテストや地図作業なども取り入れたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

①地誌学とは何か（地誌と地理学の研究、地誌の教育と学習）、②地図を活用する（地図帳、主題図、地形図を読む）、③世界の諸地域（北米大陸、東南アジア、ヨーロッパ）、④日本の諸地域（自然景観の特色、災害と日本列島、農業地域・工業地域・都市地域・住宅地域・余暇地域の特色）などについて、最近の地理学の地域研究成果を交えながら概説する。

講義だけでなく、地図の読図作業や地誌に関するテスト（高校生レベル）も随時実施する。

履修上の留意点

毎時間の出席状況や授業への参加態度も重視する。

成績評価の方法

中間試験（7月最終授業日）及び学年末試験（1月）の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験（課題や小テストを含む）の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫編『ジオグラフィー入門』（古今書院）1996年 2,575円

長谷川典夫『地誌学研究』（大明堂）1994年 3,150円

その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

そ の 他

講義は、配布プリントとOHPを利用して行い、課題や小テストも実施する。

## Ⅱ 專 門 教 育 科 目

5 社 会 学 科  
社 会 学 專 攻



## II. 専門教育科目

### (5) 社会学科 (社会学専攻)

社会学概論	坪井健	515
社会調査	牛島千尋	516
社会学基礎研究	川本勝・李妍炎・牛島千尋・金丸由雄・山田信行・坪井健	517
情報処理実習	軽部幸浩	518
調査統計基礎演習	友岡邦之	519
調査統計基礎演習	三重野卓	519
社会学史	李妍炎	520
社会学演習 I	牛島千尋	520
社会学演習 I	金丸由雄	520
社会学演習 I	川本勝	521
社会学演習 I	小林弘人	521
社会学演習 I	坪井健	521
社会学演習 I	山田信行	522
社会学演習 I	李妍炎	522
社会学演習 II	牛島千尋	523
社会学演習 II	金丸由雄	523
社会学演習 II	川本勝	523
社会学演習 II	小林弘人	523
社会学演習 II	坪井健	524
社会学演習 II	山田信行	524
理論社会学	〈休講〉	
外書講読	金丸由雄	524
現代社会論	李妍炎	525
政治社会学	岩瀬庸理	526
家族社会学	中谷茂一	526
法社会学	小林弘人	527
文化社会学	友岡邦之	527
宗教社会学	芳賀学	528
地域社会学	〈休講〉	
災害社会学	〈休講〉	
マス・コミュニケーション論	川本勝	529
産業・職業社会学	山田信行	530
社会心理学	〈休講〉	
社会病理学	〈休講〉	
社会学原論	渡辺源樹	531
教育社会学	熊谷一乘	532
宗教人類学	佐藤憲昭	533
社会調査演習	坪井健	534
社会統計学演習	山田信行	534
社会調査実習	李妍炎	535
社会学理論研究 I	山田信行	535

社会学	理论	研究	Ⅱ	《金	丸	由	雄》	.....	535
社会学	特殊	讲义	Ⅰ	《川	本		勝》	.....	536
社会学	特殊	讲义	Ⅱ	《牛	島	千	尋》	.....	536
社会学	政	法		《鷄	德	啓	登》	.....	537
社会学	(福	社)		《小	林	弘	人》	.....	537
社会学	保	障	論	《船	水	浩	行》	.....	538
社会学	人	社	論	《東	條	光	雅》	.....	539
社会学	童	社	論	《山	本	真	実》	.....	540
社会学	域	社	論	《豐	田	宗	裕》	.....	541
社会学	童	理	学	《横	山		剛》	.....	542
社会学	業	理	学	《高	橋		誠》	.....	542
社会学	境	理	学	《高	橋	鷹	志》	.....	543
社会学	年	理	学	《中	里	克	治》	.....	543
社会学	心	策	学	《光	岡	博	美》	.....	544
社会学	心	法	策	《藤	本		茂》	.....	545
社会学	會	法	法	《竹	中	智	香》	.....	546
社会学	濟	原	論	《浅	野	克	巳》	.....	547

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学概論	つ ぽ い 坪 井 健	社 会 1 必	4

#### 講義のねらい

この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会学的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会学とは何か - 3つの方法 -
3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験 -
4. 社会現象の不思議 1 - 予言の自己成就 -
5. 社会現象の不思議 2 - 自殺的予言と潜在的機能 -
6. 社会現象の不思議 3 - 社会的ジレンマ -
7. 社会現象の不思議 4 - 歴史のパラドックス -
8. 社会現象の不思議 5 - 組織のパラドックス -
9. 社会現象の不思議 6 - 犯罪のパラドックス -
10. 社会現象の不思議 7 - 情報社会のパラドックス -
11. 社会学の基礎概念 1 - 社会的行為 -
12. 社会学の基礎概念 2 - 相互作用 -
13. 社会学の基礎概念 3 - 社会的地位 -
14. 社会学の基礎概念 4 - 社会的役割 -
15. 社会学の基礎概念 5 - 文化 -
16. 社会学の基礎概念 6 - 価値と規範 -
17. 社会学の基礎概念 7 - 集団と組織 -
18. 社会学の基礎概念 8 - 社会的性格と社会化 -
19. 現代社会論 1 - 崩壊する家族 -
20. 現代社会論 2 - 多文化の世界 -
21. 現代社会論 3 - 人生と職業労働 -
22. 現代社会論 4 - 高齢化社会と生き方 -
23. 現代社会論 5 - 豊かさとは何か -
24. まとめ - 社会学の仕方 -

#### 履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見・評価用紙を配布するので、積極的に記入すること。
3. 個別質問は、講義後5分程度の質疑応答時間を設けるので、その際、積極的に尋ねてもらいたい。
4. 各テーマを1時間完結の予定である。内容や順序は変更することもある。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

#### 成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

#### 教科書

各テーマの授業時間に指示する。

(社会学)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会調査	うしじま ちひろ 牛 島 千 尋	社 会 1 必	4

講義のねらい

本講義は、私たちの周囲に生起する社会的現象を科学的に解明するために、データの収集・記録・整理・分析という一連の過程としての社会調査の技法を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期から後期にかけては主に質問紙法を使用した量的な調査法について、後期は主に質的調査法について講義する。講義内容の概略は以下の通りである。

1. 社会調査の系譜
2. 社会調査の種類—量的方法と質的方法
3. 量的調査の実例
4. 調査対象・対象範囲の決定
5. 調査単位の選定と標本抽出
6. 調査票の作成
7. 既存資料の検討と分析
8. 質的調査の実例
9. 生活史法、参与観察法、内容分析
10. 社会調査の結果分析とまとめ方

成績評価の方法

レポートと試験によって評価する。

教 科 書

渡辺久哲『調査データにだまされない方法』（創元社）

参 考 書 等

谷岡一郎『「社会調査」のウソ』（文春新書）  
森岡清志編『ガイドブック・社会調査』（日本評論社）  
K. プラマー『生活記録の社会学』（光生館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学基礎研究	坪井 健・牛島 千尋 金丸 由雄・川本 勝 山田 信行・李 妍炎	社会 1 必	2

#### 講義のねらい

社会学科社会学専攻に所属することになった新入生諸君は、これから4年間の大学生活で社会学を中心に学んでいくことになる(その成果は「卒業論文」としてまとめられる)。高校までの勉強では、問題が与えられ、それに必ず解答があったはずである。ところが、大学での学習は、問題(研究テーマ)をみずからみつけなければならないし、その問題(研究テーマ)に模範解答などというものは存在しない。自分で解答を探し出していくということが求められるのである。

こうした大学での社会学研究を進めていくにあたって必要な知識やノウハウを習得し、同時に社会学という学問がもっている多様な側面を紹介することによって、新入生諸君の問題発見に役立ててもらおう、というのがこの授業のねらいである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期：受講生はすべて1つの教室に集まって授業をおこなう。6人の教員が持ち回りで2～3回ずつ講義をおこなう。受講生はかわるがわる登壇する6人の教員全員の講義を聴くことができるわけである。社会学を学んでいくにあたってのところがまえ、あるいは諸君が自分自身で研究テーマを見つけていく手助けとなるような内容の講義をする。社会学と一口にいってもその研究領域は多岐にわたるので、各教員がその専門とする領域の立場から講義をおこない、社会学の多様な側面を紹介することになる。

後期：受講生は6人の教員いずれかのもとで授業を受けることになる。したがって少人数で授業をおこなう。内容は、社会学研究にあたって必要となるさまざまな知識やノウハウの習得である。社会学がその研究対象とする「社会」を見る眼とは何かといったことにはじまり、文献や資料、統計データの探し方・読み方・まとめかた、レジュメや論文・レポートの書き方、ゼミでの報告のしかたなど具体的な内容までを含んだ授業内容となる。

#### 履修上の留意点

授業の進め方が前期と後期で異なるなど、複雑である。したがって、必要に応じて掲示などで指示をおこなう。また、必修科目であるから出席は厳しくチェックする。後期の教員の担当(クラス分け)については別途指示するのでそれにしなうこと。

#### 成績評価の方法

出席状況、受講態度、習得状況などから総合的に評価する。

#### 教科書

安藤喜久雄編『わかりやすい・論文レポートの書き方』(実業文日本社)特に後期に使用する。

#### 参考書等

必要に応じて指示するが、社会学を学ぼうとするものとして「社会学辞典」を1冊もつことが望ましい。「社会学辞典」にも分厚く高価なものからコンパクトで廉価なものまで数多くある。具体的には授業の中で紹介するので、購入するのはその後のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理実習	か る べ ゆ き ひ ろ 軽 部 幸 浩	社 会 1 必	4

#### 講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用してレポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することをすすめる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick)
- ・日本語ワープロの習得 (MS - Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS - Excel)
- ・統計ツールパッケージの習得 (秀吉for Windows)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよびWWWの利用

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくとも年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回(1回平均約2時間程度)の実習が必要となる(昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

また、Type Quick、MS - Word、MS - Excel、秀吉for Windowsの習得は、単位取得のための必須条件である。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解、実習での応用力の程度によっては、期末試験を免除する場合がある。

#### 教 科 書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

#### 参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
調査統計基礎演習	ともおか くにゆき 友 岡 邦 之	社会 2 必	4

講義のねらい

社会調査に必要な統計の手法の基礎知識を、体系的に学習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のような流れで展開します。

- ・ 標本調査の基礎原理  
標本調査の基礎的な理論を学ぶ。標本調査の利点、標本誤差、分散と標準偏差、正規分布といった統計学の基礎概念の復習。
- ・ 分析の手法（1）  
データの加工の手法に関して、最も基礎的な度数分布表やヒストグラムなどの統計グラフ、および平均、モード、メジアン、分散度、尖度、歪度、四分位偏差などの特性値を中心とした紹介を行う。
- ・ 分析の手法（2）  
変数間の関係を分析する手法を紹介する。中心となるのは、相関関係の理解である。これに関して、共分散と相関係数の意味、また曲線相関や偽相関の問題などを論じる。また、回帰分析の発想の基本についても簡単な説明を行う。
- ・ 分析の手法（3）  
属性相関と統計的検定に関する手法を簡単に紹介する。第一にクロス集計表の読み方を確認し、第二に、カイ<sup>2</sup>乗検定法による独立性の検定の手法を開示することにより、統計的検定の含意を理解してもらうことを目指す。

成績評価の方法

年2回の講義内容を踏まえたテストにより、評価を決定します。

教科書

講義初回時に指示します。また、講義内容に関する情報は、ホームページを開示して公開します。

参考書等

授業時に適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
調査統計基礎演習	みえの たかし 三重野 卓	社会 2 必	4

講義のねらい

社会調査を企画・実施し、調査結果を集計・分析するための統計学の知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、記述統計学と推測統計学の基礎を理解することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本演習を理解するためには、高校程度の積分、確率論の知識を必要とする。これらの授業を高校で履修していないひとのために、また、履修しているひとにとっては復習のために、数学的な基礎知識を教授する。

具体的な内容としては、まず、1. 社会調査のプロセスを明らかにする。その場合、社会学の理論と実証の関係、変数の操作化、尺度化などについて検討する。2. 記述統計学の理解としては、平均、分散、標準偏差、積率などについて講義し、さらに、2変数間の関係を表すピアソンの相関係数、クラマーの関連係数（クロス表分析）についても検討する。3. 推測統計学の理解のために、確率変数、確率分布、標本分布の考え方を明らかにし、それらを踏まえ、推定（点推定、区間推定）、検定について詳細に検討する。

履修上の留意点

統計学は、欠席すると次週以降の授業内容の理解が困難になる。授業のペースにあわせて勉強し、復習をすること。分からないところは、積極的に質問しに来て欲しい。

成績評価の方法

前期、後期の2度の試験により評価する。毎回、出欠をとり、出席率のよいものについては、成績評価において加味する。

教科書

D. ロウントリー（加納訳）『涙なしの統計学』（新世社）。なお、授業では、毎回、プリントを配布する予定。

参考書等

G. W. ボーンシュテットほか（海野、中村訳）『社会統計学』（ハーベスト社）

その他

授業は、なるべく学生と会話しながらすすめ、簡単な演習問題をやってもらう。

（社会学）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学史	李 妍 炎	社会 2 必	4

講義のねらい

なぜ社会学史を勉強するのか。人名や流派名、社会学理論の潮流に関する知識を覚えるのは主要な目的ではない。常識を疑うところから社会学という学問を創り上げてきた社会学者たちの、「疑う心」と発想法を学び、思考回路を探り、その議論と主張から物事を考えるヒントを得るための科目である。この講義によって社会学のエッセンスをみなさんに伝えたい。

講義の内容・授業スケジュール

毎回1人の社会学者を取りあげ、その生い立ちや人間像を紹介しつつ、人間または社会のどんな問題に社会学者が魅せられ、それについてどのような研究をし、どのようなことを考えたのかを中心に講義を行う。「社会の不思議」を主たるテーマとする社会学者と、「人間の不思議」を主たるテーマとする社会学者という2つの柱で進めていく。テンニース、ウェーバー、デュルケム、フロム、リースマン、シカゴ学派、パーソンズ、マートン、フーコー、ブルデュー、ルーマン、ハバースマスなどの「大家」と呼ばれる海外の社会学者だけでなく、現在の日本社会学界で活躍している個性的な社会学者も講義で取りあげる予定である。

履修上の留意点

私語をしない、携帯電話の電源を切るなど、基本的なマナーを守ること。

成績評価の方法

1. 毎回授業の感想や疑問点に関するアンケートを取り、それによって出席状況を把握し、平常点を付ける (30%)。
2. 期末試験 (70%)。

教科書

授業時に資料を配布する。

参考書等

新睦人・中野秀一郎編 『社会学のあゆみ パートⅠ』、『社会学のあゆみ パートⅡ』 (有斐閣新書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学演習Ⅰ	牛 島 千 尋	社会 3 必	4

講義のねらい

履修者は「都市」に関するテーマを絞りこみ、論文という形に完成させるまで研究を進めていく。他者に理解できるような発表の仕方についても学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテーマを絞り込み、洗練させ、文献検索と資料収集をする(基礎研究の復習)。後期は、研究論文の骨子を考え、引き続き、文献検索と資料収集を行い、発表を重ねていく。

履修上の留意点

履修者は、大学での演習と、さらに合宿での研究発表を併せて、年に3回以上の発表を行う。

成績評価の方法

出席回数、発表内容、演習中の発言にて評価する。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学演習Ⅰ	金 丸 由 雄	社会 3 必	4

講義のねらい

この演習は自分の最も興味を持つ対象を研究しようとする学生を対象とします。そのために3年次においては主として以下のことを行うことを目的とします。

- (1)社会学における基礎的概念の理解
- (2)研究対象の明確化
- (3)以上に基づいて卒業論文の題目を決定し、研究方法を決定し、4年次における本格的作業のための準備をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅰ	かわもと まさる 川 本 勝	社会 3 必	4

講義のねらい

社会学の理論と方法を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

マス・コミュニケーションの社会学を中心に扱う。  
前期は、マス・コミュニケーション論に関する論文を読みながら、理論の整理を行い、メディアと社会生活を分析する社会学的視点を修得する。  
後期は、内容分析などを行い、方法論を修得する。理論と方法論を学んで、卒業論文のテーマを見つける。  
年2回のゼミ合宿を行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅰ	こばやし ひろひと 小 林 弘 人	社会 3 必	4

講義のねらい

この演習は、社会学コース・社会福祉学コース専攻者の3年生を対象とする。この演習の年間予定は、前半において両コースに関連する文献を講読する。後半は各自の興味（どんな事柄でもよい）を卒業論文テーマにリンクさせ、合宿等によって、卒論テーマを確定する作業を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅰ	つぼい つよし 坪 井 健	社会 3 必	4

講義のねらい

このゼミでは、社会学・社会心理学の学習を通して、我々が生きている世界の認識能力を高め、社会の中で自己を活かす能力の育成をめざして、理論的・実践的な相互学習をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には、集団心理、対人関係、世代（青年・高齢者）文化、国際交流、異文化理解など研究領域から、具体的な共同研究テーマを設定して、①文献研究、②データ収集、③整理分析、④報告書作成まで、グループ学習と集団討議を通して実際的な研究をする。  
<坪井ゼミの年間行事予定>  
「新歓コンパ」（5月）／「ゼミOB会」（7月）／「ゼミ合宿」（9月）／「4年生卒論発表会」（12月）／「追い出しコンパ」（2月）／海外セミナー旅行（8月または3月）／「卒論構想春合宿」（3月）

履修上の留意点

ゼミは、知識伝授型の学習ではなく、問題発見と問題解決型の学習を基本とする。従って、ゼミ学習の主体は、学生自身であり、ゼミ学習の場は、教室外の街中や国内・海外を含む行動力が求められる。

成績評価の方法

①ゼミ活動への参加度、②レポートや報告などの課題達成度、により総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学演習Ⅰ	山 田 信 行 <small>や ま だ のぶゆき</small>	社会 3 必	4

講義のねらい

現代の日本社会では、例えば大学を卒業しても定職につかず、アルバイトで生活費を稼ぎながら生活している若者たちがかなりの数に登り、社会問題のひとつとなっている。いわゆる「フリーター」とよばれている人々の問題がそれである。「フリーター」の増加は、(一部の)産業への人的資源供給が滞るという直接的な問題だけでなく、働くことの意味や学校教育の機能、ひいては人間形成のあり方などをめぐって多様な問題を提起している。この演習は、「フリーターの研究」というテーマのもとに、あくまで産業社会学的なアプローチを基本としながらも、教育論、若者意識論なども視野に含めながら、こうした問題について検討し、参加者が“社会”に出るまでに働くことの意味を見つめる場を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミは、その参加者が集団を形成することから始まる。そのために、まず自己紹介を行って、お互いを知り合うことから開始したい。そのうえで、レジュメの書き方などを含めた「ゼミのやり方」を確認して、二人一組で文献の報告を行ってもらい、それをもとに議論することにした。

履修上の留意点

ゼミは何よりも出席することが重要。無断欠席は厳禁。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

開講時に指示する。

その他

合宿などの実施・時間については、参加者と相談して決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学演習Ⅰ	李 妍 炎 <small>り けんえん</small>	社会 3 必	4

講義のねらい

この演習のテーマは「ネットワークキングの社会学」である。ネットワークキングとは人々の自主的な社会参加によるヨコの連携を意味する。この演習では価値としてのネットワーク、原理としてのネットワーク、現象としてのネットワークについて、文献やホームページ、映像、実践家のゲストスピーカーの話などを通して、理論と実践の両面から考察し、新しい社会システム創出の方法について探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

ネットワークキングの概念と原理を理解するために、前期は主に教科書『ネットワークキング』を講読する。受講生がそれぞれ一部分を担当し、事前にテキストを読んで要約を作り、論点を整理し、ゼミで問題提起を行う。それについて全員で議論するという形で進める。必要に応じて他の文献を参照したり、HPや映像テキストを参考する場合もある。

後期は主にネットワークキングの実践活動について考える。各自興味のある具体的なテーマについて、インターネットを駆使して情報・資料収集を行い、ゼミで発表する。またゲストスピーカーを招いて話を聞き、議論を行う予定もある。

履修上の留意点

前期は、担当部分に責任を持って取りかかることが要求される。

後期は、それぞれのテーマを発見し、独自の切り口で問題設定を行い、議論を組み立てていくことが望まれる。

成績評価の方法

1. ゼミの出席状況、発言状況、担当の時の遂行状況による平常点 (30%)。
2. レポート (70%)

教科書

[Lipnack, J. and J Stamps, 1982, *Networking: The First Report and Directory*, Doubleday.]  
(=1984, 正村公監訳 『ネットワークキング——ヨコ型情報社会への潮流』(プレジデント社。))

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習II	<small>うしじま ちひろ</small> 牛 島 千 尋	社会 4 必	4

講義のねらい

演習Iでは、すでに自分の研究テーマを絞り込み、論文作成のために文献を収集し、章立てと各章の概要をまとめているはずである。演習IIでは、各自の研究テーマを引き続き深め、卒論完成を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、卒論のおおよその骨子をまとめ、順に発表していく。後期は、細部にわたって論文の修正を行っていく。

成績評価の方法

出席回数、授業内での発表、発言、レジュメの内容、定期的な提出物によって総合的に評価する。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習II	<small>かなまる よしお</small> 金 丸 由 雄	社会 4 必	4

講義のねらい

第4学年の演習は主として卒論の作成の研究と指導に当てる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習II	<small>かわもと まさる</small> 川 本 勝	社会 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成に向けた議論と指導が中心となります。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、卒業論文のテーマと内容について検討します。  
夏合宿で、卒業論文の構成を考え、章、節だてを行います。  
後期はドラフトを検討し、論文を書き上げていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習II	<small>こばやし ひろひと</small> 小 林 弘 人	社会 4 必	4

講義のねらい

4年次生は、各自の論題についての指導をする。

(社会学)会



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学演習Ⅱ	つばい 井 健	社会 4 必	4

講義のねらい

このゼミでは、三年の「社会学演習Ⅰ」に引き続き、大学における社会学の学習の総括として自分自身のオリジナルな社会学研究「卒業論文」の作成のための指導を行うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、3年「卒論構想春合宿」で卒論構想を固め、4月以降、①文献研究、②調査の企画と実施などを行い、9月中旬の「卒論中間報告」で主要研究結果を口頭発表する。10月以降、補充研究と下書きおよび清書して、12月卒論を提出する。提出後、3年ゼミ生を対象に「卒論報告会」(12月)。最後に「坪井ゼミ卒業論文集」を作成。2月の「口頭試問」で坪井ゼミを終了する。

<坪井ゼミの年間行事予定>

「新歓コンパ」(5月) / 「ゼミOB会」(7月) / 「卒論中間報告ゼミ合宿」(9月) / 「卒論発表会」(12月) / 「新年会」(1月) / 「追い出しコンパ」(2月) /

履修上の留意点

最終学年のこのゼミは、就職活動などと競合することもあるが、卒業論文を書かなければ就職の内定をもらっても卒業できないことをしっかり認識し、卒論研究は短時間で無駄なくできるような目標をしっかりと定めておくこと。

成績評価の方法

①卒論への取り組み方、②中間報告などの課題達成度、により総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学演習Ⅱ	やまだ のぶゆき 山 田 信 行	社会 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の執筆に向けた指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、自分の問題意識を見極めることを通じて、少なくとも論文のテーマだけは確定することを目標にしたい。就職活動の合い間を縫って参加する学生が多くなるのが想定されるが、テーマ設定は卒論執筆の前提なので頑張ってもらいたい。後期は、一人あたり少なくとも二回の中間報告を行ってもらい、執筆に向けた作業を詰めて行きたい。

成績評価の方法

卒業論文の執筆をもって、単位認定を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読	かなまる よしお 金 丸 由 雄	社会 2・3・4 選	4

講義のねらい

外国語の習得は、その言葉の用いられている国に住み、生活し、勉強せねば極度に難しい。然しこれはほとんど不可能な条件である。学生の出来ることは十分に指示された文献を予習して来ること、それ以外に方法は無い。

講義の内容・授業スケジュール

適時に指示する。

履修上の留意点

講義のねらい以外に出来る限り外国語を使う(読み、書き、話す)こと。

成績評価の方法

平常点に依る。従って出席は不可欠であり、教員が休講する場合は補習を行う。

教科書

適時指示する。(訳本は絶対に使ってはならない。)

参考書等

適時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代社会論	李 妍 炎 <small>り けん えん</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

権力とシステムの歪みの犠牲になるのはなぜいつも個人なのか？個人はいかなる場合でも弱いものなのだろうか？家計から地球環境まで、幼児期の保育から老後の介護まで、山積する社会問題の解決は誰に頼ればいいのだろうか？この講義では、これらの問題を考えるためのヒントと糸口をみなさんに提供する。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義の基本的な問題意識は、現代社会の秩序の揺らぎと再建の問題であり、キーワードは「頼るシステムから創るシステムへ」である。市民活動やボランティア活動、NPO (non-profit organization) 活動などによって代表されるNPOセクターを主たる対象として取りあげる。NPOセクターの理論と実践について理解を深めていくことにより、「創るシステム」の含意と可能性を探っていく。具体的には、以下の内容を中心に進める。

1. なぜ日本社会でNPOセクターが必要とされているのか？
2. NPOセクターとは？－概念と特質、制度及び現状
3. NPOセクターの原理 (1) ボランティア
4. NPOセクターの原理 (2) 非営利性
5. NPOセクターの原理 (3) フィランソロピー
6. NPOセクターの原理 (4) ネットワーク
7. NPOセクターの原理 (5) 調整
8. NPOセクターの実践 (1) コミュニティ
9. NPOセクターの実践 (2) 環境
10. NPOセクターの実践 (3) 福祉
11. NPOセクターの実践 (4) 女性
12. NPOセクターの実践 (5) 文化
13. NPOセクターの実践 (6) 国際
14. NPOセクターの実践 (7) サポート
15. NPOセクターの実践 (8) 他セクターとの関係

履修上の留意点

私語をしない、携帯電話の電源を切るなど、基本的なマナーを守ること。

成績評価の方法

1. 毎回授業の感想や疑問点に関するアンケートを取り、それによって出席状況を把握し、平常点を付ける (30%)。
2. 期末試験 (70%)。

教科書

授業時に資料を配布する。

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治社会学	いわせ のぶただ 岩 瀬 庸 理	社会2・3・4選	4

講義のねらい

政治社会学の講義目標は、社会学の理論と概念を用いて「市民社会」と「政治社会」の相互関係を理解し、説明する能力を育成することです。

講義の内容・授業スケジュール

1. 政治社会学の対象と方法  
政治社会学の分析視角、政治社会学の学説史、システム理論と行学理論、政治社会学の現状
2. 政治的社会化  
政治的自らの形成、政党支持態度の学習、社会化機関の比較、社会化パターンの変容
3. 参加行動  
投票行動の変化、階層の非構造化、社会移動の効果、社会運動の類型
4. 権力構造  
支配構造の特徴、大衆社会の権力構造、地域社会の権力構造、多元的権力構造
5. イデオロギー  
イデオロギーの構造、イデオロギーとパーソナリティ、イデオロギーと市民社会  
共に考えるという姿勢をもって出席して欲しい。

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

その他

試験。

教室で指示する。

教室で指示する。

講義形式とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
家族社会学	なかたに しげかず 中 谷 茂 一	社会2・3・4選	4

講義のねらい

「真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」という聖書の有名な一節は、家族について再考する意義についても示唆に富む。「家族」とはあまりにも身近で自己の経験と密接な関係であるため、個人の意識に影響を与えたり、時に束縛している構造を見えにくくする。本講義では、文献やデータを参照しながら、家族に関するかたちや意識の多様性を知ると同時に、自分が持つ価値観から一歩離れ相対化できるように、履修者とともに私も自己の視点を再検討しながら考えていきたい。家族社会学の知見にふれディスカッションすることで、それぞれが自分にとっての真理を得て、今後のライフスタイルの選択の際になにがしかの参考となれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 家族の分析枠組み、2. 配偶者選択、3. 老親扶養、4. 子ども観の変化、5. 子ども虐待、6. 近代家族とフェミニズム、7. 家族のゆくえ

履修上の留意点

頻繁に発言と小レポートを求める。自分の頭で考え積極的に発言しなければ単位修得はできない。指定したテキスト3冊を参照しながら講義をすすめるので必ず購入することが履修の前提。

成績評価の方法

①学期末試験、②ディスカッション参加状況、③小レポート、3点の総合評価。

教科書

- ①森岡清美・望月嵩 共著『新しい家族社会学 (四訂版)』(培風館)
- ②片山義弘編『家族を考える本』(福村出版)
- ③星野貞一郎編『保健医療福祉の社会学』(中央法規)

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業形態は、講義とビデオを素材とし、ディスカッションする時間を多くとる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法社会学	こばやし ひろひと 小林 弘 人	社会2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する(例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。)

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料の配布については、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教 科 書

及川伸著 『法社会学講義』 (法律文化社) 2,781円

参 考 書 等

講義初日に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化社会学	ともおか くにゆき 友 岡 邦 之	社会2・3・4選	4

講義のねらい

情報社会における人間関係の特徴を、現象学的社会学やメディア論・情報社会論の知見をもとに、身近な文化的現象を手掛りにして探っていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

社会の情報化によって、私たちを取巻く“現実”は、空間的にも時間的にも様々な出自の要素から構成されるようになってきています。そしてこれに伴い、親密な人間関係の構築の仕方や、他者との共生の仕方に変化してきました。本講義では、この事態を理解するための社会学的概念をおさえ、これを元に、マスメディアや携帯電話、インターネットなどがもたらした“現実”の実態を検討していきます。

成績評価の方法

年2回の講義内容を踏まえた小論文形式のテストにより、評価を決定します。

教 科 書

特に指定しません。講義内容に関する情報は、ホームページを開設して公開します。

参 考 書 等

授業時に適宜指示します。

(社会学) 会

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教社会学	は 芳 が 賀 まなぶ 学	社会2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本では、多くの若者たちが宗教現象に関心を寄せていると言われる。「豊かな時代」の今、若者たちは宗教に何を求めているのだろうか。この講義では、この問題を解くことを目指して、さまざまな現象を順次取り上げ、社会的背景とそこに生きる人々の心理構造に照準して考察を進めていくこととしたい。言い換えれば、ここでは、白黒の判断を下す前段階として、まず、宗教現象に関与する人々（とその心理）を理解することが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールを示せば、まず、最初の数回、ここで採用するアイデンティティに関わる視角について、その特徴を解説する。それに続く前期の講義では、この視角を用いて、幕末から現在に至る日本の新宗教の歴史を、信者の人信理由とその社会的背景の変遷に着目しつつ概観する。一方、後期の講義では、自己啓発セミナー・エステ・占いなどの宗教周辺現象を取り上げ、現代の若者の置かれている社会状況に関して、より突っ込んだ考察を進めていく。

履修上の留意点

この講義を履修するに当たって要望したいのは以下の2点である。(1) 有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。(2) 多くの情報をどん欲に摂取すると同時に、それを鵜呑みにせず、自分に引きつけてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに課すレポートと、年度末に行うペーパーテストとの総合評定で行う。なお、レポート・テストのいずれかが欠ける場合には、単位は基本的に認定しない。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業開始後に適宜紹介する。

そ の 他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと 川 本 まこと 勝	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。

- ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
- ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
- ・社会生活とコミュニケーション行動。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。

- ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
- ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
- ・受容過程の特質と効果研究。

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教 科 書

特に用いない。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業・職業社会学	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	社会2・3・4選	4

講義のねらい

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業社会学の主要な分野について日本での事例について紹介しながら概説する。

第2部（後期）では、“国際化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは以下の通り。

第1部 現代日本の産業・労働

1. 産業社会の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのか
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係
8. 変容する産業・労働の世界

第2部 労使関係の国際比較

1. グローバリゼーションと労使関係
2. インダストリアリズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合衆国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会とマレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会変動

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

学年末試験による

教 科 書

山田信行『労使関係の歴史社会学』（ミネルヴァ書房）

参 考 書 等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学原論	わたなべもとぎ 渡辺源樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業内容とそれに必要な準備

- 第1回 社会学とは何か  
社会的事実／実証性 “予期せんがために見る” / 社会学的分析 / 現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為  
なぜ ‘action’ からなのか / 社会の基礎的単位として行為 / 行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程  
人間の行為は ‘inter’ して社会的となる / 人間関係・社会関係・国際関係 / 交換 / 社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準  
1. 役割の取得－社会化 フロイドとパーソンズの ‘社会化の過程’ を中心に
- 第5回 2. 役割の準拠－準拠集団 準拠枠 / 所属集団と準拠集団 / 動機と態度の概念
- 第6回 3. 役割の葛藤－マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム /  
マージナルマンとして青年期 / マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為  
1. 規範と同調 逸脱の次元 行為と社会的秩序 / サンクション・パターン
- 第8回 2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作 / シンボルとシンボル操作 /  
逸脱とラベリング / 予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1. 社会集団とは何か 集団の特質 / 集団の分類 / 家族と企業体
- 第12回 2. 社会有機体説と構造・機能 / 機能連関 / 機能要件 (AGIL図式)
- 第12回 3. 集団と構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割 / ロールセット、  
地位系列 / 業績的地位・帰属的地位
- 第13回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標 / 集団効果性 / ホワイトのリーダーシップ論 /  
PM理論とリーダーシップ
- 第14回 5. 集団の凝集性・モラル 同調への圧力・斉一性 / 集団規範 /  
凝集性を高める条件 / モラル
- 第15回 前期試験 集団・文化・パーソナルティ
- 第16回 組織論と官僚性  
1. 組織の一般理論 現代社会と組織体 / 組織の一般理論
- 第17回 2. 官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型 / 官僚制組織の基本原則  
(ウェーバー、ミヘルス) / 支配・権力・権威
- 第18回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における “目標の転移” / ホーソン実験 /  
グールドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識  
1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途 / マルクスとウェーバー
- 第20回 2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」  
を中心として
- 第21回 3. 社会的性格  
イ. フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第22回 ロ. ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4. 社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明 / ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成  
1. 経済と社会…経済と経済社会学 / 産業社会・消費社会 / 経済の国際化・従属理論
- 第25回 2. 政治と社会…政治と政治社会学 / 権力 / 政治文化
- 第25回 3. 法と社会…法と法社会学 / 法の機能 / 規範
- 第25回 4. 教育と社会…教育と教育社会学 / 学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層 / 職業構成 / 社会移動 / 地位の一貫性・非一貫性 /  
成層研究の課題

(社会学)



成績評価の方法

定期試験（有り）、レポート（有り）

教科書

開講時に提示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育社会学	くまがい かずのり 熊谷 一 乗	社会2・3・4選	4

講義のねらい

教育は、親と子、教師と生徒などの関係を中心に実に多くの社会的文化的要因が作用しあうなかで行われている。講義では、教育が行われるためにさまざまな要因が作用しあう社会的関係を明らかにして、教育の本質に触れ、よりよい教育への方途をさぐることをねらいとしている。また今日の教育問題の社会的背景、その発生のメカニズムを明らかにすることもめざしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次ぎの四つの章に分けて行われる。

第1章「教育問題と現代の社会」－4、5月。

社会の急激な変化にもなつて発生している教育問題、特に教師と児童・生徒との関係における問題の分析。子供の意識・性質の変化。教育問題を発生される社会的要因の解明。生活環境、生態系の変化にもなう子供の生活と文化をめぐる問題の考察。子供の発達をめぐる問題－「社会性不全症候群」の問題、学力低下をめぐる問題と教師の悩みについて考察。

第2章「人間の発達と集団」－6、7月。

人間を文化的共同存在として把握し、人間が社会的環境の刺激のもとで文化を学習して発達する過程の解明。社会化と教育、集団の性質・構造と教育、集団力学と教育の効果、家族と教育、家族の変容と教育問題などの考察。

第3章「教育の社会的条件」－9、10、11月。

教育をめぐる社会的関係の解明。社会システムとしての教育の分析。教育の政治的性質・政治体制と教育の在り方との関係・ナショナリズムの圧力と公教育・教育と経済との関係・特に教育の機会と経済的条件・経済成長と教育・地域社会と教育について考察。

第4章「社会としての学校」－12、1月。

現代社会の特徴と学校の機能について分析。学校と現代人の生涯・生涯学習と学校・学校選択の問題について考察。学校批判と教育改革の動向。学校をめぐる病理の解明。

履修上の留意点

教育への問題意識。

成績評価の方法

出席状況と試験の成績。

教科書

プリント配布

参考書等

熊谷一乗『現代の教育社会学』（東信堂）  
その他、教室で紹介。

その他

講義形式による。

社  
会  
(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教人類学	さとう のりあき 佐藤 憲昭	社会2・3・4選	4

#### 講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ（霊）とマナ（力）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

#### 履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

#### 成績評価の方法

講義内容を踏まえたレポート試験の予定。

#### 教科書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社、学術文庫）

#### 参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会調査演習（前期）	つばい 井 健	社会2・3・4選	2

講義のねらい

この科目は、社会学研究の方法の一つとしての社会調査（特に、統計調査）の技法を、実際の調査手続きを通じて学習することを目的とする。一年次に学んできた社会調査法の講義を基礎としているので、一般的解説は行わず、実際の調査作業を通じて生じる問題点や処理方法を実際のデータで学習する。具体的には、小規模な調査を実施してデータを集めたり、既存の調査データを利用しながら学習する。

なお、この「社会調査演習」は、調査データの統計的処理に関する問題は取り扱わない。統計処理の実際については、「社会統計学演習」で取り扱うので、「社会統計学演習」も併せて受講することが望ましい。

使用ソフトは、一太郎、Word、EXCEL、SPSSなどである。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに ー受講上の注意と実習の進め方ー
2. 母集団とサンプリングの実際（コンピュータ使用）
3. 調査票の設計とワーディングの実際（コンピュータ使用）
4. 調査票の点検とコーディング
5. 調査データの入力と欠損値、自由回答の処理（コンピュータ使用）
6. 度数集計とデータ・クリーニング（コンピュータ使用）
7. 調査結果の分析とエラレーション（コンピュータ使用）

履修上の留意点

この科目は、講義と違い実習科目であるので、毎回出席は当然として、実習作業への積極的参加が求められる。

成績評価の方法

平常点（出席＋実習態度）50%、課題レポート50%

教科書

その都度、プリントを配布して実習内容を指示するので、教科書は使わない。

参考書等

内田治『すぐわかるSPSSによるアンケートの調査・集計・解析』（東京書籍）1997 2,800円

内田治『すぐわかるEXCELによるアンケートの調査・集計・解析』（東京書籍）1997 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会統計学演習（後期）	やまだ のぶゆき 山 田 信 行	社会2・3・4選	2

講義のねらい

SPSSのプログラムを用いて、調査データの基本的な分析方法を習得することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

参加者には、既存の調査データを入力したフロッピーを配布する。したがって、参加者はフロッピーを用意すること。授業では、始めに配布データが収集された経緯とデータの概要について説明する。最終的には各自の関心で分析を行ってもらうことになる。授業のプランは、以下の通り。

1. 配布データについて
2. SPSSについて
3. データのリコード
4. 具体的な分析ー回帰分析、クロス表分析など
5. 多変量解析ー因子分析、クラスター分析など

履修上の留意点

すでに、コンピュータとWINDOWSの操作に習熟していることが望ましい。

成績評価の方法

演習なので、出席が重要。出席と学期末のレポートで成績を判定する。

教科書

プリントを配布予定。

社  
会  
(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会調査実習	李 妍 炎 <small>り けん えん</small>	社会3・4選	4

講義のねらい

社会調査実習は、受講生全員で力を合わせて進めていく共同プロジェクトである。その目的は、社会調査の手法を実習によってマスターすることだけではない。調査の企画から計画づくり、実施、集計と分析、文章化、反省という一連のプロセスに携わることによって、発案能力、問題設定能力、計画力、行動力、調整力、理解力、分析力、およびまとめる能力を鍛えていくためでもある。

講義の内容・授業スケジュール

社会調査を進め方について整理し、知識や情報を共用する上で、調査の課題を受講生とともに設定する。課題の設定、仮説の検討、調査対象の選出、調査票の作成、調査実施、集計と分析などの作業を行い、できればインタビュー調査も経験してみる。成果を報告書にまとめる。

履修上の留意点

主体的に、意欲的に作業に関わることが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、実習の参加状況、および報告書の分担執筆部分に対する評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学理論研究Ⅰ（前期）	山 田 信 行 <small>や ま だ の ぶ ゆ き</small>	社会3・4選	2

講義のねらい

日本においても、1980年代以降、社会をとらえる理論的なフレームは、従来の「国民社会」を越えて世界的なシステムを視野に入れたものに変化してきている。この講義では、マクロな社会学理論の動向を世界システム論を中心に紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

授業のスケジュールは以下の通り。

1. 世界システム論の背景
2. 世界システムをめぐる理論的系譜
3. 世界システムのリアリティー理論の適用
4. 世界システムの成立とエスニシティ
5. 世界システム論の問題点と「内部」－「外部」問題

履修上の留意点

自覚的な学生の参加を希望する。

成績評価の方法

受講者数によるが、学期末試験の予定。

教科書

特になし

参考書等

山田信行『階級・国家・世界システム』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学理論研究Ⅱ（後期）	金 丸 由 雄 <small>か な ま る よ し お</small>	社会3・4選	2

講義のねらい

科学および芸術を社会学の立場から検討する。まずその行為モデルを提示し、それと既存の学説と対比しつつ、これらの人間活動の特質が如何なるものかを究明する。

成績評価の方法

評価は平常提出するレポートを以ってする。

教科書

教科書は無いが、参考文献はその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学特殊講義Ⅰ（前期）	かわもと 川 本 勝	社会3・4選	2

講義のねらい

社会変動の1つである社会の情報化とその社会的影響について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ほぼ次のような内容を扱う予定である。
1. 情報化とは
  2. 高度情報化社会と情報環境
  3. 高度情報化社会と生活の情報化

成績評価の方法

受講生数にもよるが、レポートと試験によって評価する。出席も加味する。

教 科 書

講義の中で適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学特殊講義Ⅱ（後期）	うしじま 牛 島 千 尋	社会3・4選	2

講義のねらい

本講義では、産業化と平行して形成された郊外住宅地を対象にして、サバーバニゼーションとサバーバニズムの理論と実証的研究を紹介しながら、大都市社会における郊外の特徴について考察していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の概略は以下の通りである。

1. 講義の概要
2. 郊外形成の前史
3. 都市の拡大過程と郊外地の形成
4. 郊外研究に関するアプローチと仮説
5. 郊外神話とサバーバニズム論
6. 郊外の類型化
7. 大都市のさまざまな郊外
8. 戦前期の東京における郊外化
9. 郊外団地の建設と新しい生活様式の定着
10. ニュータウン建設と住居による階層分化
11. 現代の郊外の人口構造の特性と郊外居住者の特性
12. 変わり行く郊外
13. まとめ

成績評価の方法

出席、レポートによって評価する。

教 科 書

特に指定しない。講義中に資料を配布する。

参 考 書 等

- W.H. ホワイト William H. Whyte, Jr. 岡部慶三・藤永保共訳『組織のなかの人間』（東京創元社）1992  
 フィッシャー, C.S., 松本康・前田尚子訳『都市的体験—都市生活の社会心理学—』（未来社）1996  
 三浦展『家族と郊外の社会学』（PHP研究所）1995  
 ラッシュマン, R., 小池和子訳『ブルジョワ・ユートピア』（勁草書房）1990

そ の 他

ビデオやpowerpointなどの電子教材を使用した講義を行い、受講者の理解を深めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法	けいとく ひろとう 鶏 徳 啓 登	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円  
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著 『行政法Ⅰ・Ⅱ』 (有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学(福祉)	こばやし ひろひと 小 林 弘 人	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法および行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
  - 1) 基本原理
  - 2) 基本的人権
  - 3) 地方自治
- 3 民法
  - 1) 総則
  - 2) 物権
  - 3) 契約
  - 4) 不法行為
  - 5) 親族
  - 6) 相続
- 4 行政法
  - 1) 行政行為
  - 2) 行政不服審査
  - 3) 行政訴訟
  - 4) 行政手続き
  - 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教科書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』(創成社)

参考書等

授業時間中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会保障論	ふなみず ひろゆき 船 水 浩 行	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

#### 成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

#### 教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）

#### 参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老人福祉論	とうじよう みつ まさ 東 條 光 雅	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
  - ・高齢者問題の背景  
社会変動、家族変動
  - ・高齢者の生活問題
  - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
  - ・高齢者の保健福祉ニーズ  
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策  
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
  - ・老人保健福祉の供給システムと財源  
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
  - ・在宅サービスの制度と処遇  
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
  - ・施設サービスの制度と処遇  
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
  - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないので、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

東條光雅・冷水豊編『老人福祉論』第2版、(メヂカルフレンド社) 2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児童福祉論	やまもと ままみ 山 本 真 実	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

子ども・子育てをめぐる社会環境をふまえ、児童福祉の理念、制度（基本枠組み）について基礎的な学習を行う。ビデオ教材等視聴覚教材も使用し、具体性をもたせつつ児童福祉サービスの現状を理解することをねらいとする。

はじめに子ども・子育てをめぐる社会環境について整理する。また、子どもや子育て、家庭をめぐる社会的な位置づけについて学習する。児童福祉が対象としてきた範囲、理念について整理する。そして、基本的な児童福祉政策・制度の枠組みについて理解し、その枠組みの中で、どのような問題があるのか、児童福祉制度改革等、今後の展望について考察を深める。

後半では、保育、養護、健全育成、相談体制など各論についての講義を行い、児童福祉の全体系を学習する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下の内容についてテキストに従い講義を行う。

- I. 児童と社会
  1. 児童と家庭・社会
  2. 児童福祉ニーズ
- II. 児童福祉の理念
  3. 児童福祉の理念と児童の権利
- III. 児童福祉の制度
  4. 児童福祉の法体系
  5. 児童福祉実施体制
  6. 児童福祉施策体系
  7. 子育て環境
  8. 児童福祉改革の動向
- IV. 各論
  1. 保育
  2. 社会的養護
  3. 権利擁護
  4. 健全育成
  5. 相談

#### 履修上の留意点

社会福祉士資格の取得希望者だけでなく、履修者全員に対して児童福祉についての理解を深める意識を持つことを期待している。

#### 成績評価の方法

学年末の試験のみによる評価。出席状況を加味することもある。

#### 教 科 書

柏女霊峰『現代児童福祉論（第4版）』（誠信書房）2000

#### 参 考 書 等

柏女霊峰、山縣文治編著『新しい子ども家庭福祉』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域福祉論	とよだむねひろ 豊田宗裕	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。  
本講義ではこれらについて、われわれがすすんでいる地域そのものの持つ特色を明らかにし、そこに生活する人々の福祉問題を把握し、解決の方法を探る手段や考え方について学ぶ。

- (1) 総論としての地域福祉の枠組みの理解（地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか）
  - ①地域福祉論の概念
  - ②地域福祉の歴史的展開
  - ③コミュニティの捉え方・考え方
  - ④現在の地域福祉施策の特徴
- (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法の理解（地域福祉施策の内容と提供方法）
  - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法
  - ②サービス提供組織やその仕組み
  - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
- (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
  - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望
  - ②計画づくりと福祉制度
  - ③これからの方向性

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1) 地域福祉と生活問題：地域福祉の考え方と現代の生活問題
- 2) 地域福祉とコミュニティ／1：地域社会の変遷とコミュニティの変化
- 3) 地域福祉とコミュニティ／2：コミュニティの形成とその考え方
- 4) 地域福祉とコミュニティ／3：住民の社会参加の状況とコミュニティ
- 5) 地域福祉理念の変遷：地域福祉理念の歴史的変遷
- 6) 地域福祉の概念とその範囲：地域福祉の代表的な考え方とその類型
- 7) 地域福祉のサービス体系／1：地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念
- 8) 地域福祉のサービス体系／2：在宅福祉サービスの体系とその内容
- 9) 地域福祉のサービス体系／3：組織化活動の考え方とその内容
- 10) 地域福祉のサービス体系／4：環境改善と社会資本整備
- 11) 地域福祉の推進方法／1：地域援助技術（コミュニティワーク）の必要性
- 12) 地域福祉の推進方法／2：ニーズの把握とコミュニティワーク
- 13) 地域福祉の推進方法／3：海外のコミュニティワークについて
- 14) 地域福祉の推進方法／4：社会福祉計画の策定と地域福祉計画
- 15) 地域福祉の推進方法／5：地域福祉計画の内容とその種類
- 16) 地域福祉の推進方法／6：福祉教育の考え方とその推進
- 17) 地域福祉の財源／1：公的財源と共同募金の概略
- 18) 地域福祉の財源／2：社会福祉基金等の概要
- 19) 地域福祉の財源／3：民間財源の内容とその活用
- 20) 地域福祉の財源／4：海外における地域福祉財源
- 21) 地域福祉の推進組織／1：社会福祉協議会について
- 22) 地域福祉の推進組織／2：行政、施設等の諸機関の動き
- 23) 地域福祉の推進組織／3：非営利団体の活動とNPO法
- 24) 地域福祉のマンパワー／1：現代のコミュニティワーカー（社会福祉協議会職員中心に）
- 25) 地域福祉のマンパワー／2：ボランティア活動とその動き
- 26) 地域福祉のマンパワー／3：地域における地域福祉のマンパワー（民生委員を中心に）
- 27) 地域福祉の現状／1：コミュニティワークの現状
- 28) 地域福祉の現状／2：介護保険と地域福祉（相談援助活動を中心に）
- 29) これからの地域福祉：現代の地域福祉を取り巻く状況と今後への課題
- 30) まとめ：これまでのまとめと国家試験に向けて

（社会学）

#### 成績評価の方法

試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出（随時）の双方の状況により、判定する。

#### 教科書

福祉士養成講座編集委員会編『地域福祉論』（中央法規出版）

#### その他

講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童心理学	よこやま つよし 横 山 剛	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する)。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履修しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』(北樹出版)

その他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業心理学	たかはし まこと 高 橋 誠	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

コンピュータによる高度情報処理・通信技術が産業場面や日常生活場面にどのような影響を与えてきたか、産業・組織心理学、人間工学、労働衛生学といった研究分野から検討していく。技術と熟練技能、技術と生活との関連を中心に、研究方法について身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、コンピュータの発展史、コンピュータ技術の職場への導入とその影響、VDT作業の出現と視覚疲労・筋疲労、疲労の研究法等について学ぶ。後半では、疲労の原因の分析、ストレスや仕事満足感に影響する要因とその分析法等について学ぶ。

履修上の留意点

マスコミをとらえて、産業場面での労働に関わる動向に着目し、技術改革と労働について日頃から考えていく姿勢を望む。

成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

教科書

使用せず、授業中に配布するプリントを利用する。

参考書等

授業中に提示する。

その他

講義形式だけでなく、提供した資料に基づいて自ら考え、発表するといった形式も採用する。データの捉え方、課題の発見と分析法等、研究の方法論も重視し、日常場面での現象を心理学等の分野から研究するため能力を身につけることを望んでいる。「やりがい」のある職業を選択するための目を一つでも養うための参考になれば幸いと感じる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環境心理学	<small>た か は し た か し</small> 高 橋 鷹 志	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は環境心理学の入門を講述する。環境心理学は、心理学・社会学・人類学・建築学などの学際的な研究分野として1960年代後半に登場した。当初「日常の物的環境に関する行動の心理学的研究」と定義されていたように、従来の心理学における実験室で提示される統制された物的環境ではなく、人間の日常生活の場所に関わる環境の全体的性質（物理的だけでなく社会的・文化的環境を含んだ）に着目し、「生活の質の向上」に資することを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

「環境心理学の誕生」、「環境心理学理論の諸相」、「環境心理学の応用」

履修上の留意点

住まいや町に興味をもつ人たちの聴講を望む。

成績評価の方法

レポートによる。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

E. ホール、日高敏隆他訳『かくれた次元』（みすず書房）1970年  
O. ボルノウ、大塚恵一他訳『人間と空間』（せりか書房）1988年  
Y. トゥアン、阿部一訳『個人空間の誕生』（せりか書房）1993年

そ の 他

授業の方法は聴講人数によって決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老年心理学	<small>な か ざ と か つ は る</small> 中 里 克 治	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢（病気）を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教 科 書

下仲順子（編）『老年心理学』（培風館）1997 1,995円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	みつおか はくみ 光 岡 博 美	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	藤本 茂 <small>ふじもと しげる</small>	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しがなされています。現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等、などなどです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを中心にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

#### 成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありませんが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

#### 教科書

特に指定はしません。しかし、道しるべとして、1冊は用意してください。教科書として適当と思われる概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において配布するプリントで紹介し、受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### 参考書等

第1回目の授業で紹介し、六法に関しては、最新のもの（法律改正があるので特に注意）そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

#### その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法	たけな か ち か 竹 中 智 香	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済原論	あさの かつみ 浅野 克巳	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
  1. 経済循環と国民所得の諸概念
  2. 所得はどのようにして決まるのか
  3. 45度線モデルとI-Sバランス
  4. IS-LM分析と財政金融政策
  5. 経済の変動と成長
  6. 賃金・物価・インフレーション
  7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
  1. 市場と価格メカニズム
  2. 消費者行動の理論
  3. 企業行動の理論
  4. 不完全市場とは何か
  5. 市場の失敗
  6. 不完全情報の経済学
  7. リスクと不確実性
  8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

#### 履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもつてのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

#### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

#### 参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）  
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

#### その他

経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！ 大いに利用してください。

（社  
会  
学）  
会





## Ⅱ 專 門 教 育 科 目

6 社 会 学 科  
社 会 福 祉 学 專 攻



## Ⅱ. 専門教育科目

### (6) 社会学科(社会福祉学専攻)

社会福祉原論	〈伊藤秀一〉	553
法学(福祉)	〈小林弘人〉	554
情報処理論	〈軽部幸浩〉	555
社会福祉援助技術総論	〈桐原宏行〉	556
社会福祉基礎演習	〈小畑和〉	556
社会福祉基礎演習	〈東條光雅〉	557
社会福祉基礎演習	〈小林弘人〉	557
社会福祉専門演習Ⅰ	〈伊藤秀一〉	557
社会福祉専門演習Ⅰ	〈小畑和〉	557
社会福祉専門演習Ⅰ	〈桐原宏行〉	558
社会福祉専門演習Ⅰ	〈小林弘人〉	558
社会福祉専門演習Ⅰ	〈東條光雅〉	558
社会福祉専門演習Ⅰ	〈長尾譲治〉	559
社会福祉専門演習Ⅱ	〈伊藤秀一〉	559
社会福祉専門演習Ⅱ	〈小畑和〉	559
社会福祉専門演習Ⅱ	〈東條光雅〉	560
社会福祉専門演習Ⅱ	〈桐原宏行〉	560
社会福祉専門演習Ⅱ	〈小林弘人〉	560
社会福祉専門演習Ⅱ	〈長尾譲治〉	560
ソーシャルワーク・リサーチ論	〈石川久展〉	561
家庭福祉論	〈武山梅乗〉	562
児童福祉論	〈山本真実〉	563
障害者福祉論	〈桐原宏行〉	564
老人福祉論	〈東條光雅〉	565
女性福祉論	〈林千代〉	566
医療福祉論	〈春見静子〉	567
公的扶助論	〈伊藤秀一〉	567
保健福祉論	〈休講〉	
地域福祉論	〈豊田宗裕〉	568
外書講読	〈東條光雅〉	569
社会保障論	〈船水浩行〉	569
社会福祉援助技術各論ⅠA	〈北島英治〉	570
社会福祉援助技術各論ⅠB	〈北島英治〉	570
社会福祉援助技術各論ⅡA	〈川廷宗之〉	571
社会福祉援助技術各論ⅡB	〈川廷宗之〉	572
社会学(福祉)	〈武山梅乗〉	573
心理学(福祉)	〈高橋良博〉	573
医学一般	〈小林臻〉	574
介護概論	〈児玉谷広子〉	574
介護技術	〈児玉谷広子〉	575
精神医学	〈黄ミンシュク〉	575

精神保健学	〈坂村 雄〉	576
精神保健福祉論 I	〈上野 容子〉	576
精神保健福祉論 II	〈上野 容子〉	577
精神保健福祉援助技術各論	〈坂野 憲司〉	577
社会福祉発達史	〈林 千代〉	578
国際社会福祉論	〈休 講〉	
社会福祉計画論	〈川廷 宗之〉	579
リハビリテーション論	〈休 講〉	
家族療法	〈治田 哲之〉	580
社会福祉学特講 I〔児童〕	〈村田 一昭〉	580
社会福祉学特講 II〔老人〕	〈児玉谷 広子〉	581
社会福祉学特講 III〔障害児・者〕	〈山本 哲也〉	581
社会福祉学特講 IV〔相談・援護〕	〈大須賀 力〉	582
社会福祉学特講 V〔福祉士〕	〈長尾 讓治〉	583
社会福祉学特講 VI〔家族〕	〈小畑 和〉	584
家族社会学	〈中谷 茂一〉	585
法社会学	〈小林 弘人〉	585
社会病理学	〈休 講〉	
心理検査法	〈稲富 正治〉	586
環境心理学	〈高橋 鷹志〉	586
社会政策	〈光岡 博美〉	587
行政法	〈鶏徳 啓登〉	588
労働法	〈藤本 茂〉	589
民法	〈竹中 智香〉	590
経済原論	〈浅野 克巳〉	591
社会福祉援助技術現場実習 I	〈桐原 宏行〉	592
社会福祉調査実習	〈東條 光雅〉	592
社会福祉援助技術現場実習 II	〈伊藤 秀一〉	593
社会福祉援助技術現場実習 II	〈小畑 和〉	593
社会福祉援助技術現場実習 II	〈長尾 讓治〉	594
社会福祉援助技術現場実習 II	〈桐原 宏行〉	594
社会福祉援助技術演習 I	〈北島 英治〉	595
社会福祉援助技術演習 I	〈讃岐 真佐子〉	595
社会福祉援助技術演習 I	〈長尾 讓治〉	596
社会福祉援助技術演習 I	〈村田 一昭〉	596
社会福祉援助技術演習 II	〈北島 英治〉	597
社会福祉援助技術演習 II	〈讃岐 真佐子〉	597
社会福祉援助技術演習 II	〈長尾 讓治〉	597
社会福祉援助技術演習 II	〈村田 一昭〉	598
精神科リハビリテーション学	〈城田 晴夫〉	598
精神保健福祉援助演習	〈長坂 和則〉	599
精神保健福祉援助実習	〈坂野 憲司〉	600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉原論	いとう しゅういち 伊 藤 秀 一	福 祉 1 必	4

#### 講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業、社会事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
  - 1) 社会福祉の意味
  - 2) 社会福祉と関連する諸概念
  - 3) 社会福祉の対象と主体
  - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
  - 1) 欧米における社会福祉の発展
  - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
  - 1) 社会福祉法制
  - 2) 社会福祉法制の体系
  - 3) 社会福祉事業の経営主体
  - 4) 福祉の措置
  - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
  - 1) 公的扶助（生活保護）
  - 2) 児童福祉
  - 3) 老人福祉
  - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
  - 1) ケースワーク
  - 2) グループワーク
  - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
  - 1) 人の問題の重要性
  - 2) 社会福祉従事者の動向
  - 3) 職種の問題
  - 4) 社会福祉職員の専門職論
  - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
  - 1) 社会政策と社会事業
  - 2) 社会保障と社会福祉

#### 成績評価の方法

評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

#### 教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

#### 参考書等

講義の内容を上記のテキストのみでは充分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学（福祉）	こばやし ひろひと 小林 弘 人	福祉 1 必	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
  - 1) 基本原理
  - 2) 基本的人権
  - 3) 地方自治
- 3 民法
  - 1) 総則
  - 2) 物権
  - 3) 契約
  - 4) 不法行為
  - 5) 親族
  - 6) 相続
- 4 行政法
  - 1) 行政行為
  - 2) 行政不服審査
  - 3) 行政訴訟
  - 4) 行政手続き
  - 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教 科 書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

参 考 書 等

授業時間中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理論	か る べ り き ひ ろ 軽 部 幸 浩	福 社 1 必	4

#### 講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにもない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用して実験レポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することを推奨する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick)
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS - Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS - Excel)
- ・データ解析への応用
- ・プレゼンテーション・ソフトを利用したプレゼンテーションの総合実習
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよびWWWの利用

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくとも年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間程度）の実習が必要となる（昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである）。

また、Type Quick、MS - Word、MS - Excelの習得は、単位取得のための必須条件である。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教 科 書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

#### 参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術総論	桐原 宏行 <small>きりばら ひろゆき</small>	14以降入学生/福祉1必 13以前入学生/福祉2必	4

講義のねらい

- ・人権尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえた社会福祉サービスと援助活動の関係について理解する。
- ・福祉専門職と専門援助技術の関係について理解する。
- ・社会福祉援助技術に由来する倫理について理解する。
- ・ソーシャルワーカーに必要とされる対人援助関係の形成を図るための基本的コミュニケーション方法等を理解する。
- ・社会福祉援助活動の展開過程を重視しつつ、その目的・価値・原則及び体系とそこにおける共通課題について理解する。
- ・社会福祉援助活動における専門援助技術体系を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 社会福祉サービスと援助活動の関係
- ② 福祉専門職と専門援助技術の関係
- ③ 専門援助技術と倫理
- ④ 専門援助技術の歴史的展開
- ⑤ 社会福祉援助活動の目的・価値・原則及び諸過程と共通課題
- ⑥ 専門援助技術の体系及び内容

成績評価の方法

出席状況、定期的なレポートの提出、前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験等を総合して評価する。

教科書

『社会福祉援助技術論Ⅰ』 福祉上養成講座編集委員会編（中央法規）

参考書等

講義のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉基礎演習	小畑 和 <small>おばた かず</small>	福祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習の内容は『厚生労働白書』に準拠して行う。  
内容は、「多様な高齢者、高齢者と家族、高齢者の経済の実像、高齢者と健康、高齢者と社会・地域、介護制度、社会福祉構造改革、少子化と子育て支援施策等…」である。

履修上の留意点

講義の形態は演習であり、討論学習を主とする。演習が明るく、活発に行われるために初回講義で一定の約束をする。

成績評価の方法

出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況及びテスト、提出されたレポートの内容などを勘案して評価する。

教科書

『厚生労働白書』（平成13年版）

その他

社会福祉基本用語辞典（日本社会福祉実践理論学会編・川島書店 2,400円）をいつも携帯することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	とうじょう みつまさ 東 條 光 雅	福 祉 2 必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

履修学生の研究関心によりクラスを小グループ（3～4名）に分け、グループ研究課題を設定してもらおう。前期終了時点と後期終了時点の2回、グループ毎の研究報告をしてもらう。演習であり、グループ活動でもあるので、出席は非常に重視する。

こうした作業の過程で、研究課題の設定の仕方、文献検索の仕方、研究のまとめ方、各種機器の使い方、発表の仕方等の指導を行う。

成績評価の方法

評価は、クラスワークへの出席率、討議への参加度・貢献度、研究報告の内容等により、総合的に行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	こばやし ひろひと 小 林 弘 人	福 祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉学専攻の2年生が、社会福祉学専門の学習をする前段階としての基礎学習が中心となる。

講義の内容・  
授業スケジュール

クラスを小人数に分け、それぞれのグループに与えられたテーマについて、それぞれのグループが報告し、討論するという方式で授業を行う。

成績評価の方法

グループごとの報告内容と年度末に各自に課されたレポートおよびテストによって評価する。

教 科 書

授業開始の初日に指示する。

参 考 書 等

授業開始の初日に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉専門演習Ⅰ	いとう しゅういち 伊 藤 秀 一	福 祉 3 必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

狭い意味の社会保障の分野だけでなく、社会福祉を広く解して、その中から、各自のテーマを自己の意志で選択し、それぞれの考究をすすめることとしたい。当初は、討議のための共通基盤をつくっていくために、適当なテキスト、文献を使用し、これを共同で解読する。その後、3年次において、具体的な卒論テーマを設定し、卒論作成への準備に入っていく。なお、4年次生との合同ゼミ合宿（年2回）の参加を義務とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉専門演習Ⅰ	おぼた かず 小 畑 和	福 祉 3 必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

少子・高齢化の構造を持つ社会は本源的に永続的な効果を持たなくなり、経済の停滞により社会は閉塞化し、社会保障制度を維持することが困難になる。少子化はそのことの成因である。よって、演習は「少子化社会の社会保障政策」が基調になる。

演習では『厚生白書』（平成12年度版）『厚生労働白書』（平成13年度版）を参考にしながら、少子化社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と対論を通して問題意識を深めていく。年度末には卒論の準備段階としての小論文（ゼミ論）の提出を義務付ける。

履修上の留意点

出席率8割以上を演習参加の必要条件とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅰ	桐原宏行 <small>きりはら ひろゆき</small>	福祉3必	4

講義のねらい

この演習は、障害者及び特別ニーズのある子どもの福祉を主なテーマとして展開していくものである。具体的には「障害児・者の福祉サービス」「障害者雇用」「障害児・者のQOL」「家族支援」「地域支援」「障害理解（福祉教育）」「バリアフリー」などの問題の中から、各自の研究課題を選択、決定し、研究を進めていくこととなる。

演習では、文献研究、調査研究、実験研究等の研究方法の基礎的学習をはじめとして、各自が年間研究スケジュールを設定して、それに沿ってその過程や成果を数回に分けて発表し、議論を通して問題意識を深めていく。

成績評価の方法

出席状況、レポートの作成と数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

参考書等

佐藤泰正・徳田克己編著『社会福祉研究の課題と方法』（田研出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅰ	小林弘人 <small>こはやし ひろひと</small>	福祉3必	4

講義のねらい

この演習は、社会学コース・社会福祉学コース専攻者の3年生を対象とする。この演習の年間予定は、前半において両コースに関連する文献を講読する。後半は各自の興味（どんな事柄でもよい）を卒業論文テーマにリンクさせ、合宿等によって、卒論テーマを確定する作業を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅰ	東條光雅 <small>とうじょう みつまさ</small>	福祉3必	4

講義の内容・授業スケジュール

高齢者福祉ならびに処遇方法論を主テーマとするゼミではあるが、4月にゼミ履修学生の意向を確認した上で、1年間の進め方を決定する。基本的には、演習であるので、学生の主体的な研究活動が中心となる。したがって、主体的・積極的な姿勢が求められる。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行い、各自の研究報告を行ってもらう。

なお、年末までに、各自の研究テーマで400字×30枚のゼミ論文を提出してもらう。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度、ゼミ論文の内容等により、総合的に行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	ながおしろうじ 長尾 譲治	福祉 3 必	4

講義のねらい

この演習では、保健や福祉に関する身近で興味深いテーマを題材として、ゼミを展開してゆく。いのちと生活に関連した社会問題に関心を深めるとともに、これらの問題を通じて客観的な思考方法とコミュニケーション能力、またわかりやすい文章の書き方を身につけることを目指している。具体的には、ディベートやディスカッションを通していろいろなテーマを一緒に考えながら、ゼミ論・卒論に向けての準備を行っていくことになる。ゼミの運営は、学生の意見・希望を随時聞きながら、皆の合意の上で進めていく。このような「グループワーク」としての運営の性格上、授業への出席と主体的参加が何より求められる。従って、ゼミ選択時及び成績評価等には出席点が重視されることに留意して頂きたい。

講義の内容・授業スケジュール

(今年度の例)

- 1 保健・福祉に関連するテーマのディベート授業（出生前診断、代理母、脳死、安楽死、死刑、遺伝子組換え、少年法改正、介護保険、身体拘束、措置制度 等）
- 2 グループ発表・ディスカッション（夫婦別姓、癌告知、喫煙、ドナーカード、温室効果ガスに関する京都議定書、精神障害者と犯罪・措置入院 等）
- 3 週間福祉ニュース（福祉時事問題に関するグループ発表とディスカッション）
- 4 ゼミ論に向けての個別指導

履修上の留意点

本ゼミは、グループ作業が中心となる。上述のように、出席と各自の主体的参加がゼミの成否を左右する。楽しく充実したゼミにするために、協力的に行動してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しないが、授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅱ	いと う しゅういち 伊藤 秀一	福祉 4 必	4

講義のねらい

3年次の専門演習Ⅰの学習成果を踏まえ、各自のテーマにもとづき、卒業論文作成の指導を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅱ	おぼ た かず 小畑 和	福祉 4 必	4

講義の内容・授業スケジュール

少子・高齢化の構造を持つ社会は本源的に永続的な効果を持たなくなり、経済の停滞により社会は閉塞化し、社会保障制度を維持することが困難になる。

少子化問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では「少子化社会の社会保障政策」を基調にしなが、このような問題も取り上げていきたい。

【厚生労働白書】（平成13年版）を参考にしながら、少子高齢社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と対論を通して問題意識を深めていく。年度末には卒論の準備段階としての小論文の提出を義務付ける。

履修上の留意点

出席率8割以上を演習参加の必要条件とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	とうじょう みつまさ 東 條 光 雅	福 社 4 必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

必修科目である卒業論文の個別指導が主な内容となるが、学生の要望があれば卒業論文の指導とは別に、テーマを設けてクラスワークを行なうこともある。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行ない、各自の研究報告を行なってもらおう。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度等により、総合的に行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	まりばら ひろゆき 桐 原 宏 行	福 社 4 必	4

講義のねらい

この演習では、前年度の社会福祉専門演習Ⅰでの各自の成果を基礎として、卒業論文の作成・提出に向け必要となる事項に関して学習をすすめるものである。

具体的には、それぞれの設定している課題に沿って、文献・資料分析、調査や事例のデータ分析を行い、その結果に関して議論を重ねつつ展開していく。

成績評価の方法

出席状況、レポートの作成と数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	こばやし ひろひと 小 林 弘 人	福 社 4 必	4

講義のねらい

4年次生は、各自の論題についての指導をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	なが おしろうじ 長 尾 譲 治	福 社 4 必	4

講義のねらい

この演習は、専門演習Ⅰに引き続いて4年次に開講される。3年次終了時に各自が決定した卒業論文のテーマにそって、個別指導を行うとともに、そのテーマに関するディスカッション等のグループ作業を行う。

4年次のゼミは、3年間の学習の総仕上げである。文章力・自己表現力（発言力）をしっかりと身につけて、社会に通用する自己を形成することをめざしている。自己の成長の場として、授業を大いに活用してほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

（今年度の例）

- 1 卒業論文指導（個別面談授業）
- 2 各自のテーマに関するグループ・ディスカッションの設定とその実施
- 3 就職その他、進路に関する個別相談

履修上の留意点

本ゼミは、3年次のゼミと同じメンバーで開講される。仲間関係を有効に活かし、積極的・協力的に履修してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しないが、必要なものは授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ソーシャルワーク・リサーチ論	いしかわ ひさのり 石 川 久 展	14以降入学生/福祉1・2・3選 13以前入学生/福祉1必	4

講義のねらい

本講義は、社会福祉に従事する専門家に必要と思われる社会調査あるいは社会福祉調査（ソーシャルワークリサーチ）の基礎的な知識を養うことを目的とする。  
 具体的な内容としては、まず、社会福祉分野においてなぜリサーチが必要なのか、その目的や意義といった理念からスタートし、社会福祉調査の発展経緯、調査の目的や方法、プロセスなど、基本的な調査の枠組みを中心として学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的な講義内容とスケジュールは以下の通りである。  
 ①オリエンテーション（授業概要と評価方法）、調査の目的と意義  
 ②社会調査及び社会福祉調査の歴史的経緯  
 ③仮説や理論モデル及び概念化・操作化について  
 ④尺度と変数、尺度の水準について  
 ⑤尺度の妥当性、信頼性について  
 ⑥量的調査の意義と内容  
 ⑦質的調査の意義と内容  
 ⑧ソーシャルワークリサーチの実際

履修上の留意点

授業全体としては、講義形式が中心となるが、学生同士のディスカッションによる演習形式も若干取り入れるので、学生の主体的な参加が望まれる。

成績評価の方法

成績の評価方法については、まず、出席についてであるが、出席は全体の20%を占めることになるので、出席するよう注意されたい。なお、出席日数が出席すべき日数の3分の1に満たない者は、評価の対象としないので注意されたい。その他の評価は、中間レポート（30%）、定期試験（50%）によって行う予定である。これらの詳細については、授業の中で逐次説明していく。

教 科 書

特に指定無し。

参 考 書 等

- ①社会福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅱ』（中央法規出版）1999年
- ②野村哲也『社会福祉調査論』（新評論）1980年
- ③古谷野亘・長田久雄『実証研究の手引き』（ワールドプランニング）1992年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家庭福祉論	たけやま うめのり 武 山 梅 乗	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、「家庭福祉」の視点を明示し、日本における家族制度、家族政策を概観した上で、地域福祉施策や在宅福祉施策の拠点とされる「家庭」における諸問題を、主として女性、子ども、老人の家庭生活という観点から概観していくものである。これに加えて、「家庭福祉」を地域、国家という枠組みの中に位置づけ展望するとともに、福祉における家庭と「市場」及び非営利セクターとの連携の可能性についても模索してみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 家庭福祉の視点 1) 社会と家庭、家族、世帯、2) 日本における家族制度と家族政策、3) 家族の多様化と家庭福祉
2. 女性と家庭福祉 1) フェミニズムからみた家庭生活、2) 女性労働と育児の社会化、3) 母子家庭の諸問題、4) 夫婦別姓と家族
3. 子どもと家庭福祉 1) 人間形成の場としての家庭、2) ジェンダー形成の場としての家庭、3) 学校と家庭
4. 老人と家庭福祉 1) 高齢者の労働と家庭生活、2) 高齢者介護と家族、3) 高齢者の「居住福祉」
5. 地域、国家と家庭福祉
6. 民間社会福祉と家庭福祉

成績評価の方法

講義期間中に課す小レポート及び定期試験の結果で評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児童福祉論	やまもと まみ 山 本 真 実	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

子ども・子育てをめぐる社会環境をふまえ、児童福祉の理念、制度（基本枠組み）について基礎的な学習を行う。ビデオ教材等視聴覚教材も使用し、具体性をもたせつつ児童福祉サービスの現状を理解することをねらいとする。

はじめに子ども・子育てをめぐる社会環境について整理する。また、子どもや子育て、家庭をめぐる社会的な位置づけについて学習する。児童福祉が対象としてきた範囲、理念について整理する。そして、基本的な児童福祉政策・制度の枠組みについて理解し、その枠組みの中で、どのような問題があるのか、児童福祉制度改革等、今後の展望について考察を深める。

後半では、保育、養護、健全育成、相談体制など各論についての講義を行い、児童福祉の全体系を学習する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下の内容についてテキストに従い講義を行う。

- I. 児童と社会
  1. 児童と家庭・社会
  2. 児童福祉ニーズ
- II. 児童福祉の理念
  3. 児童福祉の理念と児童の権利
- III. 児童福祉の制度
  4. 児童福祉の法体系
  5. 児童福祉実施体制
  6. 児童福祉施策体系
  7. 子育て環境
  8. 児童福祉改革の動向
- IV. 各論
  1. 保育
  2. 社会的養護
  3. 権利擁護
  4. 健全育成
  5. 相談

#### 履修上の留意点

社会福祉士資格の取得希望者だけでなく、履修者全員に対して児童福祉についての理解を深める意識を持つことを期待している。

#### 成績評価の方法

学年末の試験のみによる評価。出席状況を加味することもある。

#### 教科書

柏女霊峰『現代児童福祉論（第4版）』（誠信書房）2000

#### 参考書等

柏女霊峰、山縣文治編著『新しい子ども家庭福祉』（ミネルヴァ書房）



科目名	担当者名	配当学科	単 位
障害者福祉論	まりはら ひろゆき 桐 原 宏 行	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点にたって把握していくが必要になる。

本講では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①障害者福祉の理念
  - ②障害の概念と実態
  - ③障害者福祉の施策
  - ④障害者福祉と社会資源
  - ⑤障害者に対する援助活動
- 前期に①～③、後期に④～⑤について扱う。

成績評価の方法

出席状況、定期的なレポートの提出、前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験等を総合して評価する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編 『障害者福祉論』 (中央法規)

参 考 書 等

講義のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老人福祉論	とうじょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- |    |  |
|----|--|
| 前期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口高齢化の意味</li> <li>・高齢者問題の背景<br/>社会変動、家族変動</li> <li>・高齢者の生活問題</li> <li>・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害</li> <li>・高齢者の保健福祉ニーズ<br/>ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類</li> </ul>  |
| 後期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人保健福祉法制と関連施策<br/>近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策</li> <li>・老人保健福祉の供給システムと財源<br/>供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー</li> <li>・在宅サービスの制度と処遇<br/>在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例</li> <li>・施設サービスの制度と処遇<br/>入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例</li> <li>・地域及び住環境の整備と福祉機器</li> </ul> |

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

東條光雅・冷水豊福『老人福祉論』第2版、(メヂカルフレンド社) 2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女性福祉論	はやし 林 千 代	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に社会的、経済的、精神的なしわよせを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が当面する生活上の困難や矛盾に対して、社会福祉のかかわる部分はきわめて大きい。社会福祉の分野で唯一女性に対応してきた婦人保護事業を基底に、社会構造の変動と共に複雑に多様化し、かつ重複して現れる女性の生活上の諸問題とその対応策について学ぶことを目的とする。それは、男性と共に考えるべき課題であり、社会福祉の分野において男と女の地平を求めることにほかならない。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 女性福祉に関する先行理論の検証と概念規定
2. 社会福祉事業としての婦人保護事業
3. 売春防止法の成立について
4. 婦人保護事業の現状と女性の生活問題
5. その他の女性生活問題  
母子世帯の暮らし、女と老い、福祉労働と女性などなど
6. 男性と女性のあり方を考える

履修上の留意点

熱心に考えようとする学生の参加を希望する。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。その都度資料を配布する。

参 考 書 等

林千代・慈愛会編「慈愛寮に生きた女性たち」(東京創文社)  
林千代編「母子福祉を拓く」(ドメス出版)

そ の 他

視聴覚機材を用いる予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医療福祉論	は る み し ず こ 春 見 静 子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における医療福祉職の実践について理解する。  
医療ソーシャルワークがどのような学問を基礎とし、どこで、いかなる援助技術を用いてなされるかを学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は理論を中心とした講義、後期は実践現場での事例を通して援助技術を学ぶ。

前期

社会福祉とソーシャルワーク  
医療ソーシャルワークの歴史 英国、アメリカ、日本  
専門職としての医療ソーシャルワーカー 倫理綱領と業務基準  
医療について：健康と病気の概念 キュアとケア  
医療機関について  
疾病分類と医学知識 リエゾン精神医学 心身症  
援助手段としての社会資源  
援助関係 面接の技術 援助過程

後期

外来段階のソーシャルワーク  
入院段階のソーシャルワーク  
精神保健の領域  
医療ソーシャルワークの実際 機関別と対象別の実践

履修上の留意点

医療福祉に興味ある人とくに将来、その領域で働きたいと考えている人を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と期末試験で評価します。

教科書

山川哲也著『臨床医療ソーシャルワーク』（誠信書房）2,500円

その他

医療機関の見学と、現場の医療ソーシャルワーカーの特別講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公的扶助論	い と う し ゅ う い ち 伊 藤 秀 一	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。

講義内容としては、上述した問題意義のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権活動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、学年末定期試験を総合して評価する。

教科書

テキスト等については開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域福祉論	とよだ むねひろ 豊 田 宗 裕	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。  
本講義ではこれらについて、われわれがすすんでいる地域そのものの持つ特色を明らかにし、そこに生活する人々の福祉問題を把握し、解決の方法を探る手段や考え方について学ぶ。

- (1) 総論としての地域福祉の枠組みの理解（地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか）
  - ①地域福祉論の概念
  - ②地域福祉の歴史的展開
  - ③コミュニティの捉え方・考え方
  - ④現在の地域福祉施策の特徴
- (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法の理解（地域福祉施策の内容と提供方法）
  - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法
  - ②サービス提供組織やその仕組み
  - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
- (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
  - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望
  - ②計画づくりと福祉制度
  - ③これからの方向性

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 地域福祉と生活問題：地域福祉の考え方と現代の生活問題
- 2) 地域福祉とコミュニティ／1：地域社会の変遷とコミュニティの変化
- 3) 地域福祉とコミュニティ／2：コミュニティの形成とその考え方
- 4) 地域福祉とコミュニティ／3：住民の社会参加の状況とコミュニティ
- 5) 地域福祉理念の変遷：地域福祉理念の歴史的変遷
- 6) 地域福祉の概念とその範囲：地域福祉の代表的な考え方とその類型
- 7) 地域福祉のサービス体系／1：地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念
- 8) 地域福祉のサービス体系／2：在宅福祉サービスの体系とその内容
- 9) 地域福祉のサービス体系／3：組織化活動の考え方とその内容
- 10) 地域福祉のサービス体系／4：環境改善と社会資本整備
- 11) 地域福祉の推進方法／1：地域援助技術（コミュニティワーク）の必要性
- 12) 地域福祉の推進方法／2：ニーズの把握とコミュニティワーク
- 13) 地域福祉の推進方法／3：海外のコミュニティワークについて
- 14) 地域福祉の推進方法／4：社会福祉計画の策定と地域福祉計画
- 15) 地域福祉の推進方法／5：地域福祉計画の内容とその種類
- 16) 地域福祉の推進方法／6：福祉教育の考え方とその推進
- 17) 地域福祉の財源／1：公的財源と共同募金の概略
- 18) 地域福祉の財源／2：社会福祉基金等の概要
- 19) 地域福祉の財源／3：民間財源の内容とその活用
- 20) 地域福祉の財源／4：海外における地域福祉財源
- 21) 地域福祉の推進組織／1：社会福祉協議会について
- 22) 地域福祉の推進組織／2：行政、施設等の諸機関の動き
- 23) 地域福祉の推進組織／3：非営利団体の活動とNPO法
- 24) 地域福祉のマンパワー／1：現代のコミュニティワーカー（社会福祉協議会職員中心に）
- 25) 地域福祉のマンパワー／2：ボランティア活動とその動き
- 26) 地域福祉のマンパワー／3：地域における地域福祉のマンパワー（民生委員を中心に）
- 27) 地域福祉の現状／1：コミュニティワークの現状
- 28) 地域福祉の現状／2：介護保険と地域福祉（相談援助活動を中心に）
- 29) これからの地域福祉：現代の地域福祉を取り巻く状況と今後への課題
- 30) まとめ：これまでのまとめと国家試験に向けて

成績評価の方法

試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出（随時）の双方の状況により、判定する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『地域福祉論』（中央法規出版）

そ の 他

講義形式で行う

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読	とうじょう みつまさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

社会福祉に関する英語の外国文献あるいは学術論文を講読してゆく予定である。訳すということとは目的ではなく手段であり、そこに書かれている内容を吟味してゆくことが目的である。進め方としては、授業当初に履修学生に担当箇所の割り当てを行い、以降順次報告してもらうことになる。

履修上の留意点

英語の授業ではないので、基本的な英文読解能力は必要であろう。積極的に授業に臨んでもらいたい。なお、出来れば英和大辞典を所持することが望ましい。

成績評価の方法

毎回の報告内容やそれに対する討議内容などを総合して行う。また、前期と後期の終わりに、英文和訳の小テストを考えている。

教科書

履修学生が決定した時点で、学生の意向も考慮しながら決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保障論	ふなみず ひろゆき 船 水 浩 行	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて取入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病氣やケガになったらどうするのであろうか。社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）

参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論 IA (前期)	きたじま えいじ 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に焦点が置かれる。ソーシャルワークの視点から、人を理解するとは、また、人へのかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論 IA」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教 科 書

「ソーシャルワーク・入門」野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著（有斐閣）  
「ソーシャルワーク実践の基本理論」北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論 IB (後期)	きたじま えいじ 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助とともに集団援助を加えて、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術の総体を概観する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団のかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論 IB」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教 科 書

「ソーシャルワーク・入門」野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著（有斐閣）  
「ソーシャルワーク実践の基本理論」北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論 II A (前期)	かわてい もとゆき 川 廷 宗 之	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

- ①社会福祉援助技術の中で、小集団援助技術を修得する事が、この科目の学習目的である。
- ②小集団援助技術は、個人を援助する場合に小集団を活用する技術と、小集団そのものの援助技術を含む。
- ③小集団の背景となる理論として、特にグループ・ダイナミクスの理論などを学ぶ。
- ④実際の小集団援助場面での、活動テーマとしての様々な素材やその活用方法を修得する。
- ⑤専門職としての所属機関の概要とともに小集団援助援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①前期は、個人を援助する場合の小集団活用の技法（特に、様々な状況での援助技術）を、後期は小集団そのものの援助技法（特に、援助計画立案等の援助技術）を中心に学習を進める。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、a 集団援助技術の意義・沿革・定義、b 集団援助技術の構造、c 集団援助技術の実践原則、d 集団援助技術の展開過程、e 集団援助技術の実際とその応用展開などが中心になる。
- ③技術面からは、a 小集団観察技術、b 小集団援助の概要計画作成技術、c メンバー決定技術、d 地域資源の活用技術、e グループワークの全体プログラム作成技術、f 毎回のグループワーク援助プログラム作成技術、g ソシオメトリー作成技術、等が中心となる。

履修上の留意点

- ①この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術 I A および I B の単位を取得しておくことが望ましい。
- ②特に社会福祉援助技術各論 I B の単位取得以前に履修する場合や、並行して履修する場合はかなり困難が予想されるので、その対応方法を考えておくことが望ましい。
- ③社会福祉援助技術 II の修得は、理論と同時のその理論を実践に適用する技術の修得を行う。特に、コミュニティの課題を対象とするこの科目においては、実際のコミュニティをベースにした授業を行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなく成りがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- ④この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第 1 回目の授業で説明するので第 1 回目の授業は必ず出席すること。万一、第 1 回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- ①成績は、授業中（および宿題）に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する。
- ②授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- ③学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- ④授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、また、しばしば行われる意見交換への関わり方、が評価の視点となる。
- ⑤全体の評価が、60点に達しない場合は勿論、三つの視点からの評価の内、一つでも60%以下の得点の場合、再履修をお願いすることを原則とする。

教 科 書

川田誉音編 『グループワーク - 社会的意義と実践』 (海声社)  
福祉士養成講座編集委員会編 『社会福祉援助技術各論 I』 (中央法規出版)

参 考 書 等

大塚達雄他編著 『グループ・ワーク論』 (ミネルヴァ書房)  
その他、授業中に適宜指示する。

そ の 他

授業中の演習のため、1～2回の授業は（実習で指定される程度に）服装等を指定する事があるので、あらかじめ了解されたい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論 II B (後期)	かわてい もとゆき 川 廷 宗 之	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

- ①社会福祉援助技術の中で、間接援助技術に分類されている地域援助技術（コミュニティワーク）および社会福祉運営管理と社会福祉計画技術について学習する事が、目的である。
- ②コミュニティの背景となる理論として、特に地域社会学の業績にその理論を学ぶ。
- ③実際のコミュニティ援助場面での、援助技術や、援助計画の策定について学ぶ。
- ④専門職としての所属機関の概要とともにコミュニティ援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①最初に、個人を援助する場合の資源としてのコミュニティ活用技法を学び、次に、社会福祉運営管理と社会福祉計画の技術を学び、最後にそれを統合して、実践的なコミュニティ援助計画をまとめる。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、aコミュニティ援助技術の意義・沿革・定義、bコミュニティ援助技術の構造、cコミュニティ援助技術の実践原則、dコミュニティ援助技術の展開過程、eコミュニティ援助技術の実際とその応用展開などが中心となる。
- ③技術面からは、aコミュニティ課題の発見方法としてのインタビュー技術、b数値化されないデータの集約技術、c統計からの問題発見（予測）技術、dコミュニティ診断技術、e問題の構造分析と解決効果予測技術、f資源確認発見技術、g計画技術、hコミュニティ集団運営のための技術、i広報技術、等を、課題の作成を通して細かく学ぶ。

履修上の留意点

- ①この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術各論 I Aおよび I Bの単位を取得しておくことが望ましい。
- ②特に社会福祉援助技術各論 I Bの単位取得以前に履修する場合や、並行して履修する場合はかなり困難が予想されるので、その対応方法を考えておくことが望ましい。
- ③社会福祉援助技術 II の修得は、理論と同時のその理論を実践に適用する技術の修得を行う。特に、コミュニティの課題を対象とするこの科目においては、実際のコミュニティをベースにした授業を行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなく成りがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- ④この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回目の授業は必ず出席すること。万一、第1回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- ①成績は、授業中（および宿題）に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する。
- ②授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- ③学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- ④授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、また、しばしば行われる意見交換への関わり方、が評価の視点となる。
- ⑤全体の評価が、60点に達しない場合は勿論、三つの視点からの評価の内、一つでも60%以下の得点の場合、再履修をお願いすることを原則とする。

教 科 書

高田真治・他・著 『コミュニティ・ワーク・地域福祉の理論と方法』（海声社）  
福祉士養成講座編集委員会編 『社会福祉援助技術各論 II』（中央法規出版）

参 考 書 等

高田真治・著 『地域福祉計画論』（誠信書房）  
その他、授業中に適宜指示する。

そ の 他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学（福祉）	たけやま うめのり 武 山 梅 乗	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義は、社会福祉士及び社会福祉主事を目指す学生に社会学の基礎的な知識を提示することを通じて、現代社会における諸問題、とりわけ「家族」「地域社会」に関する今日的な問題を理解してもらおうことを目的とするものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 講義内容を以下のように予定している（カッコ内に各項目のキーワードを示しておく）。
1. 社会学の基礎概念（役割論、自我論、規範と逸脱、集団論、現代組織とネットワーク等）
  2. 現代社会論 1) 消費社会と情報化社会（資本主義、産業社会、記号消費、高度情報化、企業文化等）、2) ラベリング理論（少年法、エイジズム、障害者芸術等）、3) 医療化社会論（医学というパラダイム、患者役割、医原病等）
  3. 現代家族論 1) <近代家族>論（家族制度、家族の構造と機能、恋愛と結婚、<パラサイト・シングル>等）、2) 家族とジェンダー（専業主婦と家事、メンズ・リブ、DV等）、3) 家族とエイジング（高齢者と労働、高齢者扶養と介護等）
  4. 地域（コミュニティ）論 1) コミュニティ論（コミュニティ、アーバンイズム、<郊外>等）、2) 過疎化と地域おこし（地域文化、産直運動、園芸療法等）、3) 国家と地域（国民国家とエスニシティ、福祉国家論、ボランティア論等）

#### 成績評価の方法

講義期間中に課す小レポート及び定期試験の結果で評価する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

見田宗介『現代社会の理論—情報化・消費化社会の現在と未来—』（岩波新書）  
その他は開講時に指す。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学（福祉）	たかはし よしひろ 高 橋 良 博	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

- 本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。
- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
  - 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
  - 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。
- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
  - 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
  - 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
  - 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法（総論）心理療法の歴史と種類 ②心理療法（各論）精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

#### 成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

#### 教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』（中央法規）2,500円（税別）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医学一般	こばやし 小林 隼	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい	健康者、病弱者および高齢者に対する医学・保健学の基本的な知識を体得し、ひいては社会福祉上を目指す者にも役立つ内容とする。
講義の内容・授業スケジュール	人体の構造と機能、現代社会と疾病、老化と身体的変化、精神保健、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療対策、医療行政、医事法制等について、講義の予定。
履修上の留意点	出席はきわめて重視する。緊急の場合を除き、欠席については連絡をすること。
成績評価の方法	筆記試験、課題提出、授業姿勢、出席状況、自己表現の良否、などから総合判断して評価する。
教科書	『医学一般』（中央法規）2,500
参考書等	講義開始時に連絡する。
その他	一方通行の講義でなく、学生諸君と時間を共有する姿勢で、討論や質疑を中心にすすめてゆく予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
介護概論（前期）	こだまや 児玉谷 広子	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい	1. 介護の必要な人の社会生活を支援する社会福祉職の利用者観と介護福祉の視点を身につける。 2. 介護福祉実践について、制度・サービスの側面、介護活動の場の側面、専門技術、チームケアの側面から学び、社会福祉職としての立脚点をつかむ。
講義の内容・授業スケジュール	1. 高齢者と介護福祉の背景と課題 2. 障害者の介護福祉の背景と課題 3. 介護福祉の概念、理念 4. 介護福祉における支援関係 5. 宿題：介護に関する文献考察：指定図書 6. 制度的発展 7. 住宅介護と施設介護 8. 介護技術総論 9. 介護福祉と医療 10. チームケア 11. 介護過程と記録 12. ケアマネジメント 13. 宿題：介護に関する文献考察：自由図書
履修上の留意点	随時、グループディスカッション、ロールプレイ、事例研究、ビデオ学習、質疑をとり入れ、講義への主体的な参加を求める。講義内容の振り返りや考察・感想を記述してもらい、フィードバックしていき内容の理解を深めたいので、出席を重視する。
成績評価の方法	出席数・授業参加度……20%、文献考察レポート……30%、学期末テスト……50%
教科書	岡本民夫・井上千津子編『介護福祉入門』（有斐閣アルマ）
参考書等	指定図書：ミルトン・メイヤロフ／田村真・向野宜之訳『ケアの本質－生きることの意味』（ゆみる出版）
その他	社会福祉士国家試験対策について随時伝える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
介護技術（後期）	こ だ ま や ひ ろ こ 児玉谷 広 子	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

老化や障害のため日常生活や社会生活に支援が必要な人の生活ニーズを理解し、個別に主体性を尊重した、安全や自立やQOLを高めることを目指す支援のあり方と具体的方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 介護技術の目的、方法、支援関係
2. コミュニケーション技法・観察の技法
3. 安全で快適な住まい・生活環境の整備
4. 移動の技法
5. 日常生活における基本の介護技法（食事・着脱）
6. 日常生活における基本の介護技法（排泄・清潔）
7. 宿題：オムツ体験
8. 安楽の技法
9. 医療対応時、急変・事故時の対応
10. 終末期の介護
11. 記録と報告
12. 介護過程
13. グループでの事例研究

履修上の留意点

随時、グループディスカッション、ロールプレイ、事例研究、ビデオ学習、質疑をとり入れ、講義への主体的な参加を求める。講義内容の振り返りや考察・感想を記述してもらい、フィードバックしていき内容の理解を深めたいので、出席を重視する。

成績評価の方法

出席数……15%、オムツ体験……20%、グループ研究……15%、学期末テスト……50%

教科書

介護福祉士養成講座『介護技術』（中央法規）

参考書等

講義中、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神医学	こ う 黄 ミンシュク	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学全般について概説した上で、各障害について個別に説明、講義する。  
精神医学は、遺伝的要因を強くもつ内因性精神疾患から、正常の反応の深さと長さの異常である精神症圏内の疾患まで広範囲に及んでいる。さらに、人権上の問題や社会学的見地まで広範囲に及び学問内容をもつ科目である。思春期までの精神的発達についての詳述し、教員課程にある学生から、社会福祉課程の学生に及ぶまで広く興味をもてるものと思われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期では総論を述べ、後期には各論として障害別に述べる予定である。

成績評価の方法

成績評価は、質問紙によるテストの結果である。期日内の成績変更は行方予定である。

参考書等

参考書等については別途述べる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神保健学	さかむら ゆう 坂 村 雄	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神保健学を国家試験に合わせて講義する。精神医学、心理学等、精神保健に関するバックグラウンドは広いので、精神障害、異常心理などの解説をしながら、理解を深められる様に講義するが、あくまでも、精神保健福祉士の実践に役立つ様、臨床的内容になる。単なる学問的知識でなく、実際に現場で働いていくために必要な知識を与えたいと思っている。精神保健とは精神健康に関する公衆衛生であり、狭義には精神疾患の予防と治療、リハビリテーション、広義には精神的健康の保持と増進を目的とする諸活動である。これが一応の定義だが、精神保健福祉士の国家資格を取得する為の一科目に指定されているので、あくまでも実践的目的にそった講義とする。

成績評価の方法

出席、レポート、試験などを総合的に評価したい。

教科書

精神保健入門（八千代出版）

参考書等

図説 国民衛生の動向2001（厚生統計協会）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神保健福祉論Ⅰ	うえの ようこ 上 野 容 子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉の理念と施策の理解を踏まえた上で、精神障害者の障害特性（疾病と障害の共存）、処遇の歴史を学ぶ。特に偏見や差別の対象とされている現状認識を深める。精神障害者の社会生活、社会参加を援助、支援する精神保健福祉士の役割と実践について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ①障害概念 精神障害とは？
- ②障害者福祉における精神障害者福祉
- ③精神障害者福祉の歴史と現状～関連法との関係～
- ④精神保健福祉士とは？
  - ・活動の歴史的経過とその意義
  - ・精神保健福祉法の意義と内容
- ⑤精神障害者の地域生活支援と社会参加の促進をめざす活動

履修上の留意点

問題意義と関心をもって参加してほしい

成績評価の方法

- ①レポート提出 ②ボランティア体験
- ③出席状況

教科書

- ①精神保健福祉論（へるす出版）
- ②精神科臨床サービス（星和書店）

参考書等

授業の中で随時伝えます

その他

ボランティア体験発表予定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神保健福祉論II (前期)	うえの よろこ 上野 容子	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

地域において、精神保健福祉活動がどのようにおこなわれているか？又、精神障害者の地域生活の実態を学び、地域生活支援システムの重要性を認識する

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①新聞、マスコミで報道される精神障害者の犯罪の背景
- ②精神障害者の生活実態～当事者の声～
- ③精神障害をもつ子供の家族の思い～事例～
- ④地域における精神保健福祉活動  
保健所、社会復帰施設、ボランティア活動、ホームヘルプなど  
～実践家の話～

履修上の留意点

問題意識と関心を持ち、(I)を合わせて履修すること

成績評価の方法

- ①レポート提出 ②出席状況 ③グループ発表

教科書

授業開始時に紹介予定

参考書等

授業の中で随時伝えます

その他

セルフヘルプグループを構成し、グループワーク手法を活用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神保健福祉援助技術各論	まかの けんじ 坂野 憲司	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学ソーシャルワークの分野は、ワーカーの人間理解と対人援助技術のあり方が常に問われる分野と言える。それは、精神障害者の障害が人間関係の障害として表象される場合が多いからである。当然、ワーカーとクライアントの援助関係の中にも、この障害は持ち込まれてくるのである。本講義では、精神障害者との援助関係の樹立と展開の仕方を軸としてグループや地域社会での援助のあり方と、地域社会の変革のあり方を模索していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①ソーシャルワークの人間観
- ②ソーシャルワークにおける個人と社会
- ③人と状況との全体関連性と精神医学ソーシャルワークのモデル
- ④精神障害者へのケースワーク
- ⑤精神障害者へのグループワーク
- ⑥精神障害者のためのコミュニティワーク
- ⑦スーパービジョンと自己覚知の必要性

履修上の留意点

授業への主体的参加(討論など)を期待します

成績評価の方法

学期末試験

教科書

牧野田恵美子他編『精神保健福祉援助技術各論』(ヘルス出版)1998 3,200円

参考書等

授業の中で紹介します。

その他

講義の中に事例を織りませ、さらにケース検討する機会を設けます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	14以降入学生/福祉1科目内選 13以前入学生/福祉1科目内選必	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉計画論	かわてい もとゆき 川 廷 宗 之	14以降入学生/福祉計画選 13以前入学生/福祉計画選必	4

#### 講義のねらい

- ①この科目では『社会福祉』と『社会計画』の二つの問題を扱う。
- ②社会福祉計画論は、本来は社会福祉援助技術の内容の一つを構成する専門的領域であるが、この授業では、専門に直接ふれるのではなく、その前提としての社会福祉の基本的な問題を含めて解説する。
- ③社会福祉計画を必要とする現代日本の社会福祉問題について、その内容の理解を図る。
- ④問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面が強調され、その結果、計画化が促進される現代の状況について理解を図る。
- ⑤『社会福祉計画』は、市民個人個人の『福祉 (Well Being)』の保障を目指すのであるから、個人個人の『福祉計画』を前提にした統合としての『社会福祉計画』として、総合的な理解を深める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、『社会福祉計画』の前提となる『日本の社会福祉』が扱おうとしている様々な福祉課題について学ぶ。
- ②後期は、福祉問題の解決を目指す『社会福祉計画』の詳細について学ぶ。

#### 履修上の留意点

- ①この講義では、開講第1回目に全体のスケジュール等を説明するので、第1回には必ず出席していただきたい。
- ②講義を中心として進めるが、時に授業中に討論を行うこともあるので、積極的な主体的な参加を期待します。
- ③学習者である皆さんの主体的な学習態度を尊重すべく、質問重視の授業を進めるので、関連事項について積極的な質問を期待します。

#### 成績評価の方法

- ①前期末、後期末のレポートの成績を中心に、主体的な出席への評価を含めて成績評価を行う。
- ②前期末のレポート課題は、前期の講義に含まれる社会福祉計画が対応することになる「日本の福祉問題」を自分自身の生活課題に引きつけて論じる課題が出題される。
- ③後期のレポート課題は、社会福祉計画論の理論的課題について、テキストの課題の中から各自自由に選択して、まとめる課題が出題される。
- ④前期レポートと後期レポートは、それぞれ40%と50%の比率で成績評価に反映される。残り10%は、出席状況等を勘案する。

#### 教科書

定藤丈弘・坂田周一・小林良二編集 『社会福祉計画』（有斐閣）定価2,200円

#### 参考書等

- ①高田真治 『社会福祉計画論』（誠信書房）1979年
- ②R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳 『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980年
- ③全社協編 『地域福祉計画--理論と方法--』（全国社会福祉協議会）1984年



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家族療法	は る た て つ ゆ き 治 田 哲 之	14以降入学生/福祉1・2・3選	4
		13以前入学生/福祉1・2選必	

講義のねらい

心理臨床の現場では、学派や技法にかかわらず、家族に関する視点を持たずに仕事を進めることはできない。一方、家族療法に基盤を持つ心理臨床家も、家族という観点にとらわれない幅広い臨床的スタンスを持って仕事をすることが必要である。

本講座では、このような心理臨床の現場を出発点とし、家族療法という一つの体系を切り口としながら、心理臨床の基本から家族療法の実際までを実践的に扱う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・心理臨床と治療構造
- ・家族療法の、心理臨床における位置づけ
- ・心理臨床の基礎理論  
(その1～その5)
- ・家族療法の諸理論  
(その1～その3)
- ・心理臨床の技法論  
(その1～その3)
- ・家族療法の技法論  
(その1～その3)
- ・心理臨床の実践（家族療法的視点から）  
(その1～その3)

成績評価の方法

レポート、試験に、出席等の状況を加味する。

教 科 書

履修者の実態（予備知識等）に合わせて決定し、授業において指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉特講Ⅰ 〔児童〕	む ら た が ず あ き 村 田 一 昭	14以降入学生/福祉1・2・3選	4
		13以前入学生/福祉1・2選必	

講義のねらい

本講義では、児童福祉（子ども家庭福祉）の第一線の相談援助機関である児童相談所におけるソーシャルワーク実践の現状と課題について、特に同分野における今日の課題である子ども虐待に関する問題を中心的テーマとして、その理解と考察を深めることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

児童相談所における援助事例の検討を中心に、講義やディスカッションを織り交ぜながら進めていく。また受講生個々の関心あるテーマについても、随時取り上げていく予定である。

履修上の留意点

受講生とともに「考えること」を重視した授業としたいので、受講生には主体的・積極的に参加することを望む。

成績評価の方法

出席状況と課題レポート及びディスカッションへの貢献度等を加味して評価する。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅱ 〔老人〕	こだまや ひろこ 児玉谷 広 子	14以降入学生/福祉1・11選 13以前入学生/福祉1・11選必	4

講義のねらい

1. 高齢者の生活を具体的にとらえられるようになる。
2. 高齢者保健福祉制度やサービスの特徴と課題を理解する。
3. 高齢者への支援に関して福祉専門職の価値観、視点について考察を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 4月：高齢者の生活と制度・サービスについて、文献を読み考察する。(健康、日常生活、家族、経済、住宅、社会参加等)
- 5月：観察調査や聞き取り調査を行い、結果について議論し考察する。
- 6月：高齢者支援の価値観、視点について、文献を読み、考察する。(契約と自己選択、自己決定、権利擁護、サービスの質の向上等)
- 7月：高齢者支援についてテーマを絞り、どのような視点で深めていくか検討する。  
夏休み：テーマについて文献と予備的なフィールド調査によって仮説を明確化する。
- 9月：フィールド調査の準備をする。
- 10月：フィールド調査実施、結果をまとめる。
- 11月：調査結果を考察、文献でさらに深めていく。
- 12月：レポート作成、発表、議論。
- 1月：授業で学んだことの振りかえりと、自己の貢献度の評価を行う。

履修上の留意点

個人およびグループでテーマについて、文献やフィールド調査によって課題をまとめ、発表し、議論を深める積み重ねの過程を重視するので、出席、参加、分担を常に担当教員や学生同士で確認し合う。授業への貢献度が問われる。

成績評価の方法

出席数……20%、各レポート……60%、参加貢献度……20%

教科書

なし

参考書等

講義中、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅲ 〔障害児・者〕	やまもと てつや 山 本 哲 也	14以降入学生/福祉1・11選 13以前入学生/福祉1・11選必	4

講義のねらい

障害児・者およびその家族を取り巻く環境には様々な問題がある。講義では、これら障害児・者およびその家族の抱える心理的・社会的問題への理解を深めるとともに、それらの問題に対するアプローチの方法について、検討していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

QOL、施設利用者の心理、障害受容(障害者・家族)、リハビリテーション、地域福祉、地域療育、バリアフリー等、障害児・者およびその家族の抱える心理的・社会的問題の中で、受講学生の興味・関心に合わせて、演習形式ですすめる。

履修上の留意点

講義は演習形式で行うため、講義時間以外の活動が多くなることが予想されるので、受講を希望する学生はそのつもりで受講すること。

成績評価の方法

課題への参加状況、講義での発表、提出される課題レポート等をもとに総合的に評価を行う。

社  
会  
福  
祉  
学  
会

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅳ 〔相談・援護〕	お お す か 大 須 賀	ちから 力	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉1・2・3・4選必
			4

#### 講義のねらい

今日の相談・援助のシステムは多面多様化しており、それだけ国民の生活全般に対する不安・課題が拡大されてきているように思えます。

児童相談所をはじめ各所で行われている相談援助（電話相談など含め）の実態は、虐待をはじめいじめ・不登校など児童の周辺に起きている深刻な問題に対して、また国民の生活問題に対してどのように応えてきているのであろうか。

この講義では、まず相談機関の実態を明らかにし、その意義と現在の課題について追究していきたい。

つぎに、そのことに従事しているケースワーカーの専門性について、児童相談所で実際相談援助に従事している児童福祉司の活動及び事例等を検討する過程で明らかにしていきたい。

専門性の第一に必要なとされることは、相談者（利用者）とどのように向き合えるかにあると考える。そのことは「自分とどのように向き合うか」ということに他ありません。

「自分を知る」「相手を知る」ことです。

相談を受けた時に適格にニーズを把握するために、また援助の方法を具体化するための援助技術を習得する必要が欠かせない要件となっています。

ワーカーにとって、複雑重度化した諸問題に対しどのような向き合いをしていったら良いかが問われています。

専門性の第二に必要なとされることは、権利擁護の立場で相談者（利用者）に向き合えるかどうかということなのです。

権利侵害の実態把握、発達障害としての視点、最善の利益の尊重、意見表明の保障等権利の回復及びそのための実践活動が問われています。

その他、専門性と資格問題、支援と自立の問題、地域支援の実態、ネットワークの意義フィールドワークの位置付など共に学ぶなかで考えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### (前期)

1. 相談機関の実態・今日的課題
2. 児童相談所の役割・機能・援助活動
3. 職員の専門性について

##### (後期)

1. ケース事例から学ぶ相談援助
2. 処遇困難ケースへの対応
3. 児童の自立・家族の自立
4. チーム処遇のあり方  
関係機関との連携

#### 履修上の留意点

職員の専門性に関して

- ①フィールドワークの必要性
  - ②権利擁護への視点
- をもって学習に臨んでほしい。

レポート・討論などの総合評価

#### 成績評価の方法

#### 教科書

尾崎新 『社会福祉援助技術演習』（誠信書房）2,150円

#### 参考書等

山縣文治監修 『児童相談所で出会った子どもたち』（ミネルヴァ書房）  
尾崎 新 『対人援助の技法』（誠新書房）

#### その他

授業の方法  
講義・討論を中心に

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉学特講Ⅴ 〔福祉士〕	ながお じょうじ 長尾 謙治	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉1・2・3選必	4

講義のねらい

本講義は、社会福祉学専攻4年次生を対象として開講する。福祉士をめざして3年間学生をしてきた諸君の集大成の科目である。

授業では、福祉士の資格制度の現状、福祉士の職務や職場の実際、さらには就職活動のしかた(就職情報の提供も含む)などについて、外部講師の特別講義をも交えながら具体的に解説していく。また、老人・障害・児童・公的扶助など、各分野において福祉士に必要とされる知識について、国家試験問題等を用いながら整理していく。これらの知識は、福祉士の本試験においても必須の知識である。

駒澤大学では、大学として福祉の専門職養成に力を入れている。本講義はその1つの柱として、皆さんの資格取得を視野に入れて開講される。したがって、4年次生で福祉士国家試験を受験希望の学生はぜひ受講するようにしてほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 ソーシャルワークと資格制度：歴史的経緯と現状、及び今後の展望
- 2 福祉士の職場と職務内容
- 3 福祉専門職の就職活動方法の実際
  - ①関連専門職からの提言：外部講師による特別講義
  - ②卒業生アンケート調査結果の紹介
  - ③就職活動体験談：外部講師（OB・OG）による特別講義
- 4 ソーシャルワーカーに望むこと
  - ①関連専門職からの提言：外部講師による特別講義
  - ②福祉サービス利用者からの提言：外部講師による特別講義
- 5 福祉士とソーシャルワーク（国家試験形式による必須知識の再確認）
  - ①生活保護分野
  - ②老人分野
  - ③身体障害者分野
  - ④知的障害者分野
  - ⑤児童分野
  - ⑥精神保健分野
  - ⑦その他の分野
- 6 資格取得をめざして：福祉士受験対策指導  
試験科目（指定科目）ごとの知識の整理・受験指導

履修上の留意点

授業では、福祉分野の職場に就職し、業務を実践するために必要不可欠の知識を解説する。同時に、国家試験受験対策として、必須となる知識を各科目ごとに整理しながら、授業を進める。このような性質上、毎回の出席こそが学習効果の上で極めて重要になる。そのため、履修者は毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、受講姿勢、意欲などを総合的に判断する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義中、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講VI 〔家族〕	お ば た か ず 小 畑 和	14以降入学生/福祉1・小1選 13以前入学生/福祉1・小1選必	4

#### 講義のねらい

出生減退現象と言うのは社会に現れたひとつの表徴である。その社会現象は別の面から見れば、胎児の生命をどのように考えるかという生命倫理に関する側面を持っている。つまり、出生前診断による産み分けや世界的な人工妊娠中絶（abortion）の容認の傾向は、言い換えれば、ProlifeかProchoiceかの問題であり、また、この現象を家族の側面から論ずれば、親子関係が希薄化し、家庭の崩壊、家庭の教育力の低下や学校教育の崩壊に繋がる。また社会的側面から見れば消費の停滞、人口の減少、経済の停滞と不安定、犯罪の増加、社会の崩壊に連動していくことの要因になっている。

講義では出生減退現象を通して生命倫理の問題、家族の変貌、社会保障制度などを取り扱うつもりである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

成熟社会では成長が頂点に達し社会が袋小路（blind alley）に突入する。一方、限界生活費は増大するために、家族を益々制限し少子化や小さな核家族を促し、他方では三世代家族減少や老人問題を発生させている。また、人間関係は本質的關係よりは手段的關係になりシビア（severe）でドライ（dry）になる。個々人の間に緊張感を生じ孤立化するのは家族間でも同じである。

このような観点から以下のような項目で講義する。

- ① 経済社会のマクロ的な説明
- ② Prolife（胎児の生まれる権利）かProchoice（産む、産まないは女性の権利）か
- ③ 資本蓄積と出生減退の関係、出生減退原因の諸説の紹介
- ④ 家族の変貌（血縁、結婚・離婚問題、住居、経済的基盤などの家族の構成要素の変化）
- ⑤ 家族に関する福祉制度（年金、生活保護、保育・育児の制度、エンゼルプラン、児童手当、児童扶養手当…）
- ⑥ 家庭裁判所制度（調停制度、特別養子縁組制度…）
- ⑦ 教育制度（学校教育、家庭教育、社会教育…）
- ⑧ 就業問題（雇用制度、ホームレス問題、雇用保険制度、労働災害保険制度…）

#### 履修上の留意点

初回の講義で説明する。

#### 成績評価の方法

5段階2乗方式によるが、その内容は初回講義で説明する。

#### 教 科 書

講義の中で必要に応じて紹介する。

#### そ の 他

授業形態は講義形式であるが、ビデオやOHPが使用可能ならば利用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家族社会学	な が た に し げ か ず 中 谷 茂 一	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

「真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」という聖書の有名な一節は、家族について再考する意義についても示唆に富む。「家族」とはあまりにも身近で自己の経験と密接な関係であるため、個人の意識に影響を与えたり、時に束縛している構造を見えにくくする。本講義では、文献やデータを参照しながら、家族に関するかたちや意識の多様性を知ると同時に、自分が持つ価値観から一歩離れ相対化できるように、履修者とともに私も自己の視点を再検討しながら考えていきたい。家族社会学の知見にふれディスカッションすることで、それぞれが自分にとっての真理を得て、今後のライフスタイルの選択の際にながしかの参考となれば幸いである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 家族の分析枠組み、2. 配偶者選択、3. 老親扶養、4. 子ども観の変化、5. 子ども虐待、6. 近代家族とフェミニズム、7. 家族のゆくえ。

#### 履修上の留意点

頻繁に発言と小レポートを求める。自分の頭で考え積極的に発言しなければ単位修得はできない。指定したテキスト3冊を参照しながら講義をすすめるので必ず購入することが履修の前提。

#### 成績評価の方法

①学期末試験、②ディスカッション参加状況、③小レポート、3点の総合評価。

#### 教科書

- ①森岡清美・望月嵩 共著 『新しい家族社会学 (四訂版)』(培風館)
- ②片山義弘編 『家族を考える本』(福村出版)
- ③星野貞一郎編 『保健医療福祉の社会学』(中央法規)

#### 参考書等

講義の中で紹介する。

#### その他

授業形態は、講義とビデオを素材とし、ディスカッションする時間を多くとる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法社会学	こ ば や し ひ ろ ひ と 小 林 弘 人	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する(例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。)

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

#### 履修上の留意点

とくになし。資料はかなり配布するが、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

#### 成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

#### 教科書

及川伸著 『法社会学講義』 (法律文化社) 2,781円

#### 参考書等

講義初日に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理検査法	<small>い など み ま さ は る</small> 稲 富 正 治	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

人の身体の状態を示すものに「健康診断」というものがあるように、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などを知る方法には「心理検査」があります。検査の種類によってそのやり方も理論背景も違いますが、人の心を安易に扱う場面も少なくない現代社会の中で、授業では心理検査の技術の習得と理論背景の理解と同時に、人と真剣に向き合う「臨床」を学んで欲しいと思っています。

心理検査の中には、質問紙法（Y-G、TEG、など）、投影法（ロールシャッハ、P-Fスタディなど）、作業検査法（知能検査など）と大きく分けると3つの分野があります。この講義では、その中の代表的なものを扱いながらも、心理テスト全体を網羅した授業を行ないたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ論、心理検査の存在性などから入り、質問紙法、作業検査法、投影法という流れで進めていきます。

履修上の留意点

福祉という立場から、直接心理テストに携わる人は少ないかもしれませんが、この講義を通して、心理検査という角度からの人間観察を行う目を養ってもらいたいと思っています。

成績評価の方法

出席はもちろんのこと平常点（授業態度など）は重視します。また、単に心理テストの結果を数字で見ただけではなく、自分の感性を大事にして欲しいので、自分の言葉をいかに使って表現するかを大事な評価にしたいと思います。

教科書

今のところ特に考えていませんが、必要に応じて紹介します。

参考書等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

その他

心理テストを体験してもらう実習形式やグループ討議やレポート提出なども行なう予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環境心理学	<small>た か は し た か し</small> 高 橋 鷹 志	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は環境心理学の入門を講述する。環境心理学は、心理学・社会学・人類学・建築学などの学際的な研究分野として1960年代後半に登場した。当初「日常の物的環境に関する行動の心理学的研究」と定義されていたように、従来の心理学における実験室で提示される統制された物的環境ではなく、人間の日常生活の場所に関わる環境の全体的性質（物理的だけでなく社会的・文化的環境を含んだ）に着目し、「生活の質の向上」に資することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

「環境心理学の誕生」、「環境心理学理論の諸相」、「環境心理学の応用」

履修上の留意点

住まいや町に興味をもつ人たちの聴講を望む。

成績評価の方法

レポートによる。

教科書

特になし。

参考書等

E. ホール、日高敏隆他訳『かくれた次元』（みすず書房）1970  
O. ボルノウ、大塚恵一他訳『人間と空間』（せりか書房）1988  
Y. トゥワン、阿部一訳『個人空間の誕生』（せりか書房）1993

その他

授業の方法は聴講人数によって決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	みつおか はくみ 光 岡 博 美	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法	けいとく ひろとう 鶏 徳 啓 登	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か
2. 行政の原則
3. 行政法の意義と解釈
4. 行政作用の分類と内容・効力
5. 行政行為の瑕疵と効力
6. 行政手続
7. 行政上の強制の方法と制裁
8. 国家による賠償と補償
9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円  
『小六法』 出版社・定価各種

参 考 書 等

塩野宏著 『行政法 I・II』 (有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労働法	ふじもと しげる 藤 本 茂	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しがなされています。現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等、などなどです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを中心にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回日の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

#### 成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

#### 教科書

特に指定はしません。しかし、道しるべとして、1冊は用意してください。教科書として適当と思われる概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において配布するプリントで紹介いたします。受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### 参考書等

第1回目の授業で紹介いたします。  
六法に関しては、最新のもの（法律改正があるので特に注意）そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

#### その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法	たけなか ちか 竹 中 智 香	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

#### 履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

#### 成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

#### 教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

#### 参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済原論	あ きの か つ み 浅 野 克 巳	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
  1. 経済循環と国民所得の諸概念
  2. 所得はどのようにして決まるのか
  3. 45度線モデルとI-Sバランス
  4. IS-LM分析と財政金融政策
  5. 経済の変動と成長
  6. 賃金・物価・インフレーション
  7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
  1. 市場と価格メカニズム
  2. 消費者行動の理論
  3. 企業行動の理論
  4. 不完全市場とは何か
  5. 市場の失敗
  6. 不完全情報の経済学
  7. リスクと不確実性
  8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

#### 履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

#### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

#### 参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）  
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

#### その他

経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！ 大いに利用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場 実習Ⅰ	きりばら ひろゆき 桐 原 宏 行	14以降入学生/福祉?選 13以前入学生/福祉?必	2

講義のねらい

社会福祉の現場で展開される専門職の実践活動は、当事者とともにその抱える問題を解決していくことを目指して行われる。なかでも援助活動は、利用者の人権を擁護しつつ、専門職者としての対人関係を形成することを通して、利用者が身体的・精神的に健康な生活を送れるように支援していかなくてはならない。

本講では、福祉の専門的マンパワーの養成を念頭に置いて、1年次配当科目や2年次に並行して履修される科目との関連を考慮し、社会福祉の原理と実践をつなぐかけ橋としての重要な位置を占める。また、この講義の内容は、3年次での社会福祉援助技術現場実習Ⅱへの準備学習が中心となる。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講では、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解すること、社会福祉実践の実態を把握すること、自己の配属実習分野を検討することなどについての学習が中心となる。

授業では、福祉現場における実践内容のビデオなどの視聴をもとにした議論、グループ討議、福祉現場の専門従事者からの話題提供、配属実習修了者との意見交換などを行う。

成績評価の方法

毎回の授業で課題を与えレポートの提出が義務づけられる。現場への配属実習のスクリーニングも行うため、特別な事由のある場合を除き、無断欠席は認められない。

参考書等

講義のなかで随時指示する。

その他

社会福祉援助技術現場実習Ⅰの単位未修得者は、原則として社会福祉援助技術現場実習Ⅱの履修を認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉調査実習	とうじょう みつまさ 東 條 光 雅	福祉2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業では、学生自身が実際に調査を行ってみることが要求される。自分の関心・興味に基づく調査を企画・設計し、作業仮説を検証出来るような調査票を作成し、実査を行い、パソコンを使って集計し、最終的に結果を報告書の形式でレポートにまとめ上げるという、社会調査の一連の手続きを体得することが目的である。履修学生の数にもよるが、基本的には5～6名を単位とする班を構成してもらい、班ごとの作業で進めてゆく。ただし、報告書は個人ごとに提出してもらう。なお、調査内容としては、「社会福祉調査実習」であるので、社会福祉に関するテーマ設定、福祉ニードの測定などといったものが望ましい。

[前期の内容]

班の決定、調査テーマの決定、作業仮説の設定、調査対象の選定、既存・先行調査のレビュー、調査票の作成、プリテスト

[後期の内容]

調査票の修正・印刷、調査実査、回収票の点検、コーディングガイドの作成、コーディング、データ入力、集計プログラムの作成、集計・分析、報告書の作成

履修上の留意点

本授業では、授業時間内だけでなくそれ以外の時間も使って情報センターのパソコンを使用することになるので、情報センターの利用説明会に参加したり、利用手続きを行う必要がある。

現時点で、パソコンの使用方法が分からなくても問題はない。授業の進展にしたがって必要に応じ教授するので、その点を心配する必要はない。

成績評価の方法

基本的には班による作業が中心となるため、出席率も重視するが、それ以上に作業参加・貢献度が重要となる。なお、最終的には提出される個人ごとの報告書の内容が評価の中心となる。

参考書等

古谷野亘著『多変量解析ガイドー調査データのまとめかたー』（川島書店）  
柳井晴夫・岩坪秀一著『複雑さに挑む科学ー多変量解析入門ー』（講談社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場 実習Ⅱ	いとう しゅういち 伊 藤 秀 一	福 祉 3 選	4

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参 考 書 等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会  
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場 実習Ⅱ	おぼた かず 小 畑 和	福 祉 3 選	4

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参 考 書 等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会  
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場 実習Ⅱ	なが お じょう じ 長 尾 譲 治	福 祉 3 選	4

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参 考 書 等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会  
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場 実習Ⅱ	きり はら ひろ ゆ き 桐 原 宏 行	福 祉 3 選	4

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参 考 書 等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会  
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	きたしま えいじ 北 島 英 治	福 社 3 選	2

#### 講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人を理解するとは、また、個人へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習Ⅰ」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレーを行う。

#### 成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

#### 教科書

「ソーシャルワーク演習（上）」（有斐閣）  
「新社会福祉援助技術演習」社会福祉教育方法・教材開発研究会編集、（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	かみざま まさこ 讃 岐 真 佐 子	福 社 3 選	2

#### 講義のねらい

社会福祉に携わる場面では、何よりもその目の前の人とどう関わるか、どのように対応していくかというその質が問われてくるだろう。この演習では他者に援助していくとはどういうことかを、主に「いかに人の話を聴くか」という観点から、幾つかの体験的学習を通して徹底的に学んでいきたく思う。また本演習は国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は「聴く事」をめぐる諸講義、そしてまず自分自身により気づくための幾つかのワーク・プログラムを経て、2人ずつのペアを組む各々がワーカーとクライアント役割を取るロールプレー（役割演技法）を実施していく。後期もさらにそれを深めていくと同時に、社会福祉に役立つ臨床心理的知見を折りにふれて伝えていきたい。

#### 履修上の留意点

出席を重視し、各ワークへの参加が不可欠となる。ロールプレーは録音し、逐語録を作成して自分の発表日に資料として配布する。発表日は前もってわかるので、各自の責任において実施する事。また本演習に引き続き同じクラスで同演習Ⅱを行うので、同時に取得することが望ましい。

#### 成績評価の方法

上記（履修上の留意点）に基づいて評価する。

#### 教科書

必要な資料は随時配布する。

#### 参考書等

・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）本体2,000円  
・鏑幹八郎『試行カウンセリング』（誠信書房）3,500円

#### その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	ながおじょうじ 長尾 譲治	福祉3選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、社会福祉の専門援助技術を、実技指導を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、老人や障害者を中心とする具体的事例をとりあげ、個別指導ならびに集団指導を通して習得することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術  
社会福祉従事者に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク  
ケース（事例）研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク  
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術との関連  
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技参加やディスカッションなど、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

参考書等

追って紹介する。

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	むらたかずあき 村田 一昭	福祉3選	2

講義のねらい

本演習では、ソーシャルワーク実践における基本的援助技術について、その基盤となる技術や援助技術の展開過程を、実技や実践事例（主に児童相談所での実践例）を用いた個別的ならびに集団的な学習を通して、理解を深めるとともに、習得することを目的としている。尚、本演習は、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ソーシャルワーク実践の基礎となる技術
- 2 ソーシャルワーク実践事例から学ぶ援助技術  
上記のテーマについて、講義や事例検討、ロールプレイなど選択的に行う。

履修上の留意点

実技やディスカッションが中心となるため、学生個々人の主体的、積極的な参加が求められる。

成績評価の方法

出席状況を重視するとともに、実技参加やディスカッションへの貢献度によって評価する。

参考書等

随時、紹介する。

その他

本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	きたしま えいじ 北 島 英 治	福 祉 3 選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に加え集団援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習Ⅱ」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレーを行う。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

「ソーシャルワーク演習（下）」（有斐閣）  
「新社会福祉援助技術演習」社会福祉教育方法・教材開発研究会編集、（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	さぬき まさこ 讃 岐 真 佐 子	福 祉 3 選	2

講義のねらい

本演習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰに引き続いて行われ、Ⅰと同様ソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することをその目的としている。また本演習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房） 本体2,000円  
・鎌幹八郎『試行カウンセリング』（誠信書房） 3,500円

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	なが おじょうじ 長 尾 譲 治	福 祉 3 選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

（社会福祉学）会

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	むらた かずあき 村 田 一 昭	福 祉 3 選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉援助技術演習Ⅰと同じく、ソーシャルワーク実践における基本的援助技術に関する理解とその習得を目的としている。また本演習Ⅱも、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつである。

講義の内容・  
授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照

そ の 他

本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神科リハビリテーション学	しろた はるお 城 田 晴 夫	福 祉 3・4 選	4

講義のねらい

この授業では、精神障害をもつ人々が職場や住み慣れた地域の中で障害のない人々と共に働き、暮らしていける力、市民社会を共に築いていける力を最大限に持てるように援助する精神科リハビリテーションを学ぶ。近年国家資格となった精神科ソーシャルワーカー（PSW）に関心のある学生を主に対象とする。学問としてはまだまだ新しく耳慣れないが、一部アメリカで行なわれているリハビリテーションの実状並びにその技法を紹介しつつ、より良いリハビリテーションを考えたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、精神科リハビリテーションの概念、精神科リハビリテーションの構成、精神科リハビリテーションのプロセスと技術、精神科リハビリテーションにおける連携と統合、精神科リハビリテーションの関連領域、の順に教科書に沿って進めていく。

履修上の留意点

履修する学生は、積極性、活動性のあると思うもの・人の世話をすることに関心のあるものが期待される。

成績評価の方法

成績評価については、出席、試験、レポートなどの総合評価とする。

教 科 書

『精神科リハビリテーション学（第3巻：精神保健福祉士養成セミナー）』（へるす出版）3,200円

参 考 書 等

『こころの科学、精神保健福祉士、88巻』（日本評論社）1,143円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉援助演習	ながさか かずのり 長 坂 和 則	福 祉 3・4 選	4

#### 講義のねらい

精神保健福祉士の専門的な援助技術・リハビリテーション技法について演習形態をとり、具体的事例により、実技指導を中心とする個別・集団援助指導を通じて援助関係の実際及びチーム医療の実践を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

精神障害者の理解をより深め、社会復帰に対する援助事例を上げ、テキストによる事例を検討し、報告しあいながらロールプレイ等を行い、精神科病院などの保健・医療施設や社会復帰施設等での援助技術を高めていく。

ガイダンス 精神保健援助演習とは…

- 1) ケースワーク援助（テキスト事例による）
- 2) グループワーク援助（テキスト事例による）
- 3) コミュニティワーク援助（テキスト事例による）
- 4) ソーシャルサポートネットワーク（実習事例による）
- 5) 自己点検・自己覚知を図る。

それぞれの場面における面接実技・記録実技・集団実技を通じて、精神保健福祉士としての技法と職業倫理について理解していく。

#### 履修上の留意点

精神保健福祉士が援助者としての自己覚知・他者への理解およびコミュニケーションなどの会得が基礎的な演習課題となる。

#### 成績評価の方法

実技・ロールプレイ等の取り組みと最終レポートにより評価とする。

#### 教 科 書

精神保健福祉養成セミナー 『精神保健援助演習』 第7巻  
編集 精神保健福祉養成セミナー編集委員会（へるす出版） 2, 800円

#### 参 考 書 等

『精神保健』 これからのライフサイクルと心の健康  
大島 侑・金田鈴江 編（川島書店） 2, 200円

#### そ の 他

授業は講義及びグループ討論を中心とし、時にビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉援助実習	さかのけんじ 坂野憲司	福祉3・4選	6

講義のねらい

実習は、精神保健福祉士養成の要となるものである。この教科の中には第一に現場を知ること（見学実習）、次に技術を習得すること（援助技術実習）、そして自分自身の疑問やテーマを検証すること（研究開発）が含まれている。一年間の間に、精神保健福祉に関する自分自身の研究テーマを持てる様になることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 精神障害者と精神医療への理解
  - a 精神疾患の特徴の把握
  - b 医療機関、社会復帰施設などの理解（病院、施設見学など）
  - c 精神保健福祉法の把握
- 2 PSWの業務への理解
  - a 精神障害者の利用できる制度的資源の把握
  - b 専門職としての自覚（倫理綱領の検討等）
- 3 援助関係の在り方についての洞察
  - a 個別援助技術
  - b 集団援助技術・リハビリテーション実技
  - c 記録法
  - d 地域援助技術
- 4 研究開発（自分自身の実習目標の明確化、レポート作成）

——配属実習——

- 5 スチューデントスーパービジョン（実習先のケースの検討）
- 6 実習報告（各自が実習体験をまとめて報告）
- 7 自分自身の研究目標の明確化（レポート作成）

成績評価の方法

レポート、実習報告の評価＋配属実習先の評価

教 科 書

特に指定無し

## Ⅱ 專 門 教 育 科 目

### 7 心 理 學 科



## II. 専門教育科目

### (7) 心理学科

心理学概論	〈間島英俊〉	605
心理統計学	〈山田剛史〉	605
コンピュータ実習	〈大塚秀治〉	606
コンピュータ実習	〈軽部幸浩・牧野晋〉	607
人格心理学	〈間島英俊〉	608
学習心理学	〈小野浩一〉	609
社会心理学	〈萩原滋〉	610
臨床心理学	〈茨木博子〉	610
生理心理学	〈谷口泰富〉	610
認知心理学	〈永田陽子〉	611
発達心理学	〈間島英俊〉	611
心理学基礎実験	〈茅原正・堀内正彦・間島英俊・山岸直基〉	612
心理学基礎実験	〈谷口泰富・佐藤理晴・堀内正彦・山岸直基〉	612
心理学研究法	〈小野浩一〉	613
禅心理学	〈茅原正〉	614
心理学実験演習Ⅰ	〈茨木博子〉	615
心理学実験演習Ⅱ	〈茅原正〉	615
心理学実験演習Ⅲ	〈佐々木雄二〉	616
心理学実験演習Ⅳ	〈佐藤理晴〉	616
心理学実験演習Ⅴ	〈小野浩一〉	617
心理学実験演習Ⅵ	〈軽部幸浩〉	617
心理学実験演習Ⅶ	〈間島英俊〉	618
心理学実験演習Ⅷ	〈勝俣暎史〉	618
演習	〈茨木博子〉	619
演習	〈小野浩一〉	619
演習	〈勝俣暎史〉	619
演習	〈佐々木雄二〉	620
演習	〈谷口泰富〉	620
演習	〈茅原正〉	620
演習	〈永田陽子〉	621
演習	〈間島英俊〉	621
環境心理学	〈高橋鷹志〉	622
児童心理学	〈横山剛〉	622
産業心理学	〈高橋誠〉	623
老年心理学	〈中里克治〉	623
宗教心理学	〈久保田圭作〉	624
健康心理学	〈稲松信雄〉	624
比較行動学	〈幸島和子〉	625
精神医学	〈黄ミンシユク〉	625
心理学特講Ⅰ	〈デワラジャ, R. D.〉	626
心理学特講Ⅱ	〈佐藤方哉〉	626



心理学特講	Ⅲ	〈鈴木順一〉	627
心理検査法	I	〈前期：西脇淳〉	628
		〈後期：佐藤尚代〉	
心理検査法	Ⅱ	〈稲富正治〉	629
カウンセリ		〈讃岐真佐子〉	629
情報処	I	〈中丸茂〉	630
情報処	Ⅱ	〈牧野晋〉	631
宗教人類学		〈佐藤憲昭〉	632
心理学特殊演習		〈茨木博子〉	632
心理学特殊演習		〈勝俣暎史〉	633
心理学特殊演習		〈佐々木雄二〉	633
心理学特殊演習		〈谷口泰富〉	634
心理学特殊演習		〈茅原正〉	634
心理学特殊演習		〈永田陽子〉	635
心理学特殊演習		〈間島英俊〉	635
マス・コミュニケーション論		〈川本勝〉	636
産業・職業社会学		〈山田信行〉	637
社会病理学		〈休講〉	
家族社会学		〈中谷茂一〉	638
宗教社会学		〈芳賀学〉	638
行政法		〈鶏徳啓登〉	639
障害者福祉論		〈桐原宏行〉	639
老人福祉論		〈東條光雅〉	640
児童福祉論		〈山本真実〉	641
労働法		〈藤本本茂〉	642
民法		〈竹中智香〉	643
経済原論		〈浅野克巳〉	644

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学概論	まじまひでとし 間 島 英 俊	心 理 1 必	4

#### 講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるだろう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われる。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・さくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

#### 履修上の留意点

本講義は1年次の必修専門科目であるために出席を重視します。

#### 成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも考査されます。

#### 教科書

中村昭之編「心理学概説」（八千代出版）1,800円

#### 参考書等

講義内にて紹介します。資料は都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理統計学	やまだつよし 山 田 剛 史	心 理 1 必	4

#### 講義のねらい

心理学研究において、特にデータ解析の場面では色々な統計手法が利用されている。この講義のねらいはそうした統計手法を「正しく」使えるようになることであり、分析結果を「きちんと」解釈できるようになることである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、記述統計学（代表値・散布度の指標、標準化、相関など）から推測統計学（母集団と標本・区間推定・統計的仮説検定）までを概観する。後期は、具体的な統計手法（t検定・分散分析・カイ二乗検定など）について詳しく説明する。

#### 履修上の留意点

講義は基本的な内容からスタートするが、油断するとすぐに分からなくなる。毎回の講義内容を確実に消化しながら、履修するように心がけて欲しい。また、宿題は自力でやらなければ意味がない。他人の解答を丸写しして急場をしのいでいるようでは、単位取得はおぼつかないということを注意しておく。

#### 成績評価の方法

基本的には試験により評価する。定期的に課す宿題の提出状況や出席状況も加味する。

#### 教科書

プリント配布。教科書は指定しないが、プリントの内容を補足する意味でも参考書の購入を強く勧める。

#### 参考書等

吉田寿夫著 『本当にわかりやすいすぐく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』（北大路書房）  
山内光哉著 『心理・教育のための統計法＜第2版＞』（サイエンス社）

#### その他

授業は講義形式で行う。また、定期的に宿題を課す予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ実習	おおつか ひではる 大 塚 秀 治	心 理 1 必	2

#### 講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したのも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならビデオ教材も使用したい。キーボードのブラインドタッチの習得のために指定したソフトを購入する必要がある。1つのテーマに1から5時間をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・ブラインドタッチの完全習得（Type Quickを利用して）
- ・MS - Windowsの習得
- ・日本語ワードプロセッサの習得（MS - Word）
- ・スプレッドシートの習得（MS - Excelによる集計、グラフ、データベース）
- ・プレゼンテーションの実際（MS - PowerPointを利用したプレゼンテーションの基礎）
- ・電子的コミュニケーション（電子メールの利用法）
- ・Internet利用の実際と注意（マナーやモラルについて）
- ・情報処理の基礎

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

#### 教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。また、Type Quickについては学内紀伊国屋書店で安価（約2,500円）に購入できるように手配する。その他に年間約5枚程度の3.5インチ高密度のフロッピーディスクが必要となる。

#### 参考書等

授業中に最新のものを指示する。

#### その他

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用する。また、心理学実験室のパソコンについても実験等に使われていなければ利用可能である。独自に購入するのであれば、MS - Windows対応のパソコンでMS - WindowsとMS - Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ実習	軽部 幸浩・牧野 晋	心 理 1 必	2

#### 講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業をおこなう上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験した者も多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用方法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータを初めて本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者も独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。ビデオの映写が可能ならばビデオ教材も使用したい。キーボードのブラインドタッチの習得のために指定したソフトを購入する必要がある。1つのテーマに1～5時間あて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・ブラインドタッチの完全習得 (Type Quickを利用して)
- ・MS-Windowsの習得
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS-WORD)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excelによる集計、グラフ、データベース)
- ・プレゼンテーションの実践 (MS-PowerPointを利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・Internet利用の実践と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報処理の基礎

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は必修科目であるため単位の認定を受けられない者は翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

#### 教 科 書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。その他年間約5枚程度の3.5インチ高密度フロッピーディスクが必要となる。

#### 参 考 書 等

授業中に最新のものを指示する。

#### そ の 他

年間22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回(1回2時間程度)の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用する。また、心理学実験室のパソコンについても実験等に使用してなければ利用可能である。独自に購入するのであれば、MS-Windows対応のパソコンでMS-WindowsとMS-Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人格心理学	まじま ひでとし 間 島 英 俊	心理1・2選必	4

講義のねらい

パーソナリティ研究には4つの課題がある。1つは、ある人がどのような人かを表現する方法であり、2つ目は、人間の行動における個人差を予測することである。3つ目は、発達過程においてある特徴的行動や態度がいかんして学習されるかを理解し予測すること、そして最後が、人間の行動をいかに変容させるかを明らかにすることである。本講では、これらの課題を解明するために行われてきた歴史的研究について述べ、パーソナリティ研究の将来的展望について解説することをねらいとしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講では、まず、パーソナリティの本質について述べ、次に代表的なパーソナリティ理論、パーソナリティの形成発達やその変容等について解説する。

また、パーソナリティの測定と診断についても一部実施し解説する。

履修上の留意点

遅刻したり欠席したりすると、講義内容の面からして、全体的把握ができなくなるので注意すること。

成績評価の方法

当該時間内でおこなうパーソナリティにともなう検査への参加、小テスト及び定期試験の結果で評価する。

教 科 書

加藤義明・中里至正編『入門人格心理学』（八千代出版）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習心理学	おのこ 野 浩 一	心理1・2選必	4

### 講義のねらい

心理学で学習というとき、それはものを覚えたり技術を習得するという狭い意味ではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数カ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は違っている。たとえば、「前は嫌いだった中島みゆきの曲をよく聞くようになった」、「朝寝坊の自分が早起きになった」、「最近学校を休みがちである」、「よく話をするようになった」などいろいろな変化に気づくだろう。学習心理学は、このような行動変化の原因を解明し、科学的な言葉で説明しようとするものである。

本講義は、「行動変化」をもたらす2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけのうち、特に言語行動を含む人間の行動変化の多くの部分を説明するオペラント条件づけ研究とその展開の解説に重点をおき、興味深い最新の研究を紹介してゆく予定である。この講義を通して、受講生には、科学的に行動の原因を探求することの重要性、必要性を理解してもらいたいと願っている。随時OHPやビデオを使ってできるだけ平易に説明するつもりである。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 行動の原因とその説明—人はなぜそのように行動するのか
  - ① 行動とは何か
  - ② 行動の原因とその説明
- 行動の種類とその原因
  - ① 単細胞生物の行動から人間のことばまで—おもしろい動物の行動
  - ② 行動変化の2つの手続き—レスポナント条件づけとオペラント条件づけ
- レスポナント条件づけ
  - ① パブロフの条件反射
  - ② レスポナント条件づけの諸現象—ボブ・ディランを聞くと魅えるあの甘くせつない想い
  - ③ レスポナント条件づけの発展と応用
- オペラント条件づけ
  - ① 行動の結果の重要性—廊下を走るな！「忠告」「貼紙」はなぜ効かない？
  - ② オペラント条件づけの基本—三項強化随伴性
  - ③ オペラント研究の基本—動物実験のやり方
  - ④ 新たな行動の形成—シェイピング
  - ⑤ 行動を変化（増加、減少、維持、消失）させる手続き—強化スケジュール
  - ⑥ 罰による行動の変化—そして何もしなくなった
  - ⑦ 行動は時と場合によって変化する—刺激統制（般化と弁別、行動対比と頂点移動）
  - ⑧ 動物と人間の行動の違いオペラント行動に関する最近の研究動向
- 迷信行動  
迷信はオペラント条件づけによって生じる
- 選択行動
  - ① すぐの1つより後の3つの方がいい？—セルフ・コントロール
  - ② 人もハトも「強制」より「自由」を好む
- 不確実場面における行動  
確率学習—なんでそうするの？（非合理的な人間の行動）
- 言語と認知
  - ① 言語の基本—ことばの獲得と刺激等価性
  - ② 言語の働き—Skinnerの言語行動論
  - ③ ことばによる行動の制御—ルール支配行動と言行一致訓練
- 社会的行動 競争や協力関係は環境によって作られる
- 応用行動分析 オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす

### 成績評価の方法

出席と定期試験による総合評価

### 教科書

使用せず

### 参考書等

レイノルズ著、浅野俊夫訳『オペラント行動入門』（サイエンス社）  
 佐藤方哉著『行動理論への招待』（大修館書店）  
 小川隆監修『行動心理ハンドブック』（培風館）  
 今田 寛著『学習の心理学』（培風館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会心理学	はぎわら しのぶ 萩原 滋	心理1・2選必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

前期においては、自分たちの社会的環境をいかにして把握するかという問題、すなわち「社会的認知」と呼ばれる研究領域を中心に、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会心理学の代表的な理論枠組について概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を詳しく紹介する。

後期においては、対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション」過程を取り上げるが、前者に関しては「説得的コミュニケーションと態度変容」、後者に関しては「テレビの社会的機能、对人的影響」に焦点を当てて、新旧取り混ぜて社会心理学的研究の成果を紹介する。

成績評価の方法

この授業では、前期と後期に、それぞれ試験を行い、その総合点によって成績評価を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
臨床心理学	ささき ゆうじ 佐々木 雄二	心理1・2選必	4

講義のねらい

臨床心理学に関する基礎知識を身に付ける。

講義の内容・  
授業スケジュール

「臨床心理学」は、「心理臨床」を実践する際の基盤となる心理学である。本講では、臨床心理学の概念について述べた後、臨床心理学の歴史、臨床心理士の資格に必要な条件、クライアントの心理、クライアントを理解し援助するための基礎となる面接法、心理診断法、心理療法などについて述べる。また具体的な事例を通して心理臨床活動の一端に触れる。

成績評価の方法

試験と出席

教科書

使用しない。

参考書等

必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生理心理学	たにくち やすとみ 谷口 泰富	心理1・2選必	4

講義のねらい

生理心理学は、自然科学的手法により心と体の関係を明らかにしていく学問である。本講は、主に、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

心的活動の基礎としての脳の機能と、身体の関係について解説し、さらに、意識や学習、感情、知覚・感覚の概念等について述べる。

また、初歩的な生理心理学的測定について解説し簡単な実験も行う。

履修上の留意点

中学校で学習する程度の理科的教養が欲しい。

成績評価の方法

レポート及び定期試験による総合的評価。

教科書

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
認知心理学	なが た よ う こ 永 田 陽 子	心理1・2選必	4

#### 講義のねらい

心理学においては心理学的事象をどのような立場で捉えるかという研究上の視点の問題がある。この立場にはいろいろあるが、そのうち主要なふたつの立場、すなわち、行動の側面に焦点をあてて考察しようとする立場と認知という側面に焦点をあてて考察しようとする立場が基礎心理学においては極めて重要な視点であるといえる。通常、前者を行動論といい、後者を認知論という。認知論的視点に立脚して心理学的事象を捉えようとする心理学は認知心理学ともよばれている。本講義は認知心理学に対する基本的知識を習得させる目的で用意されている講義である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

認知心理学は近年急速に発展してきている分野である。本講義では認知心理学の歴史的概観をおさえた上で、種々の最新トピックスを取り上げ、これらに対する認知心理学の基本的考え方について言及していく予定である。

#### 履修上の留意点

本講義は心理学コースの学生の必修単位であるが、受講学生を1年日から4年日までの学生にいわばひろく開かれたかたちで開講されているので、どの学年においても履修可能である。

#### 成績評価の方法

筆記試験のほか、出席状況などを考慮し、総合的に評価される。

#### 教科書

特定の教科書を使用することはないが、適宜、参考書等は紹介される。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達心理学	ま じ ま ひ で と し 間 島 英 俊	心理1・2選必	4

#### 講義のねらい

本講義はエリクソン、E. Hの発達理論を中心に展開する。エリクソンの中心的概念である自己同一性 (Self-identity) 理論は、この講義を履修する諸君が青年後期にての自己確立を発達課題となす。彼は人間の一生を誕生から死に至るライフサイクル理論ならびにそれに対応する心理・社会的危機論で説明している。それらライフサイクルを概観することにより、諸君は「自己」についての過去-現在-未来へのタイムトラベリングが可能になるのである。講義では各ライフサイクル上にて起こるライフイベントのトピックスを紹介しながら展開する予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 発達理論 (認知発達理論、社会的学習理論、精神分析理論)
2. 胎児期
3. 乳児期 (信頼 V S 不信)
4. 歩行期 (自律 V S 恥・疑惑)
5. 学童前期 (積極性 V S 罪悪感)
6. 学童中期 (勤勉性 V S 劣等感)
7. 青年前期 (集団同一性 V S 疎外)
8. 青年後期 (個人的同一性 V S 役割拡散)
9. 成人前期 (親密性 V S 孤立)
10. 成人中期 (生殖性 V S 停滞)
11. 成人後期 (統合 V S 絶望)
12. エピローグ (今日の問題に対する心理学的知識の応用として)

以上のスケジュールにそって講義を進めていく。

#### 履修上の留意点

本講義を履修される学生は、人格、臨床、認知心理学も履修されることを望みます。

#### 成績評価の方法

成績は出席ならびに年度末定期試験にて基本的に評価しますが、年に1~2回課せられるレポートも補助的評価として参考にします。

#### 教科書

教科書は指定しません。

#### 参考書等

参考書は資料としてプリントされたもののなかで紹介します。なお配布されるプリントについては後日再配布はされませんので、各自で補うこと。



科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学基礎実験	茅原 正・堀内 正彦 間島 英俊・山岸 直基	心理 2 必	2

#### 講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から6つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 系列記憶 重量弁別  
鏡映描写 好悪判断

#### 履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

#### 成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、6単元分の実験レポート、前後期2回の試験、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。

#### 教科書

心理学研究室編の『実験手引』を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学基礎実験	谷口 泰雷・佐藤 理晴 堀内 正彦・山岸 直基	心理 2 必	2

#### 講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から6つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 系列記憶 重量弁別  
鏡映描写 好悪判断

#### 履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

#### 成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、6単元分の実験レポート、前後期2回の試験、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。

#### 教科書

心理学研究室編の『実験手引』を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学研究法	おのこういち 小野浩一	心理 2 必	4

#### 講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、論理的な思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証的データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進される1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題（目的）の設定－特定の研究デザインによるデータの収集－データの分析－結論づけ－結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習Ⅰ～Ⅶ、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語（日本語と英語）を学習するプログラムを取り入れている。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

##### 1. 心理学研究法総論

- ① イントロダクション：心理学におけるさまざまなアプローチ
- ② 心理学の対象と方法：歴史の変遷
- ③ 科学的研究のプロセス：失敗例を検討する
- ④ データ収集と処理の基本：代表値と散布度を例として

##### 2. 文献検索法

- ① 文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法－学会発表と論文  
学術論文と紀要・ジャーナル（国内および海外）のいろいろ
- ② 文献をどのように手に入れるか：Psychological Abstractの利用法  
データベースの利用・図書館の利用方法
- ③ 引用文献のはたらき：引用法
- ④ 文献からみた研究の進展課程：Kuhn（1970）の理論の応用

##### 3. 観察法

- ① 観察法の種類
- ② 直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義  
反応次元の選択（頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ）
- ③ 直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイム  
サンプリング
- ④ 信頼性と妥当性

##### 4. 実験法

- ① 実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
- ② 実験の種類：要因決定実験と関数決定実験
- ③ 行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数  
実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制法
- ④ 実験デザイン
  - 1) 多標本実験デザイン：単一グループ実験デザイン・独立2群実験デザイン・関連2群実  
験デザイン・多重処理デザイン
  - 2) 単一被験体法：ABAデザイン・多重ベースラインデザイン

##### 5. テスト理論

- ① 項目反応理論と内的整合性
- ② 心理テスト作製の方法

##### 6. 質問紙調査

出席と定期試験とレポート（授業期間中に1回提出）による総合評価

#### 成績評価の方法

#### 教科書

使用しない。適宜、プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅心理学	ち は ら ただし 茅 原 正	心 理 3 必	4

#### 講義のねらい

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。

本学における「禅の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学科の3年次必修専門科目としての「禅心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禅の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理論理、唯識の心理学などについても考察する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

- ・東洋の心理学の特質
- ・禅と心理学
- ・東洋的行法の研究－日本－
- ・東洋的行法の研究－外国－
- ・禅瞑想の心理・生理学的研究
- ・調身・調息・調心
- ・「普勧坐禅儀」考
- ・禅とコトバ
- ・禅の心理論理
- ・「空」の立場
- ・「有時」－存在と時間－
- ・華嚴の世界観
- ・唯識の心理学

#### 履修上の留意点

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。

#### 教 科 書

特に指定しない。

#### 参 考 書 等

秋重義治『禅の心理学』（法政大学出版局）  
 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）  
 児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）  
 その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

#### そ の 他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禅の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅰ	<small>いばらぎ ひろこ</small> 茨木 博子	心理3選必	2

講義のねらい

臨床心理学においては、人格理解、心理療法と共に、「心理学的アセスメント」は重要な部分を占めている。とりわけ、病院臨床では心理テストの依頼が多く、将来、心理臨床の仕事を目指す者は、必要不可欠な課題である。従って本講では、心理学的アセスメントの習得を目的とした演習を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

心理学的アセスメントを習得するということは、諸心理テストの理論の理解にはじまり、施行法、結果の整理、解釈、報告までを含んでいる。従って本演習では、受講者が検査者、被検査者になり、実際に心理テストを実施することによって、より具体的、体験的にアセスメントを学習できるように進める。取り上げる心理テストとしては、質問紙から投影法（描画テスト、ロールシヤハ・テスト）まで、よく使われているテストをあつかう。

履修上の留意点

実際にテストを取ることによって、いろいろ重要な点に気づくので、出席を重視する。なお、心理学的アセスメントは、被検者の人格理解のために行なうものであって、単に自分を知りたいというような興味本位での受講はしないほしい。

成績評価の方法

実習態度、実施した心理テストのレポートで評価する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅱ	<small>ちはら ただし</small> 茅原 正	心理3選必	2

講義のねらい

応用心理学の諸研究を通して、文献、実験計画、方法、結果、論文のまとめ方、などを学ぶ。照明、騒音、温熱など、実際の生活場面における社会的・物理的條件が、人間の行動に如何なる影響を及ぼすか、基本的な実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の実習テーマとして、精神テンポや時間評価など、時間体験に関する実験、情動に関わる呼吸機能の生理学的測定、精神集中やリラクゼーションなど、身心のコントロールに関する実験等を予定しているが、受講者と相談の上、別のテーマを設定して実験を計画することも考えている。

履修上の留意点

実験演習という科目の性質から出席を重視する。実習テーマの課題レポート提出は必須である。

成績評価の方法

年度末の筆記試験、課題レポート、出席状況等、総合的に行う。

教科書

特に使用しないが、必要に応じて文献等の紹介をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学実験演習Ⅲ	さ さ き ゆ う じ 佐 々 木 雄 二	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

臨床心理学領域（臨床心理学、カウンセリング心理学、健康心理学など）における心理学的研究を進めていく上で必要な具体的な方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は、比較的最近の心理学系専門誌（とくに臨床心理学、カウンセリング心理学、健康心理学領域）から自分が関心のある論文を選ぶ。その内容を発表する過程を通して、臨床心理学領域の現在の課題を知り、研究計画、研究結果のまとめ方、論文の書き方などを学びながら、実際に自分の研究を進めることになる。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席、発表内容、質疑応答の内容を勘案して評価する。

そ の 他

経過報告に基づいて指導する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学実験演習Ⅳ	さ と う ま さ は る 佐 藤 理 晴	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

知覚研究においては、刺激の提示から、被験者の反応の記録、データの分析にいたるまでコンピュータが広く用いられている。本講では知覚研究に必要な技術の習得を目的とし、刺激のプログラミング、結果の分析、研究発表の資料作成など実習形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期はプログラミング言語（C++）、および実験に必要なハードウェア関連の知識について説明する。後期はいくつかの例題から研究テーマを選択し、実験計画から結果の分析、発表資料の作成までを実習形式で進め、年度末に期末試験として研究発表を行う。

履修上の留意点

コンピュータに関する予備知識は特に要求しないが、プログラミング、実験などの実習が中心となるため、課題として時間外に行う作業は多くなる。また本講は研究方法のみにテーマを絞っているため、他の感覚、知覚、認知心理学関連科目を併せて履修することを強く推奨する。

成績評価の方法

課題の提出状況、年度末の研究発表により評価する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅴ	おののこういち 小野浩一	心理3選必	2

講義のねらい

心理学研究のプロセスを統一的に習得することを目的として、文献検索法、論文の読み方、実験デザインの組み方、実験の実施方法、結果のまとめ方、論文の書き方、口頭発表の仕方などを含めた総合的な実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

実習テーマとしては「感覚による音楽や飲料の識別」、「不確実場面（ギャンブルのように予測が困難な場合）における人間の心理」、「フィールドにおける行動観察」、「性格テストの作り方」などを予定している。その他、本年度は試験的な試みとして、ゲーム形式を取り入れたグループワークを随時実施し、心理学を体験的に楽しく学ぶ方法について受講生と一緒に考えてみたい（現在考案中の例、懇親会での名刺交換をゲームにした「よろしくゲーム」、モバイル時代のコミュニケーションスキル向上ゲーム「ディレクション」、劇場型オペラント行動形成ゲーム「ザ・シエビングショウ」、集団意志決定ゲーム「戦争と平和」など）。

成績評価の方法

出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

教科書

その都度配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅵ	かるべゆきひろ 軽部幸浩	心理3選必	2

講義のねらい

本講は、生理心理学的測定技法、機器の操作方法及び資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講者の数によっては内容を一部変更することがあり得る。従って、受講者が決定した後に計画表を配布する。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験を行うこと。受講者をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験を行う。従って、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。  
なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、予め生理心理学を受講しておくこと。

成績評価の方法

各実験終了後に提出されたレポートにより評価する。

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学実験演習Ⅶ	ま じ ま ひ で と し 間 島 英 俊	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

本演習は発達心理学領域における心理学的研究のプロセスを総合的に学ぶことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は研究上必要な文献検索、実験・調査計画、またそれに必要な実験器材の操作ならびに心理検査の習熟、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、そしてプレゼンテーションの方法について実習します。

実習テーマは発達に関することを予定していますが、別に受講者の希望があれば話し合いにて別のテーマの設定も考えています。

履修上の留意点

初回の演習ガイダンスには出席して、この実験演習の説明をきいて履修を決定してください。

成績評価の方法

出席はもとより、真摯な研究態度、並びに年2回の研究発表（個人、グループ可）に対して評価がなされます。

参考書等

教材についてはその都度コピー等にて配布しますし、参考図書については演習内にて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学実験演習Ⅷ	か つ ま た て る ち か 勝 俣 暎 史	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

臨床心理学の主な課題は、種々の心理臨床の領域で適用できる「心理査定法」と「心理療法」を習得することにある。しかし、多様な理論的背景をもつ「心理査定法」や「心理療法」を理解することは至難の技である。本講では、コンピタンス心理学の視点から、わが国において紹介されている主要な「心理査定法」や「心理療法」を取り上げ、それらに共通する原理があることを体得することをめざした実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、コンピタンス心理学の視点からみた「心理査定法」と「心理療法」について論究する。後期においては、受講者の興味に応じた「心理査定法」（ロールシャッハ・テスト、コンピタンス尺度、ストレス尺度、インテイク面接など）と心理療法（記憶療法＝記憶術の諸技法を媒介にした心理療法など）について実習を行う。

履修上の留意点

実習を主として行うので、出席及びレポートの提出に心がけてください。

成績評価の方法

出席、レポートの提出、課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

教科書

その都度、資料を配布する。

参考書等

その都度、資料に記載して紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習	いばらぎ ひろこ 茨木 博子	心 理 4 必	4

講義のねらい

本演習は、各受講生の研究テーマに沿った個別指導および演習形式を通して、論文を完成させることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は、①受講者自らの研究テーマに対する構想（特に研究計画、方法）を練る、②論文の構想に沿ったデータの収集、結果の整理と分析、考察、参考文献の収集を行なう、の手続きで論文を完成させるが、その際、論文の書き方のコツも含めた個別指導、演習形式による指導、助言を随時行なう。

履修上の留意点

自分の研究テーマに協力してくださる機関や人々に対して、感謝の気持ちを忘れないことが、論文作成に不可欠であり、そのことが限られた時間内で論文を仕上げる一つのコツである。

成績評価の方法

卒業論文作成に取り組む姿勢（出席も含む）によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習	おの こういち 小野 浩一	心 理 4 必	4

講義のねらい

受講者各自の卒論テーマに則した指導を行うと共に、行動分析学について学ぶ。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。本演習では、基本的文献を題材に関連する諸問題について議論する。  
演習形式による行動分析学の学習と卒業論文の指導を併行して行う。

講義の内容・授業スケジュール

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席と平常点によって評価する。

教科書

本年は、次の文献をテキストに使う予定である。  
Skinner, B.F. 1987. 『Whatever happened to psychology as the science of behavior ?』 (American Psychologist,) 42, 780 - 786.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習	かつまた てるちか 勝 俣 映 史	心 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成に必要な具体的な研究実施計画を立て、各自の生活時間を考慮に入れながら、実施可能なタイム・テーブルを作成し、できるだけ早期の実施に努める。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の研究テーマに即して計画的に指導を行う。  
①研究テーマの確認、②文献研究状況の確認、③研究方法の確認、④得られた資料の分析の観点・方法の確認、⑤考察の視点の確認などのそれぞれのステップの確認をしながら、卒業論文の完成をめざす。それぞれのステップ毎に中間報告の機会を設ける。

履修上の留意点

正規の演習時間外にも、必要に応じて、面接及びe-mailでの相談に応じるので積極的に取り組まれない。

成績評価の方法

各ステップでの中間報告（レポート）、出席状況、取り組みの姿勢などにより評価する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習	佐々木 雄二	心理 4 必	4

講義のねらい

受講生各自のテーマに合せた卒業論文作成に必要な指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

研究論文の「構想発表」、「中間発表」の時間を設ける。

成績評価の方法

出席と発表内容によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習	谷口 泰富	心理 4 必	4

講義のねらい

本講は、主として卒業論文作成に関する詳細な実験計画やデータの分析方法等について解説し、各自が自分の研究を心理学の各領域の中に位置づけられるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的に指導を行う。従って、当該時間内だけでの指導では不十分であるので学生と相談の上、別の時間割を作成しそこで個別に指導を行う。

履修上の留意点

研究テーマにより個別指導が中心となる。従って、週2回以上の指導をうけることが義務となる。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得るので留意されたい。また、遅刻や欠席は厳に慎まれたい。なお、ゼミ決定後、『卒業論文作成カルテ』を配布する。このカルテに従って進行すれば論文が完成する仕組みになっている。

成績評価の方法

課題報告（毎週）の内容、レポート、卒業論文の質的側面から評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習	茅原 正	心理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。  
後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。

履修上の留意点

前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。  
後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習	ながた ようこ 永 田 陽 子	心 理 4 必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成指導を主としている。従って、各受講者の論文の完成を最終目標として、そのための文献研究、実験の計画とその実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、さらに口頭発表の仕方を指導することが本演習の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者各自の論文テーマに則した実質的・具体的な指導を個別かつ演習形式で遂行していく。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、論文の完成を高めていくこととなる。

履修上の留意点

各受講者の卒業論文に関わる面接は随時行われる。

成績評価の方法

演習における年間を通じた研究姿勢によって評価される。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習	まじま ひでとし 間 島 英 俊	心 理 4 必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題（卒論テーマの決定）、問題（文献研究）、目的・方法（研究計画とその実施）、結果・考察（研究結果の分析、議論）のスケジュールにそって、指導がなされます。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的には受講者各自の研究テーマにそって、上述のスケジュールに則った具体的指導が個別になされます。演習という性格から、受講者は、1. 卒論テーマの設定 2. 文献研究法 3. 研究計画および実施 4. 研究結果の考察、議論についてゼミでの発表、意見、討論をとおしてお互いの研究向上を目指すこととなります。

履修上の留意点

演習時間内では、上述の1～4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も指導します。

成績評価の方法

出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなれます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環境心理学	た か は し た か し 高 橋 鷹 志	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は環境心理学の入門を講述する。環境心理学は、心理学・社会学・人類学・建築学などの学際的な研究分野として1960年代後半に登場した。当初「日常の物的環境に関する行動の心理学的研究」と定義されていたように、従来の心理学における実験室で提示される統制された物的環境ではなく、人間の日常生活の場所に関わる環境の全体的性質（物理的だけでなく社会的・文化的環境を含んだ）に着目し、「生活の質の向上」に資することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

「環境心理学の誕生」、「環境心理学理論の諸相」、「環境心理学の応用」

履修上の留意点

住まいや町に興味をもつ人たちの聴講を望む。

成績評価の方法

レポートによる。

教科書

特になし。

参考書等

E. ホール、日高敏隆他訳『かくれた次元』（みすず書房）1970  
O. ボルノウ、大塚恵一他訳『人間と空間』（せりか書房）1988  
Y. トウアン、阿部一訳『個人空間の誕生』（せりか書房）1993

その他

授業の方法は聴講人数によって決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児童心理学	よ こ や ま つよし 横 山 剛	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

（詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する）。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履修しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』（北樹出版）

その他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業心理学	たか はし 高 橋 誠	心理2・3・4選	4

講義のねらい

コンピュータによる高度情報処理・通信技術が産業場面や日常生活場面にどのような影響を与えてきたか、産業・組織心理学、人間工学、労働衛生学といった研究分野から検討していく。技術と熟練技能、技術と生活との関連を中心に、研究方法について身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、コンピュータの発展史、コンピュータ技術の職場への導入とその影響、VDT作業の出現と視覚疲労・筋疲労、疲労の研究法等について学ぶ。後半では、疲労の原因の分析、ストレスや仕事満足感に影響する要因とその分析法等について学ぶ。

履修上の留意点

マスコミをとおして、産業場面での労働に関わる動向に着目し、技術改革と労働について日頃から考えていく姿勢を望む。

成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

教科書

使用せず、授業中に配布するプリントを利用する。

参考書等

授業中に提示する。

その他

講義形式だけでなく、提供した資料に基づいて自ら考え、発表するといった形式も採用する。データの捉え方、課題の発見と分析法等、研究の方法論も重視し、日常場面での現象を心理学等の分野から研究するため能力を身につけることを望んでいる。「やりがい」のある職業を選択するための目の一つでも養うための参考になれば幸いと感じる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老年心理学	な か ざ と か つ は る 中 里 克 治	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢（病気）を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教科書

下仲順子（編）『老年心理学』（培風館）1997 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教心理学	くぼ た けい さく 久保田 圭 作	心理2・3・4選	4

講義のねらい

宗教心理学は人々の心の中にある宗教を捉え、宗教的人格を明らかにしようとする学問である。本講義では多様な宗教現象のうち、宗教の心理的側面や次元を探求する。

講義の内容・授業スケジュール

宗教心理学のさまざまな領域の中から、本講義で取り上げるテーマは次のとおり。

- ①心理学と宗教：心理学的宗教心理学と宗教学的宗教心理学、宗教心理学史
- ②気質・性格の類型と宗教
- ③宗教意識：神観念、罪意識など
- ④宗教経験：回心、ヌミノーズ、神秘体験、至高体験など
- ⑤成熟した宗教情操と未成熟な宗教情操
- ⑥聖なるものの心理：聖者と聖者性
- ⑦宗教の内面化の次元
- ⑧自己実現と宗教：A.H. マズロー、C.G. ユング、E. フロムの所説から
- ⑨修行の心理：ヨーガ、十牛図、霊操など
- ⑩病と宗教：信仰治療、癒し、心理療法との関係
- ⑪母性原理・父性原理と宗教

成績評価の方法

年2回の定期試験とレポートによる。

参考書等

松本慈『宗教心理学』（東大出版）1979  
 島齒進・西平直『宗教心理の探求』（東大出版）2001  
 G.S. スピックス（久保田圭伍訳）『人間心理と宗教』（大明堂）1970

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康心理学	いな まつ の ぶ お 稲 松 信 雄	心理2・3・4選	4

講義のねらい

従来の生理学的ストレス理論を出発として生理心理学の基礎、神経系の概略を学び、W. B. Cannon & H. Selyeの学説を理解し、内分泌、免疫系に多少言及する。Psychological Stressを中心にStressor Agentsの認知、評価の問題を扱い、それと最近のトピックである精神神経免疫学（Psychoneuroimmunology）を関係づけて、最後にpsychoの部分の感情、に焦点をあて、無力性の情動（Asthenic Emotion）の統御の必要性を学習し、感情と密接な動機や人格、発達についても健康の面から言及する。後期は認知の変容、積極的思考・感情の養成や、長寿高齢者の良き適応例を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下のような項目となる

- ①序：健康心理学について精神活動と心の重要性
- ②精神活動と身体反応との関係
- ③心理学的ストレスと生理学的ストレス
- ④ストレスと情緒反応
- ⑤情緒の生理学的機構
- ⑥情緒の分類と感情の統御
- ⑦情緒と精神神経免疫学
- ⑧情緒と欲求との関係
- ⑨感情&ストレスと健康の総括
- ⑩積極思考の涵養
- ⑪長寿高齢者の良適応

履修上の留意点

外国語を英語で受験した人が望ましい、英文の補助プリントを使用する時がある。

成績評価の方法

最終講義時間に筆記試験を行う。多肢選択形式と記述式を併用する。出席を加味する。（但：履修者が20名前後の場合 前・後期それぞれレポート提出で評価する）

教科書

教科書として健康心理学：資料集（東邦大学医学部心理学研究室編）を使用する（授業開始時に配布：実費徴収）、その他随時補助プリントを用いる。

参考書等

Rober J. Gatchel et al. 『An Introduction to HEALTH PSYCHOLOGY Second Edition』（McGraw-, Inc.）

その他

講義を中心とするが、ビデオやOHPを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較行動学	こうしま かずこ 幸 島 和 子	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カルガモの一家はなぜ行列を作って歩くだろう。ウグイスはなぜ春にさえずるのだろう。どうして雄と雌がいるのだろう。ゴクラクチョウの雄はなぜ美しいのだろう。私達はなぜ日本語が話せるのだろう。赤ちゃんはなぜかわいいのだろう。  
比較行動・エソロジーはこのような問いに生物学の立場から答えようとする学問である。もちろん、人間もその研究対象である。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、主に行動研究の歴史に加えて、行動のしくみやはたらき、発達等に関する行動学の基礎的概念の理解を目的とした講義を行う。人の行動についても言及する予定である。  
後期には、動物の環境認識やコミュニケーションに加え、行動が動物の生存にどう役立っているかという視点に立って、採餌行動や配偶行動や利他的な行動の進化などについて講義する。  
行動という生物の一つの形質に焦点をあてた講義であるがこれとおして、生物の進化そして、動物の多様性、ヒトの特徴などに対する生物学的な見方を身につけてもらいたい。  
講義内容がより具体的にイメージできるよう、できるだけ多くの映像資料（ビデオ、スライド、OHP）を用い、動物達の野外での生き方を提示しながら講義を進める予定である。また、講義に加えてマン・ウォッチング（人間の行動観察）実習を行う予定である。

成績評価の方法

講義の進行にあわせて与えるテーマについての簡単なレポートと期末試験の得点に基づいて評価する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神医学	こう 黄 黄 ミンシュク	心理2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学全般について概説した上で、各障害について個別に説明、講義する。  
精神医学は、遺伝的要因を強くもつ内因性精神疾患から、正常の反応の深さと長さの異常である精神症圏内の疾患まで広範囲に及んでいる。さらに、人権上の問題や社会的見地まで広範囲に及び学問内容をもつ科目である。思春期までの精神的発達についての詳述し、教員課程にある学生から、社会福祉課程の学生に及ぶまで広く興味をもてるものと思われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期では総論を述べ、後期には各論として障害別に述べる予定である。

成績評価の方法

成績評価は、質問紙によるテストの結果である。期日内の成績変更は行う予定である。

参 考 書 等

参考書等については別途述べる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特講Ⅰ	デワラジャ, R. D.	心理2・3・4選	4

講義のねらい

この講座では、主に「行動療法」がよくつかわれる臨床心理学および医学心理学的な問題を概観し、その心理的問題が、「行動療法」を用いてどのように治療されているのか、その実際を事例研究（ケーススタディ）を通して学習し、クラスディスカッションによって理解を深めていく。そしてこの講座の終わりには、心理的問題を行動心理学的な立場から理解することを目指している。また適宜、心理学用語を英語で教示していくので、専門用語の習得にも役立ててほしい。

講義の内容・授業スケジュール

<http://www1.accsnet.ne.jp/~ratnin/>を参照のこと。

履修上の留意点

各学生が、積極的にディスカッションに参加することを望む。

成績評価の方法

出席と平常のディスカッションでの参加態度・内容で評価する。さらに個人またはグループ単位で、「行動療法」の事例研究（ケーススタディ）を一つ選んで学習発表してもらい、そのディスカッションの内容も評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特講Ⅱ	さとうまさや 佐藤方哉	心理2・3・4選	4

講義のねらい

テーマは「人間行動論」。行動主義心理学の立場から、人間が他の動物と比較してどのようにユニークかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

動物行動の一般的原理を概観した後、人間を人間たらしめているともいえる言語の問題を分析し、それを踏まえて人間の特徴を浮き彫りにする。言語を有するが故に、人間の知覚、動機づけ、情動、学習、記憶、思考などが他の動物とどのように異なるかを明らかにしたい。

履修上の留意点

「学習心理学」を履修済みか履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末テストの成績のみではなく、随時行う小テストの結果や、平常の討論への参加などを考慮して総合的に評価する。

教科書

教科書は、杉山尚子・他『行動分析学入門』（産業図書）1998

参考書等

参考文献は、必要に応じて紹介する。

その他

講義を中心とするが、活発な討論を期待する。毎時間OHPを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学特講Ⅲ	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	心理2・3・4選	4

講義のねらい

心理臨床の分野で、集団の持っている相互の啓発・成長・治療効果などを活用したグループ・アプローチがある。第1の潮流を精神分析、第2の潮流を行動主義として、第3の潮流と言われている人間性心理学や、第4の潮流とも言われているトランス・パーソナル心理学などを背景にするワークショップで、特に盛んに実施されています。本講座では、エンカウンター・グループ、サイコ・ドラマ、交流分析、ゲシュタルト療法などの成長志向の強い集団心理療法を、ワークショップ（体験学習）形式で学んでいきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

構成的エンカウンターのリレーション（人間関係）づくりから始め、メンバー相互の人間関係を深めながら、自己内及び自他のコミュニケーションと気づきを促進する技法を体験的に学んでいきます。

履修上の留意点

体験的学習という性格上、出席して参加体験することが必要です。皆の同意が得られるならば、長時間の集中的ワークショップを実施するかも知れません。

成績評価の方法

出席点とレポートなどの平常点で評価します。

教 科 書

特にありません。

参 考 書 等

必要に応じて紹介します。

そ の 他

講義形式の概念学習ばかりに慣らされてしまっている人にとっては、体験学習の全体参加性にとまどいと面白さを実感できるでしょうし、その重要性にも気づかれるでしょう。欠席しがちな人は、履修しないで下さい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理検査法Ⅰ	前期：西 <sup>にし</sup> 脇 <sup>わき</sup> 後期：佐 <sup>さ</sup> 藤 <sup>とう</sup> 高 <sup>たか</sup> 代 <sup>よ</sup>	心理2・3・4選	4

### 講義のねらい

本講義では、心理検査法のうち、前期には〈知能検査とその関連領域〉を、後期には〈投影法心理検査〉を学ぶ。この二領域の検査は、検査場面自体が対人関係場面である（検査者と被検査者が同じ場面に身を置き、課題を提示したり言葉を交わしたりしながら検査を執り行う）ものが多い。

前期の〈知能検査とその関連領域〉では、知能・発達検査を中心に講義する。これらは構成度の高い課題を遂行する検査であり、「自分が何を検査されているか」「（親への質問によって児童の発達を測る場合）我が子の発達のどの点を検査されているか」が被検査者にも伝わりやすい。自身の知的機能の低下や、我が子の発達の遅れなどを自覚している場合、検査されることで緊張や不安が高まることもある。従って、これらの検査を理解するためには、検査の特徴と共に被検査者の立場についても学ぶことが必要である。講義では、検査の有用性と限界、利用の注意点などについても考えたい。

後期の〈投影法心理検査〉では、その施行・解釈技法をしっかりと身につけるためには、系統的かつインテンシブな専門トレーニング（大学院や各種研修機関などでの専門教育）が必要な領域である。将来このような専門トレーニングを受けることを希望している学生は、講義を通じて、その土台となるであろう投影法の基礎的理解を体得し、心理アセスメントの基本的な心構えを身につけてもらいたい。後期の講義では、（心理学の専門家を目指す者も目指さない者も）全ての受講生が、投影法心理検査に関する基本的な知識と教養を身につけることを第1の目標とする。また、知識の習得にとどまらず、投影法心理検査を施行する際に不可欠であるところの「相手の話したことを素早く正確に書き取る力」、検査結果の解釈の際に必要な「自分の感じていること（わかったこと）を根拠を提示しながらまとめる力」を高めることが、後期講義の第2の目標である。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### （前期）

- 1、心理検査とは何か  
心理査定とは何か、発達・知能検査の位置づけ
- 2、発達検査について  
津守式、デンバー式など
- 3、知的機能の検査について  
（個人）WAIS-R、田中ビネー、痴呆のスケール、RPCM、コースなど  
（集団）京大NXなど
- 4、発達・知能検査の実際  
テストのバッテリーと施行のインターバル、検査の見方・まとめ方、疾患との関連

#### （後期）

- 1、投影法心理検査について  
心理アセスメントと心理検査、心理検査と投影法、なぜ査定するのか？、何が査定できるのか？
- 2、各種投影法心理検査の実際（成り立ち、背景理論、歴史、適用、施行（実習）  
ロールシャッハ・テスト、TAT、SCT、描画法、その他の投影法
- 3、心理アセスメントの実際  
査定結果の活かし方、受け取る側にわかるような査定結果の報告

### 履修上の留意点

前期・後期の授業初日に、授業の進め方や注意事項、成績評価についての説明を行う。履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。

実習では、受講生同士が検査者＝被検査者の役割を交換して行なうので、休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合は、個人の責任において実習や提出物に関するフォローを各自が行なうこと。

また、本講義では、各領域にわたる心理検査全般を扱っていない。検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法Ⅱ」の授業も履修することが望ましい。（両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可）

### 成績評価の方法

出席を重視する。前期、後期とも、提出物（感想文、授業ノート、レポートなど）を課する。学年末に定期試験を行なう。

### 教科書

講義において指示する。

### 参考書等

必要に応じて指示する。

### その他

実習や提出用授業ノート作成など、個人学習のウェイトが大きいと思われる。また、検査者・

被検者体験を伴うため、相互の体験を共有するグループ・ディスカッションの場を持つ予定であり、レポート中にもそれらの体験をまとめた記述が必須となる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理検査法Ⅱ	い など み ま さ は る 稲 富 正 治	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

臨床心理学の中にあり、重要な位置を占める「心理検査」は、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などがその対象で、検査の種類によってそのやり方も理論背景も異なります。人を知るための技法であり、心理検査の技術の習得と理論背景の理解はもちろんのことですが、心理検査を通して真剣に人と向き合うという「臨床」を学んで欲しいと思っています。ここで扱う心理検査は、もっとも多く使われている質問紙法（Y-G, TEG, CMIなど）と神経心理学的な検査（ベンダーゲシュタルトテストなど）です。「心理検査法Ⅰ」と合わせて心理検査全体を網羅したいと思っています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1年を通して代表的な心理テストの理論と技法を学びながら、人の理解を深めるような授業を行います。臨床現場での心構えにも随時触れていきます。

#### 履修上の留意点

人間を理解するということがどういうことなのかを真剣に考えてもらいたいと思っています。人への観察の前に自己観察をするつもりで履修してください。

#### 成績評価の方法

「臨床」は真剣な世界です。出席はもちろんのこと平常点（授業態度など）は重視します。また、単に心理テストの結果を数字で見ただけではなく、自分の言葉をいかに使って表現するかを大事な評価にしたいと思います。

#### 教科書

今のところ使いませんが、必要に応じて紹介します。

#### 参考書等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

#### その他

心理テストを体験してもらおう実習形式やグループ討議やレポート提出なども行なう予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カウンセリング	さ ん め き ま さ こ 讃 岐 真 佐 子	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

カウンセリングとは、何らかの状態において心の悩みをもつ人に対して、その人自身の力が回復していくよう心理的な働きかけをする面接活動のことであり、学問的には臨床心理学をその基盤としている。カウンセリングというどうしても実践中心のように思われるが、その前に多くの知識や長期にわたる訓練が必要とされることは言うまでもない。ここではその第一歩として前期は主に知識面、後期はグループ・ワークを通して様々な角度から「カウンセリング」について広く学んでいきたいと思う。カウンセラーを目指す人のみならず、自分自身の在り様、他者との関わり等考えてみたい学生諸君の参加を望む。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. カウンセリングとは何か — カウンセラーとクライアントの関係性をめぐって
- II. カウンセリングの諸理論について
- III. グループ・ワーク（主にロール・プレイを中心として）
- IV. 事例研究

#### 履修上の留意点

授業の性質上、出席を重視する。その日の回答への質問や感想を毎回書いて提出してもらう予定。

#### 成績評価の方法

出席状況、ワークへの参加度、定期試験

#### 教科書

必要な資料は適宜配布する

#### 参考書等

伊東博 『カウンセリング』（誠信書房）  
河合隼雄 『カウンセリングの実践問題』（誠信書房）  
河合隼雄 『カウンセリングを語る』（創元社）  
国分康孝 『カウンセリングの理論』（誠信書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理 I	なかまる 中 丸                      しげる 茂	心理2・3・4選	4

講義のねらい

現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や心理学の実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能」となっている。本コンピュータ実習では、VB (Visual Basic) を使って実験制御に必要な技術を習得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：VBA・VBの基本的なプログラミングの技術習得を目的とする。

1. MS-WORD&MS-EXCEL VBA
2. VBの基本プログラミング
3. 心理統計のプログラミングを作ってみよう

後期：VBを使って心理学の実験プログラミングの技術習得を目的とする。

1. グラフィックデータの取り扱い
2. 時間制御
3. アプリケーションソフトの利用方法
4. 心理学実験のプログラムを作ってみよう

履修上の留意点

自主性、積極性を重んじる。

成績評価の方法

下記2つの課題により評価する

前期：オリジナルの心理統計プログラムの作成

後期：オリジナル心理学実験のプログラムの作成

(マニュアルの作成を含む)

教 科 書

1. 『30時間でマスター Visual Basic』 (実務出版)

2. 『はじめてのVisual Basic6.0 グラフィックス&ゲームプログラミング』 (技術評論社)

参 考 書 等

『Visual Basic 6.0 パーフェクトマスター』 (秀和システム)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理 II	まきの <sup>すずむ</sup> 野 晋	心理 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

本講義では、コンピュータ実習や情報処理 I などを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。まず、情報処理に関する基礎知識、コンピュータ・ネットワークに関する基礎知識などを学ぶ。次に、実験データの分析について学ぶ。また、コンピュータを利用した効果的なプレゼンテーション方法などについても身に付けてもらいたいと考えている。これらを通して、各自がパーソナルコンピュータを個人で所有した際、それを自力で活用できるように応用力を身に付けさせたい。

具体的な主な講義内容は次のとおり。まず、計算機・情報処理、コンピュータ・ネットワークやインターネットに関する基礎知識の習得を行う。この単元は主に講義形式になる。次に計算機を使ったデータ解析を中心に行い、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。実習には PC - SAS を使用する予定だが、単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。得られた結果をレポートにまとめることで、他のアプリケーションとの連携についても学習する。さらに、コンピュータを使ったプレゼンテーションの技術を習得し、自分の考えをいかに効果的に表現するかについて学ぶ。これは卒論の発表などや卒業後社会に出てから必要になる知識であろう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式に加え、主に実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならばビデオ教材も使用したい。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回簡単な課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・情報処理概論  
ハードウェアとソフトウェア、OSの理解、データの符号化と内部表現など
- ・コンピュータ・ネットワークの基礎とインターネットの現状について  
ネットワークの基礎知識の習得  
自分のパソコンをインターネットに接続するには？  
HTML入門など（可能ならば）
- ・主に PC - SAS を利用しての統計処理および分析方法の理解  
データ解析と統計的手法の基礎  
PS - SAS の操作方法の習得  
SAS プログラムの書き方
- ・コンピュータを使ったプレゼンテーションの総合実習  
MS - PowerPoint を使ったプレゼンテーション

#### 履修上の留意点

本講義の受講にあたっては、コンピュータ実習の単位を習得していること、または同等の知識を持っていることが条件となる。キーボードのブラインドタッチもできないような状態での受講はできない。ワープロを使つてのレポート提出、Excel を使つてのグラフ作成などを求めるので、これらを習得していることも条件になる。

また、本講義は実習形式で行うことが多いので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。

さらに、本格的にコンピュータを応用するためには実習が不可欠である。授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、各自自習室等を利用した自習が必要となる。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、年度末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教科書

- ・授業の中で配布する印刷教材。
- ・新城明久著『PC SASによる基礎統計学入門』（東海大学出版会）

#### 参考書等

参考書については、授業中に適宜紹介する。

SAS、ネットワークの基礎については、次の参考書をあげておく。

- ・竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著  
『SASによるデータ解析入門 [第2版]』（東京大学出版会）

SASの具体的なプログラミング方法についてわかりやすく解説してある。独力でプログラミングする必要に迫られたとき、よい参考書になるので教科書と合わせて手元に置きたい。

- ・高辻秀興・大塚治浩編著 『インターネット・リテラシー』（工学図書）

コンピュータ・ネットワークやインターネットの基礎知識から利用マナーまで、大学生として身に付けておくべき知識について解説してある。電子メールなどの具体的な操作方法については環境が異なる部分もあるが、是非目を通してほしい。

そ の 他

年間2～3枚程度のフロッピーディスク（2HD）が必要となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教人類学	さ と う の り あ き 佐 藤 憲 昭	心理2・3・4選	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ（霊）とmana（力）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

講義内容を踏まえたレポート試験の予定。

教科書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社、学術文庫）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学特殊演習	い ば ら ぎ ひ ろ こ 茨 木 博 子	心理 3 選	4

講義のねらい

本演習は、卒業論文執筆に向けての準備段階として、受講者が日ごろ興味、関心のあるテーマを積極的に発表し、明確にしていくこと、およびそのために必要な手続きや参考文献を調べることを目的にしている。

講義の内容・授業スケジュール

特に臨床心理学領域で関心を抱いた独自の研究テーマを明確にし、そのテーマに沿った研究計画および方法を具体化していくための個別指導、演習形式の指導を行なう。その際、構想発表会、途中経過の口頭発表会などを開き、討論する他、文献講読も行なう。

履修上の留意点

卒業論文は、受講生にとって初めての研究であり、「自分は、このテーマで研究したい」と思うことが大切である。従って、探し求めたテーマは諦めないで取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

出席、口頭発表、レポートなどによって総合的に評価する。

参考書等

研究に必要な参考書、文献を随時紹介する。

心  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	かつまた てるちか 勝 俣 映 史	心 理 3 選	4

講義のねらい

この演習は、4年次必修の「演習」とともに、卒業論文作成に係わる授業である。従って、卒業論文に結合できるテーマの選択、卒業論文研究に着手するために必要な手続きなどを視野に入れながら、受講者各自の関心を発展させるため必要な作業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、①研究テーマの決め方、②研究課題の絞り方、③文献研究のあり方、などについてガイダンスを行った後、各自の研究テーマを決め、文献研究を行い、主要な研究論文について発表する機会を設定する。後期においては、卒業論文研究の実施計画を視野に入れながら、実施に必要な具体的な作業（事例研究に必要な準備、質問紙調査に必要な材料の準備など）を行う。

履修上の留意点

研究に取り組む楽しさを体験できるように、積極的な意欲をもって取り組んで欲しい。

成績評価の方法

年間を通じた取り組みの成果や姿勢を総合して評価する。

教科書

なし

参考書等

なし

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	ささき ゆうじ 佐々木 雄 二	心 理 3 選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文作成へ直結する演習である。したがって本講を受講する過程で、自分の卒業研究のテーマを見出し、具体的な研究計画を立てていくことになる。

講義の内容・授業スケジュール

①最近発刊された臨床心理学やカウンセリング心理学、健康心理学領域の専門誌（原則として英文誌）からゼミ生自身が関心のある論文を探し、2、3編選んでくる。②その中から講師が指定する1編を訳し、原文、全訳文、抄訳文、参考資料をつけて提出する。提出資料をゼミ生全員に配布し、その論文の要点を説明した後、論文の展開に従って研究課題、具体的な研究目的、対象、実験や調査などの方法、結果の分析、検討内容、今後の課題などについて発表する。③その発表に基づいて質疑応答を行う中で、ゼミ生自身の臨床心理学研究の課題を見つけ、方法論を学び、卒業研究の準備にあたる。

成績評価の方法

発表および質疑応答の内容に基づいて評価する。

参考書等

本学図書館で閲覧可能な心理学領域欧文誌の「一覧表」を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	たにくち やすとみ 谷 口 泰 富	心 理 3 選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文が必修となっているが、実証的研究の時間としては1年間では不十分である。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する基礎的問題を演習形式にて検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、学生が自分の関心のある研究領域を決定するための助言を行い、卒業論文作成のための文献講読や予備実験等についての指導を行う。

履修上の留意点

本講では、特に生理心理学や人格心理学の領域にしぼった形での指導が中心となるので、学生も予め自分の興味のある分野について考えておくことが望ましい。また、演習形式にて実施するので、課題やレポートの提出回数は多くなる。従って、そのための時間が充分であることが必要である。なお、遅刻や欠席については厳しく指導する。

成績評価の方法

研究報告書や課題レポート（一人一人異なる）により評価する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	ち は ら ただし 茅 原 正	心 理 3 選	4

講義のねらい

3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文文献を輪読する。

〔後期〕

各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究成果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

教 科 書

『*The Psychology of Consciousness*』 by R. E. Ornstein の予定である。  
プリント配布。

参 考 書 等

参考書・文献等については、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	ながた ようこ 永 田 陽 子	心 理 3 選	4

講義のねらい

本演習は4年次に提出の卒業論文を2年間かけて作成することを希望する3年次の学生を対象として設けられた演習である。従って、受講者が卒業論文のための各自の主題を明確にし、そのための文献研究や実験・調査の準備を行うことが本演習の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、受講者各自の論文テーマを明確にするために、文献研究を中心に行う。後半は、その研究テーマをもとにした具体的な研究方法について検討する。受講者は各自のテーマについて個別に指導を受けると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、4年次の卒業論文に備える。

履修上の留意点

各受講者の研究に基づく面接は随時行われる。

成績評価の方法

口頭発表とレポートによって総合的に評価される。

参 考 書 等

必要な参考図書および文献は演習時に随時提示される。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	まし ま ひでとし 間 島 英 俊	心 理 3 選	4

講義のねらい

本演習は4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想をかさね、より質的に高い研究をするための3年次の演習であります。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。

講義の内容・  
授業スケジュール

4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありますので、この演習では各自の研究テーマの設定のために、前期はエリクソン、E.Hの理論を中心に進め、後期は研究テーマの設定、研究計画および実施まで辿り着きたいと思います。

履修上の留意点

基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、履修届けの前に一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思います。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思います。

成績評価の方法

出席、レポート、発表、討論等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

参 考 書 等

参考書、文献等については随時紹介します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと 川 本 勝	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。

- ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
- ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
- ・社会生活とコミュニケーション行動。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。

- ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
- ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
- ・受容過程の特質と効果研究。

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教 科 書

特に用いない。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業・職業社会学	や ま だ の ぶ ゆ き 山 田 信 行	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

“労使関係”をキ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業社会学の主要な分野について日本の事例について紹介しながら概説する。第2部（後期）では、“国際化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは以下の通り。

第1部 現代日本の産業・労働

1. 産業社会の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのか
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係
8. 変容する産業・労働の世界

第2部 労使関係の国際比較

1. グローバリゼーションと労使関係
2. インダストリアルイズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合衆国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会とマレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会変動

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

学年末試験による

教 科 書

山田信行 『労使関係の歴史社会学』（ミネルヴァ書房）

参 考 書 等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
家族社会学	な かに しげ かず 中 谷 茂 一	心理1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

「真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」という聖書の有名な一節は、家族について再考する意義についても示唆に富む。「家族」とはあまりにも身近で自己の経験と密接な関係であるため、個人の意識に影響を与えたり、時に束縛している構造を見えにくくする。本講義では、文献やデータを参照しながら、家族に関するかたちや意識の多様性を知ると同時に、自分が持つ価値観から一歩離れ相対化できるように、履修者とともに私も自己の視点を再検討しながら考えていきたい。家族社会学の知見にふれディスカッションすることで、それぞれが自分にとっての真理を得て、今後のライフスタイルの選択の際になにがしかの参考となれば幸いである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 家族の分析枠組み、2. 配偶者選択、3. 老親扶養、4. 子ども観の変化、5. 子ども虐待、6. 近代家族とフェミニズム、7. 家族のゆくえ。

#### 履修上の留意点

頻繁に発言と小レポートを求める。自分の頭で考え積極的に発言しなければ単位修得はできない。指定したテキスト3冊を参照しながら講義をすすめるので必ず購入することが履修の前提。

#### 成績評価の方法

- ①学期末試験、②ディスカッション参加状況、③小レポート、3点の総合評価。

#### 教科書

- ①森岡清美・望月嵩 共著 『新しい家族社会学 (四訂版)』 (培風館)
- ②片山義弘編 『家族を考える本』 (福村出版)
- ③星野貞一郎編 『保健医療福祉の社会学』 (中央法規)

#### 参考書等

講義の中で紹介する。

#### その他

授業形態は、講義とビデオを素材とし、ディスカッションする時間を多くとる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教社会学	は が まなぶ 芳 賀 学	心理1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代日本では、多くの若者たちが宗教現象に関心を寄せていると言われる。「豊かな時代」の今、若者たちは宗教に何を求めているのだろうか。この講義では、この問題を解くことを目指して、さまざまな現象を順次取り上げ、社会的背景とそこに生きる人々の心理構造に照準して考察を進めていくこととしたい。言い換えれば、ここでは、白黒の判断を下す前段階として、まず、宗教現象に関与する人々（とその心理）を理解することが目標となる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

スケジュールを示せば、まず、最初の数回、ここで採用するアイデンティティに関わる視角について、その特徴を解説する。それに続く前期の講義では、この視角を用いて、幕末から現在に至る日本の新宗教の歴史を、信者の入信理由とその社会的背景の変遷に着目しつつ概観する。一方、後期の講義では、自己啓発セミナー・エステ・占いなどの宗教周辺現象を取り上げ、現代の若者の置かれている社会状況に関して、より突っ込んだ考察を進めていく。

#### 履修上の留意点

この講義を履修するに当たって要望したいのは以下の2点である。(1) 有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。(2) 多くの情報をどん欲に摂取すると同時に、それを鵜呑みにせず、自分に引きつけてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに課すレポートと、年度末に行うペーパーテストとの総合評定で行う。なお、レポート・テストのいずれかが欠ける場合には、単位は基本的に認定しない。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

授業開始後に適宜紹介する。

#### その他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法	けい とく ひろ とく 鶏 徳 啓 登	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著『行政法要論』（学陽書房）3,000円  
『小六法』出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』（有斐閣）4,000円 その他、教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
障害者福祉論	きり はら ひろ とく 桐 原 宏 行	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点にたって把握していくことが必要になる。本講では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①障害者福祉の理念
- ②障害の概念と実態
- ③障害者福祉の施策
- ④障害者福祉と社会資源
- ⑤障害者に対する援助活動

前期に①～③、後期に④～⑤について扱う。

成績評価の方法

出席状況、定期的なレポートの提出、前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験等を総合して評価する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編 『障害者福祉論』（中央法規）

参考書等

講義のなかで随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老人福祉論	とうじょう みつまさ 東 條 光 雅	心理1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
  - ・高齢者問題の背景  
社会変動、家族変動
  - ・高齢者の生活問題
  - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
  - ・高齢者の保健福祉ニーズ  
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策  
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
  - ・老人保健福祉の供給システムと財源  
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
  - ・在宅サービスの制度と処遇  
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
  - ・施設サービスの制度と処遇  
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
  - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

東條光雅・冷水豊編『老人福祉論』第2版（メヂカルフレンド社）2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児童福祉論	やまもと ままみ 山 本 真 実	心理1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

子ども・子育てをめぐる社会環境をふまえ、児童福祉の理念、制度（基本枠組み）について基礎的な学習を行う。ビデオ教材等視聴覚教材も使用し、具体性をもたせつつ児童福祉サービスの現状を理解することをねらいとする。

はじめに子ども・子育てをめぐる社会環境について整理する。また、子どもや子育て、家庭をめぐる社会的な位置づけについて学習する。児童福祉が対象としてきた範囲、理念について整理する。そして、基本的な児童福祉政策・制度の枠組みについて理解し、その枠組みの中で、どのような問題があるのか、児童福祉制度改革等、今後の展望について考察を深める。

後半では、保育、養護、健全育成、相談体制など各論についての講義を行い、児童福祉の全体系を学習する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の内容についてテキストに従い講義を行う。

- I. 児童と社会
  1. 児童と家庭・社会
  2. 児童福祉ニーズ
- II. 児童福祉の理念
  3. 児童福祉の理念と児童の権利
- III. 児童福祉の制度
  4. 児童福祉の法体系
  5. 児童福祉実施体制
  6. 児童福祉施策体系
  7. 子育て環境
  8. 児童福祉改革の動向
- IV. 各論
  1. 保育
  2. 社会的養護
  3. 権利擁護
  4. 健全育成
  5. 相談

#### 履修上の留意点

社会福祉士資格の取得希望者だけでなく、履修者全員に対して児童福祉についての理解を深める意識を持つことを期待している。

#### 成績評価の方法

学年末の試験のみによる評価。出席状況を加味することもある。

#### 教 科 書

柏女霊峰『現代児童福祉論（第4版）』（誠信書房）2000

#### 参 考 書 等

柏女霊峰、山縣文治編著『新しい子ども家庭福祉』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労働法	ふじもと しげる 藤 本 茂	心理1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等、などなどです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを中心にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回日の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

#### 成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

#### 教科書

特に指定はしません。しかし、道しるべとして、1冊は用意してください。教科書として適当と思われる概説書・参考書をいくつか、第1回日の授業において配布するプリントで紹介いたします。受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### 参考書等

第1回目の授業で紹介いたします。

六法に関しては、最新のもの（法律改正があるので特に注意）そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

#### その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法	たけなか ちかが 竹 中 智 香	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法親族〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円  
六法



科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	あさのかつみ 浅野克巳	心理1・2・3・4選	4

### 講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

### 講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
  1. 経済循環と国民所得の諸概念
  2. 所得はどのようにして決まるのか
  3. 45度線モデルと冚外字(8151)－Sバランス
  4. IS-LM分析と財政金融政策
  5. 経済の変動と成長
  6. 賃金・物価・インフレーション
  7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
  1. 市場と価格メカニズム
  2. 消費者行動の理論
  3. 企業行動の理論
  4. 不完全市場とは何か
  5. 市場の失敗
  6. 不完全情報の経済学
  7. リスクと不確実性
  8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

### 履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

### 参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）  
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

### その他

経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！ 大いに利用してください。

# Ⅲ 他学部履修科目



### Ⅲ. 他学部履修科目

[第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目]

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	651
中国禅宗史	〈田中良昭〉	651
日本禅宗史	〈石井清純〉	652
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	652
禅籍講読Ⅲ	〈石井清純〉	653
仏教概論	〈池田練太郎〉	653
インド仏教文化史	〈金沢篤篤〉	654
中国仏教文化史	〈永井政之〉	654
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	654
中国古典語初級	〈石井公成〉	655
中国哲学史	〈前川亨〉	655
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	655
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	656
中世文学研究Ⅰ	〈櫻井陽子〉	656
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	656
近代文学研究Ⅰ	〈山崎眞紀子〉	656
比較文学	〈満谷マーガレット〉	656
児童文学	〈国松俊英〉	656
西洋思想史	〈柴野博子〉	656
演劇概論	〈井上理恵〉	656
編集実務	〈長谷川孝〉	657
イギリス文学特講Ⅰ	〈荒井良雄〉	657
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	657
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	657
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	657
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	657
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	657
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	657
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	657
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	658
時事英語	〈荒井良雄〉	658
地理思想史	〈竹内啓一〉	658
地形学	〈小池一之〉	658
人口地理学	〈大友篤〉	658
文化地理学	〈小田匡保〉	658
応用地理学	〈高木正博〉	658
現代地理学特論	〈長谷川均〉	659
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	659
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕	〈休講〉	
考古学特講Ⅲ	〈酒井清治〉	659
日本仏教史Ⅱ	〈休講〉	
西洋文化史Ⅰ	〈佐々木真〉	659

日本民俗学	〈谷口貢〉	659
日哲歴史	〈山口祐弘〉	659
産業・職業社会学	〈久保田信一〉	659
マス・コミュニケーション論	〈山田本勝〉	659
社会福祉発達史	〈林千代〉	660
国民所得論	〈吉野紀子〉	661
日本経済史	〈橋野知敬一〉	662
中小企業論	〈吉田岡博美〉	663
社会政策論	〈光敷正光〉	664
教育経済論	〈谷林正章淵〉	665
日本経済論	〈小林修二〉	666
アジア経済論	〈鄭瀬戸岡紘志〉	667
中国経済論	〈小瀬戸岡弘志〉	668
アメリカ・東欧経済論	〈山縣下我信義龍二資宏〉	669
商業政策	〈岩曾田堀小栗田森田石川鈴木古沢藤齊藤竹中野北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	670
マーケティン	〈曾田堀小栗田森田石川鈴木古沢藤齊藤竹中野北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	671
経営管理論	〈百田龍二資宏〉	672
労務管理論	〈堀小栗田森田石川鈴木古沢藤齊藤竹中野北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	673
財務会計論	〈小栗田森田石川鈴木古沢藤齊藤竹中野北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	674
会計監査論	〈森田石川鈴木古沢藤齊藤竹中野北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	675
原価計算	〈石川鈴木古沢藤齊藤竹中野北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	676
貿易論	〈鈴木古沢藤齊藤竹中野北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	677
銀行法	〈古沢藤齊藤竹中野北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	678
比較憲法	〈齊藤竹中野北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	679
親族法	〈竹中野北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	680
西洋法制史	〈北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	681
英米法	〈北野岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	682
経済法	〈岡中野堀田前田休三塚大鹿茂山石名渡片〉	683
ヨーロッパ政治論(1)	〈中野堀田前田幸英昭〉	684
国際政治学	〈小堀田早苗〉	685
ヨーロッパ政治史	〈浦田幸雄〉	686
地方自治法	〈富井英昭〉	687
議会関係論	〈前田英昭〉	688
立法過程論	〈休講〉	688
比較政治学	〈三竹直哉〉	689
現代国家論	〈大塚桂〉	690
経営論	〈鹿嶋秀晃〉	691
国際経営論	〈茂垣広志〉	692
商史	〈山田勝〉	692
商保論	〈石名坂邦昭〉	693
財務會計論	〈渡邊惠一郎〉	694
経営分析	〈片桐伸夫〉	695

税務會計論	〈高木克己〉	696	
経営情報	論	〈高井徹雄〉	697
情報	論	〈西村和夫〉	698
経営	計	〈長国強〉	699
上代文	史	〈佐原作美〉	699
中古文	史	〈鈴木裕子〉	700
中世文	史	〈坂口博規〉	700
近世文	史	〈清田啓子〉	700
近代文	史	〈笹瀬王子〉	701
現代文	史	〈小林治〉	701
異文化コミュニケーション	論	〈奥原淳子〉	702
時事英語	論	〈岡本誠〉	703
応用計測学	論	〈櫃尾英次〉	703

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学総論	〈大吹勝男〉	704
社会思想史	〈阿部弘〉	705
国際経済論	〈休講〉	
社会政策	〈光岡博美〉	706
価格理論	〈荒木勝啓〉	707
国民所得論	〈吉野紀〉	708
銀行小企業論	〈休講〉	
人口論	〈休講〉	
アメリカ経済論	〈休講〉	
ヨーロッパ経済論	〈清水卓〉	709
貿易論	〈休講〉	
会計監査論	〈森田佳宏〉	710
管理会計論	〈休講〉	
法思想史	〈河見誠〉	711
日本法制史	〈茂野隆晴〉	712
西洋法制史	〈休講〉	
経済法	〈岡田外司博〉	712
国際関係論	〈南山淳〉	713
地方自治法	〈富井幸雄〉	713
倒産処理法	〈奥野善彦〉	714
国際紛争解決法	〈王志安〉	714
経営財務論	〈高田光明〉	715
経営組織論	〈伊藤信二〉	716
公益企業論	〈園田哲男〉	716
管益理會計論	〈猿山義広〉	717
日本監査論	〈阿部一人〉	718
日本経済論	〈羽鳥茂〉	719



科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	さとう しゅうこう 佐藤 秀孝	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禪定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

#### 成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

#### 教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

#### 参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

#### その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	たなか りょうしやう 田中 良昭	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達磨を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達磨の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪州宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

#### 履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものにしておくことが、その後の学習にとって最善の方法である。

#### 成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

#### 教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

#### 参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史-中国-』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』と近刊の伊吹敦『禅の歴史』がある。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものであり、研究の手引書として田中良昭編『禅学研究入門』がある。

#### その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本禅宗史	い し い せいじゆん 石 井 清 純	文学部全学科	4

講義のねらい

中国において成立した禅宗は、鎌倉時代に日本に伝播し発展した。それは、ある部分では中国の叢林制度そのままの移植であり、またある部分では柔軟に日本の文化に順応して変容した。本講義では、その展開の様相を歴史的に概観し、現存する禅宗各派の成立基盤を明確化してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

禅の伝来より、時代を追って明治時代の禅宗三派の成立までを概観する。  
 1. 奈良・平安時代の「禅」の伝来、2. 「禅宗」の成立、3. 五山と林下、  
 4. 禅宗教団の地方展開、5. 江戸幕府の宗教政策と禅宗、6. 隠元の来朝  
 7. 明治維新と禅宗の統合、8. 禅宗各派の再成立。

成績評価の方法

前期終了時のレポートおよび年度末の筆記試験をもって判定する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

竹貫元勝『日本禅宗史』（大蔵出版）・船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅籍講読Ⅰ	い し い しゆうどう 石 井 修 道	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義は禅宗史話を原典テキストで味読するものである。唐代の最も魅力ある禅者を一人一人読み進めて行きたいが、年間、数限られた人数しか触れられないであろう。しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨梁山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黃檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを中心としたい。話は公案化されたよく知られたものを紹介したいが、興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート提出20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

入矢義高『臨濟録』（岩波文庫）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅籍講読Ⅲ	い し い せいじゆん 石 井 清 純	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

この講義は、日本において禅宗が成立した当時の禅籍を講読するものである。具体的には、日本史の時代区分でいうところの中世、すなわち鎌倉時代から室町南北朝時代に編集された禅語録や法語類がこれにあたる。

禅宗は、鎌倉時代、武家政権の幕開けと共に日本に伝来したことで知られる。そしてそれは、その後、一部では中国の五山制度を導入することにより中央に進出し、また他方では、種々の宗教的要素を取り込んで地方に展開していった。つまり、この時代は、まさに日本の禅宗が生まれ、そして独り歩きを始めた時代なのである。

この講義では、まず、禅の表現形式に慣れるために、各種仏教関連の辞書を用いて丹念に禅籍を読み進める。そしてさらに、読み進んだ内容から、日本の禅林の思想的特徴を把握できればと考えている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は、日本における禅思想の特徴を見出す意味から、臨済宗大応派の日本人禅匠の語録を読み進める。この派は、後の日本禅林の展開に大きな影響を与えたものであり、その主張を知ること、禅の日本的展開の様相を知るに不可欠といえる。

講義前半は、対象となるテキストをプリントにて配布、そこに現われる禅語の意味を、一つ一つ丹念に辞書を用いて確認してゆく。これは、禅籍の独自の漢文表現と、仏教関係辞書の検索方法の双方に慣れることを意図したものである。

辞書の使用方法和漢文表記に慣れたところで、後半は、思想的内容を読解する演習へと移行してゆく予定である。

#### 履修上の留意点

辞書や参考書類は用意するが、自己の読解力を高める意味でも、講義中に用いる基本的な辞書類は各自で用意されたい。

#### 成績評価の方法

前期中に2回、後期中に1回、計3回の小テスト（ペーパーテスト）を行なう。それに年度末の定期試験を加えた計4回のテストを総合して成績を評価する。

#### 教科書

講義ごとにプリントを配布。

#### 参考書等

講義中に使用する予定の辞書類

『禅学大辞典』（大修館書店）、『中日大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）

『新字源』（角川書店）、『助字小字典』（内山書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教概論	い け だ れんたろう 池 田 練 太郎	文学部全学科(国文除く)	4

#### 講義のねらい

本講義は、仏教の基本的な要素である三宝（仏・法・僧）の体系にしたがって、開祖であるブッダ、その教義、それを維持し展開させた教団の順に仏教の基本的立場を概説していく。内容はインド仏教が中心になるが、中国・日本などの諸地域に広まった仏教にもふれていく予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第にしたがい、最初に「仏教とは何か」について考え、その後、①ブッダの生涯、②仏の本質、③法——仏教の真理観、④一切法——法の分類、⑤輪廻と業・煩惱、⑥悟りへの道、⑦心——実践の主体、⑧修行者の理想像、⑨戒律と教団の組織、⑩仏教の歴史（インドとその周辺・中国・朝鮮・日本）の順に進めていく。

#### 成績評価の方法

授業中に数回行う予定の小テスト、及び年度末の定期試験によって評価する。

#### 教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会刊）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教文学史	かなざわ あつし 金 沢 篤	文学部全学科	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	なが い ま さ し 永 井 政 之	文学部全学科	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」ととらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「仏・菩薩への信仰」を取りあげて考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

参考書等

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	は か ま や の り あ き 袴 谷 憲 昭	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、江戸期に成立した仏教以外の文献を通して、分析的に考察することに主眼を置く。その目的で、文献としては、江戸初期に成立したと見做される邦人イルマン不干斎巴鼻庵の『妙貞問答』上巻と、江戸末期に富永仲基（1715-1746）によって著わされた、『翁の文』『出定後語』とを主として取り上げる。これらの講義を通して、永い鎖国政策の間の仏教が、これ以前に成立していた仏教と、明治以降今日に至る仏教との間で、いかなる意味で思想的につながっているかを再考することになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義における文献の取り上げ方は、必ずしも通時的ではないだろうが、前期にまず『翁の文』を講読して、仲基の「加上説」が思想史における思想構築の意味をどのように認識したものであるかを検討することから開始することは決っている。

履修上の留意点

参加者は、文献を自ら読もうとしていることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法も変りうる。

教科書

石浜純太郎・水田紀久・大庭脩校注『翁の文』、日本古典文学大系97、近世思想家文集（岩波書店、1966年）。ただし、入手困難かもしれないので、必要に応じてコピーを配布する。

参考書等

講義において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語初級	い し い こう せい 石 井 公 成	文学部全学科	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国哲学史	ま え か わ とおる 前 川 亨	文学部全学科	4

講義のねらい

中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。特に、東アジア世界の中での中国思想という視野を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式の特徴を明らかにし、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なるかを考える機会となれば幸いである。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は孔子から始めて唐宋代に至る時代を取り扱う。その場合にも、断代史的ではなく問題史的に進めていくので、近・現代との関係も考慮することになるであろう。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化・社会などに関心を有する多様な受講者の参加を希望する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもっていること（少なくともそれらの語学に履修意欲をもっていること）が望ましいが、授業じたいはその方面の知識なしでも理解可能であろう。ただし、継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちでの受講はお断りする。問題意識と積極的な意欲に富む受講者を求める。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらう。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めたい。積極的な問題提起、討論を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学研究Ⅰ	お の ひろし 小 野 寛	文学部全学科(国文除く)	4

(P. 304) 参照

他学  
部  
履  
修  
科  
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究Ⅰ	<small>まつおか ともゆき</small> 松 岡 智 之	文学部全学科・国文除く	4

(P. 305) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究Ⅰ	<small>さくらい ようこ</small> 櫻 井 陽 子	文学部全学科・国文除く	4

(P. 306) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学研究Ⅰ	<small>この え の り こ</small> 近 衛 典 子	文学部全学科・国文除く	4

(P. 307) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学研究Ⅰ	<small>やまきき まきこ</small> 山 崎 眞 紀 子	文学部全学科・国文除く	4

(P. 308) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較文学	<small>みつたに</small> 満谷マーガレット	文学部全学科・国文・歴史除く	4

(P. 334) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童文学	<small>くにまつ としひで</small> 国 松 俊 英	文学部全学科・国文・歴史除く	4

(P. 334) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋思想史	<small>しばの ひろこ</small> 柴 野 博 子	文学部全学科・国文・歴史除く	4

(P. 339) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇概論	<small>いのうえ よしえ</small> 井 上 理 恵	文学部全学科・国文・歴史除く	4

(P. 340) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	はせがわ たかし 長谷川 孝	文学部全学科(国文・歴史除く)	4

(P. 342) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅰ	あらい よしお 荒井 良雄	文学部全学科(英米文除く)	4

(P. 361) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかの まさお 高野 正夫	文学部全学科(英米文除く)	4

(P. 361) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎	文学部全学科(英米文除く)	4

(P. 362) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	なかおか ひろし 中岡 洋	文学部全学科(英米文除く)	4

(P. 362) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ よしゆき 富士川 義之	文学部全学科(英米文除く)	4

(P. 363) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅵ	まるこ てつお 丸小 哲雄	文学部全学科(英米文除く)	4

(P. 364) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅰ	あづま ゆういちろう 東 雄一郎	文学部全学科(英米文除く)	4

(P. 366) 参照

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	<small>あしだ かずひと</small> 足 田 和 人	文学部全学科・英米文除く	4

(P. 367) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	<small>おちあい かずあき</small> 落 合 和 昭	文学部全学科・英米文除く	4

(P. 365) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	<small>あらい よしお</small> 荒 井 良 雄	文学部全学科・英米文除く	4

(P. 372) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理思想史	<small>たけうち けいいち</small> 竹 内 啓 一	国文・英米文・歴史	4

(P. 405) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地形学	<small>こいけ かずゆき</small> 小 池 一 之	文学部全学科・地理除く	4

(P. 431) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人口地理学	<small>おおとも あつし</small> 大 友 篤	文学部全学科・地理除く	4

(P. 434) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化地理学	<small>おだ まさやす</small> 小 田 匡 保	文学部全学科・地理除く	4

(P. 408) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用地理学	<small>たかぎ まさひろ</small> 高 木 正 博	文学部全学科・地理除く	4

(P. 412) 参照

他履  
学部修  
科目目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代地理学特論	ほせがわ ひとし 長谷川 均	文学部全学科(地理除く)	4

(P. 440) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅶ (近代)	こいずみ まさひろ 小 泉 雅 弘	文学部全学科(歴史除く)	4

(P. 487) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅲ	さか い き よ じ 酒 井 清 治	文学部全学科(歴史除く)	4

(P. 501) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史Ⅰ	さ さ き まこと 佐々木 真	文学部全学科(歴史除く)	4

(P. 480) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本民俗学	た に ぐ ち みつぎ 谷 口 貢	文学部全学科(国文・歴史除く)	4

(P. 506) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学史	やまぐち まさひろ 山 口 祐 弘	文学部全学科(歴史除く)	4

(P. 503) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史哲学	く ぼ よう い ち 久 保 陽 一	文学部全学科(歴史除く)	4

(P. 503) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業・職業社会学	や ま だ のぶき 山 田 信 行	文学部全学科(社会・心理除く)	4

(P. 530) 参照

他学部  
履修科目



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション 論	<small>かわもと</small> 川 本 <small>まさる</small> 勝	文学部全学科(社会・心理除く)	4

(P. 529) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	<small>はやし</small> 林 <small>ちよ</small> 千 代	文学部全学科(社会除く)	4

(P. 578) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 紀	文学部全学科	4

### 講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万（平成3年）あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その一つ一つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」 ..... 5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」 ..... 4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」 ..... 8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」 ..... 4回  
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」 ..... 5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

### 成績評価の方法

### 教科書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済史	橋野知子	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義での考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。知るこそが重要なのです。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
2. 近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
3. 近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
4. 国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
5. 工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
6. 工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
7. 日清・日露戦争と日本経済
8. 第一次世界大戦と日本経済1－世界秩序の変化と日本経済
9. 第一次世界大戦と日本経済2－動力革命、在来産業の近代化、重化学工業化の進展
10. 「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
11. 二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
12. 「ボックス・ブリタニカ」の解体と日本経済－国際金本位制度の終焉
13. 1930年代の経済成長1－政策の転換、銀行制度
14. 1930年代の経済成長2－産業構造、産業組織の変化
15. 戦後経済史への展望－市場経済の変容、戦時統制経済、太平洋戦争

#### 履修上の留意点

重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。配布された資料を通じて、図表を理解する力を養いましょう。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ? どうして?」という疑問を大切にしてください。また、当時の社会や経済を実際に知る人の話を積極的に聞いてみて下さい。教科書では得られない新鮮な驚きや発見があるはずですよ。

#### 成績評価の方法

期末試験、レポート、出席（小テストを実施）などで総合的に評価します。再試験はありません。

#### 教科書

指定しません。毎回プリントを配布します。

#### 参考書等

講義の中でその都度紹介します。

#### その他

授業は講義形式ですが、昨年度と同様に映像の利用による説明も取り入れたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よしだ けい いち 吉田 敬 一	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。日本経済に占めるこうした経済的比重を考えると、中小企業の21世紀的再生を抜きにして日本経済の復活・発展がありえないことは明確です。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割と、それとは逆に中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題
- V 21世紀の日本経済の課題と中小企業の新たな展望

#### 履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので（例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など）、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

#### 成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

#### 教科書

本講義では教科書は使用しません。

#### 参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）（レポート課題指定文献）  
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）  
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）  
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）  
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	みつおか はくみ 光 岡 博 美	文学部全学科(社会心理除く)	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本的労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

#### 教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	やしきただみつ 谷 敷 正 光	文学部全学科(地理除く)	4

### 講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確定期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
- (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
- (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済と教育 「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
- (10) メジャー首相の経済と教育 「競争力白書」 (一部ビデオ)
- (11) プレア首相の経済と教育 「知のネットワーク」 (一部ビデオ)

#### 2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
- (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
- (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
- (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「企業内学校」

#### 3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

### 履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

### 成績評価の方法

- ①授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ②再試験を実施する。

### 教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

### 参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。  
土志田征・『レーガノミックス』(中公新書)

原田和明『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）  
 大原進『クリントンの米国経済』（日本経済新聞社）  
 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）  
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）  
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）  
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）  
 ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）  
 A・グリム、J-ハリスン『英国病』（新評論社）  
 揖西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）  
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）  
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）  
 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）  
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）  
 その他は講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済論	こばやし まさと 小 林 正 人	文学部全学科(社会心理除く)	4

#### 講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程  
 景気の現状と雇用情勢  
 戦後改革  
 日本の高度経済成長：歴史とその原因  
 産業政策の役割  
 石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展  
 産業構造の理論と歴史  
 主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械  
 日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較  
 製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望  
 平成不況の意義  
 情報通信革命（インターネット）

#### 履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

#### 成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

#### 教科書

なし

#### 参考書等

適時指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちゃんよん 章 淵	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 〔前期〕

1. 経済発展の前史
  - (1) 植民地経済の概要
  - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
  - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
    - ※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
  - (2) 開発独裁体制の成立
    - ※韓国の事例、その他の開発独裁
  - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
  - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
  - (2) ASEANの歴史
  - (3) 日本企業の進出状況

##### 〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
  - (1) 中国の開放政策
  - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
  - (1) アジアNIEs論
  - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
  - (1) APECの発展過程
  - (2) ASEANの自由化過程
  - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
  - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
  - (2) その他の諸問題…環境問題etc.
  - (3) 日本とアジアとの関係の展望

#### 成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしますので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

#### 教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。  
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

#### 参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国経済論	こすぎ しゅうじ 小 杉 修 二	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。  
現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。  
本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。  
前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。  
これにつづいて、中国経済の解明に取組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立（1949年）から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル（1949～57年）、(2)毛沢東モデル（1958～78年）、(3)小平モデル（1978～）として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。  
このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えられるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれまいであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。  
上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中での、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

#### 履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。  
教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。  
また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南徳元郷、天安門激動の40年等。

#### 成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事（中国経済）を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である（学説の受入れとは異なる）。テストは基準となる一つの学説（とりあえず、私の説）の正確な理解ができたかどうかを見るものである。  
<再試験あり>

#### 教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』（龍溪書舎）4,000円

#### その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ経済論	せとおか 瀬戸岡 ひろし 紘	文学部全学科	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇他国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店 1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	文学部全学科	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まざれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と経済管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) プレジネフと停滞の時代
  - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。  
再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業政策	いわした 岩 下 ひろし 弘	文学部全学科	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
  - 1 90年代の小売商業構造
  - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
  - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
  - 1 中小小売商保護政策論
  - 2 流通近代化政策論
  - 3 流通システム化計画論
  - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
  - 1 70年代の流通
  - 2 80年代流通産業ビジョン
  - 3 90年代流通ビジョン
  - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
  - 1 百貨店法
    - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
  - 2 中小小売商業振興法
  - 3 小売商業調整特別措置法
  - 4 大店法
    - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
    - 3) 1991年改正法
  - 5 凍結宣言、要綱及び条例
  - 6 通産省による行政指導=抑制措置
  - 7 規制緩和
    - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告
    - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
  - 8 特定商業集積法
  - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
  - 1 大店立地法
  - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
  - 1 イギリス
    - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法
    - 2) 日曜営業問題-商店法
  - 2 フランス-ロワイエ法
  - 3 ドイツ-土地利用計画
  - 4 アメリカ-ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マーケティング	曾 我 信 孝	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
  - ・消費者の価値観とマーケティング支配
  - ・マーケティングと収奪関係
2. 製品政策
  - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
  - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
  - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
  - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
  - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
  - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
  - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャンネル政策
  - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
  - ・販売チャンネル（販売チャンネルを支配する理由は何でしょう）
  - ・チャンネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
  - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
  - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
  - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
  - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
  - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

#### 履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけではなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

#### 成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていくかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜書き解答等には厳しい評価となる。
2. 中間期に夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはずす可能性がある。
4. 再試験は実施する。

#### 教 科 書

指定なし

#### 参 考 書 等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営管理論	ひやくた よしはる 百 田 義 治	文学部全学科(歴史除く)	4

#### 講義のねらい

21世紀を迎えて、日本企業は大きく変貌しています。その底流には、IT革命やグローバル化の進展があります。IT革命はいん石が地球に衝突した(恐竜の死滅)のと同様な影響を産業構造・経営組織・労働組織に及ぼし、コア・コンピタンスを武器としたネットワーク型経営を現実化し、ビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できる時代に終止符を打とうとしています。また、ボーダレス化したグローバルな市場統合はメガ・コンペティション(大競争)を現出し、「グローバル・スタンダード(アメリカン・スタンダード)」が「日本的経営」の根本的変革を迫っています。頻繁かつ大規模な企業再編(合併や提携)、持株会社の解禁・普及、企業集同や下請関係の再編、猛烈なリストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭など、日本企業の変貌が日々新聞やテレビで報じられています。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からその現状と今後の課題についてアプローチします。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

(前期の授業スケジュール)

- ① 授業ガイダンス(経営管理論とはどのような学問か)
- ② 現代企業と経営管理(経営管理とは何か)
- ③ 大量生産体制と経営管理(テイラー・システム、フォード・システム)
- ④ 経営管理と人間性(人間関係論と行動科学、労働の人間化…)
- ⑤ 経営組織の基本形態と発展形態(ラインとスタッフ、事業部制、カンパニー制、分社化…)

(夏休みのレポート)

(後期の授業スケジュール)

- ⑥ IT革命の進展と企業経営の変容(ネットワーク型経営と企業間関係)
- ⑦ グローバリゼーションの進展と企業経営の課題(グローバル化、ローカル化、異文化共生)
- ⑧ 日本的企業システムの変化(所有構造、統治システム、企業と政府)
- ⑨ 日本的生産システムの再編(トヨタ・システム、製販統合システム…)
- ⑩ 日本的労働システムの変化(終身雇用、年功制、能力主義、成果主義、…)

(学年末試験)

#### 履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業テーマと関連づけて講義します。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心を向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学総論、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

#### 成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験なし。

#### 教 科 書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』(ミネルヴァ書房)2002年

#### 参 考 書 等

授業や課題レポート(夏休み)に関連して随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 龍二	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本の労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本の労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本の労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本の労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本の労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
  1. 労務管理の目的、機能、対象
  2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
  1. 電産型賃金体系
  2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
  1. 日本の労務管理の形成と展開
  2. 労使関係の転換
  3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
  1. 雇用形態の多様化
  2. 賃金・処遇の成果主義化
  3. 職能資格制度とキャリア形成
  4. 成果主義と目標管理と人事考課
  5. 労働時間の弾力化
  6. 「新・日本的経営」と労使関係

#### 成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

#### 教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

#### 参考書等

講義中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務会計論	お ぐ り た か し 小 栗 崇 資	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

#### 履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

#### 成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

#### 教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

#### 参考書等

必要に応じて紹介します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	もりた よしひろ 森田佳宏	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または成否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、鑑査基準等に関する研究を行う。

#### 履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに、「簿記論」、「会计学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

#### 成績評価の方法

原則として試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

#### 教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

#### 参考書等

税務研究会編『企業会計規則集』（税務研究会出版局）  
飯岡透、市村一之、島崎規子『会計監査概論』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いしかわ ゆうじ 石川祐二	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

実務においても適応可能な管理会計上の基礎的知識と基礎的論理を身につけてもらうことが、本講義の最大の目標である。とりわけ、経済的状況が厳しい現代において、企業の生き残りのために企業管理を適切に実施する必要性が高まり、その時に管理会計情報を有効に利用することが、一つの重要な鍵になると考えられる。情報を有効に利用するためには、それを生み出す仕組みを理解し、さらに、社会的諸関係の中でその情報が果たす役割・意味を知ることが大切である。そのような理解が進むよう、講義を行いたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：管理会計をとらえる視点を最初に明らかにし、その後、原価概念と利益概念を中心とした基礎概念を示す。さらには、管理会計上の伝統的技法をとり上げる。

後期：近年、議論の中心となっている管理会計上の技法をいくつか取り上げ、その意味を考える。

#### 履修上の留意点

電卓を用いるので、持参すること。

#### 成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

#### 教科書

プリントを配布する。

#### 参考書等

講義において適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原価計算論	すずき かつひろ 鈴木 勝 浩	文学部全学科	4

講義のねらい

原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にはかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日、伝統的な原価計算の中にはその有用性を失いつつあるものもある。そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講義の内容とスケジュールは概ね以下の通りである。

- I 原価計算の歴史
- II 原価計算総論
- III 財務諸表作成のための原価計算
- IV 経営管理のための原価計算
- V 原価計算の新しい潮流

履修上の留意点

本講義の主テーマはFA化を前提にした現代企業における原価計算である。日頃から製造業に関する問題について関心を持って欲しい。

また教科書にある計算事例を使いながら講義を進めていくので、当然のことではあるが、教科書は必ず購入すること。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。  
再試験は実施する。

教 科 書

山田庫平編著『原価計算の基礎知識』（東京経済情報出版）

参 考 書 等

毎回プリントを配布する。  
参考文献については必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古 沢 紘 造	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるどころまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
  1. 農産物と貿易
  2. 水産物と貿易
  3. 林産物と貿易
  4. 鉱物資源と貿易
  5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
  1. 開発援助と貿易
  2. 環境と貿易
  3. 公正と貿易
  4. グローバリゼーションと貿易
  5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

#### 成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施する。

#### 教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
銀行論	さいとう 藤 正	文学部全学科(歴史除く)	4

#### 講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度は大きく様変わりした。大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている一方、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、銀行の基礎理論に関連づけながら戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面して諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 前期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
  - 1) 銀行経営の不振とは対照的に消費者金融会社(貸金業)は史上最高の収益を達成している。銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会(メーカー、流通業、消費者、さらに国家など)との関連を明らかにする。
  - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- (3) 後期は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
  - 1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関(普通銀行、長期金融機関、中小企業専門金融機関、証券会社、保険会社など)の役割を理解する。
  - 2) 時期区分は、おおまかに高度成長期(1974年まで)、低成長・自由化期(1985年まで)、バブル経済期(1990年まで)、バブル崩壊以降(1990年代以降)とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- (4) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革日指すビッグバンを様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

#### 成績評価の方法

成績は、前期試験(またはレポート)と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

#### 教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業はレジメに沿って進める。

#### 参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』(大月書店)2001年  
 山田・野田編『現代日本の金融』(新日本出版社)1997年  
 日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法各論	さいとう ひさし 斉 藤 寿	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五人原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

#### 履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

——私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) ——との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送りましょう。

#### 成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

#### 教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較憲法	さいとう 斎 藤 ひさし 寿	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。  
 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。  
 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。  
 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。  
 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。  
 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。  
 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）はどのように歩んできたか。  
 第8回 世界各国の憲法は、どのような類型化が可能か。また、その特質は何か。  
 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。  
 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。  
 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。  
 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。  
 第13回 これまで（第1回～第12回）のreview。  
 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。  
 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。  
 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。  
 第17回 世界各国憲法の人身保護権保障について。  
 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。  
 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。  
 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。  
 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。  
 第22回 世界各国憲法の国会制度について。  
 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。  
 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。  
 第25回 世界各国憲法の司法制度について。  
 第26回 世界各国憲法の自治制度について。  
 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。  
 第28回 これまで（第14回～第27回）のreview。  
 第29回 試験

#### 履修上の留意点

※学生への要望  
 この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。  
 ——私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。  
 目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。  
 Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) ——との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに返りましょう。

#### 成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

#### 教科書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親族法	たけなかちか 竹 中 智 香	文学部全学科(社会心理除く)	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相続法	たけなかちか 竹 中 智 香	文学部全学科	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（9）相続〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋法制史	北 <sup>きた</sup> 野 <sup>の</sup> かほる	文学部全学科	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造1 中世ヨーロッパの封建制
    - 第3節 社会構造2 イングランドの封建制
    - 第4節 統治構造 封建制の解体
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し偏向するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英米法	北 <sup>き</sup> 野 <sup>た</sup> か <sup>の</sup> ほる	文学部全学科	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1編 概論
  - 第1章 法系論
    - 第1節 西洋近代法の法系
    - 第2節 英米法系の特色
  - 第2章 英米法の特徴
    - 第1節 法内容の歴史性
    - 第2節 法観念の社会性
    - 第3節 法思考の実務性
  - 第3章 判例法の理論
    - 第1節 総論：「判例法主義」
    - 第2節 先例拘束性の原理
    - 第3節 判決における「法」
    - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
  - 第1章 裁判所制度
    - 第1節 イギリス
    - 第2節 アメリカ合衆国
  - 第2章 訴訟過程
    - 第1節 英米訴訟制度の特徴
    - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

今年度から講義進行計画に一部変更が生じるため、上記シラバス内で力点の置き方が変わる。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がるので、各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済法	おかだとしひろ 岡 田 外 司 博	文学部全学科	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論 (1)	なかの ゆうじ 中 野 裕 二	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

この講義は西ヨーロッパ諸国の政治に焦点を当てる。西ヨーロッパの国々を全て網羅することは不可能であるので、平成14(2002)年度はイギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、そしてEUを扱うこととする。各国の政治機構をごく簡単に理解した上で、各国政治の特徴と考えられる事象を取り上げ、考察を加え、各国の政治に対する理解を深める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の予定で進む。ただし、現実政治や学生の理解度によって内容や進度は変更があり得る。

1. イントロダクション  
講義の進め方と成績評価などについての説明
2. イギリス  
政治機構  
政党政治——サッチャー保守党政権とブレア労働党政権  
地方問題——北アイルランド問題
3. フランス  
政治機構  
移民問題——社会構造と政治の関係  
極右政党の台頭——グローバル時代の問題
4. ドイツ  
政治機構  
連邦制国家の構造——EUのモデル？  
選挙制度——人物本位の比例代表制
5. イタリア  
政治機構  
選挙制度と政党政治
6. スペイン  
政治機構  
フランコ時代から民主国家へ  
地域主義
7. EU  
政治機構  
統合のプロセス——政府間主義か超国家主義か？  
「民主主義の赤字」とサブシディアリティ原則

#### 履修上の留意点

西ヨーロッパの政治に興味のある学生はもちろんのこと、日本の政治に興味のある学生の受講を希望する。講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、常に日本との比較を念頭に置いて講義を聴いて欲しい。

授業中の私語などには厳しく対処する。

#### 成績評価の方法

学年末試験を70点、4回程度実施予定の小テストなどを30点に換算し100点満点で評価する。ただし、授業中の質問や発言などの積極的な参加は別途高く評価する。

#### 教科書

教科書は用いないが、下の参考書は重要。詳細は、KOMANETのシラバス詳細画面を参照。その他の参考文献は講義内で適宜紹介する。

#### 参考書等

- 田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度論』（法律文化社）1999年  
 川勝平太・三好陽編『イギリスの政治』（早稲田大学出版部）1999年  
 奥島孝康・中村絃一編『フランスの政治』（早稲田大学出版部）1993年  
 大西建夫編『ドイツの政治』（早稲田大学出版部）1992年  
 馬場康雄・岡沢憲実編『イタリアの政治』（早稲田大学出版部）1999年  
 川成洋・奥島孝康編『スペインの政治』（早稲田大学出版部）1998年  
 大西建夫・中曽根佐織編『EU 制度と機能』（早稲田大学出版部）1995年  
 宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』（人文書院）1998年  
 中野裕二『フランス国家とマイノリティ』（国際書院）1996年  
 畑山敏夫『フランス極右の新展開』（国際書院）1997年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こぼりのりお 小堀訓男	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

#### 成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知らためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

#### 教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治史	うらたさなえ 浦田早苗	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合——
- ・統合ヨーロッパの源流

#### 成績評価の方法

前期レポート——7～8×400字——は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

#### 教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみいゆきお 富井幸雄	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

#### 教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

#### 参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

#### その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
議会関係法	まえただひであき 前田英昭	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。  
選挙は、民主政治の基盤をなすものであり。民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行われなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。

衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、1996年秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところであり、今年も総選挙が予想される。このような情勢を踏まえて、制度改正に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1 選挙制度改革の理由、2 選挙権と被選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 重複立候補、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10 新聞・放送による選挙運動、11 選挙運動費用、12 選挙運動・政治活動・選挙広告、13 選挙違反と連座制、14 選挙犯罪、15 公務員の地位利用、16 政治資金、17 団体・個人の寄付制限、18 政党交付金とその使途など。

#### 履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

#### 成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

#### 教科書

前田英昭著『選挙法・資料』（高文堂出版社）

#### 参考書等

前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』（新日本法規出版）  
前田英昭『政治腐敗防止法を考える』（信山社）  
その他各種の選挙法に関する解説書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較政治学	み た け な お や 三 竹 直 哉	文学部全学科	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思います。2002年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。  
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3～4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたいと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2001年度用です。2002年度用の情報は、2002年4月に入ってから確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円

他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

授業では、みなさんがせつかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代国家論	おおつか かつら 大 塚 桂	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況にあります。大国・日本丸はどこへすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学において重要課題とされています。本講義は、諸君が今まで履修してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論（史）的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みたとき、政治学＝国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目（憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学）の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。国家論は総合科学としての性格を有するからです。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

A 国家論の課題ならびに研究方法

①序論 ②官立アカデミズムの形成

B 国家学説の史的展開

①古代国家学説 ②中世国家学説 ③近代国家学説 ④現代国家学説

C 法治国家の構成原理

①法治国家論 ②政治制度 ③官僚制 ④国家緊急権

D 行政国家の構成原理

①福祉国家論 ②ネオ・コーポラティズム ③シティズンシップ ④きたるべき国家像

#### 成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。

A方式（レポートによる単位認定）

～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。

B方式（試験による単位認定）

～ペーパーテスト（中間・期末）による評価です。

C方式（AとBの折衷）

※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

#### 教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

#### 参 考 書 等

上記教科書にかかげてある〈関連文献〉を参照のこと

#### そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）にあります。電話は、3418-9377（直）です。質問など気軽に訪問してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営労務論	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本の経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったように問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明をする。出席は取らないので、出席点はなし。私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのではないこと。携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、減点の対象とする。

成績評価の方法

評価は学期末試験のみによる。出席点、レポート、中間テストはなし。詳細はホームページでも公開。

教科書

特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992、など。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。参考文献はホームページで紹介。

その他

授業は講義の形式でおこなうが、図表やグラフ、ビデオを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。この科目は、再試験は実施しない。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際経営論	もがきひろし 茂 垣 広 志	文学部全学科	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業史	やまだまさる 山 田 勝	文学部全学科	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点      | (6) 継続性       |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量       |
| (3) 利 潤         | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品         | (9) 価格革命      |
| (5) 市 場         | (10) 情報社会と商業  |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。

教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
保険経営論	いしなぎか くにあき 石名坂 邦 昭	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

#### 履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

#### 成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

#### 教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）3,500円

#### 参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』（白桃書房）

石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房）

#### その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務会計論	わた な べ えい ち ろ う 渡 邊 恵 一 郎	文学部全学科	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、質的特徴及び一般原則など）
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開など）
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と表示、外貨換算、財務分析、国際会計基準の動向など）

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計』（中央経済社）

参 考 書 等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

(1)授業の方法は、講義による。(2)簿記学・会計学の単位を修得していること。この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営分析論	かたぎりのぶお 片 桐 伸 夫	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- \* レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」  
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

提出日（授業はじめに配付するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

- \* テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教 科 書

開講時、指示します。

#### 参 考 書 等

随時、紹介します。

#### そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税務会計論	た か き か つ み 高 木 克 己	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

#### 履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

#### 教科書

開講時に指示する。

#### 参考書等

開講時に指示する。

#### その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営情報論	た か い て つ お 高 井 徹 雄	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステム的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

#### I. 経営情報とシステムの観点（前期）

##### (1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

##### (2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

##### (3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

#### II. 情報の利用技術（後期）

##### (1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。

ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

##### (2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

##### (3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

#### 履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

#### 成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

#### 教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

#### 参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

#### その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報理論	にしむら かずお 西 村 和 夫	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。  
この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえば DNA の情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。  
また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。  
その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。  
途中で、古代から現代にわたる暗号の話をして、現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解読
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化（JISコード、国際符号化文字集合）、対数・情報量の間中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査術（CD）、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

#### 履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。  
内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表 5月参照）。

#### 成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

#### 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

#### 参考書等

そのつど紹介します。

#### その他

〔関連科目〕→ 経営情報論  
この科目は、再試験を実施しません。  
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営統計	ちようこ <sup>ちよう</sup> こ <sup>こ</sup> き <sup>き</sup> よう <sup>よう</sup> 長 国 強	文学部全学科	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・  
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念  
 統計特性値：平均、分散、正規分布  
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理  
 経営時系列：季節指数、時系列予測  
 経営指数：物価指数、数量指数  
 統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定  
 統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。  
 この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学史	さ <sup>さ</sup> は <sup>は</sup> ら <sup>ら</sup> さ <sup>さ</sup> く <sup>く</sup> み <sup>み</sup> 佐 原 作 美	文学部全学科(国文除く)	4

講義のねらい

無文字時代の文学のありようから、文字を得て記録され、今日にまで継承されて来た飛鳥奈良時代の文学作品を中心に平安初期頃までの文学の流れを、史的背景をふまえながら考察していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

神話を豊富に含む『古事記』や『日本書紀』や『風土記』などの散文文学をはじめ、『万葉集』や漢詩集などの韻文学など、それぞれの作品の一端にふれながら、上代文学のおもしろさを発掘していきたい。

履修上の留意点

教科書に載っている例文や、配布されるであろうプリントの他に、上記の作品を積極的に読んで欲しいと思う。

成績評価の方法

課題のレポートや定期試験その他出席状況（重視）などを見て評価する。

教 科 書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』（新典社）1,030円

参 考 書 等

授業時に指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学史	鈴木裕子	文学部全学科(国文除く)	4

講義のねらい

古代後期(平安時代を中心として)の文学史を学びます。漢詩や和歌、物語や日記などの文学作品にはどのようなものがあるか、なぜそれらが千年もの時を超えて現代にまで読みつがれて来たのか、文学史に〈女性〉が果たしてきた役割とは何なのかなど一緒に考えてみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文ともに実際に作品の一節を読みながら、それぞれの作品の特色や時代の思潮を理解し、古典文学に親しむ契機となるようにします。授業は教科書のほかにプリント教材を配布し、それらを用いての講義が中心となります。また、変体仮名を読む機会も設ける予定。

履修上の留意点

教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文や短い発表などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

年表資料『中古文学史』(笠間書院)

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学史	坂口博規	文学部全学科(国文除く)	4

講義のねらい

中世時代の文学の流れを考える。政治的には鎌倉・室町時代と称される中世時代の文学史は、実はその鎌倉期と室町期とで作品傾向が大きく推移していることを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時、総論として古代からの伝統、また近世への展開を配慮して中世時代の文学を概観し、各ジャンルにわたりその史的展開を講じてゆく。

履修上の留意点

授業で取り上げられる作品や作者等について、詳細に論じられないので、文学辞典に紹介される程度の内容は読んで欲しい。

成績評価の方法

定期試験の結果と出欠状況を参考にして評価する。

教科書

乾安代・櫻井武次郎・新間一美他著『日本古典文学史』(双文社出版) 1,699円

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学史	清田啓子	文学部全学科(国文除く)	4

講義のねらい

近世(江戸時代)の文学の流れを通観する。江戸時代は、庶民が力を発揮できた時代であると同時に、政治的束縛も各分野に及ぼされた。そのような中で、文学を志した人々のあり方はどんなものであったか、どういう作品が生み出されたかを探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書とする『近世文学史』には、作品もかなり掲載されているので、なるべく丁寧に作品の意義を見きわめつつ、近世初期から末期までの変遷を辿ることになる。

履修上の留意点

文学とは何か、を、常に念頭においてほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、夏期レポート、折々の提出物等による。

教科書

佐藤毅他編『近世文学史』(双文社出版) 1,800円

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学史	榎 瀬 王 子	文学部全学科(国文除く)	4

講義のねらい

日本の近代は、江戸から明治へと改元された時から始まるとされる。文学の世界も同様である。旧来の文学を一新し、近代文学としての歩みを始め、自立し、その独自性を発揮するまでの道程を知り、確認することは文学研究の上からばかりでなく、今を生きる私達現代人にとっても自ら〈近代〉を問う意味で有意義となろう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、明治開化期の文学の考察を手始めとして以降は時代の流れに沿って文芸思潮を中心にその時々の文学運動を参看しながら個々の作品の歴史的な意味について考えていく。

履修上の留意点

講義の性格上、ともすれば作品名の羅列になりがちであるが、可能な限り数多くの作品にじかにふれるようにしたい。従って、受講者は知識として作品名を覚えればよいというのではなく、あらかじめ課題となる作品を自主的に読み、考える姿勢を強くもって講義に臨むことを要望する。

成績評価の方法

受講態度、学習意欲等の平常点、レポート、試験によって総合的に評価する。

教科書

岡保生、大久保典夫編『現代日本文学史』(おうふう)  
吉田精一編『近代文学』(おうふう)

参考書等

講義の際、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学史	小 林 治	文学部全学科(国文除く)	4

講義のねらい

現代日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。現代の起点を関東大震災のあった大正12(1923)年後後に置き、以降、昭和の終り(1988)まで見ていくことになろう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は総論と昭和20年の敗戦までを、後期にそれ以後を取り上げる予定。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しくふれる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

三好行雄編『近代文学史必携』(学燈社一別冊國文學一)1,000円

参考書等

『時代別日本文学史事典(現代編)』(東京堂出版)6,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	お く ほ ら じ ゅ ん こ 奥 原 淳 子	文学部全学科(国文除く)	4

#### 講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。

「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化がますます進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況にあつて、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思ひます。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業では、以下の問題について考えていきます。

- ・「日本人」とはだれか。
- ・「コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・文化摩擦はどうして起こるのか。
- ・言語や非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・日本文化や日本語にはどんな特徴があるのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

#### 履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとりたひと思ひます。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従つて、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

#### 成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度・試験

#### 教 科 書

開講時指示します。

#### 参 考 書 等

開講時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事英語	お か も と まこと 岡 本 誠	文学部全学科(国文・英米文除く)	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でいえば“Current English”ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalesse に親しみ、新聞英語ぐらいいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用計測学	か し お え い じ 榎 尾 英 次	文学部全学科(国文除く)	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
  - 放射性核種および放射線計測の基礎
  - ガンマカメラ
  - SPECT
  - PET
  - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) 超音波診断装置
- 3) PACS (画像管理システム)
- 4) 生体電気計測
- 5) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

## 〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商学総論	おおぶき かつお 大 吹 勝 男	文学部全学科	4

### 講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということですが、諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論・電子商取引（eコマース）
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粋流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

### 成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

### 教 科 書

- 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社）
- 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号
- 3 『経済学論集』第20巻第4号
- 4 『経済学論集』第22巻第1号
- 5 『経済学論集』第22巻第4号
- 6 『経済学論集』第26巻第1号
- 7 『経済学論集』第27巻第1号

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会思想史	あべひろし 阿部 弘	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

#### 成績評価の方法

- 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。レポートは7月・10月・12月・1月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、となく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。レポートの形式は、7月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからテーマを設定します。
- 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートをひそかに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。
- 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」を実施しない関係で、それに付随した、「追試験」とか「再試験」は行いません。

#### その他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようになるために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538/TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	みつおか はくみ 光 岡 博 美	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置をしめてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向にむかった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実的世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いた上で、本年度は、次のような講義内容で授業を行うことにしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労働関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本的労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きい教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講生はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義の中で指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価格理論	あらき よしひろ 荒 木 勝 啓	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される  $as\ i$  パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのための準備と練習に当てられると思っていただきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

#### 成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験あり。

#### 教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 紀	文学部全学科	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万（平成3年）あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここでは、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然とも言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解すること、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」（配布資料）
  2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
  3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。  
その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
  4. 「金融政策、財政政策」……………4回  
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
  5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。  
基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は原則として実施しない。
- R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス（上）』（第6版）（多賀出版）

成績評価の方法

教科書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ経済論	しみず たかし 清 水 卓	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

本年度1月1日から、EU諸国の統一通貨であるユーロが一般に流通するようになり、EU色の経済統合は高度な段階に入りました。数年のうちには10カ国を超える中欧、東欧諸国がEUに加盟することになっており、EUの機構改革も着手されました。こうして、世界におけるEUの存在はますます大きくなってきます。

本講義はEUとメンバー諸国の動きを紹介し、その意義を明らかにします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期にはEUの主な課題の過程と現状を取り上げます。

市場統合の経過と現状

市場統合への道

1992年市場統合計画

现阶段における市場統合への課題

欧州通貨統合

第2次世界大戦後の国際通貨体制と欧州

欧州通貨危機と欧州統合

欧州通貨制度 (EMS)

欧州中央銀行制度

市民的・社会的ヨーロッパ

欧州失業率問題

地域格差問題

欧州福祉国家の現状

欧州基本権憲章

EUの安全保障問題

後期は各国経済とEUの産業分野を取り上げます

各国経済の現状

フランス

ドイツ

イギリス

イタリア

スペイン

オランダ・ベルギー・ルクセンブルグ

北欧諸国

産業分野としては

農業・農村・食料

伝統的部門

先端産業

なお、随時、EUの最新トピックスを解説します。

#### 履修上の留意点

講義を興味深く聞き、内容を理解するためには、ある程度の基礎知識やEUで現実的に起こっている出来事への関心が必要です。是非、インターネットや、新聞、雑誌で自分の興味が持てる事柄を探してください。

#### 成績評価の方法

前期末と学年末にペーパー試験を行います。  
成績評価に際しては、出席回数を考慮します。

#### 教科書

特に指定しません。

#### 参考書等

- 1) 田中素香、長部重康、久保広正、岩田建治『現在ヨーロッパ経済』(有斐閣) 2001年
- 2) 藤井良弘『EUの知識』(日本経済新聞社)

#### その他

卒業年次生に対する再試験は行いません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計監査論	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

#### 履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

#### 成績評価の方法

原則として試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

#### 教 科 書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

#### 参 考 書 等

税務研究会編「企業会計規則集」（税務研究会出版局）  
飯岡透、市村一之、島崎規子『会計監査概論』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法思想史	かわみ 河見 <small>まこと</small> 誠	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀の枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方についても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、  
中世ローマ・キリスト教の思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アクィナス）  
近代：自然権・社会契約論（ホッブス、ロック、ルソー）、功利主義（ベンサム、ミル）、ドイツ観念論（カント、ヘーゲル）  
近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）新カント派法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、再生自然法論（コーイング、カウフマン）、分析法理学（ハート）、現代正義論とリベラリズム（ロールズ、ドゥオーキン）

#### 履修上の留意点

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課するかもしれない。

#### 成績評価の方法

田中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ、1997年）1,700円

#### 教科書

随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本法制史	しげの たかはる 茂野 隆晴	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

「法制史」は基礎法学の一つであるが、歴史学の一分野でもあるという両属性がある。私の担当する「日本法制史」は日本人の法生活の歴史的考査であり、それを時代区分をなすことによって行っているというものである。

各時代の人びとの生活を規範適側面より探求、分析していくものであるから、少しでもその実体にせまる上からも多くの史料を勉強して実際にもとの文章そのものを読んでいけば法制史の理解はより深まろう。

ともあれ、基礎法学あるいは理論法学といっても、その位置づけ、あり方については、未だ法学教育のうでで定かでないようである。ただ、基礎法学がより重視され、仮に実定法と同じような比重で科目配当されたとすれば、日本法制史について言うなら、古代・中世・近世・近現代といった名称が冠せられた講座がみられるようにもなるうか。

#### 講義の内容・授業スケジュール

時代区分として、上古（氏族法時代）、中古（律令法時代）、中世（武家法時代前期）、近世（武家法時代後期）、近代（含む幕末）の5期に分ち、前期は、それぞれの時代に公法、刑事編を行なう。後期には、同じく時代を繰り返す、私法・民事法を行なう。

#### 履修上の留意点

史資料に則して行うことの多い授業ですのでテキストは必ずそろえて持参のこと。また、授業中の私語は厳禁ゆえに、守れないものがあれば直接にも指摘することになろう。

#### 成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味して評価する。

#### 教科書

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社刊）3,000円

#### 参考書等

大久保治男・茂野隆晴編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,500円  
このほかは、ばあいにより指示します。

#### その他

授業の方法は講義による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	おかだ としひろ 岡田 外司博	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

#### 履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

#### 成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

#### 教科書

丹宗暁信・厚谷襄兎編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際関係論	みなみやま 南 山 あつし 淳	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国民国家体系は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というリサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきた。他方、「グローバル化」に象徴されるトランスナショナルな活動の増殖は、卿、国際関係に極めて重要な影響を及ぼすようになってきている。つまり、現代国家関係の最大の特徴は、国家間関係とトランスナショナルな関係が同一の事空間に並存し、相互に影響を与えあっているという点にある。本講義の目的は、複雑化する現代国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を確定していく作業に他ならない。そのためには、国際関係史、国際関係理論を別々に考えるのではなく、双方を一体のものとして、有機的に理解することが不可欠となる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相対依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境、ジェンダーなど、現代国際関係における具体的な諸問題をとりあげる予定である。

#### 履修上の留意点

政治学、近現代史、国際問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験により評価する。

#### 教科書

進藤榮一 著 『現代国際関係学』（有斐閣）  
松岡 完 著 『20世紀の国際政治』（同文館）

#### 参考書等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地方自治法	とみい ゆきお 富 井 幸 雄	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに添って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

#### 教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

#### 参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。

なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

#### その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒産処理法	おくのよしひこ 奥野善彦	文学部全学科	4

講義のねらい

私が管財人として任務を遂行した更正会社日本リースの事件処理などを通じ、可能な限り実践的な視点から倒産処理法を学ぶこととする。

倒産処理手続は、通常、任意整理と法的整理に区分され、さらにその目的に従い、再建型と清算型に分けられる。

任意整理は、裁判所外で債務者と債権者間で私的に進められる整理手続で、再建型にも清算型にも利用され、法的整理手続の原型となっている。これに対し、法的整理手続は、再建型の類型に入るものとしては、会社更正、会社整理、並びに民事再生手続があり、清算型の類型に入るものとしては特別清算と破産がある。

この講義では、「倒産」に直面している人又は企業に対し、如何なる手続を選択することが債権者及び債務者にとって最も好ましいか、というようなことから始め、最高学府で倒産処理法を学んだ者として、当然身につけなければならない法的知識並びに法的技法を習得することにした。

履修上の留意点

真面目で誠実で、且つガッツのある学生に履修してもらいたい。

成績評価の方法

履修態度、レポート並びに試験（論文式）

教科書

追って指定

参考書等

奥野善彦著『会社再建』（小学館）定価1,600円

その他

前期－講義 後期－ゼミ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際紛争解決法	おうしあん 王志安	文学部全学科	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）1997年 2,700円

参考書等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のもまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営財務論	た か だ み つ あ き 高 田 光 明	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを旨とする。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

#### 履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

#### 成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

#### 教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

#### 参考書等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

#### その他

この科目は再試験を実施しません。



科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	伊藤 信二	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

我々は、「産業革命より大々的な文化変容」の時代に生きている。経済活動の主体である企業組織も内外に新たな問題を抱え、生き残りのため新たな方策を模索している。

本講義では、これまで企業の管理組織がどのような考え方で編成され、また、どのような変遷をたどって発展してきたかを概観した上で、今日の企業のさまざまな革新努力とその意味を理解し、新しい時代における企業組織と個人の関係のあり方を考えていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### [前期講義]

(1) 問題意識－歴史的な変化に直面する日本企業、構造的変化と循環的变化

(2) 20世紀の支配的な経営原理－テーラーリズムの誕生とその意味

(3) 経営における人間的側面－人間関係論、X理論とY理論など [後期講義]

##### [後期講義]

(1) 管理組織の発展－歴史と発展の理論

(2) 組織構造－組織の編成原理、組織図の読み方

(3) 管理機構モデルの意義とその限界

(4) 新しい企業組織のあり方－革新の試みと展望

#### 履修上の留意点

問題意識を触発し、講義内容の理解を促進するために、また理解度を把握するために小課題を時々出します。基本的には講義形式をとりませんが、受講生の意見も取り入れながら展開していく予定なので、参加意識をもって臨んでほしい。

#### 成績評価の方法

課題への取り組み方、前後期の筆記試験によって評価します。

#### 教科書

特定のテキストは用いず、参考文献は講義中に適宜指示します。

#### 参考書等

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	園田 哲男	文学部全学科	4

#### 講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規則に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規則と区別された意味における公益企業規則である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規則が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

#### 履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意志決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意志のある学生だけが履修してくれることを望む。

#### 成績評価の方法

成績評価は、単元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行なうつもりである。

#### 教科書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

#### その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管理会計論	さるやま よしひろ 猿 山 義 広	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教 科 書

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）  
なお、適宜、プリントを配布する。

参 考 書 等

櫻井暁晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	あ べ か ず ひ と 阿 部 一 人	文学部全学科	4

### 講義のねらい

「監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ」

もともと監査論は、その言葉自体のもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているのかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は、財務諸表監査として特徴づけられる。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）

- ①監査の必要 ②監査の意義
- ③監査の対象

#### 2. 会計監査の意義と目的（総論）（2）

- ①監査の目的 ②監査思想の変遷
- ③監査の効用

#### 3. 監査の機能

#### 4. 会計上の誤謬と不正

#### 5. 監査の種類

#### 6. 会計監査と財務諸表監査

#### 7. 我国の監査制度

- ①証券取引法監査 ②商法監査
- ③その他の監査制度

#### 8. 監査基準（1）

- ①必要性 ②生成と展開

#### 9. 監査基準（2）

- ①意義 ②体系 ③一般基準
- ④実施基準 ⑤報告基準

#### 10. 監査人

#### 11. 監査証拠

#### 12. 監査計画

#### 13. 内部統制

#### 14. 試査

#### 15. 監査技術と監査手続

#### 16. 監査調書

#### 17. 監査報告書

#### 18. 連結財務諸表の監査

#### 19. 中間財務諸表の監査

#### 20. システム監査

#### 21. 国際監査基準

#### 22. 現代監査論の動向

- ①監査概念の拡大化
- ②監査保証に程度の差を認める監査概念

### 履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の科目を履修済みであることが好ましい。

### 成績評価の方法

評価方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏期）および出席状況を考慮して総合的に判定する。

なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書	大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円
参考書等	田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円 山榎忠恕・檜田信男『監査基準精説』（税務経理協会）3,500円 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円
その他	この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	は と り 羽 鳥 茂	文学部全学科	4

講義のねらい	多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。
履修上の留意点	受講生としての一般常識を持っていることはいうまでもないですが、下記の参考文献を必要に応じて参照し、授業内容の理解を確かなものにするよう努力してください。
成績評価の方法	後期授業終了後、筆記試験で評価します。
教科書	青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会、1996年）3,200円
参考書等	読みやすいと思われる順になっています。 〔A〕鶴光太郎『日本的市場経済システム』（講談社現代新書）1994年 〔B〕ジョン・マクミラン『経営戦略のゲーム理論』伊藤、林田訳（有斐閣）1995年 〔C〕中山幹夫『はじめてのゲーム理論』（有斐閣）1997年 数学はつぎの2冊が適当だと思います。 〔D〕高橋渉『現代解析学入門』（近代科学社）1990年 〔E〕永谷裕昭『経済数学』（有斐閣）1998年
その他	数学が必要などときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。 この科目は再試験を実施しません。



## IV 「日本語」・「日本事情」科目



## IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

### 《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	725
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	725
日	本	語	II	〈佐野典子〉	725
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	726
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	726
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	727
日	本	語	IV	〈石川守〉	727
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	727
日	本	語	V	〈石川守〉	728
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	728
日	本	語	VI	〈石川守〉	729
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	729

### 《日本事情科目》

日本事情I	〔地理〕	(前期)	〈須山	聡〉	729
日本事情II	〔自然〕	(前期)	〈清水	善和〉	730
日本事情III	〔歴史〕	(後期)	〈宮本	由紀子〉	731
日本事情IV	〔思想〕	(前期)	〈赤羽	由規子〉	731
日本事情V	〔社会〕	(後期)	〈山田	信行〉	732
日本事情VI	〔政治・法律〕	(後期)	〈前田	英昭〉	732
日本事情VII	〔文学〕	(後期)	〈岡田	豊〉	733
日本事情VIII	〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽	由規子〉	733
日本事情IX	〔経済〕	(前期)	〈瀬戸岡	紘〉	734
日本事情X	〔経営〕	(前期)	〈鈴木	幸毅〉	734





科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅰ	佐野典子	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の映画・TVドラマなどの内容を把握する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率などにより、総合的に評価する。

教 科 書

特に教科書は使わない。聴解シートは、その都度、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅰ	多田羅哲子	全 学 科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。  
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教 科 書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅱ	佐野典子	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

小説、ノンフィクション、エッセイなどを輪読する。

成績評価の方法

試験、発表、提出物、出席率などにより総合的に評価する。

教 科 書

授業で使用する教材は、担当者が、そのコピーを用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語II	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
  - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
  - ・あわせて書く練習もする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- ・読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- ・スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ・ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- ・話したことを文章にまとめる。
- ・テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語III	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- ・話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
  - ・一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- ・その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発音や提出物を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅲ	湯 村 礼 子	全 学 科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テストetc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度etc）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ	石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教科書

授業中に配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ	湯 村 礼 子	全 学 科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）  
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物etc）

教科書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅴ	<small>いしかわ まもる</small> 石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅴ	<small>たたら あきこ</small> 多田羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。  
テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

プリントを配布、ビデオも使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅵ	いしかわ まもる 石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

「いろはがるた」にあらわれる古くから庶民に親しまれてきた日本のことわざを通し、日本人の考え、日本語の表現、文法などを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

「いろはがるた」を読みながら、その内容について討論し、また、自国のことわざについて考えていく。

履修上の留意点

できるだけ、発言すること。

成績評価の方法

平常点と試験

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

随時、教室で指示する。

そ の 他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅵ	たたら あきこ 多田羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。  
文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教 科 書

プリントを配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(前期)	す や ま さとし 須 山 聡	全 学 科	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情II 〔自然〕(前期)	しみず よしかず 清 水 善 和	全 学 科	2

#### 講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- I 章 位置
  - 1. 国土の範囲
  - 2. 行政区分
  - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
  - 1. 世界の気候帯
  - 2. 海流
  - 3. 気候の特徴
  - 4. 気団と季節
  - 5. 台風
  - 6. 天気予報
  - 7. 生物季節
  - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
  - 1. 弧状列島
  - 2. 変動の歴史
  - 3. 多様な地形
  - 4. 火山
  - 5. 地震
- IV 章 生物
  - 1. 世界の植生帯
  - 2. 日本の植生帯
  - 3. 生物地理区
  - 4. 日本の海産生物
  - 5. 帰化種の侵入
  - 6. 自然保護の制度

#### 履修上の留意点

特になし。

#### 成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

#### 教 科 書

特定の教科書はなし。

#### 参 考 書 等

参考書は適宜紹介する。

#### そ の 他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	<sup>みやもと ゆきこ</sup> 宮 本 由 紀 子	全 学 科	2

講義のねらい	日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。
履修上の留意点	板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。
成績評価の方法	出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。
教 科 書	なし
参 考 書 等	その都度知らせる。
そ の 他	講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	<sup>あかば ゆきこ</sup> 赤 羽 由 規 子	全 学 科	2

講義のねらい	日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。 民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
成績評価の方法	出席数、筆記試験によって採点する。
そ の 他	その都度知らせる。



科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情V 〔社会〕(前期)	やまだ のぶき 山田 信行	全学科	2

講義のねらい

歴史的背景を考慮しながら、現代日本社会の基本的な趨勢と問題について概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 戦後日本の社会変動  
- 高度成長から低成長へ
  2. 現代日本の基本的趨勢  
- 情報化・グローバル化・高齢化(少子化)
  3. 現代日本の社会問題  
・ 景気後退と失業  
・ 教育問題  
・ その他の病理現象
- それぞれについて、新聞その他の記事を資料として用いる予定。

成績評価の方法

学期末レポートによる(予定)。

教科書

特になし。

参考書等

資料を配布。

その他

講義形式の予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情VI 〔政治・法律〕(後期)	まえだ ひであき 前田 英昭	全学科	2

講義のねらい

日本の政治状況を外国との比較において解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の政治状況をとらえた新聞記事などを読み、学生の間で意見交換する方法で勉強し、主として次のテーマの理解につとめる。  
日本の国会、選挙、官僚、政策、政治史、政治文化など。

成績評価の方法

出席回数と平常点による。

教科書

『国会と政治改革』(小学館文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ 〔文学〕（後期）	お  か  だ  ゆたか 岡  田  豊	全 学 科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の現代作家の作品を取り上げて、現代の日本の文化事情や時代性と表現とを関わらせて考察する。扱う作家は、村上春樹・村上龍・吉本ばなな・辻仁成を予定している。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。ビデオを上映して、作品との比較を試み、討議するときもある。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教科書

その都度指示する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕（後期）	あ  か  ぼ  ゆきこ 赤  羽  由  規  子	全 学 科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回日にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅸ 〔経済〕(前期)	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	全 学 科	2

講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話することがねらいです。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

◇日本の工業、◇日本の農業および水産業、◇日本のサービス業および金融、◇明治維新以前の日本経済の歴史、◇明治維新以降の日本経済の歴史、◇第2次世界大戦以降の日本経済の展開、◇日本経済とアメリカ経済、◇日本経済とアジア経済、◇日本経済と政府の役割、◇日本の労働者・サラリーマンの生活、◇日本経済と社会や文化の変化

成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト30%、宿題30%が目安です。再試験は実施いたしません。

教 科 書

特定の教科書は使いません。授業のなかで随時適切な本を紹介します。日ごろあなたが目にすることそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	すずき こうき 鈴木 幸毅	全 学 科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教 科 書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

# V 随 意 科 目



## V. 随意科目

英語 (海外演習)	739
中国語 (海外演習)	739
宗 教 学 概 説 (洗 建)	739
宗 教 学 概 説 (池 上 良 正)	740
宗 教 学 概 説 (津 城 寛 文)	740
哲 学 概 説 (末 木 恭 彦)	741
哲 学 概 説 (久 保 陽 一)	741
倫 理 学 概 説 (河 谷 淳)	742
宗 教 人 類 学 (佐 藤 憲 昭)	742
民 間 信 仰 論 (谷 口 貢)	743
日 本 宗 教 文 化 史 (池 上 良 正)	743
民 衆 宗 教 成 立 史 (津 城 寛 文)	744
歴 史 哲 学 (久 保 陽 一)	744
美 術 史 概 説 (海 老 根 聰 郎)	745
東 洋 思 想 史 (末 木 恭 彦)	745
日 本 民 俗 学 (谷 口 貢)	746
日 本 仏 教 史 (休 講)	
日 本 文 化 史 II (吉 田 政 博)	747



科目名	配当学科	単 位
英語（海外演習）	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名	配当学科	単 位
中国語（海外演習）	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当 者 名	配当学科	単 位
宗教学概説	<small>あらい</small> 洗 <small>けん</small> 建	文学部全学科1年次～	4

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することといかに深くかかわっているかを明らかにする。  
この教科は教職科目であるので、国家と宗教、憲法理念と宗教の問題を中心に考える。

講義の内容・授業スケジュール

宗教改革以降、信教の自由の確立に至るまでのキリスト教思想の変遷をたどって、その特質を理解し、日本における導入と変容、現代における諸問題を考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教 科 書

特に指定しないが、水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、参照すること。

参 考 書 等

随時、紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学概説	いけがみ よしまさ 池 上 良 正	文学部全学科1年次～	4

講義のねらい

テーマは「生老病死の宗教学」。現代人にも身近な生活のトピックを取り上げ、宗教学の視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なトピックとしては、「人生儀礼の諸相」「アニミズムとは何か」「社会の医療化と宗教」「比較供養論」などを考えている。

履修上の留意点

学生参加型の授業とする。何回か課題を示し、レポートを提出してもらう。

成績評価の方法

課題レポートの提出と、学年末の筆記試験による。

参考書等

講義のなかで適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学概説	つしろ ひろふみ 津 城 寛 文	文学部全学科1年次～	4

講義のねらい

集団的宗教から個人的宗教まで、また、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は宗教と他界を軸に、後期は宗教と社会を軸に、講義を進めます。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前 期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、神秘主義、スピリチュアル

後 期

公共宗教、市民宗教、宗教と国家、宗教と文化

履修上の留意点

私語だけは慎んでください。

成績評価の方法

出席を参考に、主に年度末のレポートで行ないます。

教科書

用いません。

参考書等

その都度紹介します。

そ の 他

数回ビデオを用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲学概説	す え き や す ひ こ 末 木 恭 彦	文学部全学科1年次～	4

#### 講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。- 哲学を学ぶ以前にこの様な問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい---- そのような企図の下に、この講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新原道』の学説を紹介する。

#### 成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

#### 教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭 『新原道』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する。）

#### 参考書等

馮友蘭 『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳 『中国哲学史』（富山書房）／佐藤慎二編『近代中国の思索者たち』（大修館書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲学概説	く ぼ よ う い ち 久 保 陽 一	文学部全学科1年次～	4

#### 講義のねらい

ヘーゲルの名著『精神現象学』（1807年）の主要な箇所を解説しながら、哲学の諸問題を取り上げる。『精神現象学』は、個人的意識の形成の叙述であると同時に、人類の精神の歴史でもあり、また現代にも通ずる様々な思想内容の宝庫である。これを読解することを通して、「自己」や「世界」に関するものの考え方の基本を学んでほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

『精神現象学』の主要な箇所（例えば「感覚的確信」の弁証法、主人と奴隷の関係、「不幸な意識」、「快楽とさだめ」等約20箇所）を読解し、解説する。

#### 履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。疑問点は遠慮なく質問すること。

#### 成績評価の方法

出席やレポート等によって評価する。

#### 教科書

ヘーゲル 『精神現象学』（平凡社ライブラリー）

#### 参考書等

加藤尚武編 『ヘーゲル「精神現象学」入門』（有斐閣）  
久保陽一 『ヘーゲル論理学の基底』（創文社）  
フルダ（久保・高山訳） 『導人としての現象学』（法政大学出版局）

#### その他

時々、講義内容について簡単なレポートを書いてもらい、それについてコメントを付けて返すことにする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学概説	かわたに 河 谷 淳	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

倫理学とは「人間の行為がかかわる限りでの善悪についての学」だと定義できよう。しかしながら、これはあくまで暫定的な定義にすぎず、その十全な意味は「人間」・「行為」・「よい」とは何かという点にかかっている。この問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では (a) 主に、古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、他方で (b) 現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことがらを「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

- (a) 西洋倫理思想史：徳倫理学（古代ギリシア）、義務論（カント）、功利主義（ベンサム、ミル）
- (b) 現代倫理学の諸問題：メタ倫理学、生命倫理、環境倫理など

成績評価の方法

中間試験と期末試験（それぞれ40点満点）、レポート等で評価する。

参 考 書 等

加藤尚武『現代倫理学入門』（講談社学術文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教人類学	さとう 佐 藤 憲 昭	国・英・地・歴史・経済・芸術1年次～	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。日本語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ（霊）とマナ（力）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

講義内容を踏まえたレポート試験の予定。

教 科 書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社、学術文庫）

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民間信仰論	た に ぐ ち 谷 口	みつぎ 貢	文学部全学科(国文除く)1年次~ 4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の3冊を紹介しておきたい。

そ の 他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本宗教文化史	お が わ と し ゆ き 小 川 順 敬	文学部全学科?年次~	4

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。

われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きいかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

成績は年度末のレポートその他で評価する。

教 科 書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにした。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民衆宗教成立史	つしるひろふみ 津 城 寛 文	文学部全学科1年次～	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にあって、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点をあてて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

前期

- ① 深層文化論の整理
- ② 深層文化論と宗教研究

後期

- ① 民俗主義的な深層文化
- ② 深層文化と集合的宗教

履修上の留意点

私語だけは慎んでください。

成績評価の方法

出席を参考に、主に年度末のレポートで行ないます。

教 科 書

拙著 『日本の深層文化序説——3つの深層と宗教』 (玉川大学出版部) 1995年を用います。

参 考 書 等

その都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史哲学	くぼよういち 久 保 陽 一	文学部全学科(歴史)1年次～	4

講義のねらい

歴史哲学は、個々の事件を理念や原理から統一的に説明したり評価する歴史形而上学や、歴史認識の可能性や方法論を問う歴史認識論とに大別される。本講義では、これらの考え方を歴史的に検討し、今日の歴史認識の方向を探りたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 ヘルダーと和辻の風土論
- 2 ヘーゲルの歴史哲学
- 3 マルクスの史的唯物論
- 4 新カント派の文化科学方法論
- 5 デイルタイの精神科学基礎論
- 6 ハイデガー、ガダマーの解釈学

履修上の留意点

ノートをよく取ること。私語はつつしむこと。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験。

教 科 書

ヘーゲル『歴史哲学』(上中下三冊) 岩波文庫

参 考 書 等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』(放送大学教育振興会)、シュネーデルバッハ『ヘーゲル以後の歴史哲学』(法政大学出版局)、久保陽一『初期ヘーゲル哲学研究』(東大出版会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美術史概説	え び お と し お 海老根 聡 郎	英・地・地文・経済・社・福・心1年次～	4

講義のねらい

日本絵画史概説

講義の内容・  
授業スケジュール

法隆寺の壁画から、高橋由一まで、古代から近代までの日本絵画史の代表的な作品をとりあげ、日本絵画の流れを展望する。毎回、一点の作品をとりあげ、その背景、作家、思想などを述べる。毎回、多数のスライドを使用する。

主な作品は以下のとおり、

法隆寺壁画、応徳涅槃図、源氏物語絵巻、信貴山縁起、山水屏風、山越阿弥陀図、黙庵筆布袋図、雪舟筆天橋立図、永徳筆聚光院襖絵、等伯筆松林図屏風、宗達筆鶯の細道図、光琳筆紅白梅図屏風、江漢筆富士山図、若冲筆動植綵絵、探幽筆山水図屏風、歌麿筆美人図、写楽筆大首

絵  
など

成績評価の方法

筆記試験、出題範囲は授業中に述べたことより。

教 科 書

各種の概説書、美術全集

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋思想史	す え き や す ひ こ 末 木 恭 彦	文学部全学科 国文専攻1年次～	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

書き下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい）

教 科 書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本民俗学	たにくち 谷 口 みつぎ 貢	英・地・人文・環身・社・福・心1年次～	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼——出産と子育て——
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本文化史Ⅱ	よしだ まさひろ 吉 田 政 博	地・地文・履修・社・福・心1年次～	4

#### 講義のねらい

日本文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

#### 履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの”しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

#### 成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

#### 教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

#### 参考書等

授業中に随時示していく。



